2018 教育関係共同利用拠点

報　告　書

山形大学教育開発連携支援センター
Research Center for Higher Education

地方中小規模大学･短大の持続的発展を願う

山形大学　教育開発連携支援センター長
教育開発連携支援センター運営委員会委員長
小田隆治

平成 29 年 8 月、山形大学教育開発連携支援センターが、文部科学省の「教育関係共同利用拠点」（以下、教育拠点と略す）に認定され、これまで 1 年 7 か月活動を続けてきた。この度、教育拠点の延長を申請したが認められず、平成 31 年 3 月 31 日をもって教育拠点としての我々のプロジェクトは終了した。

文科省の教育拠点の制度の詳細については、文科省の Web サイトを参照して頂きたい。教育拠点にはいくつもの分野があるが、我々が属する分野は「大学の職員の組織的な研修等の実施機関」である。ここには FD 及び SD に取り組む拠点が並んでいるが、学問の専門性に立脚した拠点も存在している。我々の拠点の取組は、「教職員として必須の基礎的・共通なことに関すること」というようにジェネラルなことであった。

我々の拠点が他の拠点と異なるレゾンデートルはどこにあったのであろうか。それは拠点の名称が名は体を表している。拠点の名称は「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」であった。我々の拠点は共同利用の対象を「地方中小規模大学・短大」に設定している点において、明確な独自性を発揮していたのである。

「地方中小規模大学・短大」は、地方そして中小規模であるという理由だけで、学生確保ひいては学校経営が厳しい状況にある。眼の前に学生がいなければ、教育改善も改革もない。つまり、学生確保と教育改善・改革は不分離な問題なのである。地方の魅力的な大学・短大が消滅すると、その地方は一挙に衰退してしまうだろう。そうした状況が全国の多くの地域で起こっている。

本センターは、平成 16 年に山形県内の大学・短大からなる「地域ネットワーク FD“樹氷”」を、そして平成 20 年には“樹氷”を発展させた東日本全体に跨る大学間連携組織「FD ネットワーク“つばさ”」を設立し運営してきた。今回の教育拠点の活動を通して、“つばさ”は東日本を抜け出し、北陸地方や沖縄県にまで広がった。“つばさ”の加盟校の多くは地方中小規模大学・短大である。

また、本センターは平成 18 年に山形県最上地方の 8 市町村と包括協定を結び、最上地方全体をバーチャルなキャンパスと見立てて「エリアキャンパスもがみ」を設立した。そして、ここで全学共通教育の体験型授業「フィールドラーニング」を地域の人たちと一体となって運営し、教育と地域活性化を両立させてきた。まさに我々は大学と地域が連携した教育のパイオニアでありトップランナーであり続けてきたのである。

我々は山形で様々な研修会を打つと同時に、北海道から沖縄までの大学に出向いて、研修会のみならず学長たちとの面談を行って、様々な教育改革の提案を行ってきた。それぞれの大学の学長たちとの面談は 2 時間を超える内容の濃いものとなり、学長や大学の執行部から感謝されてきた。それまで教育改革や改善に関する具体的な提案を受ける機会がなかったのだ。この内容の一部は『大學新聞』に連載したが、各大学の内情を記載するわけにはいかないので、きれいごとで終わっている感は拭えない。

本センターの教育拠点の認定は外されたが、山形大学はＦＤを開始した 20 年前から活動を山形県内に開き、そして全国にも開放してきた。山形大学の公開と共有を柱とする相互研鑽のＦＤの理念はこれからも変わることがないだろう。この理念の下に「地方中小規模大学・短大の発展に寄与」していく。

この場を借りて、これまでの当センターの教育拠点の活動にご協力ご支援いただいた方々に感謝申し上げる。

目　　次

巻　頭　言

第　1　章　事業概要　・・・・・・・・・ 1

第　2　章　運営委員会　・・・・・・・・・ 5

第　3　章　三校合同シンポジウム　・・・・・・・・・ 9

第　4　章　ＦＤ合宿セミナー　・・・・・・・・ 23

第　5　章　基盤教育ＦＤワークショップ　・・・・・・・・ 51

第　6　章　授業改善アンケート　・・・・・・・・ 75

第　7　章　学習成果等アンケート　・・・・・・・・ 115

第　8　章　大学間連携ＳＤ研修会　・・・・・・・・ 151

第　9　章　学生ＦＤ会議　・・・・・・・・ 157

第１０章　合同ＦＤ／ＳＤ研修会　・・・・・・・・ 161

第１１章　東北地域大学教育推進連絡会議　・・・・・・・・ 175

巻　末　言

第１章

事　業　概　要

平成 30 年度実施事業

(1) 第二回運営委員会
【開催日】平成 30 年 5 月 17 日（木）
【場　所】山形大学小白川キャンパス
運営委員
北海道大学准教授　山田　邦雅
東北大学教授　　杉本　和弘
名古屋大学教授　　夏目　達也
広島大学准教授　　佐藤　万知
札幌大学副学長・教授　小山　茂
羽陽学園短期大学教授　高桑　秀郎
最上地区市町村教育委員会協議会
山形大学エリアキャンパスもがみ
最上事務局長　森　洋一
山形大学教授　小田　隆治
同　上　　栗山　恭直
同　上　　千代　勝実
同准教授　　松坂　暢浩

(2) 第 21 回 FD ネットワークつばさ FD 協議会
【開催日】平成 30 年 5 月 26 日（土）
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
第 1 部　協議会
第 2 部　ワークショップ
第 1 分科会：学生の主体的な学び
第 2 分科会：大地連携
第 3 分科会：大学教育と学生支援
【参加者】合計 37 人

(3) 金沢・山形・大正大学　三校合同シンポジウム
【開催日】平成 30 年 6 月 8 日(土)
【場　所】一橋講堂中会議場
【内　容】大学組織変革は誰がいかに担うのか
－「チェンジ・エージェント」の提案－
・シンポジウム趣旨説明
金沢大学　国際基幹教育院高等教育開発・支援部門長
教授　吉永　契一郎　氏
・オープニングトーク
「企業人、事務職員、教員への
トランジション経験からの FD・SD の考察」
愛媛大学　教育・学生支援機構副貴校教育企画室
特任助教　上畠　洋佑　氏
・対話のアクティビティ(ワールドカフェ①)
「自大学の FD・SD の考察－何のためにやってきたか」
金沢大学　国際機関教育院高等教育開発・支援部門
准教授　杉森　公一　氏
発創デザイン研究室・福井大学教職大学院
非常勤講師　冨永　良史　氏
・三大学 FD・SD 事例紹介
1. 山形大学
「地方中小規模大学・短大を対象とした
教育改善・改革の支援システム開発とその展開」
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
2. 大正大学
「職員ビジョンに基づいた人材育成制度の
構築について」
大正大学学長室人事課　課長　森田　百合子　氏
同　主任　杉田　美調　氏
3. 金沢大学
「自律的な組織開発・人材開発のためのリーダー養成」
金沢大学 SUG 企画・推進室専門職員　松村　典彦　氏
・対話のアクティビティ(ワールドカフェ②)
「自大学の FD・SD の省察－これから何のために何を」
・シンポジウム総括
山形大学　教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
【参加者】合計 118 人

(4) エリアキャンパスもがみ前期運営会議・ＦＷ報告会
【開催日】平成 30 年 7 月 27 日(金)
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
エリアキャンパスもがみ運営会議
フィールドワークもがみ活動報告会
学生発表(15 プログラム)

(5) 学生主体形授業合同成果発表コンテスト
【開催日】平成 30 年 7 月 28 日(土)
【場　所】山形大学小白川キャンパス

【内　容】発表(前半３チーム・後半３チーム)
総評・表彰式・写真撮影
【参加者】合計 38 人

(6) FD 合宿セミナー
「相互研鑽による大学教育の飛躍を目指して」
【開催日】
第１チーム：平成 30 年 9 月 3 日（月）～4 日（火）
第２チーム：平成 30 年 9 月 4 日（火）～5 日（水）
【場　所】　協同の杜ＪＡ研修所　(山形市)
【内　容】
講師：山形大学教授　小田　隆治
東京工芸大学教授　大島　武
北星学泉大学教授　田実　潔
第 1 チーム
プログラムⅠ「科目設計 1:授業名と目標、内容の作成」
プログラムⅡ「授業設計 2：シラバスの完成」

プログラムⅢ「アクティブ・ラーニングについて考える」
プログラムⅣ「アクティブ・ラーニングの実践」
第2チーム
プログラムⅠ「授業力の向上～わかりやすい授業を
実現するために～」
プログラムⅡ「失敗から学ぶ～個々の体験の分かち合と
『ＮＧ授業』の類型化」
プログラムⅢ「授業に求められる合理的配慮とは？
－障害者差別解消法と授業－」
プログラムⅣ「学生の学修を支援する授業とは？
－発達障害等の配慮を必要とする学生が
受講している授業の工夫－」
【参加者】 第1チーム：15人
第2チーム：13人　講師3人
合計31人

(7) 大学間連携SD研修会
【開催日】平成30年9月7日（金）
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
プログラムⅠ
・ミニレクチャー「大学教育改革の時代を
突破する職員とは？」
・グループワーク「自校の発展の前に大きく立ち
はだかっている壁(課題)は何か？」
プログラムⅡ
・グループワーク「バーチャル大学の改革実行計画を
企画する」
プログラムⅢ　発表会
【参加者】合計20人

(8) 基盤教育ワークショップ
【開催日】平成30年9月14日(金)
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
第1部　基調講演
演題：「インストラクショナルデザイン(ID)に基づく
授業設計と授業運営」
講師：伊藤　勝久　氏
神奈川工科大学教育開発センター 教授
第2部　ラウンドテーブル
第1分科会
「IR、授業アンケートなどデータ活用について」
第2分科会
「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」
第3分科会
「新任教員向けキャリア教育科目の
授業運営法について」
【参加者】合計40人

(9) 東北地域大学教育推進連絡会議
【開催日】平成30年9月22日(土)
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
第1部　東北地域大学教育推進連絡会議
第2部　シンポジウム「東北地方にある大学・短大の
魅力的な教育の取組」
事例報告
1. 桜の聖母短期大学
「小さな短大が地域に開くということ
～人生 100 年時代の生涯学習支援から～」
地域連携センター長・キャリア教養学科准教授
三瓶　千香子　氏
2. 尚絅学院大学
「時代を生き抜く『実力』を身につける大学へ
～尚絅学院大学の取り組み～」
副学長・教授　赤坂　和昭　氏
3. 東北芸術工科大学
「習うから学ぶへ変換『想像力基礎ゼミナール』」
基盤教育研究センター教授　柳川　郁生　氏
4. 青森中央学院大学
「キャリア教育におけるアクティブ・ラーニングの
実践－HOT-A プロジェクト－」
経営法学部准教授　森田　学　氏
5. 国際教養大学
「国際教養大学の全人教育：
英語・留学・共同生活で世界標準を実現」
参事兼学修支援室長　須田　幸子　氏
6. 岩手大学
「いわて高等教育コンソーシアム
『地域リーダー育成プログラム』」
人文社会科学部教授　後藤　尚人　氏
【参加者】合計40人

(10) 学生FD会議
【開催日】平成30年12月15日（土）
【場　所】札幌学院大学
【内　容】「コミュ力って必要？！
－私たちが社会に出るために必要な能力とは－」
【参加者】38人

(11) 山形大学エリアキャンパスもがみ
フィールドラーニング共生の森もがみ活動報告会
【開催日】平成31年1月26日(土)
【場　所】新庄市民プラザ大ホール
【内　容】学生発表(７プログラム)

(12) 学生主体形授業合同成果発表コンテスト
【開催日】平成31年2月2日(土)
【場　所】山形大学小白川キャンパス

【内　容】発表(前半４チーム・後半４チーム)
総評・表彰式・写真撮影
【参加者】合計 46 人

(13) 第 22 回 FD ネットワークつばさ FD 協議会
【開催日】平成 31 年 2 月 16 日(土)
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
第 1 部　協議会
第 2 部　事例報告
1. 札幌大学
「「日本武芸文化論」と「日本武芸文化演習」から
日本の伝統文化を学生と共に考える」
札幌大学 FD 担当副学長　スポーツ文化専攻
教授　瀧元　誠樹　氏
2. 東北文教大学
「OST(オープンスペーステクノロジー)による FD 研修」
東北文教大学人間科学部子供教育学科
教授・副学科長　河合　規仁　氏
3. 仙台青葉学院短期大学
「地域社会との連携について」
仙台青葉学院短期大学事務局
長町キャンパス長　髙野　斉　氏
第 3 部　ワークショップ
第 1 分科会：FD･SD 研修会
第 2 分科会：学生の主体的な学び
第 3 分科会：大地連携
【参加者】29 名

(14) 大学・短大の学長等との面談
○訪問先　桜の聖母短期大学
訪問日　平成 30 年 5 月 11 日（金）
○訪問先　尚絅学院大学
訪問日　平成 30 年 5 月 18 日(金)
○訪問先　東北生活文化大学・東北生活文化短期大学部
訪問日　平成 30 年 5 月 21 日(月)
○訪問先　聖和学園短期大学
訪問日　平成 30 年 5 月 28 日(月)
○訪問先　羽陽学園短期大学
訪問日　平成 30 年 5 月 29 日(火)
○訪問先　仙台青葉学院短期大学
訪問日　平成 30 年 6 月 1 日(金)
○訪問先　東北文教大学
訪問日　平成 30 年 6 月 11 日(月)
○訪問先　新潟国際情報大学
訪問日　平成 30 年 6 月 14 日（木）
○訪問先　国際武道大学
訪問日　平成 30 年 7 月 12 日（木）
○訪問先　八戸学院大学
訪問日　平成 30 年 7 月 31 日（火）
○訪問先　八戸工業大学
訪問日　平成 30 年 8 月 1 日（水）
○訪問先　北翔大学
訪問日　平成 30 年 8 月 7 日（火）
○訪問先　高岡法科大学
訪問日　平成 30 年 11 月 20 日（火）
○訪問先　活水女子大学
訪問日　平成 31 年 2 月 5 日(火)
○訪問先　長崎国際大学
訪問日　平成 31 年 2 月 6 日(水)
○訪問先　高岡法科大学
訪問日　平成 31 年 3 月 22 日(金)

(15) 他大学等への講師派遣
○平成 30 年 7 月 17 日（月）
山形県立保健医療大学 SD 研修会講師
演題：「大学改革の時代に事務職員はどのような能力を
求められているのか」
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
○平成 30 年 10 月 22 日（月）
茨城県立医療大学 SD・FD 研修会講師
演題：「大学改革と授業改革」
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
○平成 30 年 11 月 5 日（月）
明海大学浦安キャンパス FD/SD 学長特別諮問会議主催
第 2 回 FD/SD 研修会講師
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
○平成 30 年 11 月 28 日（水）
新潟国際情報大学 FD 研修会講師
演題：「今、NUIS に必要な FD を問う」
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治

第２章

運営委員会

第２回　山形大学教育開発支援センター

教育関係共同利用拠点運営委員会

日時：平成 30 年 5 月 17 日（木）15:00 から
場所：山形大学小白川キャンパス基盤教育 1 会議室

議事：1. 平成 29 年度事業報告について
　　2. 平成 30 年度事業計画について
　　3. その他

運営委員
北海道大学准教授　山田　邦雅
東北大学教授　　杉本　和弘
名古屋大学教授　　夏目　達也
広島大学准教授　　佐藤　万知
札幌大学副学長・教授　小山　茂
羽陽学園短期大学教授　高桑　秀郎
最上地区市町村教育委員会協議会
山形大学エリアキャンパスもがみ
最上事務局長　森　洋一
山形大学教授　小田　隆治
　同　上　　栗山　恭直
　同　上　　千代　勝実
山形大学准教授　松坂　暢浩

【事業報告】

今回の事業報告のメインは「大学・短大の学長等との面談・提言」になる。訪問した大学は山形県内の各大学、東北地方、関東地方の大学のほか、九州地方の宮崎県の二大学、沖縄県の三大学など、全国を回った。この半年の学長面談でこちらの知見も進んだと思っている。最初の頃は先方も怪訝な顔をしていたのだが、こちらが正直に一生懸話すと、向こうも率直に話してくれて、様々な問題について相談したり、その打開策について語り合ったりしてきた。

このように平成 29 年度に行った学長面談で得た経験や知見をまとめ、チェックリストを作成した。平成 30 年度の学長面談ではこのチェックリストを学長にやってもらっている。

また、拠点の広報活動の一環として大学訪問を行っている側面もあるので、訪問した大学の紹介もしたいと考え、4 月から大學新聞に『大学訪問記』の連載を開始した。

平成 30 年度の事業計画は、FD ネットワーク"つばさ"の活動に加え、直近のものとして、6 月 8 日に金沢大学・大正大学と三校合同シンポジウム実施する。

【チェックリストの一部項目と解説】

『学生確保の現状について』

・今年の学生定員は確保出来ている
・過去三年間学生定員を確保出来ている
・これから五年間学生定員を確保出来る自信がある
三段階に分けて回答してもらう。

『教職員の体制について』

・教育改善改革の先進事業を自分の大学に適合するように加工できる教員もしくは職員が一人以上いる。

文科省が発信する教育改善改革の先進事業を鵜呑みにするのではなく、自分の大学に適合するように加工できる教職員が誰もいないわけにはいかない。小さな大学なら一人いれば良い。そういう訳でここに「一人」と記した。

・大学改革に対する突破力のある教職員が一人以上いる。

小規模大学においての事例だが、突破力のある教職員が一人以上いないと、学長からのトップダウンで改革に着手しても状況がすぐにフリーズしてしまう。打開策を提案しても実行出来ない状態なってしまう。

『入試と学生確保について』

・学生を確保するための「市場」、都道府県、高校のテリトリーを明確にしている。

地方に在って学生定員を確保している大学の学長に「学生確保するため地方にある大学は何をしたらいいのか」について質問した。周辺人口が多いことは利点であるが、やみくもに市場を拡大すればいいものではない。実例として、関東地区の大学が、毎週名古屋や仙台で入試を実施し無制限に市場を広げたが、受験生が集まらず職員の意欲低下に繋がってしまった。領域を決めてやらなくてはならない。

・学生確保のために地元の大学進学率を上昇させることを射程に入れている。

色々な大学を訪問すると、地域に十分な受験生が存在していない場合がある。学生確保のために他県にまで市場を広げなくてはいけないのだが、方法はそれだけではない。うまく地域の高校と連携していって、地域活性化に繋がる形で、地域の大学進学率を上昇させていけば、学生確保への打開策が出てくるだろう。

『広報について』

・学長は常に大学案内を持ち歩いて広報活動に勤めている。

例として、国際教養大学の初代学長である中嶋嶺雄氏のことが念頭にある。中嶋氏は常に大学のパンフレットを持ち歩いて、どこででも広報活動をやっていた。もう一つの例として、拠点の重点大学になってもらっている桜の聖母短期大学の学長は一ヶ月の間に 25 校の高校訪問を行っている。学長自らが高校に赴くと、学長が校長と面談している間に随行の職員は高校の進路指導教員と会えて、どんどんつながりが強くなったという。そう

いう形で、年間 300 校の訪問を目指して動いている。トップがこのように行動することが小さな大学には必要。

【その他】

札幌大学　小山

学長訪問を精力的にやっておられるが、営業企画の非常に難しい悩み、戦略についてお話されている。それらは FD・SD 以前の問題だが、そのことと拠点の事業とが、どのように関係するのか。

山形大学　小田

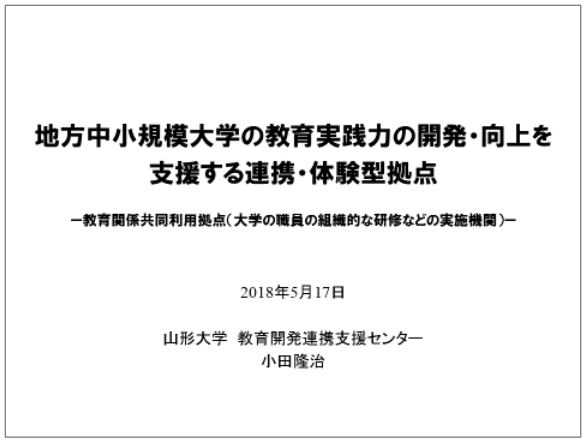
学生確保についての例になるが、普通に入試をやって学生を増やそうとするならば、商品、売り物が必要になる。大学の売り物は教育以外にない。ある大学は、学生数増加に繋がるような教育の売りとして、地域と連携した授業をやりたいと思っていたが、上手く実施出来ずにいた。そこで、山形大学でやっているエリアキャンパスもがみの話をしたら、それを参考にし、導入するという。このような形で、新しい教育を展開するきっかけとなる提案をしに行っている。

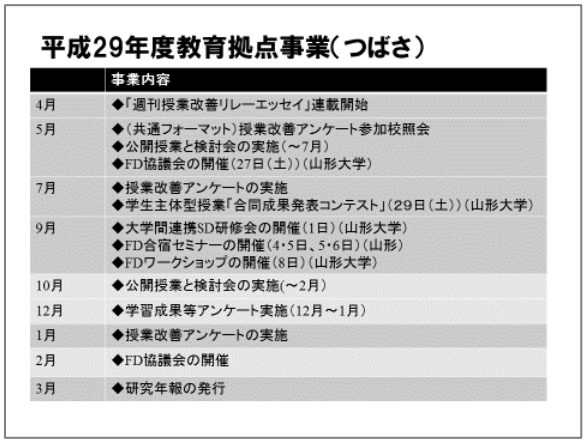
名古屋大学　夏目

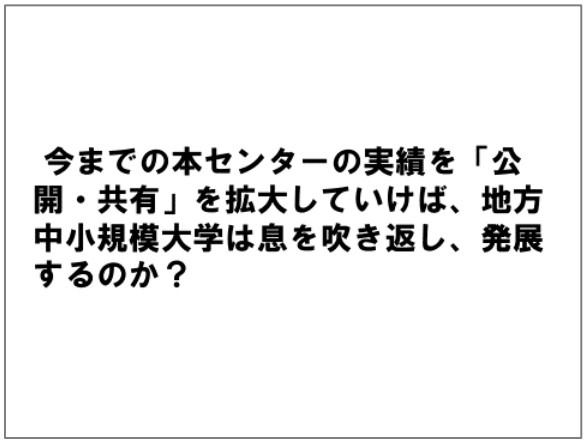
訪問する大学は、どのような分析をして選んでいるのか。

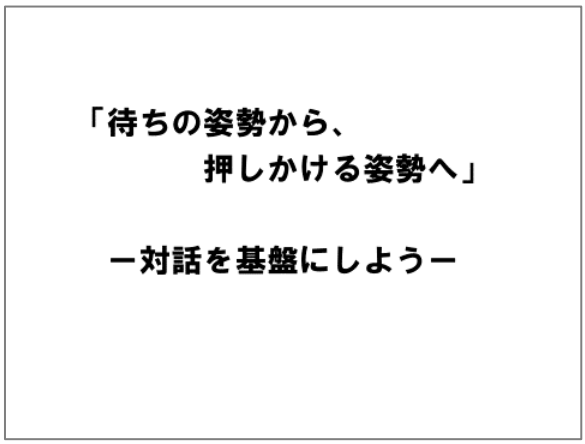
山形大学　小田

平成 29 年度の教育関係共同利用拠点事業として『全国の大学・短大へのアンケート調査』を行った。この中の問 49「山形大学の地方中小規模大学を対象とした教育関係共同利用拠点を活用したい」への回答を５段階にして、５は「是非したい」４は「したい」にしたら、7%は５、そして 14%は４をつけてくれた。これらの肯定的回答をした大学・短大から訪問している。









「待ちの姿勢から、押しかける姿勢へ」

1. 地方中小規模大学（短大を含む）の一覧表の作成
2. 地方中小規模大学等（全大学・短大）へのアンケート調査
   （状況調査、我々の拠点は必要とされているのか？）
3. 全国の大学の訪問調査・コンサルティング
   （すでに山形県内の国公私立の全大学を回り、学長たちのインタビューは終わった。11月は沖縄県の大学の学長に会い、FD座談会などを開催する予定）
4. 協力団体制度の確立（大学新聞社、ライセンスアカデミーなど）
5. 拠点活用重点大学制度の確立（東北文教大学など）
6. 拠点活用重点地域制度の確立（FDネットワーク"つばさ"、江別市など）
7. 支部長の設置（沖縄支部）

その他：■ホームページ
■パンフレット
■シンポジウム　平成29年12月9日（土）
■学生主体型授業合同成果発表コンテスト　平成30年2月3日（土）
（今年度は国からの予算配分はない）

学長等との面談・提言のために訪問した大学・短大

○富士大学　○山形県立保健医療大学
○山形県立栄養大学　○東北芸術工科大学
○東北公益文科大学　○東北文教大学・短期大学部
○山形県立米沢女子短期大学　○羽陽学園短期大学
○桜の聖母短期大学　○群馬医療福祉大学
○大正大学　○神奈川工科大学
○宮崎国際大学　○南九州大学
○公立大学法人名桜大学　○沖縄国際大学
○沖縄県立芸術大学

□共愛学園前橋国際大学　□松本大学

平成29年度教育拠点事業

	事業内容
9月	◆学生FD会議の開催（北翔大学） ◆大学間連携SD研修会の開催（1日）（山形大学） ◆FD合宿セミナーの開催（4・5日、5・6日）（山形） ◆FDワークショップの開催（8日）（山形大学）
10月	◆フィールドラーニングの開講 ◆学長訪問・面談・提言（以後ずっと） ◆公開授業と検討会の実施(～2月)
11月	◇全国の大学・短大を対象としたアンケート調査
12月	◆学習成果等アンケート実施（12月～1月） ◇シンポジウムの開催
1月	◆授業改善アンケートの実施
2月	◆FD協議会（FD/SD合同研修会）の開催
3月	◆研究年報の発行

地方中小規模大学・短大の大学改善・改革のためのチェックリスト

学生確保の現状（1～3）
1 □ 今年の学生定員は確保できている。
2 □ 過去3年間、学生定員を確保できている。
3 □ これから5年間、学生定員を確保できる自信がある。

Ⅰ 教職員の体制（4～14）
6 □ 教育改善・改革の先進事例を自分の大学に適合するように加工できる教員もしくは職員が一人以上いる。
8 □ 大学改革に対して突破力のある教員もしくは職員が一人以上いる。
12 □ アリバイ作りではない、実質的なFDを実施している。

Ⅱ 入試と学生確保（15～35）
16 □ 学生を確保するための市場（都道府県、高校）のテリトリーを明確にしている。
17 □ 学生を確保するための市場には、十分な受験生が存在している。
26 □ 学生確保のために、地元の大学進学率を上昇させることを射程に入れている。

Ⅲ 広報（36～44）
17
36 □ 学長は常に大学案内を持ち歩いて、広報活動に努めている。

Ⅳ 教育体制とその成果（45～60）
45 □ アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーは有機的にリンクしている。
50 □ 特色のある教育を行っている。

平成29年度の教育拠点の予算

学内処置により200万円を確保

（平成30年度は800万円がついた）

拠点の広報活動の一環として

『大學新聞』に連載記事「大学訪問記」

4月　自己紹介と大学訪問記の予告
5月　"つばさ"に新規加盟の沖縄県立芸術大学
6月　学長が一ヶ月に25の高校を訪問する
　　桜の聖母短期大学

○シンポジウム
「地域連携とフィールド・ラーニング山形から日本・世界を考える」

開催日時　平成29年12月9日（土）

午前の部　授業「フィールド・ラーニング」の見学
　　山形県金山町（遊学の森および道草ぶんこう）

午後の部　新庄市民プラザ（山形県新庄市）

司会	山形大学教授	栗山恭直
基調講演	山形大学教授	小田隆治
事例発表	東北芸術工科大学教授	山下英一
	沖縄県立芸術大学准教授	呉屋淳子
	山形大学准教授	滝澤匡
	長井市レインボー推進プラン協議会	小林美和子
	山形大学人文社会科学部1年	山本嘉太

金沢大学・山形大学・大正大学合同シンポジウム

大学組織変革は誰がいかに担うのか？
―「チェンジ・エージェント」の提案―

日時　2018年6月8日（金）　14時～17時半
会場　一橋講堂

第３章

三校合同シンポジウム

金沢大学・山形大学・大正大学合同シンポジウム

『大学組織変革は誰がいかに担うのか
－「チェンジ・エージェント」の提案－』

【開催日】平成 30 年 6 月 8 日(土)
【場　所】一橋講堂中会議場
【内　容】
・シンポジウム趣旨説明
金沢大学　国際基幹教育院高等教育開発・支援部門長
教授　吉永　契一郎
・オープニングトーク
「企業人、事務職員、教員への
トランジション経験からの FD・SD の考察」
愛媛大学　教育・学生支援機構副貴校教育企画室
特任助教　上畠　洋佑

・対話のアクティビティ(ワールドカフェ①)
「自大学の FD・SD の考察－何のためにやってきたか」
金沢大学　国際機関教育院高等教育開発・支援部門
准教授　杉森　公一
発創デザイン研究室・福井大学教職大学院
非常勤講師　冨永　良史

・三大学 FD・SD 事例紹介
1. 山形大学
「地方中小規模大学・短大を対象とした
教育改善･改革の支援システム開発とその展開」
山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治
2. 大正大学
「職員ビジョンに基づいた人材育成制度の
構築について」
大正大学　学長室　人事課　課長　森田　百合子
同　主任　杉田　美調
3. 金沢大学
「自律的な組織開発・人材開発のためのリーダー養成」
金沢大学 SUG 企画・推進室専門職員　松村　典彦

・対話のアクティビティ(ワールドカフェ②)
「自大学の FD･SD の省察－これから何のために何を」

・シンポジウム総括
山形大学　教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治

【シンポジウム趣旨】
金沢大学　国際基幹教育院高等教育開発・支援部門長
教授　吉永　契一郎

この研修は従来の学習観・研修観の転換ということを目標にしております。それからもう一つ、越境方学習というものを目標にしております。

まず研修観の転換ですが、これは現在大学で盛んに論じられているアクティブ・ラーニング型の研修を広げていこうということです。これまで情報伝達型あるいは講演型の研修は成果が薄いということが言われてきましたが、その形式を改革するには至っておりません。本日お越しいただきました皆様には、こういうテーブルのアレンジで研修にご参加いただきますが、これを契機に職員教員に関しても研修のあり方というものをもう一度考えてみたいということです。

それから越境型学習と申しますのは、職場や専門、あるいは大学を越えた対話の場を設けるということです。研修を高度化しようとすれば、できるだけ同じ種類の人間を集めて研修をしたほうが研修自体は高度化するのですが、それではなかなか得られない視点というものもあります。やはり、異質な方々との対話のなかから生まれてくる知見というものもあるわけですね。

私も毎年学会に出かけてまいりますが、そこでは、もちろん研究に関する知見を得ることを目的にしていますが、同時にネットワークを作ることや、他の大学の様子を知ることによって自分の大学の相対的な位置を知るということを心掛けております。以上が研修のスタイルに関することになります。

では、これらの手法を用いて、我々がどのような人材を育成したいのか、ということを申し上げます。それは、組織改革ができる「チェンジ・エージェント」ということになります。

この「チェンジ・エージェント」に関しては定義が様々で、これから皆様がいろんな定義をされて良いと思うのですが、私が一つ考えているのは、先ほどの越境型学習と関連することですが、越境型人材の育成です。

つまり、専門や部門、部署を越えた、あるいはそれらの組織同士を繋ぐことができる人材の育成が、これからの組織改革に必要になってくるのではないかということです。

これまで大学は、業務や専門を細かく分割することによって成果を上げてきました。ところが、最近のイノベーションの議論よく言われますように、これからは単に一つのことを高度化するのではなく、分野融合がイノベーションの鍵であると考えられています。二つの異なることを一緒にしていくことが必要であるということですね。

研究に関しては、これが非常に進んでおりまして、今、いろんな形で学際研究とか分野融合の研究を推進しようとしております。ところが、大学運営・事務組織に関して

は、まだまだ縦割りの構造が残ったままです。

もしこれが、越境型人材が育ってきて「実は二つの部署が同じようなことをやっている」とか「この部署とこの部署を一緒にすれば相乗効果が生まれる」というようなことが分かってくれば、もっと大学が良くなる可能性があるのではないか。私がこのシンポジウムに期待していることは以上になります。



【オープニングトーク】

「企業人、事務職員、教員への
トランジション経験からの FD・SD の考察」

愛媛大学　教育・学生支援機構副貴校教育企画室
特任助教　上畠　洋佑

私のほうでは、企業、事務職、教員といろんな移行経験をしているので、体験的に FD・SD の考察をさせていただければということで、登壇させていただております。

まず、私自身どういう経験をしてきたかということを端的にお話して、どういう経験のなかから知見を育てたかということを後半にお話しします。

私の企業経験ですが、総合物流会社という、私の出身である静岡県の地元企業で、コンテナ船のプランナー、現場監督官というものをやっていました。今の仕事からは想像できないかと思いますが、先端に鉄板が入っている作業靴を履いて、無線で「何々に問題がある」と連絡が来ると「わかりました」と現場に走っていくというような仕事を 2 年間していました。

その後に縁があって、浜松市にある私学の聖隷学園というところに転職をして、その後、関東学院に転職しました。この二つの学校法人での主な業務としては、学科や博士後期課程の設置認可申請業務です。あとは中学校新設ですね。附属の中学校を作るにあたってのマーケティングみたいな仕事もしていました。関東学院では IR です。当時、大学総合支援事業が始まった背景を踏まえ IR 推進室ができたので、その中で IR という仕事をしてきました。

その後、金沢大学で公募がありましたので、IR の経験を活かして IR 担当、学習成果の可視化というところで、任期付きではあるのですが教員に転身するという経歴でございます。

金沢大学では「教学 IR」と言うものをしていて、そこでは FGI(フォーカスグループインタビュー)という、学生にインタビューをしながらいろいろ調書をしたり、ラーニングエスノグラフィという、学習環境が実際にどういうふうに使われているかあぶり出すということをやっていました。あとは今回教育関連拠点事業に支援していただいて、ケースメソッド、SD、ALA といったものをやっていたところです。

学歴については広大(広島大学文学部)、東大(東京大学大学院)、早稲田(早稲田大学大学院)というふうに、学問の領域でも越境していることをお話できればと思います。

今回、私のほうから『あなたは FD・SD についてどのような考えを持っていますか？』　という大きな問いを投げさせてもらいます。講演を聴きながら、ワールドカフェを聴きながら、もう一度この問いを問い直していただくという作業をやっていただければと思っています。

1．参加者のプロファイル紹介

最初にシンポジウム参加者のプロファイル紹介から入りたいと思います。あらかじめ収集した参加者の皆さんの情報を、私のほうでまとめました。

大学としては 83 大学からいらっしゃっています。申込者数は、集計時点では 108 人。国立 20、公立 2、私立 78、その他 8 は企業や政府関係者の方がいらっしゃっています。地域別に見ると、北は北海道、西は長崎の方がいらっしゃっています。東京、千葉、埼玉の方が多いですね。大学の規模も調べてみましたが様々です。大規模校もありますし、小規模大学もあります。トップ(経営者)の方もいらっしゃいますし、ボトム、一般職の方もいらっしゃいます。

最初、現場の方しか来ないんじゃないか、ミドル(管理職)までしか集まらないんじゃないかと話していたのですが、100 人以上の方の参加をいただいて、いろんな階層の人が来ているということで、ワールドカフェをするうえでの多様性が生まれるのではないかなと思っています。

2．シンポジウム趣旨・概要の説明

私のオープニングトークの目的は『参加者に FD・SD の新たな眼差しと刺激を与えること』　だと思ってください。

できるだけ切り口を変えて、皆さんの、この後ワールドカフェをやる上での話のきっかけになるようなものをお話したいと思っております。このオープニングトークの後、ワールドカフェ 1 で意見交換をし、もやもやっとしたところで参照事例として三大学の事例紹介があって、最後にもう一度ワールドカフェ 2 で振り返りを行う構成になっております。一見ばらばらに見えるようですが、入念に練ってシンポジウムを構成していることをご理解いただければと思います。

3．企業人・事務職員経験からの知見

いよいよ私の経験の話に入って行きたいと思います。

まず企業人として企業に勤めた経験と、事務職員の経験からの視点ということでお話したいと思います。

最初に物流会社に勤めていました。巨大なコンテナ船が毎日毎日やってきます。日本郵船の世界一周をするような大型船に、ガントリークレーンと呼ばれる大きな機械をプランニングしたり、現場作業監督をしていました。

皆さん企業にはあんまり職階が無いというイメージがあるかもしれないですけれども、港湾職員、総合職、一般職といわれる、様々な業種の職種のカテゴリーがあるというところを紹介したいと思います。

ここは、一船仕事をやるとどれくらい儲けがあるか、すぐ可視化する世界だったかなと思います。そこは大学の教育や事務仕事のような、すぐに自分のやった仕事がカウントされない、可視化されにくいものとは違う点ではないかなと思います。

物流会社に二年勤めて辞めるときに、私は当時の課長に「三年で社員が辞めると企業は一千万の損失になるんだ」と言われました。新人を採用して育成するということが、どうやら投資としてあるのだと、辞められると失敗だという視点があるのだと知ったのが、企業での経験としてあったかなと思います。

その他の経験として、私はここで通関士という国家資格を取れる状況にあったのですが、入社した年度は自社研修に自由公募で参加できたんですね。ですが、二年目から全総合職が受講必須になりました。これでモチベーションが低下したんです。私は一年目の講習を受けたんですけれど、そのときの試験では通関士に受からなかったんです。あんまり得意じゃなかったんでしょう。その後、二年目に義務で任務として研修に行きなさいと言われたことが、非常にモチベーションの低下に繋がりました。

それを振り返って考えた時に、ある概念にぶち当たったというか、気づいたことがあります。それは人事権、もう一つはキャリア権という概念です。

人事権というのは、企業でよく「人事権の発令」というふうに使われるものですけれども、労働者の地位の変動や、処遇に関する使用者の決定権限のことですね。例えば今日、業務としてこのシンポジウムに出張されている方、いらっしゃいますよね。あとは、こちらはキャリア権に関係するのですが、ひょっとしたらお休みを取られて自主的に来られている方もいると思います。このように、業務で来るようなものを「人事権による発令による出張」と言います。キャリア権というのは「個人の主体性と幸福追求の権利」という憲法にまでさかのぼるそうです。憲法上の規定を職業キャリアの視点から統合した権利概念であるということで、まだ法律化はされていないですが、こういった人事権とキャリア権と呼ばれる二つの概念があるということを、頭の中に入れていただければと思います。

これらのキーワードとしてどういったものが上げられるかというと、人事権の方は「業務命令」「義務」「指示」「職場還元」「人的投資と回収」あと「全体研修・職階別研修」　キャリア権の方は「自己実現」「キャリアプラン・キャリアデザイン」「自発性」「社会人大学院」「資格取得支援」「自己選択」　こういったものがキーワードとして上げられるかと思います。

この二つの概念整理をもって、通関士に関する研修を自分の頭のなかで整理したときに、キャリア権による研修、自己実現をしたいと思って受けた研修から、人事権による研修に変った、自己実現から業務指示へ変わったことによって、モチベーションが低下したんではないかなと思いました。

FD・SD という組織開発・自己開発を考える上で、このキャリア権と人事権を通して捉えてもらうと、皆さんの自大学の FD・SD への考え方が少し整理できて変わるんじゃないかなということで、自分の経験からお話させていただきました。

さて、今度は聖隷学園に転職しますが、ケースメソッドとして、教職協働のケースを用いて、私が一皮向けた経験からの知見をお伝え出来ればなと思っております。

ケース１「設置認可に関わる教職協働の失敗」

簡単に説明させていただきたいと思います。

学校法人Ａが設置する大学では、私が転職した次年度に大学院保健科学研究科（博士課程後期）を開設する準備を進めていました。私は企業から転職してきて法人事務局の企画部として配属され、設置認可申請の主担当の役割を、急にやることになりました。当時 27 歳だったのですが、前任者からの引き継ぎが無いなか、法人事務局長、事務方のトップに「過去の申請書と文部科学省が出しているマニュアルを見て、とにかくやってくれ」と言われました。

設置認可申請に関する決定は、理事長、専務理事、法人事務局長、学長、看護学研究科長、社会福祉学研究科長、リハビリテーション学研究科長、このメンバーで設置準備委員会を進めて決めていきました。リハビリテーション学研究科長が申請する大学院の保健科学研究科長、リーダーになる予定の人でした。

申請に関する事務的な作業は淡々とやれば良いのですけれど「設置の趣旨」というのがあるんです。これをゼロからひねり出して作文していかなきゃいけない。この作業をしているときに、新しい保健科学研究科長の予定者の人が、あからさまに私を学士卒だろうという形で見下して「事務にアカデミックな視点はない。研究というものが分かっていないから設置の趣旨なんて書けるわけがないだろう」とずっと言われていました。非常に冷遇されていました。そういったなかでも、反骨精神で食らいついていって、書いては修正され書いては修正され、いろんなことを調べてを繰り返し、少しずつ完成に向けて徐々に進めていきました。

ここで一つの事件が、イベントが起こったのですが、本筋と乖離しますので、今回は触れないことにします。

この設置認可申請に関する業務を経験したときに、私自

身、ひどく悪計だと振り返って思いました。設置認可申請というのは、全学体制でやる、それこそ教員組織・職員組織・経営者を含めて、大学院、学部、学科を作っていくという業務になります。

これは教職協働の一つの例であるという中で、ここでお伝えしたい点は、先生からの冷遇をバネに何回も対話をしていったという点です。「先生そんなこと言わないでください」とか「あんまり文章上手くないかもしれないですけど見てください」とか言って、「文章上手くないな」と言われながら進めていった。それが対話ですね。『越境しながら対話をしていく』ということをやっていって、結局、設置認可申請は無事に通りました。

ここでは「グリッド、レジリエンスの訓練」というキーワードをあげています。これは我慢強さとか、復活、いろいろ厳しいことを言われても、それが訓練になるんじゃないかな、という経験として上げさせてもらいました。

このあと私は関東学院に移って東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コースに入るんですけれど、このときに冷遇されたことがきっかけで大学院に進学して、金沢大学そして愛媛大学という、今の研究者・教員の道に繋がったというところがあって、禍福はあざなえる縄の如しでした。物事は表と裏があるなというのをこの経験から感じた次第です。

この後、関東学院に転職しました。ここでは人事権による研修についての話になります。

この転職時点で、私は社会人経験五年くらいだったんですが、中途採用として初任者研修を当てられました。それまで設置認可の書類とかを書いていたのに、新人とともに文書作成のワークショップをしながら、なんで僕はこんなことを夏一日かけてやらなきゃいけないのかなと思いました。皆さんの中にも同じような経験をされたり、疑問に思われた方がいるんじゃないでしょうか。

こうなった時に「なんでですか」と聞いたら「平等な機会を与えなきゃいけないんです」と言われたんです。それで私は、それが個人・組織にとっての『不要な平等性』を生んでいるんじゃないかなと疑問を抱きました。

今も愛媛大学で新任向けの四国の国立大学の研修をしているんですが、やっぱり中途採用とかキャリアがある人でも同じように平等に初任者研修をやっているんですね。大学が変わってもこの研修自体の平等性というものは常につきまとうようです。

そこで思ったのは、実現は難しいかもしれないんですけど、SDには個人の把握が必要ではないかなということです。「中途採用だから、この人にはこのスキルはあるから、必要ないから受けなくてもいい」とか、このような形でまず把握して、そこから意志決定して、必要な研修を受けるというふうにやっていくと、満足度とかモチベーションに繋がるんじゃないかなと思っています。

私は重要な概念として「アセスメント」という概念をよく使います。現状把握ということですね。その人がどういう状態であるのか、どういうスキルがあるのかというのを、査察というのか、評価とか状況判断というふうに訳せばいいと思うんですけども、そういうことをする行為、機能のことをアセスメントと言います。こういったものを人事のFD・SDでは受容する必要があるんじゃないかなと思っております。

私は関東学院にいながら大学院の大学経営・政策コースに進みました。幸いにも、関東学院の皆さんは非常に好意的で、是非頑張ってくれと私のキャリア権による研修の選択を強く後押ししてくれました。私自身もモチベーションが上がりましたし、帰属意識として、組織にいろいろ貢献出来ればなということにも繋がっていったと思います。

少し話はずれるんですけれども、修士号を取って、あるとき式典で学長に呼ばれ「君、大学院でマスター取ったんだよね。今度大学でIR推進室を作るから、統計とか知っているでしょう。配属するからよろしくね」みたいなことを秘密裡に言われました。その学長は経済系の、会計学の先生だったんですけれども、こういったキャリア権による研修は、ややもすると事務組織からは「お勉強に行っているんじゃないか」という批判になったりもするんですけれど、実は教員から見るとシグナルになっている。「こいつこのようなことができるんじゃないか」というシグナルに繋がったりもします。大学院に進んでマスターやドクターの経験がある他の職員の方から話を聞くと、教員の方から「どんな研究をしていたのか？」と近寄ってくれるようなこともあるようで、教員という人たちとの近似性・同質性を獲得できるんじゃないかと思います。

4. 事務職員から教員への移行経験

事務系の職員を経験したうえで教員組織を見る視点を得るにあたり、劇的に重要な経験になったのが、金沢大学における『学生支援部署のインタビュー調査』というものになります。

これは学生支援部署をぐるぐる回って、学習支援に関する業務について聞くんですね。そもそも教員が、アポイントを取っているとはいえ、急に事務組織にやってきていろいろ聞くと、すごく最初は警戒されるんですよ。お前は何者だと、すごく表層的なことしかお話ししてくれないんですけれど、いろいろ自己開示しながら身近に話していくと、いろんなことが分かってくるというところがあります。今まで事務組織の中にしか居なかった自分が教員になって、改めて事務組織を眺めてみると、こういう特徴があったんだなと分かった所があります。そのことを踏まえて、事務組織と教員組織の見方の違いとはどういうものがあるか、少し整理してみました。

教員組織、教員は、よく言われる「個人商店」であったり、「緩やか」とか、「階層性が無い」上司部下というものがあるようで無かったりします。あと裁量労働ですね。時間に裁量権が与えられているのが、外形的な特徴として上げられると思います。

反対に事務職員の組織としては、まず「組織的に何かをやる」という特徴があります。あとはラインと呼ばれる、課長・係長・主任というような一本通っている順序性があって、それに呼応する形で役職の権限が与えられているかと思います。勤務の体系としては、固定制であったり、フレックス制ですね。

特に事務組織としての気づきとしてあげられればなと思うのが、教員から事務組織へは『「伝統的」階層的権力』という、いわゆる「先生が言ってきたから」みたいなところが、未だに伝統的なものとしてあるんですけれど、事務組織から教員組織へは集団性の力があると言うことを強調したいなと思います。

実は、教員が一人で事務組織に「この出張について～」「この科研について～」と聞くんですけれど、聞いている事務の人の後ろに、課長さんとか係長さんとか、いろんな人が控えているのが見えてくるんですね。そうすると、何となく怖さを感じる。集団的なパワーを感じるんです。これをどう解釈すればいいか分からないんですけど、そういった力を持っていることを、事務職員の人は意識すると違うんじゃないかなというところですね。

新規プロジェクトの立ち上げについてちょっとお話をさせてもらいます。例えば、今回金沢大学の拠点事業というものをやりました。拠点事業は新規プロジェクトです。ここに『葛藤のダイナミズム』というものが生まれてくる。一つの軸が『革新性』。新しいものを作ろうというのが教員側の考え方。事務組織はどちらかというと『永続性』ですね。永続性を担保する、ずっと続けていくということに特化した組織です。こうなったときに、この葛藤で新規プロジェクトは行ったり来たりするんです。

今回拠点の事業をやって感じたことなんですが、教員側は、永続性のあることは苦手なんですよ。構造化して、長く繋げていく、ずっとやっていくということが非常に苦手だというところがあります。それが得意なのが事務組織だということを意識してもらうのが重要かなと思います。ただ、このダイナミズムで行ったり来たりして、何かを決めなくては行けないときに必要なのが、シンポジウムタイトルでずっと言っているような「チェンジ・エージェント」が必要じゃないかと思います。

それを誰が担うのかということは、一つは私や吉永先生が所属しているようなセンター系の教員ですね。いわゆる部局と呼ばれる学部ではないところの、FD とか SD を担うところの教員が一つ役割を果たせるんじゃないかなと思っています。教員ですれけど、学部と事務組織の中間に位置しています。あとは職能開発、FD・SD が主業務であると、何かを発展させるということへの意識、スキルがあるというところです。そして、教員と職員双方に理解がある。

もう一点「越境経験者、または可能者」を利用する。可能者としたのは、職員も教員も越境できる人っていると思うんですね。私学によっては、高等教育センターの職員の人は越境者としていろんな部門を繋いで、先生と協力しながらやっていくというのを、何例か私も見てきています。そういったところの、部署間を越えられる人がいる所を見つけるということが、FD・SD とか新プロジェクトを詰めていくうえで大事かなと思います。そういった人たちは教員と職員のトリセツを持っていると思うんですよ。事務組織の特徴とか、こういった流れで意志決定していくとか。こういった視点を持つといいんじゃないかと思っています。

5. 考察とまとめ

一点目ですね、冒頭で言った設置認可の経験、事務組織インタビューの経験で、いろんなことを聞いて、いろんなことを会話して時間がかかりました。時間がかかって疲れるんですけど、対話は大事です。本当に。対話の重要性をお伝えしたい。

皆さん、なんで今日ワールドカフェをやるのか疑問だと思うんですけれど、こういった対話の経験をトレーニングの場として意識していただくといいんじゃないかと思います。あとは自組織から離れた越境の経験ですね。今日は皆さん業務から離れて OFF-JT として来られていると思います。こういった経験も重視していこうかと。あとは自己概念。大きな問いとして、FD・SD をどうのように捉えていますかと投げかけましたね。こういうことをワールドカフェの場でぶちまけてください。いろんな考え方を持っていると思うんですよ。そのために自己概念を開放して、共有して、新しい発見があるんだと気づいてもらいたいという風に思います。

二点目、『能的視点から人間関係的視点へ』。先ほど言ったような、中途入職者にも新任者研修をやっていくというような視点。今は教育でも「教育の個別化」と言われています。一人一人にあったオーダーメイド型の教育をしましょうねと言われています。だったら事務組織・教員組織も個別化したらどうですか、という視点ですね。既得スキルの確認をアセスメントすること、全学 FD・SD の機会を検討することが大事ですね。あとは対話による合意形成。これのイメージするところは看護師です。私、看護師の研究をしているのですが、看護師さんはひと目で患者を数十ヶ所アセスメントするそうです。そのような視点で、他者を、あるいは FD・SD を、記号として捉えるのではなく、対面した人に対して、人間関係として、どのような背景があるのか、この人はどのように思っているのかというところを理解してもらうと言う視点を持ってもらうと、FD・SD のとらえ方が変わってくるんじゃないかなと思っています。

三点目、『自己裁量権の測定』です。自大学に戻って、現実的にできるかできないかということがあったときに、自校セルフアセスメントとして、自分の環境状況を把握する上で、それの実現まで何人の意志決定が必要かとうところを考えてみるといいかなと思います。もうちょっと生々しく言うと、何人に妨げられて何人に怒られそうか、というところが最終的な測定なんじゃないかなと思います。

最後に、観察はしても良いが評価はしない。評価しても

良いと思うんですけれど、やっぱり自分と同一性の近い者に対して評価が厳しくなるんです。そういった面で、私はこういういろんなところでFD・SDをするんですが、物見遊山というか、値踏みの視点でくる人が時々いるんですよね。一つの人の在り方としてはありかなとも思うんですが、対話を重視している者としては、ちょっとそういう値踏みの視点を改めてもらって、是非今日関わった、縁を持った者として、いろいろ意見交換をして、対話をして、全ての大学を、全ての高等教育を良くするという方向性だけでも共有するといいんじゃないかなと思っています。

もう一度、大きな問い『あなたはFD・SDについて、どのような考えを持っているでしょうか？』

ご静聴ありがとうございました。



【事例発表】

1. 山形大学

「地方中小規模大学・短大を対象とした
教育改善・改革の支援システム開発とその展開」

山形大学教育開発連携支援センター長
教授　小田　隆治

我々、山形大学教育開発連携支援センターの主要なFD・SDの開始年度というものが資料に入っていますけれど、2008年からやっています。私が初めて関わったのは2000年、平成12年に「学生による授業評価」と「公開授業と検討会」を始めました。その「公開授業と検討会」を始めたときに、学外で轟いちゃって仕方がないから県内の大学さん、高等教育に興味のある方を呼びましょうということで、授業を公開して、私の250人の学生がいる授業に40人くらいの教職員さんが来られました。

こういう形でずっといろんな大学さんに開いてきた活動をやっております。平成15年からはFD合宿セミナーを他大学に公開。平成16年からは「地域ネットワークFD“樹氷”」で、県内の大学・短大とのFD連携、FD技術転移。そしてこのたび、本センターが文科省の教育関係利用拠点に認定されました。この拠点名が「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」と長くなっておりますが、ターゲットはどこかというと、地方の中小規模大学・短大にあるということです。はっきり言って一般的なものではありません。

我々山形大学がFD・SDを開始した2000年当時は、FD・SDというものは単なる授業改善ではなくて、これは教育の、大学改革のムーヴメントだと私は思いました。

平成16年に「地域ネットワーク樹氷」というのを山形県内6大学で作ったんですけれど、それを発展させた形で、平成20年3月に「FDネットワーク“つばさ“」というのを、北海道・東北・関東の34大学からスタートさせました。34大学からスタートして、今年沖縄県立芸術大学が加盟して51大学となりました。年間のFD・SD事業を、いろんなことを共通のフォーマットでやっていくという形です。

特に特徴的なことは、山形大学方式の統一フォーマットによる「授業改善アンケート」というものを、北海道から沖縄までの大学・短大16校で行っております。これは公開しておりまして、報告書に全部の概算が書かれております。このような形で我々の授業評価というものが公開されております。平成12年のときからかなりラディカルな形で公表しております。学生掲示板にも告示しております。

平成24年度に大学間連携共同教育推進事業に採択されましたので、そこで統一フォーマットによる「学習成果等アンケート」も共同実施しております。これも報告書に公開しておりますので見てください。そしてこの学習成果等アンケートも、いろんな大学共同でやっておりますけれど、『あなたは本学に入ってよかったと思いますか』という設問を5段階で評価してもらったりしています。

さらに、泊まりがけの「FD合宿セミナー」というものを平成13年から開始し、平成15年からよその大学さんも受け入れてやっております。どういうことをやるのかというと、最近は専門家を呼んで、障がいのある学生への配慮ですとか、アクティブ・ラーニングの模擬授業をやってもらっています。我々としては、FDにアクティブ・ラーニングを取り入れてやるというのはショックでした。

また「学生FD会議」というものを平成17年くらいから山形県内でやったのですけれど、それがFDネットワーク“つばさ”になりましてから、北海道でやるようになりました。今年は札幌学院大学で、テーマ「コミュ力って必要？！社会に出るために必要な能力」ということで、“つばさ”加盟校だけではなく全国に開いておりますので、是非ご参加ください。これは宣伝になります。

次、これが最近おもしろいんですが、新しいFDとアクティブ・ラーニングの可能性を開くということで、学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」というのをやっております。それぞれの授業を持ち寄って、学生たちが10分間発表をします。そして学生も参加して1位、2位、3位までの順位を決めていく。これを見たある大学の教員さんが感動して、自分の大学にこのコンテストを持っていくんですね。最初はみんなに反対されたんですけれど、とにかくやってみようと。そしてやってみたら少し賛同者が出て、そうして教育というものの見直しが少し進んでいくんです。

シンポジウムとしまして「地域連携とフィールド・ラーニング」をやりました。山形大学ではエリアキャンパスもがみと言って、県内北部の新庄市を中心とした最上広域圏の８市町村をバーチャルキャンパスと謳って、いろんな活動をしております。正規の授業として年間 200 人の学生が訪れているんですけれど、こういうフィールド・ラーニングというものをどのように展開するかという話もやっております。いろんな授業をやって、地元の人たちとの交流もしています。地元の過疎化が進んでいるのが端的に分かるような地域でフィールド・ラーニングをやっています。

今年の「大学間連携の SD 研修会」今年は９月７日にやります。仮テーマは『大学改革の時代を突破する職員になる』ですけれど、是非ご参加ください。過去に評判になったテーマ『あっとおどろく大学事務ＮＧ集』などは、ご覧になった方もいるでしょう。他には『大学職員リーダーシップの醸成』とか、いろんな形のものをやってきました。毎年テーマを変えながら、様々な大学さんが参加されています。去年は『学生獲得のための大学職員の企画力と行動力』という形で、参加者の満足度が 5.66 となっております。かなりアクティブなものになっております。

あとですね、今日のシンポジウムも教職員一緒にやっておりますが、「教職員の合同研修会」というものがあります。FD ネットワーク“つばさ”の信頼を基盤として、いろんな分科会、ワームテーブルに分かれて、半日掛けてやっております。ネットワーク“つばさ”の新しい職員さんに「教員とまともに、対等に話せる場はここだ」と言われました。そういう機会の場です。「FD ワークショップ」これも 9 月 14 日にやりますのでご参加ください。

このようにして我々は 51 大学からなる FD ネットワーク“つばさ”を基盤としながら、大学間の連携を取り、いろんな大学さんを巻き込んで、別に“つばさ”に加盟しなくてもいろんな活動を一緒にやっていっているところであります。

そうしたときに新たな疑問が生まれました。今までの本センターの実績を拡大していけば、地方中小規模大学・短大は息を吹き返し、発展していけるのか？というのが、拠点になったときに新たに我々が考えたことです。

これだけで十分じゃないかという時代認識ではもはや無い、地方中小規模大学・短大の危機というのはそういうものじゃないから、我々としては「待ちの姿勢から押しかける姿勢へ」と言う形で、こっちから行こうじゃないかと、一つのスタイルを導入しました。

真っ先に始めたのがなにかというと、全国の大学の調査を行いました。地方中小規模大学がどういう状況におかれているのか、報告書の後ろにカラーページでまとめてありますので、あとからご覧ください。

あとは、全国の地方中小規模大学・短大の訪問調査、学長等との面談、コンサルティングみたいなことをやっております。今もいろんな大学さんに行っております。この間は学長さんに会って四時間も話をしました。お茶一杯でトイレにも行かずに。

我々がどうしたシステムでやっているのかというと、やっぱり、地方中小規模大学では、個別の大学・短大による支援が絶対に必要なんだという話になりました。私は今まで教職員の研修会にいろいろな形で講師に呼ばれて行っておりまして、幹部職員のものも頼まれたりしましたけれど、こういうのが一体化しなくてはならない。学長のところに行っていろいろと話をしているんですけれども、最近ですと、教職員の話と学長の話とを一体化させて行うようにもなっております。

今までの話は我々がやってきたことですけれど、本日のシンポジウムのテーマは『大学組織変革は誰がいかに担うのか？－「チェンジ・エージェント」の提案－』ということでした。

これを読み直すと、確実に、小規模な大学・短大の学長は「チェンジ・エージェント」でなければ人数が少なすぎてダメなんですね。大学・短大によっては十数人の教員に十人くらいの職員のところが結構あります。そういう所では誰がチェンジ・エージェントなんだって言ったって、チェンジ・エージェントの定義も難しいですけれど、少なくとも今私の頭の中にあるのは、スケール感から言って、中小規模大学をこれから潰さずに発展させられる人がチェンジ・エージェントです。

学長等を対象としたチェックリストというものを作りましたので、設問の一部をご紹介します。

「大学改善・改革について、新しいアイディアを発想する教員もしくは職員が一人以上いる」「文科省などから発信される最新の情報を迅速かつ正確に収集できる教員もしくは職員が一人以上いる」「教育改善・改革の先進事例を自分の大学に適合するように加工できる教員もしくは職員が一人以上いる」ここの設問をわざわざ設けているのは、他所の大学から持ってきた事例を「うちの大学じゃできないじゃん」と言ってふてくされる教職員がいますけれど、当たり前です。大きな大学の事例を小さな大学でそのままは出来ません。自分の大学を知っているのは自分達です。これだけの矜持は持ち得ないとどうしようもない。そうしたときに、自分の所に合わせて加工出来るかどうかがすごく問われるんですね。

次の設問「新しい事業に対して実務遂行能力に長けた職員が一人以上いる」基本的に皆さん暇ではありません。改革の時の新しい仕事は負荷になるんです。これに対する使命感や能力の高さが問われているんです。「GP や AP などの教育関係の事業の申請書を書き、採択され、事業を遂行できる教員もしくは職員が一人以上いる」そしてそれらの集約として「大学改革に対して突破力のある教員もしくは職員が一人以上」いないとどうしようもないんです。

「理事長－学長－幹部職員の関係は良好である」これが良好でないと、一般職員へのトップダウンでやっても継続しません。そして、学長が授業を教える訳ではありません。

学長が入学生を引き連れて来たって、改革は全然地に足がつかない。

仕事に必要な能力は「Science」「Kraft」「Art」と言うのは良く言われます。「Science」（知識・知恵、論理）は学校教育や研修で身につきます。「Kraft」（技術・経験）というものは、職場について言えば、皆さんの経験です。OJT や人間関係から生まれます。この「Kraft」こそが信頼なんですね。そして「Art」（感性・直感）。難しいところがこの「Art」なんですが、これこそが改革をやる「飛躍」なんです。日常とは違います。ここを身に付けさせるのは、シンクタンクの親しい人に聞いても難しいと言います。これはかなり難しい、けれどチャレンジしないといけない。特定の人じゃないんです。チャレンジして、十人や百人のなかから誰かが出てくるか、ということなんです。一人だけが試すことでも、一人だけが思い上がることでもないと、私は思っています。

仕事に必要な能力、もう一つは「愛校心」そして「集合知」です。個人的な能力も大事ですが、集合知というものがすごく大事になってくる。そして「広い視野」（地球的視野）、と「深い思考」（歴史的視野）。今の、現代の地球の人口だけじゃなく、今までどれだけの人間がいたのかという世界の話を、それぞれが地球的歴史的視野を持つことが大事になってきます。我々はこの二つをダイナミックに合わせながら、大学の改革、高等教育がより良い方向に進むのを助けて行きたいと思っています。



2. 大正大学

「職員ビジョンに基づいた人材育成制度の構築について」

大正大学　学長室　人事課　課長　森田　百合子

同　　主任　杉田　美調

森田

ただいまご紹介いただきました大正大学の森田と申します。本学の事例紹介は森田と杉田の二名で発表させていただきます。

まず私のほうからは「職員ビジョンに基づいた人材育成制度の構築」にあたっての、概要と経緯についてお話させていただきます。

資料にもありますように、2015 年度から 2018 年度にかけまして、人事制度改革というものを、様々な取り組みを行ってまいりました。まずは人事考課制度の導入。また、職能等級基準書というものを策定するという使命を与えられて、課長職を中心に職能等級基準書を策定してまいりました。また、人事考課制度等の導入に伴い、2016 年度には賃金制度の改定しようと、また年間休日が他の大学さんより少し多いんじゃないかという疑問もありまして、それのほうの削減もしようと、抜本的な勤務体系まで改革をしてまいります。そして 2017 年度には職員ビジョンの策定をしています。

実は研修体系を整えることが先に進んでしまったんですけれど、職員ビジョンとして、我々事務職員が最終的に到達すべき目標、ゴール設定がなかったんですね。そのために、職員ビジョンを策定しようということで『大正大学職員のあるべき姿』というものを明確に示すに至りました。

さらに 2018 年度には、これまで研修体系そのものはあったのですけれども、もう少し職能と技術であるとか、『職員のあるべき姿』の、私たちの目的とする職員ビジョンをきちんと精査するようなものを構築していこうではないかということで、研修計画と研修の達成目標の設定ということで、それらが 2018 年度にきちんと体系化され、今その運用しているという運びになります。

この後、杉田のほうから研修体系についてお話をしていきますが、まずその研修に関わるところで「職能等級基準書」というものについて、簡単にご説明いたします。

これは、大学の求めている役割ですとかスキルを等級別に明示したものになっています。部局別、それから職員共通の態度、行動基準、また管理職の基準書という、そういった構成で作成しています。

部局別の基準書では、事務文書規定というものがありまして、そちらに明示されている、各部署で行う業務内容を、等級ごとに求められているスキルを具体的に明示するかたちで表現しています。例えば「三年目までの職員であれば、こんなことができる、こんなことができなければいけない」といった、いわゆる卒業要件を具体的に明示したものになります。これらに基づきまして人事考課を行ったり、あるいは研修体系にも反映していくというかたちで、職能等級基準書というものを制定し、活用しているという状況です。

これまで様々な人事制度を行ってきたんですが、2009 年 3 月に「中期マスタープラン」ということで、2016 年度までの事業方針が出されました。

そこに事務局の執務指針という形で、管理職とそうではない職員たちの態度・資質というものが明示をされております。その後、2013 年の 10 月に理事長からの諮問という形で、人事にあたる部分について「教職員の資質向上のための総合的な方策」をきちんとやりなさいと、計画的になっていないですよ、という諮問を受けました。それに対する学長からの答申ということで、人事の採用、異動、昇格、研修、あとは人事考課等について抜本的な改革をしていく

ことになり、2014 年度 6 月から人事制度改革検討会議というものを立ち上げ、改革する目的、改革の『5 つの方策』というものに則って、冒頭で説明させていただいた人事考課制度を抜本的に改革して、制定をして、今運用するという運びになっております。

以上ですが、簡単な人事制度の経緯と概要についてお話をさせていただきました。次に研修体系についてお話させていただきます。

杉田

ここから私が研修の体系化についてフォーカスしてお話させていただきます。

そもそも本学には「大正大学の職員ビジョン」が制定されています。本学の中では『大正大学職員のあるべき姿』と呼んでいます。『大正大学職員は、建学の理念に則り、教育ビジョン・運営ビジョンの達成のため、教育研究と経営を支える一員として、学生とともに「４つの人となる」を実践します』。そして区分として「慈悲」「自灯明」「中道」「共生」というふうに分かれています。

大正大学は仏教系大学なんですけれども、そもそもこの「４つの人となる」というのは、平成 21 年に策定された中期マスタープランと同時に、本学の学生向けに、この「４つの人となる」という区分で教育ビジョンの策定をしたものです。

職員ビジョンを策定するにあたり、我々職員も学生とともに大正大学の発展、あるいは維持発展に資する人材になるべきじゃないかということで、学生向けの教育ビジョン「４つの人となる」と同じ枠組みとなる「慈悲」「自灯明」「中道」「共生」で『大正大学職員のあるべき姿』を策定したという経緯がございます。

人材育成と一言に言いましても、もちろん研修体系だけ作ればいいというものではなくて、人材育成のスタートというのは、求める人材像・人材採用の方針です。いわゆるここがアドミッションポリシーですね。AP と呼ばれる部分です。そして今からお話させていただく教育体系の研修実施方針ですね、職員の研修体系カリキュラムポリシー。そして、森田から話がありました DP(ディプロマポリシー)、職能等級基準書。この三つが一体となって、最終的に職員ビジョン『あるべき姿』というところに繋がるというのが理想の姿かなと考えております。

さて、そもそもの話にあった人事制度改革検討会議で、職員研修の改革案というのが細かく示されていました。「初任者研修の抜本的見直し」「年次計画に基づく階層別研修の実施」「部門別研修の実施」「全体研修の見直し」「個人研鑽のキャリア形成支援制度の創設」

この五つが課題、あるいは改革案として上がっていたんですけれども、最終的にこれら課題を大きくまとめると、次の三つになります。

一つ目が「大学職員として身に付けるべき知識・スキルが未整理」ですね。研修をやることが目的化してしまっていて、目的と手段がごっちゃになっているというパターンです。何のために研修をやるんでしょうか、大正大学の事務局事務文書規定の第五条に人事課の業務として人材育成に関する事項と書いてあるからやってます、みたいな。そういうのは目的ではないので、そもそも何を身に付けるべきで、そのためにはどんな研修をやるのかというのが欠如していたというのが一つ。

二つ目が「年間の研修実施計画がない」ということですね。新しい年度になってから、そろそろ今年度何やるか決めなきゃいけないよねみたいな話になって、じゃあ何しようか、今年はコーチングでもやっとく？ みたいなノリで研修が行き当たりばったりで企画運営されていくという。

三つ目が「研修の達成目標が不明確」ということですね。一つ目と繋がる部分もあるんですけれども、参加した人が「やらされた感」が最終的に出てしまうという、何のためにやったのか、何が身についたのか不明確になってしまうと、最終的に参加者の満足度が下がるという問題です。

この三つの大きな課題が見えてきましたので、この課題を解決するために、ワーキングチームを作りました。

第一次ワーキングチームに与えられたミッションは、課題の一つ目。大学職員、あるいは大正大学の職員として身に付けるべき知識・スキルは何なのかを整理整頓をしました。その成果として、これからご説明する研修体系図の原案が策定されました。

第一次ワーキングチームの原案策定の後で「職能等級基準書」ができあがりました。それを受けて、DP である職能等級基準書と、この原案の連関性を確保しなくてはいけないので、第二次ワーキングチームで職能等級基準書に基づく研修プログラムの策定をしました。

第三次ワーキングチームのミッションは、体系図および研修プログラムの整合性のチェックです。人事に関わる職員以外の職員を、あらゆる階層から選抜させていただいて、そのメンバーから何かおかしいところはないか、漏れはないか、整合性のチェックをしてもらいました。あとは到達目標の設定ですね。先ほどの課題の三番目です。

最終的にできあがったのが、これから説明します研修体系図、それから年間の研修実施計画、そしてカリキュラムチェックシートという三つの資料になります。

できあがった研修体系についてですが、これは大体どこの大学さんも同じだと思いますが、まず「職位別研修」です。入りたての階位から年齢がどんどん上がっていって管理職になるまで、与えられた権限、あるいは負わされる責任が違いますし、それでイコール身に付けるべき知識、身に付けるべきスキルも違ってくるので、職位別に研修をやりましょうということです。

次に「部門別研修」です。日々業務をしていくなかで、やはりセクションごとに求められるものが変わってくると思いますので、部門別に研修も行うべきですね。

それから大学職員全体で共有すべき事項です。情報、知識、スキルとありますので、それは「目的別研修」という

形で運用しましょうといったところで、三つの区分に振り分けまして、これらを全て一体で運用することによって、職能等級基準書、DP の達成に向け、人材育成を進めて行きましょうというのが、本学の研修体系になっています。

今お話いたしました研修の体系図ですね。これは職能等級基準書に基づいて、研修区分および職位別に各研修の関係性を示した図です。大正大学の事務職員の研修実施計画は、今後三カ年に実施する予定の研修をまとめています。

最後にカリキュラムチェックシート。こちらは本学の FD 活動のなかで、先生方が学生さんに対する教育活動のカリキュラムを作る際に、カリキュラムチェックシートを作って運用しています。職員の人材育成の部分についても、同じような枠組みでしっかりとやることが、人材育成の効率化、効果的なところに繋がるんじゃないかとして、職員の人材育成についてもカリキュラムチェックシートを作成いたしました。

こちらが体系図になります。職位別に、下から順に上がっていくイメージです。横軸が職位別研修。部門別研修、目的別研修といったかたちで、この職位のあたりでこういった知識・スキルを身に付けさせましょうというのが図式化されているところです。

マネジメント研修群で言えば、入りたての課員 A・B のところは、まずはセフルマネジメントですね。自分自身の業務の管理、進捗管理をしっかりしていきましょうねといったところです。主任係長に上がっていくと、今度はチームをまとめる立場になっていきますので、ある程度チームのマネジメントや後輩指導ができるようになりましょうとなっています。管理職になってくると、今度は組織のマネジメントが必要になってきます。といった形で、下から上に上がるにつれて、同じマネジメントと名前がつくものであっても、個のマネジメントから組織のマネジメントへと上がっていく様子を図式化して、イメージできるように作りました。

それから事務職人の研修実施計画です。こちらは膨大な量だったので、主任の部分だけ抜粋いたしました。研修名と研修内容。平成 30 年度から 32 年度まで、この年はこんな研修をやりますよというのを平成 30 年度のうちに全職員に周知をしています。必修区分というのは、この表は主任の研修計画ですので、係長に上がる際に昇任試験を受けるための必修ですよという区分を表しています。

それからカリキュラムチェックシートです。上の部分に、職能等級基準書に書かれている主任として必要な能力が書かれています。下の部分に研修の到達目標が書かれていて、さらに研修の目的が DP のどの部分に関わってくるのか関連して分かるような図式になっています。

これがそれぞれの職階ごと、課員 A から部長まで、全ての職階ごとにこういったものを作って、研修は何のためにあるのか、それが最終的に職能等級基準書のどこに繋がるのか分かるようになっています。

最後に本来の SD の理念というのは、与えられてやる訳ではなくて、やはり自主性を育むというのが必要だと思います。ですので、本学では SD 研究費、SD 手当という制度を導入しています。教員に研究費がつくというのはそれぞれの大学であると思うんですけれど、本学の場合は職員にも研究費という形で出させていただいています。対象者は専任職員および勤務日数が週 5 以上の嘱託職員で、年間 20 万円を上限に研究費として助成をして居る状況です。高等教育関連学会における研究活動に使っている方もいれば、自分自身の語学力だとかスキルアップのために使っている方もいらっしゃいます。

そういったアクティブに学ぶ姿勢を身に付けさせるような制度設計をしているところです。研修体系の部分と、自主性を育むという両輪が今後の課題かなと思っているところです。



3. 金沢大学

「自律的な組織開発・人材開発のためのリーダー養成」

金沢大学 SUG 企画・推進室専門職員　松村　典彦

金沢大学の松村です。まず自己紹介をさせていただきます。平成 17 年に金沢大学に入職しました。冒頭で話題提供してくださった上畠さんとは違い、民間から大学に移って来たわけではありません。大学院のほうに行っておりまして、金沢大学で学士と修士を取り、九州大学のドクターに進学したんですけれども、ちょっと経済的な理由等々で中退をして、大学職員になったという者です。

入職以降いろいろな部署を回っているんですけれども、研修や人材育成部門への配属経験はありません。どうしてそういった人間がここで金沢大学の主に SD の話をさせていただくのかというのを、背景とともにお伝えしていきたく思います。

金沢大学における SD 活動

金沢大学における SD の状況といたしましては、今、拠点認定を受けてコンテンツを提供している立場にありますけれども、長らく不毛の地でありました。ほとんどまともな SD が機能していなかったという実態があります。

その原因といたしましては、金沢大学の場合、SD は FD に付随する形で大学の業務の中に入ってきたという背景

があります。SD を担当している部署が学生系教務系の部署、一方研修は人事系の部署がやっているということで、ここの間にとても大きく高い壁があります。未だにあります。非常に狭い範囲で SD が捉えられている。「SD は学生系や教務系職員の能力開発でしょう」みたいなことを実際の研修担当の人に言われることがあります。

そういったこともありまして、組織的な SD というのは、今までほとんどありませんでした。それとは別に、平成 16 年度の法人化直後から、二十代、三十代の事務職員を中心に、自主的な勉強会という形で少しずつ SD 活動というのがありました。私も関わっていたんですけれど、そのモチベーションとしましては、若手が変われば大学を変えられるかもしれない、このちょっと閉塞した人材育成システムを変えられるかもしれないという思いで、いろいろ取り組んでいました。大体、五、六年やっていましたけれども、世代交代に失敗したり、ライフイベントがあったりして、なかなか時間が割けないとか、そういった状況があって、持続的な体制構築ができませんでした。SD を組織開発、組織の運営というものにインストール、実装できなかったという、これは自戒を込めて振り返りさせていただきたいと思います。

一方、大学運営においては、どこの大学もそうかと思いますけれど、連続する大学改革・新規プロジェクトの増加というのがあります。私が今メインで担当しておりますスーパーグローバル大学創世支援事業もそうですし、昨年度金沢大学はＷＰＩという事業を採択しました。はっきり言って手に余るほど大きな事業で、大学全体が右往左往しながらなんとか必死に回しているという状況です。そうした状況でどんどん業務が増えていって、また複雑になっていく。また改革ということで、トップダウンでいろんなものが決められて進んでいく。そうした状況で我々事務職員や事務組織というのが、だんだん疲弊していっているという状況があります。

そうした状況が反映して、若手職員を中心に、最近、退職者や休職者がとても増えている現状があります。事例をあげますと、今年五年目の事務職員、採用時は十数名いました。今金沢大学に残っているのは三名だけです。ほとんどが退職してしまったり、あとは文部科学省への研修からそのまま転出してしまったりという状況があります。組織全体に余裕がなくなっていて、OJT さえまともに機能しなくなっていって、若手が孤立感を感じて心を病んでしまう。そういう人材育成における負のスパイラルがあります。

さらに現在、管理職、課長職、部長職というところにプロパーの職員が積極的に登用されています。数年前までは、三人の、いわゆる部局と呼ばれる学部事務の部長だけがプロパー職員でしたが、今は完全に逆転しています。11 人いる部長のうち 8 人がプロパーの職員になっています。課長も同じような比率になっています。さらに昔は、会計だったら会計の課長になる、人事だったら人事の課長になるという、そういうものがありましたが、最近はそういったものを飛び越えて、まさに『越境』して人事異動していくことが増えています。しかし、強い経験主義的思考、「自分は会計だから学務のことは分からない」「自分は学務だからお金のことは分からない」というようなことを平気で言い続けてしまう、それが許されるという、そうした組織風土があると私は感じています。なら勉強すればいいではないかというところもあるんですけれど、一方で、こうした研修の場や自主的な勉強・学習を、非常に軽視する風土があると感じています。私はそれが極めて大きな課題であると感じています。

要は、人事異動でいろんな部署を経験しないと業務が分からないというのであれば、いつになったらちゃんとマネジメントできるようになるのか、できるようになった頃にはもう定年になるんじゃないかと、それくらい危機感を持って、補完するようなプログラムを作らないといけないというのが問題意識としてありました。

ケースメソッド型 SD プログラム

そこで目を付けたのがケースメソッドです。ケースメソッドは正しい答えの無いプログラムです。他者との意見交換、対話を通じて、自ら考える力を養う学習方法であると言われています。実際に起こったケースを使って、みんなでどういう風に解決していくか考えるものです。主に二つの要素があると言われています。意志決定の訓練、そして人間関係の訓練であると言われています。この二つの要素というのが、大学の運営に上手くはまっていくのではないか、そのために大学の文脈に即したケースメソッド型 SD の構築を進めるべきではないかという問題意識がありました。

そこで実際に構築を始めました。冒頭お話した上畠さんと、私を含めた中堅職員三人でケースメソッド型 SD の構築を目指しまして「金沢大学業務改善・改革プロジェクト」というものに申請し、採択を受けました。

そこで２名の定年間近の部長クラス職員を捕まえて、ちょっと昔の話をしてくださいということで、話をしてもらいました。当初は一時間話してくださいということだったんですけれど、気づいたら三時間話していました。部長さんは、最初は「話すことないわ」と言っていたんですが、止まらなくなって、テープ起こしが大変になったという状況があります。

そうしていろんなエピソードが出てきました。エピソードを上手く繋ぎ合わせて、架空の大学職員を主人公としたケース教材を作成しました。その教材を使用してプログラムを実施し、実際に 11 人の方に研修を受けていただきました。受講者からは高い満足度を得たんですが、先ほどの「研修の壁」にまたぶち当たりまして、学内の研修に導入できないという事態になりました。

じゃあどうしたらいいんだろうということで、今度は外から逆輸入できないかなと、外から評価の獲得を目指す方向にシフトチェンジしました。

二年前の四国で開かれたスポットフォーラム 2016 でポスター発表をさせていただいて、ありがたいことに優秀ポスター賞を受賞いたしました。これで一気に学内評価が変わりました。

平成 28 年度には金沢大学のチェンジ&チャレンジ賞というものも受けましたし、平成 29 年度には金沢大学業務改善・改革プロジェクト継続採択されて予算額も平成 28 年度の二倍以上のお金をいただき、一気に評価され始めたというところがあります。

そこで平成 29 年度の文科省の教育関係共同利用拠点の事業に展開していくわけです。平成 29 年度も継続してプログラムを実施いたしました。8 月に文科省の共同利用拠点事業の認定を受けました。お手元に拠点のパンフレットがあると思いますけれども、これの SD に関してはこの我々が実施してきたものが母体になって進めているというところです。職員になって 13 年以上経ちましたけれども、ずっとやりたいやりたいと思っていた、SD の持続的な体制の構築が、ようやく昨年度からできはじめたかなという状況であります。

教育関係共同利用拠点事業が目指すもの

この拠点が目指すものというのを、紹介させていただきたいと思います。『「強く」「優しく」「しなやか」な SD リーダー』とありますが、なんとなくイメージはできるけどよく分からないなというのが正直な所だろうと思います。ちょっと解説させていただきます。

「強く」というのは、課題を発見したり、計画を立案したり、実践したりと言うことができる、割とタフな、マッチョな能力を養成したいなと考えております。ただ、先ほど言いました退職者や休職者が続出という状況もありますので、それだけではダメだと言うことで「優しく」ということで、ケースメソッドの特徴の一つである人間関係構築の訓練というのもここに組み込んで、会話や共感、協働や親和という能力を養うようなプログラムとなっています。

そして「しなやか」なというところは、他者への関わりだけでなく、自分自身も上手くコントロール出来るようになろうと、セルフマネジメントであるとか、行動の持続であったり、そういった能力をつける、この三つを柱にしたプログラムを作りたいと考えております。

この要素を盛り込んだプログラムを、ケースメソッドを使ってやることで、知識だけでもない、実践だけでもない、それを上手く融合して実際の仕事で実践できる能力を養成できないかと考えております。

SD リーダー養成プログラムの基本設計

実際のプログラムの基本設計を紹介させていただきます。一日型のデイタイム型研修と一泊二日の合宿型研修の組み合わせになっています。

デイタイム研修は実際にケースメソッドとはどんなものか、というのを体験していただきます。実際に自分で書いてみようというのがケースライティングプログラムです。そして、次回の合宿型研修までに参加者自らケース教材を書いていただきます。それを持って合宿型研修に参加していただいて、自分で書いた教材を使って研修をやる、それで自大学に持ち帰って実践・定着出来るスキルを学習してもらう。研修終了後は各大学での研修実践に向け、拠点によるコンサルティングを行うというふうに考えております。と言うと既に出来上がっているプログラムのように思われるかもしれませんが、実際にはようやくコンテンツが出揃ってきた状況で、まだまだプログラムとして構築で出来ている状況ではありません。きっちり三ポリシーを作り、アセスメントをし、という体制はまだまだ出来ていません。そして金沢大学自身にこのプログラムが上手く組み込めているかというと、正直言って、まだまだ第一歩踏み出せたかなという状況です。

是非この SD リーダー養成プログラムに参加していただいて、是非自大学での実践をやっていただいて、それをまた金沢大学も取り込みたい。また金沢大学の実践をみなさんにご紹介する。そういう循環を上手く作るプログラム、みんなで大学の組織運営を変えていく、そういったプログラムを設計していきたいと考えております。







第４章

ＦＤ合宿セミナー

第 18 回　山形大学 FD 合宿セミナー
【第 1 チーム】プログラム及び記録

ＦＤ合宿セミナーに当たって

学士課程教育の充実のためには，第一義的には各学部がその責任を負っていますが，学部の専門を超えた幅広い学びのあり方や授業の改善，学生の主体的な学習支援などは，学部の垣根を超えて全学的に取り組まなければならない課題です。また，生き残りをかけた大学改革に際し，授業の充実は最も重要な課題の一つです。

本セミナーは、グループでアクティブ・ラーニングを導入した仮の授業を設計し、それを実際に体験することによって、自分の授業でアクティブ・ラーニングが導入できるようになることを目的としています。仮の授業のデザイン（シラバス作成）を通して，授業科目の存在意義，成績評価法、授業方法などについて，あらためて検討し，再構築していくことにもつながります。

セミナーは，主にシラバスの作成とアクティブ･ラーニングのプログラムから成り立っています。各プログラムは，グループ作業を中心に組まれており，これ自体がアクティブ・ラーニングの一例となっています。

本セミナーは、相互研鑽の精神に則り，「大学を越えた人的交流の拡大・充実を図る」目的があります。他大学の参加者と専門分野を越えて活発な議論を交わしながらプログラムを遂行し，セミナーが終了した後には，参加者が自校の教育の発展により一層貢献されることを期待しています。

このセミナーは「構成員こそが大学の財産」という精神でのぞんでいます。



第 1 チーム参加者と山形大学の小田教育開発連携支援センター長（前列左から 2 番目）

第 18 回　山形大学ＦＤ合宿セミナー日程表

期　間　　第１チーム：9 月 3 日（月）～4 日（火）

〇第１日目

時　　刻	項　　目	担　　当	会　場
12:45	山形大学小白川キャンパス　集合		
13:00	送迎バス　大学出発		
13:45	会場到着・受付　記念撮影　セミナー開会 開会のあいさつ	司会：小田	洋会議室
14:30	オリエンテーション	小田	同　上
14:50	アイスブレーキング	小田	同　上
15:00～16:30	プログラムⅠ 「授業設計１：アクティブ・ラーニングを導入した授業を設計する」	小田	同　上
16:30～16:40	休憩（10分間）		
16:40～18:10	プログラムⅡ 「授業設計２：シラバスの完成」	小田	同　上
18:10～	夕食	小田	食　堂
19:00～	懇親会（夕食が終わり次第開始となります）		和会議室
20:30～	各自自由時間（入浴可能時間は21:30まで）		
22:30	消灯		

〇第２日目

時　　刻	項　　目	担　　当	会　場
7:30～	朝食・部屋退出 （第２チーム参加者は、同じ部屋を引き続き利用可）		
8:30～10:00	プログラムⅢ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」	小田	洋会議室
10:00～10:10	休憩（10分間）		
10:10～11:40	プログラムⅣ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」	小田	同　上
11:40～	修了式	小田	同　上
12:15	送迎バス出発		
13:15頃	山形駅経由　大学到着　解散		

平成３０年度　ＦＤ合宿セミナー参加者一覧【第１チーム】

	機関名	氏　名	専門分野	班
1	鶴岡工業高等専門学校	高橋　淳	パワーエレクトロニクス	B
2	岐阜医療科学大学	丹羽　政美	放射線技術学	A
3	東京都立産業技術高等学校	富永　一利	機械工学（制御工学）	C
4	東京都立産業技術高等学校	澤田　一成	数学	A
5	会津大学	蛯名　正司	教育心理学	B
6	ものつくり大学	久保　隆太郎	建築整備、建築環境工学	C
7	新潟薬科大学	山崎　晴丈	遺伝子発現制御学	B
8	常葉大学	花家　彩子	演劇教育	B
9	福島工業高等専門学校	山田　貴浩	リモートセンシング	C
10	群馬パース大学	矢島　正栄	看護学（公衆衛生看護学）	A
11	群馬パース大学	岩井　譜憲	放射線技術学（放射線治療技術学）	C
12	了徳寺大学	田辺　達磨	柔道整復学	A
13	山形大学	松村　吉将	有機化学	A
14	山形大学	阿部　宇洋	歴史民俗資料学	C
15	山形大学	橋爪　孝夫	教育学	B
	山形大学	小田　隆治	ディレクター	

オリエンテーション

１　ＦＤの必要性

①　大学の組織的教育力の向上
②　大学教育を教員中心から学生中心へ移行することの教員の意識改革
③　大学教員個々の教育力の向上
④　大学生の質的変化への対応
⑤　大学の社会的な教育責務の明確化

２　合宿セミナーの目的

①　教員個人が大学を支えることの位置付け
②　教育の基本的構成要素，大学における各科目の存在意義，授業設計，成績評価法などをあらためて整理する。
③　教員相互の交流

３　セミナー形態

体験型のセミナーで，セミナー自体がグループ学習形式であり，参加者は，学生が運営する学生主体型授業を体験することになる。

①　参加者によるセミナー全体の運営
②　セミナーのグループ構成：３班
　　班の構成員の年齢は幅広くする。
③　合宿セミナーに関するポストアンケートを実施

プログラムⅠ「授業設計１：アクティブ・ラーニングを導入した授業を設計する」

ここでの課題

シラバス作成作業の第１段階として，各グループごとの課題に対応した授業名と学習目標の設定を行う。

学習方法と道筋（戦略，学習方略）を明示する。具体的には，学習者が到達目標に達するために必要な学習方法の，種類と順序を示す。

作業１　授業名の決定：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（仮称）←内容確定後，最後に決定しても構わない。

作業２　学習目標の設定

１　踏まえておくべきことがら：

⑴ 教員中心ではなく，学生による学習を中心に考える（教員の果たすべき役割の再検討）
⑵ 大学に対する社会的ニーズ
⑶ 大学の全体的な教育目標

註：⑴について

大学の役割

講義の提供	→	学習方法と教育方法のデザイナー
学生から独立	→	教員と学生を一つのチームと考える
学力差を明確にする	→	すべての学生の能力と才能を引き出す

成功へ向けて

伝授する資源の重視	→	学習と学生の成功の産物を重視
資源の量と質の重視	→	産物の量と質を重視
入学生の質の重視	→	卒業生の質を重視
カリキュラムの発展と拡大	→	学習技法の発展と拡大
大学の質・内容の質	→	学生の学習の質

使命

知識の提供・伝授	→	学習を生み出し，知識の発見と形成へ
コース・プログラムの提供	→	強力な学習環境の提供
教育の質の改善	→	学習の質の改善
多様な学生への対応	→	多様な学生を卒業させる

教育

教員中心・知識伝授	→	学生中心・知識発見
教育の質	→	学習の質，学習効果・効率
指導者としての教員	→	学生の才能・能力を引き出す助言者
個人的・受動的学習	→	共同的・行動的・能動的学習

２　学習目標の記述

各科目の学習目標を表現することの必要性とその表現方法を学ぶ。学習の効果は，教育の受け手（学習の主体）である学生の変容で評価されるべきである。そのために，①授業の目標と②到達目標を定める。

註：授業の目標を作成する際の注意点

原則

(1) 学習者を主語として書く

(2) 学習の結果，いかなることができるようになるかを明示する

記述内容

(1) 知識・技能の学習がなぜ重要か。それによって学生の要求がどのように満たされるかを明示する。

(2) 複雑・総括的な概念を持つ動詞を用いる。
知る，認識する，理解する，感ずる，判断する，評価する，考察する，位置付ける，実施する，適用する，示す，創造する，身に付ける，等々
※単純な行動を示す動詞は用いない（述べる，列挙する，選ぶ，記載する等々）

(3) 必要な目標分類（認知・態度・技能）を総括的に含める。

註：到達目標を作成する際の注意点

授業の目標を達成するためにどのようなことができるとよいか，具体的に明示する。

(1) 学習者を主語として書く

(2) 動詞を含むこと

(3) 「理解する」のような概念的言葉ではなく，観察可能な行動を具体的に表す

(4) 授業の目標と関連していること

(5) 到達レベルを書く

(6) 認知，態度，技能を分けて書く

〇**知識**（認知領域）：知識を得て理解し，一定の能力を獲得する
述べる，説明する，分類する，比較する，解釈する，推論する，一般化する，適用する，結論する，批判する，評価する，等々の動詞

〇**技能**（精神運動領域）：知識・能力を活かして意識的・具体的に行動する

感ずる，始める，模倣する，工夫する，行う，創造する，触れる，調べる，準備する，測定する，等々の動詞

〇**態度・習慣**（情意領域）：獲得した知識・能力を，情報として相互に提供・交換し合う

行う，コミュニケートする，協調する，示す，表現する，系統立てる，参加する，応える，等々の動詞

作業３　原則として，週に１回９０分の授業を１５回実施するものとして，授業の内容を考えてみる。その際，授業の順序と各回の内容，学習法，利用する媒体，資源などについて明示する。授業外学習（主体的学習、予習・復習、宿題）についても適切に配慮し、授業全体をデザインする。内容によっては，授業の目標，到達目標，さらには科目名についても変更が必要になるかもしれない。

註：学習方法の種類
(1) 受動的学習法：講義など
(2) 能動的学習法：①グループ討議（演習，セミナー，ディベーティングなど）
②実験・実習
③自習（読書，個人研究，コンピュータ活用学習など）

註：学習のための資源
(1) 人的な面で：
(2) 物的な面で：①場所
②媒体（スライド，ＯＨＰ，標本，ＶＴＲなど）
(3) 予算

プログラムⅡ「授業設計２：シラバスの完成」

ここでの課題

プログラムⅠで作成した授業について，シラバスを完成する。

〇成績評価

その位置付け

(1) 教育評価は，学生，教員，カリキュラム（目標，学習方法の立案（方略），評価）の三者が対象
(2) 成績評価は，その中の一つ。

留意点

(1) どの行動領域を評価するか
① 知識（認知領域）
② 技能（精神運動領域）
③ 態度・習慣（情意領域）
(2) いつ評価するか
① 学習前（プレテスト）
② 学習中（中間テスト）
③ 学習終了後（ポストテスト）
④ フォローアップ・テスト

(3) 評価の目的
① 形成的評価：学生が理解している点，理解が不足している点を発見し，学習法，教授法へのフィードバックが目的。最終評価の参考にしない。
② 総合評価：到達目標に対する学生の到達度を計測する。
(4) いかに評価するか，複数の評価項目のウェイト
① 論述試験
② 口頭試験
③ 客観試験
④ 実地試験
⑤ 観察試験
⑥ 論文（レポート）

評価の持つべき性格
(1) 妥当性：計測しようと意図する項目を計測できる方法か？
(2) 信頼性：計測結果の再現性は良いか？
(3) 客観性：計測者（教員）が替わっても，同じ結果が得られるか？
(4) 効率性：経済的にも時間的にも実用的か？
(5) 特異性：なぜ，そういう解答がなされたか分かるか？

プログラムⅢ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」

ここでの課題
プログラムⅡで設計した授業において、アクティブ・ラーニングの一場面をプログラムⅣで発表するための準備をする。

作業 模擬授業の発表時間は1グループにつき7分である。先生と学生役に分かれて演技を行う。先生と学生の双方向のやり取りの場面を導入する。創意工夫をして、失敗と成功の場面を織り交ぜる。見ている人たちを感動させる。

プログラムⅣ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

ここでの課題
アクティブ・ラーニングの模擬授業を発表と、その発表に対する質疑応答を通してアクティブ・ラーニングの理解を深め、自分の授業にアクティブ・ラーニングが導入できるようになる。

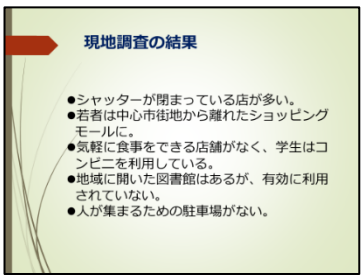
プログラムⅣ記録

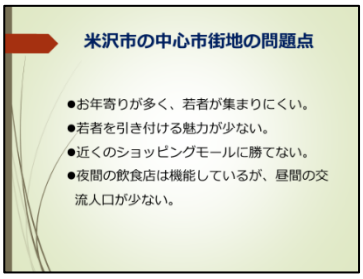
「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

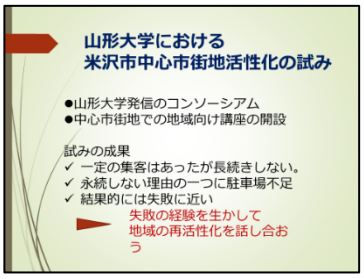
○ A班



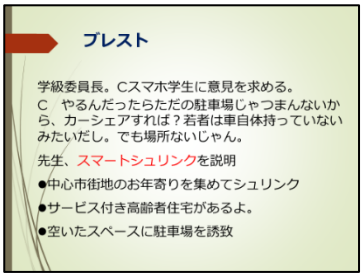


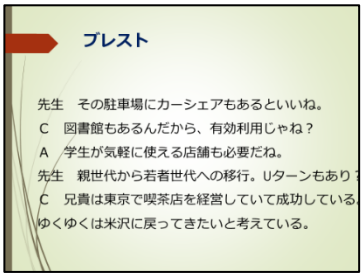


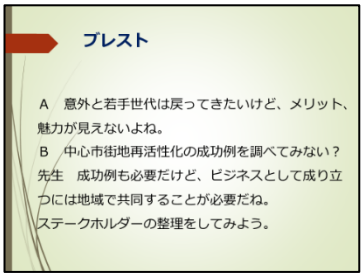






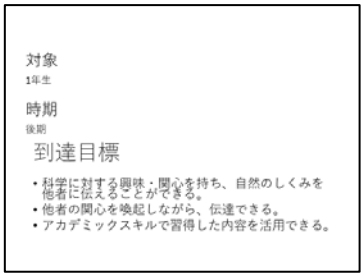




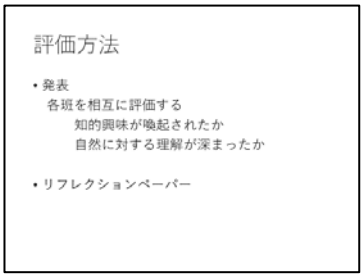


○ B班



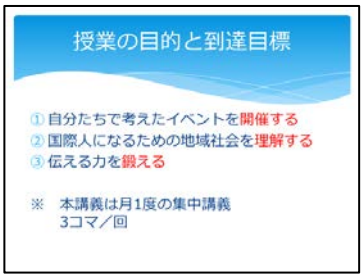


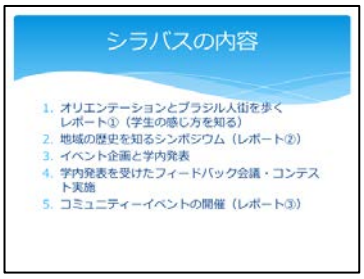


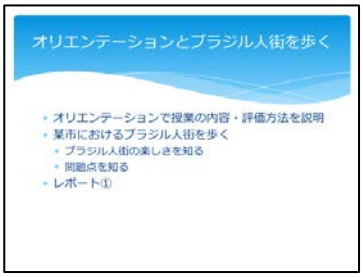


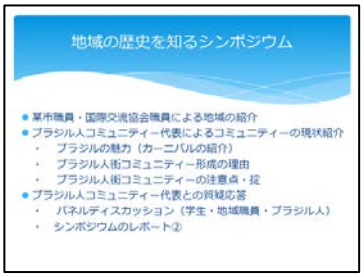
○ C班

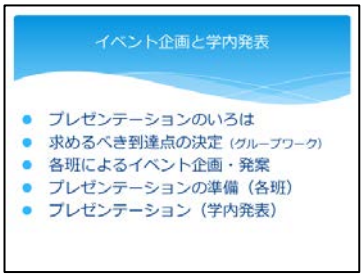

科目名：
群馬国際大学における
グローカルの実践1（ブラジル）
楽しさの創造へ

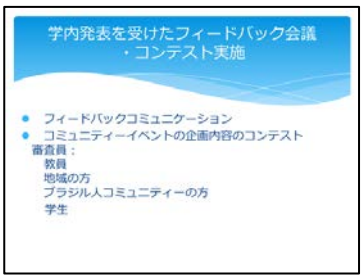

授業の目的と到達目標
①自分たちで考えたイベントを開催する
②国際人になるための地域社会を理解する
③伝える力を鍛える
※ 本講義は月1度の集中講義
3コマ／回

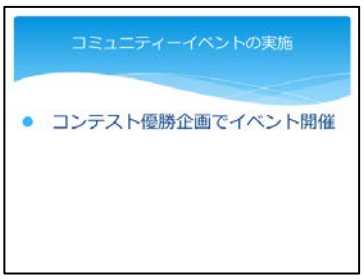

シラバスの内容
1. オリエンテーションとブラジル人街を歩く
レポート①（学生の感じ方を知る）
2. 地域の歴史を知るシンポジウム（レポート②）
3. イベント企画と学内発表
4. 学内発表を受けたフィードバック会議・コンテスト実施
5. コミュニティーイベントの開催（レポート③）


オリエンテーションとブラジル人街を歩く
・オリエンテーションで授業の内容・評価方法を説明
・某市におけるブラジル人街を歩く
・ブラジル人街の楽しさを知る
・問題点を知る
・レポート①


地域の歴史を知るシンポジウム
・某市職員・国際交流協会職員による地域の紹介
・ブラジル人コミュニティー代表によるコミュニティーの現状紹介
・ブラジルの魅力（カーニバルの紹介）
・ブラジル人街コミュニティー形成の理由
・ブラジル人街コミュニティーの注意点・掟
・ブラジル人コミュニティー代表との質疑応答
・パネルディスカッション（学生・地域職員・ブラジル人）
・シンポジウムのレポート②


イベント企画と学内発表
・プレゼンテーションのいろは
・求めるべき到達点の決定（グループワーク）
・各班によるイベント企画・発案
・プレゼンテーションの準備（各班）
・プレゼンテーション（学内発表）


学内発表を受けたフィードバック会議
・コンテスト実施
・フィードバックコミュニケーション
・コミュニティーイベントの企画内容のコンテスト
審査員：
教員
地域の方
ブラジル人コミュニティーの方
学生


コミュニティーイベントの実施
・コンテスト優勝企画でイベント開催









第 18 回　山形大学 FD 合宿セミナー
【第２チーム】プログラム及び記録

ＦＤ合宿セミナーに当たって

山形大学では，平成 13 年度よりこの合宿セミナーを実施し，教養教育の目標や授業の企画，シラバス作成を通して授業のスキル向上を実現するとともに，学部間の人的交流の拡大・充実を図ってまいりました。このような基盤のうえに，さらに「授業改善」に焦点化したアドバンスプログラムを実施することになりました。

このセミナーの第一の目的は，「個人個人の教員が教育者としての自己認識の深まりと学生の学びを大切にする授業，および授業改善の方法を具体的なケースを交えて考察・議論し，学生を中心とする教育・授業を発展させること」です。この目的を達成するために，本セミナーでは４つの参加型ワークショップを行います。これにより，参加者は学生が運営する学生主体型授業を体験することにもなります。

また，「ワークショップを共通の題材として，学部間の人的交流の拡大・充実を図ること」が第二の目的です。他部局の参加者と活発な議論を交わしながらプログラムを遂行し，セミナーが終了した後には，参加者が大学の教育分野全般の発展に，より一層積極的に貢献されることを期待しています。

このセミナーは，「構成員こそが大学の財産」という精神でのぞんでいます。

更に，このセミナーはＦＤネットワーク“つばさ”の参加校を始めとして，全国の大学等に開かれています。本セミナーが，相互研鑽の精神に則り，参加された大学・短大・高専の発展に寄与されんことを願っております。



第２チーム参加者と
講師陣（前列左から東京工芸大学・大島教授、山形大学・小田教授、北星学園大学・田実教授

第 18 回　山形大学ＦＤ合宿セミナー日程表

期　間　　第２チーム：9 月 4 日（火）～5 日（水）

〇第１日目

時　　刻	項　　目	担　　当	会　場
13:00	山形大学小白川キャンパス集合		
13:20	送迎バス大学出発		
14:00	会場到着・記念撮影　セミナー開会 開会のあいさつ		洋会議室
14:30	オリエンテーション	小田	同　上
14:40～15:10	アイスブレーキング	田実	同　上
15:10～16:40	プログラムⅠ「授業力の向上～わかりやすい授業を実現するために～」	大島	同　上
16:40～16:50	休憩（10分間）		
16:60～18:10	プログラムⅡ「失敗から学ぶ～個々の体験の分かち合いと『NG授業』の類型化」	大島	同　上
18:10～	夕食		食　堂
19:00～20:30	懇親会（夕食終わり次第開始となります）		和会議室
20:30～	各自自由時間（入浴可能時間21:30まで）		
22:30	消灯		

〇第２日目

時　　刻	項　　目	担　　当	会　場
7:30～	朝食・部屋の清掃・部屋退出		
8:30～10:10	プログラムⅢ「授業に求められる合理的配慮とは？ －障害者差別解消法と授業－」	田実	洋会議室
10:10～10:20	休憩（10分間）		
10:20～11:30	プログラムⅣ「学生の学修を支援する授業とは？ －発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫－」	田実	洋会議室
11:30～	修了式（ポストアンケート）		
12:15	送迎バス出発		
13:00頃	山形駅経由　大学到着・解散		

平成３０年度　ＦＤ合宿セミナー参加者一覧【第２チーム】

	機関名	氏　名	専門分野	班
1	東京都立産業技術高等学校	富永　一利	機械工学（制御工学）	B
2	東京都立産業技術高等学校	澤田　一成	数学	C
3	前橋工科大学	杉浦　榮	都市・環境デザイン	A
4	新潟薬科大学	西山　宗一郎	食品安全学	B
5	常葉大学	花家　彩子	演劇教育	C
6	ものつくり大学	永井　孝	学習支援工学	A
7	國學院大學	佐藤　紀子	哲学・倫理学	B
8	國學院大學	多和田　真理子	日本教育史・教育学	C
9	富士大学	漆戸　宏宜	財政学	A
10	了徳寺大学	源　裕介	運動器疾患・スポーツ医学	B
11	沖縄県立芸術大学	波平　八郎	日本文学	C
12	東北文教大学	足立　佳菜	教育学	B
13	東北文教大学短期大学部	佐藤　亜実	日本語学・社会言語学	A
	東京工芸大学	大島　武	ディレクター	
	北星学園大学	田実　潔	ディレクター	
	山形大学	小田　隆治	ディレクター	

オリエンテーション

１　ＦＤの必要性

①　大学の組織的教育力の向上
②　大学教育を教員中心から学生中心へ移行することの教員の意識改革
③　大学教員個々の教育力の向上
④　大学生の質的変化への対応
⑤　大学の社会的な教育責務の明確化

２　合宿セミナーの目的

①　教員個人が大学を支えることの位置付け。
②　学生一人ひとりの発達と同様に教員一人ひとりが同僚の力を得て発達することを改めて確認する。
③　教授法について共に考え，スキルアップする。
④　教員相互の交流。

３　セミナー形態

体験型のセミナーで，セミナー自体がグループ学習形式であり，参加者は，学生が運営する学生主体型授業を体験することになります。

①　参加者によるセミナー全体の運営
②　セミナーのグループ構成：３班
③　プログラムによっては，全体での発表の際に記録をとるための記録係を置く場合があります。また，グループワークにおいて，各班に，司会者，記録係等を置く場合もあります。
④　最終日に合宿セミナーに関するポストアンケートを実施します。

平成 30 年度　第 18 回山形大学ＦＤ合宿セミナー
「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」

プログラムⅠ「授業力の向上－わかりやすい授業を実現するために－」

- ○　プログラムの講師による内容の説明
- ○　レジュメにそった講義等　　全体で 90 分

プログラムⅡ「失敗から学ぶ～個々の体験の分かち合いと『NG 授業』の類型化」

- ○　プログラムの講師による内容の説明
- ○　ケーススタディ
- ○　グループ毎に演習、発表
- ○　まとめ　　全体で 90 分

プログラムⅢ「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」

（タイムスケジュール）

- ○　プログラムの講師による講義　　８０分
- ○　発達障害を体験してみる　　２０分　　全体で１００分

プログラムⅣ「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」

- ○　授業のヒントの説明　　３０分
- ○　講義、ゼミ、実習、評価等々　　２５分
- ○　まとめと質疑応答　　５分　　全体で６０分

FD合宿セミナー参加者感想

第 1 チーム参加者

○第 18 回山形大学 FD 研修に参加して

ものつくり大学　久保隆太郎

2018 年9月3日、4日に山形大学 FD 研修会に参加させていただきました。私はものつくり大学に着任したのが本年の4月のため、学生への教育方法に関しては、ほとんど素人に近い状態でした。私が知っている教育方法は、学生時代の教授や以前勤めていた熊本大学の教授が行うものでありました。両教授とも学生へのアプローチ方法としては、まさにティーチングであり、上から下へ伝えるだけの従来のパッシブラーニングの典型のような手法でした。今回、アクティブラーニング手法を知ることにより、学生のやる気を引き出し、かつ、教員の意欲を伝えることの重要性を痛感しました。

1日目の「アクティブラーニングを導入した授業を設計する」のプログラムでは、5名ほどのチーム編成を組み、私が所属するグループでは、学生の個性を発揮する授業、国際性を培う授業、地域と連携する授業といった目標を立て、群馬国際大学という架空の大学に通う1年生を対象として、日本に住むブラジル人街の方々とその地域の日本人の関係を、今以上に改善・向上するイベントを企画することを授業のターゲットとしました。このイベントの成功のためには、実際に現地に行きヒアリングを行い、日本人・ブラジル人の方々の問題点を収集し、両者の橋渡しをすることを講義の目的としました。アクティブラーニングの重要な点として、学生の意欲をかきたてることですので、グループ全員で現地へ赴き、イベントを自ら考えて企画するという楽しい体験をさせることで、より意欲が高まったと感じました。

2日目はチームが変更し、「アクティブラーニングの模擬授業の練習・発表」において、シャッター街化した中心市街地の店舗を復活させる授業を企画しました。この授業では意欲のない学生に少しのヒントを与えることで、多くの有益な情報を発見・提案するといった体験を想定し発表しました。学生、教員、両者の視点に立って考える重要性を学びました。

2日間で得られた貴重な経験を生かして、今後の教育・研究活動に臨みたいと思います。

○群馬パース大学　矢島正榮

事前の案内で演習があると承知してはいましたが、終始これ程徹底した「体験型」の学習が待っていようとは思いませんでした。2 日間のセミナーを終えた感想は、まさしく、体験に若く学びはないということです。

冒頭、小田先生のご講義では、授業設計とアクティブ・ラーニングについて短時間に多くの示唆に富んだお話をいただきました。思考が追いつかず焦りながらも、まずは解ったつもりになった第一段階でした。続いて、早々に各班に分かれ、アクティブ・ラーニングを導入した授業科目の設定と 15 回の授業の企画をしました。「魅力的なシラバスで選択科目に学生を呼び込め」との課題をいただき、学生が何に関心・意欲を持つか、何を身につけられるかをひたすら考え、頭を悩ませました。要所要所で各グループが発表し、質問やコメントをいただくという流れであったため、改善しながら検討を進めることができました。2 日目は新しい班編制で、企画された授業の一部分を模擬授業にして発表するというプログラム、学生の学習を促進しようと試行錯誤する教員役、戸惑いつつもそれぞれの個性を発揮しながら解を探求する学生役を各メンバーが演じました。(演技まで体験するとは全くの想定外でした。)シナリオ作りを通して、授業場面で生まれる学びをとことん計算し、学生の思考を深める教員の関わり方を考え、ここに至って、冒頭の講義にあった様々な事柄が実感を伴って繋がってきました。

加えて、学生の気持ちに近づく体験ができたと思います。初対面の先生方と協力し、グループワークを展開する過程で感じた困惑、躊躇、期待、切迫感や達成感、新たなアイデアが生まれる喜び、探求心の高まり、集中して頭をフル回転させる感覚、ディレクターの存在感、メンバーとの関係性、諸々は授業に参加する学生の体験にとても近かったことと思います。また、今更ながら自分の性格やコミュニケーションの特徴を再認識し、これも学生の体験として大切にしたいと思いました。

本セミナーをご提供くださった小田先生、スタッフの皆様、一緒に参加された皆様、送り出してくれた職場の皆様に心から感謝いたします。

第 2 チーム参加者

○新潟薬科大学　応用生命科学部　西山宗一郎

私は 9 月 4 日から 5 日にかけての第 2 チームの FD 合宿セミナーに参加させていただきました.

様々な分野の先生方とチームを組み，互いに悩みや意見を交換しながらグループワークに取り組むことができ，大変貴重な経験となりました.

1 日目は大島先生の講義とグループワークで，普段教員が頭を悩ませている「分かりやすい授業」を目指すためのノウハウを学びました. 今まで試行錯誤しながら感覚的に行ってきた自分なりの工夫に，理論の裏付けが得られ安心すると共に，今後より改良をめざしたいと感じました. 昨今は学習効果を高めるため，学生主体型授業を行うことが求められており，グループワークも盛んに行われています. その進行にあたる教員側の介入は非常に難しいものがあり，対応を誤るとグループワークがコントロール不能になり，フリーライダーが現れる，時間内に全く終わらない，学生間の深刻な対立が浮き彫りになるなど，様々な問題が噴出します. 本セミナーではグループの先生方と話し合うことでそれぞれが経験した失敗を分かち合うことができました. グループ内の成果を発表するにあたって，参加された先生方や大島先生から，問題への具体的な対応策について的確なアドバイスを受けることができました. 今後ますます増えていく

このタイプの授業について，知識を深め，対応への自信を得ることができ，充実した 1 日目となりました．

2 日目は田実先生の講義によって，障害者差別解消法と発達障害の学生への対応について学びました．この課題については，教員の理解不足という深刻な問題があり，教員側の認識と学生が実際に感じている困難さの間にギャップがどうしても存在します．発達障害がそもそもどのようなものか，言葉だけで理解することは難しいですが，本セミナーでは様々に工夫された疑似体験を経ることで，その辛さの一端を体感することができました．発達障害の学生に対して大学側に求められる「合理的配慮」については非常にデリケートな問題で，対応に苦慮する教職員が多いと思います．この問題につきましても田実先生より詳しい説明を受け，今後の対応の基準となる指針を得ることができました．

この研修セミナーで得られた経験を本学教員と情報を共有すると共に，今後の自分の授業にフィードバックを掛け，実践に役立てて参りたいと存じます．ありがとうございました．

○東北文教大学　足立佳菜

第 18 回山形大学 FD 合宿セミナー(9 月 4-5 日)に参加し、自身の教育・授業改善に資する多くの学びを得ることができました。

わかりやすい授業づくりについての講義・ワークでは、“誤解”を前提とするコミュニケーション理論の知見に基づくことで、自分自身の当たり前を振り返ったり、前提を共有していない他者である“聞き手”の思考に沿った伝え方・論理構造の工夫を知ることができました。本講義では、概念的理解を背景としながらも体験活動やケーススタディなどから実践的なコツを知ることができ、「次の一歩」に繋がる学びを得ることができた点が非常に有意義でした。何より講師の先生が「わかりやすい授業」を体現されており、講義内容を実体験できたことでより身になる学びとなりました。個人的には、話し手の自信が伝わり方・聞きやすさに影響することを改めて痛感したことが印象深かったです。

発達障害等の合理的配慮に関する講義・ワークでは、よりよい在り方に向けて模索段階である本トピックについて、現実的困難さや未解決の課題点も率直に取り上げつつ、先進的に取り組まれている講師の先生の知見をお聞きできたことが大事な収穫となりました。本トピックは総論として理解できても具体的場面では判断が難しいように思います。そうした中で本講義は、多様な事例を織り交ぜながら幅広い見方・具体的な行動例をご紹介いただき、より現実的な考える観点を増やすことができました。

今回の研修の場は、互いの顔と名前が一致する規模感であったことや、専門やバックグラウンドが多様な参加者で構成されていた点も研修の意義を高めてくれたように思います。参加者との交流を通じて改めて大学という場の自由度や多様性を感じ、大学教育について考え直すきっかけにもなりました。

設計されつつも固すぎない研修の場づくりをしてくださったスタッフの皆様にもこの場を借りて感謝申し上げます。貴重な機会をありがとうございました。

○了徳寺大学　源　裕介

9 月 4 日 5 日の FD 合宿に参加させていただき、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。率直な感想でいうと、使命感のような形で参加させていただいた合宿でしたが、結果的に出させていただいて非常に良かったと感じております。

具体的な点でいうと、まずは他大学の先生方と情報共有ができたことです。学生とのコミュニケーションで色々と悩むことは多々あったののですが、その悩みが自分自身だけのものではなく、意外と共通しているところに驚きました。なかなか大学にいても授業の方法に関するディスカッションはしないですし、このような合宿の場で真剣に話し合う機会がないと、悩みが共有できなかったと思うので、その点は非常に良かったと感じております。

また、講師の先生方の講義が素晴らしく、非常に共感できる部分が多々あったので大変勉強になりました。授業を学生たちにどのように伝えたらわかりやすく理解してくれるかという課題はいつもつきまとっていたのですが、その解決方法が大島先生の講義を聞くことでいくつも見いだすことができたので、とても充実した気分となりました。また、発達障害に関する問題も、今までは自分なりの解決方法で対処していましたが、具体的にどのように対処していくべきかを田実先生の講義を聞くことで学ぶことができたので、非常に収穫の多い研修会となりました。

最後になりますが、山形という長閑な環境で、山形ご飯も美味しく、とても良い環境で研修ができたことに非常に満足しております。アイスブレークや夜の懇親会でも普段交流できない先生方と触れ合えたことも貴重な体験となりました。今後は、今回の講義や体験を踏まえて日々自己研鑽し、大学教育という場に還元できたら幸いです。

この度は貴重な合宿に参加させていただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

○沖縄県立芸術大学　波平八郎

9 月 4 日、5 日の FD 合宿セミナーでは、授業は学生を中心としたものであるべきという授業の哲学と、その授業を実現する技法を具体的に学ぶことができました。一日目の講義では、「授業力の向上」というプログラムで分かりやすく話すための技術を学びました。たとえば、分かりやすく話すためには「2 ステップ」を経ることが必要だということです。この「2 ステップ」とは「まず、大枠から話す。次に詳細に話す」というステップです。この「2 ステップ」の原則に基づいて授業を行うと、とても分かりやすい授業になるということが具体例とともに紹介されました。

また、「失敗から学ぶ」というプログラムでは、初めて会った同じ班の先生方と、ひどく失敗した授業について話し合いました。「トラウマになるほどひどく失敗した授業の話をしてください」と講師の先生がおっしゃったので、素直に教員

生活 30 年のうちの最もひどい授業の例を出して話し合いました。「なぜそういうひどいことになったのか」という原因分析を皆で行っていくうちに、「もう同じ間違いはしないだろう」という感覚を再確認することができました。この話し合いは、失敗してトラウマになった経験に対してのカウンセリングの役割を果たしたのではないかと今では思っています。

二日目のプログラムでは、発達障害のある学生や配慮の必要な学生がいる授業での具体的な対応方法を学びました。一口に発達障害といっても、そのあらわれ方は学生一人ひとりによってすべて違うので、臨機応変の対応が原則になると理解しました。その原則を踏まえた上での一般的な対応の例示があったので、今後の学生支援を具体的にイメージすることができました。

今回の合宿研修では、講義の場だけではなく、懇親会、宿舎など、いろいろな場所で他の大学の先生方と授業や学生対応について話し合うことができました。いろいろな場面で話し合えるというのは合宿研修のよい点だと考えます。研修の修了式で総括ディレクターの小田先生がこうおっしゃいました。

「AI（人工知能）の時代になっても、教員のパッション（情熱）を AI に置きかえることはできない」

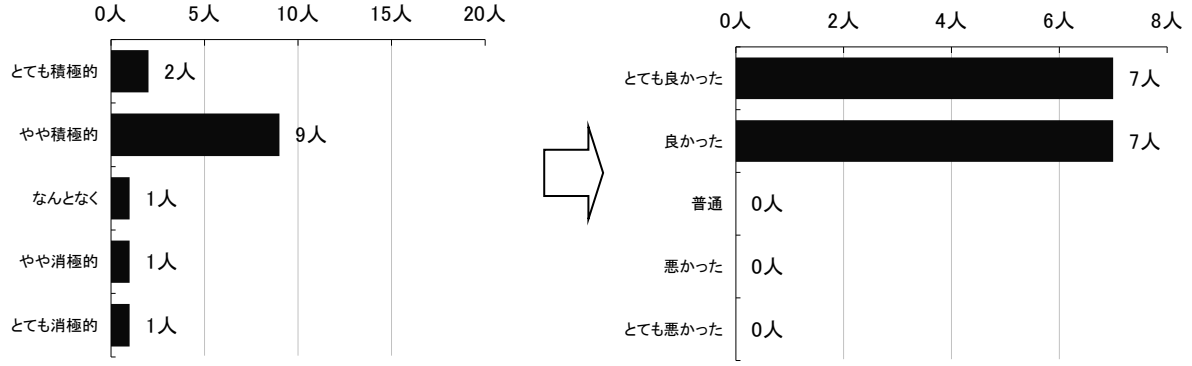
合宿研修は知識・技術にも増して、パッションを育てる力があると感じました。なぜなら、他の先生のパッションが自分のパッションに点火するのを感じるからです。私の勤務している大学では、合宿を伴った研修がありません。今回の合宿研修を参考にして、私の大学でも合宿研修をしてはどうだろうかと感じているところです。

FD合宿セミナーポストアンケート集計結果

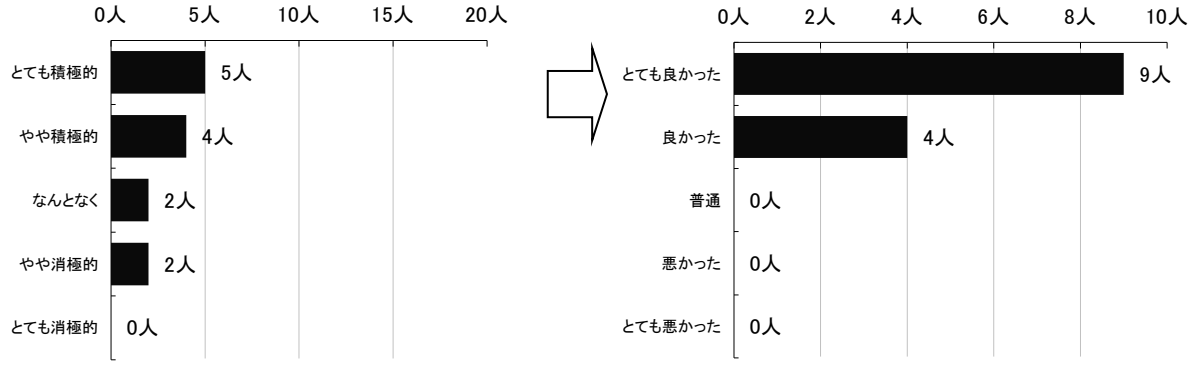
1　このセミナーには積極的に参加しましたか。　〈セミナー参加前〉

2　このセミナーに参加して良かったと思いますか。　〈セミナー修了後〉

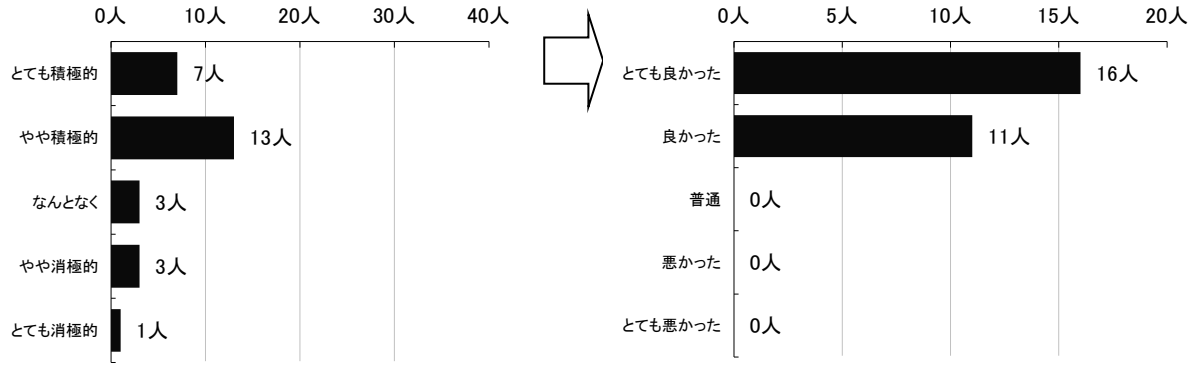
○第1チーム



○第2チーム

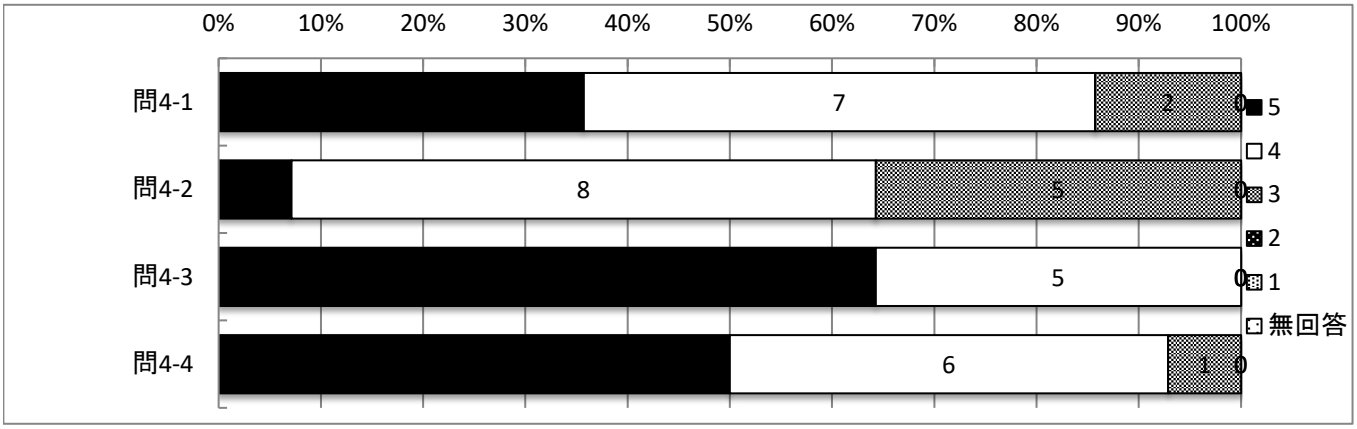


○全体

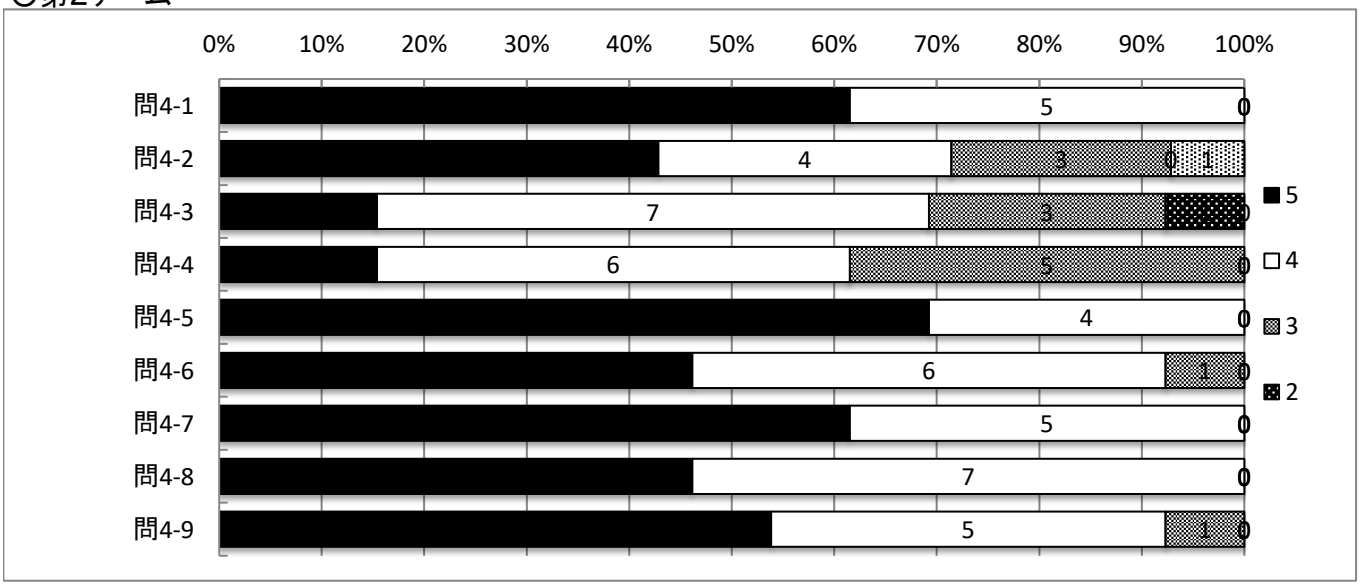


3　今回のセミナーにおける次の項目について、個人的な収穫度（意欲、理解、応用など）を5段階で評価してください。（5：良い ・・・ 1：悪い）

〇第1チーム

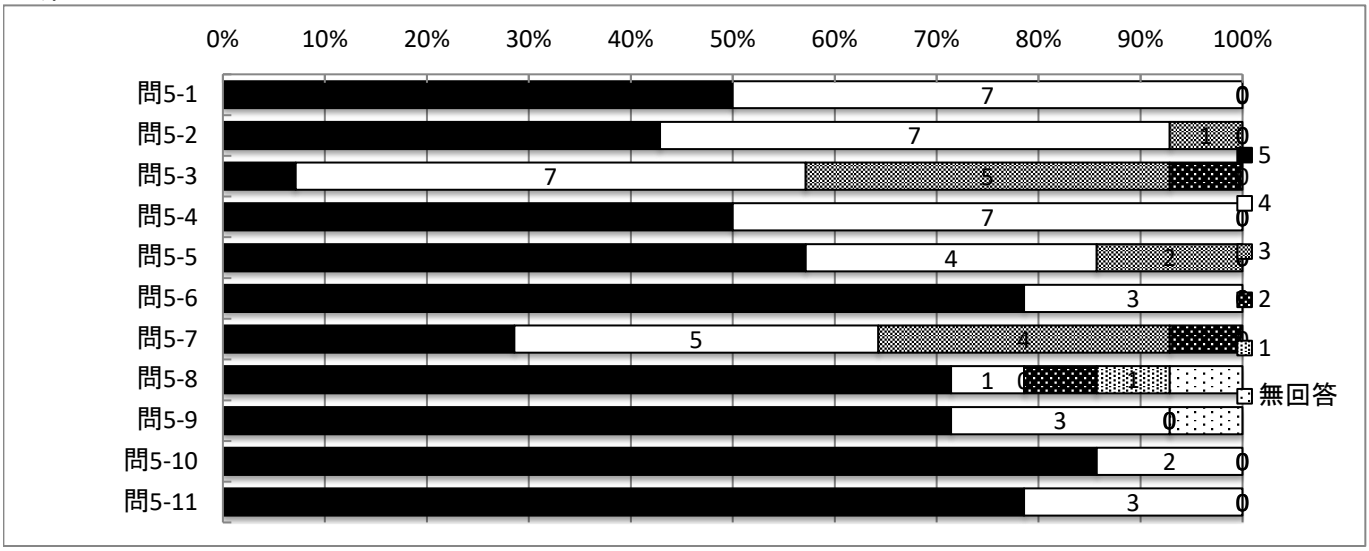


〇第2チーム

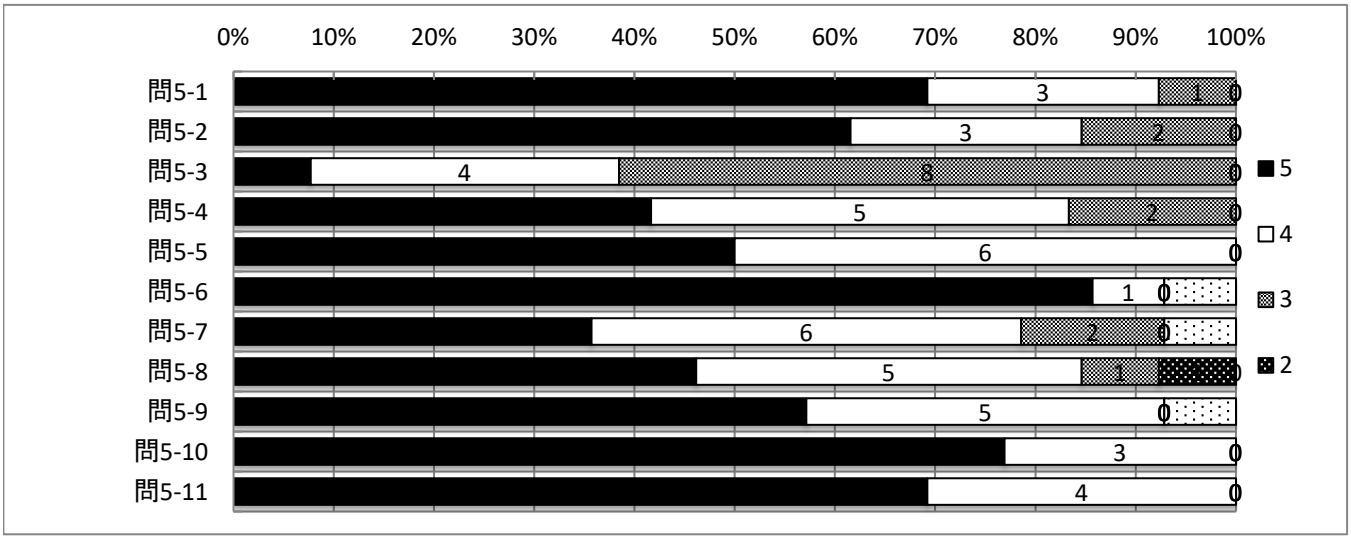


4　今回のセミナーを5段階で評価してください。（5：良い ・・・ 1：悪い）

〇第1チーム



○第2チーム


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
問5-1
問5-2
問5-3
問5-4
問5-5
問5-6
問5-7
問5-8
問5-9
問5-10
問5-11
3
1
0
3
2
0
4
3
0
5
2
0
6
0
1
0
6
2
0
5
1
0
5
0
3
0
4
0
5
4
3
2

○自由記述

（1）第 1 チームの回答

① このセミナーにおいて、良かったと思う点

・他大学の教員と情報交換できた点。
・自身が受講生になる機会を得て、アクティブラーニングを受ける学生の立場がどういうものか、体験できて良かった。
・アクティブラーニングについてよく知ることができ良かった。
・色々な場面を考え、授業を行うことが重要ということがわかり良かった。
・他大学の先生方と交流できたことはとても良かったと思います。また、動機があって参加されている先生方ばかりなのでみなさんとても積極的で、楽しく過ごしました。
・様々な分野の先生方とグループワークを行うことで、色々な見方、考え方を知ることができました。懇親会での情報交換も有意義でした。
・体験中心で気付きが多くありました。聞くことよりも気付くことの価値の高さを感じました。学生の気持ちの細かな機微を少し感じられたのではないかと思います。認めてもらうことも大切だと思いました。
・セミナーだけではなく懇親会もあり、たのしかったです。
・グループ討論の模擬授業で大変楽しく学びました。
・日頃授業で扱わない内容をデザインする機会を得てアクティブラーニングの要を知ることができて良かったと思う。
・いろいろな先生と交流しながら研修を受けたのがよかった。
・異分野の交流。多様な考え方。
・小田先生の適切なコメント。
・2日目に班分けを変えて、もう一度テーマを考え直したこと。
・様々な分野の先生方と GW することで色々な考え方を学ぶことができました。
・WS の効果を知ることができました。
・自分がアクティブラーニングを実際にできる点。
・所属も分野も異なる先生方とディスカッションができて見聞が広がった。

② このセミナーにおいて、良くなかったと思う点（改善すべき点）

・現実的に可能なことをきちんとやっておられたと思います。強いて言うなら夕食の時間がすごく短かった？
・特にないですが可能であれば、wifi を使用できる環境があるとより良いかなと思います。
・インターネットが使用できれば。
・特にありませんが、あえて書かせていただくと、夕食の食堂利用時間にあわせてセッション終了時刻をコントロールできたら良かったと思います。
・理系の専門科目へ FD を有効に利用するきっかけをつかめるようにしてもらいたい。
・夕食時間が短い。
・もう少し時間がほしい。
・時間配分が少し悪かった。かなりオーバーしていた。
・座学中心の授業に、同アクティブラーニングを取り入れるかの例を知りたかった。
・食事などのスケジュールがタイトすぎた。

③ このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。

・授業（教室）は舞台（装置）と言ったりしますが、どのように演出するか、これからはもう少し意識しようと思いました。
・一方的に話すことをやめて、少しでも学生に考えさせる時間を増加していきたいと思います。
・活動の内容を思いついていてもシラバスや説明に落とし込むところまで行かないことが多く、そのことが明確になったなと思います。今後努力していかなければならない部分だなと思っています。
・久しぶりに“演劇”を経験し、“間の取り方”や“沈黙の大切さ”（学生の意識を引きつけるための有効性）を改めて感じることができました。今後の授業に取り入れたいと思います。
・80人を対象に授業しています。発問の仕方を工夫して、学生に考えてもらい、気付いてもらう進め方に重点を置いていきたいと思います。
・アクティブラーニングの考え方が良く理解できたので、研究・教育に取り入れたいと思っています。
・実習授業においてアクティブラーニングを取り入れられると思いました。ありがとうございました。
・自分の授業の中に学生との相互交流の機会を設けてみたいと思う。
・電気系では演習や実験に利用できる手法だと思う。
・今まで以上に学生の目線で授業を見直していきたいと思いました。
・国家試験合格がゴールなので、アクティブラーニングをどう取り入れるかをこれから考えていこうと思います。
・学生がどうしたらアクティブになるのか、より考えていこうと考えている。
・学生目線や試行を意識しつつ教育を行いたい。

④ 自由に感想を書いてください。

・様々な専門分野、学校の教員が交流できるのは良い機会でした。
・時間が短かったのもあってかなり強く引っ張ってしまったのですが、みなさん優しく、積極的に参加してくれて、とてもありがたく思っています。おかげさまでとても楽しく過ごしました。
・アクティブラーニングに向いている科目、向いていない科目があると思いますが、具体的な事例についても教えていただける（あるいは参加者の経験、体験など情報交換できる）場があると、さらに良いと思いました。2日間ありがとうございました。
・日常から離れて、普段とは違う頭と体の使い方をしました。楽しく参加させていただきました。

・夕食の時間がもう少しあると良いかと思います。
・大変勉強になりました。自分自身もよりよい教師になりたいと思います。
・多分野の方々との意見聴いて創り上げる楽しさを改めて感じることができました。
・新しい視点で講義をするきっかけになったと思う。
・様々な先生がもっと参加すればよいと思いました。
・楽しい FD 研修でした。
・アクティブラーニングという言葉もわからず参加しましたが、WS の中で理解することができました。楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。
・皆さんフレンドリーで、大変参加しやすかったです。小田先生の話も魅力的でした。ありがとうございました。

（2）第2チームの回答

① このセミナーにおいて、良かったと思う点

・授業力向上については、具体的内容でとても参考になった。
・発達障害に関しては、最近発達障害学生が増えているので対応について考えることができた。
・講義内容にメタ的、具体的両方の学びがあったこと。（“わかりやすい授業”について、自分の経験をふりかえり、改善策を考えるヒントがたくさんありました。）
・規模感がちょうどよかったです。交流がしやすかったです。
・具体例、具体的な事案を多く聞けたこと。
・学生対応について、様々な例を参考に考えることができたこと。
・大学からの要請で参りましたが底辺に有意義で、今後自分の授業に活かすと共に、他の教員とも情報を共有しようと思います。ありがとうございました。
・テーマが興味深いものでした。
・これまで個人的に工夫してきたことを理論的に整理することができました。
・基本的な考え方、心構えに関するところと、具体的に授業改善に生かせるところ、どちらも学ぶことができて良かったです。大学の授業について、心のどこかで「教員の個性や方針が優先されたっていいじゃないか」と思っていたのですが、学生に配慮しないと結局伝わらない訳なので、もっともっと日々の授業での伝え方について考えてとりくんでいきたいと思いました。
・学修に困難を抱える学生についての情報が整理されていて、とても勉強になりました。
・授業のパフォーマンス論についても、パフォーマンス論と授業法が整理されて結びついたので良かったなと思っています。
・セミナーに参加された先生方と、教育に関する悩みが共有できたことが良かった。
・悩みに対して、様々な対策方法と講師の先生方にご教示頂き、今後活用していこうと思うことが非常に多かった。
・具体的な事例を踏まえて学ぶことができたこと。
・具体的で実践的な知見を得られただけでなく、共有すべき高等教育への信頼感を感じることができ、展望が（少しだけですが）開けた点。
・日頃、教育活動を行うにあたり、不明点、悩ましく思われる点、整理のつかない点などがあり、これらについて学んだり、気付いたりした点が多くありました。自分の中で整理をすることができました。
・わかりやすい授業への配慮、障害等学習に困難をきたしている学生への対応等、大変参考になりました。

② このセミナーにおいて、良くなかったと思う点（改善すべき点）

・座席をスクリーンに対してななめに配置した方が、スライドが見やすいかもしれません。

・集団学習（グループワーク）の時間を多くしてほしいです。せっかく各地方の大学から集まっているので機会を最大限に活用したい。時間的にかなりタイトなので一部の講義をeラーニングに回しても良いかもしれない。
・質問の時間があると良かったです。
・グループワークをもっと体験したかったです。
・第1チームと比べてしまっているような気はしますが、あまり他の人たちとグループで学習している感じがなく、一方的に話を聞いている時間が長く感じました。
・部屋がもう少し明るくても良いと思いました。
・高等教育に特化した視点が少なかったように感じた。
・一日目、食事の前に入浴をするというスケジュールを検討しても良いのではないかと思いました。
・学生主体型授業の体験といった側面はあまりなかったように思います。

③このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。
・発達障害の学生が多いので、それぞれの学生に対して個別の対応方法を検討していきたい。
・情報を整理し、構造化された授業を目指す。
・特別授業に関する学内体制を注視する。
・ここで得た知見を、本学に戻って還元する正式なルートがおそらく内のので、どう還元しようかと策を考えています。
・その学生をよくみて、学生や保護者の方と話し合いながら対応をしたいと思う。学科内での話し合い、共有はしている方だと思うが、今回学んだ知識もいかしながら、さらに進めていきたい。
・成果をフィードバック（特にプレゼンのコツ）し有効に活用したい。
・学習障害の学生への対応に得られた知識を活用したい。
・障害のある学生を普通に受け入れていこうと思います。
・障害のある学生、一人ひとりをよく観察して対応を考えていきます。
・授業準備で、何を大切にすればいいか、視点がかわりました。「何を」だけでなく「どのように」「だれに」伝えたいのか、にもっと気を配りたいと思います。あと、田実先生が最後に言われた「障害ではなく困り感にフォーカスする」というのに改めて感じ入りました。
・分野柄グループワーク、ワークショップ形式が多く、そこでは困難を抱えている学生はどうしても埋もれがちになるので、気をつけてなければいけないと思いました。
・まだまだ教育に対して無知な部分や甘い部分が多々あるので、まずは今回のセミナーで学ばせていただいたことを素直に実践し、その後フィードバックをしながら徐々にレベルアップしていきたいと思います。
・教員としてのキャリアをスタートしたばかりなのでとても参考になり、授業の作り方、教授の仕方を知ることができました。今後も学んでいきたいと思います。
・実際に自分自身が悩み、どこに相談すれば良いかもわからなかった点が今回のセミナーを通じて整理できた。自分の担当部署に持ち帰り、情報共有していきたい。
・障害者（障害学生）へのアプローチの方法を変えていこうと考えています。まあ、まずは、板書をしながら話さないということは、すぐに実行していきたいと思います。
・教授会への報告の他、学科や自身の教育活動へ反映していこうと思います。

④ 自由に感想を書いてください。
・第1チーム、第2チーム両方に参加できて、得るものは大木きかった。楽しい3日間でした。ありがとうございました。
・実りの多い研修でした。ありがとうございました。
・発達障害や、その疑いがある学生について、どのように対応するのがよいのか、悩むことが多かったのですが、今回「正解はない、ケースバイケースだ」ということが聞けて安心した部分があります。その学生のことをよく見ること、その学生にとっての最善策を考えることが結局は1番大事だ、ということが感じられたからです。「学生のために自分ができること（すべきこと）は何か」を、これからも考え続けていこうと思います。
・ご飯がとてもおいしかったです。つや姫最高！
・コテージも1人1部屋頂けて快適でした。お世話になりました。
・今回初めて参加させていただきました。学校に戻ったら、他の教員に伝えていきます。
・ありがとうございました。（女子会たのしかったです）
・女子会ができたことが本当にうれしいです。授業の改善への意識の高い人たち、学内でしっかりポリシーを持って仕事をしようとする女の人がたくさんいて、とても心強いと思いました。
・今回はすすめられての参加でしたが、結果的に参加できて非常に良かったと感じています。とても実になる研修でした。ありがとうございました。
・初回も参加したいです。
・合宿という形の研修がとても良いと感じた。ゆっくり時間をとってみっちり研修を受ける環境を作ってくださったことに感謝申し上げます。女子会、ほんとうに楽しかったです。
・今回学んだことを時期以降の教育活動に活かしていきたいと考えています。
・女性教員の参加が多かったのはとても良いと思いました。
・FD研修というものに初めて参加しましたので、評価しうる基準を持ちあわせていませんため、ほぼニュートラルな評価しかできませんでしたが、長年このような試みを続けられていることは素晴らしいと思います。

平成 30 年度　第 18 回　山形大学FD合宿セミナー

第1チーム

「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」

ポ　ス　ト　ア　ン　ケ　ー　ト

所属		氏名	

1　このセミナーには，積極的に参加しましたか。〇で囲んでください。

①とても消極的　②やや消極的　③なんとなく　④やや積極的　⑤とても積極的

2　セミナーが終了した現在，参加して良かったと思っていますか。〇で囲んでください。

①とても悪かった　②悪かった　③普　通　④良かった　⑤とても良かった

3　どのようにして本セミナーの開催を知りましたか。

4　今回のセミナーにおける次の各項目について，個人的な収穫度（意欲，理解，応用など）を5段階で評価し，〇で囲んでください。

	悪い ← → 良い
(1) 教育全般	1　2　3　4　5
(2) シラバスの書き方	1　2　3　4　5
(3) アクティブ・ラーニング	1　2　3　4　5
(4) 参加者の相互合流	1　2　3　4　5

5　今回のセミナーを5段階で評価し，〇で囲んでください。

(1) プログラムの内容の選択はいかがでしたか。	1　2　3　4　5
(2) 内容に対する時間配分はいかがでしたか。	1　2　3　4　5
(3) 内容の難易はどうでしたか。（1：簡単・・・5：難しい）	1　2　3　4　5
(4) グループ学習による体験型のFD合宿セミナーの教育効果はどうでしたか。	1　2　3　4　5
(5) このセミナーで示されたアクティブ・ラーニングを，あなたの授業に取り入れようと思いますか。	1　2　3　4　5
(6) このセミナーの成果を，これからのあなたの教育活動に活かそうと思いますか。	1　2　3　4　5
(7) 今回のセミナー会場として『協同の杜JA研修所』を利用したことについては，いかがでしたか。	1　2　3　4　5
(8) 今回のセミナーの開催時期はいかがでしたか。1または2に〇を付けた方は，下記の欄に御希望の時期を具体的に記入してください。 ※御希望の時期　[　　月　　旬頃]	1　2　3　4　5
(9) 今回のセミナーの企画・運営を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5
(10)今回のDR陣を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5
(11)今回のセミナー全体を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5

【裏面にも御記入願います。】

自由記述欄

６　このセミナーにおいて，良かったと思う点
７　このセミナーにおいて，良くなかったと思う点（改善すべき点）
８　このセミナーに参加して，これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。
９　御自由に感想を書いてください。

平成 30 年度　第 18 回　山形大学FD合宿セミナー

「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」

第2チーム

ポ　ス　ト　ア　ン　ケ　ー　ト

所属		氏名	

1　このセミナーには，積極的に参加しましたか。〇で囲んでください。

①とても消極的　②やや消極的　③なんとなく　④やや積極的　⑤とても積極的

2　セミナーが終了した現在，参加して良かったと思っていますか。〇で囲んでください。

①とても悪かった　②悪かった　③普　通　④良かった　⑤とても良かった

3　どのようにして本セミナーの開催を知りましたか。

4　今回のセミナーにおける次の各項目について，個人的な収穫度（意欲，理解，応用など）を5段階で評価し，〇で囲んでください。

	悪い ← → 良い
(1) 授業改善全般	1　2　3　4　5
(2) 学生を中心とする教育・授業の発展	1　2　3　4　5
(3) グループ学習形式による学生主体型授業の体験	1　2　3　4　5
(4) 所属大学に対する主体的な参画意識	1　2　3　4　5
(5) プログラムⅠ　授業力の向上～わかりやすい授業を実現するために～	1　2　3　4　5
(6) プログラムⅡ　失敗から学ぶ～個々の体験の分かち合いと『NG授業』の類型化	1　2　3　4　5
(7) プログラムⅢ　授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業	1　2　3　4　5
(8) プログラムⅣ　学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫－	1　2　3　4　5
(9)参加者の相互合流	1　2　3　4　5

5　今回のセミナーを5段階で評価し，〇で囲んでください。

(1) プログラムの内容の選択はいかがでしたか。	1　2　3　4　5
(2) 内容に対する時間配分はいかがでしたか。	1　2　3　4　5
(3) 内容の難易はどうでしたか。（1：簡単・・・5：難しい）	1　2　3　4　5
(4) グループ学習による体験型のFD合宿セミナーの教育効果はどうでし　たか。	1　2　3　4　5
(5) このセミナーで示された学生主体型授業を，あなたの授業に取り入れ　ようと思いますか。	1　2　3　4　5
(6) このセミナーの成果を，これからのあなたの教育活動に活かそうと思　いますか。	1　2　3　4　5
(7) 今回のセミナー会場として『協同の杜JA研修所』を利用したことについては，いかがでしたか。	1　2　3　4　5
(8) 今回のセミナーの開催時期はいかがでしたか。1または2に〇を付け　た方は，下記の欄に御希望の時期を具体的に記入してください。 ※御希望の時期　［　　月　　旬頃］	1　2　3　4　5
(9) 今回のセミナーの企画・運営を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5
(10) 今回の講師・DR陣を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5
(11) 今回のセミナー全体を総合的に評価してください。	1　2　3　4　5

【裏面にも御記入願います。】

自由記述欄

6　このセミナーにおいて，良かったと思う点
7　このセミナーにおいて，良くなかったと思う点（改善すべき点）
8　このセミナーに参加して，これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。
9　御自由に感想を書いてください。

第５章

基盤教育ＦＤワークショップ

山形大学教員研修会「第 20 回基盤教育ワークショップ」

日　時：平成 30 年 9 月 14 日（金）
会　場：山形大学基盤教育 1（A1）
主　催：山形大学教育開発連携支援センター

趣　旨

学士課程教育におけるＦＤが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員及び「ＦＤネットワーク“つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

日　程

10:00　開会
　あいさつ　山形大学教育開発連携支援センター長
　　小田　隆治
10:15　【第１部】基調講演
　演題「インストラクショナルデザイン(ＩＤ) に
　　基づく授業設計と授業運営」
　講師　神奈川工科大学教育開発センター
　　教授　伊藤　勝久
12:00　昼食・休憩
13:30　【第２部】ラウンドテーブル
　第１分科会
　「ＩＲ、授業アンケートなどデーター活用について」
　　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：山形大学　学術研究院
　　理学部　教授　栗山 恭直
　第２分科会
　「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」
　　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：山形大学　学術研究院
　　学士課程基盤教育機構　准教授　橋爪 孝夫
　第３分科会
「新任教員向けキャリア教育科目の授業運営法について」
　　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：山形大学　学術研究院
　　学士課程基盤教育機構　准教授　松坂 暢浩
16:30　閉会

○基調講演の様子



○ラウンドテーブルの様子







【第１部】基調講演　記録

○司会・挨拶：小田

おはようございます。それでは第 20 回基盤教育ワークショップを開催します。

山形教育開発連携支援センター長の小田です。チラシに書いてありますように、この基盤教育ワークショップも、名前を変えながら、教養教育など名前を変えながら、第 20 回となっております。毎年やっておりますので、平成 11 年、1999 年に第 1 回が始まり、今回第 20 回目となりました。平成最後のですね、今年やることは、全部平成最後ということになりますが、平成最後の基盤教育ワークショップとなりました。

日本中、今年は猛暑で、西日本では大水害、台風、そして北海道の地震があり、日本全体が災いにみまわれておりますが、この日本全体を包み込む天変地異が、いつか収まってくれればと思っているところでございます。今回も北海道から来る予定だった参加者の方が来られなくなりました。いろいろ大変なことになっておりますが、今日は皆さまの力によって、明るく楽しく、そして真剣に議論ができて、実り多い一日になればと願っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

では、早速ですが、第 1 部の基調講演に入りたいと思います。基調講演の演題としましては、「インストラクショナルデザイン（ID）に基づく授業設計と授業運営」ということで、神奈川工科大学の教育開発センター教授の伊藤勝久先生にお願いしております。先生には、春の大学教育学会で、このようなタイトルでお話し願えないかという形でお願いいたしました。かなり具体的な話、授業改善の具体的な話になります。インストラクショナルデザイン、かなり有名ですけれども、実際に触れることはほとんどありません。きょう 90 分お願いしていたら「100 分にしてくれ」とか言われるぐらい充実して準備をなさっていますので、ワークも伴っているらしいので、かなり中味の濃い話が聞けると思います。

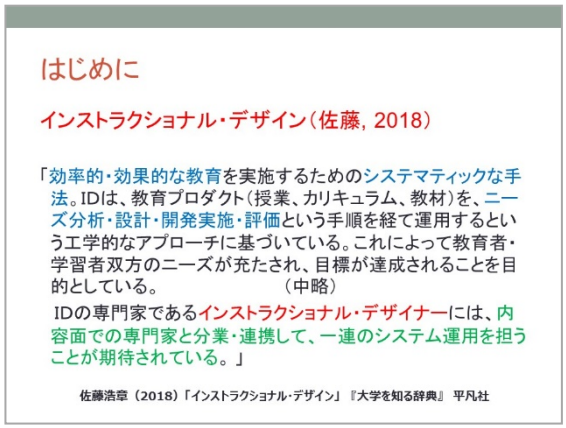
先生の経歴を簡単に、これの裏面に書いてありますので、簡単に申し上げますけれども、駒澤大学を出られ、その後勤務されたりとありますが、ピッツバーグの大学院に進まれまして、修士、そして博士（Ph.D.）をそこで修得されました。まさにこの ID、インストラクショナルデザインというものは、向こうで研究なされたことでもございます。そして今実践なさっております。そしてアメリカから帰られて、ピッツバーグ大学の助教を終えられたあとに、台湾の大学の助教授、そして苫小牧駒澤大学の助教授、教授となられて、私とそのときに FD ネットワークつばさを通して、伊藤先生と知り合いになり、それ以後、懇意にさせていただいております。そして 2 年前くらいですかね、神奈川工科大学の教育開発センターの教授に赴任されて、今、神奈川工科大学で FD や教育改革を担当されております。では、早速伊藤先生の方からお話を願いたいと、よろしくお願いいたします。

○伊藤

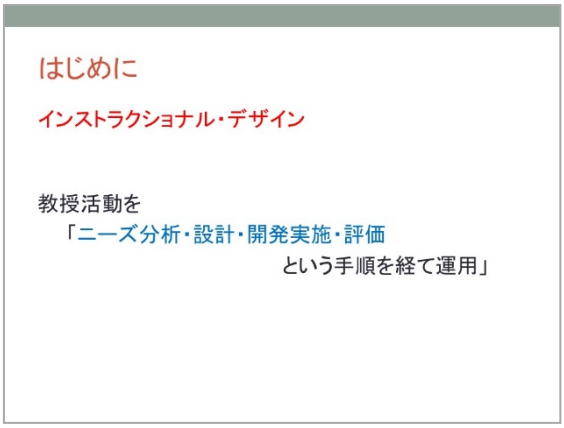
皆さん、おはようございます。神奈川工科大学、教育開発センターから参りました、伊藤と申します。

先ほど、小田先生よりお話ございましたとおり、私、本学のほうでは、大学のカリキュラムのメンテンナンス、それから教育改善、そのための全学 FD を担当しております。今日はちょっと短い時間です。本当は 300 分くらい欲しい内容です。300 分お付き合いいただければいいのですが、恐らく皆さん嫌だろうと思いますので、100 分で、しかしかなり凝縮してやりますので、よろしくお願いいたします。

それでは早速始めたいと思います。そもそもインストラクショナルデザインというのを、今日タイトルを目にする前からご存じだった方はいらっしゃいますか。いらっしゃいますね。IR の方、多分いらっしゃると思います。インストラクショナルデザイナーのことを IDer と呼びますが、IDer が IRer を兼ねていたり、同じようなところで仕事をしていますので、イメージはお持ちかと思いますし、その専門の教育も受けているかもしれません。けれども、一般的にはインストラクショナルデザインって何だろうという方が多いと思いますので、そこからお話を始めていきたいと思います。

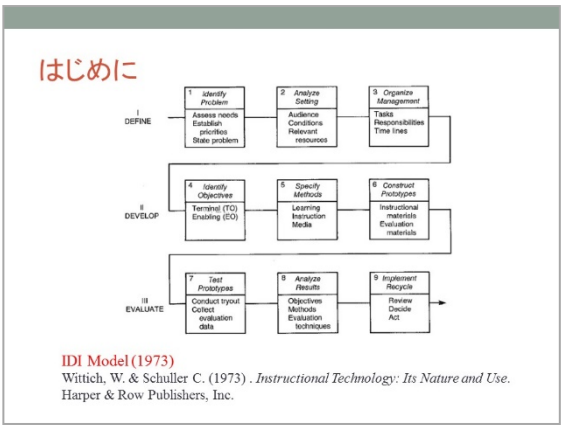


大阪大学、佐藤浩章先生の定義です。効率的・効果的な教育を実施するためのシステマティックな手法。ID は、教育プロダクト（授業、カリキュラム、教材）をニーズ分析・設計・開発、そして評価の 4 点の手順を経て運用するという、統合的なアプローチに基づいている。これによって教育者・学習者双方のニーズが満たされ、目標が達成されることを目的としている。ID の専門家である IDer は、内容面での専門家と分業連携し、一連のシステム運用を担うことが期待されている。内容面の専門家というのは、例えば皆さんがそうです。そして教育開発センターの私が ID の専門家です。それが一緒に手を携えて、カリキュラムあるいは授業を設定していったら良くなるだろうと。簡単に言うとそういうことになります。



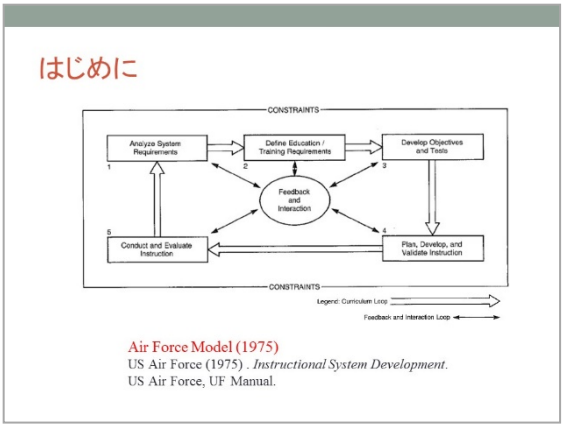
IDer の仕事を本当に簡単に要約しています。教育プロダクト（授業、カリキュラム、教材）をニーズ分析・設計・開発、そして評価という手順を用いて運用する。それが我々IDer の仕事になります。

先ほど小田先生からご紹介いただきましたが、私はアメリカでインストラクショナルデザインを勉強してまいりました。勉強というよりほとんど訓練みたいな感じで、日々大変な状況でしたが、当時いた私のクラスメイトがどういうところに就職しているかというと、例えば公教育です。アメリカの公教育は小学区制をとっていますので、学区でのカリキュラムの構成というのは非常に自由度が高いです。州の監督によってカリキュラムが構成されるのですが、逆に言うと自分の学区のカリキュラムは自分たちで責任を持って構成しなければなりません。そういうところで皆さん雇われます。ペンシルベニア州では、学区が 500 ありました。そこには、単純計算で IDer が最低 500 人は必要になります。公教育以外では、例えば公官庁です。警察や消防の研修担当、それから企業のトレーニングセンターなどでの研修担当ですね。IDer の需要は非常にたくさんありました。簡単に僕たちがどのような仕事しているかお示ししましょう。



これからお示ししていくものを、私たちは「ID モデル」と呼んでいます。教育のカリキュラムやプログラムの設計の指標とするためのモデルです。ここでお示しするのは、公教育の学区のプログラム、カリキュラムを設計するためのモデルです。IDer は、ニーズを分析し、設計し、プロトタイプを開発し、それを評価し、実際にそれを運用する。これをもとに、更に調整を加え、分析し、関係部署やプロジェクトメンバーに仕事を割り振りながら、カリキュラムを構成していくのです。

ちなみにこのモデルは 1965 年に米国教育省がスポンサーとなって構成されたプロジェクトで考案されました。このプロジェクトには、シラキュース大学、サウスカリフォルニア大学、そしてミシガン州立大学が参加したコンソーシアムで開発し、そこで開発されたのがこの ID モデルです。当時、このモデルは全米 20 州で使われカリキュラムが構成されていきました。

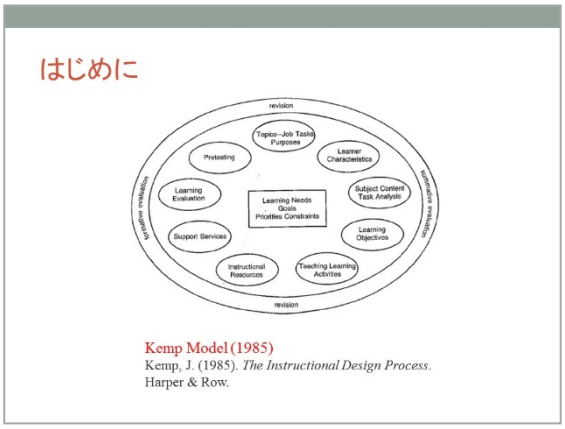


これは、Air Force Model と呼ばれる ID モデルです。Air Force、米国空軍は、ID のパイオニアと言われています。軍隊と教育というと、かなりかけ離れたイメージをお持ちかもしれませんが、軍隊というのは、実は教育活動、とくに規範を遵守させるための教育活動が中心に維持されるものです。マニュアルを作って、そのマニュアルに則って教育活動、例えば訓練を行う。それの宝庫です。軍隊で使う兵器は常に最新の物が採用されていき、刷新されていきます。そうすると、それに伴いメンテナンスが必要になっていきます。新旧の入れ替えも必要です。使用だけではなく点検も必要です。保管も必要です。それぞれにマニュアルが必要になってきます。また、それぞれに訓練が必要になってきます。

米国空軍は 1975 年に IDer のためのマニュアルを構成しました。私は 90 年代の初めにインストラクショナルデザインの勉強をしていましたが、その時点で米国空軍では、年間 1000 人ぐらいの IDer を量産していました。そのぐらい IDer というのは、軍隊でも重宝されているということです。

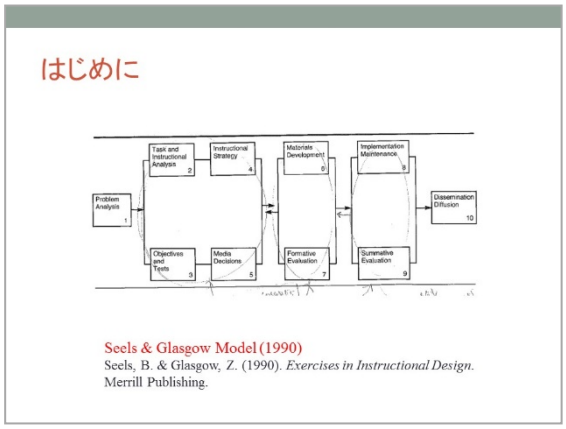
ちょっと余談になりますが、当時のクラスメイトに米国空軍の州兵がおり、タンカー（空中給油機）のキャプテンをしておりました。彼のクラスの中でのプレゼンテーションは大変印象に残っています。直立不動、話す時には絶対にまばたきをしない。その時に学生が最初に質問したのが、「どうしてまばたきをしないのだ」でした。「ああ、アメリカ人でも軍人の行動は珍しいのだな」と思い、変な感銘を受けました。そのプレゼンテーションは空中給油をする際の戦闘機とタンカーの動きをタンカー目線から撮影した動画映像を中心とするもので、マニュアルの作成に関するものでした。ニーズと手順を分析し、実際にどのように空中給油をしているのか、マニュアルではどうい

う点で気をつけていったらよいのかを述べたものでした。



これ、今お示しした Air Force モデルとかなり違いますよね。Kemp Model と言います。これは学校現場の教員用のモデルです。今までお示ししたモデルでは、例えば Air Force Model もそうですが、ニーズ、それから設計、開発、そして評価というふうに、かなりしっかりカッチリ作られています。この Kemp Model は違います。ニーズ、それから設計、開発、評価、分析、どこから始めてもいいのです。どこから始めても、どういう順番でやっていってもいいと。これが実は教育現場の状況に一番適しているであろうと、そういうモデルになります。

ID の考え方にも文化が反映されています。学校の先生はまばたきしながらお話ししてもいいですよね。私がこうやってふらふら歩きながら、皆さんとお話することもできます。軍隊の文化、教育現場での文化と、その差がモデルに表れているようにも感じ興味深く思います。



これはシールス・グラスゴーモデルと言います。これは実は私の恩師の一押しのモデルなのですが、どうしてそうかと言いますと、彼女が自分で作ったモデルだからです。1993 年のある日、彼女は私たちの前でこの図を示しながら、その有意性ついて熱弁をふるっていました。ニーズ分析をする、設計する、開発する、それから評価をする。このステップ間の柔軟性が特長となるモデルです。すなわち開発しながら評価するというコンセプトです。このモデルは、例えば e ラーニング教材、メディアを使った教材などの設計のために適したモデルとして、彼女は非常に推していました。

ところが、突然説明が止まりました。スライドの図、よく見てください。ここ（ステップ 6, 7 と 8, 9 の間の矢印）ちょっと変だと思いませんか。矢印がくにゃっと入っているのですが、これは私が手書きで入れたのです。彼女は突然、黒板に示している図上でここに矢印を入れ、「こうあるべきだ」と言い出しました。この図を示した書籍が出版されたのが 1990 年でしたので、93 年の時点では、もうそれまでに 3 年の年月が経っています。その日は我々に自分の作ったモデルを説明していて、説明しながら気がついたのだろうと思います。

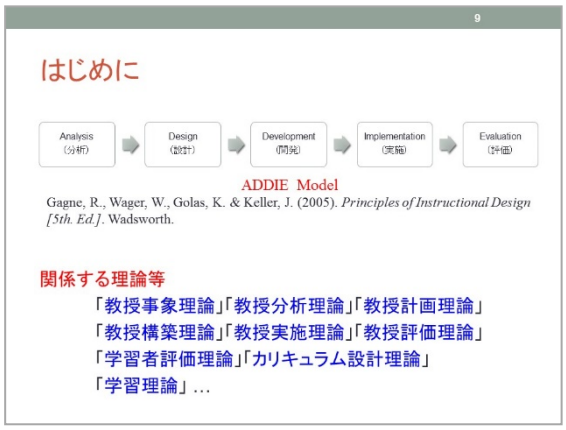
ここから私は二つのことを学びました。第一に、IDer というのは、常に改善に向けて動いていなければいけないということです。止まってはいけない。彼女の場合は、その日この部分まで説明が来たときに、恐らく瞬時にして、自己のモデルの評価がなされ、分析がされ、設計され、開発され、そして矢印を加える事が実施されたのだと思うのです。そういう形で常に動きながら考え実行していなければいけないのだということです。

第二に、プロとしての IDer は、恥ずかしいとかプライドということは考えてはいけないのだと。実際の場面で必要があるならば、すぐに手を下さなければいけないのだと。その二つを学ばせていただきました。

今までのお話を簡単にまとめましょう。IDer は、カリキュラム設計、授業設計、それから実施段階において、すべてをモニターしながら、改善に向けて常に考え、検討し、そして行動していくと。それが IDer の仕事と考えていただければ良いと思います。

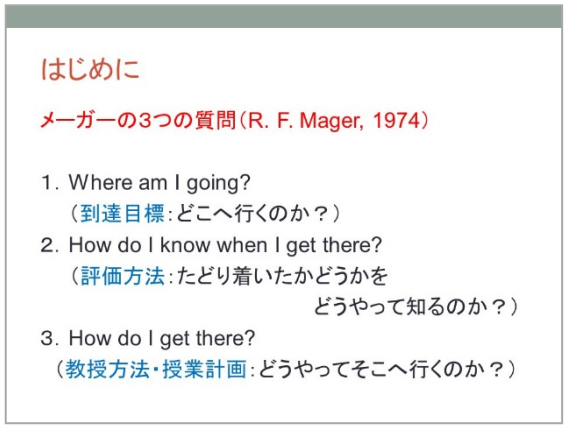


熊本大学の鈴木克明先生の定義も示しておきましょう。鈴木先生は、日本の ID の第一人者です。受講者の中には、個人的に関係がおありの先生もいらっしゃるかもしれません。ID は、評価内容の専門性と教育方法の専門性を区別した上で、教育内容の如何にかかわらず、適用可能な効果的・効率的・魅力的な教育方法の確立を目指してきた研究領域だと。すなわち、どのように教えるかという問いについての汎用的な研究知見を蓄積してきたと。その知見を基にして、皆さんのような内容の専門家である方と力を合わせて、良い授業を、良い教育課程を考えていく。それが我々 IDer の仕事になります。



ADDIE Model もご紹介いたしましょう。これはお見せしようかどうか少し迷いました。というのは、今までの話からちょっと離れてしまうかなとも思ったのです。これは ID を勉強する方にとっては一番初めに勉強するモデルになります。このとおり設計していきなさい、の一番シンプルなモデルと考えていただいて良いかもしれません。まずは分析を行います。カリキュラムだったら、その必要性の分析を行います。今まで出てきた言葉ではニーズ分析ですね。そして設計をし、開発し、実施して、評価をする。大切なものが抜けていますね。どなたかお気づきでしょうか。これは完全な図ではありません。IRer の方はすぐにお気づきになれるのではないかと思います。ちょうどこの evaluation（一番最後）と analaysis（一番初め）の間ですね。IRer の方がとくに活躍される部分になるかと思いますが、ここに矢印（evaluation→analaysis）が必要になります。この矢印で、初めて完全なモデルになります。こうやって改善に向けて、常に動いていく。それを個々の授業レベルでやる。あるいはカリキュラムレベルでやる。

関係する理論の例を少し示しました。教育事象理論と教育分析理論、教育計画理論、…学習理論と、いくらでも多分出てくると思います。それがこの（図中の五つの）局面にかかわってくるのです。ID とは、そういう専門分野になります。

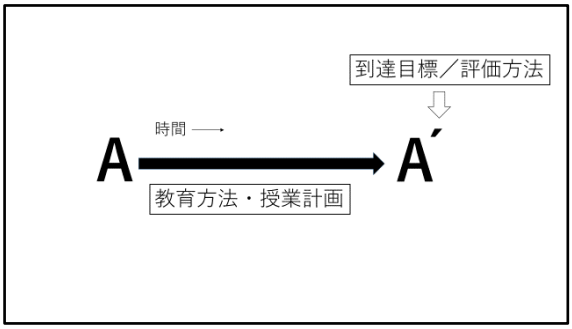


それでは、授業設計と授業運営のお話に入ります。皆さんに今日は絶対に持ち帰っていただきたい物があります。それがこの「メーガーの３つの質問」です。ここまでは ID の中でも、作業の指針を示すような、いわば大きなモデルを示してきました。ここからは大きなモデルから離れ、授業設計や運営に役立つ技法あるいは考え方を中心に提示していきます。

教育活動を設計する上で非常に重要な考え方なのですが、初めに重視すべきは「到達目標」を設定し、そこから考えていくことです。まずは「どこへ行くのか」、をしっかり考えること。そして「そこに行ったかどうかをどうやって知るのか」を知ること。すなわち「到達目標」をしっかり定めて「評価方法」、そこに本当に行っているのかどうかを考える。学生だったら要求されていることが「達成できているのかどうか」を、具体的に構成しなければいけない。「到達目標」と「評価方法」その関係は表裏一体です。それをしっかりと構成した上で、初めて「教育方法・授業計画」を考える、というのが「メーガーの３つの質問」です。

皆さん。皆さんのキャリアが続く限り、この「メーガーの３つの質問」は忘れないでいただきたいと思います。

もう少し噛み砕いてお話をしましょう。教育活動の考え方を続けます。



A さん（学生）がいます。ここに時間が流れていくのですが、例えば授業だったら 90 分ありますよね。科目でしたら、神奈川工科大学の場合は 15 回です。それが終わった時に、ここ（A さん）にこれ（ダッシュ）が付け加えられていなければなりません。この考え方が教育活動の基本中の基本です。このダッシュがすなわち、何かと言うと「到達目標」に相当するものです。「到達目標」を設定するのは、当然授業や科目が始まる前、我々が設計する段階で、決めておかなければならない。そうでないと授業や科目の設計というのは、成り立たないはずなのです。

皆さん、もしかしたらこのように（「授業方法・授業計画」が先立って、授業が流れながら「到達目標」や「評価方法」に至る）やっていませんか。

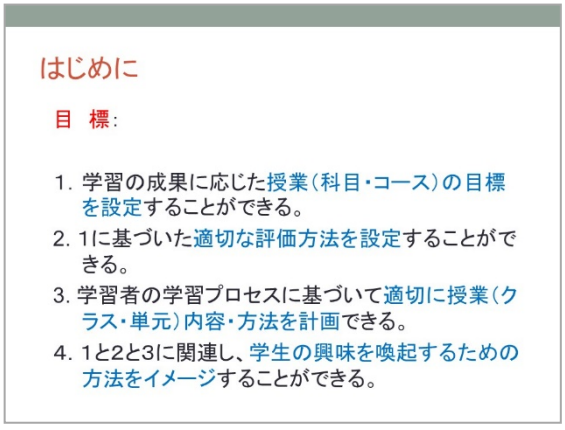
私が初めて授業を担当した時に、実は、こっち（「授業方法・授業計画」）からこう（後ろの方に流れて）行って、「到達目標」が最後に決まったりとか、恐ろしいことをやっていました。そういう方はいらっしゃらないと思いますが…。

話を続けますが、「到達目標」を決めた時点で、「評価方法」が決められなければいけない。ここ（「到達目標」）に到達することを決めるならば、「到達したかどうか」を、ここ（授業一番最後の部分）でどのように判断したらいいかのを、同時に決めなければいけません。この両者（「到達目標」と「評価方法」）を対応させて決めないといけません。これが決まって初めて授業の内容や方法も決まってくるわけです。

少年野球教室を教育活動の例としてお話を続けましょう。少年野球教室を開設する「目的」は、例えば「週末の一日を使って、野球がうまくなる」というのをあげることができるかもしれません。教室としての「到達目標」はどうしましょうか。例

えば「バントが上手になる」こと。これに絞って一日を使いましょうか。「評価方法」はどうしましょうか。仮に、バントをやらせてみて、達成率 80 パーセント、成功率 80 パーセントですね。そういうふうに決めてみましょうか。じゃあその 80 パーセントに行くためには何をしたら良いのでしょうか。そこで初めて「教育方法や授業計画」の部分が決まってきます。教える内容は何でしょうか。それをどういう順番でどのように実施していくのでしょうか。バントの構え、腕の力の抜き方、あるいは走塁の仕方、ステップの踏み方、いくつかバントの成功要因はあると思います。教育活動を設計する時にこういう順番（「到達目標」と「評価方法」が検討・設定された上で）で決まっていくのが「教育方法・授業計画」です。教える内容から教育活動が決まっていくわけではありません。

この「メーガーの３つの質問」は、ぜひお持ち帰りいただきたいと思います。この講演の中でも、この考え方は全体に流れていきますので、あとの話の中でも振り返ってまいります。

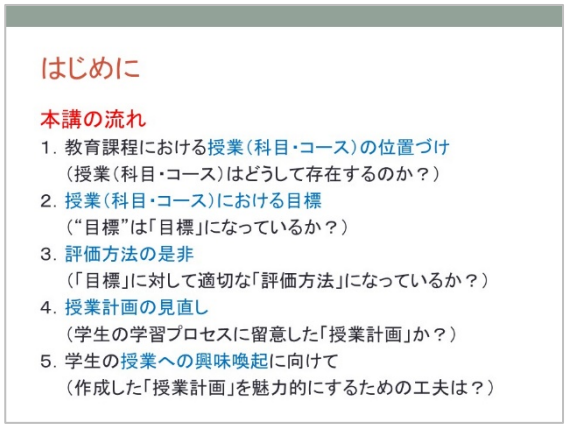


この講演の目標です。「メーガーの３つの質問」に則っています。まずは、皆さんが授業の目標（「到達目標」）を学修成果に応じて適切に設定することができるようになること。第二は、それ（「到達目標」）に応じた適切な「評価方法」を設定することができるようになること。第三に、学生の（認知的な）学習プロセスに基づいて、適切に授業内容と方法を計画できるようになること。それをある程度できるようにになって、お帰りいただきたいと思います。

そして、これら１、２、３に関連して、第４に、学生の興味を喚起するための方法をイメージすることができるようになることを設定しました。今日は時間が全然ないので、この四つ目の部分はこちらで指針を示してお帰りいただくような形になると思います。

今日は 100 分ということでお話をいただいていますので、「大体こういうことをすると良い」と、実際に体を動かしながら理解していただいて、「後で家に帰って何をしたらいいか」が分かるようになる。今日はそういう事で、この講演を計画させていただきました。

今日の流れです。皆さんは自己の担当する授業を基本に、まずは「授業の位置づけ」を考え、次に授業における「目標」を考えていきます。皆さんの設定した「目標」は本当に「目標」



になっているのかを点検してもらいます。そして「評価方法」に注目します。「目標」に対して適切な「評価方法」、先ほどお話ししました、それになっているのかを見ていただく。それから「授業計画」を見直していただき、「授業への興味喚起」に向けてどのように考えていったらいいのか。それをお示しして終わりになるという、そういう流れで進んでまいります。

皆さんにご自身の授業を検討していただく前に、参考までに私が担当した「スタディスキル」を例として挙げたいと思います。

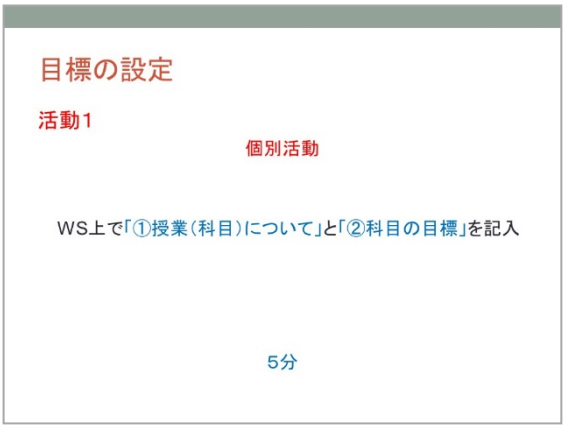
本日、皆さんにお配りした資料の中に「スタディスキルのシラバス」と「看護教員と教育開発者による初年次導入科目の設計と評価」とがあります。「スタディスキル」は、私が看護学科の教員と組んで設計・実施した科目です。実施後、四国に SPOD という FD 担当者のコンソーシアムがあるのですが、そこで事後検討を行うための整理のために発表報告を行いました。

「スタディスキル」の科目目標です。この（「資料１」に示した）ように、１から８まで具体的に「到達目標」を構成しております。それに基づいて「評価方法」がございます。見てお分かりのとおり、「評価方法」①から⑧は、「到達目標」１から８に対応しております。単に順番が１、２じゃなくて、１は①に対応し、２は②に対応ということで、「到達目標」と「評価方法」を対応させています。「到達目標」を達成するために、「評価方法」として配布資料で各々「成績・評価」「評価」で掲げたものが考えられました。これも１から８まですべて数字が対応しています。こういう形で設計を行い実施し、実際に評価を行い、現在考察し問題を洗い出しているところです。

実はこの科目は設計に当たって重要なプロセスが抜けていました。よくある話ですが、いきなり３月の段階で「伊藤さん、ちょっとこれ一緒に考えてくれない？」と言って持ち込まれた科目だったのです。決定的に欠けているのは皆さんお分かりになりますか、設計前のニーズ分析がなされず始まったのです。皆さんの大学の授業は、そのように始まる科目が多いのではないかと思いますが、非常に危険です。動かしてから過ちが分かっていくパターンです。この授業も、そういうところで色々と問題が起きました。

看護学科の２年生は、12 月に病院実習を２週間やるのですが、そのうちの１週間、私も参加させていただき２年次での看護実習でのニーズを把握し、その上で来年度の授業設計を行うつもりです。これが IDer としての私の仕事です。そこまで、

中々、徹底してできるものではないのですが、できれば皆さんにも同じように考えていただきたいと思います。先に進みましょう。



さて、お手元にワークシートがあると思います。配られたときからちょっと嫌な予感はしていたと思います。ご自身で授業を担当されている方は、自分の授業を思い出していただき、最初の「①科目について」と「②科目の目標」について書いていただきたいと思います。職員の方や授業を担当されていない方は、その用紙の裏に練習用として、「情報リテラシー」という科目を設定しました。入りやすいように事前にこちらで「目標設定もしておきました。その目標を見て「こうじゃないだろう」という感じで添削していただければと思います。

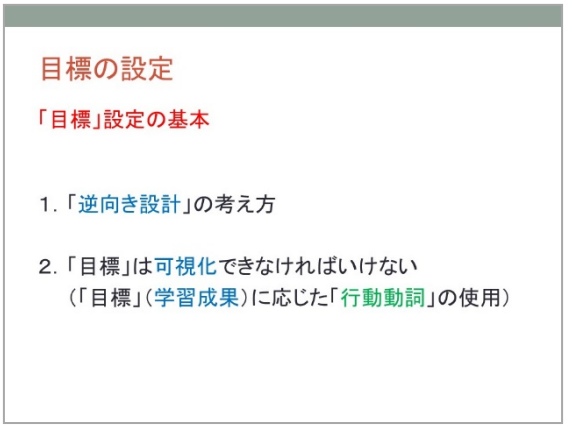
じゃあ５分差し上げます。はい、スタート。

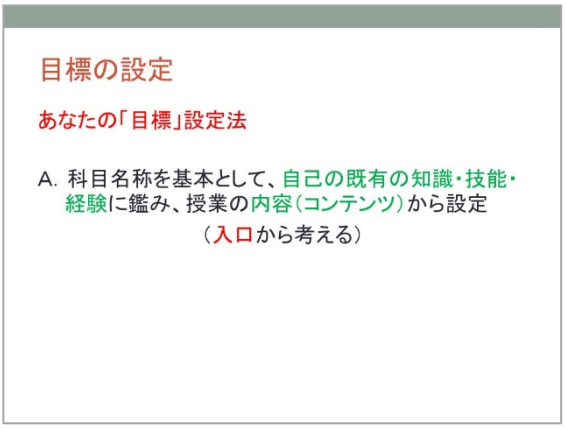
いくつか科目お持ちだと思いますが、日ごろ問題だと思っている科目。この際ですので、改善に向けて考えてみようと、そのような科目を取りあげていただけるとよいかもしれません。

職員の方は、研修を企画することもあるかと思います。それを念頭に、この際ここで考えてみると。それもよろしいかと思います

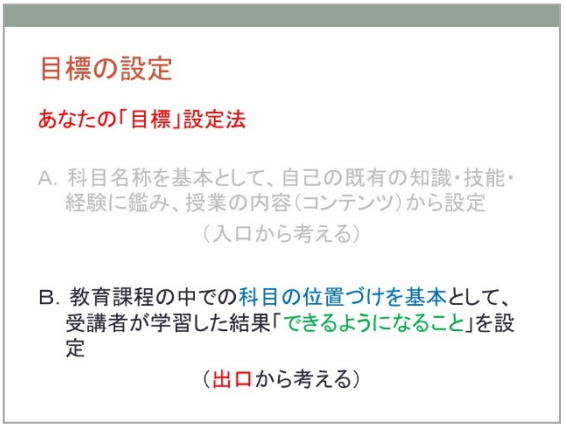
～ワーク～

（アラームの音）





はい。終わらないとは思うのですが、まずは手を止めて、こちらに注目してください。皆さんどのようにお考えになったでしょうか。よくあるパターンですが、科目名称と手持ちの知識を基本に「これが必要であろう、あれが必要であろう」とお考えになっていませんか。私の場合は、以前教職課程におりまし



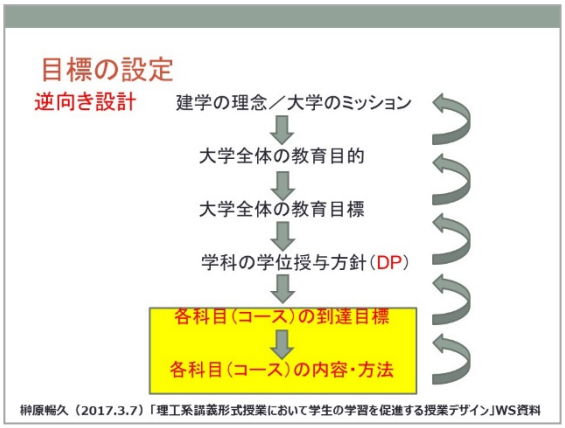
たので、自分の教育理念として「学生はこれを知るべきであろう」を中心にコンテンツとして「これを教えたらいい」を重視し、そこから「目標」を構成していく。初めの頃は、そうやって科目設計を行っていたかもしれません。いわば入口から考えていく方法です。皆さんの中には、もしかしたらそういう方もいらっしゃるかもしれません。

あるいはこちらの方ですか。「教育課程の中での科目」、その位置づけを基本として、「受講者が学習した結果できるようになること」を設定し、出口から考える。そういう構成になっていたでしょうか。

授業は教育課程の中で位置づけられているものですので、Bのほうが望ましいことになります。

皆さんには授業設計をするにあたって、二つ、気をつけていただきたいと思います。第一に、「逆向きに設計する」という考え方。それから第二に、「目標」は「可視化」できなければいけないということです。どうして「可視化」できなければいけないのでしょうか。簡単です。「可視化」しないと「評価」ができなくなるからです。観察できなければ「評価」をすることはできません。

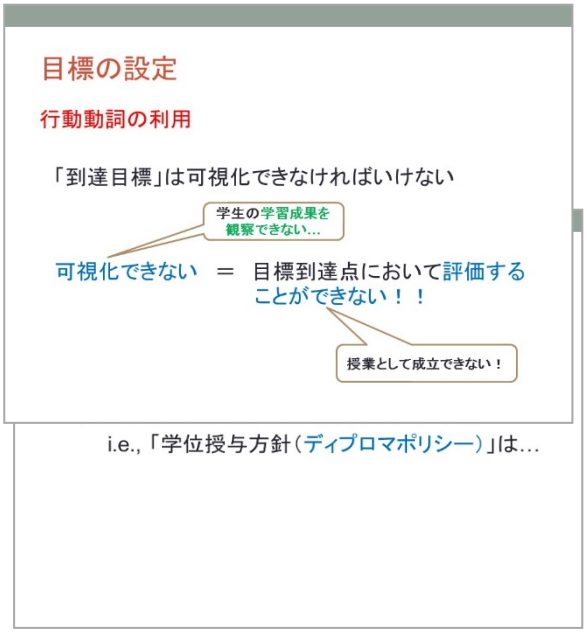
さて、はじめに逆向き設計の考え方についてお話ししましょう。



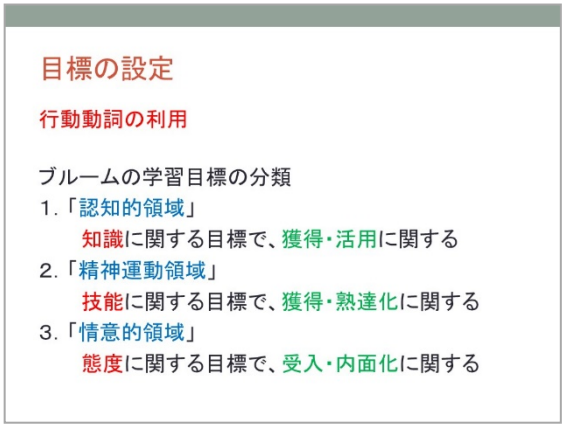
先ほどの例（板書した「A さんの学修」）から、授業の中で又は科目の中での「目標」設定が逆向き（到達時点で要求されるものから検討・設定する）であるのはお分かりになったと思います。教育課程の中ではこういう考え方です。はじめにゴールがあると。ゴールとは何か。我々は教育課程の中に科目を位置づけなければならないので、考え方としてはこの図の上から来きます（一番上にあるものがゴール）。私学だと「建学の理念」がある。それから国立大学だったら「大学のミッション」があります。それが、一段下がって「大学全体の教育目的」に噛み砕かれる。そしてそれが更に「大学全体の教育目標」として具体化される。その具体的に掲げられた教育目標を達成するために、学科が配置されて各々の「学科の学位授与方針（DP）」が構成される。この DP を学科・学校として達成するために科目が配置され皆さんが担当している、ということです。そのため、これらの科目は DP に則った形で、「到達目標」が構成されていなければなりません。それに基づいて「内容・方法」が決まってくるのです。

実際皆さんは、ご担当の科目でこのように考え設計されているでしょうか。大学の先生はどこから入り（採用され）ますか。ここ（図中の黄塗の部分）から入ってこられる事が多いのではないでしょうか。「すみません、伊藤さん、教職の科目ですが基幹科目を四つ担当してください。」そうすると、どうも「私の科目」という意識が強くなってしまって、この部分（黄塗の部分の上）が見えない。ここ（図中の最上部「見学の理念／大学のミッション」）から入っていらした方、いらっしゃいますか。「建学の理念が好きだから、私はここで殉じたい。」「大学のミッションが好きなので山形大学にぜひ就職したい。」こうやって考えて入職された方はいらっしゃらないのではないでしょうか。

科目設計をするにあたっては、ご所属の学科の「教育課程の目標」「ディプロマ・ポリシー」をまずはチェックする必要がございます。それに鑑みて科目の「目標」を具体的に考えていく必要がございます。



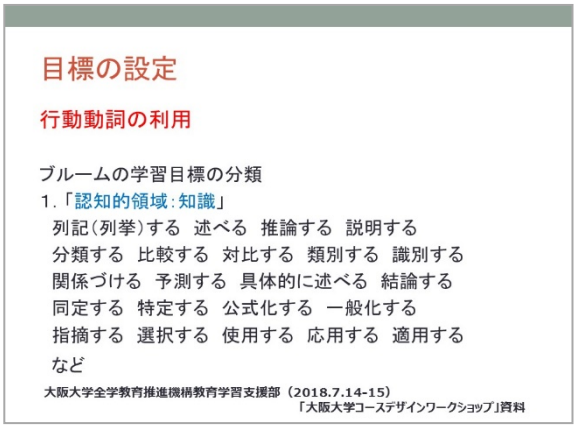
次に「目標」は「可視化」できなければいけない、ということでした。先ほどお話ししました、「行動動詞」を使用するということです。「可視化できない」という事は、「学生の学習成果を観察できない」、「学生の成長が観察できない」ということで、「目標」到達点において、「評価することができない」と、すなわち「授業としては成立していない」ということになってしまいます。そうならないために、「行動動詞」を使う必要があるのです。



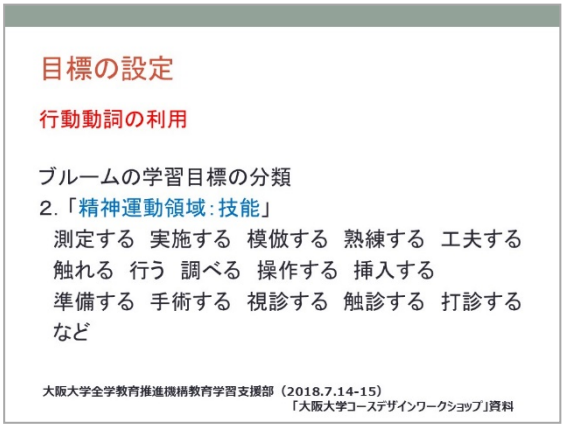
「行動動詞」を使うための指針です。教育学の先生方や教職を履修してこられた方はご存じだと思いますが、ブルームという人の「学習領域の三分類」というのものがございます。これはブルームが亡くなったあとも引き継がれ改訂され、未だに改訂が続いている状況です。ブルームの「学習領域の三分類」に関しては、皆さんに冊子のコピーをお渡ししています。名古屋大学の中島先生がお書きになった「授業設計」という書籍の一部になります。少し概要が載っていますので、あとで時間があ

る時にお読みいただきたいと思います。

ブルームの「学習領域の三分類」ですが、第一に「認知的領域」。これは「知識」にまつわるもので、大学の専門領域ではよく取り扱われているものです。第二が「精神運動領域」。すなわち技能に関するもの。理工系の大学では実験科目などが該当します。あるいは実習科目も含まれていきますね。レポートの作成や英語によるコミュニケーションなども「技能」になります。そして第三にくるのが「情意的領域」です。「態度」に関するもので近年求められている汎用的能力などが該当してきます。余分な話になりますが、実はこの態度に関する学習で、学生の学修を「可視化」するのは非常に難しい。実を言うと、ID では「態度を直接評価することはできない」と言い切っています。「直接」は「評価」できないのです。しかし、「評価」できないということではありません。「評価」するために。「知識」を使う、「技能」を使う、それらを複合的に使い「態度」を「評価」していくのです。ちょっと複雑な話にしてしまいましたが、以上示したように三つの分類があり、それに則った動詞が各々提示されているのです。

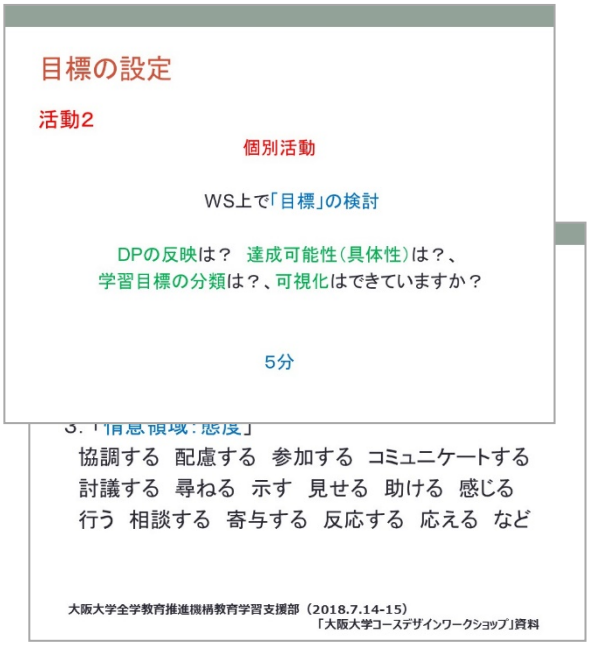


「認知的領域」において「可視化」のために有用な「行動動詞」のリストです。このリストに関しては、お手元の中島先生の資料でもより詳しくあげられています。



「技能」に関するものです。

そして「態度」に関して。先ほどもお話ししたように、「態度」は直接「評価」するのが難しい領域ですが、このような形で「行動動詞」も提示されています。



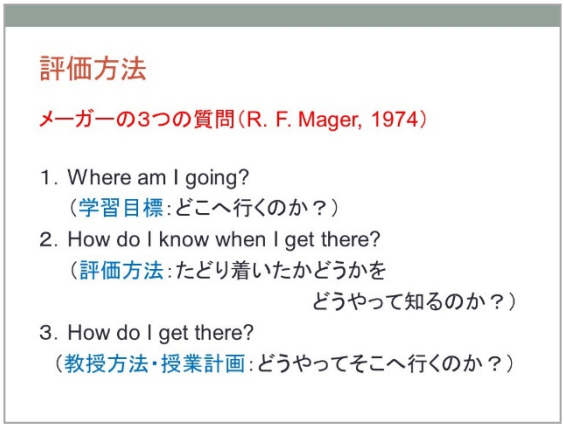
さて、また皆さんに考えていただきます。まずは目標を再検討してください。先ほど皆さんがお書きになった目標ですが、「達成可能性」や「具体性」はいかがでしょうか。「学習目標の分類」ではどこに該当するのでしょうか。「可視化」はできているのでしょうか。もう一度、考えていただけますか。

「行動動詞」としては、資料にもございますので、これらを参考にもう一度考えてみて下さい。

5 分間差し上げます。

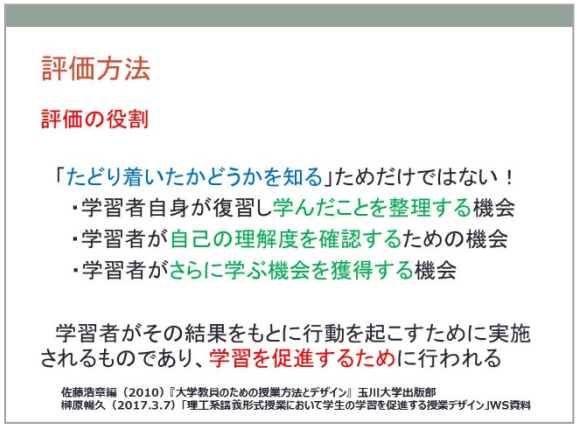
～ワーク～

（アラーム音）



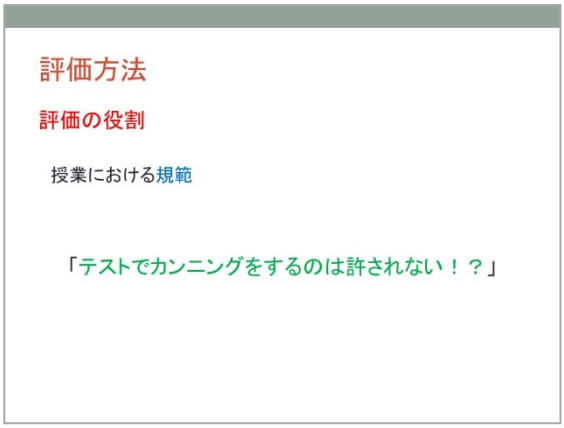
次に、「評価」にお話を移してまいります。また先ほどの「メーガーの３つの質問」です。「学習目標」すなわち「どこへ行くのか」に対応しての「評価方法」すなわち「たどり着いたかどうかをどうやって知るのか」でした。「目標」と「評価」が表裏一体的に構成されるのが重要とお話をしました。それに基づき「どうやってそこへ行くのか」の「教育方法」が設定されるの

でしたね。



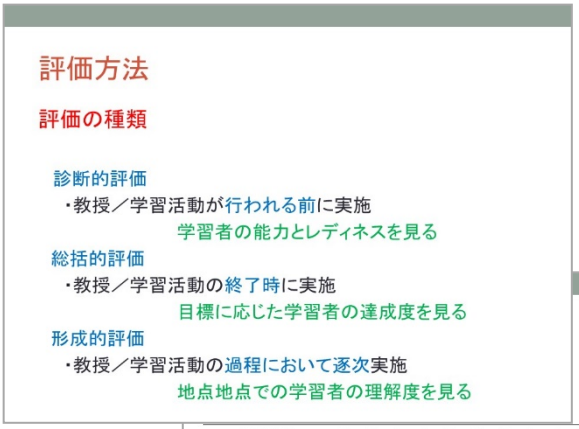
しかし、「評価の役割」ですが、この「たどり着いたかどうかを知るため」だけに限定することはできません。「評価」の実施は、学習者自身が復習し、学んだことを整理する機会にもなります。それから、学生が自己の理解度を確認するための機会にもなります。さらに学生が更なる学び行うための機会にもなります。「評価」の考え方ですが、学習者がその結果をもとに行動を起こすため実施されるものであり、学習を促進するために行われるものだと位置づけることもできます。我々が成績をつけるために行うのが「評価」、ということではないのです。「学習者の学習を促進するために行う」のが「評価」です。

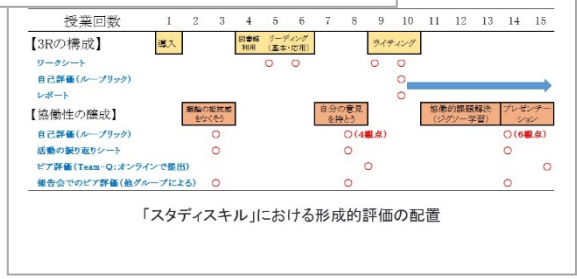
後ほど「総括的評価」という言葉が出てまいります。すなわち学生の学びの最後に行う評価で、そこで我々は成績付けを行ったりしますが、私は、それ自身ですら、学習を促進するために行われるべきだと考えています。学習者は、科目を履修して、それでいなくなるわけじゃないですよね。授業者の前からはいなくなるかもしれませんが、その授業の履修は学生にとっては人生の中の一部に過ぎません。であるならば、その次につながっていくものを考えてあげるべきだと思います。「評価」（総括的評価）というのは、その最後の機会と考えることもできます。



授業における規範です。テストの際の規範ですね。テストでカンニングするのは許されない。皆さんそう思いますよね。

けれども、本当にそうでしょうか。まあカンニングという言葉は、ちょっと適切ではないかもしれないですが、テストという機会を設け、例えばお互い意見を共有させ何かを作らせることはどんどんできるわけですよね。それで「評価」してあげれば、学生も喜ぶはずです。フィードバックを与えるのはなお良いでしょう。そうやって「評価」を使っていけないでしょうか。





「スタディスキル」における形成的評価の配置

評価の三つの種類についてお話ししましょう。第一に、「診断的評価」。入学試験がそうですね。あとは、１年次に実施するプレイスメントテスト。これで学習者の知識や能力をある程度そろえ、学習に入ります。先ほど私は担当する「スタディスキル」に、ニーズ分析が欠けていたと言いました。この部分もありません。突然、科目設計が始まりましたので、色々なほころびが出てまいりました。この部分がしっかり実施される事が一番重要だと思います。しかし大学の教育課程では、授業実施前には、なかなかできることではありません。他の先生から情報を得る。今まで自分の科目を取ったときに、個々の学生はどうだったのか、データを整理していて、それで分析しておくとか、そういう事が必要になってくるでしょう。個人の力ではなかなか対応できる事でもないので、大学や学科として、きっとやっておかなければいけないところじゃないか思います。

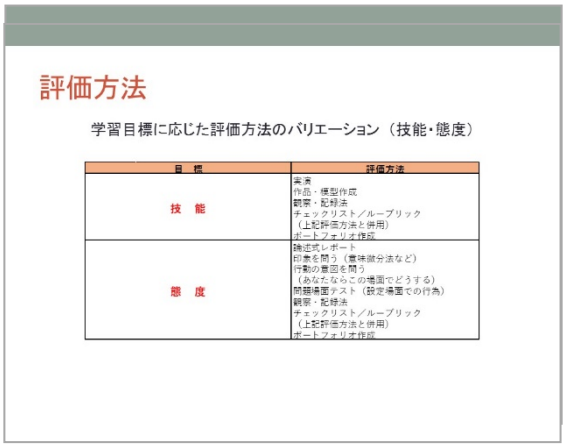
第二に「総括的評価」です。先ほどお話しした授業最後の成績つけ、最後のこの（板書で示した「A さん」に）ダッシュがついたかどうかですね。それを確認するための評価です。これは分かりやすいと思います。

そして第三の「形成的評価」です。これは実は「総括的評価」以上に重要です。どうしてそんなに重要なのでしょうか。（先ほどの板書に戻り）学生 A さんですが、15 回の授業の中でここ（最後の部分）だけで「評価」されたら困りませんか。学生にとって「評価」が良かろうが悪かろうが、それは何のための科目になるのでしょうか。とくに「評価」の悪かった学生にとって、それはどういうことになるのでしょうか。「やっぱりおれは駄目だったんだ」「私はどうしようもないんだ」と。それが学習成果となって、学生に残っていくことになりませんか。そうならないためにも、途中のある時点で「評価」を行いながら、ここ（最後の部分）に到達する必要があります。

ここ（途中のある時点）で「評価」を行う事は、学生にとっては、その時点で自分に何が足りないのかの「気づき」を得ることができます。教員はそれに対して、残り（その時点から最後の部分にかけて）を学生がどうすれば良いのか、どう埋めて行けば良いのかをフィードバックしてあげることができます。それとともに、教授者のほうでは、学生に足りない部分が分かる。例えば、それが一人や二人じゃなかったと。授業の中で、例えば「クラスの 3 分の 2 で足りていない」ということになるかもしれません。皆さんでしたら、そのまま授業を予定どおり続けて行きますか。シラバスにそう載っているので、そうしますか。そういうことではございません。足りない部分を埋め合わせるべく、次回以降の授業の方法・内容をもう一度考えてみるべきなのです。そうやって、柔軟にここ（最後の部分）に向い、「総括的評価」に到達するというのが、「形成的評価」の意味なのです。

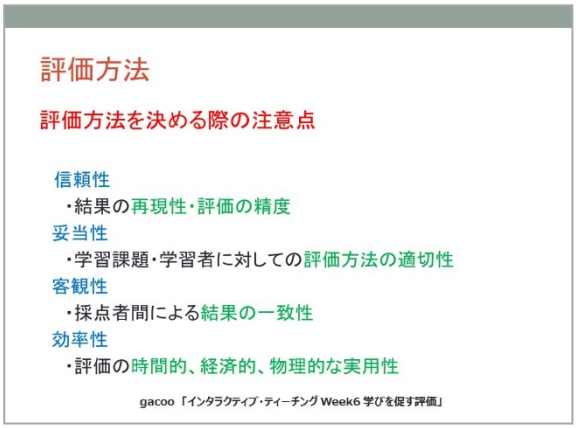
私の「スタディスキル」の「形成的評価」の例です。少し見づらいでしょうが、「評価」をどの時点でどのように入れているのか参考にしてください。全部で 17 回の「形成的評価」を行っています。そのうちの幾つかはゴールデンウィークと重なりました。おかげでゴールデンウィーク中は、毎日午前中、ずっと学生へのフィードバックを書いて過ごすことになりました。受講者はたった 44 人でした。それでもそんなことになりますが、ことに「態度」を「学修目標」として設定するような場合は、このように「形成的評価」を利用しつつ、学生が段階的に「態度」構成できるよう設計・実施すべきと考えています。

「評価方法」です。バリエーションを少しあげてみました。色々なところで掲載され一般化されているもの、あるいは私が考えたものも含めてみました。この表ではブルームの領域とは違う枠組みを使っています。帝京大学のゲーリー土持先生が使っている分類法を流用しました。少し整理して「知識」の部分を三分類しましたが、実はこれもブルームに微妙に対応しています。表の上の方から「低次の知識」、それから「高次の知識」、「より高次の知識」に至ります。その各々に対応した「評価方法」です。少し列記してみました。「知識」に関してはこれだけのものが考えられます。もっとあるかもしれませんので、もしあれば教えていただきたいと思います。



「技能」に関してはこんな感じかなと。これも掲載されていないものがあれば教えていただきたいと思います。

それから「態度」についてもあげてみました。「態度」については、とくにより多くの「評価方法」のアイディアが欲しいところです。



「評価方法」を設定する際の注意点です。まずはその「信頼性」です。とくに「低次の知識」に関しては、これは非常に重要です。そこでは再現性、100 回やったら 100 回とも同じ結果になる。それが評価としては望ましいわけです。「態度」を「評価」する際に「信頼性」を担保するのは難しいかもしれませんが、これはできるだけ留意すべき事項です。

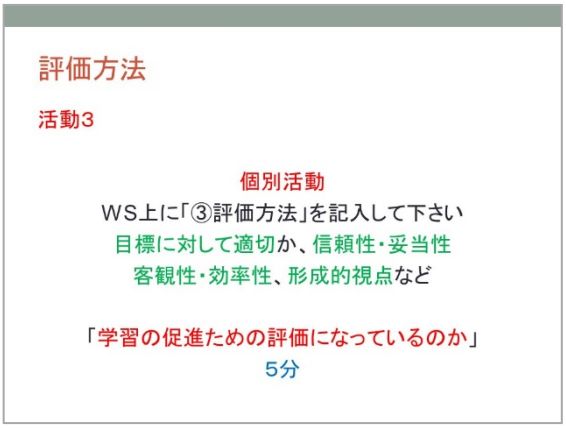
次に「評価」の「妥当性」。これは「知識」であろうが「技能」であろうが「態度」であろうが、同じです。これは「評価方法」が「学習目標」を図るのに適切なのかどうかという事です。一番やってはいけないのは、まだ習っていないところをテストして「評価」することです。これは非常に効果的です。学生は多分一気にやる気をなくすと思いますよ。「皆さんの信頼性」も一気に地に落ちると思います。

それから「客観性」。他の先生との間で、例えばチームティーチングをやっている場合や同じ科目名称でクラスを分け合っている場合などでは、とくに重要です。採点者間によって同じ評価を使って結果が違ってはいけないのです。そのために我々はルーブリックを併用し、それで観点を合わせます。

そして最後に「効率性」です。この重要性については、私は

身をもって分かりました。先ほどお示しした私の評価の方法で一番問題なのは、この「効率性」でした。「効率性」の観点が抜けています。これはいけません。なぜなら私の科目は私が私的に投入する時間とエネルギーのみに頼ることになり、他の教員に一般化することができないからです。ほかの先生が担当することができなくなってしまうのです。この三つ（「信頼性」「妥当性」「客観性」）を担保しながら、この「効率性」も担保することを考えなければなりません。

評価に関してはこの四点に留意しなければなりません。



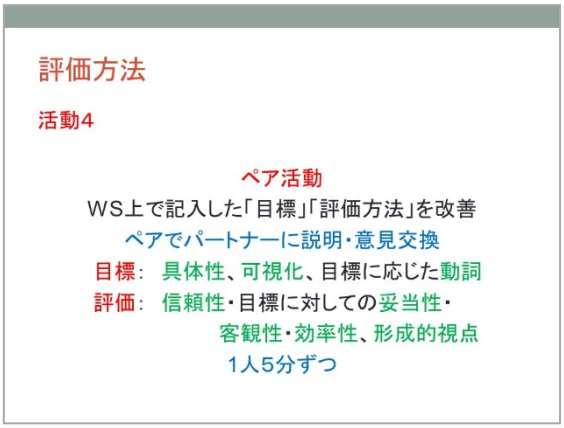
それでは皆さん、またワークシートに戻りましょう。

「目標」に対応した「③評価方法」を考えて下さい。「形成的評価」はできているのか。「目標」に応じた「評価方法」になっているのか。「信頼性」「妥当性」「客観性」「効率性」は大丈夫でしょうか。そして最も重要だと思うのですが、学習の促進のための「評価」になっているのでしょうか。

それでは 5 分差し上げます。

～ワーク～

（アラーム音）



はい。では、これからペア活動をしていただきます。皆さんが書いた「目標」と「評価方法」をお互いにシェアしていただき、改善できる部分がありましたらパートナーの方に提言いただきたいと思います。

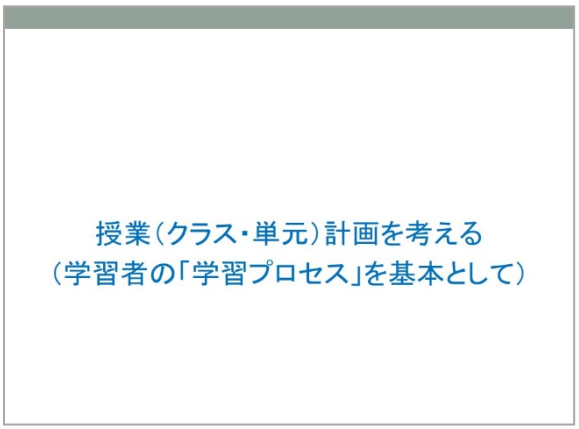
「目標」については、「具体性」、「可視化」、目標に応じた「行動動詞」など。それから「評価方法」については、「信頼性」「妥当性」「客観性」「効率性」「形成的視点」など、そして「学生の成長のためになっているのかどうか」でした。その辺も含めて見ていただければと思います。5 分ごとで区切りたいと思います。じゃあスタートいたします。はい、どうぞ。

～ワークはじまり～

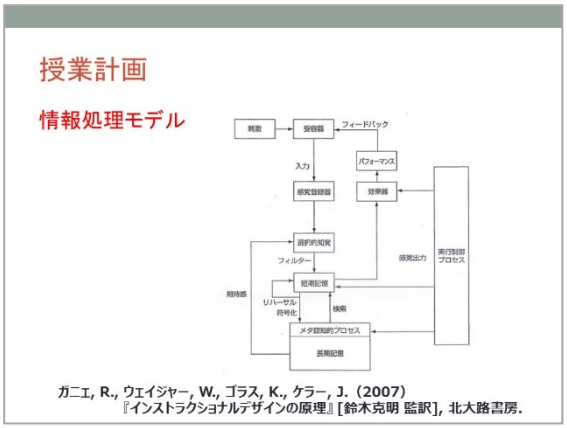
交代お願いいたします。 5 分間です。

～ワークおわり～

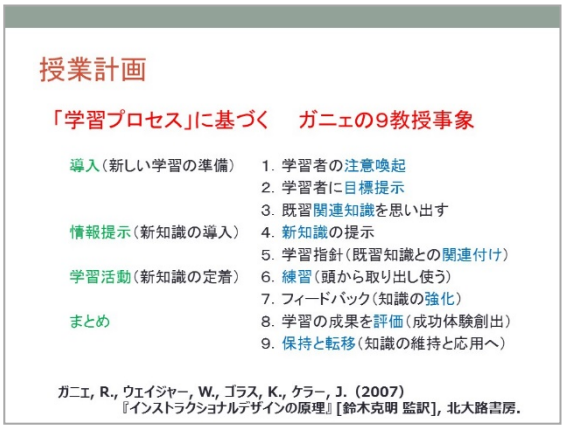
皆さん話し足りなかったのではないかと思います。「目標」と「評価方法」について考えていただきましたが、時間が全然ないですよね。この講演の後で、続きを考えていただければと思います。常に改善です。シールス先生から学んだところでした。



今度は、「目標」と「評価方法」に応じて、「教育方法」を考えていきます。ID では、学習者の学習プロセスに則って考えてまいります。「ガニェの 9 教授事象」を紹介いたしますが、これは今日、「メーガーの三つの質問」に加えてもう一つ持って帰っていただきたいものです

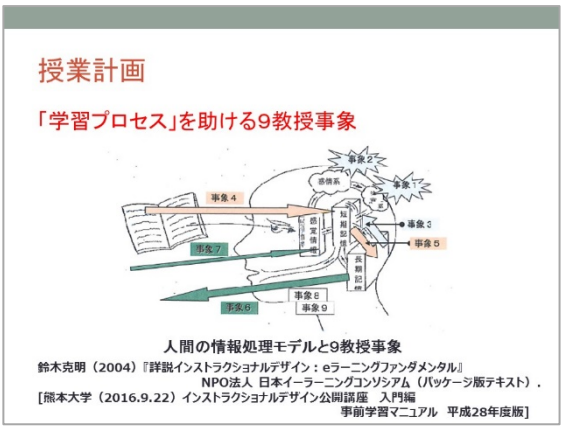


この図は有名なので、ご存じの方も多いと思います。情報処理モデルと呼ばれています。学習者の学習プロセスに則って、情報の流れを表したものです。外部の刺激が入力され、それが我々の経験から期待感を持って選択的に知覚され、短期記憶に入り、長期記憶の中で関係するものが検索され、そこに本人にとって意味があるもの、重要だと思われるものが記憶されるという。どこかで皆さんも勉強したことはあるかもしれません。



学習プロセスに基づく「ガニェの９教授事象」です。先ほど情報処理モデルで提示した学習者の学習プロセスに基づいて、九つの段階が用意されています。「導入」段階として「学習者の注意喚起」。それから「目標を提示」、「既習関連知識を思い出す」。「情報提示」段階では、「新しい知識」を提示する。「既習知識との経験からの関連づけ」です。それから「学習活動」段階として、「頭から取り出して実際にどんどん使う」。すなわち一度内化したものを外化するのです。そして「フィードバックを与え知識の強化」を行い、「まとめ」の段階として「成果を評価しつつ成功体験を創出」してあげて、それを忘れないように後続する授業の中で適宜振り返りを行っていきます。振り返りの際には「既習関連知識を思い出す」辺り、あるいは「学習指針（既習知識との関連付け）」の辺りで投入すると、「保持」が図られるように思います。そして他への「転移」応用です。

これが９教授事象ですね。



皆さんに配布した資料に頭の形のものがあると思います（「資料３」）。鈴木克明先生がお作りになったもので、あとでお話しする ARCS の資料もそうです。鈴木先生は、著者名と出典が明らかにされているのであれば、どんどん広めてくださいとおっしゃっています。この資料を使って、皆さんも ID の考え方や技法をどんどん布教していただければと思っています。

話しを戻しますが、この「資料３」の頭の形の図（図１：スライド上の図に同じ）と下の表（表２．算数の「長方形の面積」を用いた９教授事象の例：鈴木克明他（2016, p.45）『インストラクショナルデザインの道具箱 101』北大路書房を一部加筆引用）を対応していくと、だいたい皆さんの授業で、例えば知識を扱う場合、どういうことを考えていったらいいのかお分かりになるかと思います。

「資料３」に則っていきましょう。頭の形と下の表、長方形の面積ですね。小学校の事例ですが、それに対応しながら見ていきましょう。まず導入、事象１「学習者の注意喚起」ですね。「縦と横のサイズが違う２冊のマンガ本を見せて、どちらが大きいか問いかける」ですね。そして、事象２「学習者に目標提示」です。「今日の授業はこれだよ」ですね。どちらの本も長方形であることを気づかせて、長方形の面積を計算する方法が、今日の課題であることを知らせる。次に、事象３「既習関連知識を思い出させる」ところです。学習者の長期記憶（経験）から検索し関連知識を参照する部分ですね。長方形の相対する幅が平行で、角が直角であることを確認する。また、前時に習った正方形の面積を思い出させる。ここで前時の正方形で学んだ知識の「保持」も図るわけですよね。

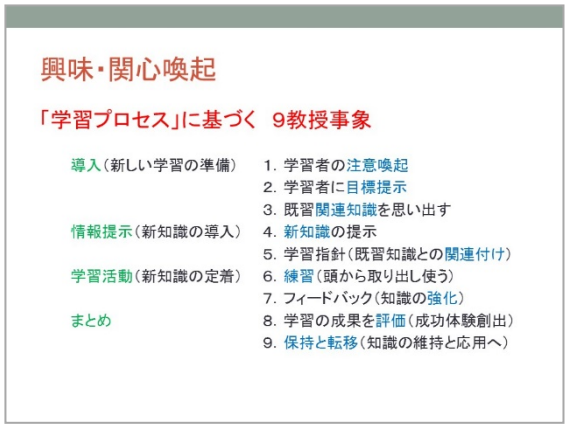
そして事象４「情報提示」。今日学ぶ新しい知識が提示されるところですね。「新知識の提示」、すなわち長方形の面積の公式を提示し、いくつかの例に適用してみせる。モデリングも行います。それから事象５「学習指針」。既習知識との関連づけを行わせます。正方形の面積の方式と比較させて、どこが違うのかを考えさせる。同じところ・違うところに着目させて公式の適用を促す。そして事象６「練習」させる部分です。頭から取り出し何度もやらせる。これまでの例で使わなかった数字を用いて、縦と横の長さの違う長方形の面積をいくつか自分で計算させる。事象７「フィードバック」ですね。正しい答えを板書し、答えを確認させる。間違えた児童には、誤りの種類に応じてなぜ違ったかを指摘する。そして、「まとめ」の部分。事象８「学習の成果の評価」です。簡単なテストで学習の達成度を調べ、できていない学習者には手当てをするとともに、次回授業の参考にします。そして最後に事象９「保持と転位」です。忘れないように、もう一度長方形の出し方を確認する。また平行四辺形や台形の面積の出し方を考えさせるというプロセスです。

ちなみにこの九つの教授事象というのは、90 分これを全部押さえなさいということではないです。皆さんの場合 15 回の授業をいくつかの単元に分けることができると思います。私の「スタディスキル」でしたら、読み書きのスキルの部分で１単元、議論の構成の部分で３単元を設けているとか、そういう形です。おそらくこの「9 教授事象」の１から８、あるいは９までの塊が一つの単元でくくられるかと思います。また、もちろんこれらの 9 つの事象が全て網羅されていなければならない、という事でもありません。これはあくまでも一つの考え方にすぎません。授業の計画に困った。ではどうしたらいいかという時に、参照して使うものと考えるとよいでしょう。そういう時に便利なのがこの「ガニェの９教授事象」です。

ID のモデルや技法は、一見マニュアル化されているように見えるので「このとおりしなくてはいけない」と考えてしまう方がおります。そのようなことではありません。まったく初めて授業を作る方にはこれを指し示して、「とりあえずこれで作ってみたらいかがですか」というお話はします。そうでない方は、授業設計や授業運営上で問題が起きた時に、参考にしてみると良いと思います。



それではまたワークに戻って「④授業計画」を考えてみましょう。皆さんの授業で「知識」を扱われているのでしたら、例

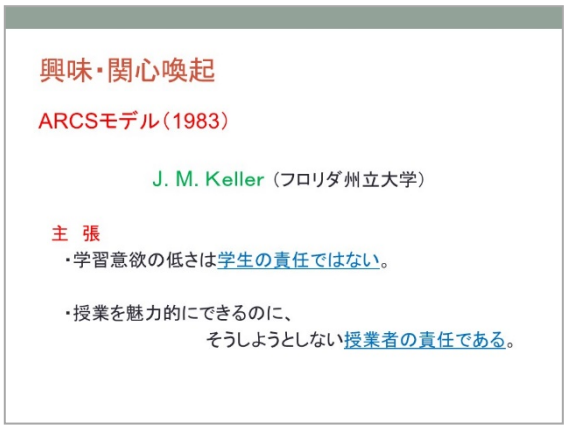


えば「ガニェの９教授事象」に則って考えてみると、もしかしたら考えやすいかもしれません。もうお分かりだと思います。「学習目標」と「評価方法」ですね。それに対応した形で作られるのが良いでしょう。

はい、それでは５分間でどうぞ。

～ワーク～

（アラーム音）



次は、いよいよ難しい部分です。学生の興味関心、それを喚起するにはどうしたらいいかというお話です。フロリダ州立大学というのは IDer にとっては非常に重要な場所です。シラキュースもそうですが、ノースウェスタン大学などもそうです。とくにフロリダ州立大学は ID のスターの方がたくさんたくさんいらっしゃるところです。先ほど皆さんに紹介した、ガニェという方もそうです。あとウェイジャー、ID をかじったことがある方だとすぐに名前にピンと来る、そういう方がたくさんいらっしゃるところです。鈴木克明先生もこちらです。彼はガニェに直接指導を受けた方です。私はバーバラ・シールスに指導を受けましたが、彼女はガニェの友人です。ちょっとそこで格差があります。すみません、あまり面白くないですね失礼いたしました。フロリダ州立大学ですが、ケラーという先生がいらっしゃいました。その方が考案したのがこの ARCS モデルです。

彼の主張ですが、まず「学習意欲の低さは学生の責任ではない」と。では、誰の責任なのか。「授業を魅力的にできるのに、そうしない授業者の責任である」と言い切っています。いつか私も公言できるようになりたいと思っています。

彼の ARCS モデルを見ていきましょう。お手元の資料で、A3 版でお願いしているものがあります。あえてカラーでお願いいたしました。先ほど出典を明記して、これは布教しても構わないと言ったものの一つです。「資料４」です。具体的に書いてありますので、これを参照しながらお話を聞いてください。

12 の要素を挙げています。A「注意」：A１「知覚的喚起」、A２「探究心の喚起」A３「変化性」、R「関連性」：R１「親しみやすさ」、R２「目的志向性」、R３「動機との一致」。C「自信」：C１「学習要求」、C２「成功の機会」、C３「自分で制御する」、それから S「満足感」：S１「自然な結果」、S２「肯定的な結果」、S３「公平さ」と、こういうものに注意しながら授業を設計・計画すると良いというのが、ケラーの示唆です。

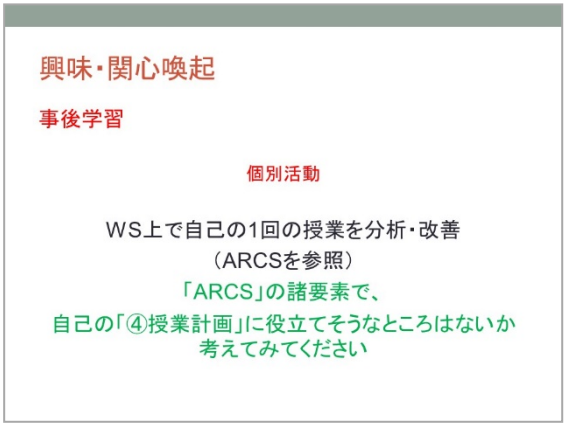
実はお気づきの方もいるかもしれませんが、先ほどお話ししました「ガニェの９教授事象」の９つの事象。この各々の事象に ARCS が微妙に関連していたりします。

それと実はこれ微妙にちょっと関連があったりします。例えば、ARCS の A と R。これらは、この「9 教授事象」の「導入」部に関わってきます。「資料４」で具体的に書かれているものを考えながら、自分の授業の「導入」部を検討したら、もしかしたら使えるのではないでしょうか。そういうのがヒントとしてあるかもしれないです。「9 教授事象」上では、「情報提示」から「学習活動」「練習」にかけて、そして「フィードバック」まで入るかもしれません。ARCS の C がかかわってきます。

それから S に関しては、「9 教授事象」では７の「フィードバック」から８「学習の成果を評価」、９「保持と転移」辺りで関わっていると思います。

皆さんに配布したワークシートの右側の部分に ARCS で考える枠を設けています。お帰りになってから、是非、「④授業計画」に対応させて、ARCS で使えそうな部分をチェックしてみると良いでしょう。そうすると、何か、学生の興味関心を喚起できるような内容に、もしかしたら出来ていくかもしれないですね。改善を考えていくヒントになると思いますので紹介させていただきました。

ここまでで 97 分お話しさせていただきました。100 分いただいていますので、あと 3 分です。



事後学習を勝手につけました。ワークシート上で自己の 1 回の授業をもう一度分析・改善して頂きたいと思います。そして、ARCS の資料も是非参照していただき、ARCS の諸要素で授業計画に役立ちそうなところはないか考えてみてください。お帰りになったら、是非、取り組んでいただきたいと思います。

以上で、私のお話は終わりになります。しつこいようですが、ID のモデル、理論や技法はマニュアルではないということ。それはお分かりになっていただきたいと思います。こういうものが出ると、「このとおりしなければいけないだろう」となりがちです。最初に使ってみるのはいいと思います。しかし自分の経験、それは非常に重要だと思います。問題が起きたときに、振り返る道具として、困ったときに使う道具として、お考えいただくのが良いと、私はそう考えています。

最後になりますが、今日お持ち帰りいただくものは何でしたか。「メーガーの 3 つの質問」ですね。それは、授業設計を考える時に、第一に思い出していただきたいと思います。

ありがとうございました。

一応宣伝します。神奈川工科大学では、「教育力向上ワークショップ」として、月一にワークショップを開催しています。私が主体で運営しておりますので、「授業設計」に関係するものが多いのですが、大学の仲間に手伝ってもらい、発達障害学生への支援や知的財産法入門なども展開しながらやっています。飛び込み結構ですので、参加希望者がいらっしゃいましたら、私に一報いただければと思います。自己の研修は常に改善すべしと考えていますので、厳しい目で私の研修を見ていただいて、色々と言っていただけると嬉しく思います。

私から最後にお願いです。今日ペアを組んだ方とお互いに向き合ってください。にっこり笑って相手の目を見て握手をして下さい。

それからもう一つ事後課題です。ペアの方は、人生のうちでどこかでまた会う機会があるかもしれません。そのときはお互い目を見て、にっこり笑ってあいさつしましょう。

以上です。ありがとうございました。

○小田

伊藤先生、どうもありがとうございました。非常に具体的な話でした。何かご質問等、所属と名前をお願いします。

○明海大学・吉田氏

明海大学の吉田と申します。

専門は日本経済史ですが、4 月から統計学入門を仰せつかり 120 人に電卓でやっています。先生が最初におっしゃったニーズというものはつかめていなかったですね。全然分野が違うので、やっているうちに一番こいつらの問題あるというのは、式が書けないとか、プラスが、マイナスがときどき消えたり付いたりするわけですよ。この答えが合っているのか、間違っているのか、これを正さなきなければならないというのは到達点に、途中で気がつきました。先ほど先生のスライドの中で、カンニングの話が出ましたね。私は公認ではありませんが、最初はテストと呼んでいましたが、途中から課題と言い換え、学生同士の相談可だと。そうしなければ 120 人の質問に一人で答えられるわけがないということに気づき、その過程で、別の統計学、それは経済数学の先生とかと、相談し質問するようにしたわけです。そうしなければ、やり方について、本学の学生がどれだけできないかできるかということも知りたかったので、昨今そういう先生、数理教育に携わっている先生たちと一緒に相談し合って、デザインしていくようにするということが、実は ID になっているのではないかと、そういうところをお聞かせいただければ。

○伊藤

はい。全くそのとおりだと思います。協力がもし得られるようであれば、相談していただき、構成されていくのがいいかと思います。あと先ほど先生がおやりになっている、その方法です。学生同士で相談し合いながらやるのは大変良いと思います。「シンク・ペア・シェア」をご存じですか。アクティブラーニングの技法の一つです。まず一人で考えさせ、それをペアで話し合わせます。先ほど講演の中で活動していただいたのは私なりの「シンク・ペア・シェア」です。まず自分でやって、お互いそれを説明し合うのです。そして、説明し合ったあと、ペアで、全体で回すような形です。「皆さんどうですか」って、ペアでどちらか発表するとかです。そういう形でやられるといいかもしれないです。時間を計って、例えば 1 分考えてください。それで交互に考えさせて、それで答えを出す。そんな形がもしかしたらできるのではないかと思います。

おっしゃるとおり評価は大変難しいですね。たくさんいると。お互い教え合わせて、回答し合わせるというのも良いと思います。

○吉田氏

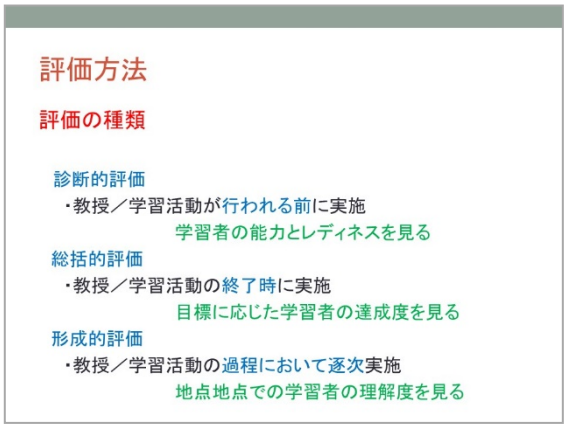
先生、もう一つ。もう一つ付け加えますと、隣にいるっていうだけで、できない学生と相談するのですよ。だから最初に、前回のテストでできた学生が発表するんですね。そいつに聞けと。隣に座っているからってできない学生と相談するなっていうやり方をやっています。全然建設的じゃないかもしれませんけど。

○伊藤

はい。恐らく、課題として出されるのがいいのではないでしょうか。分かります。本学でもそういう問題がありますので。理想的には課題としてやってこさせて、それがテストに出るようにするのがいいのではと思います。やってこなきゃいけない環境を作らせて。それで、その課題をみんな持ってくるでしょうから、そこで「シンク・ペア・シェア」ですね。それもしっかりやらないとテストにつながりませんので、そういう状況を作るのがいいのではないかと思います。

○土居氏

ものつくり大学の土居と申します。どうもありがとうございました。



今回は一つの科目、教員の一人が担当するという、一つの科目の中の話だったと思うのですが、お配りいただいたその資料、パワーポイントの資料の８ページのところの、先ほどカンニングのお話もあった反対側の、評価方法の診断的評価・総括的評価・形性的評価で本来であれば、その中で構成しやすい。だからシラバスがかっちりなると、非常に融通が利かなくなるというですね、いま大学が要求されているのと、全く真逆の話をきょうは聞かされて、困ったという感想が一つなんですが、あと超理想的に言うと、例えば僕、１年生の初年次の科目を担当しているのですが、その総括的評価が、次の学期の先生方の診断的評価として渡せると、ほんとは超理想的な形になる。それをデザインなさるのが ID だという理解をすればよろしいですか。

○伊藤

はい。そうですね。それは総括的評価だけではなく、前時に関係する総括的評価の情報とかもアクセスできるようにするのが理想だと思います。それは、私は学科でできるようにすればいいと思う。これは本当に理想論です。「お前やれよ」って言われたら、多分みんな嫌がると思います。大変な作業になりますが、学生の学習は、成長のために行うことですので、本来だったら力を尽くすべきところです。先ほどお話をされた、その前の話は何でしたか。何か言おうと思って、そちらの方に今熱中して忘れちゃったんですけど。

○伊藤

シラバスの話ですね。全くそのとおりです。シラバスの役割ですが、授業案内的な役割のほかに、学生とのコミュニケーションツールですね。その役割もございますので私は分けています。いわゆる大学で言っている提示しなければいけない、文科で提示しなければいけないシラバスですね。変えてはいけないやつです。それはあります。それは、オンライン上で載せられるのですよね。その他に、最初の授業で学生に渡す、詳細シラバスです。それを作り込んで、例えば先ほどの授業外学習に関して、何が要求されているのか、やらないとどうなるのかです。そういうものも詳細に書いて、学生に提示するようにしております。それをどんどん変更し、「ここはこう変わっているよ」「この次はこの点を気をつけてくださいね」「ここにみんなで向かっていきましょう」です。まさにコミュニケーションのツールとして使っていけるわけです。ですので、二つお作りになることをお勧めします。

○栗山

ありがとうございます。ちょっと具体的なことになるのですが、先ほど先生に見せていただいた看護のところ、最初の１回目で、リーディングの方法について説明できる、その評価がワークシートと書いてあり、例えば単純にこう考えると説明できるので、説明できたら評価できるというふうな感じで書いてあります。ワークシートは実際に、先ほどの先生のところで、学生が自分たちで伸びるようなというところも、何かそのワークシートの中にあるのかなと思い、もし具体的にこんなワークシートだと教えていただけたら、よろしくお願いします。

○伊藤

はい。ありがとうございました。実はそれが今後の課題のところで述べてあります。３Ｒに関する教育内容ですね。この３Ｒの構成における目標評価、方法の再検討ですね。とくに評価の精緻化とございますが、そこが実は私の授業では問題でした。何しろ３月に始まりましたので既成、関西国際大学さんがお作りになった、『知へのステップ』です。あれを流用させて使わせていただいています。そのワークシートも、それに基づいて使わせていただいていましたので、この目標、先ほどおっしゃられた「リーディングの方法について説明できる」。それは授業内で説明はさせております。そして練習問題もさせておりますが、実際に、学生にそれを説明させるという評価の仕方はしていないです。ですので、これはしっかりとワークシートを作り直さなければいけないと思っています。それから、方法自体も私これが適切だとは、いま思っていませんので、この辺りはしっかりと構成させていきたいと考えています。ありがとうございました。この辺は確かに問題点です。次回お会いするときに、「こうなりました」と必ずお見せしますので。自分に課します。

○小田

他にどなたか。はい。

○龍前氏

きょうは大変ありがとうございました。ものつくり大学の龍前と申します。非常に即物的なお話で申し訳ないのですが、こういうお話を伺って、大学に戻って、じゃあ先生方こういうことをやっていただけるかというとちょっと難しいという、やはり相当手間がかかるお話でしたのでね。そういう先生方にやっていただくと、あるいは授業を改善していただくために取り組んでいただくためには、こういうことが効果的だよというような、何かこう根拠と言いますか、裏づけがあるといいのだと思いますが、何かそういうようなお話というのはあるのでしょうか。

○伊藤

そうですね。私がまさに大学で直面している問題でもございますので、直接解答することは難しいですね。ただ私がやっていることは仲間を増やしていくことです。口伝てに「伊藤に相談するといいよと、問題が解決するよ」そういう雰囲気をつくることだと思っています。FD の担当者としては、それを心がけています。例えば事あるごとに、研修会とかあるごとに、全学研修会、年に何回かやっているのですが、その度ごとに、授業でお困りのことはないですかと皆さんに伺うようにしています。あればここに書いてくださいと。書いてくださった方には、私がコンタクトを取って、それでお話をさせていただく。理工系の大学だとよくあるのが処理する方々ですよね。授業というのは処理すればいいんだろう。研究費は取るやつがえらいんだろう。比較的若い方は、本当にまだ授業をしっかり考えていらっしゃる方が多いと思います。あと着任間もない方ですね。本学の場合、企業からいらっしゃる方がけっこういらっしゃいます。その方はやっぱり頼ってらっしゃいます。「いきなり授業をしなきゃいけないのですが、どうしたらいいでしょうか」と来ますので、それが来やすい雰囲気を作ることを私は心がけています。ちょっとお答えになったかどうか分からないのですが、いかがでしょうか。

○龍前氏

とりあえず文化を作っていけばいいということですね。

○伊藤

はい。というか、それしかないという。あるいは、それこそ学長直下ですよね。そういう大学は多いと思います。危機感を持たせるというのは、方略としてはあるかと思います。

○龍前氏

ありがとうございます。

○小田

そろそろ時間ですので、今のお話もありましたが、まさにそうじゃない、今日みたいなのができない人たちに、どうやって役に立つのかという話がありましたが、恐らく一つは、じゃあ役に立つかという人たちが、今までの自分の方法について、アカウンタビリティー（説明責任）を果たせるのか。面倒くさい社会になっていて、恐らくこれは一つの説明責任を果たしている。今までやっている人たちが競っているだけではなく、自分がどのようにして学生を伸ばし、自分の授業をどのようにしているんですかということだけは説明できる必要があるのだと思います。

もう一つは、今日の話は、大学の設置審、学部改組とか新設しますと、必ずもう出されますので、シラバスとか。これはほとんどが定型化しているのだと思っています。そんなに目新しく追及されているものではなく、定型化していて、恐らく文科省から出せと言われたら、設置審議会出すという時には、このような形になっています。ですから、到達目標というのは、学生からの能力、何々ができるようになる。キャン・ドゥですね早い話が。そういうところを示していかざるを得ない。だけど教育のすべてがそうではないことも皆さん分かっていることです。キャン・ドゥだけではない。

そして、こういうモデルはすごく単純であり、ステップを一つずつ踏んでいくモデルです。私がよく例えるのは、ビーカーの中で色々な色を混ぜた時に、最後の一滴で変わる色ってあるのですね。これも教育なんです。それは人文系でも割とあるのです。何かの臨界点を超えるとき、それは目には見えない時がある。こういうものは恐らく捨象をして、もう分かるところだけ図っていこうというところが、こういうモデルが今やっている。教育というのは、色々なものを捨て去ってはいけない。だけど、色々な形で社会からの要求に対しては、アカウンタビリティを果たしていかなければいけないものも、我々にいま置かれていることだろうと思います。それから先ほども、きょうのは授業一つの話ですが、カリキュラムで全体というところもあります。じゃあカリキュラム全体というところどうなっているかと言ったら、一つずつのところを次に PDCA サイクルで回していかなければいけないところは、自分のところを把握して、誰々がどうなっていますという、状態を次に教える人に渡していかなくてはいけない。まあ集団なのですよ、はっきり言えば。そこにおいて色々な授業の記録とか、色々な教育の色々なｅポートフォリオみたいなものが、いま普及しつつあります。それをどうやってうまくできるかどうかが個人のものとして、当事者として活かしていけるのか、大学として活かしていけるのか。よその文科省とかどこかのところからただ与えらえるものではなく、いかにしてできるかということが、恐らく大学、それぞれの大学に問われているのだろうと思います。

ある大学さん、東京電機大学さんですが、これは、十何年前ぐらい前に新設学部を作られた時に、情報環境学部を作られた時に、これ単位制です。単位制であって、まさにカリキュラムツリーとか、そういうものを如実に反映しているところはそこだと私は思っています。何かと言いますと、単位を取らないと、次のステップに行けず科目は取れないんです。そして、この科目を取っていったけれども、もしその科目を教える途中に、こ

の力が足りなかったらフィードバックしなくちゃいけないんです。すごく斬新な組み方を、もうどれぐらいになりますかね。10 年以内だと思います。恐らく見える形のカリキュラムの、すごくシステマティックなのは、見た限りではあそこじゃないかなと思っています。

新設だからできたのでしょうけれども、既存のものはなかなか新しいそこらに踏み込めないでしょうけれども、そういう試みをされているところもありますので、ぜひとも参考にしていただければと思います。それらがすべていいわけではありません。単位制の大学にも、単位制というのは、一つ一つの単位にお金を払うわけですが、そこにはそこの固有のまた問題があります。いずれにしましても、きょう非常に丁寧に授業の設計、恐らく 10 年ぐらい前にシラバスができたときに、授業を設計するという、デザインという言葉というものは馴染みがなかったと思います。それがデザインをしていくのだと。じゃあデザインというのはどのようにしたらいいのだ。それが恐らく世の中にいろんなデザイナーがいて、パターン化されているものはない。優秀なデザイナーほど独自の方法を持っているから。

しかし、この一つの方法、我々知らなかったデザインということは、一つ方法はこういう形です。それがシラバスの色々な項目に反映させて、初心者でもできるようになっているという、そういうことが今日のお話なんですね。そんなことだと思います。最後に伊藤先生が紹介されたように、ぜひとも、もし分からないとかいろいろあれば、伊藤先生にこれからもコンタクトを取って、教えていただいたり、いろいろと研修会もあるようですので参加なされば良いと思います。伊藤先生、今日はどうもありがとうございました。

【第２部】　ラウンドテーブル

○第１分科会　「 IR、授業アンケートなどデーター活用について 」
コーディネーター ： 山形大学　学術研究院　理学部　教授　　栗山　恭直




○第２分科会　「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」
コーディネーター ：山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　橋爪　孝夫




○第３分科会　「 新任教員向けキャリア教育科目の授業運営法について 」
コーディネーター ： 山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　松坂　暢浩



第１分科会「ＩＲ、授業アンケートなどデーター活用について」

会　場：　　山形大学基盤教育１　教室

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：　山形大学　学術研究院　理学部　教授　　栗山 恭直

パネリスト：　株式会社リアセック　代表取締役 CEO　松村　直樹

山形大学　学術研究院　エンロールメント・マネジメント部　教授　藤原　宏司

参 加 者 数：　１３名

感　想：　明海大学経済学部　吉田敦

子供染みていますが、自校 IRer が「”つばさ”諸事業へろくに参加しない怠け者」でありながら尊大だという理由で、私は IR を敬遠していました（ちなみに当該分科会パネリストの発言の中に、「IRer は高圧的な人物には相応しくない」との意のものがありました)。

一方、アクティブラーニングには強い関心があり、論文や報告の少数の研究業績も有しております。しかしそこでは「授業評価アンケート」について論及していますが、あまり積極的には分析していません。本学のアンケート集計では、項目別得点の平均しか算出されない、つまり分布形については勿論、自分の得点が上位何%に位置するのかも不明で、事実上数量分析ができないからです。また学生達の自由記述文についても、私の予想の範囲内のものばかりであり、端的に言うと本学の「授業評価アンケート」は、私にとって授業改善に役立たないものなのです。蛇足ですが、FD 委員長も件の人物です。

もっとも上記論文では勿論、教員になった直後から、担当科目の成績分布（ヒストグラム）を作り、年度ごとに比較し、授業改善の成果を自分なりに検証していました。当該分科会の配付資料に「大学 IR（Institutional Research）とは、大学運営や教育改革の効果を検証するために大学内の様々な情報を収集して数値化・可視化し、評価指標として管理し、その分析結果を教育・研究、学生支援、大学経営等に活用する活動」とありました。したがって私は、IR という言葉を知る以前から、後には IR を敬遠しながら、実は自分にできる範囲内で IR 活動を行っていたという事になります。

また 2013 年からインターンシップ責任者となり、その直後から研修機関による学生達の「評価表」を統計分析し、インターンシップ運営改善に役立てないかと模索していた時期がありました。私は昨年から学長命令で、2 年間の千葉大学専門職養成履修証明プログラムを受講していますが、そこで課せられた「プロジェクト研究」（卒業論文）は、この「評価表分析」になりつつあります。私が IR を意識するようになったきっかけの一つは、このプログラム受講だったと思います。

さて、取留めのない事を書いてきましたが、少なくとも私の関心が IR に向かっていったのは、拙いレベルとはいえ統計学を学んでいたからです。山形大学での分科会のパネリストのお一人の話は、概念中心でした。もうお一人の話は、分析結果中心でしたが、逆に言うとその分析結果の意味を、もう少し掘り下げて考えた方が良いのではないかと思いました（この類の指摘は当日フロアからも出ました)。

上述の千葉大学の IR 研修担当者が、「反省の弁」として、私に話して下さいましたが、IR 研修においては、初歩的統計学を用いた演習（実際にデータをいじってみる事）から始めた方が良いのではないでしょうか。私自身、今年から「統計学入門」を担当し痛感している所ですが、統計学をきちんと理解する事、させる事は大変です。IR 活動においては、データを分析するだけでなく、分析結果を多くの教職員が共有し活用すべきです。そうした意味から、上述の「演習」の必要性を提起させて頂き、稚拙な「感想文」の締め括りと致します。

第２分科会「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」

会　場：　　山形大学基盤教育１　教室
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：　山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　橋爪 孝夫
パネリスト：　山形大学　学術研究院　地域教育文化学部　准教授　滝澤　匡
　　山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　講師　阿部　宇洋
参 加 者 数：　１２名

感　想：　山形大学大学院理工学研究科　赤松　正人

第 2 分科会「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」では，パネリストとして山形大学 学術研究院 地域教育文化学部 滝澤匡准教授および山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 阿部宇洋講師の二名にご登壇いただき，山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 橋爪孝夫准教授のコーディネーターの下，大学と地域の連携による授業（大地連携），エリアキャンパスの仕組みに依らない科目の創設，基盤共通教育授業全学必修科目「山形から考える」等を踏まえた基調講演およびディスカッションがおこなわれた．参加者は 13 名，125 番講義室にて 13：30 から 16：30 まで活発な討論が行われた．

まず初めに，滝澤匡准教授から「地域体験型科目 感じる山形 ～個別連携の例として～」と題して，科目概要，授業評価と教育効果，そして実施運営等についてご講演いただいた．なお，今後の展開として，幅広い体験型授業の展開，社会人力のさらなる向上，そして地域との継続的な関係などについてもお話しいただいた．

次に，阿部宇洋講師から「地域体験する学生に求めるもの ～フィールドワーク共生の森もがみ，フィールドラーニング共生の森もがみ～」と題して，講義の紹介，授業概要，そして授業成績評価と学生の学びについてご講演いただいた．なお，今後の課題として，受け入れ先および団体の高齢化など地域側の問題，予算削減など大学側の問題，さらに地域との絆をどのように保っていくかなどについてもお話しいただいた．

最後に，橋爪孝夫准教授からのお題「学生の成長を見込んだ授業をデザインするには」に対する全体ディスカッションでは，ディプロマポリシーとの関係，授業の目標設定，評価のための目標の可視化，授業設計と方法，成績評価方法，およびリフレクションの機会をどう確保するか等について意見交換が行われ，学生の主体的学びを促す地域体験型科目に対するテーマへの関心の高さが感じられた．

第３分科会「新任教員向けキャリア教育科目の授業運営法について」

会　場：　　山形大学基盤教育１　教室

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：　山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　松坂 暢浩

パネリスト：　山形大学　学術研究院　理学部　教授小倉　泰憲

山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　山本　美奈子

参 加 者 数：　５名

感　想：　山形大学　学術研究院　学士課程基盤教育機構　准教授　山本　美奈子

本学のキャリア教育は、履修者が年々増加し 2018 年度の前期授業は 1 年生の約 1,200 名強（全学部の 7 割）が履修しました。第 3 分化会では、100～300 名の多人数型のキャリア教育科目に対し、初めて授業を担当した山本がどのように授業運営を行ったかについてご報告しました。

具体的な運営法として主に 3 つの視点から、①共通の教材を使用し、②授業の進行をパターン化（前回授業の振返り、個人ワーク、グループワーク、授業全体の振返り）し、③授業ルールを提示し、学生の理解と協力を求めながら進めました。このルールは、社会で求められる基本的なマナーであると伝えることによって、私語や遅刻がなく円滑な授業運営につながりました。参加者の方から、多人数型の授業でグループワークが成り立つのか？というご質問を頂きました。特にグループワークで留意した点は、話合う内容を明確に指示し、進行役や発表者などの役割を決め、所用時間を必ず知らせる形で進めました。このように授業をパターンし、ルールを設定し、学生が主体的に参加できるように進めることによって、初めての教員であっても多人数型の授業を運営できたことをお話しました。

この話を受けて、参加者の方の大学においても数年前よりキャリア教育を必修科目としたことによって、学生のキャリア意識が高まっていることが語られました。さらに、学生の進路決定のプロセスにキャリアの専門外の教員は、どのように関わればよいかという話題に発展しました。そのなかで参加者の方から「キャリアの専門教員ではない教員も含め、すべての教員が授業のなかで、教員自身のキャリアを語る」ことが、学生のキャリア意識に好影響を与えることが紹介されました。また他の教員からは、授業のなかで学修したことが社会や仕事にどのように活かされるのか？学生との対話を大事にすることによって、進路選択を真剣に考え始める学生が一定数存在することが紹介されました。一見仕事とは関係がないように思われる授業においても、学生の興味や関心に対して働くうえで大切にしたいことや価値観と関連づけて、授業運営をしているというお話が印象に残りました。

第６章

授業改善アンケート

はじめに

FDネットワーク"つばさ"の中心事業として授業評価アンケートがある。アンケート用紙は山形大学で行われてきたものと共通のものを利用している。

現在、共通フォーマットによる授業評価アンケートの実施は、16校が利用している。

アンケート結果については、つばさ事務局でデータを集計し、その結果を各校にフィードバックしている。

参加校の実施状況は、以下のとおりである。

各大学の授業評価アンケート実施状況（前期）

大 学 等 名	実施科目数
北翔大学 北翔大学短期大学部	２８７
山形大学（基盤教育）	４１１
山形県立保健医療大学	１００
青森中央学院大学	１３６
仙台大学	３２１
東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部	２１４
東日本国際大学	１３５
青森中央短期大学	７０
仙台青葉学院短期大学	２４９
羽陽学園短期大学	４８
桜の聖母短期大学	７８
いわき短期大学	４３
鶴岡工業高等専門学校	２４５
了徳寺大学	１６１
湘南医療大学	１２９
沖縄県立芸術大学	１９６

北翔大学　授業改善アンケート（2019年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熟意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
肢体不自由教育Ⅰ	118	87	73.70	6	4	4	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.4	3.4	11.6	17.4	11.6	12.8	46.5	3.3	3.6	4.0	3.7
肢体不自由者の心理・生理・病理	159	123	77.40	6	5	5	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	13.1	13.1	14.8	14.8	44.3	3.3	3.5	3.4	3.5
専門演習Ⅰ	7	5	71.40	6	2, 3, 5	1	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4.8	5.0		5.0
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	32	27	84.40	1	4	1	4.6	4.5	4.6	4.4	4.6	4.2	4.4	4.5	30.8	7.7	7.7	15.4	38.5	4.3	4.5	4.6	4.5
生涯スポーツ(陸上競技)	55	46	83.60	6	1, 4	1	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.7	4.5	4.5	2.2	6.5	4.3	2.2	84.8	4.2	4.3	4.3	4.6
専門演習Ⅰ	13	10	76.90	6	1	5	4.4	4.6	4.4	4.3	4.1	4.8	4.6	4.7	10.0	0.0	40.0	30.0	20.0	4.5	4.7	5.0	4.6
生涯スポーツ学	111	75	67.60	6	5	5	3.8	3.6	3.7	3.5	3.5	3.9	3.5	3.4	5.3	10.7	4.0	10.7	69.3	3.6	3.7	4.1	3.6
生涯スポーツ学	133	150	112.80	6	2	5	3.8	3.6	3.7	3.4	3.5	3.9	3.3	3.3	8.1	4.7	11.4	10.1	65.8	3.6	3.7	3.7	3.6
食生活と健康	149	124	83.20	1	5	5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3	16.9	4.8	9.7	13.7	54.8	4.1	4.3	4.2	4.5
食生活と健康	216	177	81.90	1	5	5	4.2	4.1	4.1	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0	5.7	6.9	14.4	10.3	62.6	4.1	4.2	4.0	4.2
心理統計法	120	83	69.20	6	4	8	3.8	3.5	3.6	3.4	3.5	3.8	3.7	3.6	15.7	12.0	20.5	16.9	34.9	3.8	3.5	3.8	3.8
モチベーション心理学	19	12	63.20	1	3	5	4.1	4.4	4.2	3.8	3.7	4.8	4.6	4.7	8.3	16.7	8.3	8.3	58.3	4.6	4.6		4.6
知的障害者の心理・生理・病理	171	115	67.30	6	5	4	3.8	3.5	3.6	3.5	3.4	3.6	3.3	3.3	9.6	12.2	9.6	13.0	55.7	3.4	3.6	3.3	3.5
専門演習Ⅰ	10	9	90.00	6	3	4	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	33.3	0.0	22.2	0.0	44.4	4.4	4.7	3.0	4.8
生涯スポーツ(バドミントン)	47	45	95.70	1	1	3, 4	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	31.1	13.3	4.4	4.4	46.7	4.6	4.6	4.7	4.8
生涯スポーツ(バドミントン)	41	37	90.20	1	2	3	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	34.3	5.7	11.4	2.9	45.7	4.5	4.6	4.5	4.6
生涯スポーツ(バドミントン)	47	46	97.90	1	4	4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	10.9	6.5	2.2	0.0	80.4	4.5	4.5	4.4	4.7
スポーツ教育学	79	64	81.00	6	4	3	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	12.9	25.8	17.7	9.7	33.9	3.9	3.9	4.2	4.1
レクリエーション実技	50	37	74.00	1	5	5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	16.7	11.1	13.9	8.3	50.0	4.4	4.4	4.7	4.7
スポーツ教育学概論	227	191	84.10	6	2	5	3.9	3.9	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	3.5	11.1	6.9	13.8	5.8	62.4	3.8	3.8	3.7	3.8
スポーツマネジメント	89	59	66.30	1	5	5, 7	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	13.6	16.9	18.6	6.8	44.1	3.8	4.1	4.1	4.1
スポーツマネジメント	116	89	76.70	6	5	4	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0	21.3	15.7	15.7	4.5	42.7	3.8	4.0	3.7	4.0
健康体育(実技を含む)	52	51	98.10	6	5	5	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2	4.2	21.6	9.8	5.9	7.8	54.9	3.8	4.1	4.4	4.3
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	57	51	89.50	6	4	1	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	13.7	15.7	11.8	7.8	51.0	4.3	4.2	4.4	4.3
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	52	49	94.20	1, 6	4	4, 5	4.6	4.4	4.3	4.3	4.3	4.7	4.5	4.5	14.3	14.3	8.2	6.1	57.1	3.9	4.3	4.4	4.7
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	39	35	89.70	1	4	1	4.5	4.5	4.4	4.2	4.1	4.6	4.3	4.5	12.1	9.1	9.1	6.1	63.6	3.9	4.3	4.6	4.4
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	42	37	88.10	1	5	4	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	24.3	5.4	5.4	5.4	59.5	4.1	4.5	4.8	4.7
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	51	44	86.30	6	1	4, 5	4.6	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	4.7	6.8	4.5	2.3	9.1	77.3	4.2	4.5	4.8	4.8
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	40	34	85.00	1	4, 5	5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.7	4.6	19.4	3.2	6.5	3.2	67.7	4.1	4.6	4.4	4.7
生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	69	63	91.30	6	4	3, 4, 5	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.0	4.1	21.3	13.1	9.8	8.2	47.5	4.0	4.2	4.7	4.2
生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	41	34	82.90	6	5	1	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.2	3.9	4.0	12.1	9.1	15.2	9.1	54.5	3.8	3.9	3.4	4.0
《前半》キャリア演習Ⅰ	59	54	91.50	6	2	8	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.0	3.0	9.3	16.7	25.9	3.7	44.4	3.2	3.2	3.1	3.2
スポーツ施設管理論	29	16	55.20	6	5	1	4.1	3.6	3.8	3.6	3.4	4.4	3.5	3.9	0.0	18.8	12.5	18.8	50.0	3.5	4.4	4.0	3.9
専門演習Ⅰ	6	5	83.30	1	2	3	5.0	3.2	3.2	3.2	3.4	3.2	3.4	3.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	3.2	3.2	3.8	3.0
専門演習Ⅲ	4	4	100.00	3	1, 5, 7, 9	1	5.0	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.0	4.8	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	4.0	4.3	4.3	4.8
スポーツ・バイオメカニクス	49	32	65.30	1	2, 4, 5	3	4.5	4.3	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	32.3	22.6	9.7	12.9	22.6	4.2	4.3	4.4	4.5
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	22	19	86.40	6	3, 4	1	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	42.1	10.5	21.1	0.0	26.3	4.5	4.4	4.5	4.8
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	43	36	83.70	1	1, 4	5	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	44.4	13.9	0.0	2.8	38.9	4.4	4.6	4.6	4.6
スポーツ外傷・障害の評価理論	49	34	69.40	6	4	1, 5	4.2	4.2	4.4	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4	26.5	29.4	23.5	11.8	8.8	4.4	4.3	4.5	4.3
コンディショニング理論	39	35	89.70	6	4	1	4.0	4.1	4.3	4.0	4.0	4.4	4.1	4.2	34.3	17.1	20.0	14.3	14.3	4.2	4.2	5.0	4.2
スポーツ解剖学	35	25	71.40	6	4	1, 5	4.3	3.9	4.2	3.8	3.9	4.2	3.9	3.8	36.0	36.0	16.0	4.0	8.0	4.0	4.1	4.0	3.9
キャリアデザインⅢ	46	38	82.60	6	5	5	4.2	4.5	4.4	4.1	4.2	4.6	4.4	4.5	18.9	2.7	8.1	5.4	64.9	4.1	4.1	4.4	4.4
社会教育施設論	42	26	61.90	1	1	3	4.0	4.3	4.3	4.1	4.0	4.5	4.5	4.4	23.1	7.7	19.2	23.1	26.9	4.4	4.1	3.4	4.5
専門演習Ⅰ	14	14	100.00	6	4	5	5.0	4.6	4.8	4.7	4.6	4.9	5.0	5.0	14.3	0.0	14.3	64.3	7.1	5.0	4.9		4.9
専門演習Ⅲ	10	9	90.00	6	4	3, 8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.4	4.9	4.8	4.6	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	4.6	4.7	5.0	4.6
ソーシャルワーク概説Ⅰ	158	140	88.60	6	4	1	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.3	4.3	4.2	13.0	9.4	16.7	23.2	37.7	4.2	4.3	3.9	4.3
相談援助演習Ⅲ	7	5	71.40	6	3, 4	1, 4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	4.8	5.0		5.0
地域支援実習	25	24	96.00	1	4, 5	1, 4, 5	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	29.2	12.5	8.3	16.7	33.3	4.7	4.7	5.0	4.9
健康福祉専門職演習Ⅰ	15	12	80.00	6	4	1	3.9	4.5	4.6	4.4	4.5	4.8	4.8	4.6	50.0	33.3	8.3	8.3	0.0	4.3	4.8	5.0	4.8
運動処方	60	49	81.70	6	5	5	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.3	4.2	4.1	14.6	12.5	20.8	12.5	39.6	4.2	4.1	4.1	4.3
健康福祉学概論	42	36	85.70	6	4	2	4.0	3.7	3.8	3.8	3.6	4.1	3.8	3.9	8.3	8.3	11.1	13.9	58.3	3.8	3.8	3.9	4.1
介護予防論	36	31	86.10	1	4	7	4.1	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	4.1	3.9	12.9	9.7	16.1	22.6	38.7	4.1	4.0	3.7	4.2
健康学	113	99	87.60	1	5	3	4.1	4.0	4.0	3.9	3.8	4.0	4.0	3.8	9.1	7.1	6.1	5.1	72.7	3.8	4.0	3.6	4.0
健康学	160	141	88.10	6	5	1, 4, 5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.2	4.2	4.0	9.2	10.6	12.1	8.5	59.6	4.0	4.2	3.9	4.2
介護基礎演習	7	7	100.00	6	4, 5	5	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.7	4.7	4.7	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3	4.7	4.9		5.0
障害者福祉論	86	79	91.90	6	4	5	3.8	3.1	3.2	3.2	3.2	3.4	2.6	2.8	14.3	3.9	23.4	29.9	28.6	2.9	3.2	3.3	2.9
医療的ケアⅠ	5	5	100.00	6	4, 5	4	4.8	4.8	4.6	4.6	4.4	4.8	4.8	5.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	4.4	5.0	5.0	4.8
ソーシャルワーク論Ⅳ	23	20	87.00	6	1, 4	1	4.3	4.3	4.3	4.1	3.9	4.4	4.4	4.1	21.1	15.8	26.3	10.5	26.3	4.4	4.3	4.2	4.4
生涯スポーツ学	43	31	72.10	6	1	4	4.0	3.9	3.8	3.6	3.4	4.3	3.8	3.8	6.5	6.5	12.9	25.8	48.4	3.8	3.9	4.0	4.1
認知症論	24	17	70.80	6	4	8	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	5.9	0.0	23.5	23.5	47.1	4.3	4.2	4.0	4.1
介護技術演習Ⅱ	7	7	100.00	6	4	1	4.3	3.7	3.9	4.1	3.4	4.0	4.1	4.0	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	3.7	4.0		3.8
専門演習Ⅲ	5	5	100.00	6	2, 3, 6	1, 2, 5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.5	4.8
保健体育科教育法Ⅲ	72	65	90.30	6	4	1, 3	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	22.2	14.3	15.9	20.6	27.0	4.3	4.4	5.0	4.5
キャリアデザインⅢ	43	39	90.70	6	5	8	4.2	4.3	4.5	4.2	4.2	4.6	4.5	4.6	10.3	15.4	10.3	10.3	53.8	4.5	4.3	3.7	4.4
介護概論Ⅰ	7	7	100.00	6	4	1, 6	4.0	3.6	3.9	3.7	3.6	4.3	4.0	4.1	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	4.3	4.3		4.1
介護実習指導Ⅲ	5	4	80.00	6	6	1	4.3	3.8	4.3	4.5	4.3	4.5	4.3	4.3	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	4.3	4.5	3.0	4.5
相談援助演習Ⅰ	11	11	100.00	6	1	2	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	27.3	9.1	9.1	0.0	54.5	4.3	4.5	5.0	4.5
相談援助演習Ⅰ	9	7	77.80	6	4	3	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	5.0	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	4.7	4.9		4.9
肢体不自由教育Ⅱ	86	60	69.80	6	4	5	3.9	4.0	3.8	3.7	3.5	4.0	3.7	3.4	10.0	8.3	13.3	18.3	50.0	3.7	3.7	4.0	3.8
障害者スポーツ・パラリンピック概論	38	23	60.50	1	5	2, 4	4.2	4.3	4.1	4.0	3.7	4.3	4.1	3.7	0.0	13.0	4.3	13.0	69.6	3.8	4.2	3.8	4.5
特別支援学校論Ⅰ	16	11	68.80	1	4	5	5.0	4.8	4.9	4.9	4.7	4.7	4.6	4.8	0.0	18.2	27.3	18.2	36.4	4.7	4.7		4.8
器楽基礎演習Ⅰ	6	6	100.00	6	1, 4	1, 4, 5, 6	4.8	5.0	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	4.5	5.0	5.0	4.8
家庭科指導法Ⅱ	4	4	100.00	1	3	4	4.8	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.3	4.5	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	4.5	4.5		3.7
保育内容総論	19	20	105.30	6	4	1	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.7	4.6	10.0	10.0	5.0	25.0	50.0	4.5	4.4	3.5	4.7
日本語表現	471	363	77.10	6	5	5	4.1	4.1	4.0	3.8	3.5	4.0	3.9	3.7	5.0	7.8	11.4	13.6	62.3	3.9	4.0	3.8	4.1
情報機器操作Ⅰ	41	39	95.10	6	1, 2, 4, 5	5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	12.8	2.6	12.8	10.3	61.5	3.9	4.2	4.5	4.3
情報機器操作Ⅰ	38	36	94.70	6	5	1	4.6	4.5	4.7	4.4	4.3	4.8	4.7	4.7	5.7	0.0	0.0	22.9	71.4	4.4	4.6	4.7	4.8
情報機器操作Ⅰ	48	40	83.30	6	5	4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.4	4.4	4.2	7.7	2.6	20.5	15.4	53.8	4.3	4.3	4.5	4.5
衛生学及び公衆衛生学	106	67	63.20	6	4	5	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	3.6	16.7	13.6	15.2	13.6	40.9	4.0	4.1	4.1	4.1
学校保健	42	36	85.70	6	4	5	4.7	4.4	4.6	4.4	4.3	4.5	4.4	4.3	14.3	11.4	28.6	37.1	8.6	4.3	4.5	4.0	4.5
音楽実習Ⅰ	26	26	100.00	1	1, 4	5	4.7	4.6	4.6	4.7	4.4	4.8	4.7	4.7	11.5	15.4	15.4	46.2	11.5	4.4	4.3	5.0	4.8
音楽科概論	80	74	92.50	6	4	5	4.4	4.1	4.2	4.2	4.0	4.5	3.9	4.2	11.0	5.5	9.6	27.4	46.6	4.2	4.3	4.8	4.3
音楽実習Ⅰ	18	18	100.00	4	1	4, 5, 7	4.7	4.5	4.4	4.4	4.3	4.7	4.4	4.4	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	4.3	4.4	4.0	4.8
音楽実習Ⅰ	26	23	88.50	4	4	5	4.8	4.7	4.6	4.6	4.4	4.8	4.5	4.5	13.0	21.7	34.8	26.1	4.3	4.3	4.3	4.0	4.6
専門演習Ⅰ	4	4	100.00	6	4	5	4.0	4.3	4.3	4.0	4.0	4.3	4.3	4.3	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	4.3	4.3	5.0	4.3
道徳教育論	52	48	92.30	6	5	1	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.8	4.7	4.6	14.6	4.2	8.3	12.5	60.4	4.5	4.5	4.6	4.6
教育課程論(幼・小)	81	59	72.80	6	4	3	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.6	17.2	5.2	15.5	13.8	48.3	4.4	4.4	4.6	4.6
現代生活と芸術	80	61	76.30	1	7	5	3.9	4.1	4.0	3.8	3.7	4.1	3.8	3.9	16.4	9.8	11.5	3.3	59.0	3.9	3.8	4.6	3.9
ピアノ基礎演習Ⅰ	14	13	92.90	6	4	1, 3, 4	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	46.2	23.1	15.4	7.7	7.7	4.5	4.8	4.5	4.9
ピアノ表現演習Ⅰ	9	4	44.40	6	4	1, 6	4.8	4.8	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	5.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	4.3	4.3		5.0
社会科指導法Ⅱ	17	14	82.40	1	4, 5	1, 4, 5	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	7.1	21.4	7.1	21.4	42.9	4.4	4.8	5.0	4.8
教職概論	52	49	94.20	6	4	4	4.5	4.4	4.3	4.3	3.9	4.9	4.7	4.6	2.0	2.0	4.1	22.4	69.4	4.5	4.7		4.8
社会科概論	62	60	96.80	6	4	5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.7	4.6	4.4	10.0	1.7	10.0	21.7	56.7	4.5	4.5	4.5	4.7
保育内容(健康)	23	20	87.00	6	4	1	4.3	4.4	4.4	4.1	4.0	4.0	4.3	4.3	10.0	10.0	10.0	25.0	45.0	4.5	4.3	3.6	4.4
体育科概論	58	53	91.40	6	4	5	4.3	4.2	4.1	4.0	3.8	3.9	3.8	3.8	7.8	7.8	0.0	15.7	68.6	4.1	4.0	4.6	4.1
生活科指導法Ⅰ	62	50	80.60	6	4	3	4.2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.3	4.1	3.9	10.0	16.0	18.0	24.0	32.0	4.0	4.1	3.8	4.3
国語科指導法Ⅰ	62	57	91.90	6	4	1	4.1	4.2	4.3	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	5.4	14.3	33.9	21.4	25.0	4.1	4.2	3.9	4.3

北翔大学　授業改善アンケート（2019年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
国語科指導法Ⅲ	18	18	100.00	1	5	3	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	16.7	5.6	22.2	22.2	33.3	4.8	4.8	5.0	4.9
こどもの保健Ⅱ	16	16	100.00	6	4	1, 2, 4	3.8	3.4	3.4	3.5	3.8	3.6	3.6	3.6	6.3	31.3	31.3	6.3	25.0	3.4	3.6	3.5	3.4
保育内容(表現)	23	20	87.00	6	4	4	4.3	4.4	4.4	4.5	4.1	4.5	4.3	4.3	5.0	0.0	20.0	25.0	50.0	4.2	4.4	3.8	4.6
看護学概論	41	38	92.70	6	4	4	4.9	4.7	4.7	4.8	4.6	4.8	4.6	4.0	7.9	15.8	21.1	44.7	10.5	4.6	4.6	4.8	4.7
教育相談論(カウンセリングを含む)	48	41	85.40	6	4	4, 5	4.5	4.7	4.6	4.6	4.5	4.9	4.8	4.8	14.6	4.9	7.3	7.3	65.9	4.7	4.8	5.0	4.8
基礎教育セミナーⅠ	126	110	87.30	6	5	4	4.0	4.0	3.9	3.7	3.6	4.1	3.9	3.6	3.7	4.6	10.1	7.3	74.3	4.0	4.0	4.1	4.0
算数科概論	82	77	93.90	6	4	1	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.7	4.6	4.5	10.4	7.8	11.7	15.6	54.5	4.5	4.6	4.5	4.7
現代生活と宇宙	109	70	64.20	1	2	5	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.3	4.2	3.7	11.6	14.5	7.2	14.5	52.2	4.0	4.3	4.3	4.4
メディアデザイン概論	80	57	71.30	1	5	5	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.6	4.4	4.1	3.5	1.8	3.5	19.3	71.9	4.2	4.5	5.0	4.6
デジタルイメージⅠ	35	25	71.40	6	4	1	4.6	4.3	4.4	4.3	4.1	4.6	4.4	4.2	4.0	8.0	12.0	44.0	32.0	4.0	4.1	4.0	4.5
プレゼンテーションデザイン	19	13	68.40	1	5	4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	4.5	4.4	4.5	0.0	7.7	15.4	38.5	38.5	4.5	4.2	4.3	4.5
テキスタイル	7	5	71.40	1	2, 4	3, 5	4.8	5.0	4.8	5.0	4.6	5.0	5.0	4.8	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	4.2	4.8	4.7	5.0
キッズファッション	5	6	120.00	1	4	3, 5	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	33.3	0.0	0.0	16.7	50.0	4.7	4.8	5.0	5.0
《前半》就業力特別講義Ⅱ	236	199	84.30	6	5	7	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	3.9	3.6	3.4	18.8	16.2	17.8	9.1	38.1	3.8	3.8	4.1	3.7
《後半》就業力特別講義Ⅱ	195	165	84.60	6	5	8	3.8	3.7	3.7	3.4	3.4	4.1	3.6	3.2	5.6	6.2	19.1	15.4	53.7	3.7	3.6	3.5	3.6
ドローイングⅠ	9	6	66.70	1, 5	1	4	4.0	4.3	4.7	4.5	4.3	4.5	4.3	4.4	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	4.3	4.7		4.5
ドローイングⅠ	15	11	73.30	1	1, 5	5, 7	4.4	4.5	4.4	4.1	4.4	4.5	4.3	4.5	0.0	0.0	9.1	9.1	81.8	4.1	3.8		4.4
写真	24	18	75.00	1	5	5	4.5	4.3	4.6	4.8	4.4	4.7	4.7	4.7	11.8	29.4	23.5	35.3	0.0	4.4	4.6		4.8
教育心理学概論(教育・学校心理学)	42	37	88.10	6	4	1, 4	4.3	4.1	4.4	4.2	4.2	4.7	4.2	4.2	0.0	8.1	16.2	40.5	35.1	4.2	4.3	5.0	4.4
臨床心理学	53	40	75.50	6	4	3	4.5	4.3	4.6	4.5	4.3	4.8	4.5	4.3	13.2	7.9	21.1	28.9	28.9	4.4	4.4	5.0	4.6
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	17	15	88.20	4, 6	1	3	4.5	4.2	4.5	4.3	3.9	4.7	4.7	5.0	13.3	0.0	13.3	20.0	53.3	4.9	4.7	4.0	4.9
精神保健福祉学Ⅰ	46	35	76.10	1	1, 4	3	4.2	4.3	4.4	4.3	4.1	4.6	4.5	4.5	12.1	9.1	9.1	21.2	48.5	4.4	4.6	4.8	4.6
健康・医療心理学	45	38	84.40	4	4	1	4.6	4.4	4.6	4.4	4.3	4.7	4.8	4.6	5.4	10.8	16.2	29.7	37.8	4.9	4.6	5.0	4.8
育児支援の心理学	92	72	78.30	1	1	3	4.1	4.0	4.0	3.9	3.8	4.3	4.1	4.0	15.5	11.3	14.1	11.3	47.9	4.1	4.0	3.6	4.1
心理学概論	147	103	70.10	6	1	2	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7	4.1	4.1	3.7	5.8	10.7	10.7	20.4	52.4	4.2	4.3	4.0	4.2
キャリアデザインⅢ	45	40	88.90	6	2	5, 7	3.9	4.1	4.1	3.9	4.0	4.4	4.4	4.4	10.0	7.5	7.5	10.0	65.0	4.3	4.2	5.0	4.3
医学概論／医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	95	70	73.70	6	1	2	4.2	4.0	4.0	3.9	3.8	4.6	4.5	3.9	10.0	4.3	15.7	15.7	54.3	4.3	4.3	4.0	4.5
老年医学	35	20	57.10	1	1, 5	3	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.7	4.6	4.3	26.3	15.8	15.8	15.8	26.3	4.6	4.6		4.7
精神保健福祉援助技術総論	43	35	81.40	4	1	3	4.6	4.5	4.6	4.4	4.3	4.8	4.7	4.7	11.4	5.7	25.7	14.3	42.9	4.5	4.8	4.9	4.8
キャリアデザインⅢ	40	36	90.00	6	5	8	3.5	4.0	3.8	3.6	3.6	4.0	4.0	3.9	5.7	8.6	14.3	5.7	65.7	4.0	4.0	3.7	4.0
精神科リハビリテーション	15	12	80.00	6	4	1, 4	4.7	4.3	4.5	4.3	4.3	4.8	4.7	4.8	16.7	16.7	8.3	16.7	41.7	4.8	4.8	5.0	4.9
精神保健	35	25	71.40	6	4	5	4.2	4.0	4.0	3.9	3.6	4.3	4.2	4.0	16.0	0.0	4.0	12.0	68.0	4.2	4.1	5.0	4.2
精神保健Ⅰ	27	19	70.40	3	3, 4, 5	1	4.2	4.3	4.3	4.2	3.9	4.5	4.5	4.4	5.6	16.7	5.6	11.1	61.1	4.6	4.6	3.0	4.5
キャリアデザイン	21	17	81.00	6	5	5	4.8	4.6	4.4	4.6	4.2	4.9	4.5	4.7	0.0	64.7	35.3	0.0	0.0	4.6	4.6		4.8
秘書実務Ⅱ	11	10	90.90	1	5	4	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.8	0.0	10.0	20.0	50.0	20.0	4.8	4.8	5.0	4.9
韓国語	46	29	63.00	1	5	5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.1	4.8	4.6	4.6	10.7	7.1	7.1	25.0	50.0	4.4	4.4	5.0	4.6
ファッション造形実習Ⅰ	9	7	77.80	6	4	1, 3, 5, 7	4.4	4.0	4.1	4.0	3.7	3.6	2.9	3.3	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	2.7	3.3	2.0	3.7
情報機器操作Ⅰ	12	10	83.30	6	1, 5, 7	2	4.0	4.7	4.4	3.6	3.5	3.6	4.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.5	4.2	5.0	4.4
情報機器操作Ⅰ	9	9	100.00	6	5	1, 4	4.1	4.0	4.1	3.7	3.2	3.7	3.9	3.4	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8	3.9	3.8	3.0	3.9
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	122	109	89.30	6	5	4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.5	4.3	4.3	5.6	2.8	7.4	12.0	72.2	4.3	4.4	3.3	4.4
生徒指導(進路指導を含む)	26	25	96.20	6	5	4	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.9	4.8	4.7	8.3	8.3	16.7	4.2	62.5	4.7	4.7	5.0	4.8
器楽Ⅰ	6	4	66.70	6	4	3	4.3	4.0	3.8	4.3	3.3	4.5	4.3	4.5	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	3.8	4.8	4.0	4.5
器楽Ⅰ	6	5	83.30	6	4	5	4.4	4.8	4.6	4.4	3.4	4.8	5.0	4.6	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	4.2	4.6		5.0
音楽科指導法	21	19	90.50	1	4	5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.3	4.6	4.6	4.7	5.3	10.5	15.8	0.0	68.4	4.4	4.7	5.0	4.7
図画工作科指導法	27	26	96.30	6	5	4	4.1	3.9	4.0	3.8	3.8	3.7	3.5	3.4	7.7	3.8	3.8	23.1	61.5	3.9	3.9	4.5	3.6
理科	9	9	100.00	1	1	3	4.6	5.0	4.9	4.8	4.8	5.0	4.9	5.0	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8	4.9	5.0		5.0
日本国憲法	126	113	89.70	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.0	3.8	8.0	10.7	11.6	23.2	46.4	4.1	4.1	4.1	4.1
身体表現	41	38	92.70	6	4	5	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	2.7	2.7	2.7	13.5	78.4	4.8	4.8		4.9
身体表現	41	40	97.60	6	4	5	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.9	4.9	4.9	2.5	2.5	5.0	12.5	77.5	4.6	4.9		4.9
身体表現	41	36	87.80	6	4	4, 5	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.8	4.8	4.6	5.6	2.8	0.0	13.9	77.8	4.7	4.7	5.0	4.8
保育課程論	116	100	86.20	6	5	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	25.3	12.1	21.2	18.2	23.2	4.7	4.8	4.4	4.9
こどもの表現遊び研究	10	9	90.00	1, 3	1	4	4.9	4.9	4.9	4.9	4.6	4.8	4.9	5.0	11.1	0.0	11.1	22.2	55.6	4.7	4.9		4.9
保育者論	121	105	86.80	6	4	5	4.4	4.4	4.5	4.3	4.1	4.7	4.7	4.5	3.8	3.8	18.1	26.7	47.6	4.7	4.6	3.8	4.8
こどもの遊び論	35	33	94.30	6	4	1	4.3	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.1	4.3	15.2	18.2	18.2	18.2	30.3	4.2	4.3	5.0	4.3
相談援助	33	32	97.00	6	4	4	4.1	4.2	4.2	4.1	3.8	4.5	4.3	4.3	6.5	3.2	12.9	16.1	61.3	4.2	4.3	4.0	4.3
相談援助	39	32	82.10	6	4	5	4.2	4.3	4.4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.1	16.1	0.0	3.2	9.7	71.0	4.4	4.3	5.0	4.4
相談援助	46	43	93.50	6	5	1	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7	4.4	4.4	14.0	2.3	7.0	16.3	60.5	4.6	4.5	5.0	4.6
教育原理	122	114	93.40	6	5	4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	4.7	4.5	4.5	5.3	3.5	10.6	15.0	65.5	4.5	4.6	4.4	4.6
赤ちゃん学	26	22	84.60	1	5	5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.8	4.7	4.8	9.1	0.0	4.5	27.3	59.1	4.8	4.7	3.0	4.7
保育内容人間関係	42	41	97.60	6	4, 5	1	4.8	4.8	4.7	4.6	4.4	4.8	4.6	4.2	12.2	0.0	14.6	19.5	53.7	4.6	4.7	5.0	4.7
声楽基礎演習Ⅰ	13	13	100.00	6	4	1	5.0	4.9	4.6	4.8	4.5	4.9	4.8	4.8	15.4	15.4	15.4	46.2	7.7	4.5	4.7	5.0	5.0
音楽	50	45	90.00	1	4	1, 5	4.6	4.3	4.4	4.3	4.0	4.6	4.4	4.3	0.0	6.7	4.4	13.3	75.6	4.5	4.5	4.3	4.6
教育相談とカウンセリング	121	111	91.70	6	4	5	4.1	3.7	3.9	3.7	3.6	3.9	3.5	3.6	3.6	1.8	13.5	22.5	58.6	3.7	3.7	3.6	3.8
児童家庭福祉	130	115	88.50	6	5	4	4.1	3.8	3.9	3.9	3.8	4.1	3.8	3.7	10.6	4.4	11.5	15.0	58.4	3.8	4.0	4.6	4.0
現代生活と政治・経済	50	15	30.00	1	5	7	4.2	3.9	4.1	3.8	3.9	4.2	4.1	3.7	7.1	0.0	21.4	28.6	42.9	4.1	4.1	3.0	4.0
知的障害教育Ⅰ	184	131	71.20	6	4	5	4.0	3.9	3.8	3.7	3.5	3.9	3.7	3.4	7.7	10.8	17.7	11.5	52.3	3.6	3.6	3.6	3.7
生涯学習と芸術	4	3	75.00	5	1, 4, 7	1, 7, 8	3.3	3.7	3.7	3.3	3.0	5.0	3.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3.0	2.7		3.7
器楽応用	6	6	100.00	4	1	4, 5	4.3	4.7	4.5	4.2	4.3	4.3	4.7	4.5	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	4.2	4.5		4.5
器楽応用	5	3	60.00	6	4	4, 5, 7	4.7	5.0	5.0	4.7	4.7	4.7	5.0	4.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	4.3	5.0	5.0	5.0
器楽応用	6	6	100.00	6	4, 6	5	3.8	4.2	4.3	3.7	3.8	4.0	4.0	4.0	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	3.7	3.8		4.2
器楽Ⅰ	6	5	83.30	6	4	5	4.4	4.6	4.6	4.8	4.6	4.8	5.0	4.6	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	4.0	4.8	5.0	5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4, 6	1, 8	4.2	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2	4.5	4.2	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	4.0	4.5	4.0	4.6
器楽Ⅰ	5	5	100.00	6	2, 3, 4	1, 4, 5	4.6	4.8	4.2	4.8	4.4	4.8	5.0	5.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	4.6	5.0	5.0	5.0
木材工芸	17	11	64.70	1	5	5, 8	4.9	4.9	4.9	4.6	4.7	5.0	5.0	5.0	27.3	0.0	9.1	9.1	54.5	4.8	4.9	5.0	5.0
生涯スポーツ指導演習(サッカー)	43	36	83.70	1	4	5, 7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.7	4.4	4.4	38.2	5.9	5.9	17.6	32.4	4.1	4.3	4.8	4.5
生涯スポーツ指導演習(サッカー)	40	34	85.00	1	4	8	4.7	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	44.1	26.5	2.9	11.8	14.7	4.4	4.6	4.9	4.7
声楽表現演習Ⅰ	5	5	100.00	6	1, 3, 4, 6	1, 4, 5, 6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
声楽表現演習Ⅰ	2	2	100.00	1, 2	4, 6	3, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
合唱Ⅰ	7	7	100.00	6	3, 5	1, 4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
ファッションビジネス	9	7	77.80	4, 6	5	7	4.0	4.3	4.4	3.6	3.4	4.7	4.3	4.0	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7	4.0	3.4	4.4	4.4
教育原理	53	51	96.20	6	5	1	4.0	4.1	4.0	3.7	3.6	4.2	3.8	3.9	3.9	0.0	2.0	19.6	74.5	4.2	4.2	4.2	3.9
教育原理(幼・小)	58	56	96.60	6	4	5	4.1	3.9	4.1	3.8	3.7	4.4	4.1	4.1	5.4	3.6	7.1	32.1	51.8	4.2	4.0	4.4	4.2
生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	46	35	76.10	1	4	5	4.0	3.7	4.1	3.9	3.7	4.5	4.5	4.3	0.0	11.4	8.6	17.1	62.9	4.1	4.4		4.3
《前半》キャリアデザインⅠ	267	228	85.40	6	7	5, 8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	4.0	3.7	3.4	7.9	10.1	11.9	7.9	62.1	3.6	3.6	3.9	3.7
《後半》キャリアデザインⅠ	213	157	73.70	6	5	4	4.0	4.1	4.0	3.8	3.8	4.2	4.1	3.7	5.2	5.2	5.2	4.5	80.0	3.9	3.9	4.2	4.0
キャリアデザインⅢ	46	42	91.30	6	5	8	3.5	3.7	3.6	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4	9.5	11.9	11.9	11.9	54.8	3.6	3.5	4.2	3.3
《前半》キャリア演習Ⅰ	56	45	80.40	6	5	4	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	28.6	26.2	16.7	2.4	26.2	4.2	4.1	4.2	4.1
《後半》キャリア演習Ⅲ	10	5	50.00	1	7	5	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6	4.8	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	4.6	4.6	5.0	4.6
食生活学	10	7	70.00	1	2	3	4.4	4.6	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6	14.3	14.3	28.6	0.0	42.9	4.4	4.6	3.0	4.4
家庭	23	21	91.30	1	4	5	4.5	4.2	4.2	3.9	4.0	4.2	3.6	3.9	0.0	4.8	4.8	9.5	81.0	4.1	4.1	3.0	4.1
マンガ表現研究	23	19	82.60	1	5	5, 7	4.5	4.7	4.5	4.5	4.2	4.9	4.8	4.4	15.8	5.3	5.3	21.1	52.6	4.8	4.9	4.7	4.8
社会的養護論	2	2	100.00	1, 4	1, 4	2, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	5.0	5.0		5.0
生活科概論	75	61	81.30	6	4	5	4.4	4.3	4.1	3.9	4.1	4.5	4.1	4.1	10.0	3.3	8.3	16.7	61.7	4.2	4.1	4.5	4.3
現代生活と福祉	54	44	81.50	1	5	7	3.8	4.0	4.0	3.8	3.8	4.3	4.1	4.0	18.6	9.3	14.0	16.3	41.9	4.0	4.0	3.7	4.1
ドレーピング	6	6	100.00	1	4	3, 5, 6, 7, 10	4.3	4.8	4.8	4.5	4.8	4.7	4.7	4.3	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	4.3	5.0	4.7	4.7
美学	51	35	68.60	1, 7	2	8	3.4	2.7	2.7	2.7	2.6	2.9	2.4	2.3	5.9	5.9	5.9	14.7	67.6	2.8	2.6	1.3	2.7
生涯スポーツ(バドミントン)	40	25	62.50	1	4, 5	1	4.5	4.3	4.4	4.2	4.0	4.4	3.9	3.9	4.0	8.0	12.0	0.0	76.0	3.8	4.0	4.3	4.3

北翔大学　授業改善アンケート（2019年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
生涯スポーツ(バドミントン)	38	31	81.60	1	5, 7	4	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	3.6	3.8	6.5	16.1	3.2	9.7	64.5	3.7	3.8	4.4	3.9
社会福祉	122	118	96.70	6	4	4	4.4	4.1	4.1	4.0	3.9	4.5	4.3	4.5	6.8	5.9	5.1	17.8	64.4	4.4	4.4	4.6	4.6
ビジネス関連法規Ⅰ	16	14	87.50	1	5	2	4.4	4.6	4.6	4.4	3.9	4.9	4.9	4.5	0.0	0.0	0.0	23.1	76.9	4.7	4.7	5.0	4.9
英語コミュニケーションⅠ	37	35	94.60	6	2	5	4.6	4.4	4.2	4.3	3.8	4.9	4.8	4.9	2.9	5.7	5.7	22.9	62.9	4.6	4.6	5.0	4.8
英語コミュニケーションⅠ	56	56	100.00	6	1, 2	3	4.3	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.4	20.0	9.1	7.3	1.8	61.8	4.3	4.4	4.5	4.4
英語コミュニケーションⅠ	35	30	85.70	6	5	1, 5	4.0	4.0	3.9	3.7	3.6	4.7	4.4	4.6	0.0	3.3	3.3	26.7	66.7	4.2	4.3	4.0	4.7
児童･家庭福祉論	40	30	75.00	6	5	4, 7	3.7	3.4	3.6	3.4	3.3	3.7	3.3	3.4	6.9	10.3	17.2	6.9	58.6	3.6	3.6	3.7	3.6
色彩計画	24	22	91.70	1	5	5	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.5	22.7	27.3	13.6	31.8	4.2	4.1	3.2	4.4
介護技術演習Ⅳ	5	5	100.00	6	4	5	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.8	4.6	4.6	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	4.5	4.4	5.0	4.6
レクリエーション実技	7	7	100.00	6	4	1, 6	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.9	4.3	4.3	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	4.1	4.3	5.0	4.1
レクリエーション実技	5	3	60.00	1, 3, 4	1, 4, 5	1, 5, 7	5.0	4.7	4.7	4.7	4.3	5.0	4.7	5.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	5.0	5.0		5.0
器楽応用	5	5	100.00	4	4, 6	5	4.8	5.0	5.0	5.0	4.6	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	4.4	4.8		5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1	4.8	5.0	4.8	5.0	4.7	5.0	5.0	4.8	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	3.0	4.8		5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1, 4, 5, 7, 8	4.3	4.0	3.5	3.3	3.0	3.7	3.0	3.2	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7	4.3	4.0		3.5
こどもの保健ⅠA	123	116	94.30	6	4	5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.8	4.6	4.5	6.9	9.5	14.7	23.3	45.7	4.5	4.6	4.8	4.7
社会的養護内容	17	16	94.10	6	4	1	4.5	4.4	4.4	4.3	4.0	4.6	4.4	4.5	12.5	18.8	12.5	18.8	37.5	4.1	4.5	4.4	4.4
こどもの保健Ⅱ	42	40	95.20	6	5	4	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.9	4.7	4.6	10.0	5.0	12.5	20.0	52.5	4.8	4.7	5.0	4.8
こどもの保健Ⅱ	34	31	91.20	6	4	5	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.8	4.6	4.6	12.9	3.2	9.7	16.1	58.1	4.6	4.7		4.8
こどもの保健Ⅱ	38	37	97.40	6	4	4	4.7	4.7	4.8	4.8	4.6	4.9	4.9	4.9	33.3	5.6	5.6	8.3	47.2	4.8	4.8	5.0	4.9
こどもの保健Ⅰa	22	20	90.90	6	4	5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.2	4.3	4.1	4.2	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3	4.0	4.2	4.0	4.4
生理学	139	121	87.10	1	5	5	4.3	4.1	4.1	4.1	3.8	4.5	4.3	3.9	11.7	6.7	8.3	12.5	60.8	4.4	4.4	4.6	4.5
生理学	88	81	92.00	1	4	4	4.5	4.2	4.4	4.4	4.2	4.7	4.6	4.4	12.3	6.2	14.8	11.1	55.6	4.5	4.4	4.0	4.6
グラフィックデザインⅠ	7	6	85.70	1	4	2	4.7	4.7	4.3	3.8	3.3	4.7	4.7	4.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	4.5	4.8	5.0	4.7
グラフィックデザインⅠ	7	5	71.40	1	4, 5, 7, 8	2, 4, 7, 8	5.0	4.6	4.6	4.8	3.8	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	4.6	4.6		4.8
教育原理(幼･小)	20	17	85.00	6	4	1	4.1	4.0	3.8	3.8	3.6	4.1	4.1	3.8	5.9	17.6	35.3	17.6	23.5	4.1	4.1	3.8	4.4
特別活動論(小)	65	51	78.50	6	4	1	3.6	3.5	3.7	3.3	3.4	3.4	3.2	3.1	11.8	13.7	13.7	5.9	54.9	3.0	3.4	3.8	3.4
教育課程論	37	34	91.90	6	4	5	3.9	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.4	3.5	2.9	5.9	5.9	11.8	73.5	3.4	3.8	3.5	3.8
特別活動論	150	124	82.70	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9	3.7	3.4	12.9	12.9	7.3	8.1	58.9	3.6	3.8	4.1	3.9
教育課程論	77	51	66.20	6	4	1	4.4	4.3	4.2	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	25.5	7.8	5.9	7.8	52.9	4.1	4.0	4.7	4.1
和声学	7	6	85.70	1, 6	3, 4	1, 5	4.8	4.8	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	4.8	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	4.8	5.0	5.0	5.0
社会的養護	23	15	65.20	6	4	5	3.9	3.5	3.5	3.6	3.5	3.6	3.5	3.4	14.3	21.4	7.1	0.0	57.1	3.4	3.5	3.3	3.6
社会福祉	18	16	88.90	6	4	5	4.0	3.6	3.7	3.7	3.4	3.6	3.6	3.7	6.3	6.3	12.5	12.5	62.5	3.8	4.1	4.3	3.8
器楽応用	5	4	80.00	1, 4, 6	4	1	4.8	4.5	4.8	4.5	4.0	4.5	4.0	4.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	4.7	4.3		4.0
器楽応用	6	6	100.00	6	3	4, 5	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	4.5	4.3		4.5
器楽応用	5	5	100.00	6	4, 5	4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.4	4.2	4.4	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	4.0	4.2	4.5	4.5
器楽Ⅰ	6	5	83.30	6	4	5	5.0	4.8	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	4.2	4.8		5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	4	6	2	4.8	4.8	4.7	4.7	4.2	5.0	5.0	4.7	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	4.8	5.0	5.0	5.0
博物館資料保存論	8	7	87.50	4, 6	1	5	3.9	4.4	4.3	4.0	3.9	4.4	4.4	4.3	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	4.6	4.6	5.0	4.4
基礎解剖学	134	89	66.40	6	5	5	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.2	4.2	3.9	10.3	5.7	1.1	18.4	64.4	3.9	4.3	4.5	4.2
基礎解剖学	105	65	61.90	1	5	4	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	3.8	7.8	17.2	17.2	7.8	50.0	3.8	4.1	4.1	4.2
体力測定評価	78	46	59.00	1	2, 5	4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	3.7	17.4	19.6	19.6	10.9	32.6	3.8	4.1	4.1	4.0
体力測定評価	167	123	73.70	6	4	1	3.9	3.7	3.7	3.7	3.6	3.9	3.6	3.3	17.9	19.5	16.3	10.6	35.8	3.4	3.7	3.9	3.7
高齢者心理学	64	56	87.50	1, 4	4	1	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	3.7	12.5	10.7	8.9	12.5	55.4	4.2	4.0	4.3	4.1
生涯学習論	138	96	69.60	1	5	5	4.3	4.2	4.1	4.1	3.9	4.5	4.3	4.0	9.4	12.5	14.6	17.7	45.8	4.2	4.3	4.0	4.3
生涯学習論	88	70	79.50	1	5	2	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	4.6	4.3	4.2	20.3	11.6	4.3	10.1	53.6	4.2	4.3	4.4	4.5
陶芸Ⅱ	11	9	81.80	1	3	5	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	22.2	0.0	0.0	0.0	77.8	4.7	4.8	5.0	5.0
中国語	15	7	46.70	3	1, 2	3, 5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.1	4.6	4.3	4.1	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	4.1	4.3	4.5	4.6
中国語	15	14	93.30	1	5	2, 3, 8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	42.9	7.1	14.3	7.1	28.6	4.9	4.9	4.8	4.9
グラフィックデザインⅢ	15	8	53.30	1	5	4	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	4.6	4.9	42.9	0.0	14.3	28.6	14.3	4.9	4.8	3.5	4.9
英語コミュニケーションⅠ	43	37	86.00	6	5	5	3.6	3.4	3.3	2.8	3.1	3.8	2.8	3.2	0.0	0.0	16.2	37.8	45.9	3.1	3.0	3.4	3.0
英語コミュニケーションⅠ	44	36	81.80	6	6	5	3.8	3.8	3.8	3.7	3.5	4.6	3.9	4.2	2.8	8.3	11.1	41.7	36.1	3.9	4.3	3.8	4.1
英語コミュニケーションⅠ	41	39	95.10	6	5	1	4.2	3.6	3.7	3.8	3.5	4.3	3.5	4.1	0.0	7.7	15.4	46.2	30.8	3.8	4.0	3.6	3.9
英語コミュニケーションⅠ	42	38	90.50	6	5	5, 6	4.6	4.2	4.0	4.0	3.8	4.6	3.8	4.2	2.8	5.6	13.9	27.8	50.0	3.7	4.3	4.0	4.3
英語コミュニケーションⅠ	40	39	97.50	6	5	2	4.3	4.1	4.1	4.0	3.7	4.5	4.1	4.2	2.6	0.0	20.5	23.1	53.8	3.9	4.2	4.5	4.2
器楽応用	6	6	100.00	6	1, 4	4	4.3	4.8	5.0	4.5	4.7	4.8	4.8	4.8	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	4.8	4.8		4.8
器楽応用	5	4	80.00	6	4	5	4.8	4.8	4.8	4.3	4.0	5.0	4.8	4.5	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	4.0	4.8		5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1, 5	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	5.0	5.0	4.8	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	4.8	5.0	5.0	5.0
器楽Ⅰ	5	3	60.00	6	4	1, 5, 6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1	4.8	5.0	4.7	4.5	4.2	5.0	5.0	5.0	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	4.8	4.8		5.0
ソーシャルワーク論Ⅱ	26	24	92.30	6	4	1	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.5	4.2	4.6	8.3	8.3	8.3	20.8	54.2	4.4	4.3	5.0	4.4
薬理概論	42	38	90.50	6	4, 5	1	4.2	3.8	3.8	3.7	3.5	3.9	3.7	3.0	5.3	13.2	7.9	18.4	55.3	3.2	3.9	4.5	3.8
現代と経済	16	13	81.30	1	2	5	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	4.5	4.1	3.8	7.7	0.0	15.4	15.4	61.5	4.5	4.5	5.0	4.1
社会福祉運営管理論	19	14	73.70	6	4	1, 5	3.7	3.1	3.6	3.6	3.6	4.0	3.4	3.7	14.3	7.1	28.6	21.4	28.6	3.5	3.6	3.8	3.8
生活の中の介護福祉	65	50	76.90	1	5	5	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.4	4.2	4.4	22.0	22.0	12.0	8.0	36.0	4.3	4.2	4.1	4.4
社会教育計画	101	48	47.50	1	5	5	4.1	4.0	4.2	3.9	4.0	4.2	4.1	3.9	25.0	16.7	14.6	4.2	39.6	4.2	4.3	4.4	4.2
こどもと絵本	97	87	89.70	1	4	5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	4.6	3.4	2.3	6.9	82.8	4.5	4.6	3.8	4.8
彫刻Ⅲ	12	8	66.70	1	5	5, 8	4.3	4.4	4.5	4.4	4.0	4.9	4.8	4.8	12.5	12.5	25.0	0.0	50.0	3.9	4.5	4.5	4.6
介護技術演習Ⅰ	7	7	100.00	6	4	1	3.7	3.9	3.9	3.6	3.6	3.7	3.4	3.4	0.0	0.0	28.6	14.3	57.1	3.9	3.6		3.7
介護過程Ⅳ(知的･精神障害者、内部疾患者)	5	4	80.00	6	4	5	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	3.5	3.8	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	4.3	4.0	4.0	4.0
保育相談支援	22	21	95.50	6	4	1	4.7	4.8	4.9	4.7	4.4	4.8	4.7	4.7	19.0	4.8	14.3	9.5	52.4	4.8	4.7	4.7	4.8
スポーツ･バイオメカニクス	88	55	62.50	1	4	4	4.2	3.4	3.7	3.7	3.8	4.3	3.9	3.9	18.5	22.2	18.5	5.6	35.2	3.9	4.4	4.3	4.1
器楽応用	5	5	100.00	6	5	2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	5.0	5.0	5.0
器楽Ⅰ	6	4	66.70	6	4	5	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
社会学	58	37	63.80	6	4	4	3.7	3.4	3.5	3.5	3.4	3.7	3.3	3.2	11.1	8.3	16.7	19.4	44.4	3.2	3.6	3.5	3.5
地域福祉論Ⅰ	38	26	68.40	1	2	3, 4	3.3	2.9	3.0	2.7	2.8	3.1	2.7	2.6	7.7	11.5	7.7	11.5	61.5	3.0	3.2	2.7	2.9
朗読･ナレーション	8	7	87.50	1	4	3	4.9	4.7	4.6	4.7	4.7	5.0	5.0	5.0	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0	4.4	4.9		4.7
社会教育課題研究	86	55	64.00	1	5	4	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	3.9	3.9	16.4	20.0	16.4	3.6	43.6	3.8	3.9	3.8	4.0
器楽応用	5	5	100.00	6	1, 4	4, 5, 6	4.2	5.0	4.6	4.6	3.3	4.6	4.6	4.6	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	3.8	4.6	5.0	4.6
器楽応用	6	6	100.00	4, 6	5, 6	1	4.3	4.7	4.7	4.8	4.3	5.0	5.0	4.8	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	4.2	4.8	5.0	5.0
器楽応用	6	6	100.00	6	1	4	4.8	4.7	4.7	4.5	4.3	4.5	5.0	4.8	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0	4.7	4.7	5.0	4.8
器楽Ⅰ	6	5	83.30	6	4	2	4.8	4.8	4.8	4.6	4.6	4.8	4.8	4.8	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	4.6	4.4	4.5	4.8
器楽Ⅰ	6	6	100.00	6	4	5	4.7	4.7	4.5	4.5	4.3	4.7	4.5	4.5	0.0	16.7	50.0	33.3	0.0	4.3	4.3	5.0	4.7
器楽Ⅰ	6	5	83.30				5.0	5.0	4.8	5.0	4.4	5.0	5.0	5.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	4.8	5.0		5.0
都市と空間の法規	8	8	100.00	4, 6	1	5	4.4	3.9	4.4	4.3	4.0	4.8	4.4	4.6	0.0	12.5	37.5	12.5	37.5	4.6	4.5		4.8
《前半》キャリア演習Ⅰ	63	50	79.40	6	5	3	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.9	4.8	4.8	36.7	8.2	10.2	6.1	38.8	4.6	4.6	4.2	4.8
社会学	110	77	70.00	1	5	5	4.7	4.3	4.6	4.6	4.4	4.4	4.6	4.2	9.1	22.1	41.6	18.2	9.1	4.5	4.4	3.6	4.5
学習心理学(学習･言語心理学Ⅰ)	42	26	61.90	4	5	1	4.2	3.9	4.2	4.0	3.9	4.0	3.9	4.5	7.7	7.7	7.7	19.2	57.7	4.2	4.4	3.0	4.3
スポーツ心理学	115	104	90.40	6	1	5	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	4.4	4.3	4.3	7.8	5.8	12.6	10.7	63.1	4.2	4.2	3.9	4.3
微生物学(免疫学を含む)	36	35	97.20	6	4	1, 5	4.7	4.6	4.4	4.3	4.2	4.9	4.9	4.5	0.0	0.0	20.6	35.3	44.1	4.9	4.7	5.0	5.0
高齢者福祉論Ⅰ	7	6	85.70	6	4	4, 5	4.3	3.7	3.8	4.0	3.7	4.2	4.0	3.8	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	3.8	4.2		4.0
基礎教育セミナーⅠ	115	108	93.90	6	7	2	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.3	4.1	4.2	9.3	9.3	3.7	4.6	73.1	4.1	4.1	4.3	4.2
基礎教育セミナーⅠ	108	94	87.00	6	2	5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	14.9	7.4	3.2	6.4	68.1	4.3	4.4	4.4	4.3
キャリアデザインⅢ	44	42	95.50	6	5	5, 8	2.7	2.7	2.9	2.2	2.7	2.4	1.6	1.5	2.4	2.4	4.8	4.8	85.7	2.7	1.9	1.7	1.6

山形大学　基盤共通教育　授業改善アンケート集計結果（2018年度前期）

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	ｵﾌﾟｼｮﾝ	総合平均
																	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
教養科目	文化と社会	システム創成技術者倫理	49	45	91.80	6	5	8	3.50	3.60	3.40	3.30	3.30	3.80	3.50	3.60	2.20	0.00	15.60	26.70	55.60	3.40	3.70	3.00	3.50
科目計			49	45					3.50	3.60	3.40	3.30	3.30	3.80	3.50	3.60	2.20	0.00	15.60	26.70	55.60	3.40	3.70	3.00	3.50
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	60	55	91.70	6	5	7	4.50	4.60	4.60	4.10	4.40	4.50	4.40	4.30	5.50	9.10	21.80	38.20	25.50	4.20	4.60	4.50	4.50
			25	22	88.00	6	2	8	3.90	4.20	4.20	3.70	3.90	3.80	3.70	3.40	0.00	9.50	19.00	23.80	47.60	3.50	4.30	3.30	3.20
			24	22	91.70	6	8	8	4.30	4.20	4.30	3.90	4.00	4.50	4.50	4.50	0.00	4.50	9.10	27.30	59.10	4.50	4.50		4.30
			24	22	91.70	6	5	1	4.40	4.50	4.50	4.20	4.20	4.60	4.40	4.50	4.50	0.00	18.20	50.00	27.30	4.30	4.40		4.30
			24	22	91.70	6	5	1	4.10	4.30	4.60	4.10	4.30	4.80	4.70	4.70	0.00	0.00	13.60	45.50	40.90	4.40	4.30		4.50
			25		0.00																				
			25	23	92.00	6	2, 5	1	4.10	4.20	4.10	4.00	4.00	4.40	4.30	4.40	17.40	8.70	13.00	13.00	47.80	4.40	4.40	4.00	4.30
			25	23	92.00	6	5	2, 5, 7	4.00	4.30	4.00	3.60	4.00	4.60	4.30	4.40	0.00	0.00	17.40	39.10	43.50	4.00	4.50	4.00	4.20
			24	23	95.80	6	7	2	4.10	4.40	4.30	3.70	4.00	4.30	4.40	4.20	4.30	0.00	8.70	30.40	56.50	4.50	4.50		4.30
			24	21	87.50	6	7	5	3.50	4.10	4.00	3.10	3.40	3.70	3.50	3.70	0.00	0.00	5.00	35.00	60.00	4.30	4.30	3.10	3.80
			24	17	70.80	6	2	2, 5	4.20	4.40	4.20	3.90	4.10	4.10	4.20	4.20	5.90	0.00	0.00	23.50	70.60	4.20	4.60	3.00	4.20
			26	22	84.60	6	5	8	4.00	4.50	4.40	4.10	4.10	4.50	4.60	4.60	0.00	4.50	22.70	36.40	36.40	4.70	4.60	5.00	4.40
			25	25	100.00	6	2, 5	5	3.40	3.80	3.90	3.40	3.60	4.30	3.80	4.00	4.00	0.00	12.00	44.00	40.00	3.60	4.40	5.00	3.20
			26	25	96.20	6	2	2	3.80	4.10	4.00	3.70	4.00	4.20	4.10	4.30	4.00	8.00	4.00	28.00	56.00	4.10	4.40		3.90
			26	25	96.20	6	5	1, 5	4.30	4.50	4.40	3.90	4.40	4.50	4.40	4.30	4.00	4.00	32.00	32.00	28.00	4.40	4.40	4.30	4.20
			26	21	80.80	6	5	8	4.10	4.10	4.20	3.70	3.90	4.00	3.90	3.60	0.00	9.50	9.50	38.10	42.90	3.80	4.20	4.50	3.80
			25	22	88.00	6	5	8	4.00	4.30	4.00	3.50	4.00	4.40	4.10	4.40	0.00	0.00	13.60	4.50	81.80	4.30	4.50		3.80
			24	22	91.70	6	5	2	3.70	3.90	4.00	3.30	4.00	4.00	3.70	3.70	0.00	0.00	9.10	36.40	54.50	3.80	4.00	3.00	3.50
			27	26	96.30	6	7	2, 8	4.20	4.20	4.10	3.70	3.90	4.30	3.90	4.30	3.80	3.80	11.50	30.80	50.00	3.80	4.00	4.40	3.80
			24	22	91.70	6	5	2	4.20	4.30	4.10	3.50	3.80	3.80	3.90	4.10	0.00	0.00	22.70	22.70	54.50	4.00	3.70	3.00	4.00
			24	18	75.00	6	2	8	4.30	4.30	4.20	3.80	3.90	4.30	4.30	4.30	0.00	5.60	11.10	33.30	50.00	4.30	4.60		4.40
			24	23	95.80	6	1, 5, 6	7	4.20	4.00	4.20	3.90	4.30	4.40	4.10	4.40	13.00	4.30	8.70	17.40	56.50	3.20	4.40	4.70	3.80
			24	24	100.00	6	2, 5	1	4.40	4.50	4.60	4.30	4.50	4.80	4.50	4.40	12.50	4.20	12.50	29.20	41.70	4.30	4.70	5.00	4.50
			24	20	83.30	6	5	8	4.20	4.50	4.20	4.00	4.20	4.50	4.30	4.20	5.00	5.00	20.00	25.00	45.00	4.20	4.50		4.10
			24	23	95.80	6	5	1	4.10	4.20	4.30	3.90	4.20	4.60	4.50	4.60	4.30	8.70	17.40	30.40	39.10	4.30	4.50		4.30
			25	23	92.00	6	1, 5	5	4.60	4.70	4.70	4.40	4.50	4.90	4.90	4.90	4.30	4.30	4.30	21.70	65.20	4.70	4.80		4.90
			25	23	92.00	6	5	5	3.70	4.00	3.90	3.50	3.70	4.00	4.00	4.30	0.00	4.30	21.70	26.10	47.80	4.00	4.00		3.80
			24	21	87.50	6	5	8	3.80	4.20	4.10	3.30	3.80	4.30	4.00	4.20	0.00	4.80	14.30	9.50	71.40	4.20	4.50	4.00	3.70
			27	25	92.60	6	5	5	4.20	4.30	4.20	3.90	4.10	4.40	4.50	3.90	12.00	12.00	24.00	28.00	24.00	4.20	4.60	4.50	4.10
			24	23	95.80	6	5	5	4.40	4.70	4.50	4.20	4.30	4.80	4.80	4.70	0.00	4.30	21.70	26.10	47.80	4.70	4.70	5.00	4.60
			27	22	81.50	6	5	8	3.70	4.20	3.90	3.40	3.50	3.90	3.80	3.60	4.50	4.50	13.60	45.50	31.80	3.80	4.10		3.50
			27	25	92.60	6	5, 7	5	4.40	4.60	4.60	4.30	4.30	4.40	4.20	4.40	8.00	8.00	16.00	32.00	36.00	4.20	4.30	4.30	4.30
			26	26	100.00	6	5	8	3.80	4.00	4.30	4.00	4.20	4.20	3.80	4.00	3.80	3.80	26.90	19.20	46.20	4.00	4.30	5.00	4.20
			26	25	96.20	6	5	2	4.20	4.40	4.50	4.30	4.20	4.70	4.40	4.50	8.00	0.00	36.00	28.00	28.00	4.60	4.60		4.50
			27	24	88.90	6	1, 5	2	4.30	4.60	4.50	4.20	4.50	4.80	4.70	4.80	0.00	0.00	16.70	29.20	54.20	4.30	4.80		4.80
			23	21	91.30	6	5	8	3.70	4.30	4.10	3.80	3.90	3.90	3.90	3.90	4.80	0.00	14.30	23.80	57.10	4.10	4.30	3.00	3.90
			30	26	86.70	6	5	5, 8	4.20	4.50	4.60	4.20	4.50	4.80	4.70	4.80	3.80	0.00	19.20	34.60	42.30	4.50	4.80	3.50	4.40
			25	21	84.00	6	5	1, 7	4.00	4.30	4.40	4.20	4.10	4.60	4.20	4.40	0.00	4.80	9.50	9.50	76.20	4.10	4.40	3.00	4.30
			24	22	91.70	6	5	5	4.20	4.50	4.30	3.90	4.00	4.50	4.60	4.50	0.00	0.00	4.50	50.00	45.50	4.30	4.50		4.20
			25	25	100.00	6	5	2, 8	4.40	4.50	4.40	4.20	4.40	4.30	4.30	4.00	0.00	4.00	28.00	48.00	20.00	4.20	4.50		4.20
			24	22	91.70	6	5	8	3.70	4.10	4.10	3.60	3.90	3.90	3.60	3.80	0.00	0.00	9.10	18.20	72.70	4.00	4.40	5.00	3.80
			24	19	79.20	6	5	2	4.10	4.60	4.10	3.70	3.90	4.60	4.70	4.50	0.00	0.00	15.80	31.60	52.60	4.50	4.70	3.70	4.20
			24	24	100.00	6	5	2	4.30	4.30	4.40	3.80	4.10	4.30	4.40	4.20	4.30	0.00	8.70	34.80	52.20	4.30	4.50	5.00	4.30
			25	22	88.00	6	5	8	3.90	4.20	4.30	3.90	4.00	4.50	4.40	4.50	4.50	0.00	18.20	22.70	54.50	4.50	4.50		3.80
			26	24	92.30	6	2, 7	5	3.80	3.90	3.60	3.40	3.60	3.80	3.60	4.10	0.00	0.00	8.30	16.70	75.00	3.80	4.20	4.50	4.00
			26	24	92.30	6	5	8	4.10	4.10	4.20	3.80	4.10	4.00	3.80	3.60	0.00	12.50	20.80	25.00	41.70	3.80	4.10	5.00	3.60
			26	23	88.50	6	5	2	4.30	4.50	4.30	4.20	4.30	4.60	4.60	4.60	0.00	0.00	13.60	22.70	63.60	4.30	4.50		4.60
			26	24	92.30	6	5	5, 8	3.80	3.80	4.00	3.50	3.80	4.10	4.20	4.30	4.20	4.20	8.30	29.20	54.20	4.10	4.70	4.00	3.50
			26	25	96.20	6	7	1, 8	4.00	4.00	4.10	3.80	3.80	4.20	4.10	4.40	8.00	4.00	8.00	24.00	56.00	4.00	4.60	4.30	4.10
			26	25	96.20	6	5	1, 2	4.30	4.40	4.40	4.20	4.40	4.60	4.60	4.70	8.00	0.00	12.00	28.00	52.00	4.30	4.60	5.00	4.10
			24	20	83.30	6	5	1, 8	4.20	4.40	4.50	4.10	4.30	4.40	4.20	4.10	5.00	5.00	25.00	25.00	40.00	4.10	4.50	5.00	4.20
			26	23	88.50	6	5	2	3.90	4.00	4.00	3.80	4.00	4.00	4.10	3.70	4.30	4.30	26.10	21.70	43.50	4.00	4.30	4.50	3.70
			25	21	84.00	6	5	2, 8	3.90	4.00	4.10	3.70	3.90	3.80	3.70	4.00	4.80	4.80	23.80	19.00	47.60	3.90	4.20		3.80
			25	25	100.00	6	5	8	4.40	4.70	4.70	4.20	4.40	4.70	4.60	4.30	12.50	12.50	4.20	25.00	45.80	4.50	4.80	4.50	4.50
			26	25	96.20	6	5	2	4.30	4.40	4.40	4.00	4.10	4.40	4.40	4.70	0.00	0.00	16.00	32.00	52.00	4.20	4.50	5.00	4.40
			24	23	95.80	6	7	8	3.50	4.00	4.00	3.30	3.90	3.90	3.70	3.60	0.00	8.70	17.40	34.80	39.10	3.80	3.90	5.00	3.20
			24	22	91.70	6	5	7	4.30	4.50	4.30	4.00	4.00	4.30	4.30	4.00	0.00	4.50	18.20	27.30	50.00	4.30	4.50	4.00	4.40
			26	23	88.50	6	5	8	3.80	4.10	4.00	3.70	3.70	3.80	3.70	3.90	8.70	0.00	21.70	21.70	47.80	3.90	4.40	4.00	3.70
			25	24	96.00	6	5	8	4.30	4.60	4.50	4.00	4.40	4.70	4.40	4.70	0.00	4.20	20.80	37.50	37.50	4.30	4.60		4.30
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	24	19	79.20	6	4, 5	8	3.70	3.90	3.70	3.40	3.50	4.10	3.90	4.20	0.00	5.60	11.10	16.70	66.70	3.80	4.40		3.70
			25	22	88.00	6	5	2, 8	4.10	4.20	4.20	4.00	4.00	4.30	4.10	4.40	4.50	4.50	9.10	31.80	50.00	4.20	4.60		4.20
			24	22	91.70	6	5	8	4.10	4.40	4.50	4.10	4.30	4.70	4.60	4.70	0.00	4.50	13.60	36.40	45.50	4.50	4.60		4.50
			25	22	88.00	6	5, 7	8	3.60	3.80	3.90	3.40	3.60	3.70	3.60	3.60	4.50	0.00	9.10	36.40	50.00	3.50	4.40		3.40
			25	22	88.00	6	1, 2, 5	5	4.00	4.00	4.10	3.70	3.90	4.00	4.00	3.70	0.00	18.20	18.20	18.20	45.50	4.00	4.10		4.00
			25	21	84.00	6	5	5	3.90	4.10	4.10	3.40	4.00	4.30	3.80	4.10	9.50	9.50	0.00	33.30	47.60	3.90	4.10	3.00	3.90
			25	19	76.00	6	5	1, 7	4.10	4.50	4.40	3.80	4.10	3.60	3.60	4.30	5.30	10.50	15.80	21.10	47.40	3.60	4.30	4.00	4.10
			25	21	84.00	6	5	8	3.80	4.30	3.90	3.40	3.90	3.70	3.70	3.80	4.80	0.00	14.30	42.90	38.10	3.90	4.00	5.00	3.70
			25	23	92.00				4.00	4.70	4.70	4.20	4.40	4.90	4.90	4.90	0.00	4.30	43.50	21.70	30.40	4.80	5.00	4.70	4.70
			26	19	73.10	6	5	2	4.40	4.70	4.50	4.20	4.50	4.80	4.90	4.50	0.00	5.30	5.30	42.10	47.40	4.90	4.90	4.00	4.50
		計	1,765	1,568	88.84				4.06	4.29	4.24	3.84	4.06	4.31	4.20	4.24	3.39	3.99	15.28	28.86	48.46	4.16	4.43	4.24	4.08
		スタートアップセミナー学部導入セミナー（医学部医学科）	119	104	87.40	6	4	5	4.00	4.20	4.10	3.90	4.00	4.10	3.80	3.70	3.90	4.90	7.80	24.50	58.80	3.90	4.00	4.00	3.80
		計	119	104	87.39				4.00	4.20	4.10	3.90	4.00	4.10	3.80	3.70	3.90	4.90	7.80	24.50	58.80	3.90	4.00	4.00	3.80
		スタートアップセミナー学部導入セミナー（工学部機械システム工学科）	75	69	92.00	6	4	5	4.50	4.50	4.60	4.30	4.30	4.30	4.30	4.00	10.30	11.80	14.70	30.90	32.40	4.20	4.50	4.40	4.50
			75	67	89.30	6	4	1	4.40	4.40	4.50	4.20	4.10	4.60	4.40	4.30	3.00	4.50	26.90	43.30	22.40	4.30	4.40	3.00	4.40
		計	150	136	90.67				4.45	4.45	4.55	4.25	4.20	4.45	4.35	4.15	6.65	8.15	20.80	37.10	27.40	4.25	4.45	3.70	4.45
		スタートアップセミナー学部導入セミナー（地域教育文化学部児童教育コース）	83		0.00																				
		計	83	0	0.00																				
科目計			2,117	1,808					4.07	4.29	4.25	3.85	4.06	4.31	4.20	4.23	3.49	4.12	15.33	29.03	48.01	4.16	4.43	4.21	4.09
基幹科目	人間を考える・共生を考える	人間を考える	50	47	94.00	1	1, 5	2	4.20	4.30	4.30	4.10	4.10	4.50	4.30	4.10	4.30	0.00	10.60	27.70	57.40	4.10	4.30	4.00	4.40
			49	48	98.00	1	2	5	4.50	4.60	4.50	4.30	4.40	4.50	4.60	4.30	14.60	0.00	0.00	14.60	70.80	4.50	4.50	5.00	4.60
			50	43	86.00	6	1	5	4.00	3.80	3.80	3.60	3.70	4.20	4.00	3.60	7.10	2.40	4.80	7.10	78.60	4.30	4.30	4.70	3.90
			50	47	94.00	1	5	5	4.00	3.90	4.10	3.60	3.60	4.20	4.00	3.70	0.00	2.10	6.40	29.80	61.70	3.40	4.10	3.50	4.20
			50	46	92.00	1	5	1	4.20	4.30	4.20	4.00	4.10	4.30	4.20	4.00	2.20	2.20	4.30	13.00	78.30	4.40	4.40	3.00	4.40
			50	41	82.00	1	1	2, 5	4.40	4.00	4.20	4.20	4.10	4.40	4.30	3.80	0.00	2.40	22.00	29.30	46.30	4.20	4.30	4.10	4.40
			50	44	88.00	1	5	2	4.40	4.40	4.30	4.10	4.10	4.50	4.50	4.20	7.00	0.00	0.00	27.90	65.10	4.50	4.40	2.00	4.40
			50	48	96.00	1	5	5	4.50	4.40	4.50	4.30	4.30	4.50	4.40	4.30	2.10	2.10	20.80	50.00	25.00	4.20	4.50	5.00	4.40
			50	47	94.00	1	2	5	4.60	4.40	4.60	4.50	4.30	4.70	4.70	4.70	0.00	0.00	6.40	21.30	72.30	4.70	4.70	4.00	4.70
			49	43	87.80	1	2, 5	1	3.90	3.50	3.90	3.70	4.00	4.60	3.70	4.50	2.30	7.00	23.30	25.60	41.90	3.90	4.30		4.20
			50	46	92.00	1	5	1, 5	4.10	4.10	4.10	4.00	4.10	4.50	4.40	4.00	6.50	0.00	10.90	17.40	65.20	4.00	4.70	4.00	4.30
			50	44	88.00	1	2	2	4.70	4.70	4.60	4.50	4.30	4.70	4.80	4.40	2.30	4.50	0.00	11.40	81.80	4.70	4.80	4.00	4.90
			50	43	86.00	2	1	5	4.40	4.50	4.40	4.20	4.30	4.60	4.40	4.30	11.60	4.70	18.60	20.90	44.20	4.40	4.60	5.00	4.60
			50		0.00																				
			41	33	80.50	8	5	5	3.70	3.50	3.90	3.50	3.60	4.80	3.90	4.00	3.00	3.00	33.30	24.20	36.40	3.80	4.20	3.00	4.00
			48	39	81.30	1	2	5	4.30	4.20	4.30	4.10	4.10	4.60	4.50	4.10	0.00	2.60	17.90	20.50	59.00	4.40	4.60	4.00	4.50
			50	44	88.00	1	2	5	3.90	4.00	4.10	3.70	3.70	4.50	4.30	4.40	2.30	0.00	6.80	18.20	72.70	4.20	4.50	5.00	4.30
		計	837	703	83.99				4.24	4.16	4.24	4.03	4.05	4.51	4.31	4.15	4.08	2.06	11.63	22.43	59.79	4.23	4.45	4.02	4.39
		共生を考える	50	36	72.00	1	1	5	4.40	4.30	4.20	4.20	4.10	4.50	4.30	4.20	2.90	0.00	8.60	17.10	71.40	4.10	4.50		4.40
			50	44	88.00	2, 6	1	5	4.10	3.90	4.10	4.00	4.20	4.50	3.30	3.50	2.30	9.10	11.40	31.80	45.50	3.60	4.30	3.50	3.70
			50	50	100.00	1	2	2	4.40	4.40	4.50	4.50	4.30	4.50	4.50	4.10	2.00	4.00	10.00	40.00	44.00	4.40	4.40	5.00	4.50
			40	38	95.00	1	4	2	4.30	4.30	4.30	4.20	4.00	4.60	4.40	4.00	5.30	7.90	15.80	26.30	44.70	4.40	4.70	4.70	4.60
			50	43	86.00	1	2	5	4.20	4.20	4.30	4.20	4.10	4.10	4.10	3.80	0.00	2.30	9.30	9.30	79.10	4.30	4.50	4.70	4.50
			50	49	98.00	1	2	2	4.30	4.30	4.30	4.00	4.10	4.60	4.50	4.40	8.20	8.20	28.60	36.70	18.40	4.60	4.60	4.60	4.60
			50		0.00																				
			50	47	94.00	1	5	5	4.30	4.30	4.30	4.00	4.00	4.50	4.30	3.70	0.00	4.30	14.90	29.80	51.10	4.00	4.60	3.00	4.40
			50	46	92.00	1	2	2	4.30	4.20	4.10	4.00	4.00	4.40	4.40	4.00	2.20	0.00	4.30	19.60	73.90	4.10	4.40	3.00	4.50
			20		0.00																				
			50	46	92.00	1	5	1, 5	4.30	4.10	4.50	4.10	4.30	4.60	3.70	4.40	13.00	17.40	21.70	19.60	28.30	4.10	4.30	4.50	4.10
			50	45	90.00	1	5	7	4.30	4.40	4.40	4.10	4.10	4.40	4.50	4.40	4.40	2.20	13.30	13.30	66.70	4.10	4.10	4.10	4.50
			50		0.00																				
			50	48	96.00	2, 6	5	1	4.30	4.20	4.30	4.00	4.10	4.60	4.20	4.40	6.30	6.30	2.10	6.30	79.20	4.40	4.60	4.30	4.60
			50	43	86.00	1	5	5	4.10	4.10	4.20	3.90	3.70	4.30	3.90	3.90	2.30	7.00	27.90	39.50	23.30	3.80	4.30	3.00	4.10

山形大学　基盤共通教育　授業改善アンケート集計結果（2018年度前期）

			履修登録者数（a）	回答数（b）	回答率（b/a）%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	ｵﾌﾟｼｮﾝ	総合平均
																	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
		計	710	535	75.35				4.28	4.23	4.29	4.10	4.08	4.47	4.18	4.07	4.08	5.73	13.99	24.11	52.13	4.16	4.44	4.04	4.38
	領域計		1,547	1,238					4.25	4.19	4.26	4.06	4.06	4.49	4.25	4.11	4.08	3.63	12.64	23.15	56.51	4.20	4.45	4.03	4.38
	山形から考える	山形から考える	50	50	100.00	1	2	5	4.30	4.30	4.20	4.00	4.00	4.20	4.10	4.10	0.00	8.00	8.00	18.00	66.00	3.80	3.70	4.50	4.00
			30	24	80.00	1	2	2	4.50	4.30	4.20	4.10	4.10	4.30	4.30	4.40	8.30	4.20	4.20	0.00	83.30	4.20	4.40	4.30	4.50
			16	12	75.00	1	2, 3, 6, 7	5	4.80	4.70	4.70	4.50	4.60	4.90	4.60	4.80	0.00	0.00	0.00	33.30	66.70	4.50	4.40	5.00	4.80
			47	45	95.70	1	2	7	4.20	4.20	4.00	3.80	3.80	4.20	4.20	4.00	13.30	2.20	2.20	6.70	75.60	4.00	4.30	4.00	4.30
			50	42	84.00	1	2	2	4.40	4.30	4.10	4.00	4.10	4.40	4.30	3.70	2.40	9.80	12.20	14.60	61.00	4.20	4.30	3.30	4.40
			21		0.00																				
			25		0.00																				
			60	54	90.00	1	5	5	4.40	3.90	4.20	4.00	3.80	4.40	4.10	3.90	0.00	0.00	14.80	25.90	59.30	3.90	4.30	3.00	4.30
			111	105	94.60	1	2, 5	2	4.20	4.20	4.20	4.00	4.00	4.30	4.20	3.80	1.90	3.80	3.80	16.20	74.30	4.10	4.10	4.30	4.30
			153	70	45.80	6	2, 5	5	4.40	4.50	4.40	4.20	4.10	4.90	4.70	3.80	4.30	0.00	7.10	7.10	81.40	4.70	4.70	3.70	4.70
			153	115	75.20	1	2	5	4.50	4.60	4.50	4.30	4.30	4.90	4.80	4.40	4.30	4.30	26.10	41.70	23.50	4.70	4.80	4.00	4.80
基幹科目	山形から考える	山形から考える	20		0.00																				
			159	156	98.10	1	2	5	4.80	4.80	4.80	4.70	4.70	4.60	4.50	4.50	11.80	2.60	10.50	22.20	52.90	4.50	4.30	4.50	4.80
			20	19	95.00	6	2	5	4.30	4.20	4.50	4.00	4.10	4.80	4.10	4.40	5.30	0.00	0.00	5.30	89.50	4.40	4.10		4.30
			28	26	92.90	1	1, 2	5	4.50	4.50	4.50	4.20	4.50	4.70	4.50	4.70	7.70	3.80	0.00	26.90	61.50	4.40	4.50	5.00	4.50
			43		0.00																				
			5		0.00																				
			30	29	96.70	1	2	5	4.70	4.70	4.70	4.70	4.60	4.90	4.40	4.50	3.60	0.00	3.60	7.10	85.70	4.40	4.30		4.80
			6	6	100.00	1	2	1, 2, 4, 5, 7, 8	4.80	4.80	4.70	4.70	4.80	5.00	4.70	5.00	0.00	16.70	50.00	16.70	16.70	4.80	5.00		4.80
			18	18	100.00	1	2	2, 5	4.20	4.40	4.30	4.20	4.30	4.60	4.20	4.30	0.00	22.20	16.70	22.20	38.90	3.80	4.10		4.40
			29	1	3.40	7	2	8	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	3.00	5.00		5.00
			30	27	90.00	1	2	2	4.60	4.70	4.50	4.40	4.30	4.90	4.80	4.40	3.70	0.00	7.40	33.30	55.60	4.50	4.70	5.00	4.80
			55	52	94.50	6	5	8	3.90	3.80	3.80	3.60	3.50	4.20	3.80	3.70	5.80	5.80	7.70	15.40	65.40	3.70	3.80	4.00	3.80
			50	47	94.00	1	2, 5	2, 5	4.70	4.80	4.70	4.60	4.60	4.70	4.50	4.60	45.70	0.00	6.50	2.20	45.70	4.40	4.70	4.80	4.70
	領域計		1,209	898					4.48	4.46	4.42	4.26	4.27	4.63	4.41	4.32	6.22	4.39	9.52	16.57	63.32	4.21	4.39	4.24	4.53
科目計			2,756	2,136					4.35	4.30	4.33	4.14	4.15	4.54	4.32	4.20	4.94	3.94	11.38	20.49	59.26	4.20	4.43	4.10	4.44
教養科目	文化と社会	哲学	209	103	49.30	1	5	2	4.20	4.10	4.10	4.00	4.00	4.40	4.30	4.10	4.90	6.80	3.90	13.60	70.90	4.30	4.60	3.50	4.30
		計	209	103	49.28				4.20	4.10	4.10	4.00	4.00	4.40	4.30	4.10	4.90	6.80	3.90	13.60	70.90	4.30	4.60	3.50	4.30
		歴史学	48	32	66.70	1	2	5	4.10	4.10	3.90	3.80	3.50	4.40	4.10	3.60	0.00	0.00	9.40	31.30	59.40	4.00	4.30	3.00	4.30
			306	103	33.70	1	2	5	4.40	4.30	4.20	4.10	4.20	4.60	4.20	4.20	9.70	2.90	4.90	10.70	71.80	4.20	4.60	4.90	4.50
			105	97	92.40	1	2	5	4.20	4.10	4.10	3.90	3.90	4.50	4.40	3.80	1.00	5.20	10.30	14.40	69.10	4.30	4.50	3.60	4.40
			95	64	67.40	1	2	5	4.30	4.40	4.30	4.20	4.20	4.70	4.50	4.10	9.40	6.30	7.80	17.20	59.40	4.50	4.60	4.10	4.60
		計	554	296	53.43				4.25	4.23	4.13	4.00	3.95	4.55	4.30	3.93	5.03	3.60	8.10	18.40	64.93	4.25	4.50	3.90	4.45
		文学	41	38	92.70	1	5	2	3.90	3.70	3.90	3.70	3.70	4.20	3.60	3.30	2.70	5.40	10.80	21.60	59.50	3.70	4.40	1.00	3.90
			22	17	77.30	1	5	2	3.90	4.20	4.10	3.50	3.40	4.40	4.10	3.20	0.00	5.90	0.00	5.90	88.20	3.40	3.60		4.30
		計	63	55	87.30				3.90	3.95	4.00	3.60	3.55	4.30	3.85	3.25	1.35	5.65	5.40	13.75	73.85	3.55	4.00	1.00	4.10
		芸術	20		0.00																				
		計	20	0	0.00																				
		言語学	301	209	69.40	1	2	5	4.30	4.30	4.20	4.00	3.90	4.60	4.60	3.80	6.20	1.90	6.20	10.50	75.10	4.50	4.60	4.60	4.60
			248	200	80.60	1	2	5	4.20	4.30	4.20	4.00	3.80	4.60	4.50	3.70	3.50	2.50	6.50	17.10	70.40	4.40	4.60	4.00	4.50
			74	65	87.80	1	2	5	4.00	3.70	3.90	3.60	3.50	4.00	3.60	3.70	3.10	3.10	9.20	27.70	56.90	3.80	4.30	4.50	3.90
		計	623	474	76.08				4.17	4.10	4.10	3.87	3.73	4.40	4.23	3.73	4.27	2.50	7.30	18.43	67.47	4.23	4.50	4.37	4.33
		文化論	141	126	89.40	1	5	5	4.30	4.20	4.20	4.00	4.00	4.40	4.20	4.00	2.40	3.20	6.30	12.70	75.40	4.20	4.30	4.00	4.30
			14	11	78.60	1	1, 5	2	4.50	4.20	4.30	4.20	4.20	4.40	4.30	4.00	18.20	9.10	18.20	45.50	9.10	4.50	4.30		4.50
		計	155	137	88.39				4.40	4.20	4.25	4.10	4.10	4.40	4.25	4.00	10.30	6.15	12.25	29.10	42.25	4.35	4.30	4.00	4.40
		法学	40		0.00																				
			151	144	95.40	7	2	2	3.50	3.20	3.30	3.20	3.10	3.90	3.00	3.00	2.10	0.70	5.60	12.00	79.60	2.70	3.80	4.00	3.40
		計	191	144	75.39				3.50	3.20	3.30	3.20	3.10	3.90	3.00	3.00	2.10	0.70	5.60	12.00	79.60	2.70	3.80	4.00	3.40
		経済学	44	41	93.20	1	1, 2	5	4.10	3.90	4.00	3.70	3.70	4.00	4.00	4.10	7.50	2.50	15.00	27.50	47.50	4.20	3.40	3.70	3.80
			28	24	85.70	1	5	5	3.40	3.70	4.00	3.60	3.30	4.20	3.70	2.80	0.00	0.00	8.30	33.30	58.30	4.40	4.50		4.40
			245	188	76.70	1	5	2	3.90	3.70	3.90	3.70	3.60	3.90	3.90	3.30	4.30	3.20	8.00	11.20	73.40	3.60	4.40	3.50	4.00
		計	317	253	79.81				3.80	3.77	3.97	3.67	3.53	4.03	3.87	3.40	3.93	1.90	10.43	24.00	59.73	4.07	4.10	3.60	4.07
		社会学	51		0.00																				
			51		0.00																				
			46	40	87.00	1	5	5	4.10	4.30	4.30	4.20	4.10	4.40	4.50	4.00	5.00	0.00	2.50	30.00	62.50	4.60	4.50	4.00	4.50
			236	89	37.70	1	5	5	4.30	4.30	4.10	4.00	4.10	4.50	4.20	4.20	5.60	3.40	1.10	9.00	80.90	4.40	4.60	4.70	4.60
		計	384	129	33.59				4.20	4.30	4.20	4.10	4.10	4.45	4.35	4.10	5.30	1.70	1.80	19.50	71.70	4.50	4.55	4.35	4.55
		政治学	61	42	68.90	1	5	5	4.10	4.00	3.90	4.00	3.70	4.50	4.10	3.60	7.10	2.40	14.30	33.30	42.90	3.90	4.40	5.00	4.40
			100	83	83.00	1	5	2	4.30	4.10	4.20	4.10	3.90	4.50	4.20	3.60	3.60	2.40	10.80	22.90	60.20	4.30	4.50	3.90	4.40
			89	85	95.50	1	2	3	4.00	3.90	3.90	3.90	3.90	4.10	4.00	3.60	11.90	6.00	10.70	20.20	51.20	3.90	4.10	4.10	3.90
		計	250	210	84.00				4.13	4.00	4.00	4.00	3.83	4.37	4.10	3.60	7.53	3.60	11.93	25.47	51.43	4.03	4.33	4.33	4.23
		地理学	150	131	87.30	1	5	2, 5	4.30	3.90	4.00	3.70	3.60	4.30	4.20	3.30	3.10	1.50	3.80	28.20	63.40	4.30	4.40	4.50	4.20
			92	80	87.00	1	2	5	4.30	4.20	4.00	3.90	3.80	4.30	4.00	3.50	9.00	2.60	3.80	2.60	82.10	3.90	4.30	4.60	4.30
		計	242	211	87.19				4.30	4.05	4.00	3.80	3.70	4.30	4.10	3.40	6.05	2.05	3.80	15.40	72.75	4.10	4.35	4.55	4.25
		日本国憲法	72	67	93.10	5	5	2	4.00	4.00	3.90	3.70	3.70	4.20	4.10	4.10	1.50	4.50	9.10	21.20	63.60	4.00	4.20	3.30	4.10
			210	162	77.10	1	2	1, 2	4.50	4.40	4.40	4.20	4.10	4.50	4.60	4.40	8.60	4.30	7.40	19.10	60.50	4.50	4.50	4.70	4.70
			109	87	79.80	6	5	2, 8	3.90	3.60	3.80	3.60	3.50	4.30	3.70	3.30	3.50	2.30	8.10	24.40	61.60	3.90	4.40	3.50	4.00
			3	1	33.30	6	1	5	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	5.00	5.00		5.00
		計	394	317	80.46				4.35	4.25	4.28	4.13	4.08	4.50	4.35	4.20	3.40	2.78	31.15	16.18	46.43	4.35	4.53	3.83	4.45
	領域計		3,402	2,329					4.15	4.07	4.08	3.91	3.83	4.36	4.13	3.75	4.96	3.26	11.19	19.37	61.22	4.13	4.36	3.94	4.29
	自然と科学	生物科学	131	118	90.10	1	4	2	4.10	3.70	4.00	3.80	3.40	4.50	4.20	3.40	3.40	1.70	16.10	36.40	42.40	4.10	4.40	4.20	4.30
			189		0.00																				
			141	128	90.80	1	2	2	4.40	4.30	4.40	4.10	3.90	4.60	4.60	3.80	2.30	3.10	6.30	11.70	76.60	4.50	4.60	4.80	4.60
			12	12	100.00	1, 2	1, 2, 7	5	4.90	4.90	5.00	4.90	4.60	4.90	4.80	4.90	0.00	0.00	0.00	8.30	91.70	4.60	4.80		5.00
			3	3	100.00	7	1	2	4.70	5.00	5.00	4.70	4.70	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	33.30	66.70	5.00	4.70		4.70
教養科目	自然と科学	生物科学	41		0.00																				
		計	517	261	50.48				4.53	4.48	4.60	4.38	4.15	4.75	4.65	4.28	1.43	1.20	5.60	22.43	69.35	4.55	4.63	4.50	4.65
		数理科学	54	49	90.70	1	4	5	4.30	3.90	4.20	4.10	3.70	4.00	3.90	3.10	6.10	0.00	38.80	28.60	26.50	4.20	4.10	3.80	4.20
			61	60	98.40	6	5	4	4.20	4.10	4.20	4.10	3.80	3.90	3.80	3.30	1.70	8.50	27.10	40.70	22.00	4.00	4.20	4.50	4.00
			60	59	98.30	6	5	1	4.30	3.90	4.20	4.00	3.90	4.00	3.90	3.70	8.50	8.50	32.20	40.70	10.20	4.10	4.20	3.70	4.10
			50	47	94.00	1	2	5, 7	4.40	4.30	4.30	4.20	3.90	4.40	4.10	3.90	8.50	4.30	8.50	14.90	63.80	4.00	4.40	5.00	4.40
			64	61	95.30	1	2	5	4.70	4.60	4.70	4.50	4.40	4.60	4.60	4.60	1.60	3.30	11.50	27.90	55.70	4.60	4.70	4.50	4.70
			64	56	87.50	1	2	5	4.50	4.40	4.60	4.20	4.20	4.40	4.60	4.50	1.80	0.00	12.50	30.40	55.40	4.50	4.50		4.60
		計	353	332	94.05				4.40	4.20	4.37	4.18	3.98	4.22	4.15	3.85	4.70	4.10	21.77	30.53	38.93	4.23	4.35	4.30	4.33
		化学A	103	73	70.90	1	2	5	3.60	3.50	3.70	3.40	3.40	4.00	3.60	2.90	2.70	1.40	6.80	23.30	65.80	3.70	4.10	3.80	3.60
			100	87	87.00	1	2	5	4.60	4.70	4.60	4.40	4.40	4.80	4.80	4.60	7.00	3.50	8.10	44.20	37.20	4.70	4.70	4.30	4.80
		計	203	160	78.82				4.10	4.10	4.15	3.90	3.90	4.40	4.20	3.75	4.85	2.45	7.45	33.75	51.50	4.20	4.40	4.05	4.20
	領域計		1,073	753					4.39	4.28	4.41	4.20	4.03	4.43	4.33	3.98	3.63	2.86	13.99	28.37	51.17	4.33	4.45	4.29	4.42
	応用と学際	応用	15	13	86.70	1	4	2	4.70	3.40	4.30	4.70	4.60	4.20	3.80	4.10	23.10	46.20	23.10	0.00	7.70	3.80	4.20		4.30
			30		0.00																				
		計	45	13	28.89				4.70	3.40	4.30	4.70	4.60	4.20	3.80	4.10	23.10	46.20	23.10	0.00	7.70	3.80	4.20		4.30
		学際	76	67	88.20	1	5	5	4.30	4.20	4.20	4.30	4.00	4.40	4.00	3.50	12.10	6.10	18.20	15.20	48.50	3.80	3.90	5.00	4.20
			205	144	70.20	1	2	5	4.20	4.10	4.00	3.80	3.80	4.10	4.00	3.30	3.50	2.80	3.50	14.80	75.40	4.10	4.30	4.10	4.10
			4		0.00																				
			17	15	88.20	1	5	2, 7	4.20	4.20	4.30	4.10	4.10	4.70	4.30	4.30	6.70	0.00	33.30	26.70	33.30	4.30	4.30		4.40
			11		0.00																				
			96		0.00																				
			247	198	80.20	1	2	5	4.10	4.00	4.00	3.80	3.50	4.20	4.30	3.50	2.00	5.10	7.60	11.10	74.20	4.10	4.40	3.50	4.30
			26	22	84.60	1	2	5	4.50	4.50	4.30	4.30	4.00	4.50	4.30	4.40	4.50	4.50	13.60	4.50	72.70	4.40	4.40		4.70
			78		0.00																				
		計	760	446	58.68				4.26	4.20	4.16	4.06	3.88	4.38	4.18	3.80	5.76	3.70	15.24	14.46	60.82	4.14	4.26	4.20	4.34
	領域計		805	459					4.33	4.07	4.18	4.17	4.00	4.35	4.12	3.85	8.65	10.78	16.55	12.05	51.97	4.08	4.25	4.20	4.33
科目計			5,280	3,541					4.24	4.12	4.18	4.02	3.90	4.38	4.18	3.82	5.10	4.16	12.65	20.80	57.30	4.18	4.37	4.05	4.33
共通科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｽｷﾙ1	英語1	36		0.00																				
			36	35	97.20	6	5	5	4.50	4.30	4.20	3.90	3.80	4.40	4.30	4.30	5.70	8.60	20.00	25.70	40.00	4.40	4.30	4.00	4.50
			33	28	84.80	6	8	1	4.40	4.50	4.50	4.00	3.90	4.90	4.60	4.80	0.00	3.60	64.30	28.60	3.60	4.50	4.70	4.50	4.60
			36	36	100.00	6	5	5	4.70	4.70	4.30	4.00	3.90	4.90	4.80	4.80	2.80	0.00	5.60	27.80	63.90	4.60	4.50	4.00	4.80
			36	35	97.20	6	5	2	4.20	4.60	3.80	4.00	3.80	4.60	4.30	4.40	0.00	0.00	17.10	51.40	31.40	4.30	4.60	4.00	4.30
			37	37	100.00	6	5	1	4.40	4.50	4.20	4.00	3.90	4.70	4.50	4.30	2.70	10.80	10.80	40.50	35.10	4.40	4.70	4.70	4.60
			36	35	97.20	6	2	5	4.30	4.00	4.00	3.80	3.70	4.40	4.10	4.30	0.00	14.30	25.70	45.70	14.30	3.90	4.20		4.30
			34	34	100.00	6	8	5	4.10	4.30	4.10	4.00	3.90	4.50	4.30	4.40	5.90	0.00	8.80	32.40	52.90	4.30	4.40	5.00	4.20
			37	34	91.90	6	5	2	3.90	4.30	4.10	3.70	3.40	4.30	4.30	4.10	5.90	2.90	17.60	26.50	47.10	4.20	4.10	3.90	4.20
			35	34	97.10	6	2	2, 8	4.40	4.50	4.20	4.20	4.10	4.40	4.30	4.20	11.80	0.00	14.70	41.20	32.40	4.30	4.40	4.30	4.40

山形大学　基盤共通教育　授業改善アンケート集計結果（2018年度前期）

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	ｵﾌﾟｼｮﾝ	総合平均
																	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
			37	36	97.30	6	5	1	4.40	4.40	4.20	4.00	4.00	4.40	4.30	4.30	5.60	2.80	11.10	55.60	25.00	4.50	4.50		4.50
			1	1	100.00	1	6	5	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			36	35	97.20	6	5	5, 8	4.60	4.60	4.40	4.30	4.20	4.80	4.70	4.60	5.70	0.00	5.70	28.60	60.00	4.50	4.80	4.70	4.80
			38	35	92.10	6	5	5	4.30	4.40	4.30	4.10	3.90	4.70	4.60	4.50	0.00	5.70	22.90	34.30	37.10	4.50	4.60	3.00	4.60
			37	33	89.20	6	5	5	4.40	4.50	4.30	4.10	3.80	4.90	4.60	4.90	0.00	6.10	42.40	42.40	9.10	4.30	4.50	3.80	4.80
			35	35	100.00	6	5	1	4.30	4.60	4.20	4.00	3.60	4.90	4.70	4.70	2.90	0.00	25.70	22.90	48.60	4.60	4.70	5.00	4.70
			34	37	108.80	6	5	4, 5	4.10	4.00	3.80	3.70	3.70	4.30	3.60	3.60	5.40	2.70	37.80	32.40	21.60	3.90	4.10	3.30	3.80
			34	33	97.10	6	5	1, 8	4.20	4.30	4.20	4.00	3.80	4.60	4.60	4.20	3.00	0.00	15.20	48.50	33.30	4.50	4.60	3.00	4.50
			33	33	100.00	6	5	1	4.40	4.30	4.30	4.20	3.80	4.50	4.40	4.70	3.00	6.10	45.50	33.30	12.10	4.10	4.60		4.50
			37	37	100.00	6	5	2, 8	4.10	4.00	3.90	3.80	3.80	4.30	4.00	4.20	2.70	13.50	29.70	40.50	13.50	3.80	4.00		4.10
			38	36	94.70	6	5	1	4.50	4.50	4.40	4.20	3.90	4.50	4.50	4.40	0.00	5.60	27.80	50.00	16.70	4.30	4.60	5.00	4.60
			33	33	100.00	6	5	5	4.40	4.50	4.50	4.30	4.00	4.90	4.70	4.80	3.00	0.00	18.20	36.40	42.40	4.60	4.70	4.70	4.70
			37	37	100.00	6	5	8	4.20	4.20	4.10	4.10	3.80	4.50	4.50	4.40	0.00	8.10	16.20	48.60	27.00	4.20	4.60	3.50	4.60
			37	33	89.20	6	5	5	3.60	3.30	3.50	3.10	3.00	4.20	2.90	3.10	0.00	6.10	24.20	30.30	39.40	3.30	3.80	4.00	3.20
			37		0.00																				
			37	38	102.70	6	5	5, 8	4.20	4.20	4.20	4.00	3.70	4.70	4.50	4.30	0.00	0.00	21.10	47.40	31.60	4.50	4.80	5.00	4.40
			35	35	100.00	6	1	1	4.50	4.50	4.40	4.30	4.20	4.70	4.70	4.70	5.70	0.00	25.70	42.90	25.70	4.50	4.60	5.00	4.80
			35	32	91.40	6	5	1	4.50	4.50	4.40	4.40	4.40	4.80	4.70	4.80	15.60	15.60	25.00	37.50	6.30	4.50	4.60	4.10	4.70
			35		0.00																				
			36	36	100.00	6	5	2	4.30	4.30	4.20	3.80	3.60	4.40	4.20	4.30	5.60	8.30	13.90	30.60	41.70	4.40	4.60		4.60
			33	33	100.00	6	5	1	4.50	4.50	4.40	4.40	4.00	4.80	4.80	4.80	9.10	6.10	30.30	27.30	27.30	4.50	4.70	4.70	4.80
			38	35	92.10	6	5	2, 5, 8	4.20	4.10	4.10	3.90	3.80	4.30	4.30	3.70	2.90	8.60	17.10	40.00	31.40	4.30	4.50	4.00	4.40
			38	38	100.00	6	5	5	4.10	4.30	3.90	3.60	3.50	3.90	3.90	3.70	0.00	5.30	23.70	34.20	36.80	4.20	4.10	4.00	3.80
			36	32	88.90	6	2	1	4.40	4.60	4.50	4.50	4.20	4.90	4.80	4.90	0.00	9.70	51.60	38.70	0.00	4.50	4.60	4.20	4.80
			36	35	97.20	6	5	2	4.40	4.60	4.40	4.40	4.20	4.50	4.50	4.40	2.90	2.90	28.60	34.30	31.40	4.30	4.60	4.00	4.60
			36	36	100.00	6	5	1	4.40	4.80	4.10	4.10	3.90	4.70	4.50	4.50	5.60	0.00	2.80	19.40	72.20	4.40	4.60		4.20
			37	36	97.30	6	2	5	4.30	4.10	4.20	3.90	3.80	4.50	4.40	4.20	8.30	5.60	22.20	41.70	22.20	4.10	4.50	5.00	4.30
			39	38	97.40	6	5	4	4.30	4.30	4.40	4.20	4.10	4.40	4.40	4.40	2.60	7.90	26.30	50.00	13.20	4.10	4.50		4.50
共通科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｽｷﾙ1	英語1	38	37	97.40	6	5	5	4.30	4.20	4.30	4.10	3.90	4.20	4.20	4.10	5.60	13.90	36.10	30.60	13.90	4.10	4.40		4.30
			38	37	97.40	6	5	1, 2	4.20	4.10	4.10	3.80	3.80	4.60	4.50	4.30	5.60	11.10	25.00	41.70	16.70	4.30	4.30	3.00	4.40
			35	35	100.00	6	5	1	4.10	4.30	4.10	4.00	3.90	4.50	4.40	4.50	2.90	5.70	17.10	40.00	34.30	4.10	4.50	4.40	4.40
			36		0.00																				
			36	36	100.00	6	5	2, 8	4.30	4.10	4.00	3.80	3.60	4.40	4.40	4.10	0.00	8.30	30.60	38.90	22.20	4.20	4.30		4.40
			37	35	94.60	6	5	8	3.90	4.10	4.10	3.60	3.70	4.40	4.20	4.30	0.00	5.70	37.10	28.60	28.60	4.30	4.50		4.60
			36	36	100.00	6	5	1	4.00	4.10	4.10	3.80	3.60	4.80	4.40	4.70	0.00	5.60	52.80	36.10	5.60	4.20	4.50	3.90	4.50
			37		0.00																				
			37	37	100.00	6	5	4, 5	4.40	4.30	4.30	4.00	3.80	4.70	4.50	4.60	2.70	2.70	21.60	43.20	29.70	4.40	4.50	4.40	4.60
			35	34	97.10	6	5	1	4.00	4.10	4.00	3.80	3.70	4.30	4.20	4.20	0.00	2.90	5.90	50.00	41.20	4.20	4.00	1.00	4.40
			35	31	88.60	6	1	5	4.10	4.30	4.30	4.10	3.90	4.60	4.60	4.60	3.30	3.30	6.70	60.00	26.70	4.30	4.60	5.00	4.50
			37		0.00																				
			35	33	94.30	6	1, 5	5	4.50	4.60	4.40	4.40	4.30	4.80	4.60	4.90	9.10	9.10	48.50	24.20	9.10	4.50	4.60	4.50	4.70
			35	35	100.00	6	5	1	4.60	4.60	4.50	4.20	4.20	4.60	4.70	4.60	2.90	2.90	22.90	34.30	37.10	4.60	4.60	4.60	4.70
			35	32	91.40	6	5	1, 5	4.20	4.40	4.40	3.80	3.80	4.70	4.50	4.80	3.10	25.00	56.30	9.40	6.30	4.30	4.60		4.60
			37	35	94.60	6	5	2, 5	4.70	4.60	4.50	4.50	4.30	4.80	4.70	4.80	8.60	0.00	11.40	40.00	40.00	4.50	4.70	4.80	4.70
			35	35	100.00	6	1	4, 5	4.60	4.70	4.70	4.60	4.60	4.90	4.90	4.80	8.60	11.40	28.60	34.30	17.10	4.70	4.70	4.70	4.90
			36	36	100.00	6	1	1	4.80	4.80	4.90	4.80	4.40	5.00	5.00	5.00	2.80	2.80	11.10	38.90	44.40	4.80	4.90	5.00	5.00
			38	38	100.00	6	5	4	4.40	4.40	4.50	4.30	3.90	4.90	4.70	4.80	2.60	0.00	26.30	42.10	28.90	4.40	4.70	4.50	4.70
			36	34	94.40	6	5	5	4.60	4.50	4.50	4.40	4.10	4.80	4.50	4.70	0.00	2.90	8.80	50.00	38.20	4.40	4.60	4.60	4.70
			33	33	100.00	6	5	1	4.60	4.70	4.60	4.50	4.30	4.90	4.80	4.90	6.10	0.00	21.20	33.30	39.40	4.60	4.80	5.00	4.80
			37	36	97.30	6	5	1, 2	4.40	4.50	4.50	4.20	4.20	4.70	4.50	4.60	5.60	5.60	5.60	27.80	55.60	4.50	4.70	3.50	4.60
			36		0.00																				
			37	37	100.00	6	5	8	4.50	4.50	4.50	4.40	4.30	4.90	4.80	4.90	0.00	0.00	8.10	45.90	45.90	4.60	4.90	5.00	4.80
			38	32	84.20	6	5	4	4.50	4.40	4.40	4.30	4.30	4.80	4.70	4.80	6.30	6.30	46.90	31.30	9.40	4.30	4.50	4.30	4.70
			37	31	83.80	6	5	5, 8	4.30	4.30	4.20	4.00	3.90	4.80	4.50	4.80	0.00	12.90	48.40	25.80	12.90	4.10	4.40	4.10	4.50
			35		0.00																				
			36	19	52.80	6	2	5	4.20	4.40	4.20	4.00	3.90	4.60	4.60	4.60	5.30	5.30	15.80	47.40	26.30	4.50	4.50		4.60
			35		0.00																				
			34	26	76.50	6	3, 5	1, 4, 5	4.50	4.70	4.50	4.20	4.10	4.90	5.00	4.90	3.80	0.00	0.00	23.10	73.10	4.70	4.80	4.50	4.90
			33		0.00																				
			36	34	94.40	6	5	2, 8	4.30	4.50	4.30	4.10	4.00	4.60	4.60	4.60	2.90	5.90	5.90	14.70	70.60	4.30	4.60	5.00	4.60
			36	36	100.00	6	5	8	3.70	3.80	3.90	3.40	3.20	4.30	4.10	4.20	2.80	5.60	11.10	25.00	55.60	4.00	4.20	4.00	3.90
			39	38	97.40	6	5	5	4.60	4.50	4.50	4.40	4.30	4.80	4.80	4.80	2.60	2.60	15.80	50.00	28.90	4.80	4.70	5.00	4.80
			35	35	100.00	6	5	5	4.30	4.30	4.20	4.20	4.10	4.50	4.40	4.60	5.90	2.90	26.50	32.40	32.40	4.20	4.50	4.00	4.40
			38	37	97.40	6	5	5	4.20	4.20	4.10	4.00	4.00	4.60	4.40	4.60	0.00	0.00	8.10	35.10	56.80	4.50	4.50		4.60
			37		0.00																				
			37	36	97.30	6	5	4, 8	4.40	4.30	4.10	4.20	3.80	4.80	4.60	4.60	2.80	8.30	11.10	22.20	55.60	4.60	4.80	4.00	4.60
			37	34	91.90	6	2	5	4.30	4.10	4.00	3.90	3.90	3.90	4.10	3.70	11.80	5.90	26.50	32.40	23.50	4.20	4.30	4.40	4.20
			37	34	91.90	6	2	5	4.30	4.30	4.10	4.00	3.80	4.60	4.50	4.10	5.90	8.80	41.20	29.40	14.70	4.20	4.40		4.50
			37		0.00																				
			33	33	100.00	6	5, 8	1, 5	4.20	4.30	4.30	3.90	3.80	4.50	4.40	4.60	0.00	3.00	6.10	18.20	72.70	4.50	4.60	5.00	4.70
			36	36	100.00	6	5	4	4.40	4.80	4.60	4.00	3.70	4.50	4.80	4.60	8.30	0.00	5.60	30.60	55.60	4.80	4.80	4.30	4.90
			30		0.00																				
			28		0.00																				
			38	35	92.10	6	5	1	4.00	4.20	3.90	3.90	3.70	4.30	4.00	4.30	2.90	0.00	5.70	8.60	82.90	4.20	4.40		4.30
			36	34	94.40	6	5	1	4.50	4.40	4.60	4.40	4.30	4.90	4.60	4.90	5.90	2.90	47.10	38.20	5.90	4.50	4.70	3.70	4.80
			38	37	97.40	6	5	1	4.20	4.20	4.20	3.80	3.90	4.60	4.50	4.50	0.00	8.10	16.20	45.90	29.70	4.30	4.50	4.30	4.40
			37	36	97.30	6	5	8	4.60	4.40	4.40	4.50	4.30	5.00	4.80	4.80	2.80	8.30	13.90	36.10	38.90	4.50	4.80	4.30	4.80
			33	31	93.90	6	5	1	4.70	4.50	4.60	4.40	4.30	4.90	4.70	4.90	6.50	6.50	45.20	25.80	16.10	4.50	4.80	4.00	4.80
			34	33	97.10	6	5	5, 8	4.30	4.20	4.20	3.90	3.90	4.70	4.30	4.40	6.10	6.10	9.10	48.50	30.30	4.50	4.50		4.60
			34	33	97.10	6	2, 5	1	4.60	4.50	4.30	4.10	3.90	4.90	4.70	4.80	3.00	0.00	12.10	15.20	69.70	4.60	4.80	5.00	4.80
			36		0.00																				
			36	35	97.20	6	5	1, 4, 8	4.20	4.10	3.80	3.60	3.60	4.00	3.70	4.10	2.90	0.00	17.10	37.10	42.90	4.10	4.10		4.30
			36	35	97.20	6	5	2, 8	4.40	4.10	3.90	3.70	3.20	4.40	4.50	4.20	0.00	8.60	20.00	42.90	28.60	4.40	4.60	4.00	4.50
			36	28	77.80	6	5	8	4.30	4.30	4.20	4.10	3.90	4.90	4.50	4.80	0.00	3.60	60.70	28.60	7.10	4.40	4.60	4.30	4.60
			37	37	100.00	6	5	2	4.60	4.70	4.50	4.30	4.00	4.80	4.80	4.80	0.00	2.80	16.70	50.00	30.60	4.60	4.80	4.50	4.80
			37		0.00																				
			39		0.00																				
		計	3,449	2,723	78.95				4.33	4.36	4.25	4.07	3.92	4.60	4.46	4.49	3.53	5.00	23.87	35.14	32.48	4.36	4.53	4.27	4.53
		英語2	215		0.00																				
			195		0.00																				
		計	410	0	0.00																				
		英語1	30	30	100.00	6	5	5	4.40	4.30	4.10	4.00	3.90	4.80	4.60	4.60	0.00	3.30	10.00	43.30	43.30	4.40	4.60	4.60	4.60
			28	28	100.00	6	5	4	4.50	4.40	4.40	4.10	4.00	4.60	4.40	4.60	7.10	0.00	3.60	50.00	39.30	4.20	4.30	4.40	4.30
		計	58	58	100.00				4.45	4.35	4.25	4.05	3.95	4.70	4.50	4.60	3.55	1.65	6.80	46.65	41.30	4.30	4.45	4.50	4.45
共通科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｽｷﾙ1	英語（C）（再履修）	5	15	300.00	6	2	2	3.60	3.90	3.70	3.60	3.50	4.00	3.90	3.90	0.00	13.30	20.00	26.70	40.00	4.10	4.30	3.70	4.10
			6	4	66.70	6	2	2, 7, 8	4.30	3.80	3.80	3.50	3.50	4.00	3.80	4.50	0.00	25.00	50.00	25.00	0.00	3.50	4.00		4.00
			3	2	66.70	6	3, 5	2, 7	4.00	4.00	4.50	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	50.00	0.00	0.00	0.00	50.00	4.50	4.50		4.00
			4	1	25.00	6	1	8	4.00	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	5.00	4.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	4.00	5.00		4.00
		計	18	22	122.22				3.98	4.18	4.25	4.03	3.50	4.00	4.18	4.10	12.50	9.58	17.50	37.93	22.50	4.03	4.45	3.70	4.03
		英語（R）（再履修）	7		0.00																				
			14	11	78.60	6	2	2, 3, 7	3.00	3.90	3.40	3.10	3.00	4.50	4.40	4.00	0.00	0.00	36.40	9.10	54.50	4.60	4.80		4.60
			3		0.00																				
			9	6	66.70	6	4, 5	7	3.00	3.50	3.50	3.50	2.80	3.80	3.70	3.70	0.00	16.70	50.00	33.30	0.00	3.20	3.80	3.00	3.30
		計	33	17	51.52				3.00	3.70	3.45	3.30	2.90	4.15	4.05	3.85	0.00	8.35	43.20	21.20	27.25	3.90	4.30	3.00	3.95
		英語1（再履修）	9	8	88.90	6	2	8	3.90	3.90	3.90	3.50	3.40	4.10	3.80	3.90	0.00	0.00	25.00	50.00	25.00	3.90	3.80		3.80
			9	6	66.70	6	6	8	3.70	4.70	4.50	3.50	3.50	4.70	4.70	4.30	0.00	0.00	16.70	33.30	50.00	4.30	4.70		4.50
			8	5	62.50	6	2	2	4.20	4.20	4.20	4.00	4.20	4.40	4.00	4.60	20.00	0.00	20.00	0.00	60.00	4.40	4.30	5.00	4.40
			3		0.00																				
			3		0.00																				
			2	1	50.00	6	2	8	3.00	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	4.00	4.00		4.00
			2	3	150.00	6	2	2, 3, 5	3.30	3.00	3.00	3.00	3.30	4.00	3.30	3.70	0.00	0.00	33.30	33.30	33.30	3.30	4.30		3.70
			2		0.00																				
			6	5	83.30	6	2, 6	3	3.40	4.60	3.60	3.40	3.20	4.60	4.60	4.30	20.00	0.00	20.00	40.00	20.00	4.00	4.60		4.60
			3	2	66.70	6	2, 3	1, 8	3.00	3.00	3.50	3.00	3.50	3.50	4.00	4.00	0.00	0.00	50.00	50.00	0.00	3.50	2.50	3.00	3.50
			6		0.00																				

山形大学　基盤共通教育　授業改善アンケート集計結果（2018年度前期）

			履修登録者数（a）	回答数（b）	回答率（b/a）%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
																	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
			8	3	37.50	6	8	8	3.70	4.00	4.00	2.70	2.30	3.70	4.00	3.70	33.30	0.00	33.30	0.00	33.30	3.70	3.70		4.00
		計	61	33	54.10				3.53	3.68	3.71	3.14	3.18	4.00	4.05	3.94	9.16	0.00	24.79	38.33	27.70	3.89	3.99	4.00	4.06
	領域計		4,029	2,853					4.22	4.28	4.19	3.97	3.82	4.52	4.41	4.41	4.30	4.78	23.73	35.47	31.74	4.29	4.47	4.24	4.45
	コミュニケーション・スキル2	ドイツ語	16	16	100.00	6	3, 5, 8	5	3.90	4.20	4.60	4.10	3.40	4.80	4.80	4.50	12.50	12.50	18.80	37.50	18.80	4.60	4.80	4.40	4.60
			12	12	100.00	1	1	2	4.50	4.50	4.60	4.20	4.10	4.60	4.60	4.50	8.30	0.00	33.30	50.00	8.30	4.80	4.70		4.80
			26	26	100.00	6	3	1	4.60	4.50	4.50	4.40	4.30	4.60	4.80	4.70	3.80	0.00	19.20	42.30	34.60	4.40	4.70		4.80
			20	18	90.00	1	3	2	4.80	4.50	4.70	4.40	4.30	4.90	4.90	5.00	0.00	0.00	16.70	66.70	16.70	4.80	4.80		5.00
			20	20	100.00	6	5	5	4.60	4.40	4.70	4.20	3.90	4.80	4.60	4.90	5.00	0.00	15.00	40.00	40.00	4.60	4.40	4.40	4.60
			10	10	100.00	3, 6	1	4	4.70	3.90	4.40	4.50	4.00	4.70	4.80	5.00	0.00	10.00	40.00	40.00	10.00	4.80	4.70	5.00	4.90
			23	23	100.00	1	5	5	4.30	3.60	4.10	4.10	3.80	4.60	3.90	4.70	0.00	13.00	39.10	43.50	4.30	4.00	4.40		4.40
			11	10	90.90	1	5	2	4.90	4.70	4.90	4.70	4.70	4.90	4.90	4.90	10.00	0.00	30.00	40.00	20.00	4.70	4.80		4.80
			20	18	90.00	1	5	5	4.70	4.20	4.60	4.60	4.00	4.70	4.40	4.80	0.00	11.10	50.00	22.20	16.70	4.50	4.80		4.70
			27	25	92.60	6	3	3	4.50	3.90	4.30	4.00	3.60	4.50	4.50	4.60	4.00	4.00	12.00	36.00	44.00	4.50	4.80	5.00	4.60
			15	13	86.70	1	5	8	4.50	4.20	4.50	4.30	3.80	4.40	4.50	4.60	7.70	15.40	30.80	38.50	7.70	4.50	4.80		4.50
			24	21	87.50	1	2	5	4.50	4.20	4.40	4.40	4.10	4.60	4.70	4.80	0.00	28.60	61.90	9.50	0.00	4.30	4.70		4.70
			23	23	100.00	1	6	6	4.90	4.50	4.70	4.60	4.30	4.80	4.80	4.90	0.00	8.70	13.00	52.20	26.10	4.80	4.80	3.90	4.80
			23	23	100.00	6	2	5	4.30	4.00	4.20	4.00	3.70	4.40	4.10	4.20	4.30	4.30	26.10	47.80	17.40	4.00	4.50		4.20
			2	2	100.00	1, 5	1, 4	3, 5	4.50	4.00	4.50	4.50	5.00	5.00	5.00	3.50	50.00	0.00	50.00	0.00	0.00	5.00	4.00		5.00
		計	272	260	95.59				4.55	4.22	4.51	4.33	4.07	4.69	4.62	4.64	7.04	7.17	30.39	37.75	17.64	4.55	4.65	4.54	4.69
		フランス語	21	17	81.00	6	6	5	4.20	4.20	4.40	4.20	3.80	4.60	4.60	4.80	0.00	5.90	17.60	35.30	41.20	4.50	4.60	4.50	4.80
			29	29	100.00	1	5	2	4.40	4.00	4.40	4.20	3.90	4.30	4.10	4.60	0.00	10.30	31.00	24.10	34.50	4.30	4.70	4.60	4.50
			11	10	90.90	1	5	2	4.70	4.60	4.80	4.70	4.60	4.90	4.90	4.80	0.00	0.00	20.00	50.00	30.00	4.60	4.70		4.90
			12	11	91.70	1	5	2	4.50	4.00	4.40	4.20	3.90	4.50	4.50	4.50	9.10	0.00	27.30	54.50	9.10	4.00	4.50	5.00	4.40
			29	28	96.60	1	1	2	4.50	4.50	4.60	4.50	4.50	4.90	4.80	4.90	7.40	7.40	11.10	48.10	25.90	4.40	4.70	5.00	4.90
			24	21	87.50	1	4	5	4.80	4.60	4.90	4.80	4.60	5.00	4.90	5.00	9.50	9.50	47.60	33.30	0.00	4.70	4.90	5.00	4.90
		計	126	116	92.06				4.52	4.32	4.58	4.43	4.22	4.70	4.63	4.77	4.33	5.52	25.77	40.88	23.45	4.42	4.68	4.82	4.73
		ロシア語	11	11	100.00	1	5	2, 5, 7, 8	4.80	4.50	4.60	4.50	4.20	4.80	4.90	4.60	9.10	0.00	36.40	18.20	36.40	4.70	4.70	5.00	4.90
			17	15	88.20	1	1	2, 6	3.90	4.10	4.50	4.10	3.70	4.30	4.30	4.20	6.70	6.70	26.70	46.70	13.30	4.20	4.50		4.40
			10	10	100.00	1	5	7	4.40	4.40	4.70	4.70	4.20	4.80	4.80	4.50	0.00	10.00	40.00	40.00	10.00	4.70	4.70		4.90
		計	38	36	94.74				4.37	4.33	4.60	4.43	4.03	4.63	4.67	4.43	5.27	5.57	34.37	34.97	19.90	4.53	4.63	5.00	4.73
		中国語	32	29	90.60	6	1	2	4.60	4.70	4.80	4.50	4.40	4.80	4.70	4.80	3.40	6.90	24.10	55.20	10.30	4.20	4.60	4.00	4.70
			24	20	83.30	1	6	1, 5	4.30	4.40	4.60	4.40	4.20	4.60	4.40	4.50	5.00	20.00	40.00	25.00	10.00	4.20	4.60		4.50
			57	52	91.20	6	5	5	4.20	4.10	4.40	4.10	3.70	4.40	3.90	4.10	3.80	7.70	17.30	40.40	30.80	3.50	4.10	3.00	4.10
			13	11	84.60	1	5	8	4.40	4.70	4.50	4.20	4.00	4.70	4.70	4.60	0.00	0.00	0.00	45.50	54.50	4.10	4.80		4.60
			38		0.00																				
			29	14	48.30	1, 5	5	2	4.30	4.20	4.40	4.00	3.90	4.10	4.00	3.90	0.00	7.10	7.10	57.10	28.60	3.90	4.10		4.20
			46	46	100.00	6	1	5	4.30	4.40	4.40	4.20	4.00	4.00	4.00	4.00	6.70	6.70	15.60	46.70	24.40	4.00	4.00		4.00
			21	19	90.50	1, 6	1, 5	5	4.70	4.60	4.60	4.60	4.50	4.70	4.80	4.80	5.30	0.00	31.60	42.10	21.10	4.60	4.70		4.90
			50	49	98.00	1	5	5	4.10	4.00	4.20	3.80	3.70	4.30	4.20	4.20	4.10	4.10	24.50	38.80	28.60	4.20	4.20	4.00	4.30
			30	28	93.30	1	5	2	4.40	4.40	4.50	4.30	4.20	4.40	4.40	4.50	0.00	0.00	25.00	39.30	35.70	4.10	4.30		4.50
			15	15	100.00	1	5	2, 8	4.30	4.30	4.50	4.10	3.90	4.30	4.30	4.20	0.00	6.70	20.00	20.00	53.30	4.00	4.30		4.30
			1		0.00																				
		計	356	283	79.49				4.36	4.38	4.49	4.22	4.05	4.43	4.34	4.36	2.83	5.92	20.52	41.01	29.73	4.08	4.37	3.67	4.41
共通科目	コミュニケーション・スキル2	韓国語	17	15	88.20	1	2	5	4.50	4.30	4.60	4.30	4.20	4.80	4.80	4.90	6.70	6.70	33.30	40.00	13.30	4.50	4.80		4.60
			67	61	91.00	1	5	5	4.60	4.30	4.50	4.40	4.20	4.90	4.70	4.60	3.30	3.30	23.00	42.60	27.90	4.40	4.80	5.00	4.70
			41	34	82.90	1	2, 5	5	4.30	4.00	4.30	4.20	3.90	4.50	4.10	4.20	2.90	8.80	23.50	44.10	20.60	4.10	4.30	5.00	4.30
		計	125	110	88.00				4.47	4.20	4.47	4.30	4.10	4.73	4.53	4.57	4.30	6.27	26.60	42.23	20.60	4.33	4.63	5.00	4.53
		日本語	8	7	87.50	4	1	6, 8	5.00	5.00	4.70	4.60	4.30	5.00	5.00	5.00	0.00	14.30	57.10	28.60	0.00	5.00	5.00	4.50	5.00
			9	8	88.90	4, 6	1	2	4.60	4.90	4.80	4.50	4.60	4.90	4.90	4.80	12.50	12.50	37.50	25.00	12.50	4.80	4.80	3.50	4.60
			7	7	100.00	1	4	4	4.90	4.90	4.90	4.60	4.40	4.90	4.90	4.60	28.60	28.60	28.60	14.30	0.00	5.00	5.00	5.00	4.90
			15	14	93.30	1	4, 5	1	4.80	4.80	4.70	4.70	4.60	4.80	4.90	4.50	0.00	28.60	35.70	35.70	0.00	4.60	4.80	4.50	4.70
			3	3	100.00	1, 2, 5	1, 3, 8	2, 3, 5	5.00	5.00	4.70	4.70	4.70	5.00	5.00	4.70	0.00	33.30	66.70	0.00	0.00	5.00	4.70	4.30	5.00
			11	11	100.00	6	2, 4	1	4.50	4.90	4.40	4.40	4.50	4.30	4.30	4.70	36.40	9.10	9.10	27.30	18.20	4.60	4.50	4.10	4.50
			22	22	100.00	1	1	4	4.90	4.80	5.00	4.60	4.50	4.80	4.90	4.30	18.20	4.50	59.10	13.60	4.50	5.00	5.00	5.00	4.90
		計	75	72	96.00				4.81	4.90	4.74	4.59	4.51	4.81	4.84	4.66	13.67	18.70	41.97	20.64	5.03	4.86	4.83	4.41	4.80
	領域計		992	877					4.53	4.38	4.56	4.37	4.15	4.65	4.59	4.58	6.46	8.33	29.37	36.31	19.53	4.46	4.62	4.51	4.64
	情報科学	情報科学	62	59	95.20	6	4, 5	5	4.30	4.30	4.30	4.00	3.70	4.20	4.20	3.70	3.40	5.10	13.60	40.70	37.30	4.10	4.20	3.90	4.30
		計	62	59	95.16				4.30	4.30	4.30	4.00	3.70	4.20	4.20	3.70	3.40	5.10	13.60	40.70	37.30	4.10	4.20	3.90	4.30
		情報処理	50	48	96.00	6	5	8	4.00	4.20	4.40	4.00	3.90	4.10	4.10	3.80	10.60	0.00	17.00	14.90	57.40	4.20	4.20	4.20	4.20
			34	34	100.00	5	2	1	4.30	4.50	4.70	4.00	4.00	4.40	4.50	3.60	6.10	3.00	9.10	9.10	72.70	4.40	4.30	4.50	4.50
			52	50	96.20	6	5	8	4.00	4.10	4.30	3.70	3.60	4.30	4.40	3.40	4.00	2.00	12.00	18.00	64.00	4.20	4.40	5.00	4.20
			43	42	97.70	6	5	4	4.30	4.40	4.60	4.00	3.90	4.60	4.70	3.90	7.10	0.00	0.00	16.70	76.20	4.60	4.60	5.00	4.70
			64	64	100.00	6	5	5	4.40	4.50	4.50	4.20	4.00	4.40	4.60	4.00	6.30	6.30	7.80	18.80	60.90	4.40	4.60	5.00	4.50
			63	61	96.80	6	5	1, 4	4.00	4.10	4.30	3.90	3.70	4.00	4.10	3.40	4.90	1.60	4.90	11.50	77.00	4.00	4.20	4.20	4.10
			62	59	95.20	6	5	1, 5	4.20	4.20	4.10	4.10	4.00	4.20	4.30	3.60	11.90	3.40	6.80	25.40	52.50	4.10	4.30	3.50	4.20
			43	43	100.00	6	5	1, 5	4.30	4.60	4.50	4.10	3.70	4.50	4.70	3.90	4.70	0.00	2.30	18.60	74.40	4.50	4.60	3.00	4.50
			62	61	98.40	6	5	1	3.90	4.20	4.30	3.70	3.50	4.10	4.20	3.20	6.60	8.20	11.50	9.80	63.90	4.20	4.30	3.00	4.20
			63	60	95.20	6	5	1	4.40	4.30	4.40	3.90	3.90	4.40	4.50	4.10	8.30	1.70	10.00	10.00	70.00	4.40	4.50	3.70	4.60
			63	63	100.00	6	5	1, 8	4.60	4.60	4.60	4.40	4.30	4.70	4.60	4.10	1.60	4.80	1.60	12.70	79.40	4.50	4.60	5.00	4.70
			62	59	95.20	6	5	7	4.40	4.60	4.70	4.20	3.90	4.60	4.60	3.80	5.10	0.00	3.40	23.70	67.80	4.60	4.60	5.00	4.50
			32	31	96.90	1	2	5	4.50	4.50	4.60	4.10	3.90	4.20	4.50	4.10	0.00	3.20	9.70	25.80	61.30	4.40	4.50		4.50
			69	64	92.80	6	5	1	4.30	4.40	4.40	4.00	3.70	4.20	4.50	3.60	6.30	6.30	12.50	14.10	60.90	4.30	4.30	4.00	4.20
			64	62	96.90	6	5	1	4.00	4.20	4.20	3.80	3.80	4.20	4.20	3.70	8.20	9.80	1.60	16.40	63.90	4.00	4.30	4.30	4.20
			64	60	93.80	6	5	5	4.30	4.40	4.40	4.00	3.90	4.30	4.40	4.10	3.40	3.40	6.90	13.80	72.40	4.20	4.40	4.00	4.40
			63	52	82.50	1	5	2	4.00	4.30	4.20	3.80	3.60	4.20	4.30	3.60	3.80	7.70	11.50	9.60	67.30	4.20	4.30	3.80	4.20
			64	63	98.40	6	5	7	4.40	4.40	4.50	4.10	4.00	4.40	4.50	4.10	3.20	1.60	1.60	15.90	77.80	4.50	4.50		4.50
			61	59	96.70	6	5	2, 5	4.00	4.30	4.40	3.60	3.40	4.40	4.50	3.50	6.80	1.70	8.50	8.50	74.60	4.40	4.50	5.00	4.30
			61	58	95.10	6	5	1, 5	4.20	4.40	4.60	4.00	3.70	4.40	4.60	4.00	5.20	6.90	1.70	17.20	69.00	4.40	4.40	4.20	4.40
			64	60	93.80	6	5	2	4.20	4.40	4.60	3.80	3.80	4.40	4.60	4.10	6.70	5.00	10.00	18.30	60.00	4.50	4.70	5.00	4.60
			61	59	96.70	6	5	1	4.50	4.50	4.70	4.20	3.90	4.60	4.60	3.90	8.50	0.00	5.10	23.70	62.70	4.40	4.70	5.00	4.60
			64	63	98.40	6	5	5	4.40	4.50	4.60	4.10	4.00	4.40	4.50	3.80	4.80	0.00	4.80	23.80	66.70	4.40	4.50	5.00	4.50
			63	62	98.40	6	5	4	4.50	4.50	4.50	4.10	3.90	4.40	4.40	3.80	4.80	1.60	6.50	14.50	72.60	4.40	4.60	4.00	4.50
			64	59	92.20	6	4	1	4.50	4.50	4.60	4.10	4.00	4.60	4.60	3.80	1.70	6.80	3.40	10.20	78.00	4.40	4.60	4.00	4.60
			46	46	100.00	1	5	2	4.50	4.50	4.60	4.20	4.00	4.50	4.50	3.90	2.20	2.20	13.00	10.90	71.70	4.50	4.60	4.50	4.60
			60	59	98.30	6	5	1	4.20	4.30	4.40	3.90	3.70	4.20	4.30	3.50	6.80	3.40	3.40	13.60	72.90	4.30	4.40	4.40	4.40
			59	59	100.00	5	5	1	4.30	4.50	4.50	4.00	3.80	4.40	4.50	3.90	1.70	3.40	8.50	16.90	69.50	4.50	4.60	4.30	4.60
		計	1,620	1,560	96.30				4.27	4.39	4.47	4.00	3.84	4.36	4.46	3.79	5.40	3.36	6.97	15.80	68.48	4.35	4.47	4.33	4.43
	領域計		1,682	1,619					4.27	4.39	4.47	4.00	3.83	4.36	4.45	3.79	5.33	3.42	7.20	16.66	67.41	4.34	4.46	4.31	4.42
	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学	34	32	94.10	1	2	2, 5	4.40	4.50	4.60	4.30	4.10	4.50	4.50	3.60	9.40	0.00	9.40	37.50	43.80	4.60	4.60	4.00	4.50
			78	70	89.70	1	2	5	4.50	4.60	4.60	4.20	4.10	4.60	4.70	4.00	1.40	0.00	4.30	10.00	84.30	4.60	4.50	5.00	4.70
			53	52	98.10	1	5	1, 5	4.30	4.20	4.20	4.00	3.70	4.50	4.40	4.00	1.90	0.00	7.70	17.30	73.10	4.10	4.50	4.20	4.50
			166	63	38.00	1	1, 2	2	4.30	3.90	4.10	3.90	4.00	4.50	3.90	3.60	6.30	6.30	3.20	27.00	57.10	4.10	4.40	4.80	4.20
			76	71	93.40	1	2	1, 2	4.20	4.30	4.30	3.90	3.90	4.40	4.30	4.10	0.00	5.60	4.20	14.10	76.10	4.10	4.50	4.00	4.40
		計	407	288	70.76				4.34	4.30	4.36	4.06	3.96	4.50	4.36	3.86	3.80	2.38	5.76	21.18	66.88	4.30	4.50	4.40	4.46
		スポーツ実技	29	23	79.30	1	2, 7	3, 7, 8	4.90	4.60	4.50	4.40	4.30	4.70	4.40	4.30	17.40	4.30	13.00	8.70	56.50	4.20	4.50	4.00	4.70
			17	17	100.00	1	3	2	4.50	4.50	4.50	4.50	4.40	4.40	4.50	4.50	17.60	17.60	11.80	0.00	52.90	3.80	4.20	4.00	4.60
			7	7	100.00	1	7	3	5.00	5.00	5.00	4.90	4.70	4.90	5.00	4.90	14.30	0.00	0.00	0.00	85.70	4.40	4.40		4.30
			10	9	90.00	1	7	2, 8	5.00	4.80	4.70	4.70	4.40	4.70	4.90	4.90	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	3.10	4.60		4.90
			5	1	20.00	1	5	7	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	4.00	5.00		
			35	33	94.30	1	2	5, 7	4.60	4.60	4.40	4.30	4.20	4.70	4.60	4.50	3.00	3.00	0.00	9.10	84.80	3.70	4.10	3.70	4.60
			24	17	70.80	1	2, 3, 7	7	4.90	4.90	4.90	4.60	4.60	4.80	4.60	4.90	41.20	11.80	0.00	0.00	47.10	4.40	4.30	4.70	4.70
			21	19	90.50	1	7	7	4.80	4.70	4.70	4.60	4.40	4.70	4.80	4.60	15.80	0.00	10.50	5.30	68.40	4.90	4.30		4.80
			12	12	100.00	1	2	7	5.00	4.90	4.80	5.00	4.90	5.00	4.90	5.00	16.70	0.00	41.70	8.30	33.30	3.80	5.00	5.00	5.00
			33	27	81.80	1	7	7	4.90	5.00	4.80	4.80	4.80	4.90	4.90	4.70	18.50	0.00	0.00	11.10	70.40	5.00	4.70	5.00	4.90
			4	4	100.00	1	2, 3, 5, 7	7	5.00	4.80	4.80	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00							5.00		5.00
			21	18	85.70	1	7	7	4.80	4.70	4.40	4.30	4.20	4.70	4.70	4.70	8.30	8.30	0.00	16.70	66.70	3.00	4.00	3.50	4.70
			22	22	100.00	1	2	7	5.00	4.80	4.80	4.60	4.50	4.90	4.90	4.90	19.00	0.00	0.00	4.80	76.20	4.80	4.60	5.00	5.00
共通科目	健康・スポーツ	スポーツ実技	19	18	94.70	1	2, 5, 7	7	4.70	4.60	4.60	4.30	4.20	4.70	4.60	4.30	5.60	11.10	5.60	11.10	66.70	4.10	4.40	4.50	4.60
			31	30	96.80	1	2	2, 3, 5, 7	4.90	4.90	4.70	4.90	4.50	4.90	4.90	4.50	26.70	3.30	3.30	3.30	63.30	4.20	4.40	4.70	5.00
			32	32	100.00	1	2, 7	7	4.80	4.70	4.50	4.60	4.30	4.70	4.70	4.60	3.30	3.30	10.00	0.00	83.30	3.60	4.60	4.00	4.80
			32	28	87.50	1	2	7	4.60	4.60	4.50	4.60	4.40	4.50	4.50	4.60	7.10	3.60	3.60	3.60	82.10	3.60	3.50	4.70	4.50
			36	34	94.40	1	7	2	4.90	4.80	4.70	4.80	4.70	4.90	4.80	4.80	30.30	3.00	9.10	0.00	57.60	4.60	4.50	4.00	4.90
			26	24	92.30	1	2	7	4.80	4.80	4.50	4.70	4.40	4.90	4.70	4.80	33.30	0.00	8.30	0.00	58.30	3.90	4.50	4.90	4.80
			36	35	97.20	1	2	7	4.90	4.90	4.60	4.60	4.40	4.90	4.70	4.80	11.80	8.80	2.90	2.90	73.50	3.80	4.30	4.70	4.90
			21	20	95.20	1	2	8	4.80	4.70	4.40	4.10	4.00	4.90	4.80	4.60	10.00	0.00	0.00	5.00	85.00	3.90	4.50	5.00	4.80

山形大学　基盤共通教育　授業改善アンケート集計結果（2018年度前期）

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	ｵﾌﾟｼｮﾝ	総合平均
																	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
			30	30	100.00	1	2	7	4.70	4.70	4.60	4.50	4.50	4.90	4.90	4.90	10.00	0.00	6.70	0.00	83.30	4.70	4.70	5.00	4.80
			17	14	82.40	1	2	2	4.90	5.00	4.90	4.80	4.70	5.00	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	7.10	92.90	4.60	4.90		5.00
			35	26	74.30	1	1	7	4.70	4.60	4.40	4.40	4.20	4.70	4.50	4.50	15.40	7.70	0.00	0.00	76.90	4.20	4.30	4.50	4.50
			21	20	95.20	1	2	2, 5, 7, 8	4.80	4.90	4.50	4.60	4.40	4.70	4.60	4.80	0.00	0.00	10.00	0.00	90.00	4.20	4.10	4.00	4.80
			29	27	93.10	1	2, 5	8	4.90	4.80	4.60	4.70	4.70	4.90	4.70	4.70	3.70	3.70	11.10	3.70	77.80	4.20	4.40	4.30	4.80
			24	24	100.00	1	2	7	4.90	4.90	4.50	4.30	4.30	4.50	4.50	4.60	4.30	0.00	4.30	0.00	91.30	4.00	4.00		4.80
			22	18	81.80	1	2	7	4.70	4.70	4.40	4.30	4.20	4.40	4.40	4.80	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	4.00	4.10	5.00	4.70
			17	15	88.20	1	2	2, 7	4.70	4.80	4.70	4.70	4.40	4.90	4.90	4.70	7.10	0.00	0.00	0.00	92.90	3.50	4.40	5.00	4.80
			12	9	75.00	1	1, 2	5	4.30	4.60	4.40	4.10	3.80	4.40	4.40	4.00	0.00	0.00	0.00	11.10	88.90	3.10	3.80		4.10
			12	12	100.00	1	5	2	4.90	4.80	4.80	4.50	3.80	4.90	4.90	4.90	8.30	0.00	0.00	0.00	91.70	4.10	3.80	5.00	5.00
			19	19	100.00	1	2	5	4.90	4.90	4.90	4.70	4.40	5.00	4.90	5.00	5.30	0.00	0.00	10.50	84.20	4.40	4.20	5.00	4.90
		計	711	644	90.58				4.82	4.78	4.64	4.56	4.40	4.78	4.73	4.71	11.42	2.89	4.90	3.95	76.83	4.06	4.38	4.55	4.76
		スポーツセミナー	30	28	93.30	1	5	2	4.60	4.50	4.60	4.40	4.40	4.70	4.60	4.30	0.00	7.10	0.00	28.60	64.30	4.70	4.70	3.00	4.60
			20		0.00																				
		計	50	28	56.00				4.60	4.50	4.60	4.40	4.40	4.70	4.60	4.30	0.00	7.10	0.00	28.60	64.30	4.70	4.70	3.00	4.60
	領域計		1,168	960					4.75	4.71	4.60	4.49	4.34	4.74	4.68	4.59	10.08	2.93	4.88	6.94	75.15	4.11	4.40	4.47	4.72
	サイエンス・スキル	数理科学	183	166	90.70	6	7	8	4.40	4.40	4.40	4.20	4.20	4.50	4.40	3.90	15.10	4.80	24.70	29.50	25.90	4.30	4.60	3.30	4.60
			160	152	95.00	6	4	4	3.70	3.40	3.60	3.40	3.50	3.60	2.80	2.90	7.20	11.20	23.70	38.20	19.70	2.90	3.30	5.00	3.20
			161	153	95.00	6	4	1	4.10	4.10	4.10	3.90	3.80	4.00	3.90	3.60	3.30	9.20	27.00	32.20	28.30	4.00	4.20	3.70	4.10
			115	108	93.90	6	5	1	4.10	3.80	4.00	3.80	3.50	4.20	3.80	3.40	7.40	21.30	36.10	23.10	12.00	3.50	4.30	3.40	4.10
			81	70	86.40	6	2	8	3.90	2.90	3.50	3.40	3.30	3.50	3.00	2.40	7.10	7.10	27.10	30.00	28.60	3.30	3.50	3.40	3.30
			150	131	87.30	6	4	1	4.20	3.80	4.10	3.70	3.60	3.70	3.60	3.20	6.20	16.20	30.80	23.80	23.10	3.30	3.90	3.50	3.90
			113	92	81.40	6	5	4	4.10	4.00	4.10	3.80	3.50	3.80	3.70	2.70	8.70	19.60	32.60	27.20	12.00	4.10	3.90	5.00	3.80
			112	94	83.90	6	5	4	4.20	4.00	4.20	4.10	3.90	4.20	4.20	3.70	14.90	16.00	25.50	27.70	16.00	4.20	4.40	4.50	4.20
			111	87	78.40	6	5	5	4.10	4.10	4.30	4.10	4.00	4.60	4.00	4.10	2.40	5.90	35.30	31.80	24.70	4.20	4.40		4.30
			224	154	68.80	6	5	5	3.50	3.10	3.40	3.30	3.20	3.80	3.10	3.00	2.00	2.60	9.20	10.50	75.70	3.40	3.70	3.70	3.30
		計	1,410	1,207	85.60				4.03	3.76	3.97	3.77	3.65	3.99	3.65	3.29	7.43	11.39	27.20	27.40	26.60	3.72	4.02	3.94	3.88
		物理学	145	143	98.60	6	5	4	4.10	3.90	4.20	4.00	3.90	4.40	4.30	4.30	5.60	12.70	36.60	31.70	13.40	4.20	4.40	3.60	4.40
			106	81	76.40	6	5	8	3.60	3.30	3.40	3.20	3.30	3.60	3.50	3.60	6.20	18.50	32.10	24.70	18.50	3.50	3.80	3.70	3.60
			150	140	93.30	6	4	1	4.40	4.10	4.20	4.10	4.00	4.50	4.30	4.20	5.80	9.40	26.80	34.80	23.20	4.30	4.40	4.70	4.40
			95	83	87.40	5	2	4	3.90	3.50	3.50	3.60	3.50	3.70	3.40	3.20	3.60	4.80	8.40	32.50	50.60	3.70	4.00	3.80	3.80
			178	172	96.60	6	4	1	4.40	4.60	4.50	4.30	4.20	4.60	4.50	4.00	9.30	5.80	15.70	30.80	38.40	4.50	4.60	4.50	4.60
			130	115	88.50	4	4	1	3.90	3.80	4.00	3.80	3.60	4.10	4.00	3.20	3.50	4.40	22.80	27.20	42.10	3.50	4.00	4.00	3.90
			35	35	100.00	6	5	4	4.40	4.30	4.40	4.30	4.20	4.30	4.10	4.30	11.40	0.00	22.90	37.10	28.60	4.10	4.40	4.20	4.40
			24	23	95.80	1	5	5	4.50	4.50	4.30	4.20	4.20	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30	30.40	34.80	26.10	4.10	4.50	5.00	4.50
		計	863	792	91.77				4.15	4.00	4.06	3.94	3.86	4.19	4.05	3.89	6.21	7.49	24.46	31.70	30.11	3.99	4.26	4.19	4.20
		化学	62	62	100.00	6	4	1	4.40	4.00	4.10	4.00	3.50	4.10	3.90	3.20	6.60	31.10	32.80	18.00	11.50	4.20	4.20	3.00	4.30
			163	149	91.40	6	5	1	3.80	3.50	3.80	3.50	3.30	4.20	3.90	3.50	4.00	11.40	36.90	27.50	20.10	4.10	4.10	3.50	4.20
			187	174	93.00	1	4	1	4.50	4.20	4.40	4.20	4.00	4.60	4.50	4.30	8.00	4.60	16.10	35.10	36.20	4.50	4.50	4.10	4.50
			36	29	80.60	1	2	5	4.10	4.10	4.40	4.10	3.80	4.50	4.70	4.50	0.00	0.00	39.30	17.90	42.90	4.60	4.60	3.00	4.70
			142	134	94.40	1	4	2	4.70	4.40	4.70	4.50	4.20	4.70	4.60	4.40	6.00	3.00	17.90	41.80	31.30	4.60	4.60	4.00	4.70
		計	590	548	92.88				4.30	4.04	4.28	4.06	3.76	4.42	4.32	3.98	4.92	10.02	28.60	28.06	28.40	4.40	4.40	3.52	4.48
		生物科学	173	175	101.20	6	5	1	3.60	3.50	3.70	3.30	3.30	3.70	3.50	3.20	5.70	9.80	31.00	24.10	29.30	3.70	3.70	3.70	3.50
			58	55	94.80	6	1	1	4.20	4.10	4.00	3.90	3.50	3.90	3.80	3.80	3.60	16.40	32.70	23.60	23.60	3.90	3.90	3.80	4.00
			26	26	100.00	1	4	5, 6	4.30	4.20	4.20	3.90	3.80	4.20	3.90	4.00	3.80	0.00	19.20	23.10	53.80	4.10	4.10	3.00	4.20
			24	23	95.80	1	4	5	4.30	4.20	4.30	4.00	4.00	4.50	4.20	4.30	4.30	0.00	13.00	34.80	47.80	4.10	4.40	5.00	4.30
			19	19	100.00	1	4	6	4.40	4.30	4.30	4.30	3.80	4.40	4.20	4.40	0.00	26.30	10.50	26.30	36.80	4.20	4.50	3.00	4.30
			32	31	96.90	6	5	8	4.20	4.00	3.90	3.50	3.50	3.90	3.80	4.00	3.20	3.20	22.60	19.40	51.60	3.90	4.00	3.70	4.10
		計	332	329	99.10				4.17	4.05	4.07	3.82	3.65	4.10	3.90	3.95	3.43	9.28	21.50	25.22	40.48	3.98	4.10	3.70	4.07
		地球科学	111	105	94.60	6	5	5	4.10	4.00	4.00	3.90	3.80	4.00	3.90	3.70	5.80	10.60	15.40	32.70	35.60	3.90	4.10	4.00	4.00
			111	86	77.50	6	5	1, 8	3.70	3.50	3.60	3.40	3.50	3.70	3.40	3.10	1.20	3.50	14.00	25.60	55.80	3.40	3.90	3.00	3.60
			33	30	90.90	6	1	5	4.50	4.00	4.20	4.00	3.80	4.40	4.10	4.30	3.40	0.00	3.40	13.80	79.30	4.10	4.30	3.50	4.50
			38	37	97.40	6	1	2, 5	4.30	4.10	3.90	3.70	3.70	4.10	4.10	4.00	2.70	0.00	8.10	0.00	89.20	4.00	4.40	4.00	4.40
			44	44	100.00	6	4, 5, 6	1	4.10	3.90	4.00	3.70	3.60	4.00	3.70	3.60	2.40	0.00	4.80	16.70	76.20	3.70	3.90	5.00	4.00
			38	28	73.70	6	5	1, 8	4.20	3.90	4.00	3.80	3.90	4.10	3.90	4.10	3.60	3.60	3.60	17.90	71.40	3.90	4.00	5.00	4.00
		計	375	330	88.00				4.15	3.90	3.95	3.75	3.72	4.05	3.85	3.80	3.18	2.95	8.22	17.78	67.92	3.83	4.10	4.08	4.08
	領域計		3,570	3,206					4.14	3.93	4.05	3.85	3.73	4.13	3.91	3.73	5.38	8.49	22.54	26.45	37.12	3.94	4.16	3.92	4.11
共通科目	キャリアデザイン	キャリアデザイン	228	217	95.20	7	1	5	4.30	4.50	4.30	4.00	3.90	4.50	4.30	4.30	2.80	2.30	3.70	12.00	79.30	4.10	4.50	4.20	4.40
			177	162	91.50	1	7	1	4.30	4.50	4.40	4.00	3.90	4.60	4.40	4.30	0.60	1.20	4.30	12.30	81.50	4.10	4.50	5.00	4.50
			305	287	94.10	7	2	7	4.40	4.50	4.40	4.00	3.90	4.70	4.60	4.40	2.10	2.50	3.20	10.90	81.40	4.20	4.60	4.20	4.60
			472	410	86.90	7	2	5	4.30	4.40	4.30	3.90	4.00	4.50	4.30	4.30	3.70	1.00	3.40	8.80	83.10	4.10	4.50	4.30	4.40
			50	46	92.00	1	2	5	4.50	4.20	4.40	4.20	4.20	4.50	4.50	4.00	0.00	0.00	8.70	26.10	65.20	4.40	4.60	3.80	4.50
	領域計		1,232	1,122					4.36	4.42	4.36	4.02	3.98	4.56	4.42	4.26	1.84	1.40	4.66	14.02	78.10	4.18	4.54	4.30	4.48
科目計			12,673	10,637					4.35	4.33	4.33	4.11	3.95	4.50	4.42	4.30	5.78	5.43	19.40	27.39	42.00	4.25	4.44	4.27	4.47
総　計			22,875	18,167	79.42				4.29	4.29	4.30	4.06	3.99	4.46	4.34	4.22	7.23	7.23	18.61	27.93	48.50				

山形県立保健医療大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
心理学	100	100	100.00	1	5	5	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.9	4.8	4.8	10.1	4.0	5.1	4.0	76.8	4.8	4.8	4.8	4.9
教育学	6	7	116.70	1	5	2, 4, 5	4.4	4.3	4.7	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.1	4.6	4.4	4.9
生命倫理学	46	42	91.30	1	2, 5	2, 5	4.1	4.4	4.3	4.1	4.0	4.2	3.8	3.5	2.4	4.8	7.1	19.0	66.7	3.7	3.9	4.6	3.9
宗教学	8	9	112.50	1	5	1, 2, 5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.1	4.9	4.8	4.6	0.0	0.0	11.1	22.2	66.7	4.8	4.8	4.8	4.9
文学	34	30	88.20	1	2	2	4.5	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	3.9	0.0	0.0	17.2	17.2	65.5	3.8	4.1	4.4	4.3
音楽	45	45	100.00	1	2	2	4.8	4.8	4.7	4.5	4.2	4.8	4.7	4.4	4.4	0.0	2.2	4.4	88.9	4.6	4.5	4.7	4.7
自然科学(物理)	34	30	88.20	6	5	8	3.8	2.9	3.1	3.2	3.2	4.0	3.1	2.8	3.3	3.3	30.0	33.3	30.0	3.3	4.0	4.6	3.7
自然科学(化学)	34	34	100.00	6	5	5	3.7	2.9	3.2	3.3	3.2	3.7	2.8	3.2	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	3.1	3.6	4.4	3.4
自然科学(生物)	34	34	100.00	6	2	5	4.1	3.0	3.4	3.4	3.4	4.1	2.8	2.7	2.9	2.9	8.8	38.2	47.1	2.9	3.9	3.4	3.2
数学	22	21	95.50	1	2	5	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	4.3	3.8	3.7	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	3.6	4.3	4.9	4.3
体育実技	94	88	93.60	1	2	7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.5	4.6	4.7	4.5	3.4	1.1	1.1	1.1	93.2	3.9	4.5	4.7	4.8
法学	6	6	100.00	5	4	1	3.8	3.3	3.7	3.5	3.5	4.5	3.3	3.8	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	4.0	4.2	3.7	3.4
経済学	91	91	100.00	1	2	5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.0	4.7	4.6	4.0	4.4	1.1	6.6	13.2	74.7	4.6	4.5	4.6	4.6
環境学	5	2	40.00	2, 7	1	4	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.0	4.0	4.0	4.0
社会福祉論	106	79	74.50	6	4	4	3.8	3.9	4.0	3.8	3.8	4.2	3.9	4.1	7.6	3.8	10.1	2.5	75.9	3.8	3.9	4.3	4.0
国語表現法	91	57	62.60	1	2	5	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.8	3.6	3.3	10.7	1.8	12.5	0.0	75.0	3.6	3.8	3.9	3.7
国際関係論	53	52	98.10	7	5	1	4.1	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7	3.4	3.0	1.9	1.9	7.7	26.9	61.5	3.5	3.8	4.6	3.8
文化人類学	12	11	91.70	1	2	5	4.5	4.5	4.5	4.1	4.0	4.8	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	9.1	81.8	4.5	4.5	4.0	4.6
英語Ⅰ	102	102	100.00	1	2	2	4.3	4.2	4.0	3.9	3.9	4.5	4.0	4.2	2.0	6.9	48.0	33.3	9.8	4.3	4.5	4.3	4.2
英語Ⅲ	16	16	100.00	1	5	5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7	4.8	6.3	0.0	31.3	31.3	31.3	4.8	4.8	4.6	4.8
英語表現法Ⅰ	101	101	100.00	1	2	3	4.7	4.6	4.3	4.4	4.1	4.9	4.8	4.9	3.0	3.0	26.7	43.6	23.8	4.6	4.8	4.6	4.9
医療英会話	5	5	100.00	1	3	5	4.6	5.0	5.0	4.6	4.6	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	4.8	4.8	4.8	4.8
医療英会話	14	14	100.00	1	2	3	4.5	4.4	4.6	4.4	4.2	4.7	4.6	4.7	21.4	0.0	7.1	42.9	28.6	4.4	4.2	4.6	4.6
ハングル語	4	4	100.00	1	5	2	4.8	4.3	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	4.8	4.5	4.5	5.0
情報科学	100	93	93.00	7	2	5	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.6	4.8	4.6	9.7	2.2	3.2	8.6	76.3	4.5	4.6	4.7	4.9
カウンセリング論	35	28	80.00	1	4	3	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.7	4.7	4.6	3.6	0.0	0.0	10.7	85.7	4.5	4.5	4.8	4.8
保健医療論	102	92	90.20	6	5	1	4.3	4.4	4.4	4.2	4.1	4.5	4.4	4.0	4.3	4.3	0.0	4.3	87.0	4.4	4.4	4.3	4.6
生体形態学(看護)	63	62	98.40	6	4	1	4.6	4.1	4.5	4.5	4.1	4.7	4.8	4.5	8.1	12.9	38.7	30.6	9.7	4.6	4.7	4.8	4.9
生体組織学	103	101	98.10	6	4	5	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5	4.4	3.9	5.0	7.0	23.0	29.0	36.0	4.2	4.3	4.4	4.5
生体防御学	63	44	69.80	6	4	4	4.4	3.9	4.1	4.1	3.9	4.4	4.3	3.9	2.3	0.0	9.1	15.9	72.7	4.1	4.2	4.4	4.4
生体機能学演習	39	39	100.00	6	4	1	4.4	3.4	3.9	4.0	4.0	4.3	3.7	4.2	5.3	2.6	5.3	15.8	71.1	4.0	4.4	4.9	4.3
薬理学	109	75	68.80	6	5	4	4.0	3.7	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9	3.5	10.7	8.0	14.7	20.0	46.7	4.1	4.0	4.3	4.0
成人老年疾病論Ⅰ	107	3	2.80	6	4	1, 5, 8	4.0	3.7	4.0	4.3	3.7	4.3	3.7	4.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	4.0	4.3	4.3	4.3
成人老年疾病論Ⅱ	106	66	62.30	6	4	4	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.1	3.9	12.1	7.6	6.1	21.2	53.0	4.1	4.2	4.4	4.3
看護学概論	63	62	98.40	6	4	5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.5	4.2	4.4	6.5	3.2	21.0	22.6	46.8	4.4	4.5	4.5	4.5
家族看護学	64	42	65.60	6	4	4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	7.1	2.4	11.9	11.9	66.7	4.4	4.4	4.6	4.5
成人看護学概論	63	30	47.60	6	4	4	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.3	4.0	4.0	3.4	13.8	20.7	17.2	44.8	3.7	4.1	4.3	4.1
精神看護方法論	63	47	74.60	6	1	4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.4	4.7	4.7	4.6	8.7	4.3	2.2	17.4	67.4	4.3	4.4	4.4	4.5
母性看護学概論	63	51	81.00	6	1	4	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.6	13.7	13.7	21.6	27.5	23.5	4.4	4.5	4.7	4.8
母性看護方法論Ⅱ	63	40	63.50	6	5	4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0	4.5	4.0	4.1	5.0	10.0	15.0	27.5	42.5	4.1	4.1	4.3	4.1
小児看護学概論	63	34	54.00	6	1	4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.6	4.4	4.4	2.9	2.9	2.9	29.4	61.8	4.3	4.3	4.5	4.6
小児看護方法論	63	45	71.40	6	4	1, 4, 5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	9.1	9.1	9.1	22.7	50.0	4.2	4.1	4.4	4.2
在宅看護方法論Ⅱ	63	34	54.00	6	4, 5	4, 5	4.2	4.1	4.1	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	0.0	12.1	3.0	27.3	57.6	3.8	3.7	4.3	4.1
健康危機管理論	65	23	35.40	6	4	4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	21.7	21.7	0.0	8.7	47.8	4.3	4.3	4.4	4.3
看護管理学	64	27	42.20	6	4, 5	4	3.8	3.9	3.9	3.7	3.7	4.4	4.0	3.8	3.8	3.8	0.0	7.7	84.6	3.9	3.9	4.1	4.0
義肢装具学	22	22	100.00	6	5	4	4.7	4.6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	18.2	22.7	22.7	22.7	13.6	4.7	4.7	4.8	4.8
義肢装具学演習	22	21	95.50	6	4, 5	4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	14.3	4.8	28.6	28.6	23.8	4.8	4.7	4.7	4.8
神経障がい基礎論	43	40	93.00	6	4	4, 5	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.4	4.4	4.5	17.5	10.0	15.0	5.0	52.5	4.3	4.3	4.4	4.5
精神障がい論	106	37	34.90	6	1, 4	4	4.2	4.0	4.1	4.0	3.8	4.4	4.1	3.9	5.4	2.7	2.7	10.8	78.4	4.0	4.2	4.1	4.3
発達障がい基礎論	43	41	95.30	6	5	4	4.2	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.0	9.8	9.8	4.9	14.6	61.0	3.9	4.1	3.9	4.1
老年期障がい理学療法学	22	17	77.30	6	5	4, 5	4.8	4.6	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	29.4	11.8	23.5	17.6	17.6	4.8	4.8	4.8	4.8
生活障がい援助論	22	22	100.00	6	4	1	4.7	4.4	4.6	4.6	4.4	4.8	4.7	4.8	9.1	0.0	27.3	40.9	22.7	4.3	4.7	4.3	4.8
地域リハビリテーション学	22	22	100.00	6	4, 5	4	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	22.7	0.0	27.3	18.2	31.8	4.8	5.0	5.0	4.9
理学療法評価学	22	22	100.00	6	4	4, 5	4.7	4.6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	14.3	19.0	19.0	19.0	28.6	4.6	4.8	4.9	4.8
理学療法研究法	22	21	95.50	6	4	4, 5	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.5	25.0	20.0	10.0	30.0	15.0	4.6	4.6	4.6	4.7
運動障がい作業療法学	21	21	100.00	6	4	1	4.5	4.3	4.4	4.4	4.2	4.7	4.6	4.5	9.5	9.5	14.3	33.3	33.3	4.4	4.4	4.7	4.7
神経障がい作業療法学	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.3	4.6	4.3	4.2	4.7	4.7	4.4	10.0	10.0	35.0	10.0	35.0	4.7	4.5	4.5	4.6
精神障がい作業療法学	21	21	100.00	6	5	4	4.1	3.7	3.9	3.8	3.8	4.3	3.9	3.5	0.0	0.0	4.8	14.3	81.0	3.3	4.1	3.6	4.0
発達障がい作業療法学	21	21	100.00	6	4	4	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.7	4.4	4.5	0.0	4.8	23.8	14.3	57.1	4.3	4.5	4.5	4.4
老年期障がい作業療法学	21	21	100.00	6	4	4	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.7	4.8	4.8	0.0	0.0	23.8	33.3	42.9	4.8	4.7	4.8	4.8
作業療法国際比較論	23	18	78.30	6	5	4	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	55.6	16.7	5.6	5.6	16.7	4.8	4.9	5.0	4.9
看護過程論	63	62	98.40	6	4	1	4.5	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6	4.3	4.4	21.0	17.7	41.9	11.3	8.1	4.0	4.4	4.7	4.6
基礎看護方法論Ⅱ	63	23	36.50	6	4	1	4.6	4.5	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	8.7	4.3	17.4	17.4	52.2	4.6	4.7	4.7	4.8
成人急性期看護方法論Ⅱ	63	17	27.00	6	4	1	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.8	4.5	4.6	5.9	5.9	0.0	29.4	58.8	4.3	4.5	4.7	4.6
老年看護方法論	63	29	46.00	6	5	4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.0	6.9	3.4	3.4	13.8	72.4	4.2	4.2	4.4	4.4
公衆衛生看護学概論	64	45	70.30	6	4	4	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.4	4.2	3.9	0.0	4.4	2.2	13.3	80.0	4.2	4.1	4.4	4.3
保健統計学	54	24	44.40	6	4	1	4.2	4.0	4.3	4.1	4.1	4.5	4.0	4.2	12.5	4.2	8.3	12.5	62.5	4.1	4.3	4.3	4.3
学校保健論	54	25	46.30	6	4	5	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	4.0	12.0	8.0	0.0	76.0	4.0	4.1	4.3	4.2
公衆衛生看護方法論Ⅰ	54	26	48.10	6	4	1	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.5	4.5	4.7	11.5	11.5	3.8	19.2	53.8	4.2	4.5	4.7	4.5
公衆衛生看護方法論Ⅱ	54	15	27.80	6	1	5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	0.0	13.3	0.0	20.0	66.7	4.3	4.3	4.5	4.5
対象別公衆衛生看護論	54	21	38.90	6	4	5	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.3	4.3	4.2	4.8	19.0	0.0	4.8	71.4	4.1	4.1	4.3	4.3
コミュニティ活動展開論	55	22	40.00	6	5	4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.5	18.2	4.5	22.7	50.0	4.4	4.4	4.5	4.4
ケアシステム論	55	25	45.50	6	4	4	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.7	3.1	3.6	8.0	16.0	12.0	4.0	60.0	3.0	3.9	4.3	3.3
ヘルスコミュニケーション論	54	19	35.20	6	4	4, 5	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.5	4.4	4.2	5.3	5.3	0.0	15.8	73.7	4.3	4.3	4.4	4.4
公衆衛生看護管理論	55	26	47.30	6	4	4	4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.6	4.2	4.3	16.0	28.0	0.0	8.0	48.0	4.2	4.3	4.5	4.4
基礎助産	64	42	65.60	6	1	4, 5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.6	4.6	4.3	4.8	0.0	2.4	31.0	61.9	4.4	4.4	4.6	4.7
妊娠期助産方法論	10	10	100.00	1	1, 4	6	4.9	4.7	4.5	4.9	4.6	4.9	4.8	4.8	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	4.5	4.5	4.7	4.9
分娩期助産方法論	10	6	60.00	6	4	1, 3, 6	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	4.3	4.8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	5.0	5.0	5.0
研究方法論Ⅰ	64	36	56.30	6	4	5	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.3	4.1	3.8	8.3	8.3	2.8	13.9	66.7	3.9	4.1	4.4	4.1
理学療法学概論	19	19	100.00	6	4	4	4.8	4.6	4.5	4.7	4.3	4.7	4.7	4.6	5.6	22.2	5.6	27.8	38.9	4.5	4.5	4.8	4.8
運動学Ⅱ	43	36	83.70	6	4	3, 4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.4	4.5	16.7	5.6	16.7	13.9	47.2	4.4	4.5	4.6	4.5
理学療法検査技術学(形態測定等)	22	22	100.00	6	2	3	4.8	4.6	4.7	4.8	4.7	4.9	4.7	4.8	13.6	9.1	31.8	31.8	13.6	4.6	4.8	4.8	4.9
理学療法検査技術学(徒手筋力検査法)	22	20	90.90	6	4	3	4.8	4.6	4.7	4.7	4.6	4.8	4.8	4.6	25.0	10.0	25.0	20.0	20.0	4.5	4.6	4.6	4.8
物理療法学演習	22	22	100.00	6	4	5	4.8	4.7	4.8	4.9	4.7	5.0	4.8	4.8	18.2	13.6	18.2	36.4	13.6	4.7	4.8	5.0	4.9
運動障がい理学療法学Ⅱ	22	22	100.00	6	4	4	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	4.5	9.1	36.4	27.3	22.7	4.8	4.7	4.8	4.8
神経障がい理学療法学Ⅰ	22	22	100.00	6	4	5	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	18.2	9.1	13.6	45.5	13.6	4.7	4.8	4.7	4.8
神経障がい理学療法学Ⅱ	22	22	100.00	6	4	5	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.6	22.7	13.6	36.4	18.2	9.1	4.8	4.8	4.8	4.9
発達障がい理学療法学Ⅱ	22	17	77.30	6	5	4	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9	4.8	4.9	5.9	11.8	35.3	11.8	35.3	4.8	4.9	4.9	4.9
内部障がい理学療法学Ⅰ	22	21	95.50	6	4	4, 5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	25.0	25.0	15.0	25.0	10.0	4.7	4.7	4.6	4.8
作業療法学概論	20	19	95.00	6	4	1, 2, 4	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.5	10.5	0.0	10.5	5.3	73.7	4.7	4.8	4.8	4.8
作業学Ⅰ	20	20	100.00	6	4	1, 4	5.0	4.8	4.6	4.8	4.4	5.0	4.9	4.9	5.0	20.0	10.0	30.0	35.0	4.5	4.8	4.8	4.9
作業療法評価学演習Ⅰ	23	20	87.00	6	4	1	4.5	4.1	4.3	4.4	4.2	4.7	4.4	4.6	10.0	5.0	10.0	50.0	25.0	4.2	4.4	4.3	4.5
地域作業療法学Ⅱ	23	22	95.70	6	5	4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	54.5	18.2	9.1	4.5	13.6	4.8	4.8	4.8	4.8
高次脳機能障がい作業療法学	21	21	100.00	4	5	1	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.6	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8	23.8	61.9	4.6	4.6	4.6	4.6
日常生活活動学	21	21	100.00	6	4	1	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	19.0	42.9	33.3	4.6	4.6	4.4	4.7
神経障がい作業療法学実習	22	20	90.90	6	4	5	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	55.0	5.0	25.0	5.0	10.0	4.7	4.8	4.8	4.8
精神障がい作業療法学実習	22	15	68.20	6	4	1	4.3	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	3.5	3.7	40.0	13.3	20.0	20.0	6.7	4.0	3.9	4.4	3.7

山形県立保健医療大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
発達障がい作業療法学実習	22	9	40.90	6	4，5	4	4.7	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	44.4	11.1	22.2	22.2	0.0	4.7	4.8	4.7	4.7
老年期障がい作業療法学実習	22	22	100.00	6	4	3	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	40.9	4.5	22.7	13.6	18.2	5.0	5.0	5.0	5.0
福祉機器・住環境整備学	22	21	95.50	6	4	3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	42.9	4.8	9.5	14.3	28.6	4.7	4.8	4.9	4.9

青森中央学院大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
社会事業論	81	18	22.20	1	3	8	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.2	3.6	4.1	27.8	22.2	16.7	27.8	5.6	3.6	3.7	3.7	3.9
英語ＩＦ	25	25	100.00	6	5	8	4.6	4.2	4.4	4.4	4.2	4.8	4.2	4.5	24.0	16.0	20.0	20.0	20.0	4.5	4.7	4.8	4.8
英語ⅢＣ	2	2	100.00	1	4	5	5.0	4.5	4.5	5.0	4.5	5.0	4.5	5.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	4.5	4.5	4.0	4.5
自然とエネルギー	49	25	51.00	1	5	1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	3.4	16.0	8.0	24.0	8.0	44.0	3.4	3.9	3.8	4.1
韓国事情と言語	17	15	88.20	1	2	3	4.2	3.7	4.1	3.9	4.1	4.5	4.2	4.7	20.0	0.0	13.3	33.3	33.3	3.9	4.2	3.8	4.1
管理会計論	104	61	58.70	1	4	5	4.1	4.0	3.9	3.8	3.8	4.0	4.0	3.8	11.5	18.0	31.1	9.8	29.5	3.8	4.0	3.9	4.0
経営財務論	56	39	69.60	1	4	5	3.7	3.6	3.9	3.6	3.6	4.0	3.6	3.6	10.3	10.3	30.8	5.1	43.6	3.4	3.7	3.9	3.8
新事業構築論	121	67	55.40	1	5	3	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.0	13.6	33.3	18.2	13.6	21.2	4.0	4.0	4.0	4.2
キャリアプランニングⅠ	173	145	83.80	6	2	1	4.4	4.5	4.3	4.2	4.2	4.5	4.4	4.3	24.3	7.6	6.9	5.6	55.6	4.3	4.3	4.4	4.4
キャリアプランニングⅢ	20	17	85.00	1	2	3, 5	4.4	4.6	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4	29.4	5.9	17.6	11.8	35.3	4.5	4.4	4.2	4.6
キャリアプランニングⅤ	37	33	89.20	1	4	7	3.9	4.2	4.0	3.9	4.0	4.2	3.9	3.9	18.2	12.1	3.0	9.1	57.6	3.8	3.9	4.2	3.9
体育理論	24	22	91.70	1	1, 4, 5	4, 5	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	36.4	9.1	9.1	9.1	36.4	4.9	4.9	4.4	4.9
英語ＩＥ	25	22	88.00	6	5	1	3.8	3.8	3.8	3.6	3.8	4.2	3.9	4.3	0.0	13.6	59.1	18.2	9.1	4.1	3.9	3.9	4.0
英語ⅢＡ	18	16	88.90	1	5	4, 5	4.4	3.9	4.3	4.4	4.2	4.6	4.0	4.6	31.3	25.0	12.5	31.3	0.0	4.3	4.3	5.0	4.3
情報処理ＩＤ	28	28	100.00	6	5	1	4.4	4.6	4.4	4.3	4.1	4.5	4.5	4.4	21.4	3.6	7.1	10.7	57.1	4.4	4.5	4.5	4.4
情報処理ＩＥ	28	15	53.60	6	6	4, 6, 7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	46.7	40.0	6.7	6.7	0.0	4.7	4.6	4.5	4.8
担保物権法	99	69	69.70	1	5	3, 5	4.3	3.8	4.1	3.9	4.0	4.4	4.2	4.3	14.5	10.1	21.7	14.5	39.1	4.3	4.2	3.3	4.3
中小企業経営論	115	59	51.30	1	5	3, 5	3.7	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.2	3.1	10.2	15.3	16.9	8.5	49.2	3.5	3.5	3.8	3.4
経営学基礎	96	84	87.50	6	5	1	4.2	3.9	4.0	4.0	3.9	4.3	3.9	3.9	13.3	13.3	30.1	20.5	22.9	3.8	4.1	3.4	4.2
経営組織論	133	101	75.90	1	5	5	4.1	3.7	3.8	3.7	3.6	4.1	3.7	4.0	7.9	13.9	30.7	22.8	24.8	3.5	4.0	3.7	4.1
政治学	147	135	91.80	1	2	3, 5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.4	4.5	19.4	11.2	20.9	17.2	31.3	4.3	4.3	4.5	4.5
秘書学概論	9	9	100.00	1	5	4	4.8	4.2	4.2	4.6	3.7	4.6	4.8	4.4	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	4.9	4.9		4.9
消費者法	121	75	62.00	1	4	3	4.0	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.7	3.7	10.7	24.0	25.3	14.7	25.3	3.8	3.9	3.6	3.9
自然と生物	155	99	63.90	1	5	8	4.3	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	3.7	20.2	14.1	18.2	10.1	37.4	4.1	3.9	4.1	4.1
特別活動の研究	18	17	94.40	4	5	2	4.2	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.6	23.5	5.9	11.8	29.4	29.4	4.1	4.3	3.8	3.7
教育行政学	7	7	100.00	4	3, 4	8	4.3	4.3	4.4	4.4	4.0	4.7	4.6	4.3	28.6	0.0	14.3	28.6	28.6	4.6	4.6	4.2	4.7
暮らしと地域	139	132	95.00	1	5	7	4.3	4.1	4.0	3.8	3.7	3.9	3.7	3.2	3.8	8.3	17.4	11.4	59.1	3.9	3.8	4.0	4.1
地場産業論	145	56	38.60	1	1, 5	5	4.1	4.2	4.2	4.0	4.0	4.3	4.1	3.9	12.5	7.1	12.5	19.6	48.2	4.0	4.0	4.2	4.3
行政学	160	149	93.10	1	5	3	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.2	4.1	3.9	18.1	15.4	19.5	12.1	34.9	4.1	4.2	4.0	4.2
社会と福祉	145	134	92.40	1	5	5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.0	4.2	4.2	3.8	14.2	12.7	18.7	20.1	34.3	4.1	4.2	4.2	4.3
英語ＩＣ	39	36	92.30	6	5	5	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	4.2	4.3	16.7	22.2	22.2	16.7	22.2	4.2	4.2	4.1	4.3
英語ⅢＢ	35	30	85.70	1	2	3	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	3.9	3.9	4.1	13.3	26.7	30.0	3.3	26.7	4.0	4.1	4.3	4.2
経営学基礎	144	123	85.40	6	2, 5	1, 3, 4	4.2	3.8	4.0	3.9	3.8	4.2	3.9	3.7	14.6	17.9	30.1	15.4	22.0	3.9	4.0	3.9	4.0
法学基礎A	121	94	77.70	6	5	8	3.9	3.1	3.5	3.5	3.4	3.6	2.9	2.9	13.8	12.8	26.6	16.0	30.9	3.3	3.6	3.7	3.2
労働法	66	40	60.60	1	5	5	3.6	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	2.9	2.8	2.5	7.5	30.0	10.0	50.0	3.0	3.4	3.0	3.1
暮らしと法律	8	5	62.50	1	5	1	4.2	4.0	4.2	4.2	4.0	4.4	4.4	4.6	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	4.4	4.4		4.4
情報処理ＩＢ	45	45	100.00	6	5	1	4.3	4.2	4.4	4.0	3.8	3.2	3.4	3.2	6.7	4.4	6.7	6.7	75.6	3.7	4.1	3.9	3.9
情報処理Ⅲ	95	83	87.40	1	5	5, 8	3.8	2.8	3.1	2.9	2.9	2.7	2.3	2.4	7.3	4.9	14.6	3.7	69.5	2.5	3.1	3.1	2.7
マクロ経済学	271	160	59.00	6	5	5	4.2	3.7	3.9	3.9	3.8	4.1	3.8	3.8	13.8	16.3	25.0	21.3	23.8	4.1	4.1	4.2	4.1
経済政策	46	27	58.70	1	5	5	3.8	3.5	3.6	3.4	3.4	4.0	3.6	4.0	11.1	7.4	33.3	14.8	33.3	3.7	3.8	4.0	3.7
教師論	24	19	79.20	1	5	4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.8	4.7	4.5	21.1	5.3	10.5	26.3	36.8	4.7	4.7	4.7	4.8
日本史概説	11	9	81.80	1, 6	4	5	4.7	4.6	4.4	4.3	4.2	4.8	4.3	4.2	11.1	0.0	11.1	22.2	55.6	4.6	4.8	4.8	4.9
教育実習Ⅰ	8	7	87.50	6	1, 4, 5	5	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	5.0	5.0	5.0	5.0
人間と心理	200	172	86.00	1	5	5	4.3	4.2	4.1	4.0	4.0	4.3	4.2	3.7	13.5	9.4	19.4	10.0	47.6	4.3	4.2	4.0	4.2
英語ＩＢ	38	34	89.50	6	1, 5	1	4.5	4.7	4.6	4.6	4.4	4.7	4.8	4.7	29.4	5.9	23.5	14.7	26.5	4.6	4.6	4.6	4.8
対人コミュニケーションⅠ	123	112	91.10	1	5	5	4.7	4.6	4.5	4.5	4.3	4.8	4.7	4.6	16.1	14.3	18.8	12.5	38.4	4.6	4.6	4.4	4.7
教育総論	24	23	95.80	1	5	3	4.9	4.8	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9	36.4	4.5	9.1	13.6	36.4	4.7	4.8	4.8	4.9
憲法Ⅱ	103	66	64.10	1	5	1	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.2	4.0	4.2	6.1	15.2	22.7	27.3	28.8	4.2	4.2	3.8	4.2
国際関係論	79	53	67.10	1	5	3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.5	4.4	4.2	20.8	24.5	18.9	20.8	15.1	4.3	4.2	4.2	4.4
日本語Ⅲ	15	15	100.00	1, 6	4	5, 8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.7	4.7	4.6	26.7	46.7	20.0	6.7	0.0	4.5	4.5	4.2	4.7
情報処理ＩＣ	51	46	90.20	6	5	1	4.4	4.4	4.5	4.3	4.2	4.2	3.9	3.8	8.7	6.5	17.4	10.9	56.5	4.1	4.3	3.6	4.3
債権各論	222	133	59.90	1	5	1, 4	4.1	3.9	3.9	3.8	3.7	4.2	4.0	3.9	11.4	13.6	25.0	24.2	25.8	4.1	4.3	4.1	4.2
親族相続法	181	86	47.50	1	5	5	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	4.2	3.9	4.0	12.8	16.3	14.0	19.8	37.2	4.0	4.0	4.1	4.1
法学基礎B	118	102	86.40	6	1	5	4.4	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	10.8	20.6	32.4	17.6	18.6	4.3	4.3	4.1	4.4
日本語Ⅰ	14	14	100.00	1	6	4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	4.6	78.6	7.1	7.1	7.1	0.0	4.5	4.5	4.4	4.6
学術日本語Ⅰ-1	6	6	100.00	1	4	5	3.5	4.2	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	4.3	4.3	3.8	3.8
学術日本語Ⅰ-2	7	6	85.70	6	4	1, 5, 6	3.7	4.3	4.8	3.8	4.2	4.0	4.2	4.2	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	4.0	3.8	3.8	4.0
ビジネス日本語	2	2	100.00	1	3	4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
日本の政治と経済	22	21	95.50	1	5	4	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.9	4.7	4.6	33.3	4.8	42.9	14.3	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7
経営管理論	181	135	74.60	1	2	5	3.9	3.6	3.6	3.4	3.4	3.9	3.2	3.2	12.7	13.4	21.6	18.7	33.6	3.4	3.5	3.6	3.4
国際経済学	119	55	46.20	1	5	5	4.2	3.9	3.9	3.6	3.7	3.6	3.5	3.0	18.2	3.6	34.5	27.3	16.4	3.6	3.9	4.1	4.0
英語ＩＤ	35	31	88.60	6	5	1	4.3	4.2	4.2	4.0	4.0	4.4	4.4	4.3	16.7	0.0	26.7	13.3	43.3	4.4	4.5	4.3	4.4
英語ＩＡ	36	35	97.20	6	5	1	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1	4.5	4.4	4.4	11.4	11.4	28.6	31.4	17.1	4.4	4.4	4.5	4.5
グローバル社会と文化	47	43	91.50	1	5	5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.3	4.7	4.6	4.5	18.6	9.3	14.0	23.3	34.9	4.5	4.6	4.5	4.7
行政法Ⅰ	173	71	41.00	1	5	5	3.7	3.3	3.4	3.3	3.4	3.7	3.1	3.0	7.0	14.1	22.5	12.7	43.7	2.7	3.4	3.7	3.4
人間と宗教	220	178	80.90	1	5	3	4.2	4.0	3.9	3.7	3.7	4.1	3.9	3.5	16.9	15.2	16.9	14.0	37.1	3.9	4.0	4.0	4.1
情報処理ＩＡ	49	45	91.80	6	5	7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.3	47.7	13.6	13.6	2.3	22.7	4.6	4.6	4.6	4.7
情報処理上級Ⅰ	8	7	87.50	1	4, 5	3	4.4	4.3	4.3	4.1	3.9	4.3	4.6	4.6	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9	4.1	4.4	4.1	4.6
会社法Ⅰ	274	106	38.70	1	5	1	4.1	3.6	3.7	3.7	3.6	4.1	3.5	3.7	14.2	11.3	18.9	21.7	34.0	3.4	3.9	3.8	3.8
有価証券法	122	59	48.40	1	2	8	3.6	3.3	3.5	3.5	3.3	3.8	3.2	3.5	13.6	10.2	30.5	20.3	25.4	3.3	3.5	3.5	3.5
現代社会の諸相	84	61	72.60	1	5	5	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.2	3.9	3.8	11.5	11.5	23.0	8.2	45.9	4.0	4.1	4.1	4.1
人間と存在	133	108	81.20	1	5	3	4.1	3.8	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.1	12.0	6.5	27.8	25.0	28.7	4.0	4.1	4.0	4.2
簿記論	138	94	68.10	1	5	5	4.3	4.0	4.1	4.0	4.0	4.2	3.9	3.8	18.1	18.1	28.7	19.1	16.0	4.0	4.1	4.2	4.1
簿記論	57	46	80.70	1	4	5	4.5	4.5	4.3	4.2	4.2	4.5	4.3	4.2	17.4	13.0	26.1	17.4	26.1	4.1	4.3	4.4	4.4
日本語Ⅱ	13	13	100.00	1	6	4, 5	4.6	4.6	4.3	4.4	4.2	4.6	4.6	4.5	53.8	23.1	15.4	7.7	0.0	4.5	4.5	4.6	4.5
自然とエネルギー	31	28	90.30	2, 5	5	1	3.9	3.9	4.0	3.8	3.7	4.4	3.9	3.8	0.0	3.6	21.4	7.1	67.9	3.4	3.9	4.1	3.9
韓国事情と言語	15	13	86.70	1	5	2	4.8	4.5	4.6	4.6	4.5	4.8	4.2	4.8	0.0	7.7	23.1	23.1	46.2	4.5	4.7		4.7
社会と福祉	31	31	100.00	1	5	4	4.5	4.5	4.5	4.2	4.0	4.7	4.6	4.4	3.2	3.2	19.4	32.3	41.9	4.7	4.7	5.0	4.8
看護学概論	93	92	98.90	6	4	5	4.3	3.8	4.0	4.0	3.9	4.4	3.9	4.2	4.3	9.8	32.6	34.8	18.5	4.0	4.0	4.3	4.2
看護研究方法論	89	75	84.30	6	5	4	4.0	3.8	4.0	3.8	4.0	4.4	4.0	4.0	6.7	17.3	24.0	20.0	32.0	4.0	4.2	4.0	4.1
解剖生理学Ⅰ（人体の基本構造と働き）	93	88	94.60	6	4	1	4.2	3.5	3.7	3.8	3.5	4.1	3.7	3.6	9.2	8.0	35.6	28.7	18.4	3.9	4.0	3.9	4.0
疾病治療論Ⅱ	87	79	90.80	6	4	4	4.3	3.9	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1	3.8	2.5	15.2	25.3	27.8	29.1	4.0	4.1	3.5	4.3
地域看護学概論	86	85	98.80	6	4	4	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.5	4.5	4.4	8.2	5.9	22.4	24.7	38.8	4.4	4.5	4.5	4.5
個人・家族・集団・組織の支援論	16	16	100.00	1	4	1	4.6	4.2	4.8	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	12.5	12.5	37.5	37.5	0.0	4.7	4.7	4.5	4.8
人間関係とリーダーシップ	89	77	86.50	6	5	4	3.7	3.1	3.4	3.2	3.3	3.8	3.0	3.5	5.2	9.1	22.1	19.5	44.2	3.1	3.6	2.7	3.3
母性看護学概論	87	85	97.70	6	4	4	4.7	4.4	4.5	4.5	4.2	4.8	4.8	4.6	2.4	11.8	37.6	28.2	20.0	4.6	4.5	4.6	4.8
自然と生物	73	65	89.00	2	5	5	3.9	3.5	3.5	3.5	3.5	3.8	3.6	3.2	1.5	3.1	16.9	12.3	66.2	3.8	3.6	4.1	3.7
暮らしと地域	87	76	87.40	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.6	3.7	4.1	3.9	3.7	4.0	21.3	20.0	18.7	36.0	3.8	3.9	3.9	3.9
解剖生理学Ⅱ（臓器の構造と機能）	93	89	95.70	6	4	1	4.3	3.6	3.9	3.9	3.6	4.2	3.9	3.7	11.2	10.1	34.8	24.7	19.1	3.9	4.1	3.9	4.1
疾病治療論Ⅰ	87	79	90.80	6	4	1	4.4	4.0	4.3	4.2	3.8	4.6	4.6	4.1	5.1	3.8	29.5	25.6	35.9	4.4	4.4	4.2	4.5
地域と生活習慣病	89	82	92.10	6	5	4	4.1	4.0	4.0	3.8	3.8	4.2	3.7	3.8	11.0	13.4	23.2	17.1	35.4	3.5	4.0	4.1	3.9
ヘルスアセスメント論	92	90	97.80	6	4	1	4.7	4.2	4.6	4.5	4.4	4.8	4.5	4.7	52.2	27.8	12.2	3.3	4.4	4.6	4.6	4.5	4.7
暮らしと地域	86	82	95.30	6	5	4	3.4	3.0	3.1	2.9	2.9	4.0	2.7	2.8	2.4	2.4	8.5	18.3	68.3	2.6	3.5	3.4	3.1
発達心理学	93	90	96.80	6	1	1	4.4	4.3	4.1	4.1	3.6	4.6	4.4	3.7	1.1	4.4	18.9	35.6	40.0	4.4	4.4	4.5	4.5
人間と心理	92	92	100.00	1	5	5	4.2	4.1	4.0	3.8	3.6	4.5	4.3	3.8	4.3	3.3	17.4	12.0	63.0	4.1	4.3	4.0	4.4
対人コミュニケーションＩＡ	24	24	100.00	6	5	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.9	4.8	4.8	4.2	0.0	12.5	29.2	54.2	4.8	4.8	4.7	4.9
対人コミュニケーションＩＢ	23	23	100.00	6	1	4	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4	4.7	4.7	4.7	0.0	13.6	27.3	22.7	36.4	4.6	4.7		4.9

青森中央学院大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
対人コミュニケーションＩＣ	23	21	91.30	6	5	4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.7	4.6	4.7	9.5	0.0	19.0	38.1	33.3	4.4	4.4	4.0	4.6
対人コミュニケーションＩＤ	23	23	100.00	6	1，4	4	4.7	4.8	4.5	4.4	4.3	4.9	4.8	4.9	8.7	0.0	17.4	21.7	52.2	4.7	4.8	4.5	4.9
薬理と薬剤	89	84	94.40	6	4	4	4.3	3.9	4.1	4.1	4.0	4.4	4.1	3.9	6.0	8.3	25.0	26.2	34.5	4.2	4.2	3.9	4.3
人間と芸術	16	16	100.00	1	2	2	4.3	4.1	4.1	4.1	3.8	4.1	3.9	3.2	0.0	12.5	0.0	18.8	68.8	4.2	4.3	4.0	4.3
在宅看護活動論	88	80	90.90	6	4	4	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.4	4.1	4.1	15.0	18.8	30.0	18.8	17.5	4.2	4.3	4.3	4.2
成人看護学概論	86	84	97.70	6	4	1，4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.6	4.5	7.1	7.1	25.0	29.8	31.0	4.5	4.5	4.7	4.7
スキンケア論	76	62	81.60	1	4	5	4.5	4.4	4.5	4.3	4.1	4.7	4.5	4.3	8.1	9.7	29.0	24.2	29.0	4.4	4.5	4.3	4.5
小児看護学概論	91	89	97.80	6	4	5	4.2	3.8	4.0	4.0	3.9	4.2	3.2	3.6	1.1	18.0	36.0	27.0	18.0	3.3	4.0	4.3	3.9
家族看護学	87	86	98.90	6	4	5	3.9	3.7	3.7	3.5	3.5	4.1	3.0	3.5	2.3	17.4	31.4	30.2	18.6	3.5	3.7	4.3	3.5
老年看護学概論	86	85	98.80	6	4	5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.3	4.7	10.6	27.1	29.4	28.2	4.5	4.4	4.6	4.6
チーム医療論	89	86	96.60	6	5	4	4.5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	12.8	16.3	30.2	19.8	20.9	4.3	4.4	4.6	4.5
看護と法律	89	76	85.40	6	5	4	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	3.8	14.5	18.4	14.5	19.7	32.9	4.0	3.9	3.9	4.1
疫学	89	84	94.40	6	5	4	3.7	3.1	3.4	3.3	3.3	3.8	3.2	3.6	4.8	16.7	22.6	22.6	33.3	3.5	3.6	3.7	3.4
感染看護論	45	35	77.80	1	5	4	4.4	4.1	4.4	4.1	3.9	4.5	4.3	4.3	2.9	5.7	37.1	22.9	31.4	4.1	4.1	4.1	4.3
認知症高齢者ケア	74	59	79.70	1	5	3，4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.7	4.5	4.6	20.3	16.9	28.8	11.9	22.0	4.3	4.4	4.5	4.6
英語Ⅰ①	47	47	100.00	6	5	1	4.5	4.5	4.3	4.2	3.9	4.4	4.5	4.6	4.3	8.5	29.8	38.3	19.1	4.3	4.5	4.0	4.7
英語Ⅰ②	46	46	100.00	6	5	1	4.4	4.5	4.4	4.1	4.1	4.5	4.6	4.7	6.5	2.2	26.1	39.1	26.1	4.4	4.4	4.2	4.6
医療英語Ⅰ①	47	46	97.90	6	5	5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.2	4.6	4.7	4.7	2.2	15.2	47.8	19.6	15.2	4.4	4.6	3.9	4.7
医療英語Ⅰ②	46	46	100.00	6	5	4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.5	4.7	6.5	10.9	32.6	37.0	13.0	4.4	4.5	4.5	4.5
グローバル社会と文化	3	3	100.00	1	2	3	5.0	4.7	4.3	4.3	4.3	5.0	4.7	4.7	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	4.3	4.7		5.0
人間と宗教	41	41	100.00	2	5	7	4.0	3.7	3.8	3.4	3.5	4.3	4.0	3.3	7.3	4.9	9.8	12.2	65.9	3.8	3.9	3.8	4.1
情報処理Ⅰ（情報リテラシー）（①組）	47	47	100.00	6	5	1，4，5	4.7	4.4	4.6	4.4	4.3	4.6	4.6	4.5	4.3	8.5	2.1	8.5	76.6	4.5	4.7	4.6	4.7
情報処理Ⅰ（情報リテラシー）（②組）	46	45	97.80	6	5	1	4.4	4.1	4.3	4.0	3.9	4.1	4.2	3.6	0.0	4.4	6.7	8.9	80.0	4.0	4.5	4.4	4.3
情報処理Ⅱ（実務の活用法）	9	9	100.00	1，5	5	3	4.1	4.4	4.6	4.2	4.3	4.9	4.7	4.6	11.1	0.0	33.3	22.2	33.3	4.0	4.6	4.6	4.5
現代社会の諸相	5	6	120.00	1，7	1，2	2，8	3.3	3.3	3.5	3.0	3.3	3.8	3.3	3.2	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	3.7	3.7	4.0	4.2
人間と存在	20	20	100.00	1	2	8	4.3	3.9	4.0	4.0	3.9	4.4	4.0	4.1	5.0	25.0	30.0	25.0	15.0	4.1	4.5	4.3	4.1
助産学概論	5	5	100.00	6	4，5	8	2.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.4	1.8	1.8	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	1.8	1.8	2.3	2.0
妊娠期の診断とケア	5	5	100.00	6	4	4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.8	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	3.6	3.6	3.0	3.6
分娩期の診断とケア	5	5	100.00	6	4	5	4.4	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	4.0	3.8	3.7	4.0
産褥期の診断とケア	5	5	100.00	6	4	4	4.2	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6	3.2	3.2	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	3.6	3.4	3.0	3.8
新生児・乳幼児の診断とケア	5	5	100.00	6	4，5	4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	3.6	3.6	3.0	3.6
助産診断技術学演習	5	5	100.00	6	4	1，2，4，5，6	4.2	4.2	4.2	4.0	3.8	4.0	4.0	3.8	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	4.0	4.0	3.7	4.0
助産管理	5	5	100.00	6	4	5	3.4	3.4	3.6	3.2	3.2	2.6	2.4	2.6	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	3.0	2.8	2.7	2.8
地域母子保健	5	5	100.00	6	5	4	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	2.8	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	2.6	2.6	3.0	2.8
母子関係の発達とケア	5	5	100.00	6	4	4	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8	5.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	4.8	4.6	4.3	4.8
周産期学Ⅱ（産褥期・新生児期）	5	5	100.00	6	4	4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	3.0	3.0	3.0	3.2
生殖と生命倫理	5	5	100.00	6	3，4	4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.2	4.2	4.2	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	4.4	4.6	4.0	4.4
周産期救急とケア	5	5	100.00	6	4	1，2，3，4，5	4.2	4.0	4.0	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	4.0	3.8	3.5	3.8
周産期学Ⅰ（妊娠期・分娩期）	5	5	100.00	6	4	4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	3.8	3.6	3.0	3.6

仙台大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熟意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
スポーツ心理学	268	214	79.90	6	5	1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.2	4.0	3.7	11.7	7.9	13.1	17.3	50.0	3.9	4.1	4.0	4.1
スポーツ情報マスメディア総論	45	43	95.60	6	2	5	4.1	3.8	3.9	3.7	3.6	4.1	3.9	3.8	0.0	14.0	11.6	11.6	62.8	3.9	4.0	3.3	4.0
保健体育科教育論Ⅲ	86	77	89.50	6	4	4	4.5	4.3	4.5	4.4	4.3	4.6	4.5	4.6	9.1	13.0	14.3	16.9	46.8	4.2	4.2	4.4	4.5
生徒指導論A（含進路指導の理論及び方法）	53	45	84.90	1	4	5	4.5	4.6	4.6	4.3	4.2	4.6	4.3	4.2	15.9	6.8	13.6	25.0	38.6	4.2	4.4	4.4	4.6
スポーツ社会学	129	112	86.80	6	5	5	4.1	3.8	3.9	3.8	3.7	4.0	3.8	3.6	7.2	9.9	13.5	9.0	60.4	3.6	3.9	3.7	3.9
現代の思想（介福専攻）	28	26	92.90	6	2	5	3.6	3.5	3.7	3.3	3.3	3.6	3.0	3.2	7.7	3.8	3.8	15.4	69.2	3.0	3.7	3.0	3.2
運動障害救急法（含実習）	175	154	88.00	6	2	3	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	3.5	15.3	8.0	12.0	7.3	57.3	3.8	3.9	3.6	3.8
レクリエーション実技Ⅱ	25	17	68.00	1	1, 2, 5	7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.7	4.6	4.5	11.8	0.0	5.9	5.9	76.5	4.4	4.4	3.0	4.5
運動生理学	179	105	58.70	6	2, 5	4	4.2	3.9	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	3.6	6.8	11.7	14.6	15.5	51.5	4.1	4.1	3.8	3.9
スポーツ史	184	166	90.20	1	2	3	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	4.0	3.9	3.6	15.2	21.2	16.4	11.5	35.8	3.8	3.9	4.1	3.9
ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論（含演習）	101	86	85.10	1	2	5	4.3	4.0	4.1	4.0	4.0	4.2	4.1	4.0	8.2	9.4	9.4	14.1	58.8	4.1	4.1	4.2	4.2
肢体不自由者の心理・生理・病理	38	32	84.20	6	3	1	4.7	4.7	4.6	4.7	4.4	4.8	4.5	4.5	15.6	3.1	28.1	21.9	31.3	4.3	4.6	5.0	4.8
応用武道概論	45	38	84.40	1	2	3	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	23.7	7.9	7.9	2.6	57.9	4.2	4.2	4.0	4.2
スポーツバイオメカニクス	121	110	90.90	6	2	4	4.2	3.7	4.0	3.9	3.8	4.2	3.9	3.8	10.0	13.6	20.0	20.9	35.5	3.8	4.1	4.0	4.0
スポーツ社会学	245	211	86.10	6	5	5	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	3.9	3.7	13.8	7.1	13.8	16.2	49.0	3.8	4.1	3.9	4.0
コンディショニング論	98	76	77.60	1	4	5	4.4	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2	3.9	17.1	9.2	10.5	21.1	42.1	4.0	4.2	3.7	4.2
社会調査法Ⅰ	60	40	66.70	1	2	3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	10.0	15.0	25.0	20.0	30.0	4.3	4.1	3.8	4.1
社会教育計画A	18	17	94.40	1	2	4	4.3	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.6	4.8	11.8	0.0	11.8	41.2	35.3	4.8	4.6		4.8
食品学（含食品加工学）	47	44	93.60	6	4	4	4.0	3.8	4.0	3.8	3.6	3.8	3.5	3.5	9.1	4.5	4.5	11.4	70.5	3.9	3.9	4.1	3.9
子どもの心理学Ⅰ	17	14	82.40	6	5	4	4.7	4.7	4.6	4.4	4.3	4.6	4.4	4.5	15.4	0.0	7.7	15.4	61.5	4.2	4.6	5.0	4.6
介護総合演習Ⅰ（介福専攻のみ）	27	26	96.30	6	2, 5	3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.6	3.8	11.5	3.8	15.4	65.4	4.5	4.5	4.3	4.7
レクリエーション実技Ⅱ	42	26	61.90	1	5	4	4.5	4.5	4.3	4.2	4.1	4.5	4.4	4.5	15.4	0.0	11.5	11.5	61.5	4.3	4.4	4.0	4.3
知的障害者の教育	20	20	100.00	6	4	1, 5	4.6	4.4	4.6	4.5	4.3	4.7	4.6	4.4	10.0	5.0	15.0	35.0	35.0	4.6	4.6	4.7	4.7
社会統計学Ⅰ	12	7	58.30	1	5	8	4.6	4.4	4.1	3.4	3.6	3.6	3.6	3.3	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	3.3	3.3		3.7
ｽﾎﾟｰﾂ&ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ	45	34	75.60	1	2	3	4.1	4.0	4.0	4.1	3.9	4.1	3.8	4.0	14.7	14.7	14.7	11.8	44.1	3.9	4.1	4.3	4.0
スポーツ計量学	51	37	72.50	1	2	5	4.2	3.9	3.9	3.7	3.9	4.1	3.9	4.0	10.8	10.8	8.1	27.0	43.2	3.9	4.1	4.0	4.0
生徒指導論A（含進路指導の理論及び方法）	83	67	80.70	6	5	4	4.4	4.5	4.4	4.2	4.1	4.6	4.6	4.1	9.0	9.0	17.9	20.9	43.3	4.3	4.5	4.0	4.5
教育の基礎理論B	17	17	100.00	6	1, 5	4	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9	4.9	4.7	29.4	0.0	11.8	23.5	35.3	4.9	4.8	5.0	4.9
教職総合演習	33	21	63.60	1	4	5	4.5	4.6	4.7	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	19.0	9.5	19.0	23.8	28.6	4.6	4.5		4.6
認知症の理解Ⅰ	36	30	83.30	6	4	1, 5	4.1	4.2	4.1	3.9	3.7	4.4	4.1	4.1	6.7	13.3	10.0	13.3	56.7	4.4	4.2	4.5	4.3
食品学（含食品加工学）	44	43	97.70	6	4	4	4.4	4.3	4.3	4.1	4.1	4.2	4.0	3.9	9.3	0.0	16.3	37.2	37.2	4.2	4.2	4.4	4.3
公衆栄養学概論	43	32	74.40	6	4	1	4.2	4.1	4.1	3.9	3.8	4.0	4.0	3.5	3.1	12.5	12.5	18.8	53.1	3.9	4.0	3.9	4.0
水泳（男子）	85	15	17.60	1, 3	5	1	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	40.0	6.7	13.3	0.0	40.0	4.7	4.8	4.3	4.9
映像実践論（演習）	15	14	93.30	1, 5	4	8	4.2	3.7	3.9	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	7.1	0.0	7.1	21.4	64.3	3.4	4.0	4.3	3.5
介護における安全とﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（介福専攻のみ）	26	20	76.90	6	5	1, 4	4.2	4.1	4.1	4.1	3.9	4.4	4.2	4.1	10.5	15.8	15.8	15.8	42.1	4.1	4.2	3.0	4.3
陸上競技（男子）	162	144	88.90	6	2	3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.4	27.1	10.4	9.7	5.6	47.2	4.1	4.2	4.3	4.4
スポーツ計量学	51	40	78.40	1	2	5	4.2	3.9	4.1	3.9	3.8	4.3	3.9	4.1	5.0	15.0	7.5	22.5	50.0	4.1	4.3	3.5	4.2
教育の制度	128	109	85.20	1	1	5	4.5	4.1	4.2	4.2	4.1	4.5	4.3	4.3	11.9	9.2	26.6	24.8	27.5	4.2	4.1	4.0	4.3
スポーツ報道概論	33	27	81.80	1	2	3	4.4	4.3	4.3	4.0	4.1	4.4	4.3	4.2	25.9	7.4	18.5	11.1	37.0	4.3	4.5	4.1	4.5
教職総合演習	35	22	62.90	1	4	4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7	4.6	4.5	9.1	13.6	9.1	36.4	31.8	4.5	4.6	4.0	4.7
幼児理解の理論と方法（教育相談、カウンセリング基礎を含む）	17	15	88.20	6	5	4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.7	4.7	4.5	26.7	0.0	6.7	13.3	53.3	4.5	4.7	5.0	4.6
生活支援と障害者介護Ⅲ	16	26	162.50	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.2	3.9	3.8	4.0	20.0	24.0	8.0	44.0	4.2	4.0	3.0	4.1
エアロビックダンス	26	21	80.80	1	5	5	4.9	4.8	4.8	4.7	4.5	5.0	4.9	4.8	4.8	0.0	0.0	28.6	66.7	4.6	4.3	4.0	4.8
調理学実験	41	34	82.90	6	4	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	2.9	20.6	29.4	17.6	29.4	4.0	3.9	3.7	4.2
生活と生活支援	40	38	95.00	6	5	2	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	3.7	10.5	18.4	15.8	10.5	44.7	3.9	4.0	3.9	4.0
スポーツ広報論	10	7	70.00	1	5	2, 4, 5	4.4	4.1	4.3	4.3	4.1	4.4	4.4	4.4	0.0	14.3	14.3	14.3	57.1	4.4	4.6		4.7
公衆栄養学概論	45	40	88.90	6	4, 5	1, 4	4.4	4.4	4.5	4.2	4.2	4.2	4.1	3.9	17.5	7.5	12.5	12.5	50.0	4.0	4.2	4.2	4.3
水泳（女子）	37	23	62.20	4	2	1	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	36.4	0.0	4.5	13.6	45.5	4.3	4.5	4.0	4.6
陸上競技（男子）	143	117	81.80	1	2, 5	5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	16.4	15.5	10.3	3.4	54.3	4.3	4.5	4.3	4.6
剣道Ⅱ	7	6	85.70	1	4	3, 6	4.8	4.8	5.0	4.8	4.8	5.0	4.8	4.8	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	4.0	4.8	5.0	5.0
スポーツ医学A	220	194	88.20	1	5	4, 5	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	3.7	11.9	10.3	13.4	12.4	52.1	4.2	4.1	4.1	4.3
生活支援技術の基礎Ⅰ（介福専攻のみ）	22	20	90.90	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.3	4.4	4.2	5.0	10.0	20.0	15.0	50.0	4.2	4.3	4.0	4.4
社会福祉概論Ⅰ	49	37	75.50	6	5	5	4.2	3.7	3.9	3.7	3.8	4.3	3.7	4.2	5.4	5.4	10.8	18.9	59.5	3.6	4.2	3.9	3.9
エアロビックダンス	22	20	90.90	1	1	4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.1	4.7	4.6	4.8	10.0	0.0	10.0	25.0	55.0	4.2	4.2	4.0	4.7
調理学実習Ⅱ	38	33	86.80	6	4	1	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	6.1	18.2	21.2	21.2	33.3	4.1	3.9	3.7	4.2
スペイン語Ⅰ	34	29	85.30	1	2	3, 5	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9	3.9	7.1	10.7	17.9	14.3	50.0	3.8	3.9	3.6	4.0
インタビュー論演習	14	14	100.00	1	5	4	4.2	4.4	4.2	4.3	4.0	4.4	4.1	4.5	21.4	28.6	21.4	7.1	21.4	4.1	4.3	4.7	4.2
体育系大学の基礎教養	30	28	93.30	6	2, 7	7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.5	4.0	3.8	3.3	7.1	3.6	3.6	3.6	82.1	3.8	3.8	3.8	3.8
体育系大学の基礎教養	31	25	80.60	6	7	2, 5, 7	3.9	4.2	3.7	3.4	3.3	3.6	3.6	3.4	12.0	12.0	4.0	8.0	64.0	3.8	4.0	4.0	3.9
体育系大学の基礎教養	18	14	77.80	6	5	2	4.1	3.9	3.9	3.6	3.6	3.9	3.9	3.4	7.1	14.3	7.1	7.1	64.3	3.9	4.0	3.5	3.8
体育系大学の基礎教養	49	43	87.80	6	5	7	3.8	4.0	3.8	3.4	3.6	4.2	3.9	3.7	4.8	0.0	14.3	4.8	76.2	3.8	3.9	3.6	3.7
体育系大学の基礎教養	27	26	96.30	6	7	5, 7, 8	4.3	4.2	3.9	3.8	3.7	4.2	4.0	3.5	3.8	3.8	7.7	7.7	76.9	4.0	3.9	3.4	3.9
体育系大学の基礎教養	29	25	86.20	6	7	2, 4, 5, 8	4.0	4.1	3.8	3.8	3.6	3.8	4.0	3.6	8.3	4.2	8.3	0.0	79.2	4.1	4.0	3.5	4.2
体育系大学の基礎教養	29	27	93.10	6	7	7	4.2	3.7	3.6	3.5	3.3	3.8	3.7	3.5	3.7	7.4	7.4	3.7	77.8	3.5	3.8	3.8	3.7
体育系大学の基礎教養	21	20	95.20	6	2	3	4.3	4.0	3.8	3.6	3.5	3.9	4.0	3.7	10.0	0.0	20.0	5.0	65.0	3.8	4.0	3.8	3.9
体育系大学の基礎教養	28	26	92.90	6	2, 5, 7	3	4.3	4.2	4.2	4.0	4.0	4.3	4.1	4.0	11.5	15.4	11.5	0.0	61.5	4.1	4.2	4.4	4.3
体育系大学の基礎教養	19	19	100.00	6	2	5	3.9	3.9	3.6	3.7	3.5	3.3	3.3	3.3	5.3	10.5	21.1	5.3	57.9	3.2	3.5	3.6	3.2
体育系大学の基礎教養	29	24	82.80	6	7	2	4.0	4.1	3.7	3.7	3.6	4.0	4.1	3.6	12.5	8.3	0.0	0.0	79.2	3.9	4.0	3.7	3.8
体育系大学の基礎教養	17	16	94.10	6	2	1	4.1	4.1	3.9	3.8	3.7	4.2	4.1	4.0	0.0	12.5	12.5	6.3	68.8	3.9	4.0	3.9	4.1
体育系大学の基礎教養	22	20	90.90	6	2	7	4.3	4.3	4.0	3.8	3.8	4.3	4.1	4.2	15.0	5.0	10.0	0.0	70.0	4.1	4.4	4.3	4.1
体育系大学の基礎教養	19	18	94.70	6	2	3, 4, 5	3.7	3.9	3.9	3.8	3.7	4.1	3.9	3.6	16.7	5.6	16.7	0.0	61.1	3.8	4.0	3.5	3.9
体育系大学の基礎教養	29	26	89.70	6	7	2, 7	3.5	3.9	3.5	3.5	3.3	3.8	3.6	3.4	3.8	3.8	11.5	7.7	73.1	3.8	3.7	3.1	3.5
体育系大学の基礎教養	28	26	92.90	6	7	5	4.1	4.0	3.8	3.6	3.5	4.0	3.9	3.7	11.5	0.0	11.5	11.5	65.4	4.0	4.2	3.7	4.0
体育系大学の基礎教養	22	114	518.20	6	5	3, 5	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.2	4.1	3.7	6.2	8.0	21.2	13.3	51.3	4.0	4.0	3.5	4.0
体育系大学の基礎教養	19	15	78.90	6	2	8	4.0	3.7	3.5	3.6	3.7	3.9	3.9	3.9	6.7	13.3	6.7	0.0	73.3	3.8	4.1	4.0	3.7
体育系大学の基礎教養	16	15	93.80	6	7	2	3.9	3.7	3.7	3.7	3.5	3.8	3.7	3.5	6.7	6.7	13.3	6.7	66.7	3.5	3.7	2.7	3.5
体育系大学の基礎教養	23	20	87.00	6	7	5	3.8	4.0	3.6	3.5	3.5	3.9	3.8	3.7	0.0	5.0	0.0	5.0	90.0	4.1	3.9	2.7	3.8
体育系大学の基礎教養	22	37	168.20	6	2	5	4.1	4.1	3.9	3.8	3.3	3.9	3.9	3.5	0.0	5.4	8.1	2.7	83.8	4.2	4.0	4.0	4.1
体育系大学の基礎教養	29	23	79.30	6	5, 7	7, 8	4.1	3.9	3.8	3.7	3.5	4.0	3.8	3.5	8.7	13.0	8.7	8.7	60.9	3.8	4.0	3.8	3.8
体育系大学の基礎教養	29	28	96.60	6	2, 7	3	4.2	3.8	3.6	3.5	3.5	4.0	3.7	3.6	17.9	10.7	17.9	3.6	50.0	4.0	3.9	3.5	3.8
体育系大学の基礎教養	21	37	176.20	6	5	5	4.5	4.4	4.2	4.0	3.9	4.5	4.3	4.4	2.7	0.0	5.4	8.1	83.8	4.1	4.2	3.9	4.4
生活支援技術の実践と応用Ⅰ	15	13	86.70	6	4	4, 5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.3	4.7	4.3	4.5	0.0	7.7	0.0	15.4	76.9	4.5	4.3		4.5
安全・安心関係法令概論Ⅱ	20	15	75.00	1	2	3	3.9	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.2	3.3	0.0	20.0	26.7	13.3	40.0	3.1	3.6	5.0	3.8
歴史学入門	122	78	63.90	1	5	3	4.3	4.1	3.9	4.0	3.8	4.3	4.1	3.5	12.8	10.3	12.8	15.4	48.7	4.2	4.1	4.1	4.3
法学	23	18	78.30	1	2	5	4.4	4.3	4.3	4.0	4.1	4.3	4.3	4.3	29.4	5.9	5.9	11.8	47.1	4.1	4.5	4.5	4.4
リハビリテーション論（介福以外）	68	65	95.60	6	2	3, 5	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	4.8	26.2	9.2	26.2	18.5	20.0	4.7	4.7	4.3	4.8
総合英語B（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）	326	222	68.10	6	2	5	4.0	4.0	3.9	3.7	3.7	4.1	3.9	3.9	11.5	8.7	11.5	12.4	56.0	3.9	4.1	3.9	4.0
介護過程Ⅰ	27	25	92.60	6	4	1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.4	4.3	4.0	12.0	8.0	0.0	12.0	68.0	4.4	4.3	4.7	4.3
社会福祉概論Ⅰ	45	43	95.60	6	5	2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.5	4.1	4.2	9.5	7.1	21.4	11.9	50.0	3.9	4.2	4.4	4.3
社会学概論	32	22	68.80	1	2	2	4.2	4.3	4.4	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3	22.7	9.1	18.2	13.6	36.4	4.4	4.5	4.5	4.5
テーピング	93	34	36.60	1	5	4	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.8	4.9	4.8	14.7	5.9	8.8	14.7	55.9	4.7	4.9	4.4	4.9
哲学入門	54	37	68.50	1	2	3	3.6	3.2	3.3	2.9	3.1	3.3	2.8	3.0	8.1	16.2	13.5	13.5	48.6	2.8	3.6	3.4	3.2
解剖・生理学	214	193	90.20	6	2	5	3.9	3.4	3.6	3.6	3.6	3.5	3.3	3.1	12.6	10.5	18.4	13.7	44.7	3.5	3.7	3.8	3.5
食品学演習	30	28	93.30	6	5	4	4.3	4.1	4.4	4.1	4.2	4.3	4.0	4.4	3.6	3.6	21.4	28.6	42.9	3.9	4.1	4.4	4.4
介護概論Ⅰ（介護専攻のみ）	40	38	95.00	6	2	2	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	4.3	4.3	4.2	13.2	13.2	21.1	23.7	28.9	4.2	4.2	4.3	4.3
障害者教育総論（特支志望）	32	28	87.50	6	5	1, 3, 4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	14.3	3.6	17.9	17.9	46.4	4.0	4.1	4.0	4.5
スポーツ栄養学	50	45	90.00	6	1	3, 4	4.3	4.1	4.2	4.2	3.9	4.4	4.2	3.8	4.4	8.9	15.6	26.7	44.4	4.4	4.3	4.3	4.4

仙台大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
運動生理学	128	97	75.80	6	2	2	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0	4.3	4.4	4.0	13.4	4.1	14.4	21.6	46.4	4.2	4.2	4.0	4.3
レクリエーション実技Ⅰ	64	56	87.50	1	2	7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.4	4.7	4.8	4.6	14.5	3.6	14.5	12.7	54.5	4.3	4.3	4.3	4.7
総合英語B(含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	282	195	69.10	6	5	5	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	4.2	4.0	4.0	8.8	9.8	11.9	13.5	56.0	4.0	4.2	4.2	4.1
生活支援技術の基礎Ⅰ（介福専攻のみ）	18	17	94.40	6	4	2, 5	4.2	4.1	4.3	4.1	3.9	4.2	4.1	4.2	29.4	11.8	11.8	5.9	41.2	4.1	4.2	3.7	4.1
衛生・公衆衛生学	179	153	85.50	6	2	3	4.0	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7	13.2	9.2	11.8	10.5	55.3	3.7	4.0	4.0	3.8
アスレティックトレーニング論Ⅱ	33	20	60.60	1	1	3, 4, 5	4.8	4.4	4.5	4.5	4.3	4.8	4.6	4.7	21.1	15.8	21.1	15.8	26.3	4.6	4.7	5.0	4.7
乳児保育	14	10	71.40	6	1	4, 8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
解剖・生理学	210	145	69.00	6	2	2, 4	3.8	3.3	3.4	3.5	3.5	3.4	3.1	3.1	11.7	15.2	23.4	14.5	35.2	3.5	3.6	3.7	3.4
柔道Ⅰ	41	39	95.10	6	1	1, 4	4.7	4.9	4.9	4.8	4.7	5.0	4.9	4.9	12.8	0.0	17.9	17.9	51.3	4.7	4.8	4.8	4.9
食品学演習	27	25	92.60	6	4	1, 5	4.2	4.4	4.4	4.2	4.2	4.2	3.8	4.2	8.0	24.0	12.0	20.0	36.0	4.1	4.3	4.4	4.3
情報処理	90	88	97.80	6	5	1, 2	4.3	3.8	4.1	3.8	3.7	3.8	3.3	3.3	4.6	2.3	14.9	27.6	50.6	3.5	4.0	3.7	3.7
レクリエーション実技Ⅰ	108	95	88.00	1	2	2	4.5	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	13.7	12.6	9.5	8.4	55.8	4.2	4.3	4.1	4.4
保健体育科教育論Ⅱ	96	87	90.60	6	5	4	4.1	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5	3.6	12.6	6.9	11.5	4.6	64.4	3.6	3.8	3.8	3.6
スポーツマネジメント演習	70	40	57.10	6	3	4	4.6	4.4	4.6	4.4	4.4	4.8	4.7	4.7	2.7	8.1	27.0	29.7	32.4	4.4	4.6	4.3	4.8
文章表現論Ⅰ	174	70	40.20	1	2	3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.6	4.4	4.5	21.4	5.7	11.4	8.6	52.9	4.4	4.5	4.0	4.6
日本国憲法	158	89	56.30	1	2, 5	4	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.6	8.0	6.9	14.9	13.8	56.3	3.4	3.7	3.5	3.7
生活支援と障害者介護Ⅰ	15	14	93.30	6	5	1, 4, 5	4.6	4.8	4.7	4.5	4.1	4.7	4.6	4.5	7.1	7.1	0.0	7.1	78.6	4.4	4.7	4.3	4.7
解剖・生理学Ⅱ	45	39	86.70	6	4	5	3.8	3.4	3.5	3.4	3.2	3.5	3.3	3.2	2.6	5.1	12.8	5.1	74.4	3.4	3.8	3.5	3.4
スポーツタープ管理概論Ⅱ	48	36	75.00	1	5	4, 5	4.0	3.9	4.0	3.6	3.7	4.1	3.8	3.7	5.6	22.2	13.9	11.1	47.2	3.6	3.9	2.9	4.0
生活支援と障害者介護Ⅱ	12	12	100.00	6	2, 4, 5	3	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.8	4.7	4.7	16.7	8.3	0.0	41.7	33.3	4.7	4.6	4.0	4.7
生活支援と障害者介護Ⅰ	12	12	100.00	6	2	4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.3	4.4	4.1	3.9	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	4.3	4.3	4.0	4.2
解剖・生理学Ⅱ	44	43	97.70	6	2	3	3.9	3.5	3.6	3.7	3.6	4.0	3.5	3.6	14.0	7.0	16.3	7.0	55.8	3.7	4.1	4.0	3.8
生活支援と障害者介護Ⅱ	15	14	93.30	6	4	4	4.5	4.6	4.5	4.6	4.4	4.8	4.4	4.6	7.1	14.3	0.0	14.3	64.3	4.3	4.5	4.5	4.6
スポーツマネジメント概論	66	49	74.20	6	2	4	4.0	4.1	4.0	3.9	3.8	4.1	4.0	3.8	8.2	14.3	10.2	6.1	61.2	3.9	3.9	4.0	4.2
日本経済と警備業	30	27	90.00	1	4	3, 5	4.0	4.0	4.0	3.8	3.5	4.3	4.1	4.0	3.7	18.5	18.5	11.1	48.1	3.7	4.0	3.3	4.2
スポーツバイオメカニクス	121	110	90.90	6	5	4	4.1	3.5	3.7	3.7	3.7	4.2	3.8	3.5	12.1	6.5	19.6	18.7	43.0	3.9	4.1	4.6	4.0
運動・身体表現Ⅰ	16	16	100.00	1	1	4	4.8	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.6	4.6	6.7	6.7	26.7	26.7	33.3	4.8	4.9	4.7	4.9
教育方法論	129	77	59.70	1	2	3	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	3.9	19.7	15.8	15.8	13.2	35.5	3.9	4.2	4.2	4.2
体育原理	111	96	86.50	6	2	1	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	4.5	4.4	4.0	16.7	7.3	7.3	13.5	55.2	4.4	4.5	4.0	4.5
スポーツトレーナー概論	97	74	76.30	6	1, 4	4	4.2	4.1	4.1	3.9	3.7	4.2	4.2	3.7	4.1	4.1	20.3	20.3	51.4	4.1	4.2	3.5	4.3
学校保健学	109	94	86.20	1	2	3	4.1	3.9	4.0	3.8	3.8	3.9	3.8	3.6	22.8	12.0	9.8	5.4	50.0	3.8	3.9	4.4	3.9
運動栄養学演習	76	63	82.90	6	4	5	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.4	4.8	11.1	17.5	14.3	52.4	3.6	3.4	3.8	3.7
子どもの生活Ⅰ	49	44	89.80	6	4	1	4.4	4.5	4.4	4.3	4.1	4.7	4.4	4.3	6.8	2.3	22.7	13.6	54.5	4.2	4.3	4.1	4.5
情報処理	114	104	91.20	6	5	5	4.1	3.7	4.0	3.6	3.5	4.1	3.6	3.4	1.0	2.9	16.3	33.7	46.2	3.8	4.0	3.8	3.9
スポーツコーチング概論	224	177	79.00	6	2	4	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	3.8	12.6	8.6	12.6	8.0	58.3	3.9	4.0	4.0	4.1
ヒューマンリレーション演習Ⅱ	3	3	100.00	1, 4, 5	1, 5, 7	2, 3, 4	4.3	3.7	4.7	4.7	4.7	4.3	4.0	4.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	3.0	3.7		4.7
歴史学入門	119	74	62.20	1	2	3	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.4	4.0	3.5	21.9	12.3	12.3	9.6	43.8	4.0	4.2	4.2	4.2
法学	22	19	86.40	1, 2, 6	2, 5	3, 5	4.1	4.0	3.8	3.8	3.6	3.8	3.9	4.2	16.7	0.0	16.7	11.1	55.6	3.6	3.9	4.0	4.1
給食計画論	29	26	89.70	6	4, 5	4	4.4	4.2	4.3	3.8	3.6	4.4	4.3	4.2	7.7	0.0	15.4	38.5	38.5	4.4	4.5	4.3	4.3
教育方法論	125	75	60.00	1	2	3	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	3.8	18.7	9.3	5.3	24.0	42.7	3.9	4.0	4.0	4.1
社会保障論	37	33	89.20	6	4	4, 5	4.1	3.6	3.8	3.7	3.8	4.5	3.8	4.2	3.0	18.2	18.2	15.2	45.5	3.9	4.2		3.9
テーピング	86	56	65.10	1	5	2, 5	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.7	10.7	5.4	3.6	17.9	62.5	4.5	4.8	4.6	4.9
社会学概論	41	32	78.00	1	2	3	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0	4.3	4.4	4.2	12.5	0.0	9.4	18.8	59.4	4.4	4.5	5.0	4.3
哲学入門	42	35	83.30	2	2, 5	8	3.5	3.2	3.3	3.1	3.2	3.4	2.8	3.2	2.9	8.6	11.4	8.6	68.6	2.8	3.6	3.0	3.1
学校保健学	145	130	89.70	1	2	3	4.1	4.0	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.5	16.3	10.9	19.4	10.1	43.4	3.7	3.9	4.1	3.9
ことばと人間A	136	45	33.10	1	2	1, 2, 3	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	3.9	11.1	11.1	37.8	11.1	28.9	3.9	3.9	4.0	4.2
教養数学	72	51	70.80	1	2	3	4.1	3.9	3.9	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	10.0	18.0	16.0	6.0	50.0	3.7	3.8	3.5	3.9
水泳（女子）	33	24	72.70	3, 6	4	3, 4	4.6	4.7	4.6	4.5	4.4	4.7	4.6	4.5	21.7	0.0	17.4	13.0	47.8	4.2	4.5	4.3	4.6
情報処理	45	36	80.00	6	4	5	4.3	3.6	4.0	3.7	3.5	3.9	3.6	3.6	0.0	2.8	22.2	36.1	38.9	3.8	3.9	3.5	4.0
心理学概論	118	75	63.60	1	2	2, 3	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	10.7	6.7	16.0	18.7	48.0	3.5	3.5	3.4	3.4
トレーニングの基礎	134	123	91.80	6	4	5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.2	4.5	4.5	4.3	6.5	8.9	11.4	15.4	57.7	4.1	4.2	3.8	4.5
歴史学入門	127	87	68.50	1	2	2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	3.9	3.5	20.7	11.5	8.0	16.1	43.7	3.9	3.9	4.1	4.1
法学	57	53	93.00	1	1	8	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	17.0	5.7	9.4	13.2	54.7	3.9	4.1	3.7	4.1
ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ･ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞA	6	5	83.30	1	5	8	4.4	4.2	4.4	4.6	4.2	4.8	4.6	5.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	4.8	4.6	5.0	4.6
給食計画論	33	32	97.00	6	4, 5	1	4.5	4.2	4.2	3.9	3.9	4.4	4.3	4.2	9.4	15.6	12.5	21.9	40.6	4.2	4.4	4.4	4.5
サッカー（男子）	42	36	85.70	1	2	3	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	22.2	11.1	13.9	2.8	50.0	4.3	4.7	4.1	4.8
社会学概論	97	80	82.50	6	2	5	4.2	3.9	3.9	3.9	3.9	4.3	4.1	4.0	7.6	15.2	17.7	17.7	41.8	4.1	4.1	3.5	4.3
哲学入門	55	48	87.30	1	2	3	3.4	3.1	3.4	3.2	3.2	3.3	2.9	3.1	12.5	0.0	12.5	14.6	60.4	3.0	3.5	3.3	3.2
調理学実習Ⅱ	38	23	60.50	6	4	4	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.2	4.3	9.1	13.6	27.3	22.7	27.3	4.1	4.1	4.0	4.5
スポーツ情報戦略論演習A	13	9	69.20	6	1, 4, 5	4	4.9	4.6	4.7	4.4	4.4	4.8	4.7	4.6	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	4.4	4.7		4.7
教養数学	62	51	82.30	1	2	8	4.1	3.9	3.9	3.6	3.7	3.8	3.6	3.5	9.8	9.8	11.8	27.5	41.2	3.8	3.9	4.1	3.9
レクリエーション実技Ⅱ	20	10	50.00	5	4	1, 4, 5, 7	4.5	4.4	4.5	3.8	3.9	4.9	4.4	4.6	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	4.1	4.4		4.6
心理学概論	110	89	80.90	1	2	5	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	15.9	12.5	17.0	27.3	27.3	3.8	3.8	3.9	4.1
器械運動（男子）	42	30	71.40	1	1, 2	5	4.7	4.4	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	13.3	3.3	6.7	23.3	53.3	3.7	4.2	4.1	4.6
地域福祉論	17	13	76.50	5	4	1	4.4	4.0	4.2	4.0	4.2	4.4	4.2	4.2	0.0	7.7	7.7	38.5	46.2	4.0	4.3		4.4
サッカー（男子）	87	56	64.40	1	2	3	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	32.7	9.1	5.5	9.1	43.6	4.3	4.6	4.7	4.7
調理学実験	39	22	56.40	6	4	5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.2	4.3	19.0	9.5	28.6	19.0	23.8	4.4	4.4	4.0	4.5
スポーツトレーナー実習	72	64	88.90	6	4	4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	9.4	3.1	17.2	20.3	50.0	4.2	4.2	4.5	4.4
水泳（男子）	49	23	46.90	1	2	1, 4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4	22.7	4.5	27.3	9.1	36.4	4.5	4.6	4.1	4.8
情報処理	114	112	98.20	6	5	1	4.2	3.8	3.9	3.7	3.5	4.0	3.3	3.5	4.5	5.4	8.0	35.7	46.4	3.6	4.1	3.5	3.8
文章基礎（演習）	45	40	88.90	6	2	5	3.8	3.8	3.9	3.4	3.6	4.2	3.7	3.9	0.0	5.0	17.5	40.0	37.5	3.7	3.9	3.6	3.9
トレーニングの基礎	148	137	92.60	6	2	4	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	9.6	13.3	5.9	14.1	57.0	4.3	4.3	4.3	4.5
器械運動（女子）	41	36	87.80	6	5	1	4.5	4.7	4.4	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3	5.7	2.9	2.9	17.1	71.4	3.3	3.8	4.0	4.4
スポーツ心理学	236	179	75.80	6	2	5	4.1	4.0	4.0	3.8	3.8	4.1	4.0	3.7	6.7	6.7	16.3	20.8	49.4	3.8	4.0	4.0	4.1
スポーツバイオメカニクス	120	104	86.70	6	2	5	4.2	3.6	4.0	4.0	3.9	4.3	3.8	3.6	16.3	4.8	15.4	28.8	34.6	3.8	4.2	4.3	4.0
生活支援技術の実践と応用Ⅰ	12	11	91.70	6	2, 5	1	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	0.0	9.1	9.1	27.3	54.5	3.9	4.4	4.0	4.3
スポーツ障害の予防と評価	36	15	41.70	1	4	5	4.8	4.4	4.6	4.6	4.3	5.0	4.9	4.8	20.0	13.3	20.0	13.3	33.3	4.6	4.8		4.8
認知症の理解Ⅱ	33	31	93.90	6	4	4	4.1	3.7	3.8	3.8	3.8	4.3	3.8	3.8	0.0	12.9	19.4	29.0	38.7	4.1	4.2		4.2
解剖・生理学Ⅰ	45	44	97.80	6	5	4	4.1	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.5	3.0	4.5	6.8	13.6	22.7	52.3	3.6	4.1	4.7	4.0
保健医療論	106	99	93.40	6	2	5	4.0	3.7	3.9	3.7	3.6	3.6	3.4	3.3	18.4	6.1	18.4	15.3	41.8	3.6	3.8	3.9	3.6
児童家庭福祉	12	9	75.00	1	1, 4, 5	2, 4, 5	5.0	4.9	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	11.1	0.0	11.1	22.2	55.6	4.6	4.7	5.0	4.6
野外･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論(含演習)	62	45	72.60	1	5	3, 4	4.4	4.2	4.1	4.1	4.1	4.4	4.4	4.2	17.8	4.4	15.6	11.1	51.1	4.0	4.3	4.0	4.4
水上安全法（含実習）	3	2	66.70	1, 4	4, 7	1, 5	4.0	3.5	4.5	4.0	5.0	5.0	4.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.5	4.5		4.0
栄養学	45	45	100.00	6	4	1	4.4	4.1	4.1	4.0	3.8	4.2	3.8	3.6	4.5	6.8	15.9	25.0	47.7	4.0	3.8	4.2	4.1
運動生理学	191	109	57.10	6	2	5	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.2	4.2	3.8	5.5	9.2	11.0	12.8	61.5	4.1	4.2	3.9	4.1
導入演習	29	26	89.70	6	7	2	4.3	4.3	4.0	4.0	3.9	4.3	4.1	4.1	3.8	7.7	7.7	3.8	76.9	4.1	4.1	4.4	4.2
導入演習	28	25	89.30	6	7	3	4.4	4.6	4.1	4.0	4.2	4.7	4.6	4.8	8.7	0.0	0.0	8.7	82.6	4.4	4.7	5.0	4.7
導入演習	20	17	85.00	6	5	4	4.5	4.5	4.6	4.2	4.2	4.5	4.6	4.4	11.8	0.0	0.0	5.9	82.4	4.4	4.2	4.3	4.6
導入演習	29	24	82.80	6	5	5, 7	4.2	4.3	3.9	4.2	4.1	4.4	4.3	4.3	4.2	8.3	4.2	16.7	66.7	4.1	4.2	4.0	4.3
導入演習	21	18	85.70	6	2	7	4.3	4.4	4.4	4.1	4.1	4.4	4.4	4.3	5.9	0.0	0.0	11.8	82.4	4.2	4.4	4.7	4.5
導入演習	29	27	93.10	6	7	5, 8	4.0	4.0	3.7	3.7	3.7	4.3	4.1	4.2	7.4	0.0	7.4	3.7	81.5	3.7	4.2	4.0	4.2
導入演習	27	24	88.90	6	2	8	4.1	4.1	3.8	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	4.2	8.3	8.3	8.3	70.8	3.7	3.9	4.0	4.0
導入演習	29	26	89.70	6	7	2	4.4	4.5	4.4	4.3	4.1	4.8	4.5	4.7	0.0	11.5	7.7	15.4	65.4	4.6	4.6	4.0	4.7
導入演習	29	20	69.00	6	2	3, 5	4.5	4.2	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3	10.0	5.0	25.0	5.0	55.0	4.1	4.2	4.2	4.4
スポーツ施設の経営・管理	177	142	80.20	1	2	3	4.3	4.1	4.2	4.0	3.9	4.2	4.2	4.0	13.5	8.5	12.8	18.4	46.8	4.1	4.0	4.1	4.3
幼児体育論	55	47	85.50	6	1, 4	1, 5	4.3	4.1	4.0	3.9	4.0	4.2	3.9	4.0	2.1	12.8	17.0	23.4	44.7	3.7	3.9	3.7	4.0
教育の制度B	13	10	76.90	3	1	2	4.9	4.7	4.8	4.7	4.5	4.7	4.7	4.9	55.6	0.0	22.2	11.1	11.1	4.5	5.0	4.5	5.0

仙台大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
スポーツ政策論	109	70	64.20	1	2	3	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7	4.2	3.8	3.7	12.9	12.9	10.0	7.1	57.1	3.9	3.9	4.2	3.8
教育の基礎理論	172	135	78.50	1	2	5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.7	4.4	4.3	7.5	5.2	11.2	20.9	55.2	4.3	4.3	3.9	4.7
解剖・生理学Ⅰ	46	45	97.80	6	4	4	4.0	3.6	3.6	3.7	3.6	3.8	3.5	3.3	2.2	8.9	13.3	15.6	60.0	3.6	4.0	3.8	3.8
ｱｽﾚﾃｨｯｸﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ実習	25	17	68.00	1	4	4	4.7	4.4	4.6	4.5	4.3	4.9	4.6	4.8	23.5	11.8	17.6	17.6	29.4	4.6	4.6		4.7
保健体育科授業研究Ⅰ	19	15	78.90	1	4	5	4.1	4.3	4.1	4.1	3.9	3.8	3.7	4.1	6.7	0.0	0.0	13.3	80.0	3.7	4.1		3.9
栄養指導論演習	27	27	100.00	6	4, 5	1	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.6	4.7	4.3	25.9	18.5	7.4	11.1	37.0	4.6	4.6	4.6	4.5
栄養学	45	44	97.80	6	4, 5	4	4.4	4.2	4.2	4.2	4.0	4.3	3.9	3.5	4.5	4.5	20.5	36.4	34.1	3.9	3.8	4.5	4.2
体力相談と運動処方	20	13	65.00	6	5	4	4.2	3.9	4.2	4.2	3.9	4.7	4.1	4.2	15.4	7.7	15.4	15.4	46.2	4.4	4.6		4.4
武道概論	42	38	90.50	6	5	4	4.5	4.2	4.4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.2	7.9	0.0	10.5	21.1	60.5	4.3	4.3	3.7	4.5
野外教育・活動論	61	54	88.50	1	5	5	4.5	4.3	4.3	4.0	4.1	4.5	4.5	4.5	9.3	13.0	11.1	29.6	37.0	4.4	4.4	4.4	4.6
リハビリテーション論（介福専攻）	41	39	95.10	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.1	4.5	4.5	4.3	12.8	10.3	28.2	17.9	30.8	4.4	4.2	3.5	4.5
ハンドボール（男子）	31	30	96.80	1	2	5	4.8	4.8	4.5	4.6	4.6	4.6	4.4	4.7	17.2	6.9	6.9	13.8	55.2	4.3	4.5	2.5	4.7
教育方法論	50	44	88.00	1	2	5	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	3.9	11.4	22.7	18.2	9.1	38.6	4.1	4.3	3.6	4.3
社会福祉援助技術演習Ⅱ	7	7	100.00	6	1, 5	4	4.6	4.3	4.9	4.7	4.7	4.7	4.1	4.7	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	4.3	4.7		4.9
バスケットボール（男子）	77	64	83.10	1	5	7	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	27.0	4.8	6.3	9.5	52.4	4.4	4.8	4.9	4.9
ダンスⅠ（男子）	35	24	68.60	6	1, 5	4, 5	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.6	4.5	4.5	4.2	12.5	0.0	12.5	70.8	4.0	4.2	3.8	4.5
衛生・公衆衛生学	194	178	91.80	6	2	3	3.9	3.8	3.8	3.5	3.5	3.6	3.4	3.2	9.6	6.2	14.7	10.2	59.3	3.5	3.7	3.8	3.5
バレーボール（男子）	69	57	82.60	1	5	3	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	21.1	12.3	8.8	1.8	56.1	4.6	4.6	4.2	4.6
柔道（男子）	54	48	88.90	1	5	5	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.8	4.7	4.6	14.6	0.0	6.3	6.3	72.9	4.5	4.6	3.8	4.8
運動学（含運動方法学）	189	152	80.40	6	5	4	3.9	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	3.2	3.1	9.2	13.2	13.2	12.5	52.0	3.3	3.6	4.1	3.4
介護総合演習Ⅲ（介福専攻のみ）	29	25	86.20	6	4	1	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.4	4.3	4.2	12.5	16.7	8.3	16.7	45.8	4.1	4.4	3.0	4.4
栄養指導論演習	30	27	90.00	6	5	4	4.4	4.4	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	3.9	7.4	3.7	18.5	18.5	51.9	4.1	4.2	4.6	4.6
水泳（男子）	57	27	47.40	1	4	4	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7	40.7	7.4	0.0	3.7	48.1	4.6	4.7	4.6	4.8
ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ&ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ実習	39	34	87.20	6	4	4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	8.8	2.9	26.5	29.4	32.4	4.3	4.4	4.0	4.7
器械運動（男子）	43	30	69.80	1	1	8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	10.0	16.7	3.3	3.3	66.7	4.1	4.5	4.5	4.7
剣道（男子）	30	30	100.00	1	2	5	4.2	4.3	4.2	3.9	3.9	4.3	4.3	4.1	13.3	6.7	13.3	3.3	63.3	3.8	4.0	4.1	4.3
ハンドボール（男子）	45	42	93.30	1	1, 5	5	4.4	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1	9.5	19.0	7.1	9.5	54.8	4.0	4.1	3.4	4.3
バレーボール（男子）	65	61	93.80	1	5	4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	20.0	13.3	6.7	5.0	55.0	4.0	4.0	3.8	4.4
教職キャリア演習Ⅰ	20	20	100.00	1	4	5	5.0	4.9	5.0	4.9	4.8	5.0	5.0	5.0	10.0	5.0	10.0	30.0	45.0	4.9	5.0	5.0	5.0
ダンスⅠ（女子）	41	33	80.50	6	1	5	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.6	4.4	4.2	9.1	9.1	12.1	24.2	45.5	3.7	4.1	4.0	4.4
絵画・造形表現Ⅰ	15	14	93.30	1	4	1	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	28.6	0.0	7.1	7.1	57.1	4.9	4.9	5.0	4.8
バスケットボール（男子）	75	72	96.00	1	2	4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	46.5	5.6	14.1	9.9	23.9	4.6	4.7	4.6	4.7
スポーツ起業論	23	15	65.20	1	2, 5	4, 5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.3	13.3	0.0	13.3	6.7	66.7	4.5	4.3	5.0	4.4
柔道（女子）	65	63	96.90	1	1, 4, 5	5	4.6	4.5	4.6	4.3	4.4	4.7	4.6	4.5	3.3	11.5	6.6	6.6	72.1	4.3	4.2	3.9	4.6
運動学（含運動方法学）	185	159	85.90	6	2	5	3.7	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.1	3.0	9.4	8.2	12.6	13.8	56.0	3.2	3.6	3.5	3.2
生活支援と居宅介護	15	27	180.00	4, 6	2	1	4.4	4.4	4.3	4.1	4.2	4.8	4.5	4.4	3.8	15.4	7.7	11.5	61.5	4.6	4.4	4.0	4.5
栄養指導論実習Ⅰ	58	53	91.40	6	4	1	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.3	11.3	17.0	7.5	34.0	30.2	4.4	4.4	4.6	4.5
社会の安全・安心概論	53	45	84.90	1, 6	2	4	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0	4.2	4.1	4.0	11.1	6.7	13.3	8.9	60.0	4.0	4.0	3.9	4.2
水泳（男子）	78	38	48.70	1	5	5, 7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	21.1	0.0	13.2	15.8	50.0	4.3	4.6	4.2	4.5
体力相談と運動処方	87	76	87.40	1	2	3	4.2	3.8	4.1	4.0	3.9	4.4	4.1	4.2	10.5	15.8	18.4	22.4	32.9	4.0	4.2	4.0	4.2
器械運動（女子）	10	7	70.00	1	5	4	4.4	4.6	4.6	4.1	4.0	4.7	5.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.0	4.3	5.0	4.9
剣道（女子）	36	54	150.00	6	5	4	4.4	4.5	4.5	4.3	4.2	4.7	4.6	4.5	5.6	7.4	18.5	7.4	61.1	4.2	4.4	3.7	4.6
英会話A	28	14	50.00	1	5	4, 5, 8	4.6	4.1	4.4	4.4	4.3	4.8	4.8	4.9	14.3	0.0	21.4	35.7	28.6	4.6	4.8	5.0	4.8
障害者福祉論	20	20	100.00	6	4	1, 4	4.6	4.2	4.3	4.3	4.2	4.6	4.4	4.4	0.0	0.0	20.0	35.0	45.0	4.2	4.5	4.0	4.5
韓国語Ⅰ	66	44	66.70	1	5	8	4.3	3.9	4.1	4.1	4.0	4.4	3.9	4.4	9.3	9.3	11.6	20.9	48.8	4.0	4.1	4.0	4.4
テーピング（女子）	49	27	55.10	1	4	5	4.9	4.7	4.6	4.7	4.4	4.9	4.9	4.9	7.4	3.7	18.5	7.4	63.0	4.4	4.8	5.0	5.0
スポーツ施設管理概論Ⅰ	107	86	80.40	1	2	5	4.3	4.1	4.1	3.9	3.8	4.2	3.9	3.5	11.6	11.6	14.0	17.4	45.3	3.7	3.9	3.4	4.0
スポーツ医学B	97	82	84.50	1	2	4	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.8	3.5	19.5	11.0	14.6	9.8	45.1	4.0	4.1	4.4	4.0
臨床栄養学実習	59	57	96.60	6	4	4	4.2	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.1	3.0	12.3	10.5	14.0	19.3	43.9	3.2	3.5	4.0	3.4
中国語Ⅰ	41	36	87.80	1	2, 5	8	4.4	3.8	4.1	4.2	4.0	4.3	4.0	4.6	17.1	5.7	22.9	20.0	34.3	4.2	4.4	4.6	4.5
こころとからだⅡ	35	32	91.40	6	1	4	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1	4.4	4.3	4.4	6.5	12.9	12.9	16.1	51.6	4.2	4.4	3.7	4.3
日本国憲法	156	80	51.30	1	5	1	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	6.3	6.3	10.0	11.3	66.3	3.5	3.9	4.3	3.8
導入演習	18	13	72.20	6	2	7	4.2	4.4	3.8	3.8	3.8	4.8	4.5	4.3	0.0	15.4	0.0	7.7	76.9	4.4	4.5	3.8	4.5
導入演習	21	21	100.00	6	3	7	4.7	4.7	4.5	4.4	4.5	4.8	4.7	4.7	14.3	4.8	9.5	0.0	71.4	4.4	4.7	5.0	4.8
導入演習	18	18	100.00	6	2	2	4.3	4.1	4.3	4.2	4.0	4.4	4.3	4.3	33.3	5.6	5.6	11.1	44.4	4.2	4.3	4.4	4.3
導入演習	17	14	82.40	6	2, 5	4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.4	28.6	7.1	14.3	7.1	42.9	4.4	4.4	4.4	4.4
導入演習	22	20	90.90	6	2, 7	2	4.5	4.5	4.3	4.1	4.2	4.6	4.5	4.6	20.0	5.0	5.0	0.0	70.0	4.5	4.7	4.3	4.7
導入演習	18	13	72.20	6	7	2	3.7	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8	23.1	7.7	15.4	0.0	53.8	3.8	4.0		3.7
導入演習	49	39	79.60	6	7	7	4.1	4.0	3.8	3.9	3.7	4.1	3.9	4.1	10.3	5.1	7.7	10.3	66.7	3.7	4.1	4.0	3.9
導入演習	22	9	40.90	6	2, 7	1, 4, 7	4.2	4.2	3.9	3.9	3.8	4.3	4.3	4.3	11.1	22.2	0.0	11.1	55.6	4.1	4.3	3.8	4.3
導入演習	16	14	87.50	6	7	8	4.3	4.5	3.8	3.9	3.7	4.6	4.5	4.4	7.1	0.0	14.3	0.0	78.6	4.1	4.5	3.0	4.5
導入演習	23	21	91.30	6	7	5, 8	4.3	4.0	3.8	3.9	3.6	4.1	3.8	4.2	0.0	4.8	4.8	4.8	85.7	3.9	4.2	3.0	4.0
導入演習	22	18	81.80	6	2	1	4.4	4.3	3.8	3.7	3.6	4.1	4.1	4.3	0.0	5.9	11.8	5.9	76.5	4.3	4.3	4.0	4.2
教育方法論	96	82	85.40	6	4	3, 4	4.2	4.0	4.2	4.0	3.9	4.4	4.2	4.1	15.0	10.0	15.0	13.8	46.3	4.0	4.3	4.3	4.2
教育の基礎理論	150	119	79.30	1	2	3	4.1	4.0	4.0	3.8	3.9	4.3	4.2	4.1	12.0	5.1	18.8	13.7	50.4	4.1	4.2	4.2	4.4
運動学（含運動方法学）	221	186	84.20	6	2	3	3.9	3.4	3.5	3.4	3.4	3.6	3.3	3.2	11.9	8.6	10.8	10.8	57.8	3.4	3.7	4.1	3.4
食品衛生学	44	37	84.10	6	4	5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	4.1	3.8	3.6	8.3	8.3	30.6	5.6	47.2	3.6	3.8	3.7	3.7
保健体育科教育論Ⅱ	117	101	86.30	1	2	3	4.2	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	19.8	16.8	8.9	10.9	43.6	3.9	4.1	4.4	4.0
スポーツ史	174	157	90.20	1	2	3	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	4.1	4.0	3.7	14.3	11.7	21.4	11.0	41.6	3.9	4.1	4.2	4.0
運動障害救急法（含実習）	120	112	93.30	6	5	4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.0	4.1	4.1	3.8	12.6	5.4	19.8	16.2	45.9	4.1	4.2	4.0	4.2
体育講義	49	43	87.80	6	2	7	4.3	4.3	4.2	4.0	4.0	4.5	4.3	4.0	4.7	4.7	18.6	18.6	53.5	4.2	4.2	3.9	4.2
生徒指導論A（含進路指導の理論及び方法）	77	82	106.50	6	2, 5	1, 4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.3	4.8	4.7	4.3	19.5	7.3	7.3	23.2	42.7	4.4	4.7	4.0	4.7
社会福祉概論Ⅰ	105	81	77.10	6	5	4, 8	4.1	3.9	4.0	4.0	4.0	4.4	3.9	4.0	22.2	8.6	7.4	7.4	54.3	3.8	4.0	4.2	4.0
衛生・公衆衛生学	167	143	85.60	6	2	4	3.9	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.7	3.5	11.3	12.0	14.8	9.2	52.8	3.8	3.9	3.9	3.8
教育の基礎理論	144	95	66.00	1	2, 5	4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	4.6	4.4	4.2	8.4	8.4	14.7	21.1	47.4	4.1	4.3	4.5	4.6
食品衛生学	44	42	95.50	6	2, 4	1, 4, 5	4.2	4.0	4.1	3.9	3.7	4.5	4.0	4.1	9.5	4.8	9.5	19.0	57.1	3.8	4.2	4.5	4.3
応用武道護衛Ⅰ	47	42	89.40	1	2	3	4.5	4.4	4.4	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	11.9	0.0	19.0	11.9	57.1	4.1	4.2	2.9	4.4
スポーツ栄養学	54	51	94.40	6	4	1	4.3	4.2	4.2	4.0	4.0	4.3	4.3	3.8	11.8	7.8	15.7	21.6	43.1	4.2	4.2	4.1	4.3
情報処理	117	111	94.90	6	5	5	4.2	3.9	4.0	3.8	3.6	4.2	3.6	3.5	1.8	4.5	21.6	24.3	47.7	3.8	4.1	3.7	3.9
保健体育科教育論Ⅱ	108	87	80.60	1	2	3	4.2	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9	20.7	12.6	10.3	8.0	48.3	3.9	4.0	4.2	4.1
卓球	44	21	47.70	1	2	5	4.3	4.4	4.4	4.2	4.3	4.4	4.5	4.4	30.0	15.0	25.0	5.0	25.0	4.3	4.3	4.4	4.5
スポーツマスメディア概論	48	46	95.80	6	2	3, 4	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.5	4.3	4.0	6.5	8.7	13.0	17.4	54.3	4.1	4.3	3.8	4.1
武道指導論	20	18	90.00	1	2, 5	4	4.3	4.4	4.3	3.9	3.9	4.4	4.3	4.3	11.1	22.2	11.1	16.7	38.9	4.2	4.4	3.0	4.5
スポーツ史	125	118	94.40	6	2	5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.9	3.8	3.3	9.4	12.8	26.5	16.2	35.0	3.7	3.8	3.5	3.8
権利擁護と成年後見制度	12	24	200.00	1, 4, 7	5	3	3.7	3.7	3.8	3.5	3.4	3.7	3.8	3.6	4.2	4.2	25.0	25.0	41.7	3.7	3.7	3.3	3.7
英語A(含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	77	51	66.20	6	5	2, 8	4.2	3.9	3.8	3.9	3.6	4.1	4.1	4.0	0.0	8.2	18.4	24.5	49.0	3.8	4.1	3.7	4.2
運動障害救急法（含実習）	169	156	92.30	6	2	4, 5	4.2	4.1	4.1	3.9	3.9	4.0	4.0	3.6	5.2	13.6	10.4	12.3	58.4	4.0	4.1	3.8	4.1
幼児体育指導論	19	13	68.40	6	5	4	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	5.0	5.0	4.9	30.8	7.7	7.7	23.1	30.8	4.9	4.9		5.0
教育の制度	119	87	73.10	6	4	3	4.3	4.0	4.3	4.2	4.1	4.5	4.3	4.4	11.6	10.5	29.1	22.1	26.7	4.3	4.3	3.8	4.3
体育原理	125	100	80.00	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0	4.5	4.4	4.0	5.0	14.0	13.0	11.0	57.0	4.3	4.4	3.8	4.5
衛生・公衆衛生学	49	56	114.30	6	5	4	3.9	4.0	3.9	3.8	3.6	3.7	3.6	3.4	14.3	1.8	16.1	12.5	55.4	3.6	3.8	4.6	3.7
衛生・公衆衛生学	49	36	73.50	6	5	5	3.9	3.9	3.8	3.6	3.5	3.6	3.4	3.1	5.7	11.4	11.4	14.3	57.1	3.6	3.4	3.4	3.6
調理学	46	44	95.70	6	5	1	4.4	4.1	4.2	4.2	4.0	4.2	3.9	3.6	4.5	11.4	25.0	25.0	34.1	3.9	4.0	4.5	4.2
スポーツコーチング研究法	206	77	37.40	6	5	4	4.0	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.3	9.1	19.5	9.1	5.2	57.1	3.6	3.7	3.8	3.5
栄養学実習	60	57	95.00	6	5	4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	8.8	12.3	17.5	24.6	36.8	4.1	4.3	4.5	4.3
企業スポーツ論	98	68	69.40	1	5	5	4.3	4.0	4.0	3.9	3.7	4.3	4.1	3.8	7.4	7.4	19.1	20.6	45.6	3.9	4.3	4.0	4.4
応用武道実技Ⅰ	41	27	65.90	1	2	3	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.6	4.6	4.4	25.9	3.7	7.4	3.7	59.3	4.3	4.4	4.2	4.6

仙台大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熟意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
情報処理	105	101	96.20	6	2	1	4.3	3.7	4.1	3.7	3.6	4.1	3.6	3.4	4.0	11.9	15.8	25.7	42.6	3.8	4.1	3.7	4.0
ソフトボール	108	24	22.20	1	5	3，4	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.8	60.9	8.7	0.0	0.0	30.4	4.5	4.4	4.3	4.9
スポーツ情報戦略概論	28	26	92.90	6	1，2	5	4.1	3.7	3.7	3.8	3.5	4.1	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	19.2	69.2	4.0	4.2	3.5	3.8
運動障害救急法（含実習）	174	153	87.90	6	2	5	4.2	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0	4.1	3.6	18.3	5.9	15.0	13.1	47.7	4.0	4.1	4.2	4.2
教育の制度	144	118	81.90	1	1	4	4.6	4.2	4.3	4.4	4.1	4.6	4.5	4.5	5.1	7.6	23.7	31.4	32.2	4.4	4.4	4.2	4.5
全学教養演習	7	4	57.10	4	4，5，6	2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	5.0	5.0		5.0
コミュニケーション技術論	40	39	97.50	6	5	4	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	4.3	4.3	4.1	7.7	15.4	15.4	20.5	41.0	4.1	4.1	3.5	4.3
体育原理	115	99	86.10	6	2	4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.2	4.5	4.5	3.9	9.1	7.1	9.1	9.1	65.7	4.3	4.5	4.2	4.6
スポーツ取材・報道演習B	37	29	78.40	6	5	1，3，4，5	4.4	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0	17.2	20.7	24.1	10.3	27.6	4.0	4.1	4.2	4.1
種目別コーチング演習Ⅰ	149	33	22.10	1	2	3	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	24.2	24.2	3.0	21.2	27.3	4.4	4.5	4.4	4.5
調理学	51	47	92.20	6	4	5	4.4	4.0	4.1	4.0	3.7	4.1	3.8	3.7	2.2	8.7	23.9	19.6	45.7	3.8	4.1	3.9	4.3
全学教養演習	1	1	100.00	1	2	3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	5.0	5.0		5.0
犯罪・犯罪心理学	26	24	92.30	1	2	5	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	4.2	4.3	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	4.2	4.2	3.4	4.4
情報処理	111	84	75.70	6	5	8	4.3	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	3.7	3.6	8.3	6.0	17.9	31.0	36.9	3.7	3.9	3.8	3.8
情報処理（過年度）	88	71	80.70	6	5	5	4.1	3.7	3.8	3.7	3.7	4.0	3.6	3.6	10.0	20.0	11.4	25.7	32.9	3.7	3.9	3.9	3.8
体力相談と運動処方	81	63	77.80	1，5，6	2，5	4	4.0	3.7	3.7	3.5	3.6	3.7	3.5	3.6	3.2	7.9	17.5	9.5	61.9	3.4	3.8	3.5	3.7
英会話A	32	24	75.00	1	5	8	4.3	3.7	4.0	4.0	3.8	4.9	4.3	4.9	0.0	0.0	25.0	33.3	41.7	4.1	4.5	4.0	4.5
日本国憲法（過年度）	16	14	87.50	1	5	2，3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.0	4.4	4.4	4.3	23.1	7.7	7.7	15.4	46.2	4.2	4.4	4.7	4.4
運動栄養学概論	90	82	91.10	6	4	5	4.3	4.1	4.0	4.1	3.6	4.0	3.9	3.6	0.0	2.5	7.4	27.2	63.0	4.0	3.9	4.2	4.1
韓国語Ⅰ	47	29	61.70	1	2	3	4.7	4.2	4.3	4.4	4.3	4.7	4.4	4.6	24.1	6.9	3.4	17.2	48.3	4.4	4.7	4.5	4.6
教職総合演習	21	5	23.80	1	2，4	3	5.0	4.8	5.0	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	4.8	4.8	5.0	5.0
ドイツ語Ⅰ	28	21	75.00	1	5	3，5，8	4.2	3.9	4.0	4.0	3.7	4.0	3.6	4.1	19.0	23.8	9.5	9.5	38.1	3.7	4.2	4.0	4.0
介護過程と介護研究Ⅰ（介福専攻のみ）	35	31	88.60	6	4	5，8	4.0	4.3	4.1	4.0	4.0	4.1	3.9	3.8	16.7	13.3	16.7	20.0	33.3	4.2	4.2	3.8	4.0
中国語Ⅰ	33	27	81.80	1	1，2，3	3	4.4	3.7	4.2	4.2	4.1	4.6	4.0	4.4	14.8	14.8	11.1	18.5	40.7	4.0	4.6	4.3	4.3
スキーⅠ	428	310	72.40	1	5	5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	35.6	5.4	5.4	1.7	51.9	4.2	4.5	4.5	4.8
韓国伝統武道	29	17	58.60	1	2	3	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.8	4.5	23.5	17.6	23.5	5.9	29.4	4.4	4.5	4.5	4.6
海浜実習	51	31	60.80	1	1	5	4.6	4.7	4.7	4.5	4.6	4.9	4.8	4.6	9.7	9.7	3.2	16.1	61.3	4.5	4.6	4.0	4.7
スポーツ心理学	238	198	83.20	6	2	5	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	4.3	4.1	3.9	10.7	10.2	12.7	21.8	44.7	4.0	4.2	4.3	4.2

東北生活文化大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
スタディスキルズ	43	38	88.40	6	5	2	4.2	4.2	4.0	3.8	3.5	4.0	3.9	3.8	2.6	5.3	18.4	10.5	63.2	3.9	4.1	3.6	3.9
栄養教育論	48	44	91.70	6	4	4	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	4.0	3.7	3.5	4.5	2.3	15.9	25.0	52.3	3.5	3.6	3.7	3.7
キャリア開発Ⅲ	34	27	79.40	6	4	8	3.4	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.0	3.0	0.0	12.0	40.0	20.0	28.0	3.1	3.1	3.0	3.0
ファッションビジネス論	11	9	81.80	6	4	5	4.1	3.9	4.2	3.8	3.4	4.8	3.9	4.1	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8	4.1	4.1		4.6
スタディスキルズ	45	37	82.20	6	5	2	3.8	3.9	3.8	3.6	3.6	3.9	3.7	3.8	0.0	5.4	10.8	16.2	67.6	3.7	3.9	1.0	3.7
特別活動の指導法	17	21	123.50	4, 6	5	1	4.1	3.9	4.0	3.9	3.6	4.6	4.0	4.0	0.0	0.0	5.0	15.0	80.0	3.4	3.7		4.0
家政特別講義Ⅳ（臨地実習演習）	32	27	84.40	6	4	2	4.1	4.1	4.0	3.8	3.8	4.1	3.9	4.0	0.0	3.8	11.5	15.4	69.2	4.2	4.1		4.0
歴史Ⅰ	40	44	110.00	1	7	2	4.0	4.1	4.0	3.8	3.5	4.4	4.2	3.6	7.0	4.7	11.6	18.6	58.1	4.2	4.2	3.3	4.3
特別活動の指導法	10	9	90.00	6	5	1	4.3	4.4	4.2	4.1	3.8	4.7	3.9	4.1	0.0	0.0	11.1	0.0	88.9	4.3	4.7	3.0	4.4
応用栄養学実習Ⅰ	33	30	90.90	6	4	4	4.1	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.3	3.2	6.7	3.3	16.7	16.7	56.7	3.2	3.3	4.3	3.5
健康栄養学総合演習Ⅰ	39	36	92.30	6	4	5	3.7	3.7	3.9	3.5	3.4	3.4	3.5	3.1	2.8	8.3	27.8	16.7	44.4	3.4	3.5	3.5	3.5
キャリア開発Ⅳ	28	9	32.10	4	4, 5	2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.3	4.3	4.0	3.8	12.5	0.0	50.0	12.5	25.0	4.1	4.3		4.1
英会話Ⅰ	16	13	81.30	6	5	5	4.0	4.2	3.9	3.7	3.7	4.5	4.2	4.5	8.3	25.0	0.0	41.7	25.0	4.0	4.4	3.4	4.4
被服材料学実験	10	8	80.00	6	4	1, 4, 5	4.3	3.9	3.9	4.0	3.8	4.6	4.3	4.5	0.0	0.0	37.5	25.0	37.5	4.4	4.8		4.5
製図Ⅰ	13	7	53.80	1, 5, 6	4	2	4.3	4.3	4.1	3.7	3.9	4.1	3.7	3.6	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	4.0	4.3		4.4
生物学Ⅰ	43	40	93.00	6	4	5	4.3	4.0	3.9	3.6	3.2	4.5	4.2	3.4	5.0	10.0	7.5	15.0	62.5	4.1	4.2	3.7	4.2
臨床栄養学実習Ⅰ	34	24	70.60	6	4	5	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.9	3.8	3.8	8.7	21.7	47.8	0.0	21.7	3.6	3.8	3.0	3.9
生物学Ⅰ	28	26	92.90	1	2	5	4.0	4.0	3.8	3.7	3.4	4.6	4.3	3.7	3.8	11.5	7.7	7.7	69.2	4.0	4.2	4.3	4.2
インテリアデザインⅠ	10	9	90.00	1	5, 8	5	3.7	3.9	3.8	3.8	3.9	4.1	4.0	3.8	11.1	22.2	11.1	0.0	55.6	3.9	4.2	4.0	4.1
栄養学実験	33	29	87.90	6	4	4	4.2	3.7	3.9	3.8	3.8	4.2	4.0	4.1	0.0	7.1	32.1	28.6	32.1	3.8	4.2	4.0	4.1
服飾文化論	13	10	76.90	6	4	4, 5	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.8	4.0	4.1	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	4.0	4.4	1.0	4.1
博物館概論	22	26	118.20	6	4	1	4.0	3.8	3.7	3.7	3.7	4.3	3.8	4.2	7.7	3.8	11.5	15.4	61.5	3.8	4.2	5.0	4.3
家庭経営学（家庭経済学を含む）	34	19	55.90	2	2	5	3.9	3.9	3.7	3.6	3.4	4.4	4.1	4.0	5.3	10.5	5.3	10.5	68.4	3.9	4.3	4.5	4.3
消費生活論	16	14	87.50	6	5	4, 5, 8	3.9	3.7	3.8	3.6	3.8	4.0	3.8	3.1	0.0	7.1	14.3	35.7	42.9	3.7	4.0		3.8
家庭経営学（家庭経済学を含む）	32	40	125.00	6	5	8	4.0	3.7	3.7	3.5	3.4	4.2	3.8	3.8	5.0	5.0	30.0	15.0	45.0	3.8	4.1	3.0	3.9
生活美術概論Ⅰ	16	12	75.00	5	5	2, 8	3.6	3.7	3.9	3.7	3.4	4.3	4.0	3.0	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	4.1	4.3	3.0	4.2
数学	35	36	102.90	7	2	3, 5	4.1	3.3	3.6	3.6	3.5	4.1	3.6	3.5	5.6	13.9	19.4	16.7	44.4	4.0	4.2	3.5	4.1
臨床栄養学Ⅰ	37	34	91.90	6	4	5	4.3	3.8	3.9	4.1	3.6	4.3	3.8	4.0	2.9	14.7	50.0	17.6	14.7	3.3	4.0	3.7	4.1
教育制度論	12	11	91.70	4	5	5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.5	4.0	3.8	3.7	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9	4.1	3.9	4.0	4.0
給食経営学	31	24	77.40	6	4	5	3.9	3.8	3.9	3.8	3.5	3.7	3.5	3.5	0.0	4.2	41.7	41.7	12.5	3.5	3.9	3.0	3.7
被服整理学	10	8	80.00	6	4	1	4.3	4.3	4.4	4.1	3.9	4.8	4.5	4.5	0.0	12.5	12.5	25.0	50.0	4.5	4.5		4.3
生活文化論	26	29	111.50	1	1, 2, 4	7	3.8	3.7	3.6	3.4	3.2	4.4	3.8	3.0	3.4	0.0	3.4	10.3	82.8	4.1	4.2	3.8	4.0
美術鑑賞Ⅰ	10	9	90.00	1	7	2	4.4	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.4	4.4	0.0	33.3	33.3	22.2	11.1	4.3	4.8		4.7
化学Ⅰ	48	45	93.80	6	4	5	4.6	4.0	4.2	4.0	3.9	4.5	4.3	4.1	8.9	17.8	28.9	35.6	8.9	4.1	4.3	4.1	4.5
解剖生理学Ⅱ	32	32	100.00	6	4, 5	4	3.9	3.4	3.5	3.4	3.3	3.5	3.3	2.9	6.3	0.0	9.4	25.0	59.4	3.5	3.8		3.6
道徳教育の指導法	10	10	100.00	6	4	8	3.6	3.3	3.2	2.8	3.2	3.6	3.1	3.3	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	2.9	3.3		3.2
アパレル製図法Ⅰ（平面）	11	9	81.80	6	3	1	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	33.3	22.2	0.0	0.0	44.4	4.4	4.6	4.3	4.6
情報設計概論Ⅰ	38	25	65.80	1	4	5	4.2	4.2	4.0	4.0	3.9	4.0	3.7	3.8	4.0	4.0	12.0	28.0	52.0	3.7	3.8	5.0	3.9
基礎調理学実習Ⅰ	44	41	93.20	6	4	5	4.6	4.4	4.4	4.2	4.1	3.9	3.4	3.5	7.3	7.3	19.5	14.6	51.2	3.6	3.7	4.5	3.8
彫刻基礎Ⅰ	45	36	80.00	6	1	5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.8	4.5	4.6	8.3	5.6	5.6	22.2	58.3	4.0	4.2	4.0	4.5
保健栄養学	41	34	82.90	6	4	4, 5	4.0	4.0	4.1	3.7	3.7	4.2	4.2	4.0	0.0	18.2	27.3	12.1	42.4	4.1	4.1	3.7	4.2
美学Ⅰ	15	13	86.70	1	5	4	3.8	3.5	3.7	3.0	3.2	4.5	3.1	3.3	0.0	0.0	7.7	15.4	76.9	3.6	3.9		3.9
応用調理学実習Ⅰ	32	31	96.90	6	4	4	3.7	3.2	3.2	2.9	3.0	2.9	2.1	2.4	0.0	0.0	25.8	12.9	61.3	3.0	2.9	3.0	2.4
色彩学Ⅰ	34	29	85.30	1	5	4, 5	4.3	3.7	4.1	4.2	4.1	4.7	3.7	4.2	6.9	17.2	24.1	34.5	17.2	3.6	4.1	1.0	4.3
グラスアートⅠ	14	13	92.90	1	2	5	4.6	4.7	4.8	4.7	4.3	4.5	4.5	4.8	7.7	7.7	7.7	7.7	69.2	4.0	4.8		5.0
洋画Ⅲ	13	12	92.30	1	4	5	4.2	4.3	4.1	4.4	4.4	4.2	4.0	4.1	33.3	8.3	8.3	16.7	33.3	3.8	4.1	5.0	4.5
食品学実験Ⅰ	44	41	93.20	6	4	5	4.5	4.1	4.1	4.0	4.0	4.4	4.2	4.3	4.9	12.2	12.2	41.5	29.3	4.2	4.3	4.3	4.3
被服造形実習Ⅰ	11	8	72.70	6	1	2, 4, 5	4.0	4.3	4.0	4.1	3.9	3.6	3.4	4.1	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	3.3	4.5		4.0
公衆衛生学Ⅰ	37	27	73.00	6	4, 5	4	3.4	3.2	3.1	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	0.0	3.7	14.8	18.5	63.0	3.0	3.2		3.1
住文化論	10	7	70.00	3	1, 5	8	4.7	4.9	4.4	4.9	4.3	4.4	4.6	4.9	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	4.4	4.4		4.7
デザイン基礎・平面Ⅰ（映像メディア表現を含む）	46	36	78.30	6	1	4	4.6	4.6	4.5	4.5	4.3	4.6	4.5	4.5	5.6	13.9	11.1	19.4	50.0	4.2	4.4	3.8	4.6
教職概論	39	36	92.30	5	4	2, 5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.4	3.9	3.7	8.3	5.6	19.4	16.7	50.0	3.9	3.9	3.8	4.0
有機化学Ⅱ	32	32	100.00	6	5	4, 5	3.4	2.8	2.9	2.8	2.8	3.4	2.3	2.7	0.0	3.1	18.8	37.5	40.6	2.4	2.7	3.0	2.6
臨床栄養指導論Ⅰ	38	26	68.40	6	4	4	3.8	3.7	3.8	3.6	3.6	3.9	3.7	3.8	8.0	12.0	32.0	16.0	32.0	3.7	3.9	3.3	3.8
教職概論	22	18	81.80	6	1, 5	8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.6	4.6	3.9	3.6	0.0	0.0	16.7	38.9	44.4	3.7	4.2	3.8	4.2
彫刻Ⅰ	14	8	57.10	1	5	8	3.8	3.5	3.5	3.3	3.3	3.9	2.9	3.3	25.0	0.0	12.5	37.5	25.0	3.3	3.5	2.0	4.0
グラスアートⅢ	11	9	81.80	1	2, 3, 4	5	4.7	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8	4.9	4.8	11.1	22.2	22.2	0.0	44.4	4.9	4.9	5.0	4.9
心理学Ⅰ	27	26	96.30	1	5	2	4.2	4.0	4.0	3.8	3.7	4.4	4.2	3.7	3.8	0.0	11.5	7.7	76.9	4.2	4.2	3.3	4.3
教育原理	16	20	125.00	6	4, 5	1	3.9	3.7	3.6	3.7	3.3	3.7	3.4	2.7	0.0	5.0	10.0	20.0	65.0	3.1	3.6		3.8
生徒指導の理論と方法B	10	9	90.00	6	4, 5, 8	8	3.4	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	3.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3.1	3.2		3.2
心理学Ⅰ	10	7	70.00	1	3, 7	3, 5, 8	4.3	4.3	4.0	4.0	3.9	4.4	4.1	4.0	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	3.9	4.1	4.5	4.3
美術史Ⅰ	42	40	95.20	1	1, 3, 4, 5	5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.9	4.8	4.7	10.0	22.5	22.5	35.0	10.0	4.6	4.6	3.8	4.8
心理学Ⅰ	14	11	78.60	1	2	8	4.1	4.0	3.8	3.7	3.8	4.1	3.9	3.7	9.1	18.2	9.1	36.4	27.3	4.1	4.0	4.5	4.1
被服学	31	15	48.40	5, 7	1, 2, 5	5	3.7	3.7	3.5	3.4	3.2	3.5	3.1	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3	3.1	3.8	4.0	3.1
生化学Ⅱ	35	31	88.60	6	4	5	4.1	3.1	3.5	3.5	3.3	4.1	3.5	3.5	6.5	6.5	25.8	32.3	29.0	3.4	3.5	3.6	3.9
臨床医学概論Ⅰ	46	36	78.30	6	4	8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.8	3.5	11.4	5.7	17.1	25.7	40.0	3.8	3.9	5.0	3.9
被服学	11	9	81.80	6	1	.....	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3	4.6	4.4	4.3	33.3	11.1	0.0	11.1	44.4	4.1	4.3	4.3	4.3
デザイン基礎・立体Ⅰ	47	36	76.60	6	4, 5	5	3.9	4.1	4.0	3.7	3.8	3.9	3.8	3.6	16.7	16.7	16.7	11.1	38.9	3.8	3.9	3.9	4.0
英語Ⅰ	48	45	93.80	6	5	8	3.6	3.3	3.2	3.0	3.0	4.0	3.3	3.7	2.3	4.5	25.0	43.2	25.0	3.6	3.7	3.0	3.3
給食管理学	51	45	88.20	6	4	4	4.0	3.4	3.6	3.5	3.3	3.6	3.3	3.3	2.2	6.7	40.0	35.6	15.6	3.4	3.5	3.5	3.4
スタートアップソーイング	11	10	90.90	6	1	4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.3	4.7	30.0	20.0	10.0	0.0	40.0	4.3	4.5	4.0	4.6
工芸基礎Ⅰ（プロダクト制作を含む）	20	20	100.00	1	1	5	4.8	4.7	4.7	4.6	4.4	4.9	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0	25.0	65.0	4.6	4.7		4.9
工芸基礎Ⅰ（プロダクト制作を含む）	16	12	75.00	6	1, 6	5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.6	4.8	4.6	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	4.5	4.5	1.0	4.8
視覚デザインⅠ	18	10	55.60	1	4	2, 5	4.3	4.4	4.1	3.9	3.9	4.4	4.2	4.0	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0	4.2	4.4		4.6
家政学原論	45	43	95.60	6	5	4	4.2	4.2	4.1	3.9	4.0	4.3	4.1	4.0	0.0	9.3	18.6	18.6	53.5	4.3	4.3	3.8	4.3
キャリア開発Ⅱ	31	30	96.80	6	5	4	4.1	3.6	3.7	3.4	3.3	3.6	3.3	3.3	3.3	3.3	20.0	20.0	53.3	3.1	3.4	3.0	3.5
生化学実験	35	33	94.30	6	4	5	3.9	3.6	3.7	3.8	3.8	4.1	4.1	4.1	6.3	25.0	15.6	28.1	25.0	4.0	4.0	4.0	4.1
地域栄養活動演習Ⅰ	32	27	84.40	6	4	4, 5	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.6	4.3	4.2	0.0	3.8	3.8	15.4	76.9	4.3	4.4		4.2
英語Ⅰ	10	10	100.00	6	1	5, 8	4.0	4.1	4.1	4.1	3.9	4.4	4.3	4.4	11.1	33.3	11.1	11.1	33.3	4.4	4.4	3.5	4.3
仏語Ⅰ	28	24	85.70	1, 7	5	2	4.0	3.7	3.8	3.9	3.8	4.5	4.3	4.5	4.3	8.7	26.1	21.7	39.1	3.8	4.4	3.0	4.5
栄養管理論	33	33	100.00	6	4	4	3.9	3.3	3.5	3.4	3.4	3.6	3.3	3.2	6.1	6.1	18.2	33.3	36.4	3.0	3.4	3.0	3.4
公衆栄養学実習	37	30	81.10	6	4	4	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.2	4.0	4.0	0.0	10.3	20.7	13.8	55.2	3.9	4.2	2.5	4.0
キャリア開発Ⅱ	11	8	72.70	7	5	1, 4, 7	3.9	3.8	3.9	3.6	3.1	3.8	3.6	3.3	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	3.6	3.6		3.8
英会話Ⅰ	21	18	85.70	6	5	1	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	4.6	4.1	4.6	0.0	5.6	16.7	22.2	55.6	3.9	4.4	4.1	4.2
キャリア開発Ⅰ	22	22	100.00	6	4	1, 5	4.7	4.4	4.5	4.2	4.0	4.6	4.7	4.8	0.0	13.6	36.4	45.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.8
微生物学	32	31	96.90	6	5	4	3.7	3.4	3.4	3.4	3.2	3.9	3.2	3.0	3.2	0.0	12.9	19.4	64.5	2.9	3.5		3.3
社会学Ⅰ	27	24	88.90	1	5	8	3.5	3.4	3.6	3.3	3.3	3.8	3.5	3.0	4.2	4.2	4.2	12.5	75.0	3.9	3.9	2.3	3.8
化学Ⅰ	10	20	200.00	1	2	1, 4, 7, 8	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	4.4	4.2	4.2	15.0	10.0	15.0	5.0	55.0	4.0	4.2	3.8	4.3
キャリア開発Ⅰ	21	20	95.20	6	4	2, 3, 5	4.8	4.1	4.5	4.3	4.1	4.8	4.6	4.6	5.0	5.0	55.0	25.0	10.0	4.7	4.4	4.5	4.7
英会話Ⅰ	25	19	76.00	6	5	2, 8	4.2	3.9	3.6	3.3	3.5	4.2	3.9	4.5	5.6	5.6	11.1	11.1	66.7	3.8	3.9	3.9	3.9
情報基礎学	20	18	90.00	1	2, 5	1, 5	4.4	4.1	4.2	4.1	3.9	4.0	4.0	3.7	0.0	0.0	16.7	11.1	72.2	3.7	4.1		4.1
家政学原論	10	9	90.00	6	2	3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	22.2	22.2	11.1	11.1	33.3	4.1	4.1	4.0	4.2
家政学原論	45	36	80.00	6	5	5	3.8	4.0	3.9	3.8	3.9	4.2	3.9	3.8	0.0	13.9	19.4	19.4	47.2	3.9	4.2	3.0	4.1
食品学総論	35	35	100.00	6	4	4, 5	4.0	3.7	3.8	3.6	3.6	3.9	3.7	3.7	5.7	2.9	28.6	25.7	37.1	3.5	3.9	3.7	3.7
公衆栄養学	37	27	73.00	6	5	4	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	4.0	4.1	0.0	3.8	34.6	23.1	38.5	4.0	4.1	3.0	4.0
絵画基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む）	46	35	76.10	6	1, 4	4	4.2	4.3	3.9	4.1	3.9	3.6	3.9	3.8	11.4	14.3	22.9	5.7	45.7	3.6	4.1	4.3	4.1
木工Ⅰ	10	9	90.00	1	4	1	4.9	4.8	4.9	4.2	4.1	4.7	4.6	4.3	0.0	12.5	12.5	0.0	75.0	4.1	4.8		4.9

東北生活文化大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
視覚デザインⅢ	14	13	92.90	1	4	3, 5	4.2	4.2	4.5	4.4	4.2	4.6	4.5	4.5	15.4	15.4	0.0	30.8	38.5	4.3	4.5		4.7
化学Ⅱ	48	47	97.90	6	4	5	4.6	3.9	4.1	4.0	4.0	4.5	4.3	4.2	8.7	15.2	30.4	37.0	8.7	4.2	4.3	4.0	4.5
応用栄養学Ⅰ	33	32	97.00	6	4	1	4.2	3.7	3.8	3.6	3.6	3.8	3.6	3.5	9.4	9.4	15.6	34.4	31.3	3.1	3.6	2.0	3.7
食品衛生学	38	28	73.70	6	5	4	3.6	3.5	3.5	3.3	3.5	3.8	3.4	3.4	0.0	7.1	21.4	14.3	57.1	3.5	3.6	4.0	3.5
運動生理学	35	31	88.60	6	4	4	3.5	3.3	3.4	3.0	3.0	3.8	3.1	3.6	6.5	0.0	6.5	29.0	58.1	2.6	3.5	3.3	3.4
調理科学実験	36	32	88.90	6	4	1, 4, 8	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4	3.8	3.2	3.4	12.9	12.9	29.0	29.0	16.1	3.4	3.5	3.5	3.4
哲学Ⅰ	26	20	76.90	1	5	2	4.0	3.8	3.8	3.9	3.5	4.2	4.1	3.4	20.0	10.0	10.0	20.0	40.0	3.8	4.1	3.8	4.1
英語Ⅰ	28	21	75.00	5	2, 5	2	4.1	4.1	4.0	3.9	3.8	4.2	4.0	4.2	0.0	9.5	14.3	52.4	23.8	4.2	4.3	1.0	4.3
情報基礎学	15	16	106.70	6	2, 7	5	4.1	3.7	4.0	3.3	3.3	3.5	3.3	2.6	6.3	6.3	6.3	12.5	68.8	3.9	4.1	4.0	3.8
日本語基礎	50	42	84.00	5	5	8	4.1	3.8	4.0	3.7	3.7	4.1	3.8	3.6	4.8	11.9	35.7	28.6	19.0	3.9	3.9	4.0	4.0
教育心理学	17	28	164.70	6	5	5	4.1	4.1	4.0	3.8	3.7	4.0	4.0	3.3	0.0	7.1	10.7	10.7	71.4	3.7	4.1	4.0	4.0
日本語基礎	20	12	60.00	5	1	2	4.2	4.3	4.5	4.1	4.1	4.6	4.5	4.5	16.7	16.7	41.7	25.0	0.0	4.3	4.6	5.0	4.4
日本国憲法	44	38	86.40	6	7	5	3.4	2.9	3.0	2.7	2.8	3.7	2.9	2.6	0.0	2.6	10.5	15.8	71.1	3.3	3.7	3.1	3.0
学校食育概論	10	9	90.00	4, 5, 6	4	8	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	4.7	4.6	4.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	4.4	4.4		4.6
日本国憲法	11	6	54.50	6	3, 4, 6, 7	2	3.0	3.2	3.2	3.0	3.0	4.0	3.3	3.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	3.5	3.5	4.0	3.0
日本国憲法	45	30	66.70	6	2, 5	2	3.5	3.5	3.4	3.0	2.8	4.0	3.5	2.9	0.0	10.0	13.3	0.0	76.7	4.0	3.9	3.8	3.7
アパレルCADⅠ	10	8	80.00	6	1	5	4.8	4.1	4.5	4.5	4.1	4.3	4.1	4.3	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5	4.1	4.3		4.6
生活美術特別講義Ⅰ	42	37	88.10	1	5, 7	5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.2	3.7	4.1	8.3	2.8	11.1	16.7	61.1	4.0	4.0	3.0	4.5
生活美術特別講義Ⅱ	47	31	66.00	1	4	5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	5.0	4.8	4.7	3.6	0.0	7.1	3.6	85.7	4.8	4.7	1.0	4.9
生活美術特別講義Ⅲ	25	14	56.00	1	5	7, 8	4.3	4.5	4.4	4.5	4.4	4.9	4.7	4.6	7.1	0.0	21.4	0.0	71.4	4.4	4.4		4.8
生活美術特別講義Ⅴ	20	13	65.00	1	5	3	4.4	4.1	4.3	4.2	4.2	4.5	4.1	4.3	0.0	0.0	0.0	22.2	77.8	3.9	4.2	5.0	4.3
中国語	14	13	92.90	1	2, 5	5	4.5	4.2	4.4	4.3	4.3	4.6	4.5	4.7	23.1	0.0	38.5	15.4	23.1	4.6	4.6	5.0	4.5

東北生活文化短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
数学基礎演習	29	28	96.60	6	5	8	4.1	3.9	3.8	3.8	3.8	4.2	4.1	3.9	10.7	10.7	14.3	7.1	57.1	3.7	4.2	3.5	4.0
食品衛生学実験Ⅰ	30	28	93.30	6	5	4	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	4.2	3.7	3.8	7.4	11.1	14.8	22.2	44.4	3.9	4.1	3.7	4.1
保育内容(健康Ⅰ)A	31	28	90.30	6	4	5	4.3	4.6	4.4	4.2	3.9	4.9	4.7	4.6	3.7	11.1	11.1	7.4	66.7	4.2	4.6	3.7	4.6
保育内容(人間関係Ⅰ)B	31	30	96.80	6	4	1, 5	4.2	4.3	3.9	3.7	3.5	4.3	4.2	4.1	3.3	6.7	0.0	10.0	80.0	4.3	4.2	4.0	4.2
発達心理学Ⅱ	41	34	82.90	6	5	4	3.9	3.9	3.9	3.7	3.6	3.9	3.9	3.6	3.1	12.5	12.5	15.6	56.3	3.8	3.9	3.5	4.0
調理科学論	29	29	100.00	6	4	4	4.3	4.1	4.2	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1	14.3	10.7	0.0	25.0	50.0	4.3	4.1	4.3	4.3
保育内容(健康Ⅰ)B	31	30	96.80	6	4	5	4.5	4.5	4.3	4.0	3.7	4.8	4.6	4.5	6.7	6.7	6.7	3.3	76.7	4.2	4.3	4.5	4.5
保育内容(人間関係Ⅰ)	31	27	87.10	6	5	5	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4	3.8	3.5	3.4	0.0	3.7	14.8	3.7	77.8	3.3	3.6	3.7	3.7
微生物学	29	29	100.00	6	2, 4, 6	4	3.9	3.5	3.6	3.4	3.5	3.8	3.4	3.4	10.3	0.0	24.1	6.9	58.6	3.3	3.7	3.8	3.5
生活文化概論(子)	62	48	77.40	6	5	4	3.6	3.6	3.4	3.3	3.1	3.4	3.3	2.9	2.2	4.3	10.9	13.0	69.6	3.4	3.3	1.7	3.3
社会的養護内容	41	37	90.20	6	5	4	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	4.1	4.1	3.9	2.9	20.0	11.4	14.3	51.4	3.9	4.0	3.8	4.1
生活文化概論(食)	29	20	69.00	6	5	8	3.4	3.1	3.3	3.0	2.7	3.1	3.1	2.9	5.3	5.3	0.0	0.0	89.5	3.1	3.3	4.0	3.1
ライフステージ栄養学実習Ⅱ	30	25	83.30	6	4	4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	8.0	12.0	12.0	12.0	56.0	4.1	4.3	4.0	4.3
生物と生命倫理(子)	12	8	66.70	2	5	1	4.1	4.0	3.4	3.5	2.9	4.4	3.8	3.1	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	2.5	3.4		3.6
生物と生命倫理(食)	28	26	92.90	6	7	8	3.8	3.7	3.5	3.3	3.1	4.2	3.9	3.5	8.0	4.0	12.0	8.0	68.0	3.3	3.8	3.3	3.9
スタディスキルズ(子)	62	56	90.30	6	5	4	4.0	4.2	4.0	3.7	3.7	4.2	4.0	3.9	7.1	16.1	10.7	3.6	62.5	3.9	4.0	3.5	4.1
スタディスキルズ(食)	29	28	96.60	6	5	7	3.7	3.7	3.8	3.4	3.6	3.9	3.7	3.7	3.6	10.7	14.3	7.1	64.3	3.7	3.7	3.8	3.8
栄養指導論実習	29	25	86.20	6	4	1, 4	4.0	4.1	4.1	3.8	3.8	4.2	3.9	4.1	4.0	0.0	12.0	24.0	60.0	4.0	4.1		4.3
英語Ⅰ	62	56	90.30	6	5	4	4.1	4.1	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	10.7	14.3	5.4	8.9	60.7	3.9	4.0	3.9	4.0
テーブルコーディネートⅠ(テーブルマナーを含む)	19	19	100.00	1	4, 5	3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.5	4.3	4.2	5.3	10.5	15.8	15.8	52.6	3.9	3.9	4.0	4.3
児童家庭福祉論	62	59	95.20	6	5	4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.4	4.4	3.9	7.0	5.3	5.3	19.3	63.2	4.3	4.3	4.5	4.4
相談援助	41	32	78.00	6	5	4	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.0	4.0	3.8	3.2	12.9	9.7	19.4	54.8	3.9	3.9	3.7	4.1
健康スポーツⅠ	29	29	100.00	6	1, 8	2, 6, 8	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	4.4	4.3	4.2	6.9	6.9	13.8	10.3	62.1	4.2	4.3	4.5	4.3
栄養指導論Ⅱ	30	27	90.00	6	4	4	4.0	3.9	4.0	3.8	3.9	4.3	4.0	4.0	0.0	14.8	11.1	25.9	48.1	4.0	4.1	4.5	4.1
教育原理	62	56	90.30	6	5	4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	4.1	4.0	3.9	8.9	16.1	10.7	3.6	60.7	4.0	3.9	3.8	4.2
保育の実技と演習	20	20	100.00	6	5	2, 4	3.8	4.0	4.1	3.8	3.8	4.0	4.1	4.1	0.0	15.0	20.0	15.0	50.0	3.9	4.0	3.5	4.1
ピアノⅢ(グループ6)	4	4	100.00	6	2	7	4.5	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.8	4.8	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	4.0	4.8		4.8
ピアノⅢ(グループ7)	4	3	75.00	6	5	4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	4.0	4.0		4.0
調理学実習Ⅰ	29	29	100.00	6	4	5	4.6	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.3	6.9	10.3	17.2	10.3	55.2	4.3	4.1	4.3	4.5
臨床栄養学概論	30	29	96.70	6	4	4	4.0	3.8	3.8	3.6	3.5	4.2	4.0	3.9	0.0	3.4	6.9	37.9	51.7	3.8	4.1	3.5	4.2
教育・保育方法論	31	27	87.10	6	4	4	4.1	3.7	3.7	3.6	3.3	3.9	3.7	3.1	3.7	0.0	11.1	14.8	70.4	3.9	3.6	4.5	4.1
ピアノⅢ(グループ4)	4	3	75.00	6	4	5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	4.3	4.3	4.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0		4.0		4.3
ピアノⅢ(グループ5)	4	3	75.00	6	4	5	4.3	4.3	4.0	3.7	4.0	4.0	3.7	4.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	3.3	3.7		3.7
公衆衛生学	30	28	93.30	6	4, 5	4	3.7	3.5	3.7	3.4	3.4	4.2	3.5	3.4	3.7	3.7	7.4	11.1	74.1	3.6	4.0	4.0	3.8
健康スポーツⅠA	31	24	77.40	6	5	4	4.4	4.6	4.5	4.3	4.3	4.9	4.9	4.6	13.6	4.5	13.6	4.5	63.6	3.0	4.4		4.6
情報処理ⅠB	31	28	90.30	6	4	4	4.2	3.9	3.9	3.6	3.5	3.7	3.8	3.0	3.6	3.6	3.6	3.6	85.7	3.7	4.1	2.9	3.9
保育内容(環境Ⅱ)	30	27	90.00	1	2, 5	4	4.1	4.2	4.1	4.0	3.9	4.2	4.2	4.3	3.8	15.4	7.7	23.1	50.0	4.1	4.1	3.7	4.3
食品学実験Ⅰ	29	29	100.00	6	4	4	4.2	3.9	4.0	3.9	3.9	4.5	4.1	4.1	13.8	6.9	17.2	17.2	44.8	4.1	4.2	3.5	4.4
給食管理実習Ⅱ	30	29	96.70	6	4, 5	4	4.6	4.3	4.6	4.5	4.4	4.6	4.4	4.5	3.6	10.7	10.7	25.0	50.0	4.2	4.4		4.6
情報処理ⅠA	31	27	87.10	6	5	4	4.0	3.8	4.0	3.8	3.8	3.6	3.7	3.4	0.0	14.8	18.5	3.7	63.0	3.6	3.7	3.4	3.8
健康スポーツⅠB	31	28	90.30	6	1, 4	5	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.8	4.7	4.7	7.4	0.0	7.4	11.1	74.1		4.4		4.7
保育内容(言葉Ⅱ)	29	27	93.10	6	5	4	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.9	3.7	3.8	30.8	15.4	3.8	46.2	3.8	3.8	4.0	3.9
ピアノⅠ(グループ1)	4	4	100.00	6	5	4	4.3	4.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.3	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0		4.0		4.0
造形ⅠB	30	28	93.30	6	4	4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.3	4.2	4.2	10.7	3.6	3.6	3.6	78.6	4.3	4.3		4.4
教育・保育課程論	41	38	92.70	6	4	5	3.3	3.3	3.4	3.2	3.2	3.5	3.3	3.2	2.7	8.1	18.9	16.2	54.1	3.3	3.4	3.3	3.4
ピアノⅠ(グループ2)	4	3	75.00	6	5	4	3.7	3.7	3.7	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	4.0	3.7		3.0
ピアノⅠ(グループ3)	4	4	100.00	6	5	4	4.8	4.8	4.8	4.5	4.5	4.8	5.0	4.8	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	4.5	4.8	5.0	4.8
食品学	29	28	96.60	6	4	5	4.1	3.8	4.0	3.9	3.6	4.3	4.1	4.1	3.6	10.7	7.1	32.1	46.4	4.4	4.3	5.0	4.3
ピアノⅠ(グループ8)	4	4	100.00	1	2, 4, 5	3	4.8	4.8	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0		5.0		5.0
造形ⅠA	31	27	87.10	6	5	4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.0	24.0	12.0	0.0	60.0	4.2	4.2	4.0	4.3
子どもの食と栄養Ⅰ	41		0.00																				
ピアノⅠ(グループ9)	4	4	100.00	6	1, 5	4	4.3	3.8	3.8	4.0	3.5	4.0	4.0	3.8	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	3.8	4.0		3.8
ピアノⅠ(グループ10)	4	4	100.00	6	4, 5	4	4.8	4.8	4.5	4.8	4.3	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	4.0	4.5		4.8
社会学(食)	21	19	90.50	5	7	8	3.6	3.3	3.4	3.1	3.1	3.5	3.3	3.2	5.3	15.8	5.3	5.3	68.4	3.4	3.5	4.0	3.6
病理学	30	29	96.70	6	5	4	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	6.9	6.9	3.4	20.7	62.1	4.0	4.3	5.0	4.2
心理学(子)	29	21	72.40	1	5	2	4.2	4.2	4.3	4.0	4.0	4.4	4.1	3.8	0.0	14.3	4.8	4.8	76.2	4.1	4.1		4.2
心理学(食)	17	17	100.00	1	5	1, 2	3.9	3.8	3.5	3.8	3.6	4.0	3.9	3.5	5.9	5.9	11.8	5.9	70.6	3.8	3.6		3.9
教育・保育方法論A	31	26	83.90	6	2, 5	5	3.9	3.7	3.7	3.3	3.2	3.7	3.3	3.5	0.0	3.8	30.8	7.7	57.7	3.4	3.8	3.0	3.7
給食管理実習Ⅰ	29	29	100.00	6	4	3, 8	4.2	4.1	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	10.3	10.3	0.0	17.2	62.1	4.0	4.2	4.0	4.4
調理学実習Ⅲ	30	26	86.70	6	5	4	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	7.7	15.4	3.8	34.6	38.5	4.4	4.4	5.0	4.5
乳児保育ⅠA	31	28	90.30	6	5	4	4.1	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	3.7	18.5	7.4	14.8	55.6	4.1	4.0	3.5	4.1
音楽ⅠB	31	30	96.80	6	4	4	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.1	3.9	3.8	6.9	3.4	3.4	24.1	62.1	3.9	4.0	3.0	4.1
保育内容の指導法	41	38	92.70	6	4	4	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	4.1	4.1	4.0	0.0	10.8	16.2	10.8	62.2	4.0	4.0	3.6	4.3
給食管理学	29	27	93.10	6	4	5	3.9	3.7	3.8	3.8	3.7	4.1	3.8	3.9	7.4	3.7	7.4	7.4	74.1	3.9	3.9	4.0	4.0
フードマネジメント	20	20	100.00	1, 4	5	4	4.0	3.7	3.7	3.6	3.5	4.3	3.6	3.7	0.0	5.0	5.0	10.0	80.0	3.8	4.0	3.7	3.9
音楽ⅠA	31	28	90.30	6	5	4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.2	3.9	4.1	7.1	10.7	14.3	7.1	60.7	4.0	4.1	5.0	4.3
乳児保育ⅠB	31	27	87.10	6	4	4	4.4	4.4	4.4	4.2	3.9	4.4	4.4	4.3	7.4	3.7	0.0	11.1	77.8	4.2	4.2		4.4
食生活支援論Ⅰ	17	17	100.00	1	4	1	3.9	3.5	3.8	3.8	3.3	3.7	3.4	3.4	5.9	0.0	11.8	17.6	64.7	3.4	3.7	5.0	3.5
保育原理	62	59	95.20	6	4	4	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	4.2	4.2	3.9	10.3	8.6	8.6	13.8	58.6	4.3	4.1	3.7	4.3
ピアノⅢ(グループ8)	5	4	80.00	6	4	4, 5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	4.0	4.0		4.0
ピアノⅢ(グループ9)	4	4	100.00	6	4	2, 4, 5, 8	4.5	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3	4.3	4.5	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	4.3	4.5		4.5
ピアノⅢ(グループ10)	4	4	100.00	6	4	5	4.3	4.0	4.0	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	4.0	4.0		4.3
栄養学Ⅰ	30	28	93.30	6	4	5	4.1	3.6	3.8	3.9	3.7	4.3	3.9	4.1	10.7	7.1	7.1	35.7	39.3	4.0	4.1	4.3	4.2
社会福祉論	62	56	90.30	6	5	4	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.1	7.3	14.5	10.9	5.5	61.8	4.2	4.1	3.6	4.3
ピアノⅢ(グループ1)	4	4	100.00	6	5	4	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	4.0	4.0		4.0
保育の実技と演習B	21	21	100.00	6	4	4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.0	0.0	20.0	15.0	5.0	60.0	4.1	4.1	3.4	4.1
ピアノⅢ(グループ2)	4	3	75.00	1	2	1, 3, 4	4.0	3.7	4.3	4.0	3.3	4.0	4.0	4.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	4.0	4.0		4.3
ピアノⅢ(グループ3)	4	2	50.00	6	4, 7	2	3.5	4.0	4.0	3.5	3.5	4.5	4.5	4.5	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	3.5	4.0		4.0
英語Ⅰ	28	25	89.30	6	5	6	3.7	3.6	3.6	3.2	3.3	3.6	3.5	3.4	8.0	0.0	8.0	12.0	72.0	3.6	3.6		3.5
ピアノⅠ(グループ4)	4	3	75.00	6	4, 5, 7	4, 6, 8	4.7	4.7	4.7	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0		4.3		4.7
保育内容総論B	31	30	96.80	6	4	4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.6	10.0	6.7	6.7	10.0	66.7	4.4	4.5	4.6	4.7
障害児保育Ⅰ	41	39	95.10	6	5	4	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.6	2.7	18.9	16.2	10.8	51.4	3.7	3.8	3.7	3.8
ピアノⅠ(グループ5)	5	5	100.00	6	1, 3, 4, 6, 8		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	4.2	4.2		4.2
ピアノⅠ(グループ7)	5	5	100.00	6	5	4	4.8	5.0	4.8	4.8	4.6	5.0	5.0	5.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	4.6	5.0		5.0
有機化学	29	22	75.90	6	5	3, 4, 8	4.3	3.9	4.0	4.1	4.1	4.6	4.3	4.2	9.1	4.5	0.0	22.7	63.6	4.2	4.3	5.0	4.4
食品衛生学	30	27	90.00	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	4.3	3.8	3.9	0.0	11.1	11.1	14.8	63.0	3.8	4.1	4.0	4.0
保育内容総論A	31	27	87.10	6	5	4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	4.6	4.6	4.3	18.5	11.1	3.7	18.5	48.1	4.5	4.4	4.5	4.6
ピアノⅠ(グループ11)	5	5	100.00	6	4	5, 6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.4	4.8	4.8	5.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0		4.6		4.6
教育・保育相談	41	38	92.70	6	5	4	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	4.0	3.6	3.7	2.9	17.1	11.4	8.6	60.0	3.6	3.7	3.9	4.5
ピアノⅠ(グループ12)	5	5	100.00	6	6	4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8		4.8
ピアノⅠ(グループ14)	5	4	80.00	6	4, 5, 6	5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	3.5	3.5	3.0	3.5
情報処理Ⅰ	28	26	92.90	6	5	8	4.2	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.4	11.5	3.8	0.0	3.8	80.8	3.6	3.8	3.0	3.9
日本国憲法	30	29	96.70	6	5	4, 8	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.8	3.4	3.2	0.0	3.4	10.3	3.4	82.8	3.4	3.5	3.4	3.5
日本語基礎(子)	62	52	83.90	6	5	4	3.8	3.6	3.7	3.5	3.5	3.8	3.5	3.6	5.8	5.8	9.6	19.2	59.6	3.6	3.8	3.0	3.8
日本語基礎(食)	9	8	88.90	5	4, 8	1	3.0	3.3	3.1	3.3	3.1	2.9	3.0	3.3	0.0	0.0	12.5	25.0	62.5	3.0	3.3	1.0	3.3

東日本国際大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
英語ＩＡ	1	36	3600	6	1	1, 3	4.4	4.2	4.2	4.1	4.1	4.5	4.3	4.3	31.4	17.1	14.3	14.3	22.9	4.3	4.5	4.4	4.5
キャリアデザイン	1	93	9300	6	5	3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	30.1	14.0	11.8	8.6	35.5	3.9	4.2	4.3	4.0
ビジネスガイダンス	1	34	3400	1	2	3	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1	4.4	4.3	4.2	26.5	17.6	23.5	17.6	14.7	4.2	4.4	4.4	4.3
日本語ＩＩＡ	1	7	700	1	4	5, 8	4.7	4.9	4.4	4.4	4.3	5.0	4.9	4.7	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6	4.7	4.7	4.8	4.7
経済入門	1	109	10900	6	5	1	3.9	3.6	3.6	3.6	3.4	3.9	3.7	3.3	8.3	11.0	21.1	22.0	37.6	3.9	3.9	3.4	3.9
交通経済	1	79	7900	1	5	3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2	4.1	32.9	16.5	15.2	15.2	20.3	4.4	4.5	3.8	4.4
平和経済A	1	72	7200	6	1	3	4.1	4.0	3.9	3.9	3.8	4.1	4.0	3.7	16.7	30.6	23.6	5.6	23.6	4.1	4.2	3.8	4.1
会計	1	26	2600	1	4	3	4.2	4.0	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1	3.7	36.0	36.0	12.0	8.0	8.0	4.1	4.0	4.2	4.1
経済原論A	1	19	1900	1	3, 4	4, 8	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.6	4.7	4.6	72.2	11.1	5.6	5.6	5.6	4.3	4.2	4.5	4.4
文章理解Ｉ	1	8	800	1	2, 4, 6, 7	8	4.8	4.5	4.1	4.0	4.4	4.5	4.4	4.3	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	4.1	4.4	4.2	4.5
ｽﾎﾟｰﾂｻｰﾋﾞｽ産業論	1		0																				
スポーツ経営学	1		0																				
地域スポーツクラブマネジメント	1		0																				
教育心理学	1	4	400	6	2, 3, 4, 5	5	4.3	4.0	4.3	4.0	3.8	4.0	4.3	4.3	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	4.3	4.3	3.5	4.3
心理学	1	90	9000	1	5	4	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	3.9	3.6	3.8	11.1	15.6	26.7	5.6	41.1	3.6	3.8	3.7	3.8
日本語ＩA(月1 火2)	1	25	2500	1	6	8	4.6	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.4	4.3	36.0	44.0	16.0	4.0	0.0	4.3	4.4	4.0	4.2
日本語ＩA(月2 火1)	1	23	2300	1	2	3	4.5	3.9	3.7	3.7	3.7	4.0	3.9	3.9	21.7	30.4	26.1	13.0	8.7	3.7	3.8	3.1	3.8
日本語ⅢA	1	7	700	1	4	1	5.0	4.6	4.9	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	4.7	4.4	4.2	4.7
中国語ＩA	1	17	1700	5, 6	5, 6	6	4.0	3.3	3.5	3.8	3.5	4.2	4.1	3.9	0.0	0.0	17.6	47.1	35.3	3.9	4.2	5.0	4.2
中国語ＩA	1		0																				
文章理解Ｉ	1	9	900	1	3, 4	8	4.2	4.3	4.1	3.8	3.6	4.1	4.4	4.3	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2	4.1	4.1		4.3
論語を学ぶＩ(木3)	1	63	6300	6	5	5	3.9	3.6	3.8	3.7	3.7	4.3	3.9	3.9	9.5	14.3	19.0	19.0	38.1	4.0	4.1	3.8	4.0
論語を学ぶＩ(木4)	1	52	5200	6	5	8	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	4.0	3.7	3.6	11.5	15.4	15.4	7.7	50.0	3.7	3.8	3.4	3.8
職業意識の形成とキャリアプランニング	1	6	600	1	5	5	4.5	4.2	4.3	4.2	4.5	4.8	4.0	4.3	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7	4.3	4.3	4.0	4.7
福島原発事故と災害復興	1		0																				
スポーツコーチングＩ	1	19	1900	1	2, 3, 4, 5	3	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8	4.7	4.6	42.1	15.8	10.5	5.3	26.3	4.2	4.3	4.5	4.7
社会と人間	1	43	4300	1	2	3	3.9	3.7	3.8	3.7	3.6	3.9	3.8	3.6	19.0	19.0	28.6	7.1	26.2	3.8	3.8	3.5	3.9
グローカル経営	1	123	12300	1	1, 2	3	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.5	4.3	36.1	19.3	11.8	10.1	22.7	4.5	4.4	3.7	4.4
マーケティング	1	79	7900	1	2, 4	3	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	25.6	11.5	15.4	12.8	34.6	4.4	4.4	3.8	4.4
文章理解Ｉ	1	9	900	1	2, 3	2,4,5,6,8	4.8	4.6	4.3	4.7	4.6	4.3	4.3	4.6	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0	3.9	4.4	4.3	4.7
観光学入門	1	61	6100	1	5	8	4.2	4.2	4.1	3.9	3.8	4.5	4.3	4.4	11.7	21.7	16.7	15.0	35.0	4.0	4.2	4.0	4.3
簿記Ｉ(木3)	1	56	5600	6	1, 5	5	4.0	3.9	3.8	3.8	3.7	4.2	4.1	3.7	12.7	10.9	21.8	18.2	36.4	4.0	3.9	3.6	4.1
簿記Ｉ(木4)	1	53	5300	6	5	5	4.2	4.1	4.1	3.9	3.8	4.3	4.3	4.1	7.7	17.3	17.3	21.2	36.5	4.1	4.0	3.8	4.3
簿記Ｉ(再)	1	25	2500	1	3	5, 6	4.4	3.9	4.0	3.8	3.8	4.0	4.1	4.0	32.0	36.0	16.0	12.0	4.0	3.7	4.0	3.7	4.3
ビジネスマネジメント	1	7	700	1	3, 4	5, 7	4.1	4.0	4.3	4.0	4.3	4.7	4.6	4.6	14.3	42.9	0.0	14.3	28.6	3.9	4.1	4.3	4.6
経営戦略	1	35	3500	1	2	3	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	4.1	25.7	11.4	22.9	25.7	14.3	4.2	4.5	4.1	4.4
韓国語ＩA	1	28	2800	6	5	5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.7	4.1	4.1	3.9	7.1	10.7	21.4	28.6	32.1	3.8	4.0	3.3	4.3
教育原理	1	5	500	6	4, 6	8	4.4	3.8	4.2	3.6	3.8	3.4	3.4	3.4	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	3.4	4.0	5.0	3.8
指導要領演習A	1	5	500	3	1	2	3.8	4.2	4.0	3.6	4.4	4.4	3.8	4.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	4.4	4.2		3.8
教育の相談と指導Ｉ(生徒指導論)	1	5	500	6	4	6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.0	4.4	4.4	4.4	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	4.4	4.2	5.0	4.6
教科教育研究Ｉ(公民)	1	8	800	1, 4	3	1	4.5	4.4	4.6	4.6	4.5	4.8	4.4	4.5	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	4.5	4.6	5.0	4.8
特別活動研究	1	5	500	6	2	1,4,6,7,8	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	4.2	4.2	5.0	4.4
コンピュータネットワーク	1	36	3600	1	4	3	4.3	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	3.9	31.4	14.3	22.9	11.4	20.0	3.9	4.3	4.2	4.4
データベース	1	38	3800	1	2, 4	3	4.3	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	3.9	35.1	13.5	18.9	5.4	27.0	3.9	4.1	4.2	3.9
教育課程論	1		0																				
教科教育研究Ｉ(商業)	1	2	200	1, 3	2, 6	1, 3	5.0	4.5	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	5.0	5.0	5.0	5.0
現代教職論	1	9	900	3	1	8	4.4	4.2	4.6	4.3	3.8	4.8	4.7	4.9	11.1	0.0	0.0	55.6	33.3	4.6	4.7		4.8
日本語ＩＩＡ	1	10	1000	1	4	7	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.8	4.6	4.7	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0	4.4	4.3	4.6	4.6
論語素読A	1	8	800	1	1, 2	1, 3	4.9	4.6	4.5	4.3	4.6	4.9	4.8	4.9	50.0	12.5	12.5	0.0	25.0	4.6	4.8	4.8	4.6
文章理解Ｉ	1	33	3300	6	5	5	4.0	4.0	3.9	3.8	3.8	4.1	3.6	3.9	6.1	9.1	18.2	21.2	45.5	3.9	3.8	3.6	3.9
財政	1	39	3900	1	4	5	3.9	3.6	3.5	3.6	3.4	3.8	3.5	3.3	17.9	20.5	20.5	5.1	35.9	3.6	3.8	4.1	3.6
地域経済	1	63	6300	5	5	8	3.7	3.2	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.0	8.6	10.3	24.1	12.1	44.8	3.2	3.6	3.6	3.4
教養力養成講座	1	40	4000	4	5	1	4.3	3.9	4.0	3.9	3.6	4.5	4.3	4.2	7.5	5.0	20.0	22.5	45.0	4.1	4.4	3.5	4.4
地域課題解決学A	1	62	6200	1	5	5	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.4	4.3	4.4	11.3	12.9	12.9	11.3	51.6	4.2	4.2	4.0	4.4
人工知能入門	1		0																				
障害者スポーツ論A	1	69	6900	1	3	3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.1	13.2	10.3	19.1	16.2	41.2	4.1	4.1	4.0	4.2
宇宙と先端技術	1	25	2500	1	3, 5	3, 5	4.3	3.8	4.1	4.0	4.0	4.6	4.3	4.4	16.0	12.0	20.0	32.0	20.0	3.9	4.4	3.5	4.3
情報処理入門	1	122	12200	6	5	5	4.0	3.7	3.8	3.6	3.6	3.9	3.8	3.8	13.3	15.0	19.2	15.8	36.7	3.8	4.0	3.8	3.9
英語ＩＡ	1	19	1900	6	1, 5	8	3.5	3.2	2.8	2.9	2.6	3.6	2.6	2.3	5.3	0.0	10.5	21.1	63.2	2.7	3.5		3.0
英語と多元的言語世界	1	38	3800	1	1	5	4.2	3.7	3.9	3.7	3.5	4.1	3.9	3.8	5.6	11.1	22.2	11.1	50.0	4.0	4.0	4.0	4.1
哲学概論	1	11	1100	1	5	2	3.6	2.7	3.1	3.1	3.0	3.8	2.7	2.5	0.0	9.1	27.3	9.1	54.5	3.0	4.1	3.5	3.5
文章理解Ｉ	1	34	3400	6	2, 8	8	3.0	3.3	3.2	2.7	2.7	2.9	2.7	2.3	2.9	5.9	17.6	20.6	52.9	3.0	3.2	2.7	2.9
スポーツＩA(月4)	1	26	2600	1	2, 7	3, 5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.5	4.4	4.5	30.8	11.5	26.9	3.8	26.9	4.5	4.3	4.1	4.5
スポーツＩA(月5)	1	26	2600	1	1, 4	3, 8	4.4	4.3	4.4	4.3	4.2	4.1	4.1	3.8	19.2	11.5	26.9	7.7	34.6	4.0	4.0	3.8	4.0
スポーツマッサージ	1		0																				
スポーツ科学演習B	1		0																				
災害リスクマネージメントと福島復興・創生	1		0																				
金融	1	45	4500	1	2	3	4.0	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.7	14.0	23.3	18.6	16.3	27.9	3.9	3.9	3.8	4.1
経済情報	1	51	5100	1	4	3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.1	4.4	4.3	4.4	46.0	12.0	18.0	14.0	10.0	4.3	4.5	4.4	4.4
コンピュータ演習ＩＩB(木1)	1	35	3500	6	5	8	3.4	3.1	3.3	3.1	2.9	2.9	2.8	2.8	11.4	8.6	31.4	20.0	28.6	3.0	3.1	2.9	3.1
コンピュータ演習ＩＩB(木2)	1	50	5000	6	5	1	4.1	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.6	3.8	14.3	22.4	20.4	14.3	28.6	3.7	3.9	3.4	4.0
コンピュータ演習ＩＩB(再)	1	57	5700	6	5	1,3,5,6,8	3.7	3.4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.3	3.4	21.1	24.6	19.3	19.3	15.8	3.6	3.6	3.6	3.8
アジア事情	1	61	6100	1	5	3	4.1	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	19.3	8.8	33.3	19.3	19.3	3.9	3.9	3.7	4.0
日本事情	1	82	8200	1	2	5	4.0	3.7	3.7	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7	17.7	17.7	17.7	13.9	32.9	3.6	3.7	3.6	3.7
教科教育研究Ｉ(情報)	1	1	100	3	4	5	5.0	4.0	4.0	4.0	3.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
情報と職業	1		0																				
グローバル市民教育論A	1	13	1300	1	2, 4, 5	8	4.7	4.4	4.5	4.5	4.3	4.8	4.7	4.7	58.3	8.3	0.0	8.3	25.0	4.8	4.8	3.5	4.8
コンピュータ演習ＩA(月4)	1	72	7200	6	5	1	3.9	3.8	3.9	3.7	3.5	3.6	3.6	3.3	13.9	18.1	20.8	15.3	31.9	3.5	3.7	3.6	3.7
コンピュータ演習ＩA(月5)	1	77	7700	6	4, 5	1	4.3	4.2	4.0	3.9	3.8	4.1	4.1	3.7	13.2	23.7	19.7	13.2	30.3	4.1	4.0	3.7	4.2
コミュニケーション	1	90	9000	1	2	3	4.1	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9	3.8	3.5	26.7	14.0	16.3	17.4	25.6	3.6	3.9	3.9	3.7
情報社会と倫理	1	34	3400	1	2	3	4.5	4.1	4.1	4.0	3.9	4.4	4.1	3.6	20.6	17.6	20.6	5.9	35.3	3.9	4.1	4.5	4.4
地域共生研究	1		0																				
公務員試験対策講座ＩA	1	37	3700	4	5	1, 5	3.7	2.8	3.0	2.9	2.8	3.1	3.0	2.4	5.6	8.3	11.1	8.3	66.7	3.4	3.7	3.1	3.2
公務員試験対策講座ＩＩA	1	16	1600	4	5	2	4.5	3.6	3.9	3.8	3.8	4.0	3.4	2.9	12.5	6.3	62.5	6.3	12.5	3.5	4.0	3.7	4.1
政治学	1	27	2700	1	5	3, 5	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.5	4.4	4.5	11.1	18.5	18.5	25.9	25.9	4.4	4.4	3.5	4.4
文章理解Ｉ	1		0																				
法と憲法	1	37	3700	4	5	1	4.1	3.9	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	5.6	2.8	22.2	16.7	52.8	4.2	4.2	4.0	4.3
民商法	1	14	1400	1	5	3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.1	4.8	4.6	4.7	0.0	14.3	14.3	35.7	35.7	4.3	4.5	4.3	4.5
英語ＩA	1		0																				
上級英語ＩA	1		0																				
健康スポーツ論	1	149	14900	1	2	3	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	4.1	4.1	4.0	25.3	19.9	19.2	8.9	26.7	4.1	4.1	3.9	4.2
現代スポーツ論Ｉ	1	65	6500	1	4	5	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	22.2	20.6	15.9	9.5	31.7	4.1	4.2	4.1	4.2
指導のための理論と実際	1		0																				
情報処理演習ＩA	1	39	3900	6	5	5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.9	4.2	4.3	4.0	10.5	7.9	13.2	7.9	60.5	4.2	4.3	4.1	4.4
日本語ＩA	1		0																				
現代社会と福祉Ｉ	1	39	3900	6	4, 5	1	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.7	4.7	4.3	5.1	2.6	17.9	25.6	48.7	4.6	4.6	3.7	4.7
手話入門	1	9	900	1	5	4	4.4	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	22.2	0.0	22.2	0.0	55.6	4.4	4.3	3.0	4.4

東日本国際大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オブション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
スポーツマッサージ	1	46	4600	1	5	5	4.5	4.2	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2	3.9	24.4	8.9	33.3	4.4	28.9	4.0	3.8	3.9	4.0
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1	37	3700	6	5	5	4.0	3.8	3.8	3.8	3.6	4.1	4.0	3.6	5.4	2.7	16.2	29.7	45.9	4.2	4.2	3.7	4.1
ストレスマネージメント論	1		0																				
英語ⅠA	1	27	2700	6	5	8	4.3	4.1	4.0	4.0	3.8	4.1	4.1	4.1	11.1	29.6	11.1	29.6	18.5	3.9	4.2	4.1	4.1
英語ⅠA	1	5	500	6	4, 8	1, 5	3.8	3.0	3.6	3.0	3.0	4.4	3.6	3.2	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	3.6	4.2		3.6
英語ⅠA	1	2	200	6	7	3	4.0	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	4.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	4.0	4.0	3.0	3.0
中国語ⅠA	1	15	1500	6	5	5	4.1	4.0	3.9	3.9	3.7	4.5	4.5	4.5	7.1	0.0	28.6	28.6	35.7	4.2	4.5	4.0	4.5
韓国語ⅠA	1		0																				
人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	1	45	4500	6	4	5	4.0	3.9	3.9	3.9	3.6	4.2	4.1	3.9	6.7	13.3	13.3	13.3	53.3	4.1	4.1	3.8	4.2
生命倫理学Ⅰ	1	50	5000	6	5	4, 5	4.2	4.0	4.0	3.9	3.7	4.0	4.2	3.8	8.2	14.3	20.4	16.3	40.8	4.0	4.2	4.1	4.3
スポーツ科学演習B	1	78	7800	1	4	5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.4	4.2	4.2	20.5	11.5	9.0	12.8	46.2	4.2	4.3	4.0	4.4
スポーツⅠA	1	9	900	1	4	6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.0	4.0	4.4	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5	4.0	4.4	5.0	4.1
公務員試験対策講座ⅠA	1		0																				
福祉環境論	1	47	4700	6	5	4, 5	4.0	4.0	3.9	3.7	3.6	4.0	3.7	3.6	8.5	10.6	12.8	8.5	59.6	3.7	4.0	4.1	4.0
コミュニケーションⅠ	1	16	1600	6	5	1	4.2	4.4	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	12.5	6.3	6.3	12.5	62.5	4.4	4.3	4.5	4.6
心理学理論と心理的支援	1	36	3600	4	5	8	3.7	3.3	3.6	3.4	3.3	3.8	3.3	3.9	2.8	8.3	13.9	19.4	55.6	3.4	3.6	3.4	3.7
セクシュアルヘルス	1	3	300	5	1	10	4.3	4.0	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	4.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	4.0	4.0		4.3
法学	1		0																				
公務員試験対策演習Ⅰ	1		0																				
地域共生研究	1		0																				
哲学概論	1		0																				
健康スポーツ論	1		0																				
スポーツ経営学	1		0																				
コミュニケーションⅠ	1	20	2000	6	1	5, 8	3.9	4.2	3.9	3.5	3.3	3.9	4.2	3.6	0.0	5.0	30.0	10.0	55.0	4.2	4.2	3.5	4.2
英語と多元的言語世界	1		0																				
人間の尊厳と自立	1	7	700	6	5	5	3.9	3.7	3.6	3.6	3.7	3.9	3.6	4.0	0.0	28.6	42.9	0.0	28.6	3.6	4.0	4.0	3.9
社会の理解Ⅰ	1	4	400	6	4	1	3.5	3.3	3.5	3.5	3.5	4.3	3.5	3.8	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	3.5	4.0		4.0
介護の基本ⅠA	1	4	400	1, 4, 6	5	3	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.3	3.0	3.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	2.8	3.3	3.0	3.0
コミュニケーション技術Ⅰ	1	2	200	6	4, 7	4, 5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.5	4.0	4.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	3.5	4.5		4.5
生活支援技術Ⅰ	1	3	300	6	4	3, 5	4.0	4.0	3.7	4.0	3.7	4.3	4.0	4.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	3.7	4.3		4.7
介護過程Ⅰ	1	2	200	6	4, 5	4, 5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.5	4.0	4.5	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	4.0	4.5		4.5
介護総合演習ⅠA	1		0																				
発達と老化の理解Ⅰ	1		0																				
障害の理解Ⅰ	1	3	300	6	4	4, 5, 7	4.0	3.7	3.7	4.0	3.7	4.7	4.3	4.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	4.3	4.7		4.7
こころとからだの仕組みⅠA	1	13	1300	1	1, 4	5	4.2	4.2	3.8	3.8	3.6	4.6	4.3	4.5	0.0	7.7	30.8	23.1	38.5	4.3	4.5	4.5	4.4
相談援助の理論と方法ⅠA	1	45	4500	6	5	4	3.9	3.8	3.8	3.6	3.6	3.9	3.7	3.7	0.0	6.8	22.7	18.2	52.3	3.8	3.9	3.2	3.8
高齢者に対する支援と介護保険制度ⅡA	1	41	4100	6	4	4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.4	3.3	4.9	4.9	24.4	22.0	43.9	3.6	3.7	3.0	3.6
地域福祉の理論と方法Ⅰ	1	54	5400	6	4	4	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.9	3.8	3.6	7.5	9.4	22.6	17.0	43.4	3.7	3.9	3.5	3.8
低所得者に対する支援と生活保護制度	1	50	5000	6	4	4	3.6	3.3	3.3	3.3	3.3	3.7	3.2	3.1	4.1	2.0	14.3	20.4	59.2	3.0	3.7	3.2	3.4
相談援助の理論と方法ⅡA	1	36	3600	6	4	4, 5	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	4.1	4.0	3.8	5.6	8.3	25.0	19.4	41.7	3.9	3.8	3.4	4.0
カウンセリング技術Ⅰ	1	7	700	1	2, 4	4, 5	3.7	3.9	3.9	4.0	3.7	3.6	3.7	3.9	0.0	42.9	28.6	0.0	28.6	3.6	3.4	3.0	3.5
家族関係論Ⅰ	1	9	900	1, 5	4	5	4.6	4.3	4.6	4.4	4.6	4.7	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4	4.6	4.4		4.4
簿記検定3級	1	8	800	1, 3, 4	2	4	4.5	4.5	4.5	4.3	4.1	4.5	4.9	4.6	12.5	25.0	12.5	0.0	50.0	4.4	4.5	4.0	4.5
リハビリテーション論	1	11	1100	1	2	3, 7	4.4	4.7	4.5	4.4	4.0	4.3	4.2	4.1	9.1	9.1	9.1	9.1	63.6	4.2	4.5	4.7	4.5
福祉まちづくり論	1	57	5700	6	4	4	3.9	4.1	4.0	3.8	3.8	4.2	4.2	3.9	12.5	8.9	14.3	17.9	46.4	4.1	4.3	3.9	4.2
精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	1	9	900	6	1, 2	2	4.3	4.3	4.4	4.1	3.8	4.6	4.6	4.6	0.0	11.1	11.1	33.3	44.4	4.7	4.6	4.7	4.9
情報処理演習ⅡA	1	43	4300	6	5	4	3.8	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.1	2.3	9.3	14.0	14.0	60.5	3.2	3.5	4.2	3.4
精神医学Ⅰ	1	11	1100	1	2, 4	5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	27.3	9.1	9.1	9.1	45.5	4.2	4.5	4.0	4.7
日本語ⅡA	1		0																				
障害者スポーツ論A	1		0																				
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	1	50	5000	6	4	4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.6	4.4	4.3	16.3	6.1	16.3	20.4	40.8	4.4	4.4	4.1	4.5
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	1	37	3700	6	5	4, 5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.5	3.2	3.3	2.7	5.4	16.2	18.9	56.8	3.1	3.3	3.6	3.2
精神保健福祉論Ⅰ	1	5	500	1, 6	4	2, 3, 5, 8	4.6	4.2	4.2	4.0	3.8	4.6	4.4	4.8	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	4.0	4.4		5.0
スポーツボランティア	1		0																				
公務員試験対策演習Ⅱ	1		0																				
日本語ⅡA	1		0																				
日本事情	1		0																				
ビジネスガイダンス	1		0																				
現代スポーツ論Ⅰ	1		0																				
地域スポーツクラブマネジメント	1		0																				
地域スポーツ経営論演習	1		0																				
公務員試験対策講座ⅡA	1		0																				
権利擁護と成年後見制度	1	41	4100	1	2	3	4.4	4.1	4.1	4.1	4.0	4.5	4.4	4.3	22.0	7.3	31.7	17.1	22.0	4.3	4.4	4.0	4.6
福祉サービスの組織と経営	1	21	2100	1	4	1, 4	4.2	4.4	4.4	4.1	4.0	4.9	4.4	4.6	9.5	4.8	42.9	28.6	14.3	4.1	4.5	4.2	4.5
小児発達支援論Ⅰ	1	11	1100	1	5	4	4.3	4.2	4.0	3.8	3.6	4.5	4.4	4.7	27.3	9.1	36.4	9.1	18.2	4.4	4.6	4.4	4.5
就労支援サービス	1	27	2700	1	2	4	4.6	4.3	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.4	40.7	14.8	18.5	14.8	11.1	4.4	4.5	4.4	4.6
国家試験対策講義Ⅰ	1	8	800	4	1, 5	5	4.1	4.4	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.1	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	4.4	4.4	5.0	4.5
簿記検定2級	1	1	100	1	4	7	4.0	5.0	5.0	4.0	3.0	4.0	4.0	5.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.0	4.0		5.0
福祉行財政と福祉計画Ⅰ	1	27	2700	1	5	3	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	4.0	3.8	3.8	18.5	14.8	44.4	7.4	14.8	3.8	3.9	4.0	4.0
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	1	16	1600	1	2	3	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	4.2	4.1	4.4	25.0	12.5	43.8	12.5	6.3	4.0	4.2	4.3	4.3
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	1	12	1200	1	4	5	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	3.8	16.7	16.7	33.3	25.0	8.3	4.2	4.1	3.8	4.5
更生保護制度	1	29	2900	6	1, 4	4, 5	3.9	4.0	4.1	4.0	3.9	4.2	4.0	4.0	27.6	17.2	17.2	24.1	13.8	4.2	4.3	4.4	4.4
精神保健学Ⅰ	1	9	900	1, 4	3, 4, 5	1, 4	4.3	4.2	4.1	4.1	3.9	4.2	4.4	3.8	0.0	0.0	55.6	11.1	33.3	4.1	4.1	3.4	4.3
精神科リハビリテーション学Ⅰ	1	5	500	4, 5	1	5	3.6	4.2	4.0	3.8	3.8	3.8	4.2	3.6	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	3.6	3.6	3.4	4.4
保健医療サービス	1	27	2700	1, 4	4	1, 5	4.1	4.0	4.0	3.7	3.8	4.2	4.1	3.7	7.4	14.8	33.3	14.8	29.6	4.0	4.0	3.7	4.2
公務員試験対策演習Ⅲ	1		0																				
キャリアデザイン	1		0																				
指導のための理論と実際	1		0																				
インターンシップ	1		0																				
スポーツサービス産業論	1		0																				
国家試験対策講義Ⅲ	1	13	1300	1	1	4	3.9	3.7	3.7	3.6	3.4	3.8	3.9	3.5	8.3	25.0	25.0	25.0	16.7	3.6	3.8	4.0	3.8
職業意識の形成とキャリアプランニング	1		0																				
論語素読A	1		0																				
臨床心理学	1		0																				
児童心理学	1	22	2200	1, 5	1, 2	7	3.6	3.5	3.6	3.5	3.3	3.7	3.3	3.6	0.0	4.5	50.0	13.6	31.8	3.4	3.5	3.2	3.4
社会学	1	53	5300	6	5	4	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	4.1	4.0	4.0	5.7	9.4	20.8	17.0	47.2	3.9	4.1	4.0	4.0
家族関係論Ⅰ	1		0																				
論語を学ぶⅠ	1		0																				

青森中央学院大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
英語ＩA(食1)	32	28	87.50	6	5	1	4.4	4.2	4.2	3.9	3.8	4.2	3.9	3.8	14.3	0.0	21.4	21.4	42.9	4.1	4.2	5.0	4.3
英語ＩE(幼1)	35	28	80.00	6	5	4	3.8	3.6	3.4	3.5	3.4	3.5	3.0	3.1	0.0	3.6	14.3	10.7	71.4	3.4	3.6	3.0	3.5
基礎調理学実習A	26	26	100.00	6	5	1	4.8	4.5	4.4	4.3	4.0	4.4	4.5	4.5	0.0	11.5	30.8	15.4	42.3	4.2	4.5	3.9	4.6
基礎調理学実習B	28	27	96.40	6	4	1	4.7	4.3	4.3	4.2	3.9	4.3	4.2	4.3	0.0	11.1	7.4	40.7	40.7	4.1	4.4	4.6	4.5
相談援助A	36	34	94.40	6	4, 5	4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	36.4	9.1	6.1	15.2	33.3	4.4	4.5	4.6	4.6
相談援助B	37	37	100.00	6	5	4	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	35.1	5.4	10.8	13.5	35.1	4.5	4.5	4.5	4.7
解剖生理学実験A	30	29	96.70	6	4	4, 5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	17.2	17.2	20.7	24.1	20.7	4.4	4.4	4.3	4.3
解剖生理学実験B	27	26	96.30	6	5	4	4.5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	34.6	11.5	15.4	23.1	15.4	4.5	4.4	4.0	4.5
情報処理演習ＩB(食1)	28	28	100.00	6	7	5	4.4	4.5	4.4	4.0	3.9	4.2	4.1	4.1	3.6	14.3	14.3	10.7	57.1	4.2	4.3	3.8	4.2
情報処理演習ＩD(幼1)	37	31	83.80	6	5	5	4.2	4.5	4.5	4.0	3.8	4.5	4.4	4.3	3.2	3.2	9.7	0.0	83.9	4.3	4.3	3.7	4.3
保育内容研究　健康a A	37	35	94.60	6	4	5	4.3	4.1	4.2	4.0	3.9	4.5	4.1	4.2	2.9	5.7	20.0	14.3	57.1	4.4	4.4	2.7	4.3
保育内容研究　健康a B	35	35	100.00	6	4	4	4.2	4.2	4.3	3.9	3.9	4.5	4.3	4.3	2.9	0.0	11.8	14.7	70.6	4.4	4.6	2.3	4.5
児童文化A	25	20	80.00	6	4	5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	40.0	5.0	10.0	15.0	30.0	4.3	4.6	5.0	4.6
児童文化B	25	25	100.00	6	4	5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.3	4.5	56.0	12.0	4.0	8.0	20.0	4.5	4.6	4.6	4.5
児童文化C	24	21	87.50	6	4	1, 5	4.5	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.1	4.2	28.6	19.0	19.0	0.0	33.3	4.2	4.3	3.8	4.3
生活支援技術Ⅱ	8	8	100.00	6	4	4	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	4.4	4.4	4.0	4.4
栄養指導論Ⅰ	57	54	94.70	6	5	5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2	4.2	29.6	16.7	24.1	18.5	11.1	4.3	4.4	4.0	4.4
音楽表現法ＩａA	25	24	96.00	6	4	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	13.6	22.7	18.2	22.7	22.7	4.6	4.8	5.0	4.9
音楽表現法ＩａB	24	24	100.00	6	5	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	20.8	12.5	41.7	20.8	4.2	4.6	4.7		4.9
音楽表現法ＩａC	23	23	100.00	6	4	4	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9	4.8	4.8	17.4	21.7	17.4	39.1	4.3	4.7	4.8	3.0	4.9
教育総論	71	68	95.80	6	4	4	4.4	4.4	4.5	4.1	4.0	4.6	4.6	3.9	4.4	7.4	7.4	16.2	64.7	4.6	4.7	4.5	4.7
食品衛生学実験A	30	27	90.00	6	4	4	4.6	4.3	4.6	4.4	4.5	4.7	4.6	4.6	22.2	7.4	33.3	25.9	11.1	4.5	4.6	4.5	4.7
食品衛生学実験B	27	24	88.90	6	4	5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.5	50.0	4.2	16.7	16.7	12.5	4.5	4.5	4.3	4.6
乳児保育a A	36	36	100.00	6	4	4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.0	4.6	4.2	4.4	8.3	5.6	13.9	19.4	52.8	4.3	4.4	3.5	4.4
乳児保育a B	35	35	100.00	6	4, 5	4	4.3	4.4	4.4	4.2	4.0	4.7	3.9	4.5	5.9	0.0	8.8	26.5	58.8	3.6	4.4	4.5	4.4
子どもの食と栄養a A	37	31	83.80	6	4, 5	5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.6	4.3	4.2	35.5	9.7	0.0	9.7	45.2	4.3	4.4	4.0	4.3
子どもの食と栄養a B	37	35	94.60	6	5	4	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.4	34.3	2.9	11.4	14.3	37.1	4.5	4.5	4.3	4.6
道徳教育の理解	3	3	100.00	6	4	1	4.7	4.7	4.7	4.7	4.3	4.7	4.3	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.3	4.3		4.3
保育相談支援A	36	37	102.80	6	4	5	4.7	4.5	4.6	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	32.4	10.8	8.1	2.7	45.9	4.6	4.6	4.3	4.5
保育相談支援B	37	36	97.30	6	4	5	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3	25.0	16.7	8.3	11.1	38.9	4.3	4.3	3.6	4.3
医療的ケアⅠ	8	8	100.00	6	4	4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	25.0	25.0	0.0	12.5	37.5	4.4	4.6	4.7	4.6
幼児体育b A	37	35	94.60	6	4, 5	4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.9	4.8	4.8	28.6	8.6	11.4	17.1	34.3	4.7	4.6	4.5	4.8
幼児体育b B	37	35	94.60	6	4	4, 5	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	37.1	5.7	5.7	17.1	34.3	4.7	4.6	4.4	4.8
情報処理演習ＩA(食1)	26	24	92.30	6	5	5	4.6	4.7	4.8	4.4	4.1	4.7	4.8	4.5	0.0	0.0	8.3	20.8	70.8	4.5	4.6	4.0	4.8
情報処理演習ＩC(幼1)	35	32	91.40	6	5	4	4.3	4.6	4.4	4.1	4.0	4.5	4.3	3.8	6.5	3.2	3.2	16.1	71.0	4.3	4.4	4.0	4.4
情報処理演習ⅡA(幼2)	25	25	100.00	6	5	4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.3	4.4	20.8	25.0	0.0	12.5	41.7	4.4	4.4	4.5	4.4
情報処理演習ⅡB(幼2)	25	20	80.00	6	4, 5	3, 4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.3	50.0	0.0	5.0	0.0	45.0	4.3	4.3	3.8	4.4
情報処理演習ⅡC(幼2)	24	27	112.50	6	5	4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	40.7	7.4	3.7	0.0	48.1	4.6	4.6	4.6	4.8
造形表現法A	24	23	95.80	6	4	5	4.3	4.5	4.3	4.1	4.1	4.5	4.4	4.2	0.0	13.0	0.0	4.3	82.6	4.2	4.5	4.7	4.4
造形表現法B	24	24	100.00	6	4	5	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	4.7	4.6	4.7	8.3	0.0	12.5	20.8	58.3	4.5	4.6	4.4	4.8
造形表現法C	23	22	95.70	6	4	1, 5	4.7	4.6	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.7	13.6	0.0	4.5	4.5	77.3	4.3	4.6	4.2	4.7
教師論	2	2	100.00	6	4, 5	1, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	5.0	5.0		5.0
青年心理学	2	2	100.00	6	4, 5	2, 4	4.5	4.5	5.0	5.0	4.5	5.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.5	4.5		4.5
児童家庭福祉	71	69	97.20	6	4	5	4.4	4.3	4.3	4.0	3.8	4.7	4.5	4.0	4.3	2.9	13.0	24.6	55.1	4.2	4.5	4.2	4.6
地球と環境	77	70	90.90	7	5	1	4.5	4.5	4.4	4.2	4.1	4.5	4.6	4.4	10.0	2.9	8.6	17.1	61.4	4.5	4.6	4.8	4.7
日本の文化（茶道）	34	22	64.70	1	5	5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.1	4.5	4.3	4.4	13.6	4.5	18.2	4.5	59.1	4.1	4.3	5.0	4.4
子供の保健ＩａA	36	35	97.20	6	4	5	4.4	4.1	4.0	3.8	3.7	4.5	4.3	4.3	5.7	5.7	11.4	20.0	57.1	4.3	4.5	4.4	4.5
子供の保健ＩａB	35	32	91.40	6	4	1	4.2	3.9	4.0	3.5	3.1	4.7	4.3	4.7	3.1	0.0	9.4	6.3	81.3	4.6	4.6	4.5	4.7
臨床栄養学実習A	30	29	96.70	6	4	5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	44.8	31.0	20.7	0.0	3.4	4.6	4.7	4.5	4.7
臨床栄養学実習B	27	24	88.90	6	4, 5	4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.7	4.6	54.2	4.2	12.5	20.8	8.3	4.5	4.6	4.8	4.7
日本の文化（華道）	51	34	66.70	1, 5	1	5	3.8	4.1	4.2	3.3	3.4	4.0	3.4	3.4	2.9	8.8	5.9	0.0	82.4	3.6	4.0	5.0	3.6
アカデミックスキルズ入門	54	52	96.30	6	5	7	4.2	4.3	4.1	3.6	3.9	4.5	4.4	4.1	3.8	13.5	26.9	28.8	26.9	4.4	4.3	2.9	4.4
保育内容研究　表現a A	36	36	100.00	6	4	4	4.4	4.6	4.5	4.3	4.1	4.5	4.4	4.5	2.8	5.6	11.1	13.9	66.7	4.4	4.4	4.4	4.6
保育内容研究　表現a B	35	35	100.00	6	4	1, 5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.1	4.5	4.4	4.5	8.6	2.9	11.4	17.1	60.0	4.4	4.6	3.8	4.6
給食管理	57	52	91.20	6	4	5	4.3	3.8	4.1	3.9	3.7	4.1	3.6	3.7	5.8	11.5	30.8	15.4	36.5	3.3	3.8	3.9	3.9
教育心理学A	35	34	97.10	6	4, 5	4	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.8	4.6	4.6	35.3	14.7	8.8	20.6	20.6	4.6	4.6	4.7	4.7
教育心理学B	37	37	100.00	6	4, 5	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	43.2	2.7	8.1	13.5	32.4	4.8	4.8	4.8	4.8
保育内容研究　言葉a A	36	34	94.40	6	4	4	4.2	4.3	4.3	4.0	3.8	4.3	4.1	3.7	2.9	2.9	14.7	26.5	52.9	4.3	4.3	3.0	4.2
保育内容研究　言葉a B	35	34	97.10	6	4, 5	4	4.2	4.4	4.4	4.2	4.0	4.5	4.4	4.4	0.0	2.9	11.8	20.6	64.7	4.1	4.6	4.0	4.6
こころとからだのしくみⅠ	8	8	100.00	6	3	5, 7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.6	25.0	25.0	0.0	12.5	37.5	4.5	4.6	4.5	4.6
英語ＩB(食1)	22	18	81.80	6	5	1, 5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.3	4.6	5.6	5.6	11.1	27.8	50.0	4.2	4.4	4.1	4.4
英語ＩF(幼1)	36	32	88.90	6	5	4	4.1	4.1	4.1	3.8	3.7	4.5	4.2	4.7	0.0	0.0	6.3	9.4	84.4	4.2	4.4	5.0	4.3
秘書学概論	24	14	58.30	5	1, 5	1	3.6	3.6	3.9	3.4	3.6	4.3	3.9	3.9	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	4.1	4.2	3.5	3.9
児童サービス論	20	16	80.00	1	4, 5	3, 5	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.9	4.6	4.8	31.3	6.3	18.8	6.3	37.5	4.6	4.6	3.7	4.8
生化学	57	54	94.70	6	4	4	4.4	4.0	4.2	4.1	4.3	4.6	4.4	4.3	37.0	11.1	29.6	16.7	5.6	4.3	4.4	3.4	4.3
応用栄養学	39	39	100.00	6	4	5	4.3	4.0	3.9	3.9	3.8	4.1	3.8	3.8	5.1	15.4	38.5	17.9	23.1	4.1	4.1	3.4	4.3
介護過程Ⅰ	8	5	62.50	6	5	4	3.6	3.8	3.8	3.8	4.0	3.8	3.8	3.8	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	3.8	4.0	4.5	3.6
情報資源の流通と管理	31	29	93.50	1	5	1, 2, 5	3.9	3.7	3.7	3.6	3.6	4.1	3.5	3.5	6.9	0.0	13.8	13.8	65.5	3.7	4.0	4.0	4.0
教育総論	2	2	100.00	6	4, 5	2, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	5.0	5.0		5.0
国際関係論	6	6	100.00	1	2, 5	6	4.5	3.8	4.0	4.0	3.5	4.5	4.3	3.7	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	4.0	4.2	4.0	4.3

仙台青葉学院短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
日本語表現法Ⅰ	89	89	100.00	6	5	1, 4, 7, 8	4.1	4.0	4.0	3.6	3.7	4.2	4.1	4.3	0.0	4.5	12.5	19.3	63.6	4.0	4.0	4.0	4.2
英語Ⅰ	88	87	98.90	6	3, 4, 5	8	4.1	4.0	3.9	3.8	3.5	4.6	4.4	4.5	1.1	5.7	25.3	37.9	29.9	4.0	4.1	4.0	4.3
暮らしの中の法律	88	83	94.30	6	2	8	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	4.1	4.1	3.6	2.4	13.3	12.0	16.9	55.4	3.9	3.8	4.2	4.0
現代の社会	89	89	100.00	6	1	5	4.0	4.0	3.9	3.8	3.6	4.3	4.3	3.8	4.5	4.5	9.0	20.2	61.8	4.2	4.0	4.4	4.2
心理学	86	83	96.50	5, 6	1	6	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	3.7	12.3	18.5	14.8	50.6	3.9	4.2	4.7	4.4
情報処理	88	85	96.60	6	5	1	4.5	4.5	4.6	4.1	4.0	4.5	4.6	4.2	3.5	2.4	3.5	17.6	72.9	4.3	4.6		4.7
自然科学入門	92	91	98.90	6	5	4, 5	3.8	3.4	3.5	3.5	3.5	4.2	3.7	3.8	3.3	7.7	12.1	31.9	45.1	3.7	3.8	4.5	3.8
数理リテラシー	91	89	97.80	6	5	4, 5	4.1	3.7	4.0	3.9	3.7	4.7	4.3	4.4	2.2	6.7	15.7	36.0	39.3	4.1	4.2	4.0	4.3
スポーツ実技	88	85	96.60	1	3	6	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	9.5	4.8	13.1	8.3	64.3	4.1	4.4	4.0	4.5
生命科学と医療倫理	89	88	98.90	6	2	1	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.5	2.3	4.5	15.9	19.3	58.0	3.7	3.7	4.0	3.8
人間関係論	93	92	98.90	6	4	5	3.7	3.4	3.8	3.4	3.4	4.4	3.0	3.2	0.0	4.3	20.7	33.7	41.3	3.2	3.9	4.2	3.5
生活科学	89	86	96.60	6	1, 5	2, 5	3.7	3.8	3.8	3.6	3.7	4.0	3.8	3.5	3.5	11.6	11.6	20.9	52.3	3.9	3.8	4.5	3.9
家族論	93	90	96.80	6	5	1	3.9	3.9	3.9	3.6	3.5	4.2	3.8	3.4	2.2	2.2	9.0	20.2	66.3	3.4	3.8	4.0	3.9
人体構造と機能Ⅰ	93	90	96.80	6	4, 6	4	4.2	3.7	4.0	3.9	3.7	4.5	4.0	4.1	5.6	5.6	14.6	32.6	41.6	3.9	4.1	4.5	4.3
人体構造と機能Ⅱ	93	93	100.00	6	4, 6	1	4.1	3.6	3.9	3.9	3.8	4.2	3.8	3.9	3.2	8.6	26.9	31.2	30.1	3.8	4.0	3.9	4.0
生化学	93	89	95.70	6	4, 5	4	3.5	3.1	3.3	3.2	3.2	3.8	2.9	2.8	3.4	3.4	13.5	24.7	55.1	2.8	3.5	4.5	3.4
微生物学	93	91	97.80	6	5	4	3.8	3.5	3.7	3.6	3.4	4.0	3.6	3.4	2.2	7.8	12.2	27.8	50.0	3.5	3.8	3.6	3.8
病態治療学Ⅳ	89	89	100.00	6	5	8	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4	11.4	17.0	31.8	36.4	3.3	3.5	4.0	3.5
栄養学	89	87	97.80	6	1, 2	4, 5	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	3.5	2.3	12.6	25.3	28.7	31.0	3.9	3.8	4.2	4.0
保健行動学	93	91	97.80	6	5	4, 6	3.7	3.6	3.7	3.5	3.5	4.2	3.5	3.6	3.3	4.4	11.1	28.9	52.2	3.4	3.8	3.8	3.8
公衆衛生学	89	85	95.50	6			3.4	3.1	3.1	3.2	3.1	3.3	2.9	2.9	2.4	8.2	14.1	9.4	65.9	2.8	3.3	4.0	3.2
看護学原論	93	91	97.80	6	5	1, 8	3.9	3.7	3.9	3.6	3.5	4.0	3.6	3.3	2.2	3.3	16.5	27.5	50.5	3.7	3.9	4.0	3.8
看護倫理	93	92	98.90	6	4	5	4.2	3.9	4.1	3.8	3.8	4.2	4.0	4.2	3.3	5.5	17.6	30.8	42.9	4.2	4.0	3.3	4.1
基礎看護技術Ⅰ	93	90	96.80	6	4	1	4.5	4.3	4.3	4.2	3.9	4.6	4.6	4.2	2.2	7.8	18.9	31.1	40.0	4.6	4.4	4.0	4.6
基礎看護技術Ⅱ	93	90	96.80	6	4	1, 6	4.6	4.4	4.5	4.4	4.3	4.5	4.2	4.3	3.3	8.9	18.9	34.4	34.4	4.2	4.2	4.0	4.4
成人看護学援助論Ⅰ	89	88	98.90	6			4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1	2.3	16.1	36.8	34.5	10.3	3.9	4.1	4.0	4.2
老年看護学概論	89	89	100.00	6	1, 2	4, 8	4.1	4.0	4.1	4.0	3.9	4.3	3.9	4.0	4.5	9.0	36.0	31.5	19.1	3.8	4.1	4.0	4.0
老年看護学援助論Ⅰ	89	89	100.00	6	2	5	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	3.7	3.8	3.4	27.3	20.5	33.0	15.9	3.5	3.9	4.0	3.9
小児看護学概論	89	89	100.00	6	1	4, 5	4.4	4.2	4.4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.1	3.4	12.4	42.7	28.1	13.5	4.0	4.1	3.8	4.4
母性看護学概論	89	88	98.90	6	5	2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.6	4.6	6.9	9.2	31.0	28.7	24.1	4.4	4.4	4.3	4.6
母性看護学援助論Ⅰ	89	89	100.00	6	2	5	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	3.9	4.0	2.3	23.0	18.4	29.9	26.4	3.8	4.1	4.0	4.3
精神看護学概論	89	86	96.60	6	5	2	4.0	3.8	3.9	3.9	3.8	4.0	3.8	3.7	3.5	11.6	14.0	25.6	45.3	3.9	3.8	4.0	3.9
看護管理論	93	88	94.60	6			4.2	4.1	4.3	4.0	3.9	4.5	4.3	4.0	2.3	9.3	8.1	22.1	58.1	4.1	4.2	3.5	4.3
在宅看護概論	89	89	100.00	6	1, 4	4, 5	4.3	4.2	4.3	4.2	4.0	4.5	4.3	4.2	5.6	5.6	24.7	34.8	29.2	4.1	4.4	4.3	4.4
在宅看護援助論Ⅰ	89	89	100.00	6	5	8	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.4	4.2	4.2	2.3	11.4	26.1	29.5	30.7	4.1	4.1	4.0	4.3
暮らしの中の法律	149	139	93.30	6	1	1, 3	4.1	4.0	4.1	3.8	3.6	4.4	4.3	3.8	8.1	5.1	10.3	11.8	64.7	4.3	4.2	3.8	4.3
現代の社会	149	122	81.90	6	2	8	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	4.3	4.1	3.7	10.8	6.7	9.2	5.8	67.5	4.2	4.2	4.0	4.1
ビジネス英語	96	78	81.30	1	7	3	3.8	3.4	3.4	3.3	3.4	3.9	3.3	3.6	3.8	2.6	11.5	7.7	74.4	3.5	3.7	2.9	3.6
フランス語	21	19	90.50	1	5	1, 4, 7	4.0	3.9	4.2	4.0	3.8	4.1	3.9	3.8	0.0	11.1	16.7	5.6	66.7	4.1	3.8	4.0	4.1
ビジネス基礎演習	149	142	95.30	6	2, 5	1, 2, 3, 8	4.0	4.2	4.2	3.9	3.9	4.4	4.1	4.2	3.5	5.6	11.3	12.0	67.6	3.9	4.2	4.3	4.1
計算実務	149	125	83.90	6	1, 2	2, 8	4.2	4.4	4.4	4.1	4.1	4.3	4.4	3.9	8.1	10.5	11.3	12.9	57.3	4.4	4.3	4.1	4.4
現代社会とこころの健康	13	10	76.90	1	3, 4	2, 3	4.6	4.6	4.5	4.5	4.2	4.8	4.7	4.4	10.0	0.0	0.0	30.0	60.0	4.8	4.8		4.8
会計学	149	143	96.00	6	1, 2	2, 4	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.2	4.2	4.0	7.0	12.6	8.4	10.5	61.5	4.2	4.2	4.0	4.2
現代企業論	149	136	91.30	6	5	4	4.0	4.1	4.1	3.9	3.9	4.4	4.2	3.9	7.4	8.1	5.9	8.8	69.9	4.4	4.3	4.2	4.2
地域文化と経済	88	72	81.80	5, 7	2	1	3.6	3.5	3.6	3.4	3.4	4.2	3.4	3.2	5.6	5.6	6.9	12.5	69.4	3.8	3.8	3.5	3.6
税金入門	68	61	89.70	1	2	4	4.2	4.0	4.2	4.0	3.9	4.3	4.3	4.0	6.8	8.5	10.2	16.9	57.6	4.2	4.3	4.0	4.4
金融のしくみ	60	48	80.00	1	1	8	4.1	3.9	4.1	4.0	4.0	4.3	4.3	4.1	4.2	12.5	20.8	10.4	52.1	4.3	4.3	4.3	4.3
ビジネス心理	34	24	70.60	1	2, 7	5	3.9	4.0	3.9	3.5	3.7	4.0	3.7	3.9	4.2	4.2	0.0	25.0	66.7	4.0	4.0	4.0	3.7
簿記演習Ⅱ	52	49	94.20	1	2, 4	3	4.4	4.1	4.2	4.2	4.1	4.4	4.3	4.3	10.9	4.3	21.7	17.4	45.7	4.3	4.4	4.0	4.4
診療報酬請求論	58	55	94.80	1	1, 3, 4, 5	3	4.8	4.5	4.6	4.4	4.3	4.7	4.4	4.5	13.0	14.8	18.5	20.4	33.3	4.3	4.5	4.5	4.6
社会保障論	49	36	73.50	1, 2	5	4	3.8	3.8	3.9	3.8	3.6	4.0	4.0	3.8	11.1	8.3	11.1	22.2	47.2	3.7	4.0	3.7	3.9
総合演習Ⅱ-1	19	17	89.50				4.8	4.9	4.6	4.5	4.5	4.8	4.7	4.7	5.9	5.9	23.5	35.3	29.4	4.6	4.7	4.0	4.8
総合演習Ⅱ-2	19	17	89.50	6	2	2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2	4.3	5.9	5.9	5.9	23.5	58.8	4.2	4.5	3.0	4.2
総合演習Ⅱ-3	18	11	61.10	6	7	5	3.5	3.3	3.5	3.5	3.5	4.7	3.5	4.4	0.0	9.1	18.2	0.0	72.7	4.0	4.5	4.0	3.8
総合演習Ⅱ-4	18	14	77.80				4.4	4.5	4.6	4.4	4.3	4.7	4.5	4.6	8.3	25.0	16.7	8.3	41.7	4.6	4.7		4.6
総合演習Ⅱ-5	19	17	89.50	1	2	3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.6	17.6	0.0	0.0	0.0	82.4	4.6	4.6	5.0	4.6
総合演習Ⅱ-6	19	16	84.20				4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	50.0	25.0	6.3	0.0	18.8	4.9	4.9	5.0	4.9
総合演習Ⅱ-7	19	19	100.00	1	4	3	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3	4.6	4.6	4.6	5.3	5.3	5.3	15.8	68.4	4.6	4.7	5.0	4.6
総合演習Ⅱ-8	18	12	66.70	6			4.0	4.2	4.2	4.0	4.1	4.2	4.0	4.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	4.1	4.2		4.3
日本語表現法	142	131	92.30	6	2, 5, 6	1, 5, 8	4.1	4.1	4.0	3.8	3.6	4.6	4.2	4.0	0.8	4.6	8.4	29.0	57.3	4.1	4.2	4.5	4.3
英語Ⅰ	142	133	93.70	6	5	2	3.8	3.1	3.2	3.2	3.3	4.3	2.9	3.7	0.0	1.5	8.3	29.3	60.9	3.4	3.8	3.3	3.6
情報処理	142	135	95.10	6	4	1, 2	4.3	4.3	4.3	4.0	3.7	4.4	4.5	4.0	0.8	1.5	6.8	20.3	70.7	4.5	4.5		4.4
スポーツ実技	29	28	96.60	1			4.9	5.0	4.7	4.9	4.6	5.0	4.9	5.0	11.1	40.7	3.7	7.4	37.0	4.7	4.9		5.0
コミュニケーション論	88	85	96.60	1, 5	2, 5	1, 7	4.4	4.6	4.3	4.3	3.8	4.7	4.3	4.3	1.2	0.0	16.5	36.5	45.9	3.9	4.4	4.2	4.4
ホスピタリティ論	45	45	100.00	1	2, 5	3, 4	4.6	4.6	4.5	4.3	4.1	4.6	4.5	4.5	2.2	2.2	4.4	24.4	66.7	4.3	4.4		4.6
ビジネスマナー	142	137	96.50	2, 6	5, 6	5, 7	4.3	4.3	4.3	3.9	3.7	4.4	4.2	4.2	0.7	0.7	16.1	27.7	54.7	3.7	4.2	5.0	4.2
経済学	142	138	97.20	6	5	2	3.7	2.7	3.1	3.0	2.9	4.1	3.0	2.9	1.4	1.4	3.6	17.4	76.1	3.4	3.7	3.0	3.6
経営学	142	131	92.30	6	1, 5	2, 5	4.3	3.9	3.8	3.7	3.6	4.5	4.2	3.8	0.8	1.5	9.2	28.2	60.3	4.5	4.5	3.0	4.3
基礎簿記	123	117	95.10	1	1	2, 4, 5	4.4	3.6	3.9	4.0	3.6	4.2	3.9	3.5	1.7	3.4	15.5	43.1	36.2	4.1	4.4	4.4	4.2
医療保障論	73	72	98.60	1	4	5	4.3	3.8	4.0	3.7	3.4	4.1	3.6	3.6	0.0	0.0	11.3	23.9	64.8	3.8	3.9	4.0	3.9
医療事務入門	85	82	96.50	1	1	4	4.5	4.2	4.3	4.2	4.0	4.3	4.0	4.0	0.0	3.8	18.8	28.8	48.8	3.9	4.1	3.0	4.3
マーケティング	49	47	95.90	1	2, 4, 7	1, 3, 5	4.4	4.2	4.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.2	0.0	2.2	15.2	26.1	56.5	4.4	4.4		4.4
基礎キャリア形成	142	125	88.00	6	5	2	4.1	4.1	4.0	3.8	3.6	4.2	4.0	4.1	0.8	1.6	13.6	29.6	54.4	4.3	4.3	4.8	4.2
数理基礎Ⅰ	149	141	94.60	6	5	2	4.3	3.8	4.0	4.0	3.7	4.7	4.2	4.3	2.1	7.1	17.0	29.1	44.7	4.2	4.4		4.4
基礎ゼミ	142	135	95.10	6	7	5	4.2	4.1	4.0	3.8	3.8	4.4	4.2	4.3	3.0	5.2	6.7	15.6	69.6	4.2	4.4	3.7	4.2
英語Ⅰ	106	101	95.30	6	2	8	3.9	3.0	3.2	3.2	3.2	4.3	2.9	3.8	0.0	0.0	7.0	18.0	75.0	3.5	4.1	3.3	3.5
日本語表現法	106	105	99.10	6	2	4	4.5	4.2	4.4	4.2	3.9	4.6	4.6	4.5	0.0	2.9	10.6	28.8	57.7	4.5	4.4	3.0	4.6
心理学	105	104	99.00	1	5	5	4.3	3.9	3.9	3.8	3.4	4.5	4.2	4.1	1.0	0.0	11.5	22.1	65.4	4.2	4.3	4.5	4.3
体育基礎	106	104	98.10				4.5	4.6	4.7	4.7	4.6	4.8	4.8	4.8	0.0	1.9	7.8	21.4	68.9	4.7	4.7	4.3	4.8
情報処理	106	103	97.20				4.5	4.3	4.5	4.2	4.0	4.5	4.5	4.2	0.0	2.9	8.8	14.7	73.5	4.5	4.5	4.0	4.6
自然環境と生命	37	37	100.00	1	1	2, 4	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.5	4.8	2.7	2.7	5.4	5.4	83.8	4.4	4.5		4.8
音楽	106	104	98.10	6	4	1	4.4	4.3	4.4	4.3	3.9	4.2	4.0	3.8	1.0	3.9	17.6	24.5	52.9	4.3	4.1	4.0	4.3
図画工作	106	102	96.20	6	1, 4	4, 5	4.7	4.6	4.7	4.6	4.4	4.8	4.7	4.7	1.0	2.0	6.9	15.7	74.5	4.4	4.5	4.2	4.8
小児体育	105	100	95.20				4.7	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8	7.1	4.0	7.1	12.1	69.7	4.7	4.7	5.0	4.9
音楽表現Ⅰ	106	98	92.50	6	5	4	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	15.3	21.4	32.7	22.4	8.2	4.4	4.5	4.0	4.6
音楽表現Ⅲ	103	89	86.40	1, 4	1, 5	4, 7	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	8.2	14.1	27.1	34.1	16.5	4.3	4.4	4.5	4.5
言語表現	105	96	91.40				4.3	4.3	4.3	4.1	4.1	4.3	4.1	4.2	2.1	6.4	8.5	11.7	71.3	4.3	4.2	3.3	4.4
保育原理	106	106	100.00	6	5	4	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	4.4	4.1	4.1	0.9	1.9	5.7	15.1	76.4	4.1	4.3	3.5	4.3
社会福祉	106	104	98.10	6	4	1	4.5	4.3	4.3	4.3	4.0	4.8	4.6	4.5	1.0	1.0	7.7	22.1	68.3	4.5	4.5	4.0	4.7
児童家庭福祉	106	105	99.10	6			4.3	3.9	4.0	4.0	3.9	4.2	3.9	4.2	0.0	1.0	8.7	14.4	76.0	3.7	4.2	3.5	4.2
相談援助	105	99	94.30				4.4	4.3	4.4	4.2	4.1	4.6	4.6	4.6	1.1	2.1	6.4	17.0	73.4	4.5	4.6	3.0	4.6
教育原理	106	102	96.20	6			4.2	3.8	4.0	3.9	3.8	4.6	4.1	4.3	0.0	3.9	3.9	9.8	82.4	4.2	4.3	4.0	4.3
教育制度論	105	100	95.20				4.1	3.9	4.1	3.9	3.9	4.7	4.2	4.4	2.1	3.1	9.3	13.4	72.2	4.3	4.5	4.0	4.4
教育心理学	105	90	85.70				4.3	4.1	4.2	4.1	4.1	4.5	4.3	4.4	2.3	2.3	4.6	12.6	78.2	4.5	4.4	3.5	4.4
子どもの保健Ⅱ	105	101	96.20				4.2	4.1	4.3	4.1	4.0	4.2	3.9	4.0	2.1	2.1	10.4	14.6	70.8	3.9	4.1	4.1	4.2
子どもの食と栄養	105	96	91.40				4.1	4.0	4.1	3.9	3.8	4.3	3.8	3.7	1.1	5.4	7.5	10.8	75.3	3.9	4.0	4.0	4.1
子ども理解の理論と方法	106	101	95.30	6	4	5	4.2	3.8	3.8	3.7	3.4	4.4	3.8	3.7	1.0	0.0	5.9	19.8	73.3	4.0	4.2	3.0	4.1

仙台青葉学院短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
保育内容総論	106	101	95.30				4.3	4.0	4.2	4.0	3.9	4.5	3.9	4.1	1.0	2.0	7.1	21.2	68.7	4.2	4.5	3.5	4.4
保育内容(健康)	105	95	90.50				4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.6	3.3	2.2	9.8	12.0	72.8	4.6	4.6	4.0	4.8
保育内容(表現)	105	90	85.70				4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.8	5.6	5.6	7.9	13.5	67.4	4.6	4.7	3.5	4.8
乳児保育	105	94	89.50				4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	3.2	5.4	5.4	11.8	74.2	4.4	4.3	3.5	4.5
教育方法論	105	97	92.40				4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	8.6	14.0	68.8	4.3	4.4	3.6	4.3
社会的養護内容	105	95	90.50				4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1	3.2	8.6	5.4	11.8	71.0	4.4	4.3	4.2	4.4
保育指導法	105	92	87.60	2			4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.4	4.2	4.2	3.3	5.5	8.8	8.8	73.6	4.2	4.2	4.0	4.3
保育実習指導Ⅰ	104	96	92.30				4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.6	4.5	4.3	5.4	5.4	12.9	18.3	58.1	4.4	4.4	3.0	4.5
日本語表現法I	78	81	103.80	6	5	4, 5	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.4	4.2	4.0	17.3	6.2	14.8	11.1	50.6	3.7	4.1	4.1	4.2
英語I	78	83	106.40	6	5	1	4.4	4.3	4.2	4.1	4.2	4.5	4.2	4.4	20.5	12.0	12.0	20.5	34.9	4.0	4.3	4.3	4.5
歴史と文化	71	61	85.90	6	5	3	3.9	3.8	3.7	3.6	3.6	4.0	3.9	3.7	13.6	16.9	18.6	6.8	44.1	3.8	3.8	4.3	3.8
暮らしの中の法律	71	62	87.30	6	5	4	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	3.9	3.8	3.5	10.0	8.3	26.7	11.7	43.3	3.6	3.6	3.6	3.8
現代の社会	78	83	106.40	6	7	5	3.7	3.7	3.7	3.4	3.3	4.1	3.7	3.4	9.6	2.4	6.0	13.3	68.7	3.5	3.8	3.7	3.7
情報処理	78	83	106.40	6	5	5	4.4	4.3	4.4	4.2	4.1	4.4	4.3	4.2	16.3	10.0	6.3	8.8	58.8	3.9	4.2	3.8	4.3
生物学	78	73	93.60	6	5	4	3.3	3.1	3.2	3.1	3.2	3.4	2.7	2.8	12.3	5.5	9.6	19.2	53.4	2.7	3.4	3.6	3.0
物理学	78	81	103.80	6	5	3	4.1	4.0	4.1	3.9	3.8	4.3	4.2	3.7	13.6	12.3	23.5	22.2	28.4	4.2	4.3	4.1	4.4
健康スポーツ科学	78	81	103.80	6	4	5	4.1	4.0	4.0	3.7	3.6	4.1	4.0	3.8	7.4	13.6	17.3	14.8	46.9	4.0	4.0	4.0	4.0
解剖学I	78	83	106.40	6	5	4	4.6	4.4	4.6	4.6	4.4	4.7	4.5	4.6	19.5	17.1	32.9	17.1	13.4	4.4	4.5	4.6	4.7
解剖学Ⅱ	78	82	105.10	6	4	4	4.7	4.4	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	18.5	12.3	30.9	22.2	16.0	4.5	4.5	4.4	4.6
生理学Ⅰ	78	82	105.10	6	4	4, 5	4.2	4.0	4.1	4.0	3.9	4.1	3.7	3.7	17.1	15.9	22.0	29.3	15.9	3.9	3.9	4.0	4.0
基礎運動学I	78	80	102.60	6	4	5	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	13.8	5.0	26.3	30.0	25.0	4.4	4.4	4.2	4.5
運動学演習	71	66	93.00	6	4	3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5	4.3	4.3	21.2	16.7	19.7	18.2	24.2	4.2	4.2	5.0	4.4
内科学I	71	62	87.30	6	5	4	3.3	3.1	3.3	3.3	3.1	3.2	3.0	3.0	6.8	11.9	27.1	15.3	39.0	3.0	3.2	3.1	3.2
小児科学	71	63	88.70	6	5	3	3.6	3.5	3.6	3.5	3.3	3.8	3.5	3.2	12.7	19.0	15.9	15.9	36.5	3.7	3.6	3.9	3.5
臨床心理学	71	64	90.10	6	5	4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.6	3.4	3.1	12.9	9.7	22.6	9.7	45.2	3.2	3.3	3.9	3.2
公衆衛生学	71	60	84.50	6	4, 5, 6	3, 4, 8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	4.1	3.8	17.2	12.1	20.7	15.5	34.5	3.8	3.9	3.7	4.0
理学療法学概論	78	75	96.20	6	4	4	4.5	4.3	4.6	4.5	4.4	4.7	4.4	4.4	12.0	14.7	26.7	28.0	18.7	4.4	4.3	4.3	4.6
理学療法研究法	66	65	98.50	6	1, 4	2, 5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.6	4.3	4.4	16.9	16.9	36.9	12.3	16.9	4.2	4.2	4.3	4.2
理学療法基礎評価学Ⅱ	71	70	98.60	6	5	1, 3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.1	4.4	4.3	4.4	20.9	14.9	26.9	13.4	23.9	4.0	4.1	4.5	4.3
小児理学療法学	71	64	90.10	6	5	8	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.6	3.4	3.4	4.9	16.4	29.5	16.4	32.8	3.3	3.5	2.8	3.5
日常生活活動学	78	80	102.60	6	1	1	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.7	4.6	4.6	15.0	10.0	22.5	21.3	31.3	4.4	4.5	4.3	4.7
生活環境論	66	53	80.30	6	5	6	4.3	4.2	4.0	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	17.0	9.4	18.9	18.9	35.8	4.0	4.1	4.5	4.2
運動学演習	11	8	72.70	6	3, 5	1, 6	4.8	4.3	4.6	4.5	4.5	5.0	4.5	4.8	0.0	25.0	37.5	37.5	0.0	4.4	4.6		4.7
内科学I	11	6	54.50	6	6	2	4.2	3.5	3.8	4.0	3.7	4.2	3.8	3.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	3.7	3.5		3.6
小児科学	11	6	54.50	6	2, 4	6	4.3	4.2	4.5	4.2	3.8	4.8	4.3	4.0	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3	4.0	4.3		4.2
整形外科学	11	7	63.60	6	5	6	4.7	4.4	4.6	4.3	4.3	4.7	4.6	4.4	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	3.6	3.9		4.2
精神医学	11	8	72.70	6	6, 10	1, 4	4.3	3.9	4.1	4.1	3.8	4.3	3.9	3.6	0.0	0.0	62.5	12.5	25.0	3.9	4.1		4.0
臨床心理学	11	8	72.70	6	4, 5	4, 7	4.4	4.0	4.1	3.9	3.9	4.5	4.4	4.3	0.0	12.5	50.0	12.5	25.0	4.3	4.0	4.0	4.1
公衆衛生学	11	7	63.60	6	1	3	5.0	4.9	4.7	4.4	4.4	5.0	4.9	5.0	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3	4.9	4.9		4.8
医療関連法規	11	10	90.90	6	2, 3, 4	1, 3, 5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	4.7	4.7		4.7
理学療法研究法	11	11	100.00	6	4, 5	1, 3	4.4	4.3	4.5	4.3	4.4	4.6	4.3	4.5	54.5	9.1	18.2	9.1	9.1	4.5	4.5		4.4
理学療法基礎評価学Ⅱ	11	7	63.60	6	4	2	4.7	4.1	4.4	4.4	4.3	4.6	4.6	4.7	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	4.6	4.6		4.5
小児理学療法学	11	7	63.60	6	6	2	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	4.7	4.6	4.8	0.0	28.6	57.1	0.0	14.3	4.6	4.9		4.7
物理療法学	11	8	72.70	6	4, 7	2, 6	4.6	4.1	4.1	4.5	3.8	4.6	4.6	4.5	0.0	12.5	62.5	12.5	12.5	4.4	4.4		4.6
生活環境論	11	11	100.00	6	2	3, 4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	27.3	9.1	36.4	9.1	18.2	4.4	4.5		4.5
日本語表現法I	31	31	100.00	6	5	1	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.5	4.3	4.2	6.5	0.0	16.1	22.6	54.8	4.1	4.3	3.0	4.4
英語I	31	31	100.00	6	5	5	4.3	4.4	4.3	4.1	4.0	4.7	4.3	4.6	0.0	12.9	25.8	38.7	22.6	3.8	4.5	4.0	4.6
歴史と文化	25	23	92.00	6	5	4	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8	4.6	4.5	17.4	13.0	13.0	26.1	30.4	4.7	4.6		4.7
暮らしの中の法律	25	21	84.00	6	5	4	4.6	4.2	4.4	4.4	4.3	4.8	4.6	4.3	14.3	4.8	14.3	33.3	33.3	4.7	4.5	5.0	4.7
現代の社会	31	31	100.00	6	5	7	3.7	3.8	3.7	3.3	3.4	4.1	4.1	3.3	9.7	3.2	19.4	9.7	58.1	3.9	4.0	2.8	3.9
情報処理	31	31	100.00	6	1, 5, 6	5	4.4	4.4	4.3	4.1	4.1	4.5	4.5	4.4	9.7	0.0	19.4	3.2	67.7	4.2	4.4		4.5
生物学	31	30	96.80	6	5	2, 4, 5	3.6	3.3	3.3	3.1	3.1	3.7	2.9	2.9	0.0	3.3	6.7	20.0	70.0	3.0	3.4		3.2
物理学	31	31	100.00	6	5	1, 2, 6, 8	4.2	4.2	4.2	3.9	3.8	4.7	4.5	3.8	0.0	0.0	32.3	22.6	45.2	4.4	4.5	3.0	4.6
健康スポーツ科学	31	33	106.50	6	5	4, 5	4.1	4.1	4.3	4.0	3.8	4.4	4.4	4.0	0.0	12.5	18.8	28.1	40.6	4.4	4.3	3.0	4.5
解剖学I	31	31	100.00	6	4	4, 5, 6	4.4	4.1	4.3	4.3	4.1	4.6	4.5	4.6	3.2	9.7	54.8	19.4	12.9	4.3	4.5		4.5
解剖学Ⅱ	31	31	100.00	6	5	4	4.5	4.1	4.3	4.2	4.1	4.7	4.4	4.7	3.2	3.2	48.4	25.8	19.4	4.1	4.6		4.5
生理学Ⅰ	31	31	100.00	6	4, 5	5, 6	4.1	4.3	4.3	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	0.0	6.5	32.3	38.7	22.6	4.1	4.3	2.0	4.3
基礎運動学I	31	31	100.00	6	3, 4, 5	1, 4, 5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.5	4.6	0.0	0.0	12.9	58.1	29.0	4.5	4.6	4.0	4.6
運動学演習	25	24	96.00	6	5	4	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	12.5	8.3	37.5	29.2	12.5	4.8	4.7	5.0	4.8
内科学I	25	21	84.00	6	5	4	4.3	3.9	4.2	3.9	3.9	4.1	3.5	3.6	9.5	4.8	23.8	42.9	19.0	3.8	4.1	5.0	4.0
小児科学	25	21	84.00	6	5	4	4.5	4.4	4.6	4.3	4.1	4.5	4.4	4.0	14.3	9.5	9.5	19.0	47.6	4.6	4.2		4.5
臨床心理学	25	22	88.00	6	5	4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4	4.7	4.4	4.5	0.0	9.1	9.1	36.4	45.5	4.5	4.5	4.5	4.5
公衆衛生学	25	22	88.00	6	5	4	4.3	4.0	4.1	4.0	4.0	4.4	3.5	3.6	4.5	0.0	9.1	45.5	40.9	3.5	4.1		4.0
作業療法学概論Ⅰ	31	31	100.00	6	5	4	4.6	4.6	4.7	4.5	4.5	4.8	4.8	4.8	3.3	3.3	20.0	36.7	36.7	4.6	4.8	4.0	4.8
作業療法学概論Ⅱ	31	30	96.80	6			4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7	10.3	0.0	13.8	10.3	65.5	4.4	4.4		4.6
基礎作業学Ⅱ	25	22	88.00	6	5	4	5.0	4.8	4.8	4.9	4.8	5.0	5.0	5.0	4.5	13.6	36.4	31.8	13.6	5.0	4.9		5.0
作業療法研究法	31	30	96.80	6			3.7	3.9	4.0	3.8	3.7	4.1	4.1	4.2	10.0	0.0	10.0	13.3	66.7	3.7	4.1		4.1
作業療法評価学概論	31	31	100.00	6	4	1, 5	4.6	4.3	4.4	4.2	3.7	4.8	4.6	4.8	0.0	3.2	35.5	25.8	35.5	4.5	4.6	4.3	4.8
身体障害作業治療学Ⅰ(中枢神経系)	25	23	92.00	6	5	4	4.8	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.8	8.7	8.7	26.1	39.1	17.4	4.7	4.7	5.0	4.8
老年期作業治療学概論	31	31	100.00	6	5	4, 6	4.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.7	4.7	4.7	0.0	3.3	26.7	30.0	40.0	4.7	4.6		4.7
義肢装具学	25	22	88.00	6	5	4	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8	4.9	4.8	4.9	9.1	4.5	36.4	27.3	22.7	4.9	4.8	5.0	4.8
手話	63	63	100.00	1, 6	2	1, 5, 6, 7, 8	4.6	4.7	4.6	4.5	4.2	4.9	4.8	4.8	7.9	1.6	12.7	3.2	74.6	4.7	4.7	4.5	4.8
情報処理Ⅱ(応用)	55	53	96.40	6	5	4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	1.9	7.5	11.3	11.3	67.9	3.2	3.2	3.8	3.1
化学	55	62	112.70	2	2	1, 5, 7	3.2	2.8	2.9	2.9	2.9	3.6	2.9	2.9	0.0	1.6	12.9	12.9	72.6	3.3	3.6	3.8	3.3
心理学	60	59	98.30	1	1, 2, 4, 5	1	4.5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.7	4.7	4.6	22.0	11.9	6.8	10.2	49.2	4.6	4.6		4.8
人間関係論	62	59	95.20	5	4	1	4.1	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3	3.7	3.8	5.2	13.8	10.3	19.0	51.7	3.6	4.0	4.0	3.8
栄養学	65	64	98.50	6	4	6	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	4.1	3.6	3.1	3.2	3.2	11.3	16.1	66.1	3.9	3.9	3.4	3.9
生化学	55	54	98.20	6	5	4	3.8	3.7	3.6	3.6	3.6	4.1	3.9	3.9	1.9	13.0	14.8	24.1	46.3	3.7	3.8	2.5	3.9
臨床医学	62	57	91.90	6	4	1, 4	3.9	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.3	3.3	3.6	10.7	21.4	23.2	41.1	3.5	3.8	5.0	3.6
衛生学・公衆衛生学	55	64	116.40	6	6	4, 5, 6	3.8	3.8	3.7	3.5	3.5	4.1	3.5	3.2	3.1	3.1	21.9	31.3	40.6	3.5	3.7	2.4	3.7
社会福祉論	55	47	85.50	6	5	4	4.1	3.9	4.0	4.0	3.9	4.3	4.2	4.1	6.4	4.3	14.9	10.6	63.8	3.8	4.1	3.8	4.2
口腔外科学	55	54	98.20	6	5	4	3.4	3.2	3.3	3.2	3.2	3.3	3.1	3.2	1.9	7.5	24.5	5.7	60.4	3.1	3.3	3.8	3.3
歯科矯正学	55	52	94.50	6	5	4	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.0	3.7	3.8	9.6	15.4	21.2	50.0	4.0	3.9	3.9	4.1
発達歯科学	55	53	96.40	6	5	5	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	4.0	3.7	3.6	3.8	7.7	23.1	9.6	55.8	3.4	3.7	3.5	3.8
高齢者口腔保健学	55	53	96.40	6	5	4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.8	13.2	11.3	9.4	62.3	3.8	3.9	3.9	3.9
歯科放射線学	55	55	100.00	6	5	4	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.7	4.6	14.5	9.1	5.5	10.9	60.0	4.6	4.6	4.4	4.7
歯科予防処置演習Ⅱ(臨床前期)	55	55	100.00	6	5	4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.4	9.3	13.0	20.4	16.7	40.7	4.3	4.3	4.3	4.4
歯科予防処置演習Ⅳ(臨床総合)	62	58	93.50	6	4	1	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	10.3	15.5	19.0	29.3	25.9	4.2	4.4	4.0	4.5
保健指導演習Ⅱ(臨床応用)	61	59	96.70	6	5	1, 4, 6	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	3.9	4.1	5.1	16.9	25.4	20.3	32.2	4.2	4.3	4.0	4.3
口腔リハビリテーション論	55	54	98.20	6	5	5	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	4.0	3.7	3.5	1.9	14.8	11.1	11.1	61.1	3.5	3.8	4.0	3.8
歯科診療補助法	65	64	98.50	6	4	1	4.8	4.3	4.5	4.5	4.2	4.9	4.7	4.7	0.0	11.1	28.6	34.9	25.4	4.5	4.7	4.3	4.7
歯科診療補助演習Ⅲ(臨床総合)	62	58	93.50	4, 6	5	1, 4, 5, 8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	13.8	19.0	24.1	19.0	24.1	4.7	4.7	4.0	4.7
介護技術の基礎	55	54	98.20	6	5	4	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	0.0	1.9	27.8	5.6	64.8	3.4	3.6	3.0	3.6
周術期在宅口腔ケア演習	62	60	96.80	1	3	4	4.6	4.4	4.6	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6	20.3	18.6	10.2	20.3	30.5	4.6	4.6	5.0	4.7
日本語表現法	65	61	93.80	6	5	5, 8	4.2	4.5	4.4	4.0	3.6	4.9	4.8	4.4	3.3	1.6	11.5	6.6	77.0	4.8	4.6	3.7	4.7
英語Ⅰ	65	64	98.50	6	5, 6	6	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.7	4.5	4.6	4.8	4.8	15.9	17.5	57.1	4.4	4.4	4.6	4.4
情報処理	65	64	98.50	6	2, 6, 7	6	4.5	4.4	4.4	4.2	4.1	4.5	4.4	4.4	3.2	3.2	4.8	6.3	82.5	4.1	4.3	3.8	4.4
解剖学	65	63	96.90	6	4	4	4.2	4.1	4.2	4.0	3.8	4.7	4.3	4.5	3.2	4.8	19.0	28.6	44.4	4.0	4.5	4.5	4.4
生理学	65	64	98.50	6	4	2	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.6	4.3	4.4	0.0	6.5	9.7	25.8	58.1	4.1	4.3	4.2	4.4
組織発生学	65	64	98.50	6	5	4, 6	4.0	3.8	3.9	3.7	3.7	4.4	4.2	4.3	4.7	1.6	10.9	28.1	54.7	4.0	4.3	4.3	4.2
日本語表現法	88	80	90.90	6	5	2, 4	4.0	4.2	4.0	3.8	3.4	4.4	4.4	3.9	1.3	3.8	11.3	13.8	70.0	4.1	4.0	3.2	4.3
暮らしの中の法律	82	73	89.00	6	5	1	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.8	3.5	3.2	1.4	5.5	19.2	11.0	63.0	3.5	3.6	3.0	3.7

仙台青葉学院短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
食生活論	88	85	96.60	6	5	4	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	4.1	3.9	3.8	1.2	3.6	15.5	15.5	64.3	3.7	3.8	3.3	3.9
公衆衛生学	81	70	86.40	6	5	4	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	4.5	4.2	4.5	8.6	8.6	10.0	12.9	60.0	4.1	4.2	4.0	4.3
生理学	88	82	93.20	6	4，5	5	3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.4	3.0	2.8	0.0	6.1	15.9	17.1	61.0	3.3	3.3	2.9	3.4
解剖学	88	85	96.60	6	5	5	4.0	3.5	3.6	3.4	3.3	4.2	3.7	3.5	0.0	9.4	18.8	27.1	44.7	3.6	3.6	3.7	3.8
微生物学	81	75	92.60	6	5	5，6	3.8	3.6	3.7	3.7	3.6	4.1	3.8	3.7	5.3	6.7	17.3	16.0	54.7	3.9	3.9	3.5	4.0
医学概論	83	63	75.90	6	5	4	4.0	3.8	3.8	3.7	3.5	4.2	3.9	4.0	6.5	12.9	24.2	6.5	50.0	3.8	4.0	4.0	4.1
食品学	88	88	100.00	6	4，5	4	3.8	3.3	3.5	3.4	3.4	3.8	3.4	3.2	0.0	8.0	23.9	27.3	40.9	3.2	3.6	2.4	3.6
食品学実験Ⅰ（基礎）	88	81	92.00	6	4	5	4.0	3.3	3.6	3.6	3.6	4.0	3.6	3.6	6.3	18.8	33.8	6.3	35.0	3.8	4.0	3.0	3.8
栄養学	89	85	95.50	6	4	4，5	3.8	3.4	3.4	3.4	3.3	3.7	3.3	3.0	0.0	2.4	21.2	21.2	55.3	3.5	3.5	2.6	3.6
栄養学実験	88	86	97.70	6	5	4	4.0	3.5	3.7	3.7	3.6	3.8	3.5	3.6	5.9	17.6	28.2	12.9	35.3	3.7	3.8	3.2	3.8
健康栄養管理概論	88	84	95.50	6	4	4，5	3.8	3.6	3.7	3.6	3.2	3.7	3.7	3.2	0.0	2.4	20.2	27.4	50.0	3.8	3.8	3.6	3.9
ライフステージ栄養管理実習	82	75	91.50	6	5	4	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	12.0	17.3	9.3	57.3	3.8	4.0	3.2	3.9
調理学	88	84	95.50	6	4	5	3.9	3.7	3.7	3.6	3.5	3.8	3.5	3.5	0.0	4.8	19.0	19.0	57.1	3.6	3.6	2.8	3.7
調理学実習Ⅰ（基礎）	88	83	94.30	6	5	4	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.6	3.7	0.0	3.6	10.8	28.9	56.6	3.7	4.0	2.7	4.1
給食計画実務論	88	85	96.60	6	4	4	3.9	3.6	3.7	3.7	3.5	4.1	3.9	3.4	0.0	2.4	18.8	29.4	49.4	3.8	3.9	2.8	4.0
食品衛生学	81	67	82.70	6	5	4	3.9	3.9	3.9	3.7	3.7	4.2	4.0	3.9	3.0	13.4	11.9	14.9	56.7	4.1	3.9	4.0	4.2
臨床栄養学	81	73	90.10	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.8	3.6	2.7	9.6	19.2	17.8	50.7	3.9	3.9	3.9	4.0
栄養指導論Ⅱ（応用）	81	70	86.40	6	5	4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	2.9	14.3	21.4	11.4	50.0	3.9	3.9	3.4	4.0
栄養指導実習	81	78	96.30	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	2.6	12.8	17.9	17.9	48.7	3.7	3.8	3.4	3.8
給食管理実習Ⅱ（応用）	82	77	93.90	6	5	4	4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2	4.0	4.1	3.9	11.8	18.4	17.1	48.7	3.9	4.1	4.7	4.2
食品とアレルギー	82	76	92.70	6	4	4，5	3.9	4.0	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	5.3	7.9	23.7	13.2	50.0	4.0	3.9	3.5	4.2
子どもと食育	84	63	75.00	6	5	4	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9	4.0	4.8	11.1	7.9	14.3	61.9	3.9	4.0	3.5	4.1
情報処理	88	84	95.50	6	5	5	4.4	4.4	4.4	4.1	3.9	4.3	4.4	4.2	1.2	2.4	9.6	8.4	78.3	3.8	4.1	3.0	4.5
生活環境と化学	87	81	93.10	6	5	4	3.9	3.9	3.9	3.7	3.6	4.5	4.3	3.8	0.0	5.0	11.3	15.0	68.8	4.3	4.3	3.5	4.3
日本語表現法	54	52	96.30	6	5	4	4.1	4.2	4.0	3.9	3.8	4.3	4.1	4.0	1.9	1.9	3.8	26.9	65.4	4.2	4.3	3.0	4.3
英語Ⅰ	54	46	85.20	6	5	4	4.2	4.3	4.0	3.9	3.8	4.5	4.4	4.5	2.2	0.0	19.6	32.6	45.7	4.3	4.5		4.4
中国語会話	38	36	94.70	1	5	4	4.6	4.4	4.6	4.4	4.4	4.6	4.4	4.5	0.0	5.6	22.2	30.6	41.7	4.2	4.4		4.6
暮らしの中の法律	44	41	93.20	6	5	1	4.1	3.9	4.0	3.8	3.8	4.5	4.3	3.7	2.4	7.3	7.3	14.6	68.3	4.1	4.2		4.3
情報処理	54	51	94.40	6	5	4	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.1	2.0	4.0	6.0	20.0	68.0	4.2	4.5	4.5	4.5
数理リテラシー	54	53	98.10	6	5	4	4.5	4.2	4.3	4.2	4.1	4.8	4.8	4.6	1.9	7.5	11.3	37.7	41.5	4.7	4.7	4.0	4.8
経営学入門	54	51	94.40	6	5	5	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	4.5	4.4	4.3	2.0	2.0	7.8	27.5	60.8	4.5	4.5	4.0	4.4
観光概論	54	44	81.50	6	5	4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	4.4	4.0	3.6	0.0	9.1	13.6	15.9	61.4	4.0	4.3		4.2
観光ビジネス実務総論	54	51	94.40	6	4，5	4	4.0	3.9	3.8	3.8	3.1	4.2	3.9	3.2	0.0	0.0	7.8	43.1	49.0	3.8	4.5		4.2
ビジネスマナー	54	50	92.60	6	5	4	4.2	4.3	4.2	3.9	3.6	4.6	4.4	4.5	2.0	4.0	12.0	30.0	52.0	4.5	4.5	4.0	4.5
旅行ビジネス実務	18	16	88.90	1	4	4，5	3.7	3.1	3.2	3.3	3.0	3.8	2.8	2.7	0.0	0.0	12.5	6.3	81.3	2.5	3.8		3.2
ブライダルビジネス実務	26	20	76.90	1	5	2，3	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	5.0	4.9	4.7	20.0	5.0	15.0	20.0	40.0	4.9	4.9	5.0	4.9
地域観光論	44	39	88.60	6	1，5	5	4.3	4.1	4.2	4.0	3.9	4.5	4.2	3.6	5.1	2.6	10.3	20.5	61.5	4.3	4.5	5.0	4.3
東北学	44	40	90.90	6	5	1	3.9	3.2	3.5	3.3	3.4	4.1	3.2	2.9	0.0	5.1	5.1	10.3	79.5	3.4	3.8	4.5	3.5
国内運賃・旅費計算	30	27	90.00	1	4	5	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.6	4.3	4.3	7.4	7.4	18.5	25.9	40.7	4.2	4.4	4.0	4.3
観光ビジネス英会話Ⅰ	31	29	93.50	1	1	5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.5	4.5	4.5	0.0	3.4	20.7	41.4	34.5	4.6	4.6		4.4
実践キャリア形成ゼミⅡ	44	41	93.20	6	5	5	4.5	4.6	4.7	4.5	4.3	4.8	4.7	4.7	5.0	2.5	12.5	25.0	55.0	4.6	4.7	5.0	4.7
基礎ゼミ①	19	18	94.70	6	5	1，4	4.1	4.3	4.3	4.2	4.0	4.6	4.4	4.5	0.0	0.0	11.1	5.6	83.3	4.5	4.7		4.5
基礎ゼミ②	19	18	94.70	6	2，5	5	4.6	4.6	4.3	4.3	4.2	4.7	4.7	4.6	0.0	5.6	5.6	0.0	88.9	4.7	4.7		4.5
基礎ゼミ③	18	15	83.30	6	5	7	4.3	4.3	3.9	3.9	4.1	4.3	4.5	4.6	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7	4.2	4.6		4.6
エアラインビジネス実務	16	11	68.80	1	4	2，3，5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.9	4.8	4.7	0.0	0.0	45.5	45.5	9.1	4.7	4.7		5.0
宿泊ビジネス実務	31	27	87.10	1，4	1	5	4.0	3.8	3.8	3.8	3.6	4.3	3.6	3.1	3.7	3.7	11.1	11.1	70.4	3.9	4.2		4.2
国内観光地理Ⅰ	55	50	90.90	6	5	4	3.9	3.8	3.7	3.8	3.7	4.1	3.5	3.4	8.0	4.0	12.0	26.0	50.0	3.8	4.0	5.0	4.0
多読と多聴	32	30	93.80	1	5	2，4	4.3	4.6	4.3	4.2	3.9	4.5	4.5	4.5	3.3	6.7	23.3	40.0	26.7	4.5	4.6		4.6
英会話基礎Ⅰ	30	29	96.70	1	4	5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.2	4.7	4.7	4.6	0.0	6.9	24.1	44.8	24.1	4.2	4.7		4.8
基礎キャリア形成ゼミ	55	50	90.90	6	5	5	4.3	4.4	4.2	4.1	4.0	4.6	4.5	4.5	0.0	2.0	6.0	10.0	82.0	4.6	4.6		4.6

羽陽学園短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
基礎教養入門	86	81	94.20	6	5	4	4.1	4.1	4.0	3.9	3.9	4.2	4.0	3.9	1.3	3.8	7.5	6.3	81.3	4.1	4.2	3.8	4.3
倫理学	13	9	69.20	6	5	1	4.1	4.0	4.0	3.8	3.7	4.4	3.9	3.7	11.1	0.0	0.0	22.2	66.7	3.9	3.9		3.9
文学	73	65	89.00	6	5	4	4.1	4.0	4.0	3.8	3.7	4.2	4.0	3.7	3.1	1.6	10.9	10.9	73.4	3.9	4.1	3.5	4.1
音楽基礎A	86	79	91.90	6	4	5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.6	4.4	4.4	6.6	7.9	26.3	28.9	30.3	4.1	4.3	3.7	4.6
音楽基礎B	86	82	95.30	6	4	5	4.8	4.8	4.5	4.6	4.5	4.7	4.7	4.7	19.8	24.7	25.9	24.7	4.9	4.4	4.7	4.0	4.8
図画工作	86	80	93.00	6	4	4	4.6	4.5	4.3	4.5	4.1	4.5	4.6	4.5	6.3	1.3	10.1	15.2	67.1	4.3	4.5	4.4	4.7
幼児教育者論	86	80	93.00	6	5	4	4.5	4.2	4.2	4.1	4.0	4.7	4.6	4.4	5.0	2.5	11.3	12.5	68.8	4.4	4.5	4.0	4.6
教育原理	86	79	91.90	6	4	5	4.5	4.1	4.1	4.0	3.7	4.7	4.5	4.2	3.9	0.0	7.8	19.5	68.8	4.3	4.5	4.2	4.6
視聴覚教育論	86	78	90.70	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.1	4.0	7.8	3.9	7.8	9.1	71.4	4.0	4.3	3.5	4.3
教育実習指導	86	81	94.20	6	4	1	4.3	4.3	4.1	4.0	3.6	4.5	4.3	3.8	2.5	0.0	15.0	7.5	75.0	4.3	4.3	4.3	4.5
保育原理	86	76	88.40	6	4	4	4.4	4.2	4.1	4.0	3.7	4.5	4.5	4.2	2.7	2.7	2.7	18.9	73.0	4.4	4.5	5.0	4.7
社会福祉概論	86	80	93.00	6	5	4	4.2	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	4.1	3.9	1.3	6.3	16.3	11.3	65.0	4.1	4.3	3.4	4.4
社会的養護	86	81	94.20	6	5	4	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	3.8	4.0	2.5	6.3	10.0	13.8	67.5	3.9	4.1	4.0	4.3
子どもの食と栄養A	86	79	91.90	6	4	4	4.6	4.4	4.3	4.3	4.2	4.7	4.6	4.4	3.9	2.6	18.2	29.9	45.5	4.3	4.5	4.0	4.7
子どもの食と栄養B	40	38	95.00	6	4	4, 5	4.6	4.7	4.6	4.5	4.3	4.9	4.8	4.8	2.6	0.0	15.8	44.7	36.8	4.5	4.8		4.9
乳児保育	86	76	88.40	6	4	5	3.3	2.9	3.1	3.0	2.9	3.2	2.6	2.5	0.0	4.0	13.3	12.0	70.7	3.1	3.2	3.5	3.0
児童文化	86	79	91.90	6	4	4	4.5	4.4	4.3	4.2	4.0	4.4	4.5	4.5	3.8	2.6	15.4	19.2	59.0	4.2	4.5	3.3	4.6
子どもの生活と福祉	13	12	92.30	1	4	4, 5	4.3	4.3	4.2	4.1	4.2	4.7	4.4	4.7	8.3	8.3	0.0	16.7	66.7	4.8	4.6		4.8
日本国憲法	99	97	98.00	6	5	4	3.3	2.6	2.8	2.7	2.7	4.1	2.6	2.7	2.1	3.2	2.1	4.2	88.4	3.1	3.8	2.7	3.1
こどもと音楽B	99	93	93.90	6	5	4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.7	4.6	4.6	4.4	8.8	31.9	41.8	13.2	4.4	4.6	5.0	4.7
こどもと音楽C	95	89	93.70	6	5	4	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.4	4.4	4.7	4.7	5.9	2.4	82.4	4.1	4.5	4.7	4.5
国語表現法	6	6	100.00	3, 5	4	8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.7	4.8		4.7
保育内容研究・健康	99	89	89.90	6	5	4	4.0	3.9	3.8	3.6	3.5	4.2	3.9	3.6	3.4	3.4	3.4	5.7	83.9	3.9	4.1	4.0	4.0
保育内容研究・人間関係	99	90	90.90	6	5	4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.0	4.6	4.5	4.3	1.1	4.5	4.5	2.3	87.5	4.5	4.6	5.0	4.5
保育内容研究・言葉	99	94	94.90	6	5	4	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	4.4	4.1	4.0	1.1	5.4	5.4	4.3	83.9	4.1	4.4	4.0	4.3
保育内容研究・表現	99	93	93.90	6	5	4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.5	4.3	4.5	4.4	5.5	4.4	13.2	72.5	4.3	4.3	4.7	4.4
子どもの生活と文化Ⅱ	97	84	86.60	6	5	4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.4	4.4	4.8	6.0	8.4	8.4	72.3	4.3	4.5	5.0	4.5
臨床心理学	99	83	83.80	6	5	4	3.8	3.5	3.5	3.3	3.3	4.0	3.3	3.3	2.4	3.6	2.4	7.2	84.3	3.5	3.9	4.5	3.5
相談援助	99	96	97.00	6	5	4	4.2	4.0	4.0	3.9	3.8	4.3	4.2	4.3	3.2	4.3	3.2	6.4	83.0	4.2	4.5	5.0	4.3
保育内容総論	99	98	99.00	6	5	4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	4.3	4.3	4.3	3.1	3.1	5.2	6.2	82.5	4.2	4.4	4.8	4.4
社会的養護内容	99	88	88.90	6	5	4	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.3	4.2	4.6	3.4	4.6	3.4	83.9	4.4	4.5	4.2	4.5
保育実践研究Ⅲ	79	78	98.70	1	5	4	4.4	4.6	4.4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.6	5.3	5.3	5.3	1.3	82.9	4.2	4.4	4.3	4.7
介護福祉総論Ⅱ	24	22	91.70	5	3	1, 4	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.9	4.9	4.5	0.0	9.1	18.2	68.2	4.6	4.8		4.9
介護保険制度と障害者自立支援制度	21	21	100.00	6	4, 5	4	4.3	4.0	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	5.0	5.0	15.0	20.0	55.0	4.3	4.5		4.5
介護の基本Ⅱ	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.8	9.5	0.0	23.8	61.9	4.4	4.4	4.0	4.5
介護の基本Ⅲ	21	21	100.00	6	5	4	4.6	4.4	4.6	4.5	4.4	4.7	4.7	4.7	4.8	9.5	9.5	14.3	61.9	4.5	4.5		4.7
コミュニケーション技術Ⅰ	21	21	100.00	6	4	4	4.0	4.0	4.2	3.9	4.0	4.3	4.0	4.0	0.0	9.5	0.0	23.8	66.7	4.0	4.2	4.0	4.1
生活支援技術Ⅰ	21	21	100.00	6	5	4	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	0.0	9.5	14.3	38.1	38.1	4.4	4.4		4.4
生活支援技術Ⅱ	21	21	100.00	6	4, 5	4, 5	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.3	4.0	4.2	9.5	4.8	4.8	14.3	66.7	4.1	4.3		4.2
生活支援技術Ⅲ	21	21	100.00	6	4, 5	4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.0	4.5	4.3	4.2	0.0	9.5	0.0	28.6	61.9	4.2	4.3	4.0	4.4
生活支援技術Ⅳ	21	21	100.00	6	4	5	4.3	4.3	4.4	4.3	4.1	4.8	4.5	4.7	0.0	0.0	4.8	28.6	66.7	4.2	4.3		4.6
介護過程Ⅰ	21	21	100.00	6	4	4, 5	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.3	0.0	9.5	23.8	19.0	47.6	4.4	4.4	5.0	4.4
介護過程Ⅱ	21	21	100.00	6	4	5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	9.5	28.6	52.4	4.5	4.6		4.5
介護総合演習Ⅰ	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.8	4.8	9.5	9.5	71.4	4.3	4.5		4.4
発達と老化の理解	21	21	100.00	6	5	4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.5	0.0	9.5	19.0	28.6	42.9	4.3	4.4		4.4
こころとからだⅠ	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.2	4.4	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	0.0	9.5	19.0	28.6	42.9	4.4	4.4		4.4
社会福祉演習	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	0.0	9.5	14.3	19.0	57.1	4.4	4.4		4.5
医療的ケアⅠ	21	21	100.00	6	5	4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.4	0.0	14.3	14.3	23.8	47.6	4.4	4.5		4.5

桜の聖母短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
キリスト教学Ⅰ	75	75	100.00	6	5	7	3.5	3.4	3.4	3.2	3.2	4.1	3.6	3.3	0.0	6.7	6.7	5.3	81.3	3.6	3.9	4.0	3.5
キリスト教学Ⅰ	37	35	94.60	6	5	8	3.8	3.7	3.9	3.6	3.6	4.5	4.1	4.0	0.0	0.0	2.9	8.6	88.6	4.0	4.4	3.0	4.1
キリスト教学Ⅰ	50	50	100.00	6	5	8	3.9	4.1	4.0	3.8	3.8	4.4	4.2	3.9	2.0	0.0	12.0	8.0	78.0	4.2	4.3	4.0	4.0
日本国憲法(CH)	49	46	93.90	6	5	4	4.2	4.0	4.1	3.9	3.8	4.4	4.2	4.2	4.3	6.5	19.6	26.1	43.5	4.1	4.2	3.8	4.3
英語Ⅰ(CE①)	18	17	94.40	1	2, 4, 5	2	4.8	4.7	4.7	4.7	4.4	4.8	4.7	4.8	0.0	11.8	29.4	41.2	17.6	4.6	4.8	4.0	4.9
英語Ⅰ(CE②)	19	19	100.00	1	5	2	4.3	4.3	3.8	4.0	3.7	4.1	4.2	4.1	10.5	0.0	10.5	31.6	47.4	3.9	3.9	4.0	4.2
英語Ⅰ(CE③)	24	22	91.70	1, 5	5	1	4.4	4.3	4.0	4.0	3.7	4.6	4.4	4.7	4.5	4.5	13.6	40.9	36.4	4.5	4.6	4.5	4.4
英語Ⅰ(CH①)	25	25	100.00	6	1, 5	5	4.4	4.6	4.4	4.2	4.1	4.5	4.5	4.6	4.2	0.0	25.0	25.0	45.8	4.5	4.5		4.6
英語Ⅰ(CH②)	24	23	95.80	6	5	1	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.9	4.9	4.8	4.3	0.0	13.0	43.5	39.1	4.8	4.7	5.0	4.9
ビジネス実務Ⅰ(CE)	74	71	95.90	6	5	1	4.3	4.5	4.5	4.2	3.9	4.5	4.5	4.5	2.8	5.6	4.2	12.7	74.6	4.5	4.6	4.6	4.6
ビジネス実務Ⅰ(D)	36	34	94.40	6	5	1	4.1	4.4	4.4	3.9	3.8	4.4	4.5	4.1	0.0	2.9	2.9	23.5	70.6	4.2	4.5	1.0	4.4
ビジネス実務Ⅰ(CH)	49	49	100.00	6	5	4	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	2.0	0.0	14.3	26.5	57.1	4.7	4.8		4.8
情報演習Ⅰ　CE①	24	23	95.80	6	5	1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	0.0	4.3	13.0	30.4	52.2	3.7	4.3		4.0
情報演習Ⅰ　CE②	15	15	100.00	6	1, 5	1	4.6	4.1	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.3	6.7	13.3	6.7	26.7	46.7	4.4	4.7	5.0	4.6
情報演習Ⅰ　CE③	22	22	100.00	6	5	1	4.0	3.5	3.8	3.5	3.5	3.7	3.3	3.5	0.0	9.1	27.3	27.3	36.4	3.2	3.9	3.5	3.9
情報演習Ⅰ　CE④	15	15	100.00	5, 6	5	1	4.5	4.5	4.4	4.1	4.0	4.6	4.8	4.0	0.0	0.0	7.1	28.6	64.3	4.4	4.5		4.6
情報演習Ⅰ　D①	18	17	94.40	6	5	4	4.3	4.2	4.4	4.1	3.9	4.7	4.6	4.4	11.8	0.0	11.8	17.6	58.8	4.6	4.8	3.3	4.4
情報演習Ⅰ　D②	19	17	89.50	6	5	4, 7	4.2	4.1	4.1	4.0	3.7	4.5	4.5	4.1	0.0	0.0	29.4	29.4	41.2	4.2	4.5		4.5
情報演習Ⅰ　CH①	25	25	100.00	6	5	4	4.4	4.3	4.4	4.2	4.1	4.4	4.0	4.2	0.0	0.0	16.0	24.0	60.0	4.3	4.5	2.0	4.4
情報演習Ⅰ　CH②	24	24	100.00	6	5	4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	8.3	0.0	12.5	29.2	50.0	4.4	4.6		4.7
体育実技Ⅰ　CH①	25	25	100.00	6	4	4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	8.0	0.0	24.0	4.0	64.0	4.6	4.7	3.0	4.8
体育実技Ⅰ　CH②	23	23	100.00	6	4	4	5.0	4.9	5.0	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	8.7	4.3	8.7	17.4	60.9	4.8	5.0	5.0	5.0
キリスト教学Ⅱ	69	60	87.00	6	5	8	3.6	3.8	3.7	3.3	3.4	4.2	3.8	3.7	1.7	1.7	6.7	11.7	78.3	3.8	4.0	3.4	3.7
情報演習Ⅲ①	16	16	100.00	1	2	1, 2	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	4.2	4.1	3.6	0.0	0.0	12.5	31.3	56.3	3.9	4.3		4.0
情報演習Ⅲ②	7	7	100.00	1	5	4, 5	4.4	4.0	4.4	3.9	3.9	4.6	4.9	4.7	0.0	0.0	0.0	42.9	57.1	4.6	4.7		4.3
心理学(CE)	70	70	100.00	1	5	2, 5	4.2	4.1	4.2	4.0	3.8	4.5	4.1	4.2	0.0	5.8	8.7	13.0	72.5	4.1	4.3	4.0	4.3
日本国憲法	48	47	97.90	1	5	5	4.3	4.0	4.2	4.1	3.9	4.6	4.5	4.5	6.4	6.4	25.5	34.0	27.7	4.3	4.4	4.2	4.4
人間と教育B	46	46	100.00	1	5	2	4.0	4.1	4.1	3.9	3.8	4.6	4.3	4.1	0.0	0.0	4.3	13.0	82.6	4.3	4.4	1.0	4.4
北米の歴史と文化	48	43	89.60	1	2	2, 5	3.9	3.8	3.4	3.5	3.5	4.4	3.9	4.0	2.3	2.3	9.3	14.0	72.1	3.6	4.0	3.4	4.0
地域形成論	58	57	98.30	1	5	2	4.5	4.4	4.4	4.4	4.1	4.8	4.7	4.4	0.0	12.3	10.5	14.0	63.2	4.4	4.6	4.0	4.6
キャリア教養特講Ⅳ	49	49	100.00	1	5	2	4.4	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2	4.3	6.1	8.2	10.2	22.4	53.1	4.4	4.4	5.0	4.3
労働法制と人権Ⅰ	55	54	98.20	1	1	2	4.6	4.1	4.3	4.2	3.9	4.6	4.6	4.6	1.9	14.8	16.7	35.2	31.5	4.4	4.5	4.4	4.7
メンタルヘルスマネジメント	59	59	100.00	1	5	3	4.2	4.3	4.3	4.1	3.9	4.5	4.3	4.4	0.0	3.4	10.3	13.8	72.4	4.2	4.4	4.4	4.4
社会調査法入門	15	8	53.30	1, 7	5	4, 8	3.4	3.5	3.1	3.1	3.3	4.6	4.0	3.9	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	3.8	4.0	4.0	3.5
ビジネス実務総合演習	47	42	89.40	1	5	2	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.3	2.4	2.4	9.5	11.9	73.8	4.2	4.3	5.0	4.3
キャリア教養特講Ⅲ	12	11	91.70	1	5	2	4.2	4.4	4.4	4.1	3.9	4.3	4.2	4.3	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	4.4	4.3		4.5
文化人類学Ⅰ	43	43	100.00	1	2	5	3.8	3.6	3.7	3.5	3.3	4.3	3.7	3.4	0.0	4.8	9.5	11.9	73.8	4.0	3.8	3.5	3.8
戦後日本社会史Ⅰ	33	33	100.00	1	5	5	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	4.5	4.2	3.8	3.0	6.1	6.1	18.2	66.7	3.7	4.3	3.5	4.3
現代の国際関係Ⅰ	54	50	92.60	1	1	5	3.9	3.7	3.8	3.8	3.7	4.4	3.8	3.7	4.0	6.0	14.0	18.0	58.0	3.2	3.9	3.8	3.9
上級リーディングⅠ	12	11	91.70	1	2, 4	4, 5	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.4	3.9	4.2	0.0	18.2	0.0	9.1	72.7	4.2	4.3	4.8	4.1
TOEIC演習Ⅱ	13	13	100.00	1	4	5	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	0.0	0.0	7.7	61.5	30.8	4.4	4.5		4.6
基礎栄養学	37	35	94.60	6	4	1	4.3	4.1	4.2	4.1	3.9	4.8	4.4	4.5	0.0	0.0	17.1	31.4	51.4	4.5	4.6	4.6	4.6
食生活論	38	34	89.50	6	4	5	4.4	4.2	4.2	4.1	3.8	4.7	4.4	4.4	3.0	0.0	9.1	18.2	69.7	4.4	4.6	3.2	4.4
食品加工学	41	38	92.70	6	5	4	4.0	3.6	3.8	3.6	3.3	3.8	3.8	3.6	0.0	2.6	15.8	31.6	50.0	4.1	4.1	4.0	3.9
こどもとことば	49	49	100.00	6	4	5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.3	4.5	4.6	4.4	8.3	4.2	16.7	12.5	58.3	4.5	4.5	4.6	4.7
保育基礎演習①	25	24	96.00	6	4, 5	4	4.8	4.6	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	0.0	8.3	16.7	8.3	66.7	4.7	4.7	5.0	4.8
保育基礎演習②	24	24	100.00	6	5	4	4.7	4.7	4.7	4.5	4.7	4.3	4.5	4.5	4.2	4.2	8.3	33.3	50.0	4.7	4.6	5.0	4.6
保育原理	49	49	100.00	6	5	4	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.4	2.0	0.0	22.4	22.4	53.1	4.5	4.5	4.0	4.7
保育内容総論	48	48	100.00	6	4	1	4.4	4.5	4.4	4.3	4.1	4.8	4.8	4.8	0.0	0.0	22.9	27.1	50.0	4.7	4.6	4.5	4.8
保育内容演習(人間関係)	47	46	97.90	6	4	1	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.9	4.9	4.8	11.1	4.4	8.9	24.4	51.1	4.8	4.7	4.3	4.9
保育内容演習(言葉)	49	49	100.00	6	5	4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	6.1	4.1	12.2	22.4	55.1	4.5	4.5	5.0	4.6
保育内容演習(表現)①	25	25	100.00	6	4	4	4.4	4.6	4.4	4.2	4.2	4.7	4.5	4.6	8.0	0.0	20.0	16.0	56.0	4.1	4.4	4.0	4.4
保育内容演習(表現)②	24	24	100.00	6	4	5	4.6	4.7	4.8	4.7	4.6	4.8	4.6	4.5	0.0	4.2	12.5	25.0	58.3	4.4	4.5	4.7	4.5
保育内容演習Ⅱ(表現)①	26	25	96.20	6	5	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.6	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	4.2	4.4	3.0	4.4
保育内容演習Ⅱ(表現)②	24	24	100.00	6	4	4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	8.3	0.0	16.7	12.5	62.5	4.5	4.5	5.0	4.7
保育表現技術(身体表現)①	25	25	100.00	6	1	4	4.6	4.8	4.6	4.5	4.4	4.7	4.6	4.4	12.0	4.0	8.0	16.0	60.0	4.2	4.5	5.0	4.6
保育表現技術(身体表現)②	24	24	100.00	6	4	4, 5	5.0	5.0	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	4.5	4.2	4.2	12.5	16.7	62.5	4.6	4.8	5.0	4.9
保育表現技術Ⅱ(身体表現)①	25	25	100.00	6	5	4	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	8.0	4.0	8.0	28.0	52.0	4.4	4.6		4.6
保育表現技術Ⅱ(身体表現)②	24	24	100.00	6	4	4, 5	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.3	0.0	13.0	17.4	65.2	4.8	4.8	5.0	4.9
保育表現技術(音楽表現)①	26	26	100.00	6	4	1	4.7	4.7	4.5	4.7	4.4	4.7	4.7	4.7	19.2	19.2	34.6	19.2	7.7	4.3	4.7	5.0	4.7
保育表現技術(音楽表現)②	24	24	100.00	6	4	5	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	8.3	20.8	41.7	29.2	0.0	4.3	4.5		4.9
保育表現技術Ⅱ(音楽表現)①	26	50	192.30	6	4, 5	4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	10.2	16.3	28.6	28.6	16.3	4.5	4.7	5.0	4.7
保育表現技術Ⅱ(音楽表現)②	24		0.00																				
生活福祉論	52	50	96.20	6	4	5	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.3	4.0	4.1	4.0	2.0	14.0	20.0	60.0	4.1	4.3	4.5	4.3
幼児理解の理論と方法	49	43	87.80	6	5	4	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.2	4.2	2.3	7.0	14.0	11.6	65.1	4.3	4.2	4.0	4.2
児童と共に	52	47	90.40	6	5	4	4.2	4.1	4.2	4.0	3.9	4.5	4.1	4.2	6.4	2.1	14.9	23.4	53.2	4.2	4.3		4.3
こどもの保健Ⅱ	51	50	98.00	6	5	4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.6	4.4	4.4	10.0	8.0	12.0	18.0	52.0	4.4	4.4	4.0	4.5
こどもの保健(演習)Ⅰ①	26	24	92.30	6	4	1, 6	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7	8.3	12.5	8.3	29.2	41.7	4.5	4.7	5.0	4.7
こどもの保健(演習)Ⅰ②	22	21	95.50	6	4	5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.8	4.8	4.7	0.0	4.8	14.3	19.0	61.9	4.4	4.6	4.5	4.8
こどもの保健(演習)Ⅱ①	26	24	92.30	6	4, 5	1, 4, 5, 6	4.5	4.6	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	4.3	8.7	8.7	17.4	34.8	30.4	4.4	4.5	4.5	4.5
こどもの保健(演習)Ⅱ②	25	19	76.00	6	5	4	4.3	4.4	4.3	4.1	3.9	4.5	4.6	4.4	5.3	0.0	5.3	26.3	63.2	4.1	4.4	5.0	4.4
保育内容演習(環境)	50	47	94.00	6	5	5	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	4.4	4.2	4.1	6.4	6.4	6.4	12.8	68.1	4.4	4.2	4.4	4.3
保育表現技術V(音楽表現)　①	22	21	95.50	4	1, 4	5	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	15.0	5.0	30.0	35.0	15.0	4.2	4.2		4.4
保育表現技術V(音楽表現)　②	21	18	85.70	4	5	1	4.5	4.6	4.4	4.5	4.4	4.2	4.2	4.4	16.7	22.2	11.1	11.1	38.9	3.6	3.9	4.8	4.4
社会的養護	50	48	96.00	6	5	4	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	18.8	18.8	54.2	4.2	4.3	4.0	4.4
教育相談(栄養教諭)	9	9	100.00	6	4	5	3.7	4.1	4.2	3.7	3.8	4.7	4.3	4.7	0.0	0.0	0.0	22.2	77.8	4.0	3.8		4.3
図書館情報技術論	18	15	83.30	6	5	1	3.6	3.5	3.5	3.4	3.5	4.0	3.7	3.6	6.7	6.7	6.7	26.7	53.3	3.7	3.9	4.0	3.8
児童サービス論	17	16	94.10	6	4, 5	8	3.8	3.9	3.5	3.4	3.4	4.3	3.8	3.7	0.0	6.3	6.3	6.3	81.3	3.6	4.1	4.0	3.9
情報資源組織論	18	16	88.90	6	4, 5	8	2.7	2.8	2.6	2.4	2.4	3.3	2.6	2.4	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	2.9	3.3	3.7	2.6

いわき短期大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
発達心理学Ⅰ	1	66	6600	6	5	4	4.2	3.9	3.8	3.8	3.7	4.3	4.0	3.8	3.0	0.0	3.0	13.6	80.3	3.9	4.0	4.2	4.1
幼児音楽ⅠA	1	41	4100	6	5	4	4.2	3.5	3.5	3.5	3.4	4.0	3.1	3.5	0.0	2.4	19.5	22.0	56.1	3.3	3.7	3.9	3.5
幼児音楽ⅠB	1	35	3500	6	4	4	4.5	4.0	4.3	4.1	4.1	4.1	3.3	3.6	2.9	2.9	5.7	25.7	62.9	3.7	3.9	3.7	3.9
社会的養護	1	66	6600	6	5	5	4.0	3.6	3.6	3.5	3.2	4.2	3.8	3.7	3.1	4.6	10.8	29.2	52.3	4.0	3.9	4.4	3.9
哲学	1	18	1800	1	5	4, 5	4.6	4.2	4.5	4.4	4.1	4.4	4.2	4.5	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8	4.3	4.5	4.7	4.5
文化人類学	1	16	1600	1, 2	5	1	4.4	4.1	4.1	4.1	3.9	4.6	4.5	4.8	0.0	6.3	0.0	18.8	75.0	4.4	4.6	4.8	4.6
儒学と昌平黌	1	65	6500	6	2	2	3.7	3.0	3.4	3.2	2.9	4.4	3.4	2.8	0.0	1.5	13.8	20.0	64.6	3.7	3.8	3.9	3.7
幼児体育ⅠB	1	31	3100	6	5	1, 5	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.9	4.9	4.9	6.5	0.0	6.5	12.9	74.2	4.6	4.8	4.8	4.8
幼児体育ⅠA	1	31	3100	6	4	4, 5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.2	4.7	4.6	4.5	3.3	0.0	0.0	16.7	80.0	4.1	4.3	4.5	4.5
造形表現Ⅰc	1	22	2200	6	1	5	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0	18.2	4.5	13.6	13.6	50.0	4.7	5.0	5.0	5.0
造形表現Ⅰa	1	24	2400	6	1	8	4.5	4.6	4.6	4.5	4.3	4.8	4.7	4.5	12.5	0.0	8.3	4.2	75.0	4.3	4.6	4.7	4.8
造形表現Ⅰb	1	26	2600	6	1, 2	5	4.9	4.9	4.6	4.7	4.5	4.8	5.0	4.8	3.8	3.8	3.8	3.8	84.6	4.7	4.9	4.7	5.0
歴史	1	43	4300	6	2	5	4.1	3.9	3.9	3.6	3.4	4.0	3.9	3.7	0.0	4.7	2.3	18.6	74.4	3.9	4.0	4.1	4.1
心理学	1		0																				
国語表現ⅠA	1	17	1700	6	2, 5	8	4.2	3.9	3.7	3.4	3.4	4.2	3.6	3.8	5.9	0.0	0.0	5.9	88.2	3.6	3.6	3.8	3.7
国語表現ⅠB	1	20	2000	6	5	1, 4, 5	4.1	4.2	4.1	3.9	3.9	4.5	3.9	3.9	0.0	0.0	5.0	20.0	75.0	4.1	4.0	3.9	4.1
教育原理	1	74	7400	6	4, 5	1	4.7	4.5	4.6	4.5	4.3	4.9	4.9	4.8	2.7	0.0	10.8	18.9	67.6	4.9	4.8	4.8	4.9
キャリアビジョン	1		0																				
社会福祉	1	32	3200	6	2	4	4.0	3.7	3.5	3.6	3.5	4.3	3.7	3.8	3.1	3.1	6.3	28.1	59.4	3.9	4.0	4.1	3.9
保育原理	1	72	7200	6	5	4	3.8	3.6	3.6	3.3	3.3	3.3	2.8	2.6	0.0	0.0	15.5	14.1	70.4	3.1	3.3	2.8	3.0
社会福祉	1	37	3700	6	5	4	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.1	4.0	5.4	5.4	8.1	16.2	64.9	4.1	4.1	4.3	4.1
日本国憲法	1	54	5400	6	3	5	4.8	4.5	4.3	4.4	4.0	4.9	4.9	4.8	0.0	3.7	22.2	29.6	44.4	4.9	4.8	4.7	4.9
地域防災計画学Ⅰ	1	19	1900	2, 7	5	4	4.1	4.1	4.0	3.7	3.7	4.2	3.9	3.8	0.0	5.3	5.3	15.8	73.7	4.1	4.1	3.9	4.0
子どもとお話A	1	29	2900	3	4	1	4.4	4.4	4.3	4.2	4.1	4.7	4.4	4.3	13.8	6.9	6.9	20.7	51.7	4.3	4.2	4.4	4.6
家庭支援論	1		0																				
子どもとお話	1	21	2100	1	1, 5	1, 4, 5	4.3	4.1	4.2	4.0	4.0	4.4	4.1	4.1	0.0	0.0	14.3	23.8	61.9	4.0	4.1	4.4	4.2
子どもの造形と遊び	1	43	4300	1	4, 5	3	4.6	4.5	4.4	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2	7.0	0.0	0.0	9.3	83.7	4.2	4.3	4.4	4.5
教育心理学	1	75	7500	6	5	4	4.0	3.6	3.7	3.6	3.5	4.1	3.6	3.6	6.7	12.0	8.0	9.3	64.0	3.6	3.8	4.2	3.8
大人の発達心理学	1	27	2700	1	5	4	3.8	3.6	3.6	3.5	3.6	4.0	3.5	3.7	3.7	3.7	11.1	7.4	74.1	3.5	3.8	4.0	3.7
子どもの音楽と遊び	1	28	2800	3	5	1	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.6	4.5	4.4	21.4	3.6	10.7	7.1	57.1	4.3	4.3	4.4	4.4
スポーツ(講義)A	1	40	4000	6	5	4, 5	4.1	4.0	3.8	3.7	3.5	4.3	3.9	3.7	2.6	15.8	5.3	15.8	60.5	3.8	4.0	3.9	4.0
スポーツ(講義)B	1	35	3500	6	5	4	4.3	3.8	3.8	3.7	3.7	4.1	3.9	3.6	8.6	5.7	11.4	22.9	51.4	3.8	3.9	3.8	3.9
教育課程総論	1	73	7300	6	5	4	4.6	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.7	4.6	8.2	1.4	13.7	12.3	64.4	4.6	4.6	4.6	4.7
子どもの保健ⅡB	1	37	3700	6	5	4	4.6	4.7	4.5	4.5	4.2	4.8	4.8	4.6	10.8	2.7	10.8	24.3	51.4	4.7	4.8	4.8	4.9
子どもの保健ⅡA	1	39	3900	6	5	4	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.8	4.8	4.6	15.4	5.1	7.7	12.8	59.0	4.7	4.7	4.8	4.8
保育実習指導Ⅰ	1	86	8600	6	4	4	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.5	4.3	4.3	8.1	9.3	17.4	25.6	39.5	4.3	4.4	4.5	4.5
相談援助B	1		0																				
相談援助A	1		0																				
乳児保育Ⅱ	1	25	2500	5	4	1, 4	4.4	4.2	4.1	4.2	3.9	4.6	4.3	4.1	0.0	0.0	12.0	20.0	68.0	4.2	4.2	4.6	4.5
子どもの健康と運動	1	44	4400	5	2	4	4.1	3.9	3.8	3.8	3.6	3.9	3.7	3.5	9.1	0.0	6.8	13.6	70.5	3.7	3.8	3.7	3.9
子どもの活動と自然	1	8	800	1	4	5	5.0	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	5.0	5.0	5.0	5.0
国語表現ⅠA	1	18	1800	6	2	1	4.1	4.1	3.9	3.7	3.2	3.8	3.7	3.8	5.6	0.0	11.1	16.7	66.7	3.8	3.9	4.1	3.9
国語表現ⅠB	1	16	1600	6	5	4	4.5	4.7	4.4	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6	6.3	6.3	12.5	6.3	68.8	4.4	4.4	4.5	4.7

鶴岡工業高等専門学校　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
地域コミュニティ学 1年	160	160	100.00	6	5	1	3.9	4.1	3.9	3.6	3.7	4.0	3.9	3.5	1.9	0.6	5.0	1.9	90.6	4.0	4.1	3.5	4.0
国語Ⅰ 1年1組	40	40	100.00	6	3, 5	1, 3	4.3	3.9	4.4	4.2	4.0	4.7	4.2	4.3	0.0	0.0	12.8	17.9	69.2	4.5	4.8	3.0	4.7
地理 1年1組	40	40	100.00	6	5	1	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	4.3	4.1	4.0	0.0	0.0	12.5	30.0	57.5	4.1	4.3	4.0	4.4
数学Ⅱ 1年1組	40	40	100.00	8	6	5	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.7	3.2	7.5	15.0	15.0	37.5	25.0	3.9	4.1		4.1
英語Ⅰ（文法）1年1組	40	40	100.00	6	1, 4, 5	1	4.3	4.1	4.3	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	5.0	7.5	20.0	32.5	35.0	4.1	4.3	3.5	4.3
英語Ⅰ（会話）1年1組	40	40	100.00	6	1	3, 5	4.5	4.0	4.4	4.1	4.0	4.6	4.4	4.6	2.5	0.0	5.0	12.5	80.0	4.4	4.5	3.5	4.7
英語Ⅱ 1年1組	40	40	100.00	6	5	5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.1	4.6	4.6	4.5	5.0	12.5	17.5	35.0	30.0	4.5	4.5		4.6
化学Ⅰ 1年1組	40	40	100.00	6	1	1, 2	4.5	4.3	4.4	4.1	4.0	4.4	4.4	4.0	5.0	7.5	15.0	37.5	35.0	4.2	4.3	4.4	4.5
音楽 1年1組	40	39	97.50	6	3	1, 3, 5, 8	4.4	4.2	4.1	3.8	3.4	4.9	4.6	4.3	0.0	0.0	5.1	5.1	89.7	4.5	4.7	2.0	4.5
保健・体育（保健）1年1組	40	38	95.00	6	1	5	4.8	4.8	4.6	4.5	4.2	4.9	4.9	4.9	2.6	0.0	5.3	5.3	86.8	4.7	4.9		4.9
保健・体育（体育）1年1組	40	40	100.00	6	3	1, 6, 8	4.8	4.9	4.6	4.7	4.5	5.0	4.9	4.9	5.0	0.0	5.0	10.0	80.0	4.6	4.8	5.0	4.9
情報リテラシー 1年1組	40	40	100.00	6	5	5	4.1	4.1	4.1	3.9	3.7	4.0	3.8	3.4	0.0	2.5	12.5	10.0	75.0	3.9	4.1		4.0
国語Ⅰ 1年2組	40	38	95.00	6	5	1	4.5	3.8	4.4	4.3	4.2	4.6	4.3	4.1	0.0	8.1	8.1	32.4	51.4	4.5	4.8		4.7
地理 1年2組	40	40	100.00	6	5	1, 8	4.3	4.1	4.1	3.9	3.8	4.6	4.3	3.9	5.0	0.0	20.0	30.0	45.0	4.2	4.6	5.0	4.5
数学Ⅱ 1年2組	40	40	100.00	8	6	5	4.5	4.1	4.4	4.0	3.8	4.0	3.7	3.4	12.5	22.5	35.0	22.5	7.5	3.9	4.4	2.0	4.1
英語Ⅰ（文法）1年2組	40	40	100.00	6	5	3	4.6	4.2	4.4	4.3	4.1	4.7	4.6	4.7	10.0	7.5	32.5	27.5	22.5	4.5	4.6	5.0	4.7
英語Ⅰ（会話）1年2組	40	38	95.00	6	5	1	4.5	4.0	4.3	4.0	3.6	4.7	4.4	4.5	0.0	2.8	13.9	11.1	72.2	4.5	4.8	5.0	4.7
化学Ⅰ 1年2組	40	39	97.50	6	5	1	4.5	4.3	4.4	4.1	3.9	4.4	4.3	4.1	7.7	10.3	25.6	35.9	20.5	4.4	4.5	4.5	4.5
音楽 1年2組	40	39	97.50	6	6, 7	1	4.7	4.4	4.1	4.1	3.5	4.8	4.6	4.3	2.6	2.6	0.0	2.6	92.1	4.6	4.8		4.7
保健・体育（保健）1年2組	40	40	100.00	6	5	5	4.7	4.7	4.6	4.3	4.1	5.0	4.9	4.9	5.1	2.6	10.3	5.1	76.9	4.9	4.9		4.9
保健・体育（体育）1年2組	40	40	100.00	6	5	1, 3, 5	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	5.0	4.9	4.9	7.7	2.6	12.8	10.3	66.7	4.6	4.8		4.9
情報リテラシー 1年2組	40	40	100.00	6	1	5	4.5	3.6	4.3	3.9	3.7	4.4	4.0	3.4	5.1	5.1	23.1	20.5	46.2	4.4	4.6		4.2
国語Ⅰ 1年3組	40	40	100.00	6	3, 5, 6	1	4.1	3.2	4.1	4.0	3.7	4.6	3.8	3.9	2.5	0.0	5.0	22.5	70.0	4.1	4.5		4.5
地理 1年3組	40	40	100.00	6	1	5	3.8	3.6	3.7	3.5	3.4	4.1	3.8	3.1	0.0	2.6	15.8	42.1	39.5	3.7	4.1	4.0	3.8
数学Ⅱ 1年3組	40	40	100.00	6	5	1, 6	4.4	3.9	4.2	4.1	3.8	4.5	4.3	3.8	7.5	12.5	42.5	22.5	15.0	4.3	4.4	3.8	4.5
英語Ⅰ（文法）1年3組	40	40	100.00	6	5, 6	1, 5, 6	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4	3.7	3.5	3.3	0.0	10.0	22.5	32.5	35.0	4.0	4.1	3.1	3.6
英語Ⅰ（会話）1年3組	40	40	100.00	6	5	1, 5, 6	4.3	3.9	4.1	3.9	3.7	4.3	4.0	4.4	0.0	0.0	2.6	17.9	79.5	4.0	4.3		4.5
英語Ⅱ 1年3組	40	40	100.00	6	5	1, 6	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.5	4.3	4.3	0.0	7.5	25.0	37.5	30.0	4.3	4.4		4.5
化学Ⅰ 1年3組	40	40	100.00	6	1	5, 6	4.4	4.2	4.3	4.1	3.9	4.4	4.5	4.3	2.5	15.0	40.0	25.0	17.5	4.5	4.6	4.3	4.6
音楽 1年3組	40	40	100.00	6	6	6	4.1	4.1	3.8	3.6	3.3	4.8	4.1	3.9	2.5	0.0	5.0	2.5	90.0	4.1	4.6		4.3
保健・体育（保健）1年3組	40	40	100.00	6	3	5	4.7	4.7	4.5	4.4	4.2	5.0	5.0	4.9	5.0	2.5	2.5	5.0	85.0	4.7	4.8	5.0	4.9
保健・体育（体育）1年3組	40	40	100.00	6	3	1	4.7	4.7	4.5	4.6	4.3	4.9	4.8	4.9	5.0	2.5	0.0	2.5	90.0	4.5	4.8	5.0	4.9
情報リテラシー 1年3組	40	40	100.00	6	1	5	4.0	4.0	4.2	3.7	3.6	4.2	3.9	3.5	0.0	2.5	15.0	15.0	67.5	4.2	4.1	3.0	4.2
国語Ⅰ 1年4組	40	40	100.00	6	5	1	4.1	3.5	4.0	3.8	3.8	4.5	3.7	4.1	2.5	0.0	5.0	25.0	67.5	4.2	4.7		4.5
地理 1年4組	40	38	95.00	6	5	8	3.9	3.7	3.8	3.6	3.5	4.5	4.1	3.7	0.0	0.0	18.4	26.3	55.3	4.1	4.4		4.1
数学Ⅱ 1年4組	40	40	100.00	6	1, 5	1, 2	4.4	4.0	4.2	4.2	4.0	4.6	4.3	3.7	7.5	15.0	35.0	27.5	15.0	4.1	4.4	4.1	4.5
英語Ⅰ（文法）1年4組	40	39	97.50	6	1	2	3.8	3.7	3.9	3.5	3.5	3.9	3.5	3.4	2.6	2.6	23.1	35.9	35.9	3.9	4.1	3.0	3.7
英語Ⅰ（会話）1年4組	40	40	100.00	6	1, 5	1	4.4	4.0	4.3	4.0	3.9	4.5	4.1	4.7	0.0	0.0	7.5	7.5	85.0	4.3	4.6		4.5
英語Ⅱ 1年4組	40	40	100.00	6	1	3	4.4	4.3	4.3	4.1	3.9	4.8	4.4	4.5	2.5	5.0	25.0	35.0	32.5	4.4	4.5		4.6
化学Ⅰ 1年4組	40	40	100.00	6	1	5, 8	4.3	4.2	4.1	3.9	3.6	4.1	4.2	3.8	0.0	7.5	15.0	37.5	40.0	4.4	4.4	4.3	4.4
音楽 1年4組	40	39	97.50	6	2	1	4.3	4.2	3.8	3.8	3.2	4.9	4.4	4.2	0.0	0.0	5.1	10.3	84.6	4.4	4.8		4.5
保健・体育（保健）1年4組	40	39	97.50	6	1	3	4.7	4.6	4.6	4.4	3.8	5.0	4.9	4.8	0.0	2.6	2.6	12.8	82.1	4.7	4.7		4.8
保健・体育（体育）1年4組	40	39	97.50	6	1	3	4.8	4.8	4.6	4.6	4.4	5.0	4.9	4.9	5.1	2.6	2.6	7.7	82.1	4.6	4.7		4.9
情報リテラシー 1年4組	40	40	100.00	6	4, 5	8	4.1	3.9	4.3	3.8	3.7	4.0	3.6	3.2	0.0	0.0	12.5	32.5	55.0	4.2	4.3		3.9
総合工学Ⅱ 2年	159	158	99.40	6	5	8	3.2	3.5	3.6	3.1	3.3	3.8	3.5	3.1	3.2	1.9	4.5	1.3	89.2	3.7	3.8	4.5	3.3
国語Ⅱ 2M	40	40	100.00	6	5	8	4.0	4.0	4.0	3.7	3.8	4.2	4.2	4.2	0.0	5.0	7.5	25.0	62.5	4.1	4.2		4.2
歴史Ⅰ 2M	40	40	100.00	6	5	1	4.2	4.1	4.0	3.8	3.6	4.5	4.6	4.0	7.5	5.0	10.0	30.0	47.5	4.4	4.4	5.0	4.6
数学Ⅲ 2M	40	40	100.00	6	5	8	3.8	3.6	3.8	3.5	3.5	3.8	3.2	3.0	5.0	12.5	22.5	35.0	25.0	3.2	3.9	5.0	3.5
数学Ⅳ 2M	40	40	100.00	6	5	1	3.8	3.4	3.7	3.5	3.4	3.7	3.1	3.2	5.0	5.0	22.5	37.5	30.0	3.2	3.5		3.6
英語Ⅳ 2M	40	40	100.00	6	5	1	3.9	3.9	4.0	3.8	3.6	4.2	3.9	4.0	7.5	0.0	17.5	40.0	35.0	3.9	4.0	2.0	4.1
物理Ⅰ 2M	40	40	100.00	6	5	4	3.7	3.2	3.6	3.5	3.5	3.8	3.4	3.4	5.1	5.1	20.5	38.5	30.8	3.4	3.5	3.5	3.5
美術 2M	40	40	100.00	6	5	8	4.4	4.4	4.2	4.1	4.0	4.5	4.3	4.3	10.0	5.0	2.5	2.5	80.0	3.9	4.4	4.0	4.4
保健体育Ⅱ 2M	40	40	100.00	6	5	1, 8	4.2	4.4	4.3	4.2	4.2	4.7	4.5	4.7	10.3	2.6	2.6	2.6	82.1	4.4	4.2	4.5	4.5
情報処理Ⅰ 2M	40	40	100.00	6	5	1	4.3	3.6	4.0	3.8	3.6	4.2	3.9	3.9	5.0	2.5	7.5	17.5	67.5	4.1	4.2	3.3	4.1
電気基礎Ⅰ 2M	40	40	100.00	6	5	1, 4	3.5	3.0	3.4	3.3	3.2	3.3	3.1	3.4	2.6	2.6	23.1	30.8	41.0	3.3	3.5	3.0	3.2
国語Ⅱ 2E	39	39	100.00	6	5	8	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	4.2	4.2	4.1	5.3	5.3	7.9	31.6	50.0	4.0	4.1		4.3
歴史Ⅰ 2E	39	38	97.40	6	5	6, 8	4.2	4.2	4.0	3.9	3.8	4.3	4.4	3.9	2.6	2.6	13.2	26.3	55.3	4.1	4.2	4.0	4.3
数学Ⅲ 2E	39	38	97.40	6	5	4	3.8	3.8	3.9	3.6	3.5	3.7	3.6	3.3	5.7	8.6	20.0	31.4	34.3	3.5	3.8		3.7
数学Ⅳ 2E	39	39	100.00	6	5	4, 8	3.8	3.7	3.9	3.5	3.5	3.6	3.5	3.2	2.6	10.5	13.2	26.3	47.4	3.6	3.7		3.7
英語Ⅲ 2E	39	38	97.40	6	5	8	3.6	3.8	3.8	3.3	3.3	4.0	3.9	3.9	0.0	14.3	42.9	20.0	22.9	3.6	3.6	4.0	3.9
英語Ⅳ 2E	39	39	100.00	6	5	4	3.9	4.0	4.1	3.7	3.7	4.3	4.0	4.1	5.3	2.6	18.4	26.3	47.4	4.0	4.3	3.0	4.2
物理Ⅰ 2E	39	38	97.40	6	5	4	4.1	3.8	4.1	3.6	3.6	4.1	4.0	4.0	5.3	5.3	21.1	34.2	34.2	4.1	4.1	5.0	4.2
美術 2E	39	39	100.00	6	5	6	4.1	4.2	4.0	3.9	3.8	4.4	4.2	4.4	15.4	2.6	10.3	2.6	69.2	3.9	4.3	4.0	4.4
保健体育Ⅱ 2E	39	38	97.40	6	5	7	4.3	4.3	4.2	4.1	3.9	4.3	4.2	4.2	10.5	5.3	7.9	2.6	73.7	4.1	3.8	4.0	4.3
プログラミング演習 2E	39	38	97.40	6	5	4	4.0	3.8	4.0	3.8	3.6	4.1	3.7	3.7	7.9	10.5	15.8	21.1	44.7	4.1	4.2	4.5	4.2
電気磁気学Ⅰ 2E	39	38	97.40	6	5	4	3.3	2.3	2.9	3.0	3.0	3.4	2.8	2.9	5.4	8.1	16.2	18.9	51.4	3.3	3.6	5.0	2.9
電気回路Ⅰ 2E	39	39	100.00	6	4, 5	1	3.6	2.9	3.3	3.2	3.2	3.7	3.2	3.1	2.6	7.7	25.6	15.4	48.7	3.2	3.6	2.6	3.3
工学実験・実習Ⅰ 2E	39	38	97.40	6	5	4	4.2	3.9	4.4	3.7	3.8	4.1	3.8	3.9	2.6	10.5	15.8	23.7	47.4	4.1	4.0	5.0	4.1
国語Ⅱ 2I	40	38	95.00	6	5	4	3.9	4.1	3.8	3.7	3.6	3.9	4.0	3.8	5.3	2.6	7.9	26.3	57.9	4.1	3.9	4.0	3.9
歴史Ⅰ 2I	40	39	97.50	6	5	1, 3	4.2	4.3	4.2	4.0	3.8	4.5	4.5	4.0	2.6	5.1	2.6	17.9	71.8	4.3	4.2		4.4
数学Ⅲ 2I	40	37	92.50	6	5	1	4.0	4.2	4.3	4.1	3.9	4.1	4.4	3.8	5.4	8.1	13.5	29.7	43.2	4.3	4.2		4.4
数学Ⅳ 2I	40	40	100.00	6	5	1, 4	3.7	3.6	3.8	3.3	3.5	4.0	3.5	3.1	2.6	2.6	15.4	33.3	46.2	3.5	3.9		3.9
英語Ⅲ 2I	40	40	100.00	6	5	8	3.8	3.8	3.9	3.6	3.5	4.0	3.6	3.8	2.5	10.0	25.0	30.0	32.5	3.7	3.8	4.0	3.8
英語Ⅳ 2I	40	40	100.00	6	5	1, 4	3.9	4.1	4.0	3.7	3.6	4.2	4.1	4.3	7.5	5.0	7.5	37.5	42.5	4.1	4.3	5.0	4.2
物理Ⅰ 2I	40	40	100.00	6	5	4	3.5	3.0	3.5	3.3	3.3	3.8	2.6	3.3	5.1	7.7	20.5	23.1	43.6	3.4	3.8	3.3	3.5
美術 2I	40	40	100.00	6	5	3, 5	4.2	4.3	4.2	3.9	3.9	4.4	4.2	4.2	7.5	0.0	2.5	5.0	85.0	4.1	4.4	5.0	4.3
保健体育Ⅱ 2I	40	40	100.00	6	5	3	4.3	4.3	4.0	3.8	3.9	4.4	4.2	4.4	10.0	2.5	0.0	0.0	87.5	4.0	3.6	5.0	4.3
ハードウエア概論 2I	40	40	100.00	6	4	5	4.3	3.9	4.2	4.0	3.9	4.5	4.5	4.1	0.0	2.5	2.5	22.5	72.5	4.5	4.6	4.8	4.6
工学実験・実習Ⅰ 2I	40	38	95.00	6	5	4	4.1	3.8	4.1	4.0	3.8	4.1	4.0	4.0	2.7	0.0	13.5	13.5	70.3	4.2	4.1	3.0	4.2
国語Ⅱ 2B	40	40	100.00	6	5	1, 8	4.3	4.2	4.1	3.8	3.7	4.4	4.4	4.1	0.0	0.0	10.0	22.5	67.5	4.2	4.2		4.3
歴史Ⅰ 2B	40	39	97.50	6	5	8	4.2	4.3	4.1	3.8	3.8	4.5	4.5	4.1	2.6	0.0	5.1	25.6	66.7	4.1	4.3		4.4
数学Ⅱ 2B	40	40	100.00	6	5	8	4.2	4.2	4.3	3.9	3.8	4.2	4.5	3.9	10.0	5.0	12.5	25.0	47.5	4.3	4.2		4.4
数学Ⅳ 2B	40	40	100.00	6	5	8	3.8	3.4	3.6	3.4	3.4	3.8	3.1	3.0	5.1	7.7	7.7	33.3	46.2	3.5	4.1		3.5
英語Ⅲ 2B	40	39	97.50	6	5	8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	4.1	3.8	4.1	0.0	5.1	10.3	33.3	51.3	3.9	4.0		3.9
英語Ⅳ 2B	40	31	77.50	6	5	1, 7	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	4.2	4.1	4.3	3.2	3.2	16.1	16.1	61.3	4.2	4.3	5.0	4.3
物理Ⅰ 2B	40	40	100.00	6	5	8	3.6	3.2	3.5	3.4	3.3	3.6	2.5	3.1	7.7	0.0	15.4	30.8	46.2	3.3	3.7	2.3	3.0
美術 2B	40	40	100.00	6	1	5	4.3	4.3	4.3	4.0	4.0	4.5	4.5	4.4	10.0	2.5	2.5	0.0	85.0	3.9	4.6		4.5
保健体育Ⅱ 2B	40	39	97.50	6	5	8	4.0	4.2	4.0	3.6	3.7	4.2	3.9	4.1	0.0	0.0	2.6	0.0	97.4	3.7	3.2	3.0	3.9
分析化学 2B	40	39	97.50	6	4, 5	3, 8	4.5	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	10.3	7.7	12.8	20.5	48.7	4.4	4.6	5.0	4.5
物質化学実験 2B	40	39	97.50	6	5	8	4.6	4.4	4.4	4.3	4.3	4.6	4.6	4.5	7.7	12.8	17.9	23.1	38.5	4.4	4.5	4.0	4.6
工学実験・実習Ⅰ 2B	40	39	97.50	6	5	8	4.6	4.4	4.4	4.2	4.2	4.5	4.6	4.6	5.1	12.8	20.5	20.5	41.0	4.4	4.5	5.0	4.6
歴史Ⅱ 3M	40	40	100.00	6	3, 5, 6	1, 6	4.1	4.0	4.0	3.6	3.6	4.6	4.4	3.8	2.5	2.5	2.5	17.5	75.0	4.3	4.3	4.0	4.4
政治・経済 3M	40	40	100.00	6	1	8	4.1	4.1	4.0	3.6	3.6	4.3	4.3	4.0	5.0	2.5	2.5	25.0	65.0	4.0	4.1	4.0	4.3
数学Ⅵ 3M	40	40	100.00	6	3, 4	8	4.0	3.9	3.9	3.7	3.7	4.3	3.8	3.5	2.5	7.5	5.0	22.5	62.5	3.7	4.0	4.0	4.1
物理Ⅱ 3M	40	39	97.50	6	4	8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	4.2	4.0	4.2	2.6	7.9	13.2	15.8	60.5	4.1	4.2	3.7	4.1
保健・体育Ⅲ 3M	40	38	95.00	6	1, 3, 5, 6, 8	3, 8	4.5	4.6	4.3	4.4	4.3	4.8	4.7	4.7	7.9	2.6	7.9	2.6	78.9	4.3	4.4	4.5	4.7
国語Ⅲ 3M	40	40	100.00	6	1, 4, 5, 6, 7	8	4.1	4.1	3.9	3.7	3.7	4.5	4.4	4.3	0.0	10.0	0.0	10.0	80.0	4.5	4.4	4.0	4.5

鶴岡工業高等専門学校　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
英語Ⅴ 3M	40	39	97.50	6	5	8	3.9	4.0	3.9	3.6	3.7	4.5	4.3	4.3	2.6	5.1	5.1	12.8	74.4	4.0	4.3	4.3	4.3
情報処理Ⅱ 3M	40	40	100.00	6	5	8	4.1	3.8	3.9	3.7	3.8	4.3	3.8	3.8	5.0	0.0	12.5	12.5	70.0	4.1	4.2	3.7	4.0
材料力学Ⅰ 3M	40	40	100.00	6	1, 5	4, 6, 8	3.6	3.5	3.6	3.2	3.2	3.9	3.4	3.2	2.5	2.5	10.0	15.0	70.0	3.4	3.5	3.0	3.6
材料学Ⅰ 3M	40	40	100.00	6	4, 5	8	3.8	3.4	3.6	3.4	3.4	4.1	3.4	3.4	5.0	5.0	2.5	12.5	75.0	3.6	3.9	4.5	3.7
工業力学 3M	40	39	97.50	6	4	8	3.8	3.1	3.4	3.4	3.3	4.2	3.8	4.1	2.6	5.1	17.9	10.3	64.1	4.0	4.1	3.7	3.8
生産加工学 3M	40	40	100.00	6	7	1, 4, 8	3.8	3.8	3.7	3.3	3.4	4.0	3.8	3.8	2.5	2.5	10.0	10.0	75.0	4.0	4.0	4.0	4.0
電気基礎Ⅱ 3M	40	39	97.50	6	5	8	3.6	3.5	3.6	3.4	3.4	3.7	3.5	3.8	5.1	2.6	12.8	7.7	71.8	3.4	3.7	3.3	3.6
歴史Ⅱ 3E	40	39	97.50	6	6	6	4.2	4.3	4.1	3.9	3.8	4.6	4.6	4.3	5.1	0.0	7.7	25.6	61.5	4.5	4.6		4.5
政治・経済 3E	40	39	97.50	6	6	6	4.1	4.0	3.9	3.7	3.6	4.4	4.2	4.2	0.0	2.6	5.1	23.1	69.2	4.2	4.3	3.7	4.2
数学Ⅵ 3E	40	40	100.00	6	6	4	3.9	4.0	4.0	3.8	4.0	4.3	3.9	3.6	2.5	2.5	17.5	32.5	45.0	3.8	4.1	4.0	4.0
物理Ⅱ 3E	40	40	100.00	6	6	4, 6	4.0	3.9	3.9	3.5	3.6	4.0	3.8	3.5	2.5	2.5	15.0	30.0	50.0	3.8	3.9	3.2	3.8
保健・体育Ⅲ 3E	40	39	97.50	6	6	6, 7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.7	4.8	4.8	13.2	5.3	7.9	10.5	63.2	4.5	4.1	4.6	4.8
国語Ⅲ 3E	40	34	85.00	6	6	6	4.2	4.1	4.1	3.6	3.6	4.5	4.4	4.5	2.9	5.9	2.9	20.6	67.6	4.3	4.3		4.4
英語Ⅴ 3E	40	38	95.00	6	5, 6	6	4.2	4.1	4.0	3.9	4.0	4.4	4.3	4.5	7.9	2.6	7.9	28.9	52.6	4.4	4.4	4.7	4.4
応用物理Ⅰ 3E	40	39	97.50	6	6	6	4.2	4.1	4.1	3.9	3.9	4.3	4.4	4.3	5.4	0.0	18.9	27.0	48.6	4.3	4.5	5.0	4.3
電気磁気学Ⅱ 3E	40	40	100.00	6	5	1, 4, 8	4.1	3.6	3.9	3.8	3.8	4.1	4.0	3.6	2.5	2.5	17.5	30.0	47.5	3.9	4.2	4.0	4.0
電気回路Ⅱ 3E	40	40	100.00	6	5, 6	6, 8	4.0	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9	3.7	3.7	2.6	0.0	23.1	30.8	43.6	3.7	4.1	3.6	3.9
電気機器Ⅰ 3E	40	40	100.00	6	6	6	4.3	3.6	3.9	3.8	3.7	4.3	4.1	3.8	2.5	0.0	25.0	35.0	37.5	4.2	4.3	1.0	4.1
電子工学 3E	40	40	100.00	6	5	6	4.1	3.6	3.9	3.9	3.9	4.3	3.6	3.8	5.0	2.5	17.5	30.0	45.0	3.6	4.1	5.0	4.0
工学実験・実習Ⅱ 3E	40	40	100.00	6	5	6	4.4	4.0	4.3	4.0	4.1	4.2	4.0	4.2	35.0	2.5	20.0	7.5	35.0	4.3	4.3		4.3
歴史Ⅱ 3I	42	41	97.60	6	5	6	3.9	3.9	3.9	3.5	3.5	4.4	4.4	3.9	0.0	2.4	4.9	9.8	82.9	4.1	4.1		4.2
政治・経済 3I	42	41	97.60	6	6	3, 5, 6	3.8	3.9	3.9	3.5	3.5	4.4	4.1	4.2	0.0	2.4	9.8	12.2	75.6	4.2	4.2	4.5	4.1
数学Ⅵ 3I	42	39	92.90	6	6	1, 3, 4, 5, 7	3.7	3.8	3.7	3.4	3.5	3.9	3.6	3.6	0.0	0.0	12.8	17.9	69.2	3.6	3.7	3.3	3.8
物理Ⅱ 3I	42	41	97.60	6	5, 6	1	3.4	3.3	3.4	3.2	3.3	3.9	3.6	3.6	0.0	2.5	20.0	15.0	62.5	3.7	3.8	3.0	3.8
保健・体育Ⅲ 3I	42	42	100.00	6	1, 6, 7	5, 6, 8	4.5	4.5	4.3	4.3	4.2	4.6	4.4	4.6	14.3	0.0	7.1	0.0	78.6	4.2	4.0	4.0	4.5
国語Ⅲ 3I	42	38	90.50	6	6	6	3.9	4.1	3.9	3.5	3.4	4.3	4.2	4.3	0.0	2.6	7.9	10.5	78.9	3.9	4.2	4.0	4.2
応用物理Ⅰ 3M・3I	42	82	195.20	6	8	1, 2	3.4	3.3	3.2	2.7	2.9	3.3	2.8	2.7	1.2	0.0	15.9	22.0	61.0	3.4	3.6	3.2	3.0
プログラミング演習 3I	42	41	97.60	6	1	6	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6	3.2	3.2	0.0	2.4	17.1	19.5	61.0	3.8	3.9	3.2	3.6
材料力学 3I	42	41	97.60	6	5	4	3.7	3.2	3.6	3.4	3.4	4.0	3.9	3.8	2.5	2.5	17.5	10.0	67.5	3.8	4.0	3.5	3.9
電気工学 3I	42	41	97.60	6	6	3, 6	3.4	3.0	3.2	3.0	3.0	4.0	3.4	3.4	0.0	2.5	15.0	15.0	67.5	3.8	4.2	3.0	3.6
マイクロコンピュータ 3I	42	42	100.00	6	6	5	3.5	3.6	3.5	3.0	3.2	3.2	3.3	3.0	0.0	0.0	9.5	11.9	78.6	3.4	3.5	3.0	3.4
工学実験・実習Ⅱ 3I	42	42	100.00	6	5	1, 2, 3, 5, 6, 8	4.2	3.7	4.0	3.8	3.7	4.2	4.0	4.3	0.0	2.4	11.9	11.9	73.8	4.0	4.1	3.0	4.1
歴史Ⅱ 3B	40	40	100.00	6	5	1	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.8	4.8	4.7	17.9	2.6	10.3	5.1	64.1	4.7	4.7		4.8
政治・経済 3B	40	40	100.00	6	5	1, 3, 6, 8	3.9	3.8	3.9	3.6	3.6	4.3	3.9	4.0	5.0	2.5	12.5	7.5	72.5	4.0	4.1	4.0	4.1
数学Ⅵ 3B	40	38	95.00	6	5	1, 6	3.6	3.7	3.7	3.4	3.4	3.8	3.2	3.2	2.6	5.3	18.4	5.3	68.4	3.3	3.8	4.0	3.5
物理Ⅱ 3B	40	39	97.50	6	5	1	3.8	3.5	3.6	3.5	3.7	4.3	3.5	3.9	5.1	10.3	12.8	15.4	56.4	3.8	4.0	4.0	3.7
保健・体育Ⅲ 3B	40	40	100.00	6	5	1	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.7	4.7	20.5	10.3	2.6	2.6	64.1	4.5	4.5	4.4	4.7
国語Ⅲ 3B	40	39	97.50	6	5, 6	6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.8	4.7	4.8	10.3	0.0	12.8	2.6	74.4	4.6	4.6	4.5	4.7
英語Ⅴ 3B	40	40	100.00	6	5, 6	1	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.6	4.5	4.5	10.0	10.0	12.5	5.0	62.5	4.5	4.5	4.2	4.5
応用物理Ⅰ 3B	40	36	90.00	6	5	6	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	4.1	4.3	11.4	5.7	22.9	5.7	54.3	4.3	4.3	4.0	4.3
物理化学 3B	40	39	97.50	6	5	1, 4	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.4	4.3	4.3	5.1	15.4	5.1	12.8	61.5	4.5	4.5	4.0	4.4
無機化学 3B	40	38	95.00	6	4, 5	1	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.7	4.7	4.6	13.2	5.3	10.5	10.5	60.5	4.4	4.6	4.3	4.7
有機化学 3B	40	37	92.50	6	6	1	4.3	4.1	4.2	4.1	4.1	4.6	4.5	4.3	10.8	5.4	0.0	13.5	70.3	4.2	4.5	4.7	4.5
基礎生物学 3B	40	41	102.50	6	4	1	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	4.0	3.3	3.9	7.3	17.1	7.3	14.6	53.7	3.8	4.0	3.2	3.7
物質化学実験 3B	40	40	100.00	6	4	1, 6	4.2	4.0	4.2	4.0	4.0	4.4	4.0	4.3	25.0	15.0	5.0	12.5	42.5	4.2	4.5	4.5	4.2
総合工学Ⅳ 4年	166	146	88.00	6	5	8	2.9	3.2	3.2	2.8	3.0	3.2	2.9	2.9	5.5	2.1	9.0	2.8	80.7	3.3	3.1	3.4	2.8
保健・体育Ⅳ 4M	42	38	90.50	6	5	4, 8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.8	4.7	4.8	23.7	10.5	2.6	5.3	57.9	4.6	4.0	4.3	4.7
英語Ⅶ 4M	42	39	92.90	6	5	4, 8	3.7	3.4	3.7	3.6	3.6	4.2	3.9	4.0	18.4	2.6	10.5	28.9	39.5	3.9	4.0	5.0	4.0
情報処理 4M	42	39	92.90	6	5	4, 8	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.3	3.2	7.7	2.6	15.4	25.6	48.7	3.7	3.9		3.7
応用数学Ⅰ 4M	42	39	92.90	6	4	4	3.7	3.4	3.5	3.5	3.5	4.2	3.6	3.5	10.3	5.1	12.8	30.8	41.0	3.7	4.0	3.5	3.8
応用物理Ⅱ 4M	42	39	92.90	6	5	4	3.4	3.0	3.4	3.3	3.3	3.7	3.3	3.4	7.7	0.0	25.6	25.6	41.0	3.5	4.0	1.0	3.6
材料力学Ⅱ 4M	42	40	95.20	6	5	4	3.8	3.7	3.9	3.7	3.7	4.3	3.9	3.6	5.0	10.0	25.0	30.0	30.0	3.9	4.2	3.5	4.0
材料学Ⅱ 4M	42	41	97.60	6	4, 5	4	3.7	3.4	3.7	3.3	3.2	3.9	3.4	3.7	0.0	2.4	22.0	36.6	39.0	3.0	4.0	4.0	3.6
機械要素設計 4M	42	39	92.90	6	4	5	4.1	4.0	4.1	3.7	3.7	4.4	4.3	4.1	5.1	10.3	28.2	28.2	28.2	4.4	4.2	4.3	4.3
デザイン工学 4M	42	39	92.90	6	5	4	3.1	3.1	3.3	3.0	3.1	3.5	3.4	3.1	5.1	0.0	10.3	23.1	61.5	3.9	3.9	4.2	3.1
熱力学 4M	42	39	92.90	6	5	4	4.0	4.0	4.0	3.8	3.7	4.2	4.2	4.1	5.1	5.1	30.8	30.8	28.2	4.1	4.2	4.0	4.2
水力学 4M	42	40	95.20	6	5	4	3.5	2.4	2.8	2.9	3.0	3.8	3.2	3.8	10.0	2.5	27.5	25.0	35.0	3.6	3.8	4.5	3.3
機構学 4M	42	41	97.60	6	5	4	3.6	3.0	3.5	3.3	3.2	3.9	3.3	3.9	7.3	7.3	26.8	22.0	36.6	3.5	3.9	1.0	3.5
マイコン制御 4M	42	40	95.20	6	5	4	4.2	4.2	4.2	4.0	3.9	4.1	4.3	4.0	20.0	2.5	5.0	25.0	47.5	4.0	4.4		4.3
機械設計製図Ⅰ 4M	42	41	97.60	6	5	4	3.8	3.4	3.9	3.7	3.7	3.9	3.3	3.8	7.3	9.8	24.4	17.1	41.5	3.8	4.3	5.0	3.7
工学実験・実習Ⅲ 4M	42	38	90.50	6	5	4	4.1	3.9	4.1	3.9	3.9	4.2	3.9	4.2	5.3	5.3	18.4	23.7	47.4	4.0	4.3	5.0	4.1
保健・体育Ⅳ 4E	41	39	95.10	6	1, 2	3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.6	4.4	4.6	12.8	10.3	10.3	5.1	61.5	4.2	4.4	4.5	4.5
英語Ⅶ 4E	41	39	95.10	6	5	3	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.7	7.7	20.5	17.9	25.6	28.2	3.7	3.7	3.8	3.8
ドイツ語Ⅰ 4E	41	40	97.60	6	5	2	3.7	3.5	3.6	3.4	3.5	4.0	3.7	3.7	7.5	7.5	15.0	27.5	42.5	3.6	3.7	4.2	3.7
応用数学Ⅰ 4E	41	39	95.10	6	1, 6	3	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.5	4.3	4.1	15.4	23.1	25.6	20.5	15.4	4.0	4.2	4.0	4.3
応用物理Ⅱ 4E	41	40	97.60	6	1	2	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5	3.7	3.4	3.3	10.0	10.0	20.0	37.5	22.5	3.7	3.7	3.1	3.5
電気磁気学演習 4E	41	40	97.60	6	1	4	4.0	3.5	3.8	3.8	3.7	4.1	3.8	3.5	12.5	17.5	30.0	25.0	15.0	3.7	3.9	3.7	3.9
電気回路 4E	41	40	97.60	6	4	6, 8	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	7.5	7.5	35.0	30.0	20.0	3.4	3.5	2.4	3.5
電気電子材料 4E	41	40	97.60	6	1, 4, 6	1, 3	4.5	4.1	4.3	4.2	4.0	4.6	4.7	4.4	10.0	5.0	40.0	25.0	20.0	4.7	4.5		4.6
情報通信 4E	41	40	97.60	6	1, 5	5, 6	4.3	3.4	3.8	3.8	3.8	4.1	3.7	3.8	5.0	27.5	27.5	32.5	7.5	4.2	4.1		4.0
電子回路 4E	41	36	87.80	6	4	2, 3, 5	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.9	3.6	3.7	11.1	5.6	69.4	13.9	0.0	3.8	3.9	4.3	3.8
工学実験・実習Ⅲ 4E	41	40	97.60	6	5	4	4.3	4.1	4.3	4.2	4.2	4.1	3.9	4.3	37.5	20.0	20.0	10.0	12.5	4.2	4.2	5.0	4.1
ディジタル信号処理 4E	20	19	95.00	6	1	2, 6	4.2	3.1	3.7	3.7	3.9	4.2	3.7	4.4	21.1	31.6	21.1	21.1	5.3	4.1	4.3		3.8
高電圧工学 4E	21	21	100.00	6	5	2, 4	4.3	4.0	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0	3.8	9.5	19.0	9.5	33.3	28.6	4.2	4.2	5.0	4.3
保健・体育Ⅳ 4I	38	32	84.20	6	6	1, 5	4.6	4.5	4.5	4.3	4.2	4.8	4.6	4.7	15.6	0.0	6.3	9.4	68.8	4.3	4.1	5.0	4.7
英語Ⅶ 4I	38	32	84.20	6	5	4	3.2	3.4	3.7	3.2	3.3	3.8	3.6	3.5	3.1	6.3	31.3	6.3	53.1	3.6	3.6	5.0	3.6
応用数学Ⅰ 4I	38	31	81.60	6	5	4	4.2	4.1	4.2	4.0	3.9	4.5	4.3	4.5	3.2	19.4	16.1	29.0	32.3	4.5	4.3	3.7	4.6
応用物理Ⅱ 4I	38	35	92.10	2, 6	6	8	3.5	3.5	3.7	3.4	3.4	3.7	3.7	3.6	11.8	8.8	11.8	23.5	44.1	3.7	3.8	4.7	3.7
データ構造 4I	38	38	100.00	6	4	4	3.6	3.7	3.7	3.3	3.2	3.7	3.7	2.9	2.7	0.0	24.3	27.0	45.9	3.7	3.7	2.6	3.6
ロボット機構学 4I	38	38	100.00	6	5	1, 8	3.8	3.4	3.8	3.5	3.2	4.3	3.9	4.3	5.3	2.6	18.4	21.1	52.6	3.9	3.9	4.0	3.9
論理回路 4I	38	35	92.10	6	5	3	4.0	3.9	4.0	3.6	3.4	4.5	4.5	4.3	0.0	0.0	17.1	17.1	65.7	4.1	4.4	3.5	4.3
電気工学演習 4I	38	37	97.40	6	5	3	3.6	3.1	3.4	3.3	3.1	4.4	4.2	4.0	0.0	2.7	18.9	18.9	59.5	3.8	4.2	3.0	4.2
制御工学Ⅰ 4I	38	35	92.10	6	5	4	3.5	3.5	3.7	3.2	3.3	3.5	3.2	3.1	2.9	5.7	22.9	17.1	51.4	3.7	3.8	4.2	3.5
工業英語 4I	38	26	68.40	6	5	8	2.9	2.9	3.0	2.7	2.6	3.5	3.0	3.1	3.8	3.8	15.4	3.8	73.1	3.3	3.5	2.5	3.0
工学実験・実習Ⅲ 4I	38	34	89.50	6	5	4	4.1	3.6	4.0	3.5	3.6	3.8	3.4	3.6	17.6	14.7	14.7	11.8	41.2	3.9	4.0	3.8	3.9
保健・体育Ⅳ 4B	45	42	93.30	6	3, 5	1	4.4	4.5	4.5	4.4	4.5	4.7	4.6	4.6	22.0	7.3	14.6	7.3	48.8	4.5	4.6	4.3	4.7
英語Ⅶ 4B	45	40	88.90	6	5	3	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	4.0	3.9	12.5	15.0	30.0	12.5	30.0	3.9	3.9	3.6	4.0
ドイツ語Ⅰ 4B	45	44	97.80	6	5	1	3.8	3.5	3.7	3.6	3.5	4.0	3.8	3.8	9.1	13.6	18.2	22.7	36.4	3.5	3.8	3.5	3.9
応用数学Ⅰ 4B	45	41	91.10	6	5	1	4.2	3.9	4.1	4.1	4.0	4.5	4.4	4.4	24.4	9.8	22.0	14.6	29.3	4.3	4.4	3.3	4.4
応用物理Ⅱ 4B	45	42	93.30	6	5	1	3.9	3.5	3.7	3.7	3.7	4.4	4.1	4.1	17.1	14.6	26.8	26.8	14.6	4.0	4.2	4.4	4.3
機器分析 4B	45	41	91.10	6	4, 5	1, 3	4.2	4.0	4.2	4.2	4.0	4.7	4.6	4.5	17.9	2.6	33.3	30.8	15.4	4.4	4.6	4.0	4.7
無機化学 4B	45	43	95.60	6	4	5	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.1	3.8	4.1	14.0	4.7	25.6	25.6	30.2	3.7	4.2	3.5	4.2
有機化学 4B	45	42	93.30	6	1, 4, 5	1	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.3	4.2	4.3	9.5	14.3	31.0	14.3	31.0	4.2	4.3	3.8	4.4
生物化学 4B	45	38	84.40	6	4	4, 5, 8	3.8	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7	10.5	7.9	39.5	7.9	34.2	3.8	3.8	4.0	3.8
工業英語 4B	45	41	91.10	6	5	5	4.0	3.7	3.8	3.8	3.8	4.1	4.0	4.1	15.0	7.5	25.0	15.0	37.5	4.0	4.1	4.2	4.2
生物工学実験 4B	26	24	92.30	6	5	4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3	4.5	4.4	4.5	4.5
語学演習（田邊） 5共	80	68	85.00	6	5	7, 8	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.8	3.6	3.6	7.4	5.9	27.9	11.8	47.1	3.6	3.7	3.4	3.7

鶴岡工業高等専門学校　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
語学演習（菅野）5共	63	59	93.70	1	5	3	4.2	4.1	4.0	3.8	3.8	4.4	4.4	4.3	13.6	8.5	18.6	22.0	37.3	4.1	4.1	4.0	4.4
医療福祉機器工学 5共	50	46	92.00	1	1, 5	5	4.6	4.3	4.7	4.4	4.2	4.8	4.8	4.6	6.5	0.0	17.4	30.4	45.7	4.7	4.6	4.7	4.7
数理科学 5共	20	16	80.00	1	3	5	4.3	3.2	4.2	4.1	3.9	4.3	4.4	4.1	0.0	12.5	31.3	18.8	37.5	4.6	4.3		4.3
生産工学 5共	86	83	96.50	1	5	3, 4, 7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4	3.6	3.6	3.3	3.6	14.5	15.7	19.3	47.0	3.8	3.8	3.2	3.7
環境生態学 5共	19	19	100.00	1	5	4	4.1	4.2	4.3	4.1	4.0	4.4	4.4	4.3	5.3	0.0	10.5	21.1	63.2	3.9	4.2		4.4
国際政治 5共	51	35	68.60	1	5	7	4.2	4.2	4.2	3.8	4.0	4.4	4.3	3.9	0.0	11.4	20.0	22.9	45.7	4.3	4.3	5.0	4.2
保健・体育 5M	36	36	100.00	6	1	4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9	4.2	4.0	4.1	8.3	11.1	16.7	8.3	55.6	3.8	3.7	4.0	4.0
材料化学 5M	36	36	100.00	6	5	4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.3	5.6	8.3	30.6	13.9	41.7	4.1	4.1	3.8	4.1
機械力学Ⅱ 5M	36	36	100.00	6	4, 5	1, 5	4.0	3.5	4.1	3.7	3.6	4.2	4.0	3.9	0.0	5.6	52.8	8.3	33.3	3.7	4.1	3.5	4.0
熱力学演習 5M	36	35	97.20	6	1	4	4.0	3.9	3.9	3.7	3.7	4.0	4.1	3.8	0.0	17.1	20.0	28.6	34.3	3.9	4.1	2.7	4.0
水力学演習 5M	36	36	100.00	6	4	4	3.3	3.5	3.5	3.2	3.2	3.6	3.3	3.7	5.6	8.3	22.2	13.9	50.0	3.5	3.3	3.3	3.4
制御工学 5M	36	36	100.00	6	4	4	3.7	3.4	3.7	3.5	3.5	4.1	4.0	4.0	2.8	8.3	30.6	16.7	41.7	4.2	4.1	3.8	4.0
メカトロニクス 5M	36	35	97.20	6	4	1, 2, 4, 5	3.7	3.4	3.6	3.3	3.2	3.5	3.3	3.3	0.0	8.6	20.0	34.3	37.1	3.5	4.0	3.5	3.6
機械工学実験Ⅱ 5M	36	35	97.20	6	4	4	4.3	4.0	4.3	3.9	3.9	4.1	4.0	4.2	2.9	23.5	35.3	11.8	26.5	4.1	4.2	3.3	4.2
機械設計製図Ⅱ 5M	36	36	100.00	6	4	4	3.9	3.6	4.1	3.6	3.6	3.9	3.4	3.7	27.8	22.2	30.6	13.9	5.6	3.5	4.1	4.1	3.9
保健・体育 5E	38	34	89.50	6	2, 5	3	4.4	4.4	4.2	4.3	4.2	4.5	4.1	4.3	14.7	8.8	0.0	0.0	76.5	4.1	4.1	4.3	4.3
ドイツ語 5E	38	26	68.40	6	5	5	3.0	2.7	3.0	2.8	2.6	3.8	3.0	3.2	0.0	11.5	7.7	15.4	65.4	3.0	3.5	3.5	3.0
応用数学 5E	38	32	84.20	6	2, 6	8	3.9	3.9	3.9	3.5	3.5	4.0	4.0	3.7	3.1	12.5	25.0	18.8	40.6	4.0	3.9	3.3	3.8
発変電工学 5E	38	38	100.00	6	4	5	4.1	3.5	3.8	3.3	3.3	4.1	3.9	4.0	0.0	5.3	7.9	39.5	47.4	4.1	4.3		4.0
電気法規及び電気施設管理 5E	26	26	100.00	6	2, 5	4, 5	3.6	3.7	3.6	3.3	3.3	3.9	3.7	3.8	0.0	23.1	30.8	15.4	30.8	3.7	3.8	4.3	3.8
電子回路設計 5E	15	15	100.00	1	1, 7	5	4.0	3.7	4.0	4.1	4.0	3.9	3.5	3.9	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	3.8	4.2		4.2
電気機器設計 5E	23	22	95.70	6	2, 4, 5	3, 6	4.1	3.8	4.0	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7	4.5	13.6	31.8	31.8	18.2	3.9	4.0	4.0	3.7
保健・体育 5I	41	37	90.20	6	2	3	4.6	4.5	4.4	4.3	4.4	4.8	4.4	4.7	11.1	0.0	8.3	5.6	75.0	4.0	4.2	4.0	4.4
信号処理 5I	41	39	95.10	6	4	5	4.1	3.7	4.2	3.8	3.5	4.6	4.4	4.1	0.0	0.0	25.6	25.6	48.7	4.5	4.7	3.0	4.5
保健・体育 5B	41	31	75.60	6	5	1, 5, 8	4.8	4.6	4.6	4.6	4.5	4.7	4.5	4.7	9.7	0.0	3.2	3.2	83.9	4.3	4.6	4.5	4.8
ドイツ語 5B	41	33	80.50	6	5	8	3.3	2.7	3.0	2.8	3.1	4.0	3.1	3.3	3.0	0.0	3.0	30.3	63.6	3.3	3.5	3.0	3.2
情報処理演習 5B	41	35	85.40	6	5	8	3.2	2.9	3.2	2.9	3.0	3.1	2.7	2.8	0.0	5.7	11.4	11.4	71.4	2.9	3.4	3.5	2.8
反応工学 5B	41	40	97.60	6	5	4	4.3	4.1	4.2	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	0.0	7.9	21.1	36.8	34.2	4.0	4.3	3.5	4.3
環境とエネルギー 5B	41	39	95.10	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.6	3.9	3.9	3.6	10.3	7.7	17.9	12.8	51.3	3.8	3.9	4.5	3.9
工業英語 5B	41	38	92.70	6	5	4	3.8	3.6	3.5	3.4	3.3	3.6	3.4	3.5	5.3	7.9	10.5	18.4	57.9	3.6	3.7		3.6
無機材料化学 5B	18	18	100.00	6	5	4	4.6	4.5	4.6	4.5	4.4	4.7	4.7	4.8	5.6	16.7	22.2	11.1	44.4	4.7	4.8	5.0	4.8
生物物理化学 5B	23	23	100.00	6	5	8	4.0	4.1	4.3	4.0	3.9	4.3	4.3	4.1	0.0	4.3	21.7	26.1	47.8	4.2	4.2	4.5	4.3
総合実践英語Ⅰ S1	18	18	100.00	6	1, 6	6	3.6	3.4	3.6	3.7	3.4	4.1	3.8	3.9	0.0	0.0	22.2	33.3	44.4	3.8	3.7		3.9
実践的デザイン工学実習 S1	18	17	94.40	6	6	6	3.6	3.8	3.8	3.4	3.5	4.1	3.2	3.9	0.0	0.0	5.9	23.5	70.6	3.6	3.2		3.2
応用代数 S1	18	17	94.40	6	5, 6	1	3.2	2.8	3.0	3.2	3.1	3.4	2.7	2.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	2.8	3.3		3.1
物理学特論 S1	18	17	94.40	6	6	1, 6	3.1	2.8	3.0	2.8	2.9	3.3	2.6	3.3	0.0	6.3	12.5	12.5	68.8	3.4	3.3	2.2	3.1
データ解析 S2	23	18	78.30	6	5	4	3.8	3.6	3.8	3.5	3.6	3.6	3.5	3.3	0.0	0.0	33.3	22.2	44.4	3.7	3.7	3.0	3.6
経営工学 S2	23	17	73.90	6	5	1	4.1	4.1	4.4	4.1	4.0	4.3	4.2	4.1	5.9	11.8	23.5	11.8	47.1	4.3	3.9		4.4
システム計画学 S2	5	5	100.00	1	1	4, 5	4.4	4.6	4.6	4.4	4.0	4.4	4.0	4.8	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	4.2	4.2	5.0	4.4
数値計算 S2	2	1	50.00	1	5	4	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		5.0		5.0
環境化学 S1・S2	16	14	87.50	3	5	2	3.6	3.5	3.6	3.2	3.0	3.4	3.0	2.9	0.0	0.0	14.3	21.4	64.3	3.2	3.7	3.0	3.6
安全工学 S1・S2	17	16	94.10	1, 5	1	5	4.0	4.3	4.5	4.1	4.0	4.2	4.4	4.4	6.7	6.7	6.7	13.3	66.7	4.3	3.8		4.4
材料科学 S2	17	13	76.50	6	5	1	3.5	3.2	3.6	3.2	2.8	3.8	3.3	3.0	0.0	0.0	16.7	25.0	58.3	3.2	3.4	4.0	3.5
実践電気電子工学 S2	11	10	90.90	6	3, 5	5	4.2	4.1	4.4	3.9	3.8	4.6	4.7	4.5	10.0	0.0	20.0	30.0	40.0	4.4	4.5	5.0	4.4
基礎工業力学 S2	18	13	72.20	6	5	1	4.0	3.8	4.2	4.2	3.9	4.2	4.1	4.6	7.7	7.7	38.5	23.1	23.1	3.4	4.2	4.2	4.2
材料設計学 S2	4	4	100.00	1	4, 5	4	4.5	3.5	4.5	4.0	3.5	4.8	3.8	4.3	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	4.0	4.3		4.3
音響工学 S2	13	12	92.30	5	5	2	3.7	3.4	4.0	3.5	3.3	3.9	3.6	3.4	0.0	8.3	25.0	41.7	25.0	3.6	4.0	3.0	3.8
シミュレーション工学 S2	5	5	100.00	1	1, 3, 5	4, 5, 8	3.6	4.2	4.4	3.6	3.8	4.0	3.6	3.4	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	3.8	4.6		4.0
電磁気応用工学 S2	8	6	75.00	1	5	2, 4	4.2	3.7	4.2	4.2	4.3	4.2	4.0	3.5	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	4.2	3.8		4.2
構造有機化学 S1・S2	9	9	100.00	4	4, 5	1, 6	3.6	2.9	3.3	3.1	3.1	4.0	3.2	3.3	0.0	0.0	33.3	22.2	44.4	3.9	4.1	4.0	3.8
応用電気化学 S1・S2	10	10	100.00	1	5	4, 6	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.7	4.7	4.7	0.0	0.0	55.6	11.1	33.3	4.8	4.4		4.6

了徳寺大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
武道文化論	247	241	97.60	6	5	1	4.2	4.0	4.0	3.7	3.7	4.4	4.0	3.5	7.9	10.8	11.7	12.9	56.7	3.7	4.1	4.1	4.1
文化人類学	227	171	75.30	7	2	8	3.2	2.8	3.0	2.8	2.9	4.1	3.0	3.2	5.8	5.8	15.2	9.4	63.7	2.7	3.4	3.6	3.1
心理学〔理・整〕	154	144	93.50	6	1	4, 5	4.3	4.2	4.2	4.1	3.9	4.2	4.4	3.8	9.7	7.6	10.4	16.0	56.3	4.3	4.4	4.4	4.4
心理学〔看〕	104	98	94.20	6	1	4	4.3	4.2	4.2	4.1	3.9	4.3	4.4	3.8	9.4	13.5	13.5	24.0	39.6	4.3	4.4	4.1	4.5
情報処理演習Ⅰ〔理A〕	42	41	97.60	6	5	2	4.6	4.4	4.5	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3	19.5	12.2	4.9	7.3	56.1	4.5	4.5	4.6	4.6
情報処理演習Ⅰ〔理B〕	42	40	95.20	6	5	1	4.5	4.3	4.5	4.2	4.0	4.3	4.5	4.2	7.5	20.0	5.0	7.5	60.0	4.5	4.5	4.6	4.5
情報処理演習Ⅰ〔整A〕	35	32	91.40	6	5	5, 7	4.6	4.6	4.6	3.9	4.0	4.3	4.6	4.3	9.7	9.7	3.2	0.0	77.4	4.6	4.5	4.6	4.6
情報処理演習Ⅰ〔整B〕	35	35	100.00	6	5	1	4.4	4.5	4.4	4.1	4.2	4.2	4.5	4.0	11.4	5.7	8.6	2.9	71.4	4.5	4.5	4.6	4.5
情報処理演習Ⅰ〔看A〕	51	47	92.20	6	1	5	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0	4.3	4.4	4.0	19.1	17.0	10.6	8.5	44.7	4.5	4.4	4.4	4.4
情報処理演習Ⅰ〔看B〕	51	41	80.40	6	2, 5	3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	3.9	22.5	12.5	5.0	2.5	57.5	4.4	4.4	4.3	4.4
総合英語Ⅰ〔火1〕	24	21	87.50	6	1, 2, 7	5	4.1	4.1	3.7	3.6	3.6	3.9	3.9	4.2	4.8	9.5	19.0	23.8	42.9	3.8	4.0	4.3	4.0
総合英語Ⅰ〔火1〕	17	16	94.10	6	2	4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6	4.9	4.8	4.9	25.0	0.0	18.8	50.0	6.3	4.8	4.7	4.0	4.9
総合英語Ⅰ〔火2〕	11	11	100.00	6	2	2, 5	4.5	4.1	4.2	4.3	4.0	4.7	4.5	4.4	9.1	18.2	18.2	9.1	45.5	4.2	4.5	4.1	4.5
総合英語Ⅰ〔火2〕	14	14	100.00	6	1	4	4.6	4.7	4.6	4.3	4.4	4.8	4.8	4.8	23.1	0.0	15.4	38.5	23.1	4.6	4.7	4.6	4.7
総合英語Ⅰ〔火2〕	20	18	90.00	6	5	1	4.6	4.3	4.5	4.3	4.1	4.4	4.4	4.4	22.2	22.2	16.7	22.2	16.7	4.4	4.5	4.6	4.5
総合英語Ⅰ〔水1〕	24	22	91.70	6	5	1	4.2	4.4	4.2	3.9	3.7	4.6	4.2	4.1	4.5	4.5	4.5	50.0	36.4	4.3	4.5	4.5	4.5
総合英語Ⅰ〔水1〕	21	20	95.20	6	5	5	4.1	3.6	3.9	3.8	3.9	4.5	4.2	4.5	5.0	10.0	15.0	35.0	35.0	4.1	4.0	4.1	4.2
総合英語Ⅰ〔水1〕	13	12	92.30	6	2, 4	5	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.7	4.7	4.7	33.3	0.0	25.0	25.0	16.7	4.8	4.8	4.6	4.7
総合英語Ⅰ〔水2〕	17	15	88.20	6	1, 5, 6	5	4.7	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.6	4.6	13.3	13.3	33.3	40.0	0.0	4.7	4.7	4.1	4.8
総合英語Ⅰ〔水2〕	17	16	94.10	6	2	1	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.5	18.8	37.5	0.0	12.5	31.3	4.3	4.3	4.2	4.4
総合英語Ⅰ〔水2〕	10	10	100.00	6	2, 3, 7	3	4.6	4.3	4.8	4.6	4.5	5.0	5.0	5.0	30.0	0.0	10.0	40.0	20.0	4.9	4.9	4.5	5.0
総合英語Ⅰ〔木2〕	21	21	100.00	6	5	1	4.7	4.7	4.6	4.4	4.3	4.8	4.9	4.9	9.5	9.5	14.3	23.8	42.9	4.9	4.8	4.4	4.8
総合英語Ⅰ〔木2〕	24	24	100.00	6	5	1	4.3	4.0	4.3	4.2	3.8	4.7	3.9	4.7	4.2	0.0	25.0	20.8	50.0	4.4	4.8	4.6	4.3
総合英語Ⅰ〔木2〕	15	14	93.30	6	5	1, 4	4.5	4.4	4.1	3.8	3.6	4.4	4.1	4.6	0.0	0.0	14.3	35.7	50.0	4.4	4.5	4.6	4.4
総合英語Ⅰ〔木2〕	10	9	90.00	6	5	4	4.3	4.2	4.3	4.0	4.1	4.4	4.6	4.2	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	4.3	4.3	4.6	4.6
中国語入門〔理〕	35	31	88.60	1	5	8	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.3	4.1	4.5	9.7	3.2	16.1	29.0	41.9	4.3	4.2	4.5	4.2
中国語入門〔整・看〕	41	35	85.40	1	5	8	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	4.1	3.9	4.1	14.3	5.7	20.0	17.1	42.9	4.0	4.2	4.2	4.1
朝鮮語入門	77	69	89.60	1	2, 5	2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.1	4.4	4.3	4.4	13.2	7.4	13.2	20.6	45.6	4.1	4.3	4.3	4.4
現代生物学〔前期〕	233	204	87.60	4	5	1	3.7	3.0	3.3	3.3	3.1	3.6	3.1	2.9	4.4	13.3	21.7	20.2	40.4	3.3	3.6	3.8	3.4
現代物理学	84	77	91.70	1	2	5, 8	4.4	4.4	4.3	4.2	4.1	4.4	4.5	4.2	14.5	7.9	14.5	18.4	44.7	4.4	4.4	4.4	4.5
朝鮮語入門	54	52	96.30	1	5	8	4.0	3.8	3.9	3.8	3.8	4.1	3.9	4.1	17.3	7.7	19.2	11.5	44.2	3.8	3.8	3.8	4.0
現代社会学	137	113	82.50	1	5	8	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.8	3.6	3.4	11.5	13.3	10.6	5.3	59.3	3.3	3.6	3.8	3.7
スポーツ理論と実習Ⅰ〔理〕	84	82	97.60	6	1	7	4.5	4.6	4.4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	17.5	6.3	7.5	2.5	66.3	3.6	4.3	4.1	4.4
スポーツ理論と実習Ⅰ〔整〕	70	68	97.10	6	4	4	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.7	13.2	0.0	2.9	1.5	82.4	4.3	4.7	4.6	4.8
スポーツ理論と実習Ⅰ〔看〕	102	88	86.30	6	1	1	4.4	4.4	4.2	4.3	4.1	4.4	4.3	4.4	14.9	12.6	11.5	4.6	56.3	3.9	4.3	4.2	4.5
芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造）	25	76	304.00	6	5	1, 5, 8	4.3	4.3	4.2	4.0	3.9	4.2	4.2	4.1	13.2	10.5	6.6	5.3	64.5	4.1	4.2	4.3	4.2
現代経済学	102	72	70.60	5	5	8	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.8	3.6	3.4	8.3	5.6	9.7	11.1	65.3	3.4	3.9	4.0	3.7
芸術表現Ⅱ（書の感性と創造）	59	95	161.00	6	5	5	4.2	4.1	4.1	3.9	4.0	4.3	4.1	4.1	12.6	8.4	9.5	3.2	66.3	4.0	4.1	3.9	4.1
人間関係実践演習Ⅰ（医療教養）〔理〕	85	81	95.30	6	4	4	4.2	4.3	4.2	4.0	3.9	4.3	4.3	3.9	13.6	9.9	6.2	6.2	64.2	4.2	4.2	4.3	4.3
人間関係実践演習Ⅰ（医療教養）〔整〕	70	58	82.90	6	4	4	3.9	3.9	3.9	3.4	3.3	3.9	4.0	3.4	3.5	1.8	10.5	0.0	84.2	4.0	4.2	4.1	4.0
人間関係実践演習Ⅲ〔理〕	94	76	80.90	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	19.7	22.4	26.3	9.2	22.4	3.8	4.0	3.9	3.9
人間関係実践演習Ⅲ〔整〕	67	50	74.60	6	5	4	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	3.4	6.1	16.3	8.2	8.2	61.2	3.5	3.7	3.8	3.6
実践医療英語Ⅰ〔理・整〕〔月4〕	19	18	94.70	5	1	8	4.4	4.3	4.3	3.9	3.7	4.2	4.3	4.2	11.1	0.0	11.1	16.7	61.1	3.9	4.2	3.0	4.3
実践医療英語Ⅰ〔理・整〕〔月4〕	20	17	85.00	5	5	8	4.2	4.2	4.2	3.8	3.9	4.4	4.4	4.5	12.5	18.8	6.3	12.5	50.0	4.1	4.4	4.3	4.2
実践医療英語Ⅰ〔木3〕	11	11	100.00	6	5	3	4.2	4.0	4.3	4.3	4.4	4.7	4.7	4.7	36.4	18.2	9.1	27.3	9.1	4.5	4.5	4.4	4.5
実践医療英語Ⅰ〔木3〕	27	25	92.60	6	5	5	4.3	4.2	4.2	4.4	4.3	4.6	4.3	4.5	32.0	12.0	28.0	8.0	20.0	4.3	4.4	4.5	4.6
実践医療英語Ⅰ〔木3〕	19	19	100.00	6	5	1	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.7	4.5	4.6	52.6	0.0	15.8	10.5	21.1	4.5	4.6	4.6	4.7
実践医療英語Ⅰ〔木4〕	24	21	87.50	6	5	1	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	42.9	19.0	28.6	9.5	0.0	4.6	4.6	4.5	4.5
実践医療英語Ⅰ〔木4〕	24	24	100.00	6	5	5, 8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	4.5	20.8	12.5	8.3	16.7	41.7	4.5	4.6	4.5	4.6
実践医療英語Ⅰ〔木4〕	14	13	92.90	6	6	1, 3, 5, 8	4.8	4.7	4.7	4.8	4.6	4.9	4.9	4.9	7.7	7.7	30.8	30.8	23.1	4.9	4.9	4.9	5.0
人間関係実践演習Ⅰ（医療教養）〔看〕	102	85	83.30	6	4	4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	4.3	4.3	3.9	13.1	9.5	11.9	9.5	56.0	4.2	4.2	4.2	4.2
人間関係実践演習Ⅲ〔看〕	120	34	28.30	6	4, 5	5	4.0	4.2	4.2	3.9	3.9	4.2	4.1	4.0	14.7	14.7	11.8	5.9	52.9	4.0	3.9	4.1	4.1
生化学	83	69	83.10	5	1	1, 5	3.9	3.4	3.5	3.5	3.4	4.3	3.6	3.7	10.3	10.3	19.1	19.1	41.2	3.7	3.8	4.0	3.9
解剖学Ⅰ〔理〕	85	84	98.80	6	4	1	4.3	3.9	4.2	4.3	4.1	4.1	3.5	3.1	9.5	27.4	34.5	22.6	6.0	3.8	3.9	3.8	4.0
解剖学Ⅰ〔整〕	70	68	97.10	6	4	1	4.5	4.0	4.4	4.3	4.1	4.3	3.8	3.5	4.4	5.9	45.6	33.8	10.3	3.8	4.2	4.3	4.2
解剖学実習〔理〕	82	71	86.60	6	4	1	4.2	4.0	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	18.6	27.1	18.6	18.6	17.1	4.0	4.0	4.0	4.2
生理学Ⅰ〔理〕	84	81	96.40	6	4	4	4.2	3.9	4.0	4.1	3.9	4.4	4.1	3.9	13.6	16.0	24.7	27.2	18.5	4.0	4.2	4.1	4.2
生理学Ⅰ〔整〕	70	69	98.60	6	4	5	4.2	3.8	4.0	3.8	3.8	4.4	4.0	3.8	4.4	4.4	20.6	39.7	30.9	4.2	4.2	4.3	4.3
生理学実習〔理〕	84	73	86.90	6	4	4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.5	4.4	4.4	8.2	19.2	16.4	26.0	30.1	4.3	4.2	4.2	4.4
運動生理学	69	47	68.10	6	5	4	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1	4.4	4.4	4.4	15.2	17.4	15.2	15.2	37.0	4.2	4.3	4.4	4.4
臨床心理学〔理〕	85	76	89.40	6	5	4	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.3	4.1	17.1	18.4	10.5	11.8	42.1	4.2	4.2	4.2	4.3
臨床心理学〔整・看〕	26	24	92.30	1	4	5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.7	4.5	4.7	16.7	8.3	8.3	12.5	54.2	4.7	4.7	4.7	4.5
薬理学〔理・整〕	86	79	91.90	1	4	5	4.2	4.3	4.3	4.2	4.1	4.4	4.3	3.9	12.7	20.3	13.9	11.4	41.8	4.2	4.2	3.6	4.3
薬理学〔看〕	119	96	80.70	6	4	1	4.6	4.5	4.5	4.6	4.4	4.7	4.7	4.3	23.4	14.9	13.8	17.0	30.9	4.6	4.6	4.6	4.7
微生物学・免疫学〔理・整〕	86	68	79.10	1, 5	4	1, 5	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	4.2	3.8	3.8	13.2	16.2	17.6	11.8	41.2	3.6	3.9	4.1	3.9
病理学概論〔整〕	70	54	77.10	6	5	4	4.0	3.8	4.0	3.9	3.9	4.0	3.8	3.5	9.3	18.5	22.2	14.8	35.2	3.6	3.8	4.1	3.9
内科学Ⅰ〔理〕	81	73	90.10	6	4	1	4.2	4.0	4.2	4.1	4.1	4.5	4.4	4.1	16.4	19.2	12.3	23.3	28.8	4.3	4.3	4.3	4.3
内科学Ⅰ〔整〕	77	71	92.20	6	5	4	4.0	3.8	4.1	3.9	3.9	4.4	4.1	3.8	7.1	1.4	11.4	27.1	52.9	4.1	4.2	4.2	4.2
整形外科学Ⅱ〔理〕	12	9	75.00	4	5	5	3.7	3.4	3.4	3.7	3.6	3.4	3.7	3.4	0.0	22.2	33.3	0.0	44.4	3.6	3.8	3.8	3.7
整形外科学Ⅱ〔整〕	11	10	90.90	1	5	4	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6	4.8	4.2	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	4.5	4.5	4.4	4.7
老年医学	84	71	84.50	6	5	4	2.7	2.1	2.2	2.2	2.3	2.2	1.9	2.2	8.6	2.9	11.4	10.0	67.1	1.9	2.5	2.8	2.0
リハビリテーション医学〔整〕	71	55	77.50	6	5	4	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3	4.6	4.4	4.3	11.1	11.1	13.0	24.1	40.7	4.0	4.3	4.3	4.4
関係法規	72	69	95.80	6	4	5	4.3	4.4	4.4	4.2	4.0	4.6	4.6	3.9	21.7	10.1	10.1	29.0	29.0	4.3	4.2	4.2	4.4
衛生学・公衆衛生学〔理〕	65	49	75.40	7	5	8	3.1	2.9	2.9	2.8	2.9	3.0	2.7	2.5	2.0	12.2	12.2	10.2	63.3	3.1	3.1	3.4	2.7
人体の構造・機能論Ⅰ（骨格・筋系、神経系、消化吸収）	108	88	81.50	6	4	1, 5	3.6	3.4	3.5	3.7	3.6	3.6	3.3	3.0	9.1	22.7	21.6	19.3	27.3	3.5	3.6	4.2	3.7
人体構造・生理機能実習	121	95	78.50	6	4	4	4.6	4.4	4.5	4.5	4.4	4.7	4.7	4.4	25.5	17.0	14.9	22.3	20.2	4.6	4.5	4.6	4.7
生理学総論Ⅰ	102	100	98.00	6	4	4	4.4	4.2	4.3	4.2	4.0	4.6	4.5	4.2	11.0	15.0	28.0	22.0	24.0	4.4	4.4	4.1	4.5
疾病・治療Ⅰ（総論）	119	83	69.70	6	4	5	3.1	2.2	2.4	2.4	2.4	2.3	2.0	2.3	4.9	3.7	15.9	8.5	67.1	2.1	2.7	3.5	2.2
疫学	124	59	47.60	6	4	4	3.5	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4	3.2	3.2	10.2	13.6	20.3	10.2	45.8	3.3	3.4	3.2	3.4
産業保健看護論	44	28	63.60	1	4	8	4.1	4.1	4.3	4.0	3.9	4.4	4.3	4.1	17.9	14.3	3.6	17.9	46.4	4.3	4.1	4.3	4.3
保健医療福祉行政論	120	75	62.50	6	4	4	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	3.7	3.5	3.7	10.7	20.0	21.3	12.0	36.0	3.6	3.7	3.8	3.7
芸術療法実技Ⅱ（書の感性と創造）	50	26	52.00	6	1	5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4	34.6	23.1	7.7	0.0	34.6	4.3	4.3	4.2	4.4
神経内科学Ⅰ	94	91	96.80	6	5	4	3.2	3.0	3.1	3.0	3.1	3.1	2.7	2.9	7.7	13.2	31.9	17.6	29.7	2.8	3.0	3.2	2.7
スポーツ医学Ⅰ	63	40	63.50	6	4, 5	1, 4	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1	4.2	4.2	4.3	12.5	10.0	12.5	15.0	50.0	4.2	4.2	4.3	4.3
スポーツ傷害論Ⅰ	62	37	59.70	6	4	4	4.2	4.2	4.3	4.1	4.2	4.4	4.4	4.4	11.1	13.9	13.9	16.7	44.4	4.3	4.3	4.3	4.4
スポーツ栄養学〔整〕	64	53	82.80	4	4	1	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9	4.3	4.1	4.4	11.5	9.6	11.5	17.3	50.0	3.7	4.1	4.1	4.2
スポーツ栄養学〔看〕	11	11	100.00	6	4	3, 4	4.5	4.4	4.5	4.2	4.3	4.5	4.5	4.6	18.2	9.1	0.0	18.2	54.5	4.5	4.5	4.4	4.5
スポーツ心理学Ⅱ	61	54	88.50	6	5	4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.3	4.8	4.6	4.6	9.8	2.0	5.9	35.3	47.1	4.3	4.4	4.5	4.6
体育原理	14	12	85.70	4	1	3, 5	4.8	4.6	4.8	4.4	4.1	4.7	4.9	4.8	8.3	8.3	0.0	0.0	83.3	4.5	4.6	4.7	4.8
スポーツ経営管理学	67	57	85.10	6	5	1	4.2	4.1	4.2	3.9	4.0	4.4	4.2	4.0	8.9	3.6	17.9	16.1	53.6	4.2	4.4	4.3	4.2
運動学Ⅱ	85	75	88.20	6	4	1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	3.9	25.3	37.3	10.7	16.0	10.7	4.0	4.1	4.2	4.1
臨床運動学実習	95	87	91.60	6	5	4	4.1	3.9	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1	4.1	13.8	27.6	20.7	21.8	16.1	3.9	4.1	4.1	4.2
理学療法学概論	84	84	100.00	6	4	1	4.4	4.2	4.2	4.1	3.8	4.4	4.3	4.2	7.1	7.1	21.4	38.1	26.2	3.9	4.2	4.2	4.4
日常生活活動学実習	92	86	93.50	6	4	1	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	23.3	22.1	17.4	12.8	24.4	4.2	4.2	4.2	4.4
理学療法評価学Ⅰ	84	82	97.60	6	4	1	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5	4.4	4.4	19.5	19.5	11.0	13.4	36.6	4.3	4.3	4.3	4.5
理学療法評価学Ⅱ	4	4	100.00	5	4	3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	4.8	4.8	4.8	5.0
物理療法学総論（実習を含む）	95	89	93.70	6	4	4	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	21.3	30.3	18.0	18.0	12.4	4.0	4.0	4.0	4.2

了徳寺大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熟意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オブション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
義肢装具学実習	95	92	96.80	6	5	4	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.0	4.0	3.9	13.2	33.0	26.4	13.2	14.3	3.8	3.9	3.9	4.0
整形外科系障害理学療法学演習	96	85	88.50	6	5	4	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	10.6	29.4	32.9	18.8	8.2	3.6	3.7	3.7	3.7
神経系障害理学療法学演習	103	97	94.20	6	4	4	3.9	3.7	3.9	3.8	3.7	4.0	3.9	3.8	12.4	32.0	34.0	11.3	10.3	3.8	3.9	4.0	3.9
内部障害理学療法学	100	95	95.00	6	4	3	4.1	3.7	3.8	3.9	3.9	4.0	3.8	3.8	22.1	30.5	35.8	6.3	5.3	3.9	4.0	4.0	3.9
内部障害理学療法学実習	97	94	96.90	6	5	4	4.0	3.8	4.0	3.9	3.9	4.1	4.0	3.9	12.8	34.0	24.5	17.0	11.7	3.9	4.0	4.0	4.1
発達障害理学療法学総論	95	93	97.90	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	4.0	3.9	3.9	18.3	32.3	25.8	16.1	7.5	3.8	3.9	3.8	3.9
スポーツ障害理学療法学演習	90	89	98.90	1	4	5	3.7	3.5	3.5	3.4	3.4	3.0	2.9	2.9	5.6	16.9	23.6	27.0	27.0	3.1	3.2	3.6	3.2
老年期障害理学療法学演習	40	36	90.00	1	5	4	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	13.9	33.3	8.3	16.7	27.8	4.1	4.1	4.2	4.1
生活環境学	94	86	91.50	6	5	4	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	19.8	36.0	19.8	10.5	14.0	3.9	4.0	4.0	4.0
整復医療学概論	70	60	85.70	6	4	1	4.6	4.1	4.4	4.5	3.6	4.9	4.6	3.6	0.0	3.3	13.3	38.3	45.0	4.3	4.6	4.6	4.8
整復ケア理論(骨折学)	70	69	98.60	6	4	1	4.7	4.6	4.7	4.6	4.2	4.9	4.8	4.0	5.8	10.1	34.8	42.0	7.2	4.7	4.6	4.6	4.9
整復ケア理論(脱臼学)	70	68	97.10	6	4	1	4.7	4.6	4.6	4.5	4.2	4.6	4.7	4.5	7.5	1.5	40.3	35.8	14.9	4.5	4.5	4.5	4.6
スポーツトレーニング概論	74	70	94.60	6	1, 4	3, 5	4.6	4.3	4.5	4.4	4.1	4.7	4.6	4.4	12.9	2.9	5.7	25.7	52.9	4.4	4.5	4.5	4.7
整復ケア骨損傷学Ⅰ	74	66	89.20	6	4	4	4.5	4.3	4.5	4.4	4.3	4.9	4.5	4.2	7.6	1.5	18.2	31.8	40.9	4.3	4.5	4.5	4.7
整復ケア関節損傷学Ⅰ	74	60	81.10	6	4	4	4.5	4.3	4.5	4.4	4.3	4.6	4.4	4.2	8.3	10.0	18.3	35.0	28.3	4.3	4.4	4.4	4.5
整復ケア関節損傷学Ⅱ	74	61	82.40	6	4	4	4.4	4.3	4.5	4.4	4.2	4.6	4.2	4.3	6.6	9.8	13.1	41.0	29.5	4.2	4.5	4.3	4.5
整復ケア軟部組織損傷学Ⅰ	76	64	84.20	6	4	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.6	4.6	4.5	3.2	4.8	15.9	41.3	34.9	4.5	4.5	4.5	4.6
検査・測定と評価	70	63	90.00	6	4	1, 4	4.4	4.5	4.6	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4	9.5	7.9	22.2	20.6	39.7	4.4	4.4	4.3	4.5
上肢骨折実技演習Ⅱ	71	60	84.50	6	4	4	4.3	4.1	4.4	4.3	4.1	4.8	4.2	4.0	3.3	10.0	20.0	21.7	45.0	3.5	4.2	4.2	4.3
東洋医療論	9	9	100.00	1	4	5, 7	4.8	4.9	4.9	4.7	4.2	4.8	4.8	4.8	11.1	0.0	0.0	11.1	77.8	4.7	4.8	4.8	5.0
整復総合理論Ⅰ	73	64	87.70	6	4	1	4.4	4.1	4.4	4.3	4.1	4.5	4.4	4.0	9.4	17.2	26.6	32.8	14.1	4.3	4.1	4.2	4.3
検査・測定と評価演習Ⅰ	60	55	91.70	4	1	4	4.5	4.5	4.6	4.4	4.3	4.5	4.5	4.6	18.2	10.9	14.5	12.7	43.6	4.2	4.4	4.5	4.5
基礎整復総合演習Ⅰ	74	62	83.80	6	4	4	4.5	4.3	4.4	4.3	4.2	4.5	4.3	4.0	22.6	14.5	21.0	29.0	12.9	4.2	4.0	4.3	4.4
体幹下肢軟部損傷演習	70	64	91.40	6	4	1	4.4	4.5	4.6	4.4	4.2	4.6	4.6	4.5	18.8	17.2	7.8	17.2	39.1	4.5	4.5	4.5	4.6
下肢骨折脱臼実技	70	61	87.10	6	4	4	4.2	4.1	4.3	4.1	4.0	4.8	4.2	3.9	8.2	8.2	18.0	23.0	42.6	3.7	4.2	4.1	4.4
上肢軟部損傷実技	74	66	89.20	6	4	1, 5	4.7	4.5	4.6	4.5	4.3	4.5	4.6	4.6	10.8	7.7	12.3	21.5	47.7	4.6	4.3	4.2	4.7
スポーツコンディショニング論Ⅰ	63	59	93.70	6	4	4	4.7	4.5	4.8	4.8	4.5	4.7	4.7	4.7	23.7	11.9	16.9	20.3	27.1	4.5	4.5	4.5	4.7
アスレティックリハビリテーションⅠ	59	55	93.20	1	1, 4	3, 5	4.4	4.3	4.4	4.3	4.1	4.3	4.3	4.4	14.8	7.4	13.0	29.6	35.2	4.1	4.3	4.4	4.4
看護学概論	102	100	98.00	6	4	4	4.3	4.1	4.3	4.2	4.0	4.7	4.5	4.6	14.1	11.1	18.2	22.2	34.3	4.2	4.4	4.4	4.6
看護過程論	119	112	94.10	6	4	1	4.5	4.1	4.3	4.3	4.3	4.7	4.3	4.6	18.8	20.5	39.3	13.4	8.0	4.3	4.3	4.5	4.5
生涯発達看護論	104	94	90.40	6	4	1	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7	4.0	3.8	3.4	11.7	17.0	11.7	16.0	43.6	3.9	4.0	4.1	4.0
看護技術Ⅱ(生活支援技術・診療過程支援技術)〔看A〕	57	54	94.70	6	4	1	4.4	4.2	4.3	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3	17.0	26.4	22.6	11.3	22.6	4.2	4.2	4.2	4.3
看護技術Ⅱ(生活支援技術・診療過程支援技術)〔看B〕	62	48	77.40	6	4	1	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	39.6	18.8	12.5	14.6	14.6	4.7	4.7	4.7	4.7
成人看護学概論	102	99	97.10	6	4	1	4.1	3.5	3.8	3.8	3.4	4.0	3.5	3.4	5.1	6.1	25.3	23.2	40.4	3.6	3.9	3.9	3.9
成人看護方法論Ⅱ	119	35	29.40	6	4	5	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1	6.1	27.3	18.2	30.3	18.2	4.1	4.0	4.0	4.1
高齢者看護方法論	121	100	82.60	6	4	4	3.4	3.0	3.2	3.1	3.2	3.1	2.5	2.9	10.0	9.0	26.0	15.0	40.0	2.7	3.3	3.6	2.8
精神看護方法論	122	75	61.50	6	4	4	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	10.6	27.3	18.2	18.2	25.8	3.9	4.0	4.1	4.0
小児看護方法論	120	66	55.00	6	4	4	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.2	22.2	34.9	17.5	22.2	3.6	3.7	3.7	3.8
母性看護方法論	120	60	50.00	6	5	4	4.1	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.7	3.7	15.5	27.6	24.1	15.5	17.2	3.8	3.9	3.9	3.8
健康生活支援論Ⅱ	39	32	82.10	6	4	1, 4	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	4.0	3.9	4.0	9.4	21.9	21.9	25.0	21.9	3.8	3.8	3.9	3.9
在宅看護方法論	119	44	37.00	6	4	1	3.8	3.5	3.7	3.5	3.5	4.0	3.3	3.7	13.6	6.8	29.5	25.0	25.0	3.5	3.7	3.7	3.6
災害看護論	119	69	58.00	6	4	4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.5	4.5	4.4	24.6	23.2	17.4	4.3	30.4	4.2	4.3	4.2	4.4
医療安全支援論	118	46	39.00	6	4	1	4.3	4.3	4.4	4.1	4.1	4.4	4.3	4.2	8.9	13.3	22.2	37.8	17.8	4.2	4.2	4.2	4.3
看護情報学	94	20	21.30	1, 5	4	3	4.0	4.2	4.1	3.7	3.6	4.3	4.2	4.3	15.0	5.0	10.0	10.0	60.0	4.1	4.2	4.1	4.2
看護教育学	9	6	66.70	1	1	3	4.7	4.3	4.2	4.3	4.2	4.7	4.5	4.8	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	4.5	4.3	4.2	4.5
看護倫理学	120	45	37.50	6	4	5	3.9	3.8	3.9	3.5	3.6	3.9	3.4	3.7	2.2	11.1	17.8	15.6	53.3	3.6	3.8	4.0	3.9
看護管理学	107	40	37.40	1	4	5	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.2	4.0	3.5	15.0	10.0	10.0	12.5	52.5	4.0	4.0	3.9	4.1
公衆衛生看護活動論	120	62	51.70	6	4, 5	4	4.0	4.1	4.0	3.9	3.8	4.2	4.2	4.1	13.6	22.0	18.6	18.6	27.1	4.2	4.1	4.2	4.2
公衆衛生看護管理論	28	27	96.40	4	5	1	4.2	4.0	4.0	3.8	3.9	4.3	4.0	4.0	3.7	11.1	11.1	51.9	22.2	4.1	4.2	4.4	4.2
学校保健Ⅰ(保健師)	55	48	87.30	1	1	5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	19.1	21.3	12.8	17.0	29.8	4.6	4.6	4.5	4.5
学校保健Ⅱ(精神保健)	17	17	100.00	6	5	1	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6	4.5	29.4	11.8	5.9	23.5	29.4	4.5	4.6	4.7	4.6
養護概論	17	17	100.00	1	4	3	4.7	4.5	4.6	4.5	4.4	4.8	4.7	4.8	26.7	6.7	26.7	0.0	40.0	4.5	4.5	4.4	4.8
健康相談活動の理論及び方法	12	9	75.00	4	1	5	4.6	4.4	4.6	4.6	4.4	4.6	4.4	4.6	44.4	11.1	33.3	0.0	11.1	4.3	4.4	4.4	4.5
教職概論	41	36	87.80	6	4	5	3.7	3.7	3.7	3.4	3.4	3.9	3.5	3.9	2.9	8.6	17.1	8.6	62.9	3.7	4.0	4.0	3.7
保健科教育法Ⅱ	8	6	75.00	6	3, 5	4	4.2	4.8	4.8	4.5	4.3	4.7	5.0	4.7	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	4.2	4.3	4.7	4.8
体育科教育法Ⅱ	8	6	75.00	6	3, 5, 7, 8	2, 3, 4	4.3	4.5	4.8	4.7	4.2	4.5	4.8	5.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	3.7	4.0	4.2	4.5
道徳教育の理論と実践	37	33	89.20	6	4	5, 8	4.1	3.9	4.1	3.9	4.0	4.3	4.0	4.3	12.1	9.1	6.1	12.1	60.6	3.9	4.1	4.3	4.3
特別活動論	13	11	84.60	1	4	3	4.5	4.5	4.5	4.1	4.2	4.8	4.5	4.8	0.0	0.0	0.0	27.3	72.7	4.3	4.2	4.4	4.5
生徒指導の理論及び方法〔看〕	13	12	92.30	4	4	5	4.6	4.7	4.5	4.7	4.3	4.9	4.8	4.9	18.2	9.1	27.3	0.0	45.5	4.8	4.8	4.7	4.7
養護実習指導	11	11	100.00	4	1	3	4.7	4.9	4.8	4.8	4.6	5.0	5.0	5.0	18.2	18.2	18.2	9.1	36.4	4.7	4.9	4.8	5.0
スポーツコーチング論	61	58	95.10	4	4	3, 4	4.6	4.6	4.6	4.5	4.4	4.8	4.7	4.7	10.3	3.4	8.6	34.5	43.1	4.6	4.5	4.6	4.7
教育制度論	41	35	85.40	6	5	1	3.9	3.8	3.9	3.6	3.8	4.0	3.8	4.0	17.1	8.6	20.0	5.7	48.6	3.6	3.9	4.0	3.8
学校保健(養護教諭)	27	27	100.00	4	4	3, 5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	11.1	14.8	11.1	11.1	51.9	4.5	4.5	4.7	4.3
学校保健	6	5	83.30	6	4	1, 3, 4, 8	3.8	4.0	4.4	3.8	3.4	4.4	4.0	4.6	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	4.0	4.2	3.6	4.0

湘南医療大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
コミュニケーション論	173	164	94.80	6	4	5	4.4	4.3	4.2	4.0	3.8	4.7	4.5	4.3	4.3	4.9	21.3	32.9	36.6	4.3	4.3	3.1	4.5
英語Ⅰ(Aクラス)	44	40	90.90	6	5	1	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.3	20.0	20.0	22.5	12.5	25.0	4.4	4.5	4.4	4.5
英語Ⅱ(Aクラス)	55	49	89.10	6	5	4	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	12.2	14.3	22.4	12.2	38.8	4.1	4.0	3.9	4.1
中国語	150	144	96.00	1	5	2	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	4.2	4.0	3.9	10.4	6.3	15.3	16.7	51.4	3.7	4.0	4.0	4.1
文学	55	43	78.20	1	2, 5	3	4.0	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.7	4.7	23.3	20.9	46.5	3.7	4.0	3.8	4.1
文化人類学	149	131	87.90	1, 5	2, 5	2	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.9	3.7	3.3	5.3	3.8	14.5	18.3	58.0	3.7	3.8	2.8	3.8
国際関係論	128	111	86.70	1	5	2	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	3.8	3.7	6.3	11.7	19.8	19.8	42.3	3.8	3.8	3.6	4.0
栄養学	85	84	98.80	6	4	5	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	4.0	3.6	9.6	7.2	27.7	25.3	30.1	3.9	4.0	3.5	4.0
レクリエーションスポーツ(水2)	40	36	90.00	1	2	7	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.9	4.8	4.9	13.9	0.0	8.3	11.1	66.7	4.5	4.8	3.1	4.9
情報リテラシー（3限）	83	83	100.00	1	5	1	4.3	3.6	3.9	3.8	3.8	3.8	3.6	3.6	7.2	9.6	15.7	9.6	57.8	3.5	3.7	3.7	3.8
公衆衛生学	181	172	95.00	6	5	5	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	4.3	4.2	3.8	7.6	10.0	20.6	11.8	50.0	4.1	4.0	3.9	4.1
保健行政論	181	151	83.40	6	5	4	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.7	3.6	3.3	2.0	12.1	17.4	12.1	56.4	3.7	3.5	3.1	3.7
法学（含日本国憲法）	86	76	88.40	6	5	4	3.7	3.6	3.7	3.5	3.4	3.8	3.6	3.4	2.6	5.3	18.4	21.1	52.6	3.3	3.6	3.2	3.6
生物学	137	132	96.40	1	5	1	4.0	3.7	3.7	3.5	3.3	3.4	3.4	2.9	1.5	9.8	22.0	28.0	38.6	3.9	3.5	3.2	3.5
物理学	99	94	94.90	2	5	8	3.7	3.5	3.6	3.4	3.3	3.6	3.4	3.1	3.2	7.4	21.3	24.5	43.6	3.4	3.6	3.1	3.6
環境論	131	126	96.20	7	2	5	3.9	4.0	3.8	3.7	3.9	4.3	3.9	3.7	3.2	4.8	14.3	21.4	56.3	3.0	3.8	3.7	4.1
倫理学	170	159	93.50	1	5	5	4.3	4.1	4.1	3.9	3.8	4.6	4.4	3.7	4.4	7.0	18.4	24.7	45.6	4.2	4.1	3.8	4.3
心理学	172	152	88.40	6	5	4	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	4.3	4.2	3.9	7.3	7.3	15.2	21.2	49.0	3.8	4.0	3.9	4.2
人体の構造・機能Ⅰ	87	78	89.70	6	4	5	4.2	3.7	4.0	3.9	3.7	4.4	3.9	4.0	10.3	11.5	33.3	26.9	17.9	4.1	4.0	3.8	4.2
病態学Ⅰ（診断と治療）	102	87	85.30	6	4, 5	4	4.0	3.7	3.8	3.9	3.7	3.8	3.6	3.6	8.0	12.6	21.8	24.1	33.3	3.7	3.6	3.3	3.7
病態学Ⅱ（診断と外科的治療、含救急と麻酔学）	101	88	87.10	6	5	4	3.9	3.4	3.6	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	5.7	21.6	25.0	23.9	23.9	3.3	3.4	3.3	3.4
微生物学	85	80	94.10	6	4	1	4.6	4.4	4.5	4.4	4.3	4.7	4.6	4.5	18.8	12.5	26.3	12.5	30.0	4.5	4.5	4.2	4.6
現代医療論	100	91	91.00	6	5	4	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.3	4.3	3.9	7.7	11.0	8.8	14.3	58.2	4.2	4.0	3.2	4.3
看護関係法規	106	101	95.30	6	4	5	3.9	3.7	3.8	3.7	3.5	3.9	3.6	3.3	3.0	9.0	30.0	35.0	23.0	3.5	3.5	3.5	3.6
疫学	99	90	90.90	6	5	4	3.8	3.6	3.7	3.5	3.5	4.0	3.8	3.7	2.2	16.7	15.6	12.2	53.3	3.6	3.7	3.5	3.9
保健医療情報処理論	95	88	92.60	1, 5, 6	5	4	3.8	3.6	3.6	3.5	3.5	3.9	3.6	3.5	2.3	18.2	20.5	12.5	46.6	3.6	3.6	3.1	3.8
看護学概論	85	82	96.50	6	4	1	4.2	4.1	4.2	4.1	3.9	4.2	3.8	3.9	1.2	23.5	37.0	30.9	7.4	4.1	4.1	4.0	4.2
看護倫理	100	90	90.00	6	4	4	3.9	4.0	4.0	3.8	3.9	4.0	3.8	3.8	7.9	15.7	18.0	21.3	37.1	3.8	4.0	3.7	3.9
看護援助論Ⅰ（看護技術概論）	85	85	100.00	6	4	1	4.5	4.4	4.4	4.4	4.2	4.7	4.7	4.5	11.8	22.4	44.7	18.8	2.4	4.5	4.5	4.3	4.6
看護援助論Ⅱ（生活援助技術）	85	84	98.80	6	4	1	4.5	4.4	4.6	4.5	4.2	4.6	4.4	4.4	10.7	17.9	45.2	23.8	2.4	4.3	4.3	4.4	4.5
看護援助論Ⅳ（健康診査）	100	99	99.00	6	4	4, 5	4.6	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.4	4.4	18.2	28.3	36.4	13.1	4.0	4.3	4.4	4.4	4.5
成人看護学概論	102	100	98.00	6	4	5	4.2	4.0	4.1	4.1	3.9	4.2	4.0	3.9	9.0	13.0	35.0	27.0	16.0	3.7	3.8	3.8	4.0
成人看護方法論Ⅰ（周手術期ケア・クリティカルケア）	107	100	93.50	6	4	4	4.2	3.9	4.0	4.0	3.8	4.0	3.8	3.8	5.1	14.1	34.3	30.3	16.2	3.8	3.8	3.8	4.0
がん看護論	83	82	98.80	1	5	5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	20.7	35.4	15.9	9.8	18.3	4.2	4.2	3.7	4.3
老年看護学概論	102	86	84.30	6	5	4	4.1	3.9	3.8	3.8	3.7	3.9	3.5	3.7	4.7	17.6	18.8	28.2	30.6	3.3	3.4	3.5	3.8
老年看護方法論Ⅱ（療養生活支援技術）	80	76	95.00	6	5	4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5	4.5	26.3	34.2	30.3	5.3	3.9	4.4	4.4	4.2	4.6
認知症看護論	35	32	91.40	1	5	4	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	21.9	31.3	31.3	15.6	0.0	4.1	4.0	4.0	4.1
小児看護学概論	104	102	98.10	6	4	4	4.4	4.2	4.3	4.2	4.1	4.4	4.4	4.1	5.9	16.7	39.2	31.4	6.9	4.3	4.2	4.0	4.3
小児看護方法論Ⅱ（看護展開の方法）	80	77	96.30	6	5	4	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	3.7	26.3	38.2	25.0	6.6	3.9	3.8	3.6	4.1	3.6
小児看護方法論Ⅲ（子どもと遊び）	8	8	100.00	1	5	5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	37.5	37.5	12.5	12.5	0.0	4.5	4.6	3.9	4.6
母性看護学概論	107	98	91.60	6	5	4	4.1	3.8	3.9	3.8	3.8	3.9	3.5	3.8	9.3	14.4	22.7	25.8	27.8	3.4	3.5	3.6	3.8
母性看護方法論Ⅱ	81	77	95.10	6	5	4	4.2	3.9	4.0	3.9	3.9	4.1	3.9	3.8	13.2	27.6	31.6	17.1	10.5	3.8	3.9	3.7	3.9
母性看護方法論Ⅲ（女性論）	55	53	96.40	1	5	5	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4	4.2	18.9	34.0	9.4	9.4	28.3	4.3	4.3	4.3	4.3
精神看護方法論Ⅰ（主要症状への支援技術）	77	75	97.40	6	5	4	4.1	3.9	4.0	3.9	3.9	4.1	4.0	3.9	16.0	26.7	38.7	8.0	10.7	4.0	4.0	3.8	4.1
精神看護方法論Ⅱ（社会生活適応への支援）	75	71	94.70	6	5	4	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	11.6	30.4	33.3	14.5	10.1	3.9	3.9	3.8	3.9
在宅看護方法論Ⅰ	82	77	93.90	6	5	4	4.1	4.0	4.0	3.9	3.8	4.2	3.8	4.1	2.6	24.7	24.7	28.6	19.5	3.6	3.8	3.9	3.9
在宅看護方法論Ⅱ	86	81	94.20	6	5	4, 5	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	3.9	4.0	21.0	37.0	30.9	7.4	3.7	4.0	4.0	3.9	4.0
在宅看護方法論Ⅲ（在宅医療機器論）	26	26	100.00	1	5	2	4.2	4.1	4.2	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2	11.5	42.3	23.1	11.5	11.5	4.1	4.1	4.1	4.1
家族看護学	81	69	85.20	6	5	4	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	8.7	34.8	39.1	11.6	5.8	3.9	3.9	3.8	4.1
看護管理学	78	72	92.30	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.8	3.7	4.1	3.7	3.8	4.2	20.8	18.1	25.0	31.9	3.5	3.6	3.3	3.8
異文化看護論	51	49	96.10	1	3	5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	40.8	20.4	4.1	6.1	28.6	4.7	4.6	4.6	4.7
国際医療と看護	97	96	99.00	6	5	4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.5	4.3	9.4	15.6	11.5	14.6	49.0	4.2	4.3	4.3	4.5
災害看護	100	87	87.00	6	5	4	3.8	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	9.2	19.5	18.4	49.4	3.4	3.2	3.2	3.4
危機管理	78	71	91.00	6	4, 5	1, 4	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.0	4.0	7.0	18.3	23.9	29.6	21.1	3.8	3.9	3.7	4.1
看護カウンセリング	97	93	95.90	1	4	5	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.0	4.1	8.6	19.4	17.2	19.4	35.5	3.9	3.9	3.5	4.1
インターンシップ	18	16	88.90	1	3, 4	3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	50.0	31.3	18.8	0.0	0.0	4.3	4.3	4.2	4.3
公衆衛生看護学概論	80	75	93.80	6	5	4	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.9	3.7	3.6	4.0	13.3	36.0	26.7	20.0	3.6	3.6	3.5	3.8
公衆衛生看護方法論Ⅰ	11	11	100.00	5	4	1, 5	4.3	4.1	4.2	4.1	4.0	4.3	3.8	3.7	0.0	18.2	27.3	36.4	18.2	3.9	3.9	3.9	4.2
公衆衛生看護方法論Ⅱ	11	10	90.90	1, 5, 6	4	3	4.5	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	4.6	4.5	4.1	4.6
公衆衛生看護活動論	11	11	100.00	1	4	4, 5	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3	4.2	3.8	3.5	0.0	27.3	18.2	36.4	18.2	3.6	4.0	3.9	4.2
産業保健・学校保健論	11	11	100.00	6	4, 5	5	4.4	3.9	4.1	4.1	4.2	4.4	3.9	4.4	0.0	27.3	18.2	27.3	27.3	3.9	4.2	3.0	4.4
健康危機管理論	81	70	86.40	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	5.7	24.3	21.4	14.3	34.3	3.7	3.9	3.6	4.0
公衆衛生看護管理論	11	11	100.00	1, 6	4, 5	5	4.4	3.9	3.9	4.1	4.1	4.4	4.2	4.2	9.1	27.3	9.1	27.3	27.3	3.8	4.2	3.2	4.4
保健医療福祉行政論	11	11	100.00	1	4	1	4.4	4.3	4.5	4.5	4.3	4.5	3.9	3.7	0.0	18.2	27.3	18.2	36.4	3.8	4.0	3.6	4.2
英語Ⅰ(Cクラス)	43	43	100.00	6	5	1	4.1	4.0	3.9	3.8	3.8	4.1	3.9	4.0	9.3	4.7	11.6	32.6	41.9	4.0	4.1	3.9	4.1
英語Ⅱ(Cクラス)	45	40	88.90	6	5	4	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.9	3.9	3.9	2.5	17.5	15.0	12.5	52.5	3.8	3.9	3.8	3.9
栄養学	83	81	97.60	6	5	4	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.9	3.8	3.6	2.5	4.9	13.6	14.8	64.2	3.9	3.7	3.1	3.8
障害者スポーツ	87	84	96.60	1	4	5	4.3	4.3	4.3	4.1	4.0	4.1	4.1	3.8	3.6	6.0	9.5	26.2	54.8	3.9	4.0	4.0	4.2
レクリエーションスポーツ(水1)	40	38	95.00	1	2, 4	7	4.6	4.5	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.6	5.4	5.4	13.5	5.4	70.3	4.0	4.3	4.1	4.5
情報リテラシー（4限）	83	80	96.40	1	5	8	3.9	3.4	3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.1	1.3	8.8	8.8	7.5	73.8	3.0	3.5	3.4	3.4
法学（含日本国憲法）	70	64	91.40	1	2	5	4.1	3.8	3.9	3.8	3.6	4.3	4.2	4.2	9.7	6.5	17.7	24.2	41.9	4.0	3.9	3.6	4.1
解剖学Ⅰ（骨・筋）	87	82	94.30	6	4	5	4.3	3.9	4.1	4.2	4.1	4.5	4.2	4.2	25.6	29.3	34.1	9.8	1.2	4.3	4.1	3.8	4.4
解剖学Ⅱ（神経）	87	84	96.60	6	4	5	4.3	4.1	4.2	4.1	4.1	4.5	4.3	4.3	25.3	22.9	39.8	9.6	2.4	4.3	4.1	3.8	4.4
生理学Ⅰ	88	82	93.20	6	4	5	4.1	3.8	3.9	3.8	3.5	3.8	3.8	3.1	6.1	15.9	24.4	34.1	19.5	3.9	3.9	3.9	3.9
生理学実習	82	82	100.00	6	5	4	4.1	3.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.0	4.0	6.1	28.0	25.6	13.4	26.8	4.0	3.9	3.8	4.1
運動機能学	43	43	100.00	6	5	4	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5	4.6	4.3	4.8	9.5	35.7	40.5	9.5	4.3	4.2	4.1	4.5
臨床心理学	82	77	93.90	6	5	4	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.9	3.8	3.7	1.3	14.3	15.6	5.2	63.6	3.7	3.8	3.8	3.9
病理学	82	77	93.90	6	5	4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.4	3.2	2.9	3.9	2.6	23.4	10.4	59.7	3.3	3.4	3.4	3.3
内科学Ⅰ	83	77	92.80	6	5	4	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4	3.7	3.4	3.9	1.3	5.3	21.1	11.8	60.5	3.2	3.5	3.6	3.6
整形外科学Ⅰ	82	81	98.80	6	5	4	4.1	3.9	4.0	4.0	3.9	4.3	4.3	4.2	4.9	3.7	22.2	13.6	55.6	4.1	4.1	3.8	4.2
精神医学Ⅰ	82	79	96.30	6	5	4	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3	4.3	4.2	1.3	7.6	16.5	12.7	62.0	4.1	4.1	4.1	4.2
小児科学	82	79	96.30	6	5	4	3.7	3.7	3.6	3.7	3.6	3.9	3.8	3.5	3.8	8.9	20.3	6.3	60.8	3.8	3.8	3.8	3.8
老年医学概論	6	6	100.00	1	3	1, 5	4.7	4.3	4.3	4.5	4.3	4.5	4.7	4.7	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	4.5	4.3	3.8	4.7
リハビリテーション概論	87	84	96.60	6	4	1	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	4.5	4.3	4.2	3.6	4.8	26.2	28.6	36.9	4.0	4.2	4.1	4.4
終末期医療論	42	38	90.50	1	5	4	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	4.1	4.0	3.8	2.6	2.6	5.3	5.3	84.2	3.9	3.9	3.9	4.0
理学療法概論	43	42	97.70	6	4	1	4.2	4.1	4.3	4.3	4.1	4.4	4.1	4.2	4.8	9.5	26.2	26.2	33.3	4.0	4.1	4.1	4.3
理学療法学研究法	42	40	95.20	6	5	4	3.9	3.9	4.1	3.7	3.7	4.3	4.3	4.1	2.5	7.5	5.0	7.5	77.5	4.1	4.0	4.1	4.2
検査測定学演習	43	42	97.70	6	5	4	4.3	4.1	4.2	4.2	4.0	4.5	4.5	4.5	2.4	7.1	26.2	33.3	31.0	4.3	4.2	4.1	4.3
神経系検査測定学	43	43	100.00	6	4, 5	4	3.9	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.5	3.8	0.0	2.3	27.9	23.3	46.5	3.4	3.7	3.6	3.7
動作解析学	39	38	97.40	6	5	4	4.4	4.0	4.3	4.2	4.2	4.5	4.4	4.5	5.3	26.3	21.1	31.6	15.8	4.2	4.2	3.9	4.3
運動療法学基礎演習	43	41	95.30	6	4, 5	4	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.3	4.2	4.2	0.0	7.3	19.5	24.4	48.8	3.9	3.9	4.0	4.2
運動器系理学療法学	39	36	92.30	6	4	4	4.3	4.1	4.2	4.1	4.0	4.4	4.3	4.4	0.0	8.3	8.3	27.8	55.6	4.0	3.9	4.0	4.2
神経系理学療法学	40	38	95.00	6	4, 5	4	3.7	3.4	3.7	3.5	3.3	3.5	3.1	3.5	0.0	2.6	13.2	34.2	50.0	3.1	3.7	3.6	3.5
発達系理学療法学	40	39	97.50	6	5	4	4.3	3.6	4.1	3.9	3.8	4.3	4.2	3.8	5.1	7.7	15.4	23.1	48.7	4.0	3.9	4.1	4.2
老年期理学療法学	40	39	97.50	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.8	3.6	4.3	3.9	4.2	2.6	7.7	10.3	20.5	59.0	4.0	3.9	4.0	4.2
呼吸・循環系理学療法学	40	39	97.50	6	5	4	4.2	4.0	4.3	4.1	4.1	4.4	4.3	4.5	7.7	15.4	28.2	15.4	33.3	4.0	3.9	4.1	4.3
代謝系理学療法学	39	37	94.90	6	5	4	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7	4.1	3.9	4.1	0.0	13.5	18.9	29.7	37.8	3.8	3.7	3.8	3.9

湘南医療大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
物理療法学演習	39	34	87.20	6	5	4	4.0	3.9	4.1	4.0	3.9	4.1	3.9	3.9	0.0	20.6	14.7	23.5	41.2	3.9	3.8	3.9	4.1
日常生活活動学演習	39	37	94.90	6	5	4	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	4.2	4.1	4.2	0.0	16.2	10.8	8.1	64.9	3.9	3.8	3.9	4.1
義肢装具学Ⅱ	40	36	90.00	6	5	4	4.1	3.8	4.0	3.9	3.7	4.4	4.1	4.1	0.0	11.1	13.9	16.7	58.3	4.1	3.9	4.1	4.2
理学療法対象者行動論	39	37	94.90	6	5	4	3.1	2.9	2.8	2.6	2.8	3.0	2.3	2.4	0.0	5.4	8.1	8.1	78.4	2.5	2.9	3.1	2.8
高次脳障害学	39	37	94.90	6	5	4	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	3.9	3.9	4.0	0.0	8.1	10.8	16.2	64.9	3.6	3.7	3.8	3.8
生活支援機器論	56	55	98.20	3	3	5	4.1	3.8	3.8	3.7	3.8	4.1	3.7	3.9	7.3	14.5	16.4	12.7	49.1	3.6	3.9	3.8	4.0
地域高齢者支援論	38	23	60.50	1	5	4	3.9	3.9	3.8	3.7	3.6	4.0	3.7	3.9	0.0	0.0	4.3	4.3	91.3	3.5	3.7	3.8	3.8
地域理学療法学	43	43	100.00	6	5	4	3.6	3.2	3.3	3.3	3.1	3.3	2.8	2.8	0.0	7.0	14.0	20.9	58.1	2.9	3.3	3.5	3.1
バリアフリー	39	38	97.40	6	5	4	3.6	3.6	3.7	3.5	3.4	3.9	3.7	3.2	2.6	2.6	2.6	13.2	78.9	3.7	3.5	3.7	3.8
運動学Ⅱ	39	38	97.40	6	5	4	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.9	3.8	3.8	2.6	10.5	31.6	5.3	50.0	3.7	3.7	3.4	3.9
作業療法概論	44	40	90.90	6	4	5	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2	4.2	4.1	5.0	2.5	17.5	32.5	42.5	4.2	4.1	3.8	4.2
作業療法理論	39	39	100.00	6	5	5	3.9	3.8	3.9	3.7	3.7	3.9	3.9	4.1	5.1	23.1	20.5	17.9	33.3	3.7	3.9	3.8	4.0
基礎作業学	44	40	90.90	6	4	1，5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.8	4.1	3.9	4.1	5.0	5.0	22.5	32.5	35.0	4.2	3.8	3.9	4.1
作業技術学Ⅱ（木工・革細工）	37	37	100.00	1	1	5	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.3	10.8	5.4	5.4	5.4	73.0	4.2	4.2	3.9	4.4
作業技術学Ⅲ（手工芸）	40	32	80.00	1	4	4	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	4.0	0.0	0.0	21.9	12.5	65.6	3.6	3.8	3.7	3.9
作業療法研究法	39	39	100.00	6	4	4	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	12.8	30.8	17.9	12.8	25.6	3.9	4.2	3.8	4.2
作業療法評価学(身体Ⅰ)	39	39	100.00	6	4，5	4，5	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	5.1	12.8	28.2	7.7	46.2	3.9	3.9	3.7	4.1
作業療法評価学(身体Ⅱ)	40	39	97.50	6	4	3	4.0	3.7	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	4.1	10.3	20.5	30.8	15.4	23.1	3.8	3.9	3.8	4.1
作業療法評価学(精神)	40	38	95.00	6	5	4，5	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.2	4.0	4.1	0.0	7.9	15.8	23.7	52.6	4.0	4.1	3.7	4.1
身体障害作業療法学Ⅱ（整形外科系・変性疾患）	39	37	94.90	6	4	5	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.3	4.3	4.2	10.8	32.4	13.5	27.0	16.2	4.3	4.2	4.0	4.3
精神障害作業療法学Ⅱ（各論）	39	39	100.00	6	4	4，5	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	4.1	4.1	4.1	5.1	25.6	23.1	7.7	38.5	3.9	4.0	3.8	4.2
発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	41	40	97.60	6	4	5	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.9	3.9	3.8	0.0	22.5	22.5	17.5	37.5	3.9	3.8	3.8	4.0
老年期作業療法学Ⅰ（総論）	39	38	97.40	6	5	4	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	3.9	3.8	3.8	5.3	15.8	31.6	7.9	39.5	3.9	3.8	3.7	3.8
高次脳機能障害作業療法学Ⅰ（総論）	38	36	94.70	6	5	4	3.9	3.9	4.0	3.9	3.8	4.1	4.1	4.0	5.6	25.0	25.0	16.7	27.8	4.1	4.1	3.9	4.2
日常生活支援論Ⅰ（総論）	39	38	97.40	6	5	6	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.2	4.2	4.2	2.7	5.4	16.2	13.5	62.2	4.1	4.1	3.9	4.3
地域作業療法学Ⅰ（総論）	39	39	100.00	6	4	4	3.6	3.6	3.7	3.5	3.4	3.8	3.6	3.7	5.1	15.4	25.6	15.4	38.5	3.8	3.7	3.5	3.8
生活環境整備論	39	39	100.00	6	4	5	3.6	3.5	3.7	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6	5.1	23.1	30.8	7.7	33.3	3.6	3.7	3.6	3.7
英語Ⅰ(Bクラス)	43	40	93.00	6	5	1	4.6	4.3	4.3	4.3	4.2	4.6	4.6	4.7	10.0	10.0	12.5	32.5	35.0	4.6	4.6	3.6	4.7
英語Ⅱ(Bクラス)	52	47	90.40	6	5	4	4.6	4.4	4.5	4.4	4.3	4.7	4.7	4.8	4.3	2.1	14.9	34.0	44.7	4.4	4.4	3.5	4.7
レクリエーションスポーツ(水3)	40	39	97.50	1	2	2，5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.6	4.6	4.5	5.1	7.7	2.6	10.3	74.4	4.3	4.4	3.1	4.7
英語Ⅰ(Dクラス)	43	42	97.70	6	5	5	4.3	4.1	4.0	4.1	4.0	4.4	4.4	4.4	9.5	9.5	11.9	28.6	40.5	4.4	4.2	3.8	4.4
英語Ⅱ(Dクラス)	43	40	93.00	6	5	1，5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.5	4.5	4.6	0.0	0.0	12.5	27.5	60.0	4.3	4.4	3.8	4.5

沖縄県立芸術大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
哲学A	17	17	100.00	1	5	8	3.4	3.4	4.0	3.6	3.5	4.6	4.1	3.2	6.3	0.0	6.3	12.5	75.0	3.6	3.9	3.6	4.5
言語学A	40	40	100.00	1	3	5	4.0	4.1	4.2	4.1	3.9	4.5	4.4	4.4	5.3	5.3	21.1	18.4	50.0	4.1	4.4	3.7	4.3
琉球語基礎	11	11	100.00	1	5	3, 8	4.7	4.5	4.5	4.6	4.5	4.9	4.9	4.8	0.0	10.0	30.0	10.0	50.0	4.5	4.8	4.5	4.9
国語表現法	23	23	100.00	1	2, 5	2, 5	4.4	4.2	4.5	4.3	4.1	4.7	4.3	4.4	4.3	4.3	13.0	34.8	43.5	4.1	4.6	5.0	4.6
琉球文学	20	20	100.00	1	5	2, 3, 5	4.3	4.1	4.0	3.9	3.7	4.7	4.4	4.4	10.0	5.0	15.0	5.0	65.0	4.2	4.5	3.8	4.3
考古学	15	15	100.00	1	5	5	3.9	4.3	4.3	4.3	4.1	4.9	4.3	3.8	7.1	0.0	0.0	35.7	57.1	4.0	4.5	5.0	4.5
琉球史A	45	45	100.00	1	1	2, 5	4.3	4.5	4.5	4.2	4.0	4.9	4.8	4.8	6.7	2.2	8.9	20.0	62.2	4.7	4.6	5.0	4.9
歴史学B	16	16	100.00	1	5	2	4.4	4.3	4.4	4.2	4.2	4.6	4.3	4.5	6.7	0.0	26.7	13.3	53.3	4.3	4.4		4.7
文化人類学	38	38	100.00	1	5	5	4.0	4.2	4.3	4.1	3.8	4.4	4.1	3.6	2.6	2.6	18.4	15.8	60.5	4.2	4.2	3.3	4.3
民俗学	43	43	100.00	1	1	8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.4	4.0	3.9	3.2	2.3	2.3	18.6	20.9	55.8	3.6	3.8	3.0	3.9
心理学	32	32	100.00	1	5	5	4.1	4.0	4.3	4.4	3.9	4.7	4.5	3.6	6.5	3.2	12.9	22.6	54.8	4.5	4.3	4.7	4.4
障害福祉概論	36	36	100.00	6	1	1	4.2	4.5	4.6	4.4	4.0	4.9	4.6	4.2	2.8	0.0	19.4	22.2	55.6	4.3	4.5	4.3	4.7
数学	23	23	100.00	1	7	2, 8	4.2	4.4	4.1	4.0	3.9	4.8	4.9	4.3	0.0	13.0	8.7	8.7	69.6	4.7	4.5	3.3	4.7
生物学B	33	33	100.00	1	2	3	4.2	4.5	4.4	4.2	4.2	4.6	4.6	4.0	15.2	6.1	21.2	12.1	45.5	4.6	4.4	3.8	4.7
自然科学概説	28	28	100.00	1	2	5	4.1	4.2	4.3	4.1	4.0	4.3	4.4	3.8	10.7	10.7	7.1	17.9	53.6	4.4	4.3	4.3	4.5
自然環境論	57	57	100.00	1	2	5	4.2	4.4	4.3	4.2	4.2	4.6	4.6	4.1	19.6	3.6	12.5	16.1	48.2	4.5	4.5	4.5	4.7
コンピュータ情報論	17	17	100.00	6	5	1, 5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.3	4.8	4.7	4.8	23.5	11.8	5.9	11.8	47.1	4.5	4.6	3.8	4.9
コンピュータ情報論	18	18	100.00	1, 6	3	5	4.6	4.7	4.6	4.6	4.4	4.5	4.7	4.3	5.6	11.1	22.2	22.2	38.9	4.2	4.4	4.0	4.7
芸術と風土A	1	1	100.00	3	4	1	4.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.0	4.0		5.0
芸術と風土	25	25	100.00	1	5	2, 3	4.3	4.5	4.4	4.1	3.9	4.7	4.6	4.3	16.7	8.3	16.7	8.3	50.0	4.4	4.5	4.0	4.6
沖縄学	11	11	100.00	1	5	2	4.3	4.0	4.0	4.2	3.4	4.7	4.4	3.4	0.0	0.0	30.0	0.0	70.0	4.2	4.5		4.7
芸術とキャリアデザインⅠ	31	31	100.00	1	2	5, 8	4.2	4.4	4.4	4.3	4.2	4.6	4.5	4.6	3.2	0.0	16.1	9.7	71.0	4.3	4.6	3.7	4.6
美学	16	16	100.00	1	1	5	3.7	3.0	3.8	3.6	3.7	4.5	4.1	2.9	12.5	12.5	12.5	31.3	31.3	3.9	4.2		4.0
現代芸術概論	14	14	100.00	1	2	3, 5	3.5	2.9	3.6	3.9	3.4	3.9	3.3	3.1	0.0	14.3	14.3	7.1	64.3	2.8	3.9	3.0	3.9
民族音楽学概論	27	27	100.00	1	5	5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.2	4.9	4.7	4.6	7.7	0.0	11.5	34.6	46.2	4.6	4.7	5.0	4.8
副科声楽Ⅰ	7	7	100.00	1	5	8	5.0	4.9	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	5.0	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0	4.9	5.0	4.5	5.0
西洋音楽史概論	5	5	100.00	1	1, 2, 5, 8	1, 5, 7, 8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.4	4.6	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	4.0	4.4	2.0	4.2
ソルフェージュⅢ	4	4	100.00	1, 3, 6	1, 4, 5	2, 4, 5	4.3	4.5	4.3	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	5.0	5.0		5.0
副科声楽Ⅲ	23	23	100.00	6	4	3	4.8	5.0	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	39.1	0.0	8.7	43.5	8.7	4.8	5.0	5.0	5.0
身体基礎演習Ⅰ	15	15	100.00	1	2	5	4.7	4.8	4.9	4.7	4.7	5.0	5.0	4.9	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	4.7	4.8	4.5	5.0
吹奏楽演習Ⅰ	11	11	100.00	1	5	5	5.0	4.9	4.8	4.9	4.6	4.8	4.9	4.9	18.2	0.0	0.0	18.2	63.6	4.9	4.9	5.0	4.9
副科ピアノⅢ	3	3	100.00	1, 6	4, 5	3, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.7	5.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	5.0	4.7	5.0	4.7
西洋音楽理論Ⅲ	4	4	100.00	1	1	5	4.8	4.3	4.5	4.3	4.0	4.8	5.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4.3	4.3		5.0
副科実技Ⅰ（雅楽）	8	8	100.00	6	1, 2, 4, 5	3, 5, 10	4.9	5.0	5.0	4.8	4.5	4.9	4.9	5.0	50.0	0.0	12.5	0.0	37.5	4.9	5.0	5.0	4.9
副科実技Ⅰ（歌三線）	20	20	100.00	6	1	5	4.9	4.9	4.9	4.9	4.7	5.0	5.0	4.9	25.0	0.0	0.0	20.0	55.0	5.0	5.0	5.0	4.9
副科実技Ⅰ（琉球楽器）	3	3	100.00	1	1, 5, 6	2, 4, 5	5.0	5.0	4.7	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
副科実技Ⅰ（生田流箏曲）	4	4	100.00	1	4	3, 4, 5	4.8	4.8	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	4.7	5.0		5.0
副科ピアノⅤ	19	19	100.00	1	5	2, 5	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.9	4.8	4.8	21.1	21.1	21.1	31.6	5.3	4.3	4.6		4.8
英語Ⅰ	24	24	100.00	6	5	2, 4	4.0	4.3	3.9	3.8	3.9	4.3	4.0	3.8	16.7	4.2	4.2	4.2	70.8	4.2	4.3	4.3	4.2
英語Ⅰ	25	25	100.00	6	5	5	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.7	4.6	4.6	12.0	4.0	20.0	32.0	32.0	4.5	4.7	4.3	4.8
英語Ⅰ	23	23	100.00	6	5	5	4.2	4.0	4.2	3.9	3.6	4.9	4.1	4.4	13.0	8.7	21.7	43.5	13.0	4.1	4.3	4.0	4.3
英語Ⅱ	8	8	100.00	6	2, 6	1	3.6	4.1	3.8	3.6	3.8	4.8	4.8	4.5	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9	4.5	4.5	4.0	4.5
独語Ⅰ	18	18	100.00	1	5	4, 5	4.3	4.1	4.4	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7	5.6	11.1	44.4	33.3	5.6	4.5	4.6	4.0	4.7
独語Ⅲ	9	9	100.00	1	4	5	4.1	3.8	3.9	4.2	3.8	4.3	4.1	4.7	0.0	44.4	33.3	0.0	22.2	4.3	4.7	1.0	4.5
仏語Ⅰ	11	11	100.00	1	4	5	4.2	4.2	4.5	4.3	3.8	4.5	4.2	4.3	9.1	0.0	18.2	36.4	36.4	4.3	4.6		4.4
伊語Ⅰ	18	18	100.00	1	4, 5	5	4.2	4.2	4.2	3.9	4.0	4.3	4.0	3.8	22.2	0.0	22.2	27.8	27.8	4.1	4.3	3.9	4.2
中国語Ⅰ	25	25	100.00	1, 6	5	2	4.0	4.3	4.4	4.4	3.9	4.6	4.6	4.5	12.0	12.0	20.0	32.0	24.0	4.3	4.4	3.7	4.6
中国語Ⅰ	31	31	100.00	1	5	5	4.3	4.2	4.4	4.2	4.0	4.5	4.3	4.3	6.9	6.9	10.3	20.7	55.2	4.1	4.3	4.0	4.6
中国語特演A	5	5	100.00	1	3, 5	5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
英語講読A	7	7	100.00	1	1, 3, 4, 5	5	4.3	4.7	4.3	4.1	4.1	4.6	4.4	4.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	4.3	4.3	3.0	4.3
英文法	10	10	100.00	1	1, 2, 5	2, 5	4.3	4.3	4.5	4.6	4.0	4.7	4.6	4.6	0.0	10.0	20.0	60.0	10.0	4.6	4.9	3.0	4.8
健康・運動理論	33	33	100.00	6	2	5	4.1	4.5	4.5	4.0	4.0	4.5	4.6	4.5	6.1	0.0	9.1	15.2	69.7	4.6	4.5	4.3	4.8
健康・運動実技A	27	27	100.00	1	2	5	4.7	4.9	4.8	4.7	4.8	4.7	4.8	4.7	24.0	12.0	12.0	16.0	36.0	4.6	4.7	4.3	4.8
健康・運動実技A	18	18	100.00	1	2	1	4.4	4.6	4.4	4.2	4.1	4.2	4.5	4.3	16.7	5.6	5.6	0.0	72.2	4.1	4.3	4.3	4.6
健康・運動実技B	14	14	100.00	1	1	7, 8	4.6	4.6	4.6	4.3	4.3	4.6	4.7	4.8	7.7	7.7	7.7	0.0	76.9	4.4	4.5	4.5	4.9
健康・運動実技B	13	13	100.00	1, 6	2	7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.2	4.4	4.8	4.7	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4.5	4.6	5.0	4.8
絵画基礎	13	13	100.00	6	4	4	4.7	4.8	4.8	4.7	4.6	4.5	4.8	4.6	15.4	23.1	23.1	23.1	15.4	4.0	4.4	4.5	4.6
彫刻(絵)	13	13	100.00	6	4	5	4.8	4.8	4.7	4.5	4.4	4.6	4.2	4.5	15.4	15.4	23.1	7.7	38.5	4.2	4.5	4.8	4.4
デザイン(絵)	13	13	100.00	6	1	1	4.9	4.5	4.7	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8	16.7	8.3	0.0	8.3	66.7	4.6	4.6	4.7	4.8
工芸A	10	10	100.00	6	1	5	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6	4.7	20.0	0.0	30.0	30.0	20.0	4.4	4.6	4.7	4.6
ビジュアルデザイン概論	3	3	100.00	1	4, 5	5, 6	4.0	4.0	4.3	3.7	4.0	4.7	4.0	4.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	3.7	3.7		4.0
デッサン	6	6	100.00	6	4, 5	1, 4, 6, 8	4.5	4.7	4.7	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	4.0	4.3		4.5
彫刻Ⅰ－Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1, 4, 5, 8	4.5	4.5	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	16.7	0.0	33.3	0.0	50.0	4.5	4.5		4.5
絵画(彫)	6	6	100.00	6	4	4	4.5	4.3	4.5	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	4.2	4.0		4.3
デザインB	3	3	100.00	6	1	5	3.7	4.0	4.0	3.7	3.7	4.3	4.0	4.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	4.3	4.3		4.5
素描	6	6	100.00	6	2	1	4.7	4.7	4.8	4.3	4.7	4.8	4.7	4.7	16.7	0.0	33.3	0.0	50.0	4.5	4.8		5.0
デザイン史	46	46	100.00	1	1	5	4.0	4.0	4.3	4.1	3.9	4.8	4.1	3.8	8.7	10.9	37.0	30.4	13.0	4.0	4.5	5.0	4.4
書道史	5	5	100.00	1	4	5	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.4	4.0	4.2	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	4.2	4.4		4.0
東洋美術史	62	62	100.00	6	5	5	4.0	3.9	4.0	3.9	3.8	4.5	4.0	3.6	4.9	1.6	4.9	23.0	65.6	4.0	4.2	4.0	4.2
西洋美術史A	41	41	100.00	6	1	5	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.4	4.0	3.8	7.3	12.2	31.7	26.8	22.0	3.9	4.2	4.3	4.2
絵画(芸)	6	6	100.00	6	2	5	4.7	4.8	4.8	4.3	4.7	4.8	4.3	4.8	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	4.0	4.5	5.0	4.6
彫刻(芸)	6	6	100.00	6	2	8	4.0	4.5	4.7	3.8	4.0	4.7	4.5	4.5	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	3.8	3.7	5.0	4.3
デザイン(芸)	6	6	100.00	6	1, 2, 5	1, 8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	5.0	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	4.8	4.7	5.0	5.0
工芸(芸)	6	6	100.00	6	2	8	4.8	4.8	4.7	4.5	4.2	4.7	4.7	4.6	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	4.2	4.8	5.0	4.8
東洋美術史特講	4	4	100.00	1	2, 4, 5, 6	3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	4.8	4.8	4.0	4.8
デザインⅠ	19	19	100.00	6	4	5	4.7	4.6	4.7	4.6	4.5	4.7	4.4	4.6	21.1	10.5	21.1	10.5	36.8	4.5	4.6	4.3	4.8
絵画(デ)	20	20	100.00	6	1	5	4.6	4.7	4.5	4.6	4.2	4.1	4.6	4.4	15.0	0.0	10.0	35.0	40.0	3.9	4.4	4.0	4.8
工芸(デ)	20	20	100.00	6	1	5	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.8	4.8	4.7	5.0	0.0	10.0	30.0	55.0	4.3	4.6	4.0	4.8
西洋建築史	11	11	100.00	1	2	3, 8	4.0	3.8	3.9	3.5	3.4	4.0	3.5	2.9	0.0	9.1	9.1	9.1	72.7	3.4	4.2	5.0	4.0
ビジュアルデザイン論	8	8	100.00	1	4	2, 5	3.6	3.6	3.8	4.1	3.6	4.4	3.1	4.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	3.3	4.1	1.0	4.0
視覚伝達論A	15	15	100.00	1	4	5	4.5	4.5	4.7	4.5	4.0	4.7	4.7	4.9	0.0	6.7	0.0	26.7	66.7	4.5	4.8		4.8
環境造形論	14	14	100.00	1	2	5	3.8	3.7	4.2	4.2	4.1	4.5	4.3	3.9	7.1	7.1	21.4	7.1	57.1	4.1	4.2	4.0	4.6
デザインⅡA	18	18	100.00	6	4	1	4.6	4.3	4.5	4.4	4.4	4.3	4.0	4.2	50.0	11.1	27.8	0.0	11.1	4.1	4.3	2.3	4.5
図学	9	9	100.00	1	4	5	4.3	3.9	4.4	3.7	3.7	4.1	3.3	3.4	22.2	11.1	55.6	0.0	11.1	3.3	4.0	5.0	3.9
デザイン特別演習	19	19	100.00	6	4	5	4.4	4.4	4.6	4.4	4.5	4.7	4.6	4.3	44.4	11.1	16.7	5.6	22.2	4.6	4.6	4.3	4.5
デザインⅢA	19	19	100.00	1	4	4	4.7	4.4	4.7	4.7	4.5	4.8	4.5	4.8	44.4	16.7	16.7	11.1	11.1	4.5	4.7	4.0	4.8
絵画(工)	25	25	100.00	6	1, 5	1, 5	4.7	4.6	4.7	4.6	4.4	4.7	4.8	4.7	12.0	4.0	12.0	12.0	60.0	4.5	4.7	4.0	4.8
彫刻(工)	22	22	100.00	6	5	1	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.7	18.2	9.1	13.6	18.2	40.9	4.6	4.7	4.0	4.7
デザイン(工)	24	25	104.20	6	1, 5	1	4.8	4.5	4.7	4.6	4.4	4.7	4.7	4.7	33.3	12.5	12.5	16.7	25.0	4.7	4.8	3.0	4.8
描写	25	25	100.00	6	5	1, 5	4.3	4.5	4.4	4.2	4.1	4.4	4.4	4.2	16.0	4.0	4.0	8.0	68.0	4.6	4.7	3.7	4.6
色彩	25	25	100.00	6	5	5	4.4	4.6	4.5	4.2	4.3	4.4	4.5	4.4	16.0	8.0	12.0	4.0	60.0	4.6	4.7	4.0	4.6
立体構成	25	24	96.00	6	5	1, 5	4.5	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	20.8	0.0	25.0	12.5	41.7	4.6	4.6	4.3	4.6
染織工芸史	15	15	100.00	1	4	2, 5	4.1	4.3	4.3	4.1	3.9	4.8	4.5	4.0	0.0	0.0	26.7	60.0	13.3	4.2	4.4		4.4
工芸Ⅱ	26	26	100.00	6	4	4	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	4.9	4.8	4.8	25.0	4.2	12.5	25.0	33.3	4.7	4.8		4.9
漆芸特別演習	6	6	100.00	6	3, 4, 5, 6	4	4.5	4.8	4.7	4.7	4.3	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	4.2	4.3		4.7
声楽実技Ⅰ	5	5	100.00	6	5	4	5.0	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8	4.4	4.8	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	4.6	4.6	1.0	4.4
合唱Ⅰ	5	5	100.00	6	4	5	4.6	4.8	4.8	4.6	4.0	4.6	4.4	4.8	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	4.8	4.8	1.0	4.6

沖縄県立芸術大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
声楽実技Ⅲ	5	5	100.00	6	5	1, 4, 5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	4.4	4.8	4.7	4.8
合唱Ⅲ	5	5	100.00	6	4	1, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	4.8	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
舞台語発音法（仏語）	3	3	100.00	1	4	4, 5	5.0	4.7	4.7	5.0	4.7	5.0	4.7	5.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	5.0	5.0		5.0
声楽実技Ⅴ	6	6	100.00	6	1	3, 4, 5, 6	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	4.8	4.8	4.0	4.8
合唱Ⅴ	6	6	100.00	6	6	1, 4	4.8	4.8	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7	4.5	0.0	16.7	0.0	50.0	33.3	4.5	4.5		4.8
オペラ総合実習Ⅰ	6	6	100.00	6	4	1	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8		4.8
副科ピアノA－Ⅳ（前）	13	13	100.00	1	4	5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	30.8	15.4	15.4	30.8	7.7	4.8	4.8		4.8
ピアノ実技Ⅰ	7	7	100.00	4	4	3, 6	5.0	4.9	4.9	5.0	4.6	5.0	5.0	5.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	4.7	4.9	5.0	5.0
ピアノ重奏Ⅰ	7	7	100.00	6	5	4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	5.0	5.0
伴奏法Ⅰ	7	7	100.00	4, 6	4, 6	1	5.0	4.9	5.0	5.0	4.9	5.0	4.9	4.9	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	4.7	4.9	5.0	5.0
ピアノ実技Ⅲ	7	7	100.00	1, 3	4	6	5.0	4.9	4.6	4.9	4.7	5.0	5.0	4.9	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
ピアノ重奏Ⅲ	8	8	100.00	1, 6	1, 2	3	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
伴奏法Ⅲ	8	8	100.00	1	4	3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	37.5	0.0	37.5	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
ピアノ実技Ⅴ	3	3	100.00	1	1, 4, 6	4	4.7	4.7	4.3	4.3	4.3	4.7	4.7	4.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	4.7		5.0
弦楽実技Ⅰ	3	3	100.00	4	1, 4, 6	1, 5, 8	5.0	5.0	4.7	5.0	4.7	4.7	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
弦楽アンサンブル基礎Ⅰ	3	3	100.00	4	6	1	5.0	5.0	5.0	5.0	4.7	4.7	5.0	4.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
弦楽合奏Ⅰ	3	3	100.00	4	1, 4, 6	1, 5, 8	5.0	4.7	5.0	5.0	4.7	4.7	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
オーケストラⅠ	5	5	100.00	6	4	1	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	4.8	4.4	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	4.0	4.8		5.0
弦楽合奏Ⅲ	2	2	100.00	4, 6	1, 4	5, 6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
オーケストラⅢ	2	2	100.00	4	1	6	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	5.0		5.0
管打楽実技Ⅰ	7	7	100.00	6	4	1	5.0	5.0	4.7	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	4.7		5.0
管打楽実技Ⅲ	9	9	100.00	6	4	3	4.8	4.9	4.8	4.9	4.8	5.0	5.0	5.0	88.9	0.0	0.0	0.0	11.1	4.8	4.9		5.0
管打楽実技Ⅴ	8	8	100.00	1, 6	1, 4, 5, 6	5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	4.8	4.8		4.8
音楽文化入門a	4	4	100.00	6	2, 5	1, 4	4.8	4.3	4.3	4.5	3.8	4.8	4.0	4.8	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	4.8	5.0		4.5
音楽文化入門c	5	5	100.00	6	4, 5	1	4.4	3.4	4.6	4.4	4.2	4.6	4.4	4.8	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	4.6	4.8		4.3
英語文献講読a	4	4	100.00	6	1, 5	4, 5	4.8	3.3	4.0	4.8	4.3	5.0	4.8	5.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	4.5	4.8		4.5
民族音楽学A	9	9	100.00	1	3	1, 4	4.3	4.2	4.6	4.4	4.4	4.8	4.8	4.8	11.1	22.2	11.1	33.3	22.2	4.7	4.7	4.0	4.8
日本音楽史A	9	9	100.00	6	5	1, 4, 5	3.2	3.7	3.9	3.7	3.9	4.2	4.0	3.6	0.0	22.2	22.2	0.0	55.6	4.1	3.9	3.0	4.0
公共文化政策論	7	7	100.00	1, 2, 6	2	5	4.0	4.4	4.4	4.1	4.3	4.7	4.7	4.6	42.9	0.0	14.3	0.0	42.9	4.6	5.0		4.6
琉球音楽論A	10	10	100.00	6	3	1, 3	3.7	3.5	3.9	4.0	3.6	4.5	4.0	3.5	0.0	20.0	10.0	30.0	40.0	4.0	4.3	4.2	4.3
琉球芸能論A	13	13	100.00	1	4	1, 3	4.8	4.3	4.2	4.2	4.2	4.5	4.4	4.8	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	4.8	4.6	3.0	4.6
音楽文化研究Ⅰ	2	2	100.00	6	3, 4	5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0		4.5
舞台制作演習A	4	4	100.00	6	4, 5, 8	1	4.3	3.8	4.3	4.3	4.3	4.5	3.5	3.8	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	3.8	3.3		3.3
音楽事業演習A	4	4	100.00	6	1, 5, 8	4	3.8	3.3	3.5	3.8	3.5	3.8	3.3	3.5	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	3.5	3.3		4.0
民族音楽学演習A	3	3	100.00	6	2, 3, 4	3, 5, 8	4.3	3.7	3.7	4.0	3.3	5.0	5.0	4.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	3.7	3.3		4.3
琉球古典音楽実技Ⅲ	5	5	100.00	1, 6	1	2, 3, 4, 8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
地謡実技Ⅲ	3	3	100.00	1, 5, 6	1	2, 4, 6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
琉球古典音楽実技Ⅴ	1	1	100.00	6	3	4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
総合実習Ⅰ	1	1	100.00	6	4	3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
琉球舞踊組踊第2実技Ⅱ	4	4	100.00	6	1	4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	4.8	5.0		5.0
琉球舞踊実技Ⅲ	4	4	100.00	1, 6	1, 3	4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
組踊実技Ⅲ	4	4	100.00	1, 6	1, 3	4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
音楽基礎演習Ⅰ	27	27	100.00	6	4	5	4.0	3.7	3.9	4.0	3.6	4.5	3.3	3.3	3.7	0.0	33.3	29.6	33.3	3.5	4.0	3.7	4.0
声楽アンサンブル基礎Ⅰ	5	5	100.00	6	5	1, 4, 5, 8	3.2	3.2	3.4	2.6	3.2	3.8	2.8	3.4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	3.6	3.5	4.0	2.6
舞台語発音演習C	7	7	100.00	1, 3	5	4	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.1	4.0	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	4.0	4.0	3.0	3.8
日本・東洋音楽史	22	22	100.00	6	1	5	4.5	4.3	4.0	4.1	3.9	4.6	4.4	3.3	0.0	4.8	14.3	23.8	57.1	4.6	4.4	3.3	4.3
舞台語発音演習c	3	3	100.00	4	5	1, 8	4.7	3.0	3.7	3.7	3.0	4.3	2.7	3.7	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	5.0	3.7	1.0	4.0
西洋音楽理論Ⅰ	4	4	100.00	6	4, 6	6, 8	4.3	4.0	4.3	3.3	3.0	4.0	3.8	3.5	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	4.3	4.5	2.0	3.7
音楽美学概論	3	3	100.00	1, 5	2, 3	1, 5	4.3	4.0	4.7	4.3	4.3	5.0	5.0	4.7	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	4.7	4.7		4.5
詞章研究Ⅰ	5	5	100.00	1	5	2, 4, 5, 8	4.4	4.4	4.4	4.6	4.2	5.0	4.8	4.2	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	3.4	4.4	2.0	4.6
楽器論A	9	9	100.00	1	5	3, 7	4.2	4.6	4.6	4.1	4.1	4.9	4.9	4.7	0.0	11.1	33.3	11.1	44.4	4.8	4.6		4.7
関連歌三線実技Ⅰ	5	5	100.00	1, 6	6	4, 5	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	5.0	5.0	5.0	5.0
扮装実習Ⅲ	4	4	100.00	1, 6	1, 4	2, 5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0
楽曲分析Ⅰ	14	14	100.00	6	4	4	4.6	4.4	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.6	21.4	14.3	21.4	7.1	35.7	4.7	4.7	5.0	4.7
管弦楽法概論Ⅰ	10	10	100.00	1, 6	1, 4, 5	4	4.3	4.2	4.5	4.4	4.4	4.7	4.6	4.5	10.0	20.0	10.0	20.0	40.0	4.4	4.4		4.6
西洋音楽通史A	27	27	100.00	6	1, 4	5	4.1	4.1	4.3	4.3	4.2	4.6	4.4	4.3	22.2	7.4	11.1	25.9	33.3	4.6	4.5	2.7	4.6
琉球語Ⅰ	6	6	100.00	1	4	5	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7	4.8	4.7	4.8	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	3.7	5.0	5.0	4.8
関連琉舞組踊実技Ⅱ	4	4	100.00	1, 6	3	1	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	5.0	5.0		5.0
詞章研究Ⅲ	11	11	100.00	1	4	4	4.8	4.6	4.7	4.8	4.9	5.0	5.0	4.9	10.0	10.0	20.0	20.0	40.0	4.8	4.8	4.3	4.9
琉球楽器実技Ⅰ	6	6	100.00	1	1, 3, 4, 5	3, 4, 5, 8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	4.7	5.0	5.0	5.0
ポピュラー音楽理論A	4	4	100.00	1	2	2, 3, 4, 5	4.0	3.0	3.8	3.5	3.8	4.8	3.8	4.5	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	3.8	3.8		4.3
声楽実技Ⅳ	5	5	100.00	6	4	1	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	4.8	4.8		5.0
ピアノ実技Ⅳ	9	9	100.00	6	4	1, 5, 8	4.4	4.7	4.7	4.6	4.7	4.9	4.8	5.0	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0	4.8	5.0	5.0	4.9
副科声楽Ⅰ（表）	19	19	100.00	6	4	4	4.9	5.0	4.9	4.9	4.8	5.0	4.9	4.9	21.1	26.3	26.3	26.3	0.0	4.7	4.7	4.0	4.9
副科声楽Ⅰ（文）	4	4	100.00	6	1, 5	4	4.8	4.8	4.5	4.5	4.5	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	4.0	5.0		4.8
管打楽実技Ⅳ	4	4	100.00	6	3, 4, 5, 6	6	4.3	4.8	4.5	4.3	4.3	5.0	5.0	5.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
ソルフェージュⅠ（琉）	2	2	100.00	6	2, 5	2, 8	3.5	3.5	3.0	3.5	2.5	4.0	2.5	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3.0	3.0	1.0	3.0
副科ピアノⅠ（琉）	7	7	100.00	6	1, 3, 5, 6, 7	2, 6	4.0	4.4	4.6	4.3	4.4	5.0	4.9	4.9	0.0	14.3	28.6	0.0	57.1	4.1	4.1	3.0	4.7
楽式論AⅠ	29	29	100.00	6	4	5, 6	4.1	4.0	4.1	3.9	4.0	4.6	3.8	4.0	24.1	10.3	10.3	17.2	37.9	4.2	4.4	3.8	4.0
ソルフェージュⅠ（表）	27	27	100.00	6	4	4, 5	4.7	4.2	4.2	4.3	4.1	4.6	4.2	4.1	0.0	3.7	18.5	37.0	40.7	4.4	4.5	3.0	4.3
和声Ⅰ（表）	22	22	100.00	6	4	5	4.8	4.7	4.7	4.8	4.4	4.8	4.8	4.9	0.0	33.3	14.3	42.9	9.5	4.5	4.5	3.0	4.9
副科ピアノⅠ（表）	16	16	100.00	6	1, 6	4	5.0	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.9	25.0	31.3	25.0	12.5	6.3	4.4	4.9	2.0	4.9
副科ピアノⅠ（文）	2	2	100.00	6	5	4	5.0	5.0	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	4.0	5.0		5.0
音楽美学概論	5	5	100.00	1	4	5	4.6	4.0	4.4	4.2	3.8	4.8	4.6	4.6	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	4.6	4.6	4.0	4.6
ソルフェージュAⅢ	28	28	100.00	6	4	5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.4	4.8	4.6	4.8	17.9	10.7	17.9	25.0	28.6	4.6	4.7	4.3	4.6
和声AⅢ	27	27	100.00	6	1, 4	5	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.9	4.9	4.9	29.6	3.7	44.4	7.4	14.8	4.9	4.9	4.5	4.9
副科ピアノAⅢ	18	18	100.00	6	4	5	4.3	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	44.4	22.2	16.7	5.6	11.1	4.6	4.7	4.3	4.8
副科ピアノBⅢ	7	7	100.00	1	4, 5	3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	28.6	0.0	14.3	14.3	42.9	4.4	4.7	5.0	4.5
副科合唱AⅠ	17	17	100.00	6	1	5	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.9	4.9	4.9	41.2	5.9	17.6	5.9	29.4	4.8	4.9	5.0	4.9
和声AⅤ	3	3	100.00	1	5	4, 5, 6	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	5.0	5.0		5.0
指揮法A	8	8	100.00	6	1	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	12.5	25.0	0.0	0.0	62.5	4.5	4.6	5.0	4.7
指揮法B	6	6	100.00	6	1	1, 4, 5, 8	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	4.3	3.8	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	3.0	3.8		4.0
琉球舞踊組踊実技Ⅳ	4	4	100.00	3	1	4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	5.0	5.0		5.0
教育心理学	62	62	100.00	6	1	5	4.3	4.3	4.4	4.4	4.2	4.6	4.3	4.1	19.7	9.8	18.0	16.4	36.1	4.3	4.4	4.5	4.6
情報処理教育	20	20	100.00	6	5	1, 2, 6	3.9	3.9	4.0	3.8	3.9	3.7	3.3	3.7	15.0	5.0	5.0	10.0	65.0	4.0	4.3	4.0	3.9
教育行政	39	39	100.00	6	5	1, 8	3.7	3.7	4.1	3.6	3.5	4.4	3.8	3.8	5.1	5.1	7.7	17.9	64.1	3.7	3.8	4.0	3.9
教育課程	31	31	100.00	6	3	1	4.4	4.4	4.6	4.5	4.2	4.9	4.9	4.8	19.4	3.2	19.4	22.6	35.5	4.6	4.8	4.8	4.9
教育課程	6	6	100.00	3, 6	1, 3, 6	6	4.2	4.2	4.3	4.0	4.2	4.8	4.8	4.8	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7	4.7	4.8		5.0
道徳教育の研究	18	18	100.00	6	3	5	4.6	4.6	4.7	4.7	4.4	4.8	4.9	4.8	17.6	5.9	35.3	23.5	17.6	4.6	4.8	4.7	4.8
美術科教育法Ⅲ	18	18	100.00	6	1, 5	1, 8	4.2	4.5	4.5	4.4	4.1	4.9	4.6	4.4	16.7	11.1	22.2	33.3	16.7	4.1	4.6	4.9	4.6
音楽科教育法Ⅲ	12	12	100.00	1	4	1, 5	4.3	4.6	4.7	4.5	4.3	4.7	4.6	4.8	8.3	0.0	8.3	25.0	58.3	4.5	4.7	5.0	4.7
博物館概論	29	29	100.00	1	5	1, 5	4.1	4.0	4.1	3.9	3.6	4.5	4.3	3.7	3.4	6.9	13.8	17.2	58.6	4.0	4.1	3.7	4.3
博物館資料論	22	22	100.00	6	4	6	4.0	4.1	4.0	4.0	3.8	4.6	4.6	4.1	4.5	4.5	9.1	27.3	54.5	4.5	4.3		4.7
視覚伝達ﾃﾞｻﾞｲﾝ研究ⅠA	3	3	100.00	1, 6	4	5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.0	4.3	4.0	4.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	3.3	3.3	3.0	4.0
比較芸術学特殊研究A	6	6	100.00	1	3, 5	4, 5	4.8	4.2	4.8	4.8	4.3	5.0	4.7	5.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	4.7	4.8	4.5	4.8
日本芸術文化学研究A	5	5	100.00	1	2, 3, 4, 5, 6	5	4.8	4.8	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	4.8	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	4.8	4.8		5.0
楽曲構造特殊研究	8	8	100.00	1, 4	5	1, 2, 5	4.3	4.4	4.5	4.4	4.0	4.9	4.5	4.4	25.0	25.0	37.5	0.0	12.5	4.4	4.9		4.4

沖縄県立芸術大学　授業改善アンケート（2018年度前期）

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熟意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均(%)					板書平均	環境平均	オプション	総合平均
															3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満				
論文作成法	11	11	100.00	6	4	2	4.2	4.4	4.7	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	27.3	18.2	45.5	9.1	0.0	4.8	4.7	3.0	4.8
西洋芸術批評史研究B	7	7	100.00	1	5	2, 3, 5	4.6	4.4	4.6	4.7	4.6	5.0	4.9	5.0	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	4.7	5.0		5.0

第 7 章

学習成果等アンケート

学習成果等アンケート

山形大学　学術研究院　教授
栗山　恭直

今年度も、全学年に対してアンケートを実施した。学年進行による意識の変化を含めて解析することが可能になった。昨年も記載したが、大学 IR コンソーシアムの記述にあるように「IR とは本来、教育、経営、財務情報を含む大学内部のさまざまなデータの入手や分析と管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムのレビューと点検」に用いられる手法である。毎年 2 月に開催される FD ネットワーク“つばさ”FD 協議会の部会でも IR をトップダウンでやることになったが、他の大学でどのように実施しているかなどの情報交換が活発に行われている。いきなり IR を分析しろといわれても、簡単に分析することは難しいかもしれない。得られたデータは単なる数字だが、その数字をどのように読み解くかも大学 IR コンソーシアムの HP（http://www.irnw.jp/applicability.html）にわかりやすい例が紹介されているので、ぜひ目を通してほしい。「相互比較の結果の理由や意味づけについては、各大学の教学システムや実践しているプログラムなどと結びつけて考えること」が大切なことである。自分の大学の仕組みを理解しないと間違った分析をすることになる。また、特徴として加盟大学の平均と自校を比較して特徴を知ることができる。アンケートを継続することにより変化を見て取ることができ、IR の結果を元にカリキュラムを変更した場合、改組等で変化した場合、それらの影響を変化から知ることになる。学内のほかのデータを併用してより詳しい解析が可能になる。

今回も報告するにあたり各加盟校名は、伏せることにした。各大学には自校の結果と加盟校の平均の値を返却することになる。ただし、山形大学の各学部のデータは掲載しているので、各加盟校で使用していただいてかまわない。そこでいくつか解析してみたいと思う。

大学ごとに平均化してしまうと各大学での特徴的なものは、あまりない。入学満足度の結果を 1 年生と卒業年次を比較する。肯定的回答の割合とその平均点は、学年変化では、若干の上下があるが、どの大学も最終的に上がっている。これは、大学人としてはうれしい結果である。

今年も山形大学の各学部、学年を主に分析したいと思う。特に昨年は人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部・工学部で学科またはコースの再編があった。さらに、一年生の基盤教育が変わり、全学共通でのスタートアップセミナーが 35 人規模になり、学生の所属は学部学科の混成になった。教える内容も統一化され全員が同じ内容を学ぶように変更した。アクティブラーニングを基幹科目に取り入れるなど学生が主体的に学ぶ環境を作るように変わった。このような変化がアンケートの結果に影響したか注目したい。2 年目の変化に注意を払いたい。

1．入学について：地域教育文化学部では、「地元の大学だから」の理由をあげる割合が毎年、上位にみられる。他学部では 3 位までに入らないが、今年は、人文社会科学部で初めて 3 位になった。人文・理・医（医）では宮城県が山形県より多い。他大学では、地元大学での進学が上位にある大学が多く見られる。どの大学でも 4 の学びたい学部・学科や 3 の自分の学力が上位にきている。

2．授業について：1 年生は、全学共通の基盤（教養）教育を履修しているので 1 年生での学部での違いは今年もなかった。2 年生になると専門教育が始まる関係で２－１，２－２のポイントがどの学部でも平均値は上がっている。違いが見えたのは、「２－５；就職に役に立ちそうな授業が多い」の設問である。医学部の平均値が大学の平均値よりも高い。国家試験をめざすカリキュラムの関係であろう「２－４；主体的に考える」の項目も 6 年次になると低くなるのも予想できる。「２－６；国際性に関する」も、地域教育文化学部の異文化交流コースでは、2 年生になると 3.5 以上を示しており，コースの特徴を示している。このように学部学科あるいはコースでの特徴から詳しく解析することができる。改組後の学生が進級する来年度、この項目を解析して改組後のカリキュラムの妥当性が解析できる。

3．今回の新基盤教育の成果は、昨年から一年加わり、2 年での変化を見ることができるようになった。昨年、大学平均値が前年と比べると減っていたが、今年は H28 年と同じ数値近くに戻ったようである。

年度	3－1	3－2	3－3	3－4	3－5	3－6	3－7	3－8
H25	3.62	3.48	3.3	3.33	3.19	3.03	3.38	2.82
H26	3.74	3.63	3.41	3.44	3.29	3.11	3.48	2.92
H27	3.79	3.69	3.38	3.39	3.31	3.18	3.45	2.93
H28	3.73	3.71	3.43	3.4	3.4	3.2	3.49	2.94
H29	3.57	3.48	3.34	3.35	3.38	3.15	3.54	2.98
H30	3.65	3.59	3.45	3.40	3.48	3.24	3.59	3.12

この理由を考えてみた。今回の基盤教育の改革は、学部混合のスタートアップセミナー、基幹科目へのアクティブラーニングの導入、情報教育の外部依頼などがあげられる。対応する教員の 2 年目で慣れてきた可能性もある。さらに検討する項目がある。この年度変化では、３－６の値が高くなり、改革の影響か次年度も変化をみたい。３－８は、一年生の内容に、いままで含まれていない教育内容で、相変わらず低い値のままであるが、今回、医学科の３－８が、4 を超えたのは特徴的である。シラバスを確認したが、リーダーシップ教育に力をいれているように内容を確認できなかったが、次年度の変化をみてみたい。

4．この項目は学生がどのような講義を希望しているかを判断することができる項目である。施設や設備は、対応できれば簡単に満足度があがるものだが、ほかの項目は教員側の能力の向上が求められているものであり、簡単に満足度をあげることは難しい項目である。医学科で「４－１カリキュラム改善」を望む声がどの学年も 4 点近く、学生の要求が多い。地域教育文化学部の造形芸術と音楽芸術コースは、どの項目でも 4 点近い学生の要求があり、他のコースや学科との違いが明らかである。芸術に関する教育カリキュラムの難しさを表しているのかもしれない。

5．学習時間のデータは、他のアンケートデータが手に入ることもあり、比較検討することができる項目である。医学部に学習時間が短いのは、基盤教育の内容が医学部学生にとって簡単で勉強しなくても良いと考えていることが予想される。実際、医学部の学生は試験をすると高得点をとることが多いこともこの事実をサポートしていると思う。総務省の社会生活基本調査に大学・大学院、および短大・高専生が一日あたりに学業（授業や予習復習）と学業以外の学習にかけている時間の経年変化を示したものがある。2011 年の値は大学・大学院で一日あたり 216 分で、授業時間を含めるとほとんど勉強していないことになり、今回の結果をみると山形大学生が非常に勉強していることになる。

総務省の HP　（http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001040666&cycode=0）
曜日，男女，教育，ふだんの就業状態，行動の種類別総平均時間，行動者平均時間及び行動者率(在学者)でより詳しく参照可能

卒業研究の学生に対してのこの４の項目は答えにくいと考えられる。理学部物質生命化学科では、卒業研究と文献購読があり、予習・復習として解答できるのは文献購読しかない。4 年次を除けば、学習時間が増えていることは、専門の講義が増えることに因ることが考えられ、当然の結果だと思う。人文学部では、公務員試験を受験する学生は、明らかにもっと勉強していると考えられる。分析が難しい項目である。

6．医学科を除き、他学部では、どのコース・学科も最終学年で４点を超える値を示している。満足度は高いようである。医学科は、新入生の満足度が低めである。それに比べると最終学年も満足度は上がって

いるが他の学部の値に比べると低い。友人の医者にこの話をした時に、医者は常に患者の命を救うために日々勉強をしているので、満足するように教育していないと言われ、別の見方があり、分析には各学部のポリシー等を理解していないと間違った判断をする可能性があると思った。

以上のように、経年変化等での解析と専門教育との詳しい相関を持って初めて IR の結果が生きてくる。さらに各学生と紐付けされることにより、GPA との関係や入学における入試形態との相関など、より詳しい分析が可能になり、学生に対してもどの様な教育プログラムが最適なのか考察することができる。現在、全国で大学改革が進んでいるが教学ＩＲに基づいているのだろうか。今後継続して測定することによりこれらのデータが生かされると思う。

平成３０年度　学習成果等アンケート集計結果

(1) ＦＤネットワーク“つばさ”加盟校中 17 校実施　集計結果

平成 30 年 10 月~平成 31 年 2 月実施

表１　学習成果等アンケート回収率

回答率	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
山形大学	91.2%	74.9%	67.7%	57.8%	77.4%	68.1%
A大学	87.2%	79.0%	100.0%			
B大学	74.8%	65.4%	68.8%	57.7%		
C大学	94.1%	90.2%				
D大学	46.5%	30.0%	25.6%	30.0%		
E大学	83.8%	85.3%				
F大学	89.7%	72.1%	49.8%	55.2%		
G大学	95.8%	94.0%				
H大学	80.0%	57.4%	78.4%	39.5%		
I大学	91.3%	60.4%	65.7%	43.5%		
J大学	98.8%	90.6%	91.9%	89.7%		
K大学	94.4%	93.8%				
L大学	96.0%	93.5%	98.2%	95.5%		
M大学	93.0%	83.8%	88.1%	73.2%		
N大学	75.1%	63.1%	72.7%	65.2%		
O大学	87.3%	71.3%	81.5%	76.6%		
P大学	98.8%	93.6%	98.1%	85.0%		
Q大学	87.8%	75.2%	73.1%	66.3%		

【１】　あなたが本学への入学を決定された理由を強い順に３つ下記から選んでマークしてください。

1：建学の理念に共感したから　2：入試科目があっていたから　3：自分の学力にあっていたから
4：学びたい学部・学科・コースがあったから 5：カリキュラムが充実しているから　6：資格を取得出来るから
7：就職に役立つから 8：キャンパスの施設・設備が良いから　9：地元の大学だから
10：大学の知名度が高かったから　11：大学が設置されている地域に魅力があるから　12：学費が安いから
13：親や教員に勧められたから　14：本学しか合格しなかったから
15：その他（理由を裏面の【７】にご記入ください）

注：「第一理由」「第二理由」「第三理由」それぞれの回答数を集計し、「第一理由」回答数に「3 点」、「第二理由」回答数に「2 点」、「第三理由」回答数に「1 点」をかけた上で合計し、その合計点の上位 3 位

表２　動機の上位３位（山形大学）

学部	学科・課程	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位						
人文社会科学部	人文社会科学科	4	3	9	4	3	2												
	人間文化学科							4	3	2	4	3	9						
	法経政策学科							4	3	9	4	3	2						
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	4	3	9	9	3	4	4	3	9	4	3	9						
	文化創生コース	4	9	3	4	3	9												
	異文化交流コース							4	3	9	4	3	2						
	造形芸術コース							4	12	3,9	4	3	12						
	音楽芸術コース							4	9	2	4	2	3,9,13						
	スポーツ文化コース							4	3	9	4	6	2,9						
	食環境デザインコース							4	6	3	4	6	3						
	生活環境科学コース							4	3	14	4	6	3						
	システム情報学コース							3	2,4	6	3	14	4						
	養護教諭特別別科																		
理学部	理学科	4	3	2	4	3	2												
	数理科学科							3	4	2,9	3	4	2						
	物理学科							3,4	9,12	13,14	3	4	2						
	物質生命化学科							3	2	4	3	2	4						
	生物学科							3	4	2	4	2	3						
	地球環境学科							4	3	2	4	3	2						
医学部	医学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2,6	3	4	2	3	4	2
	看護学科	3	4	6	4	6	3	4	3	6	4	6	3						
工学部	高分子・有機材料工学科	4	3	2	4	3	13												
	化学・バイオ工学科	4	3	2	3	4	2												
	情報・エレクトロニクス学科	3	4	2	3	4	2												
	建築・デザイン学科	4	3	2															
	機能高分子工学科							4	3	2	3	4	2						
	物質化学工学科							3	2	4	3	2	4						
	バイオ化学工学科							4	3	2	4	3	2						
	応用生命システム工学科							3	4	2	3	4	2						
	情報科学科							3	4	2	3	4	2						
	電気電子工学科							3	4	13	3	4	2						
	機械システム工学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2						
	システム創成工学科(フレックスコース)	3	12	4	12	3	4	3	12	2,4	12	3	9						
農学部	食料生命環境学科	4	3	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2						

表３　動機の上位３位（加盟校）

加盟校	1年生			2年生			3年生			4年生		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
A大学	4	6	7	6	4	9	4	6	7			
B大学	4	9	3	4	9	3	4	3,7	9	4	3	9
C大学	4	6	9	4	6	7						
D大学	4	9	13	4	3	9	4	9	6	3	4	12
E大学	4	6	9	6	4	9						
F大学	4	9	6	4	6	9	4	9	13	4	9	6
G大学	4	6	9	4	6	9						
H大学	9	13	15	12	13	15	12	15	13	13	4	1,15
I大学	7	13	4	7	4	15	13	4	7	13	7	4
J大学	6	4	9	4	6	9	6	4	9	4	6	9
K大学	6	4	9	4	6	9						
L大学	4	9	6	4	3	6	4	3	6	4	3	6
M大学	4	6	13	4	6	13	4	13	6	4	6	13
N大学	4	3	14	4	3	6	4	3	6	4	3	7
O大学	4	6	3	4	6	3	4	6	3	4	6	3
P大学	4	6	3	4	6	2	4	6	3	4	6	2
Q大学	4	5	8	4	5	8	4	13	8	4	9	13

【２】　本学の授業に関する以下の項目について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

2-1　興味がもてる授業が多い　　2-2　ためになる授業が多い　　2-3　わかりやすい授業が多い
2-4　主体的に考え行動する授業が多い　　2-5 就職に役立ちそうな授業が多い
2-6　国際性を養うことができる授業が多い　　2-7　授業がよくなるよう工夫をしている教員が多い
2-8　授業や学生指導に対して熱心な教員が多い

回答に対する評価（5 点満点）をはい＝5 点、まあそうである＝4 点、どちらとも言えない＝3 点、
あまりそうとは言えない＝2 点、いいえ＝1 点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

表４　各加盟校１年生のアンケート２の結果を設問ごとに集計

加盟校	1年生							
	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
山形大学	3.41	3.48	3.42	3.31	3.07	2.92	3.39	3.36
A大学	4.07	4.24	3.73	3.85	4.40	2.88	3.84	3.99
B大学	3.62	3.76	3.27	3.41	3.82	3.20	3.37	3.45
C大学	4.03	4.34	3.70	3.81	4.27	2.80	3.74	3.97
D大学	3.71	3.74	3.55	3.47	3.67	3.43	3.78	3.73
E大学	3.76	4.09	3.54	3.64	4.18	2.94	3.52	3.85
F大学	3.52	3.85	3.48	3.34	3.72	3.03	3.57	3.60
G大学	3.96	4.29	3.73	3.67	4.32	3.13	3.68	3.64
H大学	2.88	3.25	3.13	2.88	2.63	2.75	3.00	3.00
I大学	3.27	3.57	3.22	3.33	3.73	3.27	3.25	3.42
J大学	3.93	4.14	3.56	3.76	4.12	2.83	3.54	3.80
K大学	3.61	4.05	3.37	3.82	3.98	2.78	3.43	3.65
L大学	3.83	4.05	3.48	3.55	3.98	2.67	3.51	3.54
M大学	3.54	3.69	3.20	3.25	3.59	3.01	3.19	3.38
N大学	3.44	3.54	3.36	3.41	3.56	3.30	3.39	3.57
O大学	3.80	3.96	3.42	3.27	3.69	2.63	3.31	3.43
P大学	3.90	4.09	3.62	3.56	4.05	2.95	3.54	3.75
Q大学	4.24	4.27	3.71	4.09	3.64	2.91	3.74	3.90
全体平均	3.70	3.91	3.47	3.52	3.80	2.97	3.49	3.61

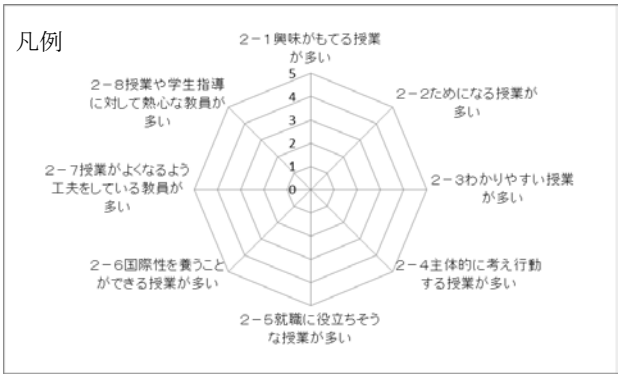


図１　問２の授業におけるアンケート結果の
レーダーチャート

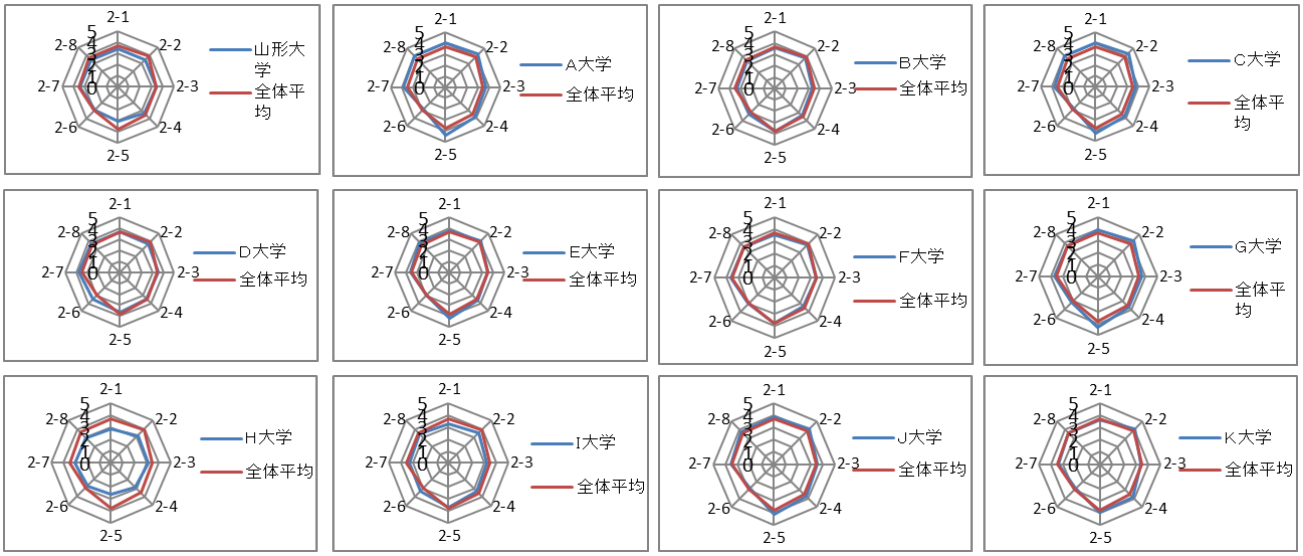


図２　問２の加盟校Ａ～Ｋ（1 年）ごとのレーダーチャート

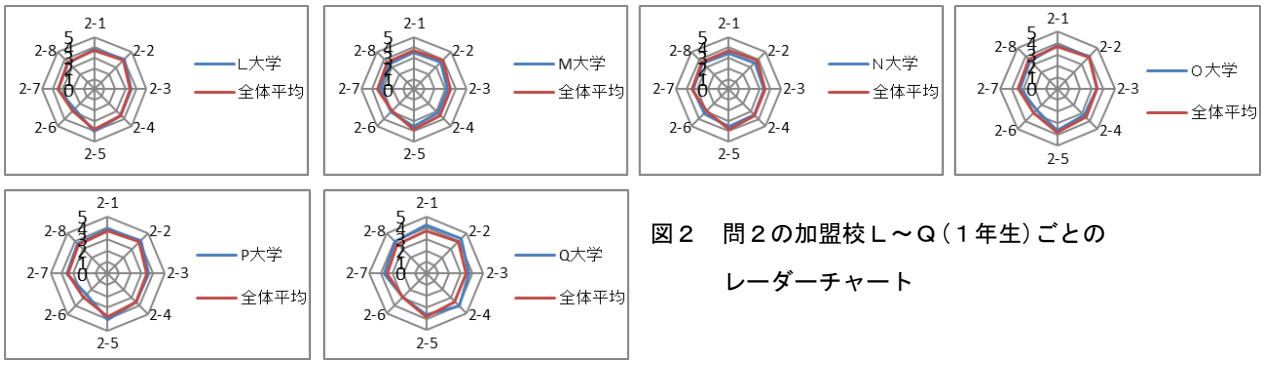


図２　問２の加盟校Ｌ～Ｑ（１年生）ごとの
レーダーチャート

表５　各加盟校２年生のアンケート２の結果を設問ごとに集計

２年生

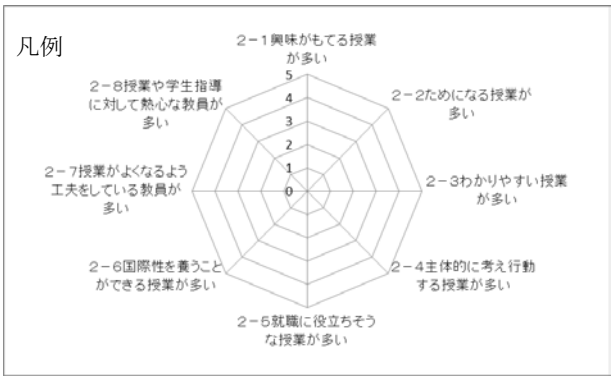


図１　問２の授業におけるアンケート結果の
レーダーチャート

加盟校	2年生							
	2−1	2−2	2−3	2−4	2−5	2−6	2−7	2−8
山形大学	3.64	3.75	3.38	3.20	3.30	2.79	3.43	3.54
A大学	4.06	4.34	3.81	3.71	4.43	2.71	3.71	4.10
B大学	3.79	3.95	3.43	3.52	3.84	3.25	3.58	3.75
C大学	4.13	4.34	3.85	4.14	4.29	3.18	3.87	4.12
D大学	3.68	3.64	3.40	3.50	3.70	3.45	3.73	3.78
E大学	3.78	4.16	3.35	3.79	4.23	2.60	3.36	3.58
F大学	3.42	3.70	3.39	3.10	3.64	2.68	3.34	3.50
G大学	3.94	4.19	3.82	3.70	4.30	2.91	3.86	3.89
H大学	3.71	3.84	3.61	3.32	3.61	3.10	3.97	3.87
I大学	3.42	3.60	3.29	3.29	3.73	3.21	3.45	3.58
J大学	3.75	4.12	3.48	3.51	4.06	2.68	3.45	3.68
K大学	4.04	4.31	3.78	3.97	4.27	2.88	3.87	4.03
L大学	3.55	3.85	3.20	3.44	3.89	2.30	3.31	3.52
M大学	3.33	3.32	3.02	2.94	3.11	2.93	2.88	3.02
N大学	3.38	3.46	3.37	3.43	3.45	3.34	3.36	3.50
O大学	3.82	3.93	3.52	3.37	3.60	2.55	3.32	3.35
P大学	3.50	3.79	3.25	3.30	3.70	2.50	3.27	3.47
Q大学	3.95	3.96	3.40	3.89	3.42	2.63	3.50	3.67
全体平均	3.72	3.90	3.46	3.51	3.81	2.87	3.51	3.66

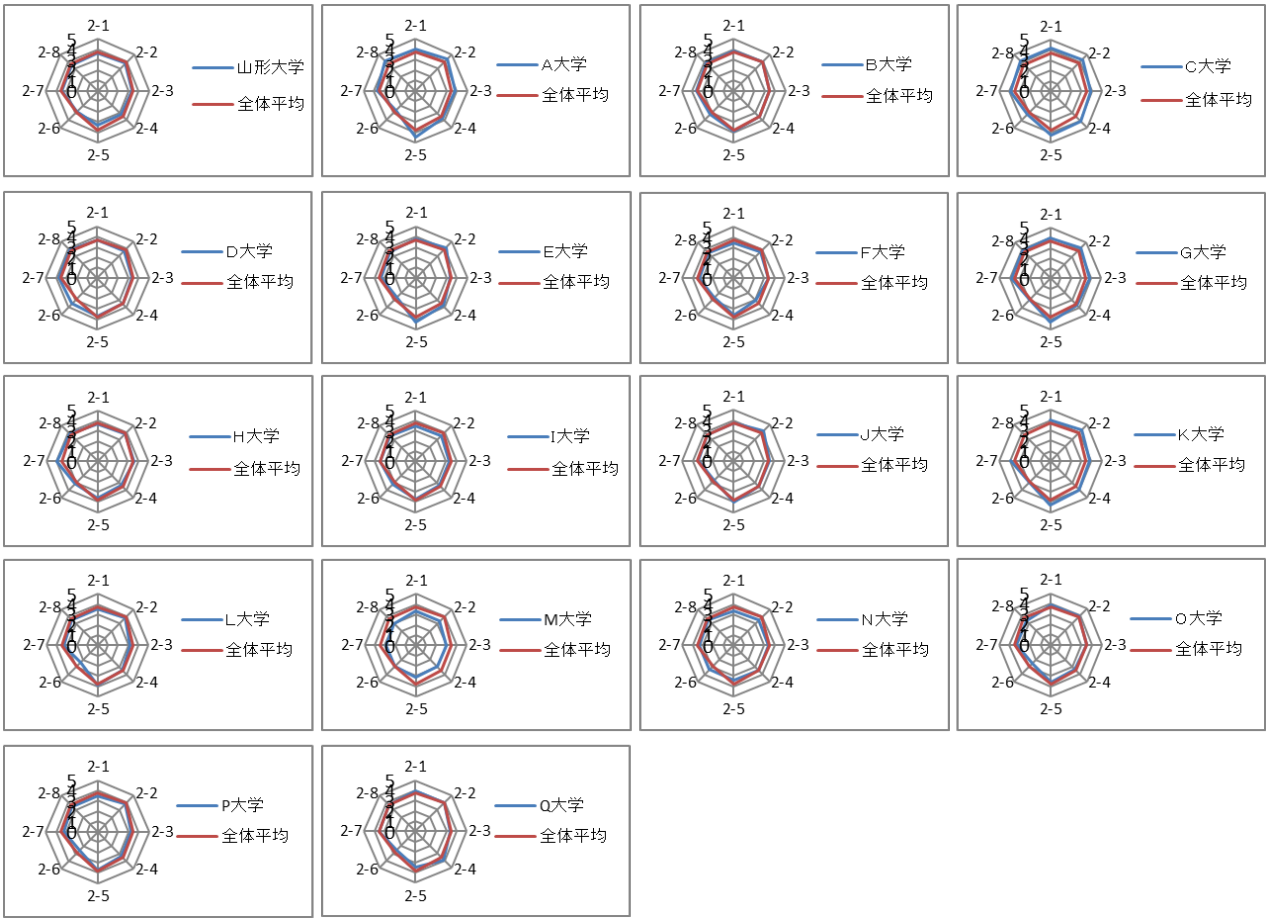


図３　問２の加盟校（２年生）ごとのレーダーチャート

表６　各加盟校３年生のアンケート２の結果を設問ごとに集計

３年生

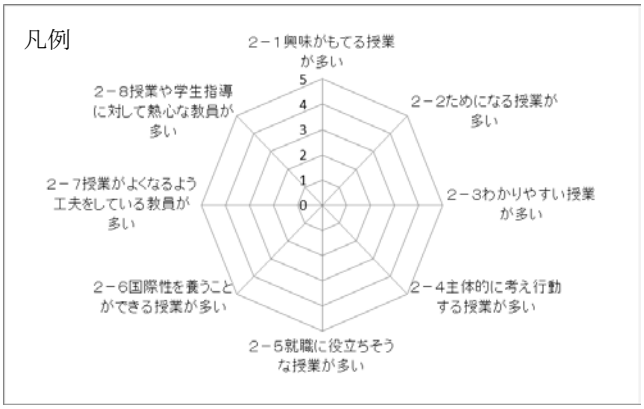


図１　問２の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	3年生　※専攻科を含む							
	2−1	2−2	2−3	2−4	2−5	2−6	2−7	2−8
山形大学	3.72	3.83	3.61	3.25	3.28	2.85	3.52	3.61
A大学	4.19	4.57	3.81	4.05	4.62	3.10	3.95	4.14
B大学	3.77	3.92	3.34	3.46	3.77	3.21	3.67	3.80
C大学								
D大学	3.72	3.70	3.65	3.38	3.72	3.11	3.72	3.74
E大学								
F大学	3.44	3.65	3.29	3.04	3.23	2.57	3.33	3.51
G大学								
H大学	2.78	3.05	3.18	2.95	3.20	3.28	3.30	3.28
I大学	3.35	3.51	3.35	3.07	3.63	3.02	3.24	3.39
J大学	3.91	4.18	3.66	3.96	4.08	2.75	3.52	4.00
K大学								
L大学	3.76	3.95	3.43	3.54	3.65	2.30	3.38	3.64
M大学	3.28	3.32	3.01	2.98	2.90	2.73	2.85	2.96
N大学	3.72	3.71	3.56	3.40	3.63	3.39	3.52	3.63
O大学	3.79	3.92	3.49	3.33	3.40	2.36	3.29	3.29
P大学	3.69	3.90	3.35	3.46	3.75	2.61	3.45	3.71
Q大学	3.70	3.69	3.30	3.70	3.14	2.44	3.30	3.47
全体平均	3.63	3.78	3.43	3.40	3.57	2.84	3.43	3.58

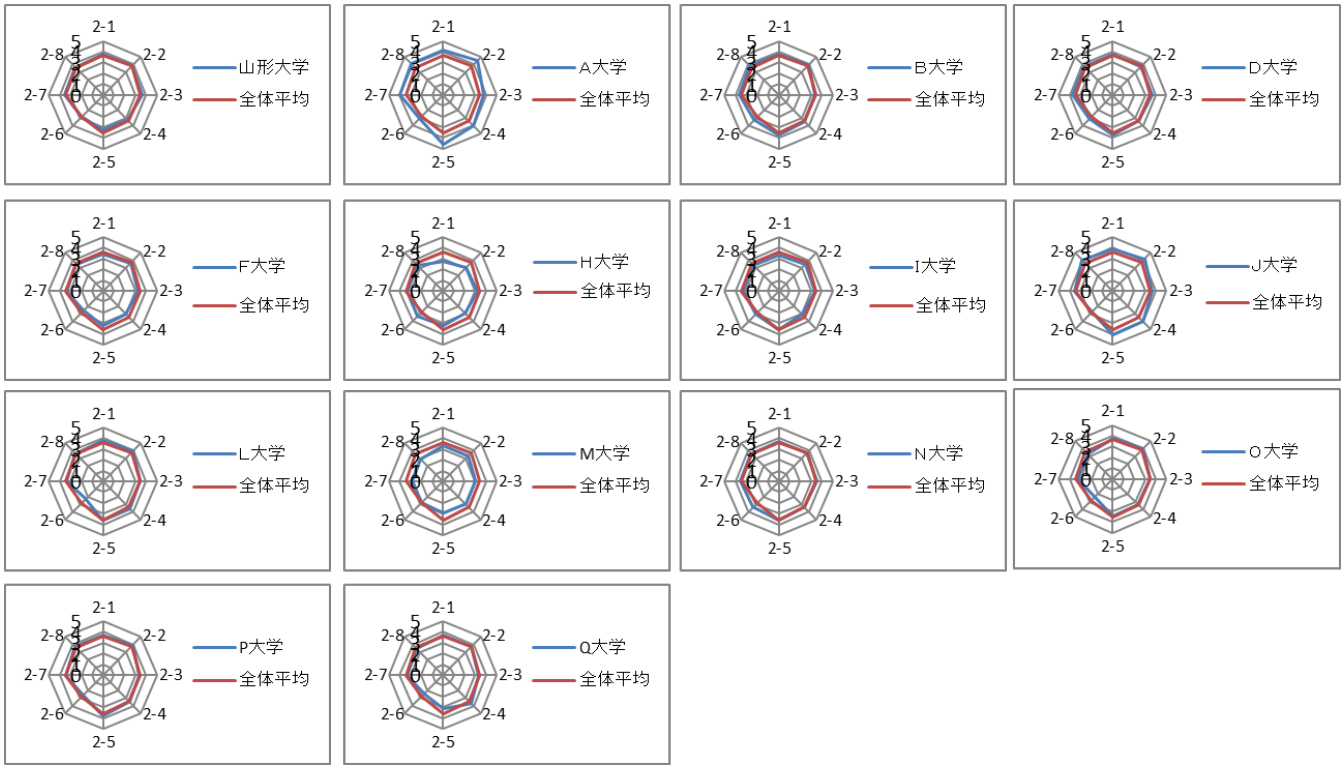


図４　問２の加盟校（３年生）ごとのレーダーチャート

表７　各加盟校４年生のアンケート２の結果を設問ごとに集計

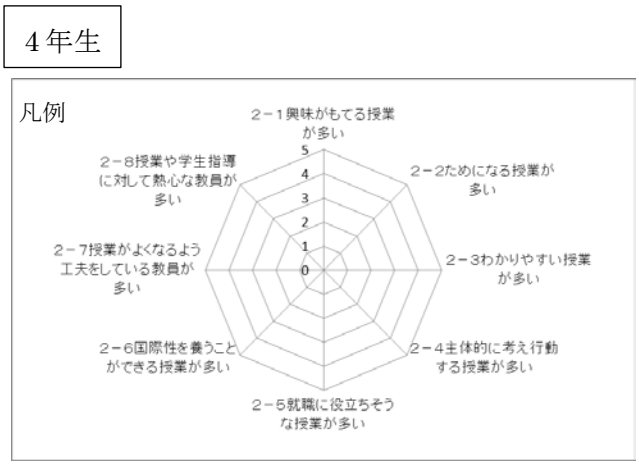


図１　問２の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	4年生							
	2−1	2−2	2−3	2−4	2−5	2−6	2−7	2−8
山形大学	3.74	3.83	3.56	3.22	3.11	2.79	3.53	3.58
A大学								
B大学	3.93	4.01	3.57	3.58	3.83	3.37	3.68	3.87
C大学								
D大学	3.58	3.48	3.46	3.35	3.31	3.27	3.42	3.54
E大学								
F大学	3.43	3.65	3.47	3.14	3.23	2.68	3.41	3.55
G大学								
H大学	3.73	3.80	3.53	3.67	3.60	3.67	3.80	4.00
I大学	3.37	3.53	3.47	3.35	3.54	3.09	3.40	3.51
J大学	4.18	4.43	3.87	3.98	4.38	2.59	3.74	4.07
K大学								
L大学	3.71	3.96	3.45	3.64	3.75	2.37	3.37	3.63
M大学	3.44	3.46	3.24	3.09	2.95	2.84	2.93	3.05
N大学	3.82	3.82	3.65	3.46	3.71	3.55	3.61	3.67
O大学	3.79	3.90	3.49	3.19	3.29	2.32	3.26	3.29
P大学	3.61	3.79	3.41	3.33	3.60	2.63	3.50	3.69
Q大学	3.85	3.80	3.46	3.68	3.00	2.56	3.37	3.63
全体平均	3.71	3.80	3.51	3.44	3.48	2.90	3.46	3.62

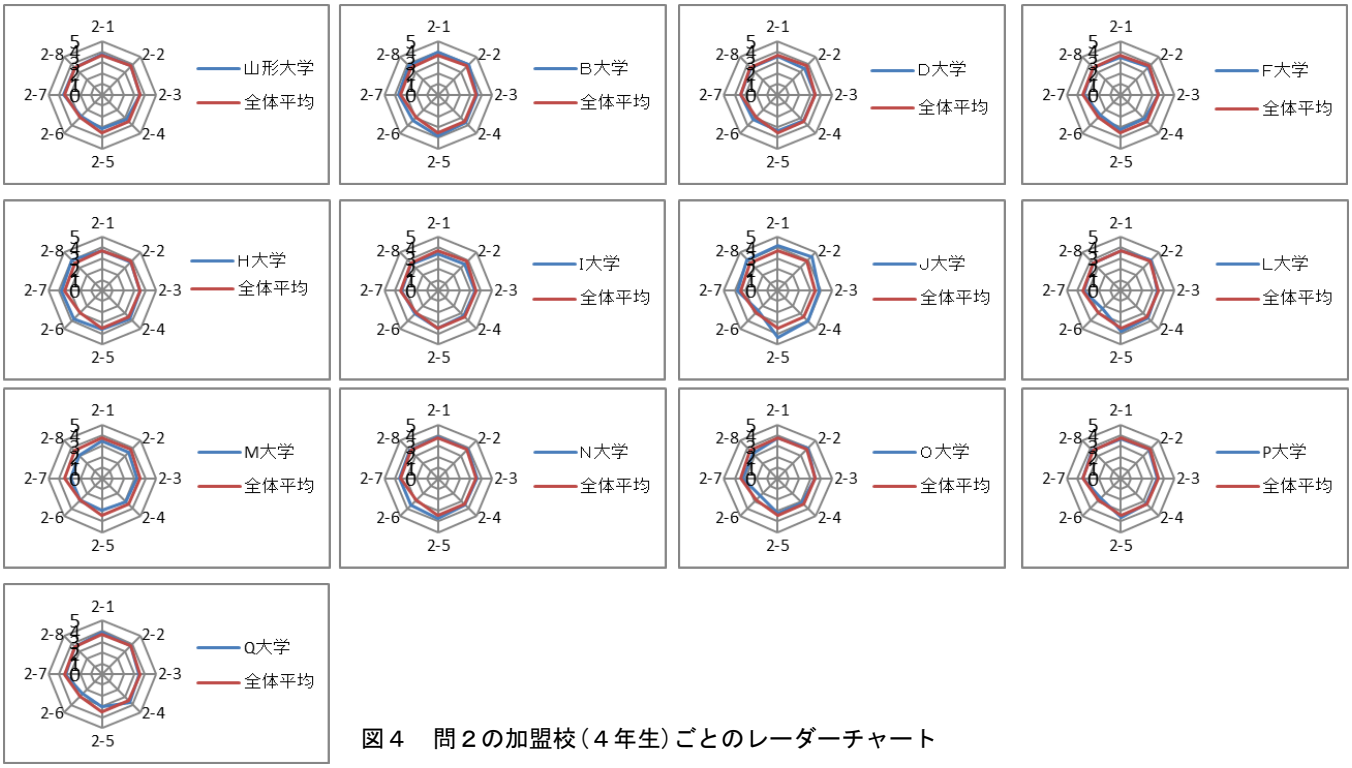


図４　問２の加盟校（４年生）ごとのレーダーチャート

【３】　授業を受けて、あなたは下記の知識や能力を身につけることができましたか。該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。
＊以下の質問に次の５段階で答えてください。
５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない　２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

3-1　幅広い教養
3-2　専門知識や技能
3-3　課題解決能力（課題を発見し、解決する力）
3-4　物事を批判的に捉え思考する力
3-5　情報機器を使いこなす能力
3-6　外国語を運用する能力
3-7　コミュニケーション能力（議論・発表・協働する力）
3-8　リーダーシップをとる力

表８　各加盟校（１年生）のアンケート３の結果を設問ごとに集計

１年生

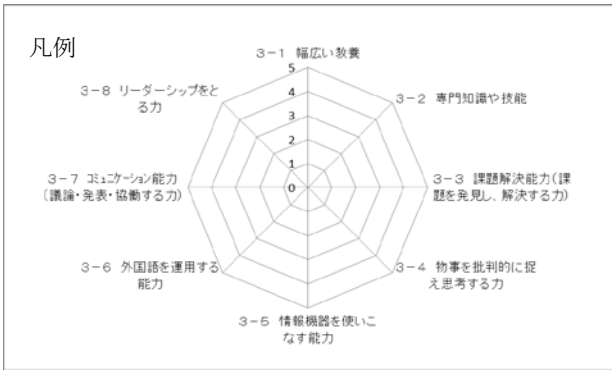


図６　問３の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	1年生							
	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
山形大学	3.65	3.59	3.45	3.40	3.48	3.24	3.59	3.12
A大学	4.05	4.32	3.83	3.53	3.01	2.87	3.67	3.24
B大学	3.69	3.89	3.55	3.56	3.61	3.10	3.74	3.25
C大学	3.98	4.26	3.76	3.45	3.55	2.64	3.78	3.33
D大学	3.68	3.55	3.43	3.53	3.54	3.16	3.64	3.21
E大学	3.91	4.15	3.62	3.47	3.79	2.70	3.58	2.97
F大学	3.64	3.92	3.64	3.58	3.64	3.07	3.59	3.11
G大学	3.68	4.06	3.67	3.61	3.63	2.93	3.60	3.29
H大学	3.00	3.13	2.88	3.38	3.63	3.00	3.25	2.63
I大学	3.56	3.50	3.40	3.49	3.75	3.30	3.43	3.14
J大学	3.69	4.00	3.61	3.50	3.45	2.99	3.88	3.19
K大学	3.46	3.92	3.55	3.33	3.47	2.10	3.75	3.11
L大学	3.79	4.09	3.67	3.39	3.45	2.87	3.77	3.24
M大学	3.48	3.92	3.44	3.52	2.95	2.86	3.46	3.12
N大学	3.39	3.63	3.37	3.31	3.44	3.37	3.65	3.12
O大学	3.50	3.96	3.41	3.24	3.40	2.83	3.22	2.82
P大学	3.84	4.14	3.73	3.51	3.30	2.70	3.58	3.09
Q大学	3.86	4.39	4.11	3.85	3.77	2.61	3.95	3.28
全体平均	3.66	3.91	3.56	3.48	3.49	2.91	3.62	3.13

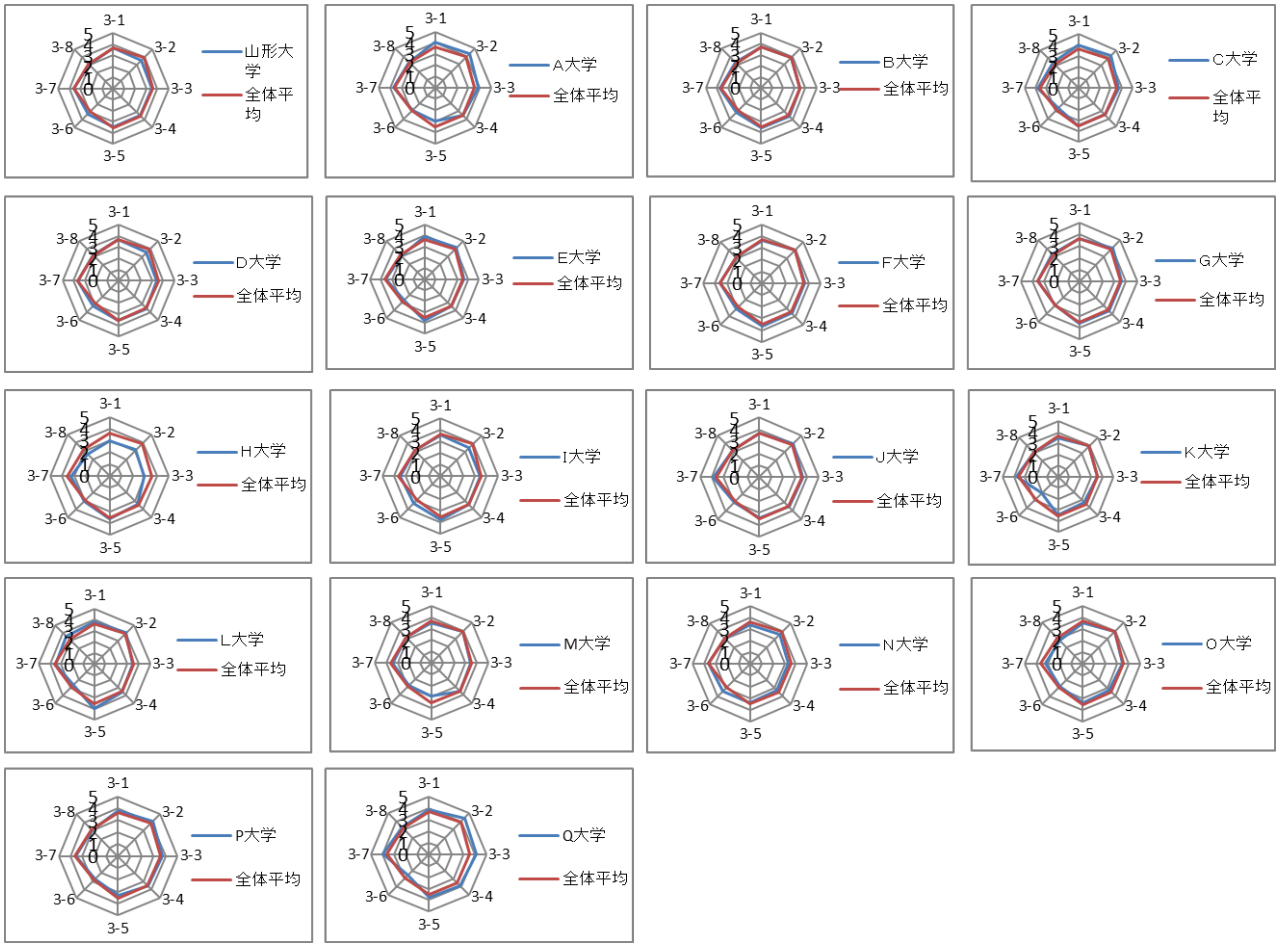


図７　問３の加盟校（１年生）ごとのレーダーチャート

表９　各加盟校（２年生）のアンケート３の結果を設問ごとに集計

２年生

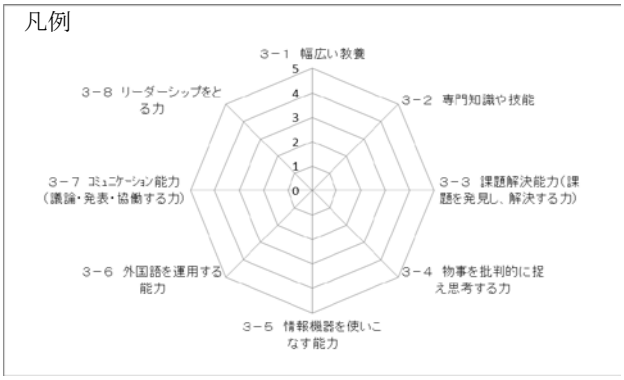


図６　問３の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	２年生							
	3−1	3−2	3−3	3−4	3−5	3−6	3−7	3−8
山形大学	3.63	3.97	3.52	3.49	3.35	2.93	3.33	2.89
A大学	4.11	4.34	3.73	3.51	3.56	2.49	3.85	3.32
B大学	3.87	3.96	3.82	3.66	3.52	3.02	3.71	3.32
C大学	4.13	4.34	4.02	3.97	3.81	3.07	4.03	3.75
D大学	3.76	3.71	3.71	3.57	3.69	3.31	3.73	3.39
E大学	3.73	4.05	3.59	3.47	3.40	2.44	3.67	3.19
F大学	3.55	3.87	3.54	3.43	3.46	2.74	3.52	3.01
G大学	3.98	4.15	3.79	3.72	3.31	2.79	3.85	3.41
H大学	3.84	3.61	3.48	3.52	3.77	3.23	3.50	3.13
I大学	3.57	3.73	3.54	3.49	3.65	3.51	3.76	3.19
J大学	3.75	4.18	3.51	3.43	3.24	2.79	3.64	3.37
K大学	3.97	4.24	3.91	3.62	3.49	2.32	3.90	3.38
L大学	3.30	4.03	3.57	3.31	3.24	2.43	3.47	3.01
M大学	3.23	3.65	3.23	3.33	2.90	2.94	3.23	3.06
N大学	3.41	3.70	3.44	3.34	3.31	3.42	3.64	3.26
O大学	3.56	4.06	3.48	3.30	3.50	2.64	3.34	2.97
P大学	3.50	3.91	3.47	3.27	3.08	2.34	3.46	3.05
Q大学	3.64	4.25	4.00	3.70	3.56	2.41	3.88	3.31
全体平均	3.70	3.99	3.63	3.51	3.44	2.82	3.64	3.22

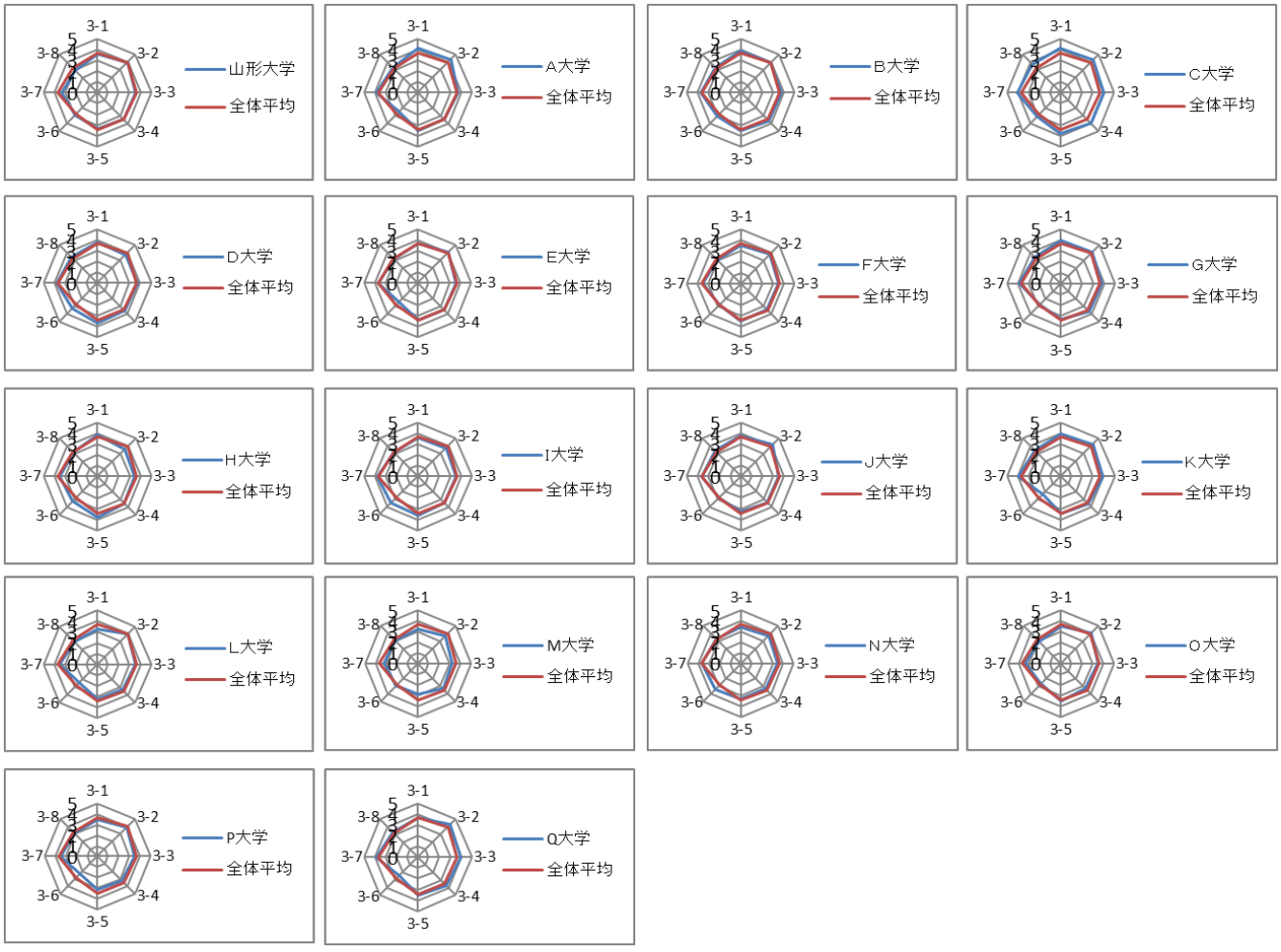


図８　問３の加盟校（２年生）ごとのレーダーチャート

表１０　各加盟校（３年生）のアンケート３の結果を設問ごとに集計

３年生

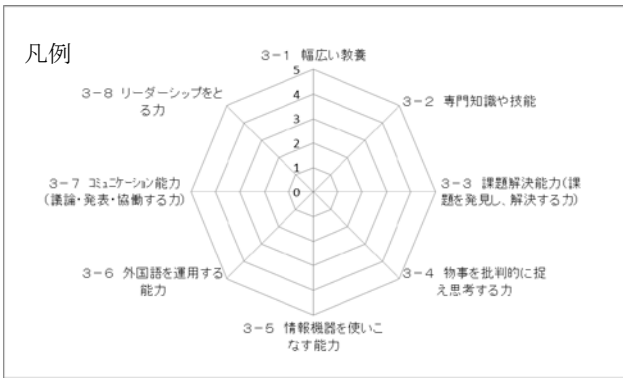


図６　問３の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	3年生　※専攻科を含む							
	3−1	3−2	3−3	3−4	3−5	3−6	3−7	3−8
山形大学	3.71	4.03	3.52	3.53	3.35	2.85	3.44	3.05
A大学	4.19	4.52	4.05	3.85	3.76	3.29	4.00	3.52
B大学	3.85	4.06	3.81	3.54	3.54	2.78	3.78	3.38
C大学								
D大学	3.80	3.74	3.59	3.74	3.59	3.20	3.61	3.22
E大学								
F大学	3.42	3.73	3.39	3.20	3.02	2.56	3.26	2.79
G大学								
H大学	3.21	3.31	3.33	3.38	3.13	2.87	3.41	2.95
I大学	3.42	3.52	3.33	3.46	3.48	3.36	3.53	3.15
J大学	4.03	4.37	3.86	3.76	3.48	2.68	3.96	3.53
K大学								
L大学	3.51	4.10	3.64	3.33	3.13	2.35	3.60	3.16
M大学	3.17	3.71	3.23	3.21	3.08	2.58	3.24	3.02
N大学	3.56	3.83	3.44	3.31	3.20	3.41	3.79	3.29
O大学	3.58	4.08	3.47	3.31	3.29	2.50	3.44	3.07
P大学	3.63	3.97	3.66	3.42	3.19	2.28	3.50	3.12
Q大学	3.46	4.12	3.91	3.66	3.53	2.20	3.19	3.69
全体平均	3.61	3.94	3.59	3.48	3.34	2.78	3.55	3.21

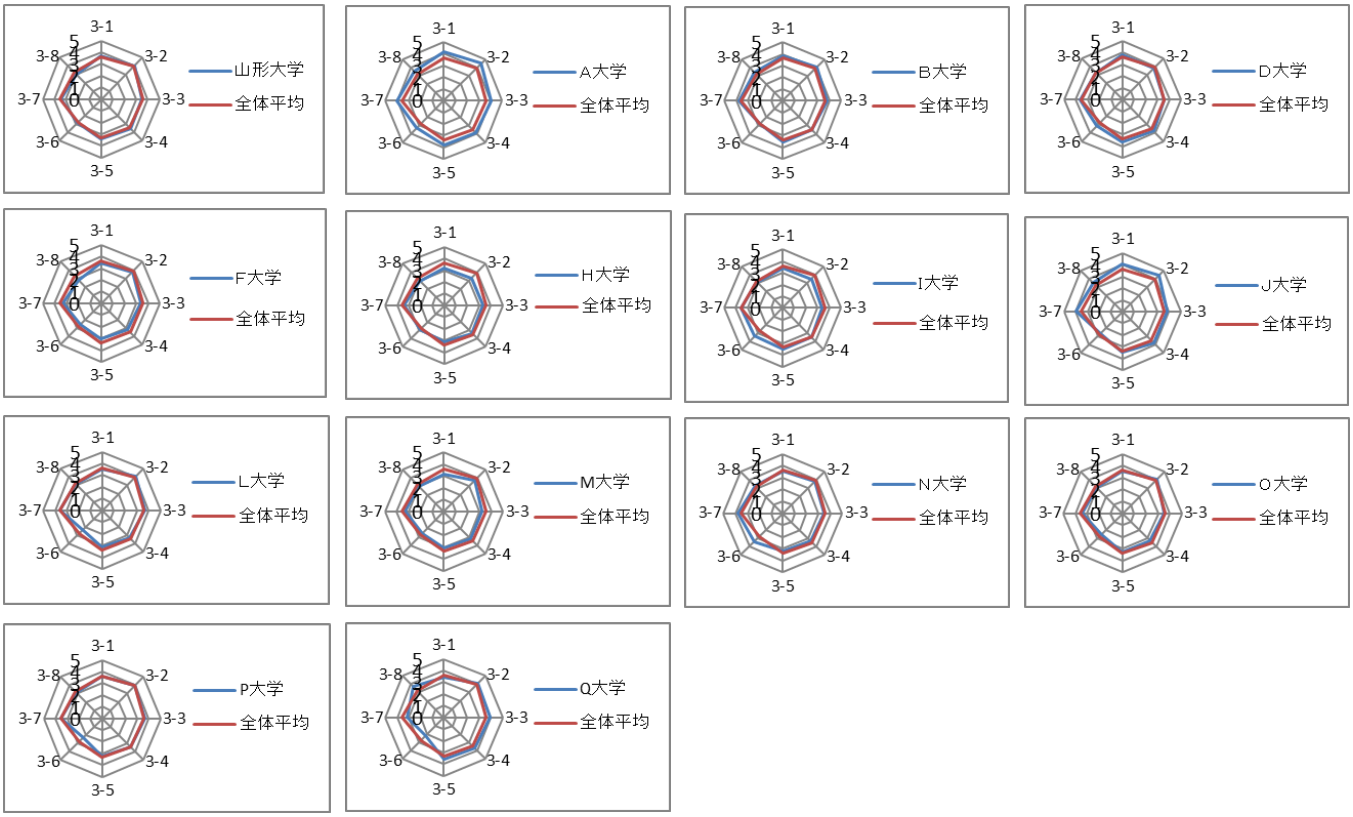


図９　問３の加盟校（３年生）ごとのレーダーチャート

表１１　各加盟校（４年生）のアンケート３の結果を設問ごとに集計

４年生

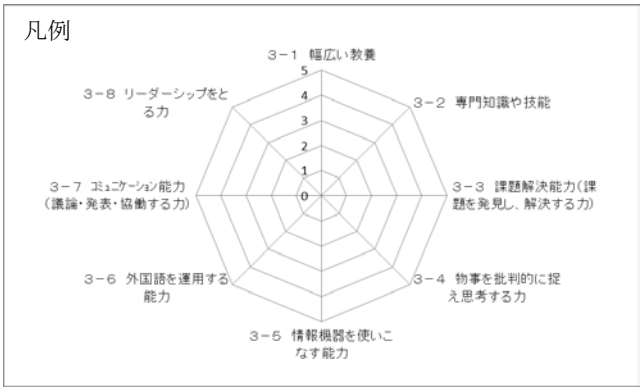


図６　問３の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	4年生							
	3−1	3−2	3−3	3−4	3−5	3−6	3−7	3−8
山形大学	3.75	4.08	3.71	3.58	3.43	2.84	3.56	3.07
A大学								
B大学	3.84	3.98	3.77	3.81	3.55	3.03	3.65	3.54
C大学								
D大学	3.56	3.44	3.31	3.27	3.31	3.04	3.38	3.21
E大学								
F大学	3.47	3.66	3.30	3.26	3.29	2.51	3.47	2.97
G大学								
H大学	3.67	3.67	3.33	3.47	3.53	3.14	3.33	3.40
I大学	3.70	3.66	3.50	3.54	3.63	3.30	3.63	3.37
J大学	4.15	4.52	3.97	3.82	3.41	2.64	4.18	3.49
K大学								
L大学	3.59	4.17	3.90	3.55	3.31	2.34	3.78	3.31
M大学	3.32	3.74	3.26	3.29	3.07	2.55	3.34	3.19
N大学	3.59	3.83	3.58	3.46	3.35	3.50	3.81	3.41
O大学	3.49	4.07	3.41	3.34	3.35	2.25	3.37	2.96
P大学	3.67	3.95	3.66	3.50	3.29	2.54	3.56	3.35
Q大学	3.60	4.16	3.97	3.74	3.57	2.46	3.76	3.25
全体平均	3.65	3.92	3.59	3.51	3.39	2.78	3.60	3.27

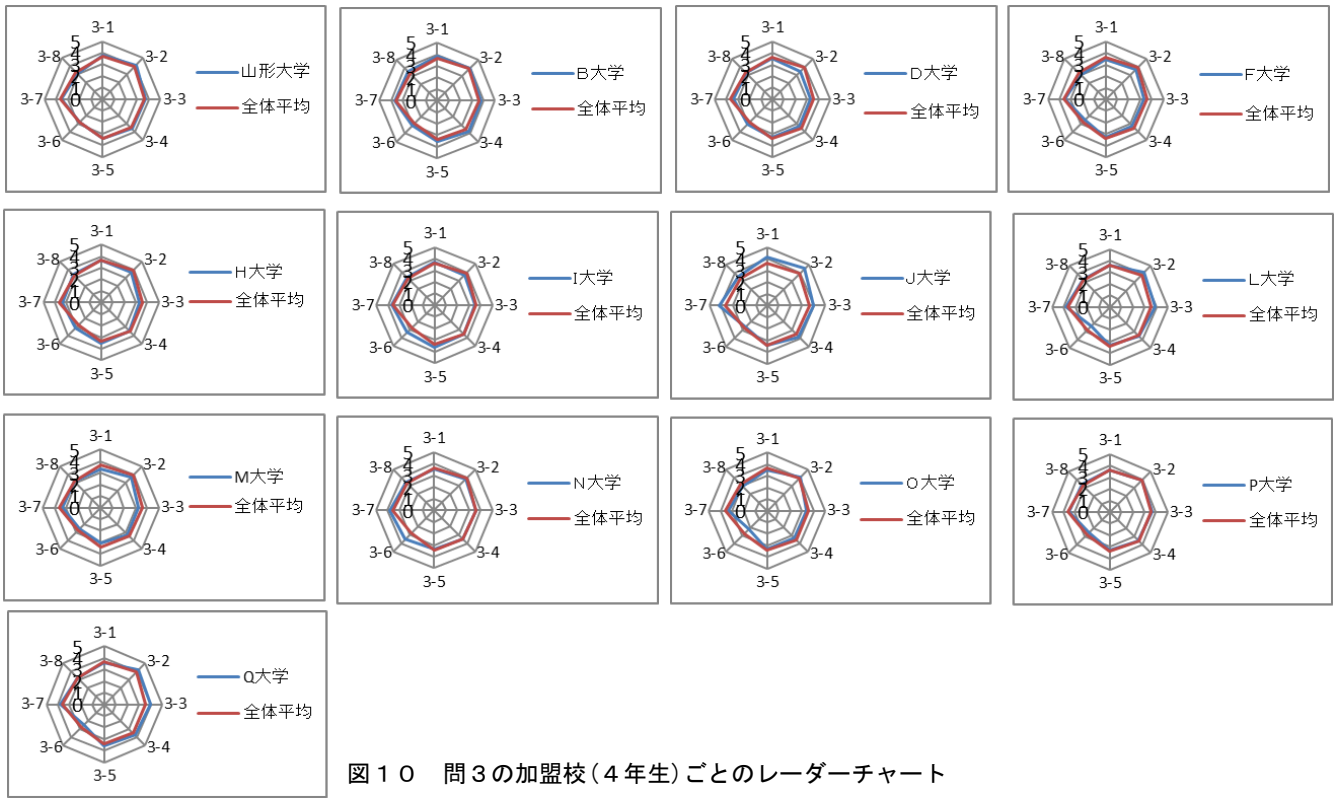


図１０　問３の加盟校（４年生）ごとのレーダーチャート

【４】　本学の改善に向けて今後取り組むべき事項について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

＊以下の質問に次の５段階で答えてください。

５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない　２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

4-1　カリキュラムを改善する　4-2 教員の授業力を向上する

4-3 コミュニケーション能力の向上を重視した教育を充実する

4-4 学習相談等、学習を支援する体制を充実する　4-5 学生生活を支援する体制を充実する

4-6 就職に役立つ授業を充実する　4-7　地域社会との関わりを重視する　4-8　施設や設備を充実する

表１２　各加盟校（１年生）のアンケート４の結果を設問ごとに集計

１年生

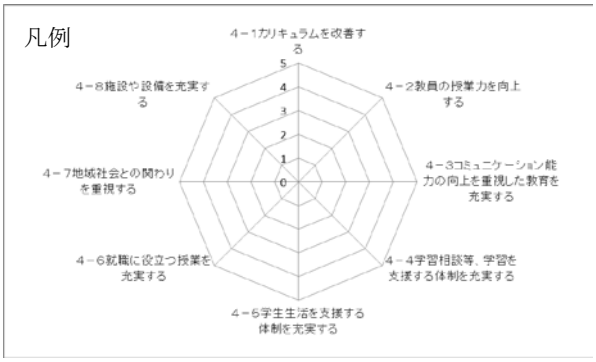


図１１　問４の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	1年生							
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
山形大学	3.58	3.54	3.39	3.28	3.45	3.61	3.22	3.94
A大学	3.09	3.05	3.34	3.36	3.57	3.64	3.32	3.82
B大学	3.41	3.62	3.50	3.48	3.60	3.78	3.55	3.61
C大学	3.13	3.23	3.30	3.43	3.44	3.57	3.29	3.55
D大学	3.58	3.45	3.49	3.54	3.63	3.77	3.52	3.75
E大学	3.38	3.56	3.45	3.48	3.52	3.67	3.45	3.86
F大学	3.22	3.44	3.58	3.45	3.76	3.93	3.51	4.02
G大学	3.22	3.43	3.46	3.51	3.51	3.79	3.41	3.65
H大学	3.88	3.13	3.13	3.75	4.38	4.13	2.50	4.13
I大学	3.42	3.54	3.55	3.36	3.64	3.76	3.41	4.06
J大学	2.94	3.27	3.46	3.12	3.21	3.54	3.54	3.69
K大学	2.89	3.30	3.17	3.29	3.38	3.58	3.25	3.62
L大学	3.25	3.46	3.34	3.37	3.60	3.59	3.38	3.90
M大学	3.37	3.62	3.62	3.39	3.61	3.93	3.41	3.87
N大学	3.48	3.55	3.49	3.45	3.57	3.75	3.21	3.65
O大学	3.23	3.49	3.42	3.33	3.42	3.69	3.33	3.76
P大学	3.40	3.63	3.45	3.39	3.50	3.57	3.23	3.85
Q大学	3.21	3.27	3.26	3.38	3.60	3.67	3.45	3.55
全体平均	3.32	3.42	3.41	3.41	3.58	3.72	3.33	3.79

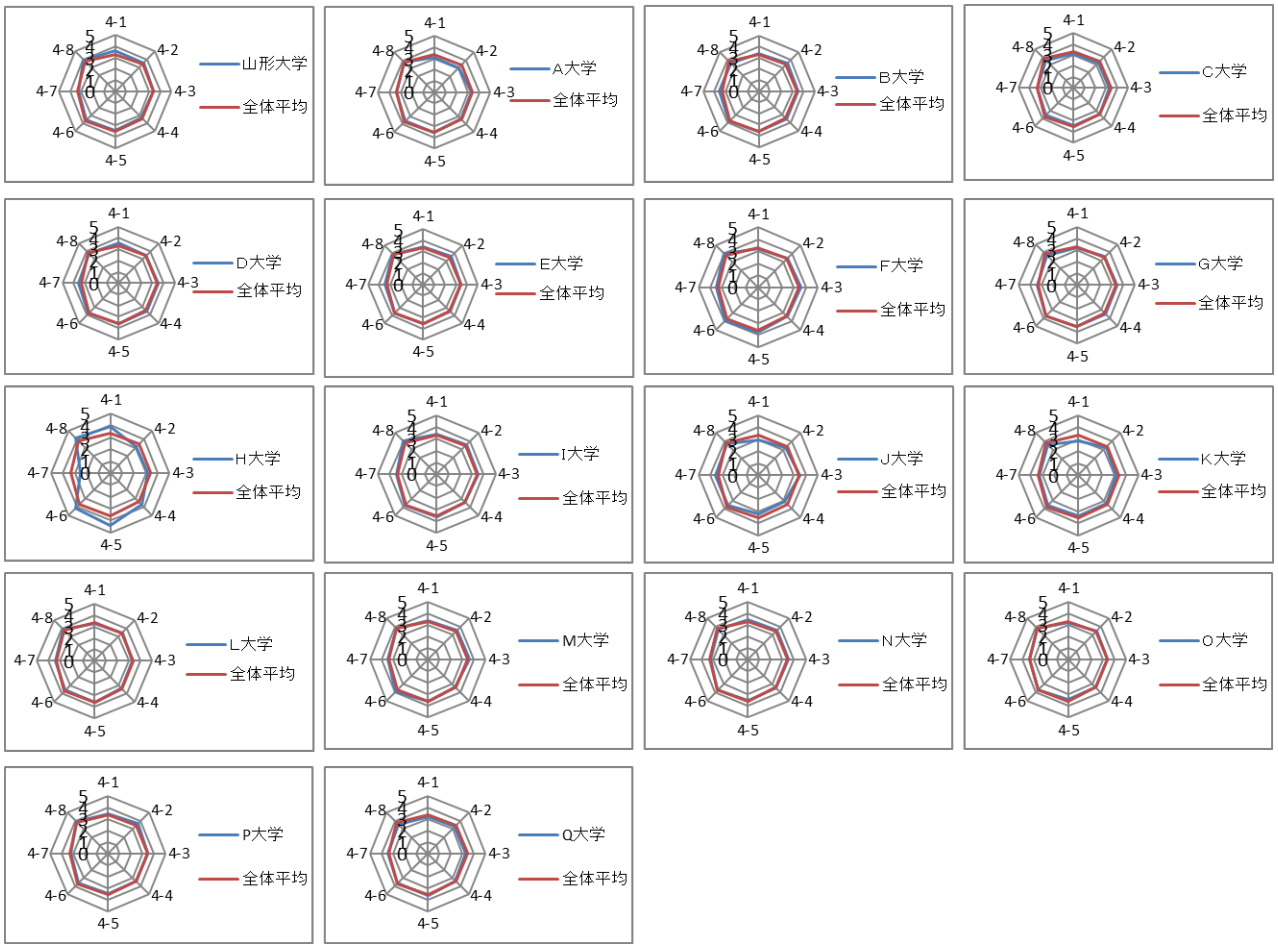


図１２　問４の加盟校（１年生）ごとのレーダーチャート

表１３　各加盟校（２年生）のアンケート４の結果を設問ごとに集計

２年生

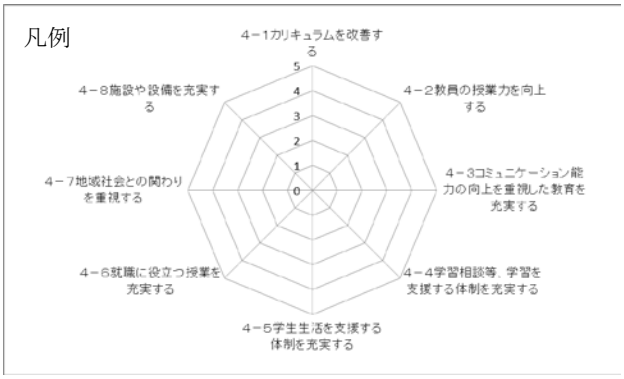


図１１　問４の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	2年生							
	4−1	4−2	4−3	4−4	4−5	4−6	4−7	4−8
山形大学	3.68	3.57	3.37	3.44	3.59	3.66	3.25	4.01
A大学	2.92	3.14	3.32	3.28	3.38	3.35	3.31	3.57
B大学	3.48	3.58	3.41	3.46	3.64	3.84	3.56	3.81
C大学	3.37	3.37	3.39	3.41	3.51	3.52	3.42	3.60
D大学	3.53	3.39	3.59	3.56	3.61	3.68	3.41	3.83
E大学	3.36	3.79	3.47	3.68	3.75	3.81	3.16	4.21
F大学	3.38	3.58	3.63	3.55	3.82	3.83	3.56	4.09
G大学	3.25	3.23	3.50	3.45	3.65	3.78	3.43	4.00
H大学	3.74	3.32	3.42	3.42	3.83	4.00	3.81	4.06
I大学	3.32	3.45	3.46	3.34	3.72	3.92	3.49	3.97
J大学	3.11	3.50	3.29	3.25	3.49	3.64	3.43	3.89
K大学	3.08	3.12	3.24	3.30	3.46	3.43	3.20	3.74
L大学	3.57	3.74	3.38	3.41	3.76	3.71	3.38	4.06
M大学	3.59	3.79	3.53	3.43	3.69	3.95	3.46	3.96
N大学	3.67	3.61	3.57	3.58	3.70	3.82	3.28	3.76
O大学	3.33	3.53	3.38	3.34	3.46	3.83	3.40	3.81
P大学	4.00	3.87	3.61	3.63	3.98	3.95	3.38	4.28
Q大学	3.69	3.62	3.38	3.62	3.81	3.79	3.44	3.86
全体平均	3.45	3.51	3.44	3.45	3.66	3.75	3.41	3.92

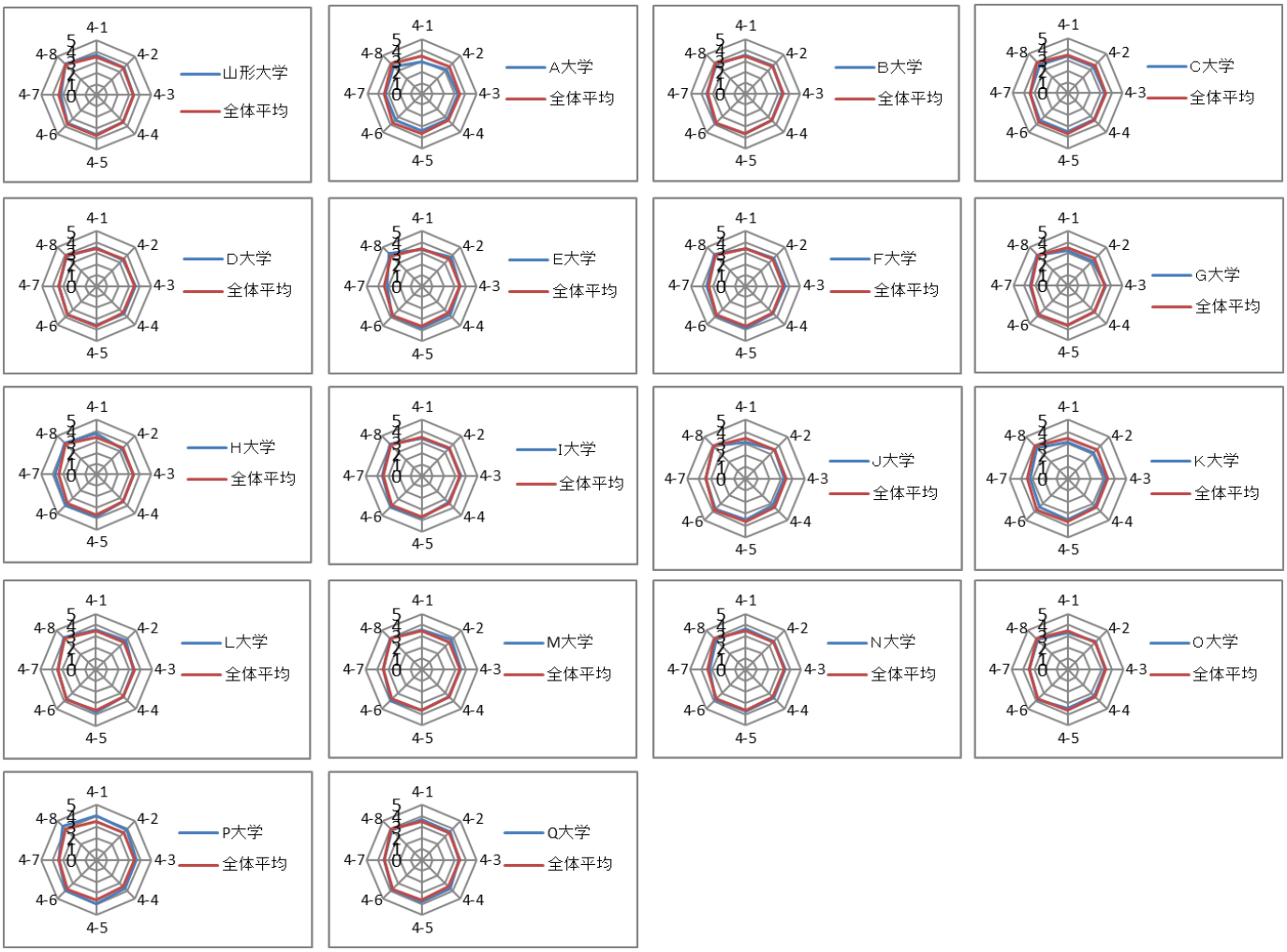


図１３　問４の加盟校（２年生）ごとのレーダーチャート

表１４　各加盟校（３年生）のアンケート４の結果を設問ごとに集計

３年生

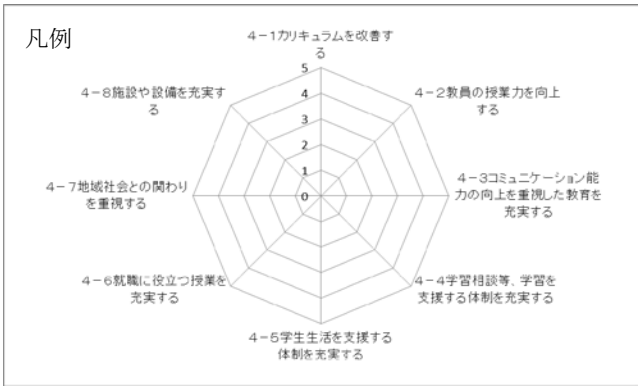


図１１　問４の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	３年生　※専攻科を含む							
	4−1	4−2	4−3	4−4	4−5	4−6	4−7	4−8
山形大学	3.66	3.46	3.44	3.40	3.54	3.64	3.20	4.07
A大学	3.00	3.00	3.67	3.43	3.76	3.38	3.57	3.95
B大学	3.67	3.70	3.65	3.61	3.78	3.99	3.67	3.87
C大学								
D大学	3.39	3.35	3.43	3.39	3.61	3.87	3.65	4.17
E大学								
F大学	3.08	3.25	3.64	3.57	3.73	3.83	3.45	4.22
G大学								
H大学	3.67	3.69	3.59	3.44	3.85	3.95	3.36	3.87
I大学	3.43	3.58	3.59	3.52	3.80	4.01	3.47	4.27
J大学	3.41	3.46	3.44	3.57	3.54	3.90	3.47	3.97
K大学								
L大学	3.59	3.34	3.26	3.41	3.46	3.74	3.19	3.74
M大学	3.77	3.85	3.66	3.55	3.79	3.92	3.44	3.91
N大学	3.63	3.49	3.70	3.62	3.71	3.76	3.32	3.72
O大学	3.55	3.64	3.46	3.56	3.65	3.96	3.21	3.90
P大学	3.86	3.83	3.67	3.86	3.99	4.03	3.74	4.38
Q大学	3.80	3.67	3.39	3.50	3.92	3.64	3.47	4.00
全体平均	3.54	3.52	3.54	3.53	3.72	3.83	3.44	4.00

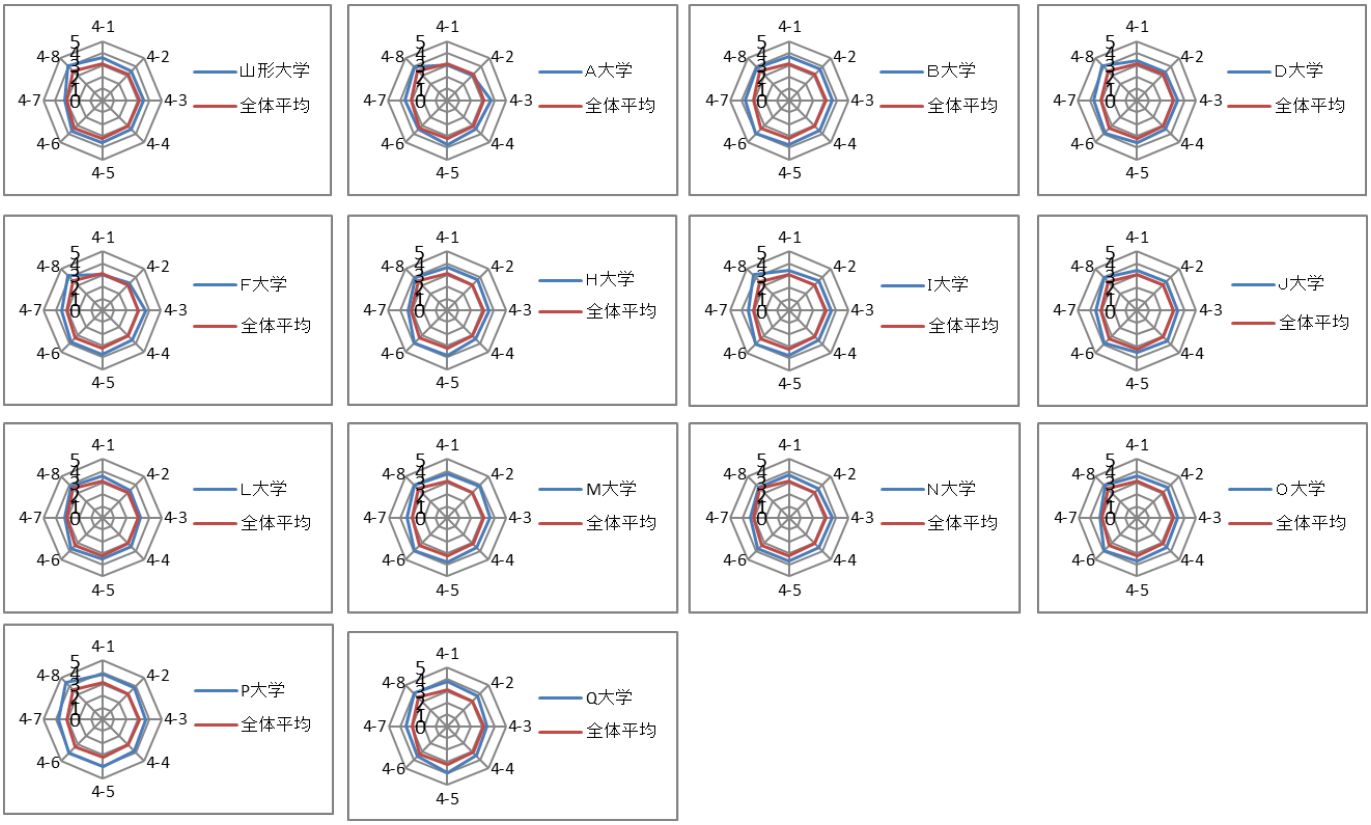


図１４　問４の加盟校（３年生）ごとのレーダーチャート

表１５　各加盟校（４年生）のアンケート４の結果を設問ごとに集計

４年生

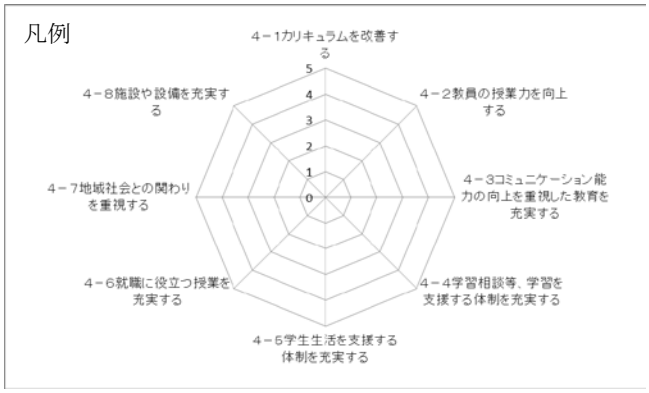


図１１　問４の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

加盟校	4年生							
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
山形大学	3.59	3.53	3.59	3.51	3.67	3.67	3.27	4.14
A大学								
B大学	3.73	3.60	3.60	3.51	3.59	3.77	3.59	3.75
C大学								
D大学	3.40	3.36	3.32	3.48	3.52	3.53	3.35	3.33
E大学								
F大学	3.42	3.35	3.54	3.36	3.58	3.81	3.46	4.09
G大学								
H大学	3.87	3.60	3.80	3.87	4.00	4.20	3.93	4.07
I大学	3.63	3.70	3.69	3.73	3.80	3.89	3.47	3.96
J大学	3.39	3.28	3.80	3.67	3.90	3.73	3.51	4.15
K大学								
L大学	3.45	3.50	3.37	3.50	3.59	3.65	3.34	3.92
M大学	3.72	3.80	3.74	3.60	3.68	3.98	3.51	3.79
N大学	3.49	3.49	3.61	3.55	3.68	3.73	3.39	3.67
O大学	3.38	3.63	3.60	3.53	3.59	3.92	3.34	3.81
P大学	3.86	3.66	3.64	3.79	3.97	3.91	3.60	4.25
Q大学	3.64	3.58	3.46	3.60	3.89	3.58	3.50	3.89
全体平均	3.58	3.54	3.60	3.59	3.73	3.80	3.48	3.91

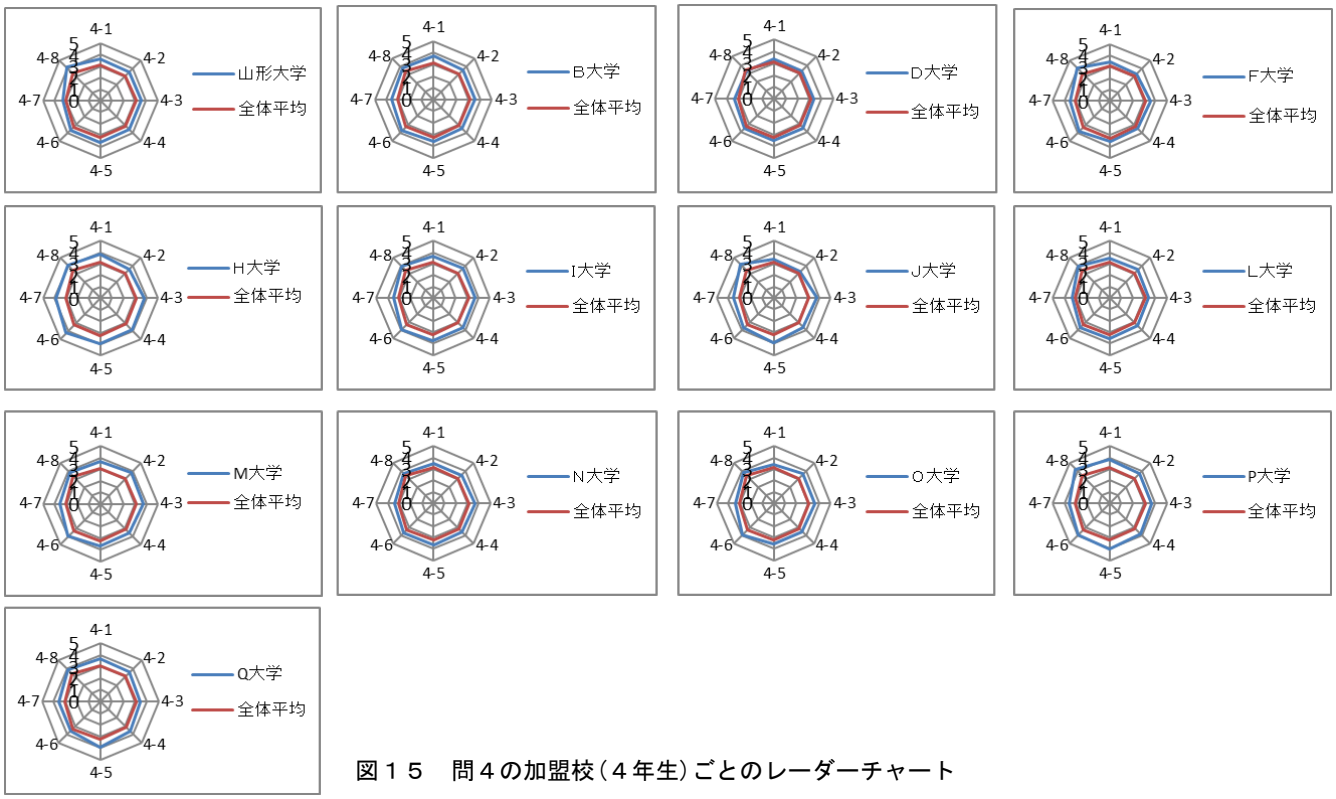


図１５　問４の加盟校（４年生）ごとのレーダーチャート

【５】　この一年間において、授業の予習・復習時間は１日につき平均何時間ですか。

５：３時間以上　４：２時間以上３時間未満　３：１時間以上２時間未満　２：３０分以上１時間未満　１：３０分未満

表１６　各加盟校予習・復習時間
平均点（１年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.12
A大学	1.92
B大学	2.50
C大学	2.30
D大学	2.11
E大学	2.12
F大学	2.14
G大学	1.77
H大学	2.00
I大学	1.82
J大学	2.61
K大学	2.53
L大学	2.42
M大学	1.79
N大学	2.33
O大学	2.17
P大学	2.66
Q大学	2.74

図１６　各加盟校学習時間（１年生）

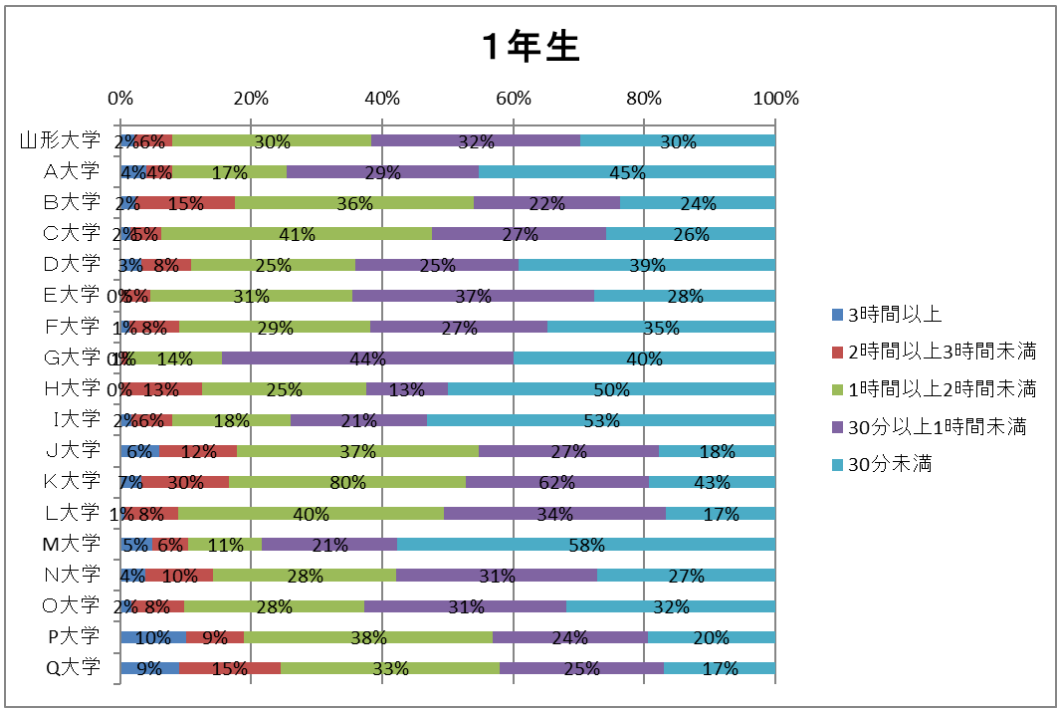


表１７　各加盟校予習・復習時間
平均点（２年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.38
A大学	1.54
B大学	2.63
C大学	2.22
D大学	2.02
E大学	1.74
F大学	2.15
G大学	1.78
H大学	2.16
I大学	2.02
J大学	2.28
K大学	2.65
L大学	2.47
M大学	1.99
N大学	2.39
O大学	2.03
P大学	2.61
Q大学	2.77

図１７　各加盟校学習時間（２年生）

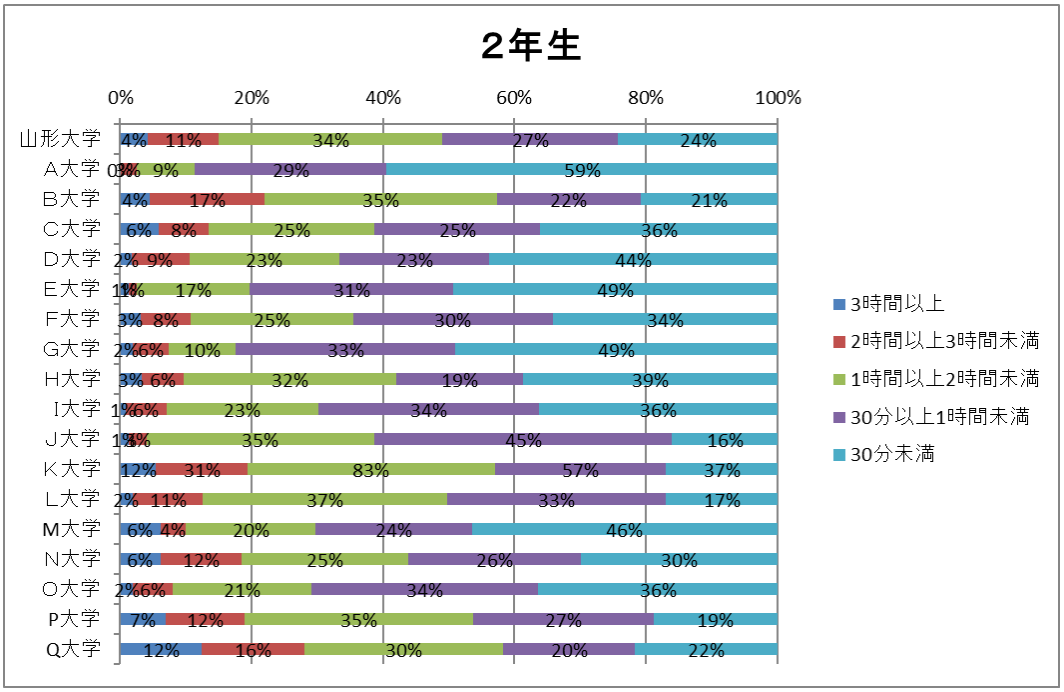


表１８　各加盟校予習・復習時間
平均点（３年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.67
A大学	2.86
B大学	2.53
D大学	2.47
F大学	1.69
H大学	1.95
I大学	2.01
J大学	2.75
L大学	3.01
M大学	2.05
N大学	2.35
O大学	2.07
P大学	2.93
Q大学	2.96

図１８　各加盟校学習時間（３年生）

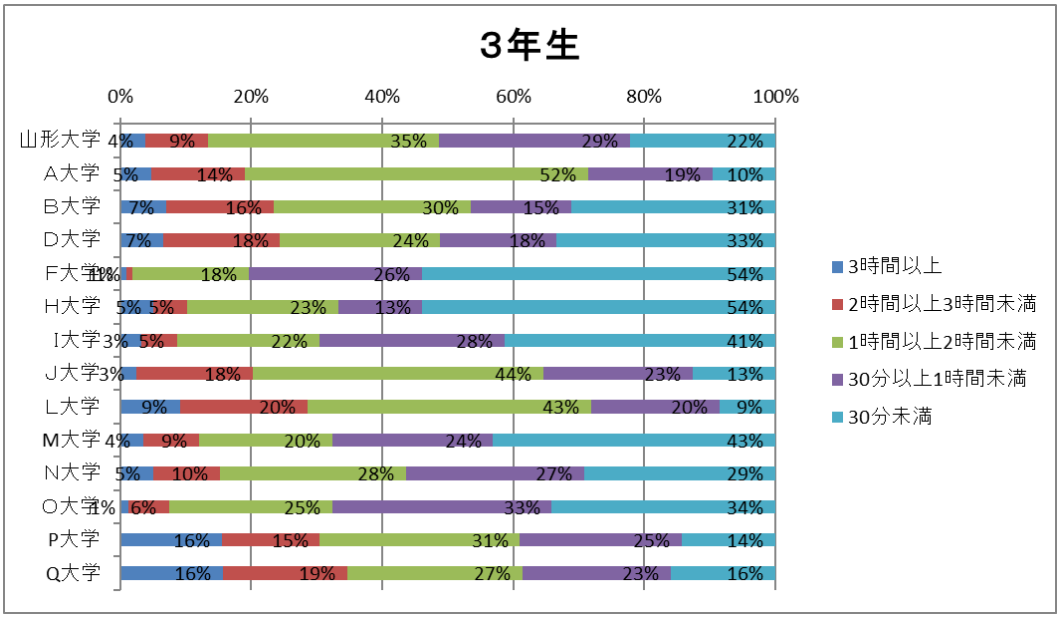
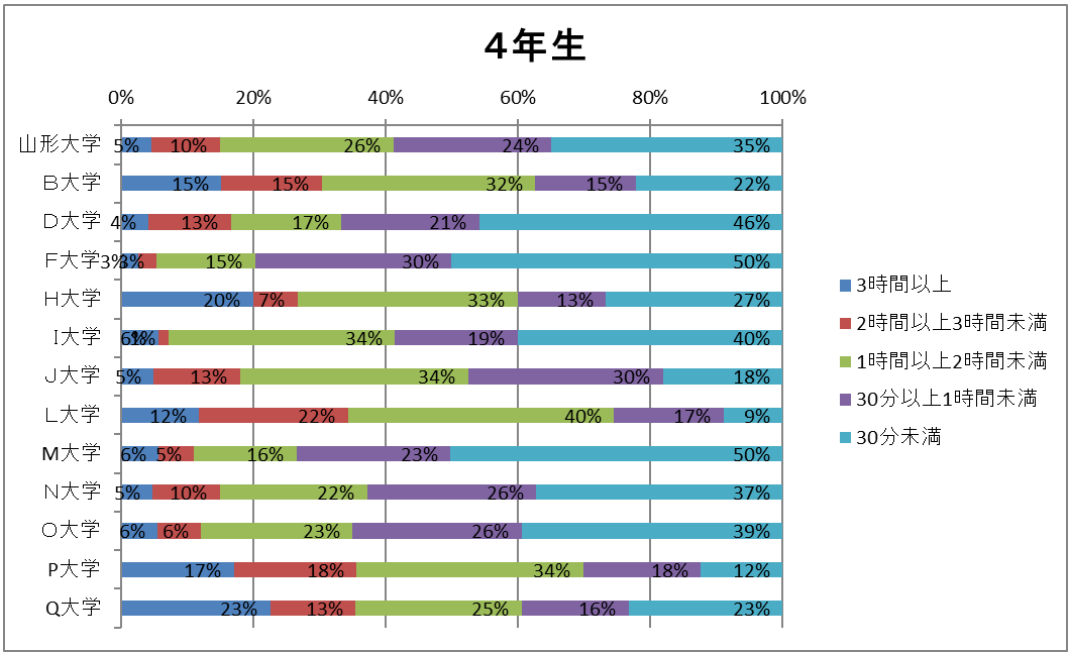


表１９　各加盟校予習・復習時間
平均点（４年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.35
B大学	2.86
D大学	2.08
F大学	1.78
H大学	2.80
I大学	2.14
J大学	2.57
L大学	3.12
M大学	1.93
N大学	2.20
O大学	2.13
P大学	3.10
Q大学	2.95

図１９　各加盟校学習時間（４年生）



【６】　あなたは、本学に入学して良かったと思いますか。該当する数字を一つ選んでマークしてください。

５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

※肯定的回答とは「はい」と「まあそうである」の合計

表２０　加盟校ごとの入学満足度（1 年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	69%	3.84
A大学	81%	4.28
B大学	54%	3.47
C大学	67%	3.84
D大学	63%	3.70
E大学	52%	3.34
F大学	59%	3.60
G大学	63%	3.81
H大学	38%	2.88
I大学	56%	3.52
J大学	74%	4.02
K大学	60%	3.62
L大学	83%	4.20
M大学	62%	3.70
N大学	56%	3.49
O大学	68%	3.75
P大学	57%	3.57
Q大学	85%	4.32

図２０　各加盟校満足度（1 年生）

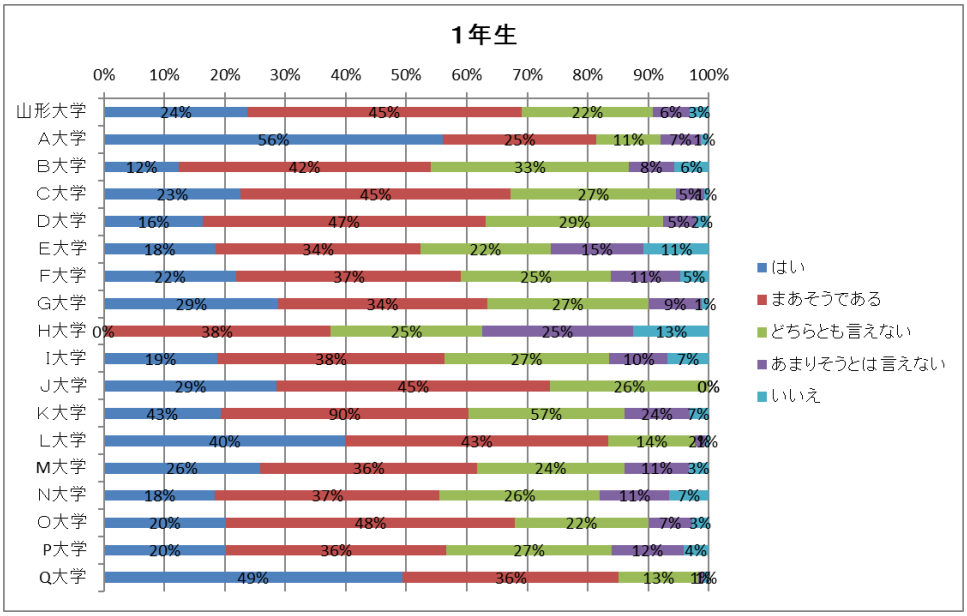


表２１　加盟校ごとの入学満足度（２年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	64%	3.74
A大学	91%	4.56
B大学	61%	3.68
C大学	76%	4.02
D大学	54%	3.44
E大学	73%	3.88
F大学	48%	3.44
G大学	84%	4.22
H大学	71%	3.94
I大学	58%	3.60
J大学	73%	3.96
K大学	85%	4.22
L大学	65%	3.73
M大学	50%	3.34
N大学	48%	3.38
O大学	65%	3.72
P大学	37%	2.93
Q大学	78%	4.08

図２１　各加盟校満足度（２年生）

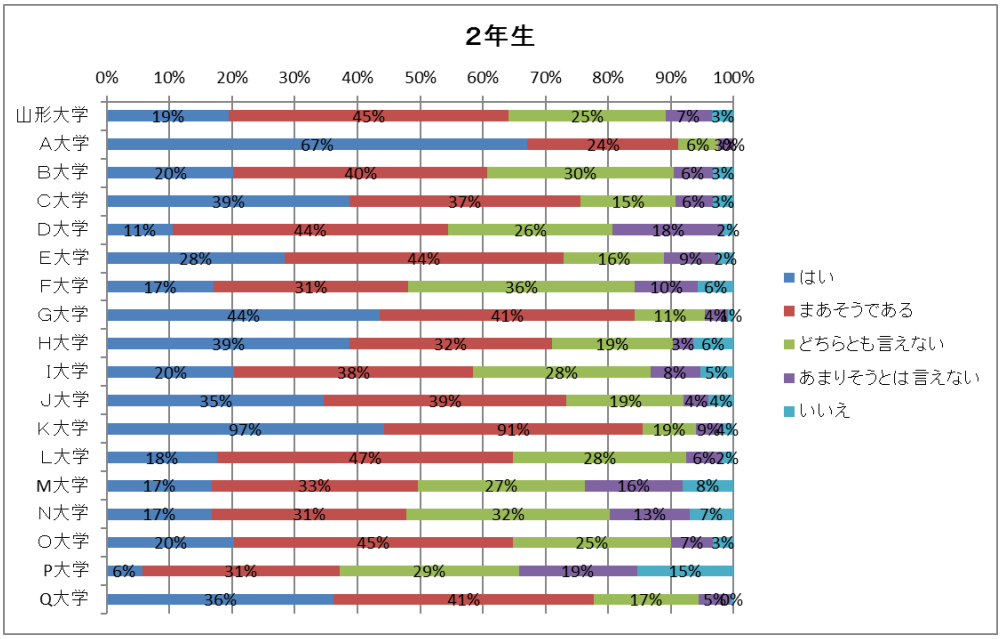


表２２　加盟校ごとの入学満足度（３年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	73%	3.89
A大学	95%	4.52
B大学	58%	3.67
D大学	58%	3.62
F大学	46%	3.30
H大学	38%	3.03
I大学	47%	3.28
J大学	76%	4.04
L大学	80%	3.95
M大学	49%	3.40
N大学	55%	3.55
O大学	60%	3.58
P大学	38%	3.21
Q大学	71%	3.91

図２２　各加盟校満足度（３年生）

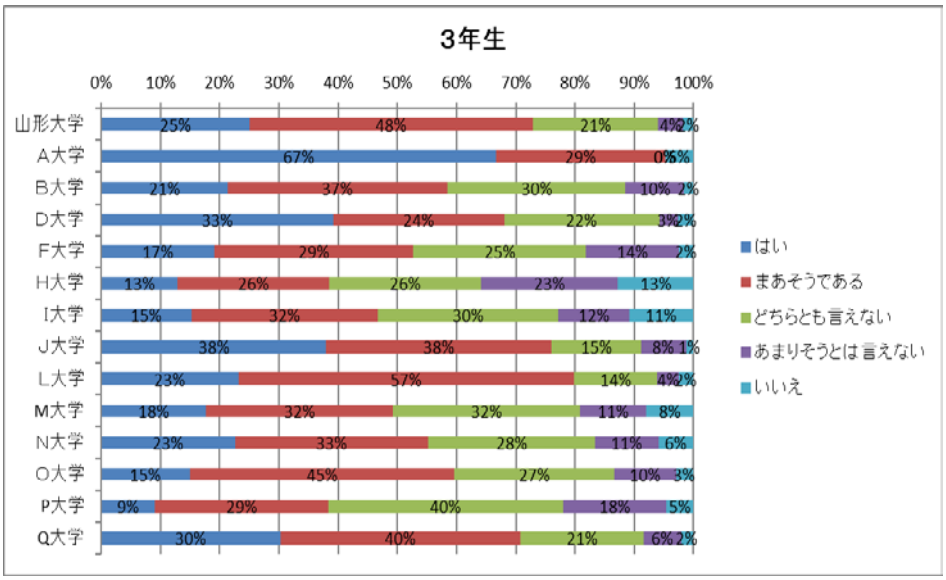
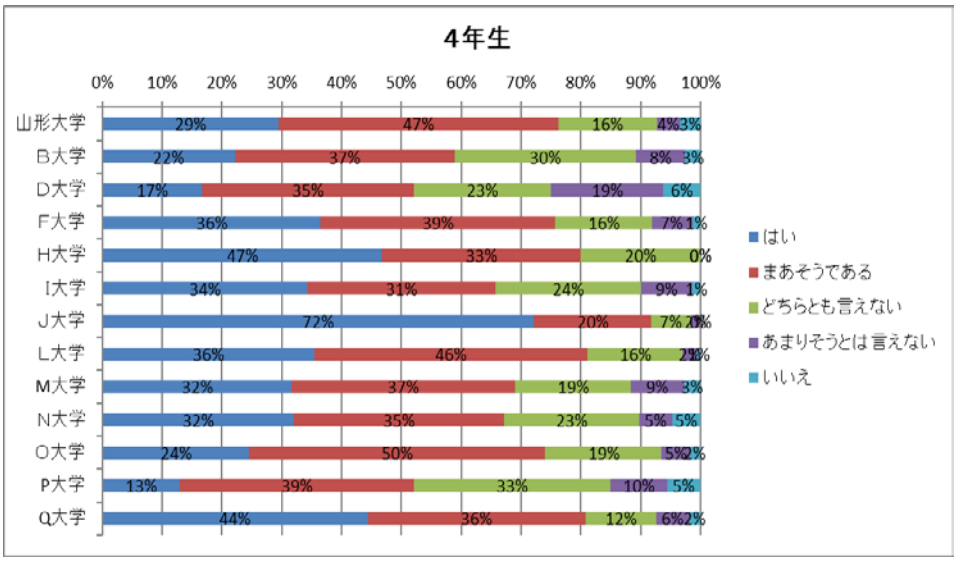


表２３　加盟校ごとの入学満足度（４年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	76%	4.02
B大学	59%	3.68
D大学	52%	3.38
F大学	76%	4.03
H大学	80%	4.27
I大学	66%	3.89
J大学	92%	4.62
L大学	81%	4.13
M大学	69%	3.86
N大学	67%	3.84
O大学	74%	3.90
P大学	52%	3.45
Q大学	81%	4.16

図２３　各加盟校満足度（４年生）



（２）山形大学学部別集計結果

表２４　山形大学回収率

学部	学年	在籍者数	回答者数	回答率
人文社会科学部	1年	310	284	91.6%
	2年	309	215	69.6%
	3年	337	139	41.2%
	4年	379	164	43.3%
地域教育文化学部	1年	179	167	93.3%
	2年	247	182	73.7%
	3年	246	201	81.7%
	4年	277	187	67.5%
理学部	1年	220	198	90.0%
	2年	192	93	48.4%
	3年	192	93	48.4%
	4年	223	111	49.8%
医学部	1年	181	168	92.8%
	2年	185	180	97.3%
	3年	191	150	78.5%
	4年	194	176	90.7%
	5年	124	96	77.4%
	6年	160	109	68.1%
工学部	1年	712	642	90.2%
	2年	672	576	85.7%
	3年	648	560	86.4%
	4年	738	459	62.2%
農学部	1年	170	157	92.4%
	2年	163	78	47.9%
	3年	161	58	36.0%
	4年	165	46	27.9%
全体合計	1年	1772	1616	91.2%
	2年	1768	1324	74.9%
	3年	1775	1201	67.7%
	4年	1976	1143	57.8%
	5年	124	96	77.4%
	6年	160	109	68.1%

【１】　あなたが本学への入学を決定された理由を強い順に３つ下記から選んでマークしてください。

1：建学の理念に共感したから　2：入試科目があっていたから　3：自分の学力にあっていたから
4：学びたい学部・学科・コースがあったから　5：カリキュラムが充実しているから
6：資格を取得出来るから　7：就職に役立つから　8：キャンパスの施設・設備が良いから　9：地元の大学だから
10：大学の知名度が高かったから　11：大学が設置されている地域に魅力があるから　12：学費が安いから
13：親や教員に勧められたから　14：本学しか合格しなかったから
15：その他（理由を裏面の【７】にご記入ください）

注：「第一理由」「第二理由」「第三理由」それぞれの回答数を集計し、「第一理由」回答数に「3 点」、「第二理由」回答数に「2 点」、「第三理由」回答数に「1 点」をかけた上で合計し、その合計点の上位 3 位。

表２５　山形大学における動機上位３位

学部	学科・課程	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位						
人文社会科学部	人文社会科学科	4	3	9	4	3	2												
	人間文化学科							4	3	2	4	3	9						
	法経政策学科							4	3	9	4	3	2						
地域教育文化学部　地域教育文化学科	児童教育コース	4	3	9	9	3	4	4	3	9	4	3	9						
	文化創生コース	4	9	3	4	3	9												
	異文化交流コース							4	3	9	4	3	2						
	造形芸術コース							4	12	3,9	4	3	12						
	音楽芸術コース							4	9	2	4	2	3,9,13						
	スポーツ文化コース							4	3	9	4	6	2,9						
	食環境デザインコース							4	6	3	4	6	3						
	生活環境科学コース							4	3	14	4	6	3						
	システム情報学コース							3	2,4	6	3	14	4						
	養護教諭特別別科																		
理学部	理学科	4	3	2	4	3	2												
	数理科学科							3	4	2,9	3	4	2						
	物理学科							3,4	9,12	13,14	3	4	2						
	物質生命化学科							3	2	4	3	2	4						
	生物学科							3	4	2	4	2	3						
	地球環境学科							4	3	2	4	3	2						
医学部	医学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2,6	3	4	2	3	4	2
	看護学科	3	4	6	4	6	3	4	3	6	4	6	3						
工学部	高分子・有機材料工学科	4	3	2	4	3	13												
	化学・バイオ工学科	4	3	2	3	4	2												
	情報・エレクトロニクス学科	3	4	2	3	4	2												
	建築・デザイン学科	4	3	2															
	機能高分子工学科							4	3	2	3	4	2						
	物質化学工学科							3	2	4	3	2	4						
	バイオ化学工学科							4	3	2	4	3	2						
	応用生命システム工学科							3	4	2	3	4	2						
	情報科学科							3	4	2	3	4	2						
	電気電子工学科							3	4	13	3	4	2						
	機械システム工学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2						
	システム創成工学科（フレックスコース）	3	12	4	12	3	4	3	12	2,4	12	3	9						
農学部	食料生命環境学科	4	3	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2						

【２】　本学の授業に関する以下の項目について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

＊以下の質問に次の５段階で答えてください。

５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない　２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

回答に対する評価（５点満点）を　はい＝５点、まあそうである＝４点、どちらとも言えない＝３点、あまりそうとは言えない＝２点、いいえ＝１点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

2-1　興味がもてる授業が多い　2-2　ためになる授業が多い　2-3　わかりやすい授業が多い
2-4　主体的に考え行動する授業が多い　2-5 就職に役立ちそうな授業が多い
2-6　国際性を養うことができる授業が多い　2-7　授業がよくなるよう工夫をしている教員が多い
2-8　授業や学生指導に対して熱心な教員が多い

表２６　問２の設問に対する山形大学学部別結果

学部	学科・課程	1年生								2年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
人文社会科学部	人文社会科学科	3.46	3.49	3.42	3.38	3.04	3.19	3.41	3.36	3.76	3.79	3.58	3.42	3.35	3.34	3.63	3.66
	学部平均	3.46	3.49	3.42	3.38	3.04	3.19	3.41	3.36	3.76	3.79	3.58	3.42	3.35	3.34	3.63	3.66
地域教育文化学部	児童教育コース	3.35	3.38	3.36	3.22	3.01	3.00	3.34	3.35	3.59	3.62	3.57	3.35	3.28	2.80	3.44	3.59
地域教育文化学科	文化創生コース	3.60	3.63	3.61	3.48	3.23	3.18	3.49	3.47	3.46	3.58	3.42	3.22	2.93	2.90	3.34	3.42
	養護教諭特別別科																
	学部平均	3.48	3.50	3.49	3.35	3.12	3.09	3.41	3.41	3.53	3.60	3.50	3.29	3.10	2.85	3.39	3.51
理学部	理学科	3.41	3.49	3.33	3.32	3.02	2.80	3.40	3.36	3.77	3.83	3.36	3.25	2.91	2.66	3.42	3.49
	学部平均	3.41	3.49	3.33	3.32	3.02	2.80	3.40	3.36	3.77	3.83	3.36	3.25	2.91	2.66	3.42	3.49
医学部	医学科	3.07	3.07	3.35	3.04	2.80	2.59	3.29	3.23	2.99	3.28	2.83	2.50	3.47	2.29	2.90	3.01
	看護学科	3.37	3.47	3.56	3.28	3.14	2.93	3.51	3.42	3.97	4.26	3.76	3.40	4.38	2.78	3.83	4.17
	学部平均	3.22	3.27	3.46	3.16	2.97	2.76	3.40	3.32	3.48	3.77	3.30	2.95	3.93	2.53	3.36	3.59
工学部	高分子・有機材料工学科	3.32	3.45	3.41	3.28	3.08	2.77	3.44	3.43	3.63	3.75	3.29	3.12	3.36	2.97	3.42	3.48
	化学・バイオ工学科	3.39	3.47	3.37	3.38	3.21	2.85	3.29	3.27	3.34	3.47	3.14	3.02	3.14	2.62	3.36	3.39
	情報・エレクトロニクス学科	3.54	3.59	3.37	3.37	3.32	2.92	3.37	3.28	3.56	3.76	3.10	3.03	3.41	2.69	3.32	3.48
	建築・デザイン学科	3.17	3.30	3.30	3.47	3.20	2.90	3.27	3.33								
	機械システム工学科	3.46	3.57	3.63	3.60	3.43	3.01	3.58	3.57	3.69	3.83	3.07	3.26	3.74	2.71	3.28	3.34
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.62	3.72	3.28	3.21	3.26	2.79	3.26	3.31	3.35	3.46	3.08	3.23	3.15	2.58	3.02	3.21
	学部平均	3.41	3.52	3.39	3.38	3.25	2.88	3.37	3.37	3.52	3.65	3.14	3.13	3.36	2.71	3.28	3.38
農学部	食料生命環境学科	3.48	3.57	3.44	3.24	3.04	2.80	3.35	3.36	3.76	3.88	3.40	3.17	3.13	2.66	3.52	3.60
	学部平均	3.48	3.57	3.44	3.24	3.04	2.80	3.35	3.36	3.76	3.88	3.40	3.17	3.13	2.66	3.52	3.60
	山形大学平均	3.41	3.48	3.42	3.31	3.07	2.92	3.39	3.36	3.64	3.75	3.38	3.20	3.30	2.79	3.43	3.54

学部	学科・課程	3年生								4年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
人文学部	人間文化学科	3.77	4.05	3.77	3.54	3.33	3.59	3.92	4.03	4.00	4.14	3.89	3.46	3.01	3.42	3.95	3.95
	法経政策学科	3.66	3.73	3.59	3.18	3.39	2.98	3.50	3.58	4.10	4.17	3.92	3.43	3.63	3.38	3.89	3.81
	学部平均	3.71	3.89	3.68	3.36	3.36	3.28	3.71	3.80	4.05	4.15	3.91	3.45	3.32	3.40	3.92	3.88
地域教育文化学部	児童教育コース	3.81	3.89	3.63	3.51	3.39	2.63	3.36	3.64	3.50	3.64	3.14	2.79	2.79	3.00	3.36	3.29
地域教育文化学科	異文化交流コース	3.94	4.06	4.00	3.88	3.19	4.00	3.50	4.25	3.83	3.87	3.91	3.55	2.71	3.74	3.70	3.74
	造形芸術コース	3.89	3.56	3.67	3.33	3.00	3.33	3.44	3.33	4.00	4.00	4.50	4.00	3.00	2.50	3.75	4.25
	音楽芸術コース	3.50	3.70	3.50	3.50	2.30	3.00	3.10	3.20	3.82	3.82	3.73	3.91	3.09	3.00	3.55	3.73
	スポーツ文化コース	3.35	3.53	3.61	3.33	2.89	3.00	3.33	3.67	3.63	4.00	3.50	3.50	3.25	3.13	3.50	3.63
	食環境デザインコース	3.62	3.83	3.24	3.66	3.36	2.79	3.25	3.31	3.76	3.71	3.57	3.29	3.14	2.81	3.38	3.33
	生活環境科学コース	3.08	3.23	3.31	3.46	3.08	2.69	3.23	3.46	4.00	3.56	3.44	3.89	3.33	3.11	3.22	3.33
	システム情報学コース	4.24	4.10	3.95	3.52	3.57	3.14	3.62	4.05	3.50	3.64	3.14	2.79	2.79	3.00	3.36	3.29
	養護教諭特別別科																
	学部平均	3.68	3.74	3.61	3.52	3.10	3.07	3.36	3.61	3.75	3.78	3.62	3.46	3.01	3.04	3.48	3.57
理学部	数理科学科	4.19	4.16	4.16	3.55	3.10	3.10	3.87	4.00	3.88	4.08	3.92	3.54	3.25	2.88	3.88	3.71
	物理学科	3.50	3.50	5.00	4.00	3.50	4.50	5.00	4.00	3.50	4.00	3.57	3.29	3.21	2.86	3.64	3.50
	物質生命化学科	4.05	4.03	3.75	3.75	3.43	2.93	3.88	3.93	3.93	3.98	3.75	3.42	2.93	2.82	3.75	3.82
	生物学科	3.85	3.85	3.54	2.92	2.46	2.15	3.15	3.38	3.57	3.57	3.29	3.00	2.79	2.43	3.71	3.50
	地球環境学科	4.19	4.16	4.16	3.55	3.10	3.10	3.87	4.00	4.07	3.93	3.80	3.67	2.73	3.07	4.00	3.87
	学部平均	3.96	3.94	4.12	3.55	3.12	3.15	3.95	3.86	3.79	3.91	3.66	3.38	2.98	2.81	3.80	3.68
医学部	医学科	3.54	3.69	3.33	2.64	3.71	2.23	3.20	3.43	3.72	3.76	3.46	3.02	3.98	2.50	3.42	3.55
	看護学科	3.82	4.04	3.60	3.33	4.18	2.60	3.42	3.78	3.70	4.23	3.57	3.58	4.13	2.92	3.57	3.75
	学部平均	3.68	3.86	3.46	2.98	3.95	2.42	3.31	3.60	3.71	3.99	3.51	3.30	4.06	2.71	3.49	3.65
工学部	機能高分子工学科	3.77	3.73	3.29	3.02	2.95	2.64	3.35	3.42	3.55	3.62	3.44	2.95	2.92	2.75	3.41	3.53
	物質化学工学科	3.88	3.94	3.72	3.06	3.24	2.72	3.66	3.60	3.56	3.57	3.44	2.70	2.76	2.37	3.44	3.33
	バイオ化学工学科	3.94	3.87	3.56	2.94	2.98	2.67	3.69	3.65	3.75	3.73	3.48	2.90	2.73	2.46	3.42	3.40
	応用生命システム工学科	3.53	3.64	3.32	2.97	3.24	2.69	3.51	3.56	3.29	3.36	3.24	3.00	2.93	2.67	3.26	3.29
	情報科学科	3.60	3.67	3.46	3.04	3.19	2.35	3.60	3.46	3.50	3.52	3.25	2.84	2.86	2.52	3.34	3.22
	電気電子工学科	3.81	3.99	3.45	3.26	3.25	2.72	3.58	3.67	3.58	3.62	3.18	2.95	3.08	2.71	3.45	3.42
	機械システム工学科	3.47	3.61	3.11	2.97	3.20	2.45	3.26	3.33	3.52	3.65	3.32	2.98	3.07	2.58	3.22	3.40
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.96	3.88	3.43	3.53	3.55	2.96	3.53	3.69	3.52	3.39	3.35	3.09	3.00	2.64	3.39	3.26
	学部平均	3.74	3.79	3.42	3.10	3.20	2.65	3.52	3.55	3.53	3.56	3.34	2.93	2.92	2.59	3.37	3.36
農学部	食料生命環境学科	3.57	3.74	3.38	2.97	2.95	2.52	3.24	3.24	3.61	3.59	3.35	2.80	2.37	2.20	3.15	3.33
	学部平均	3.57	3.74	3.38	2.97	2.95	2.52	3.24	3.24	3.61	3.59	3.35	2.80	2.37	2.20	3.15	3.33
	山形大学平均	3.72	3.83	3.61	3.25	3.28	2.85	3.52	3.61	3.74	3.83	3.56	3.22	3.11	2.79	3.53	3.58

学部	学科・課程	5年生								6年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
医学部	医学科	3.45	3.56	3.29	2.83	3.40	2.35	3.40	3.59	3.34	3.48	3.28	2.86	3.58	2.55	3.37	3.48

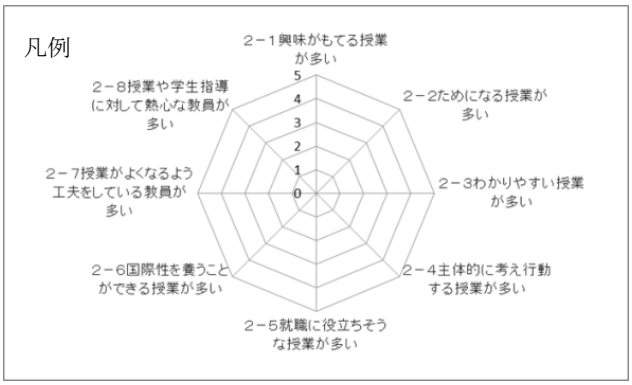


図２４　問２の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

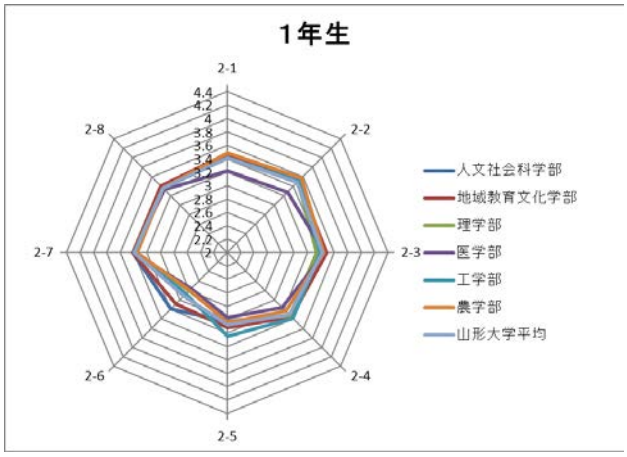


図２５　設問２に対する山形大学学年別レーダーチャート（1 年生）

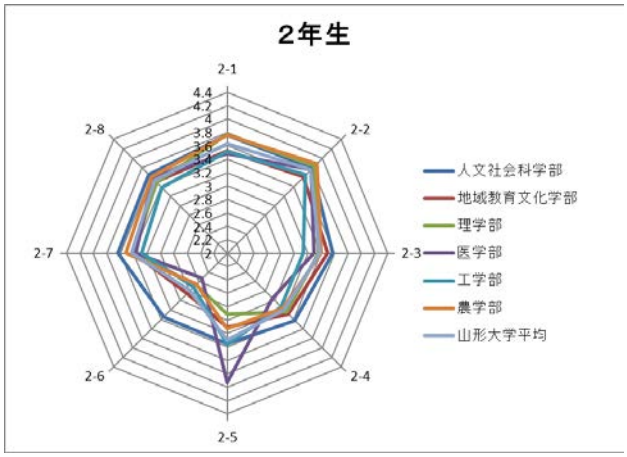


図２６　設問２に対する山形大学学年別レーダーチャート（２年生）

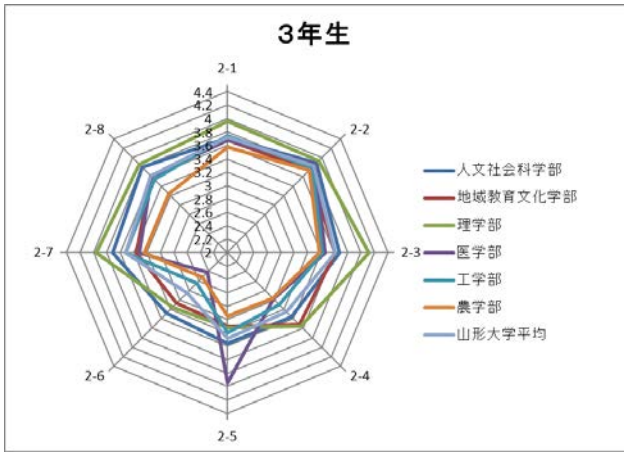


図２７　設問２に対する山形大学学年別レーダーチャート（３年生）

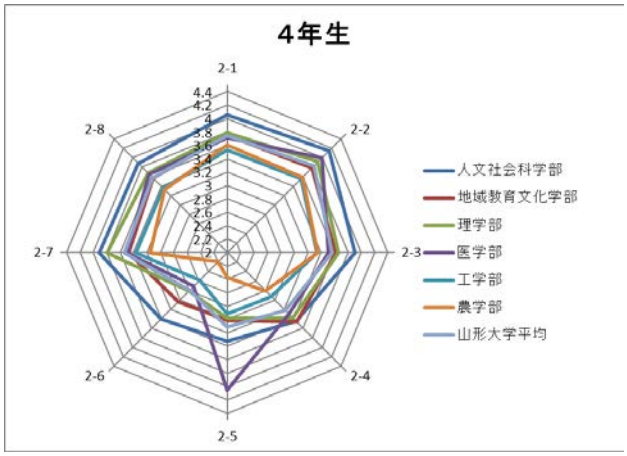


図２８　設問２に対する山形大学学年別レーダーチャート（４年生）

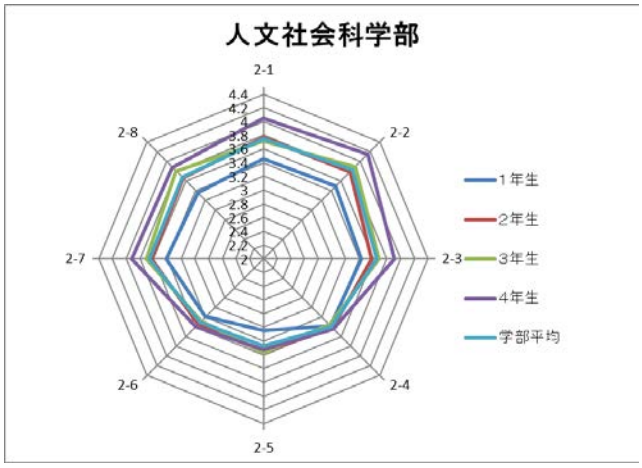


図２９　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（人文社会科学部）

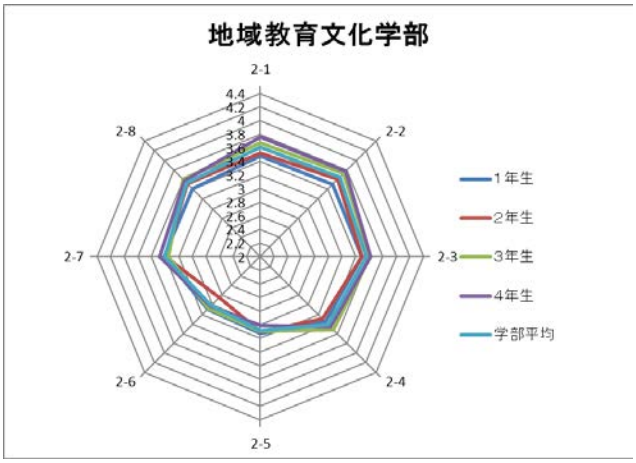


図３０　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（地域教育文化学部）

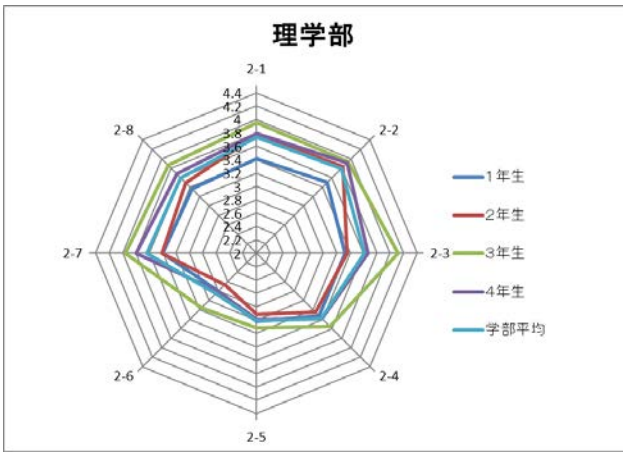


図３１　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（理学部）

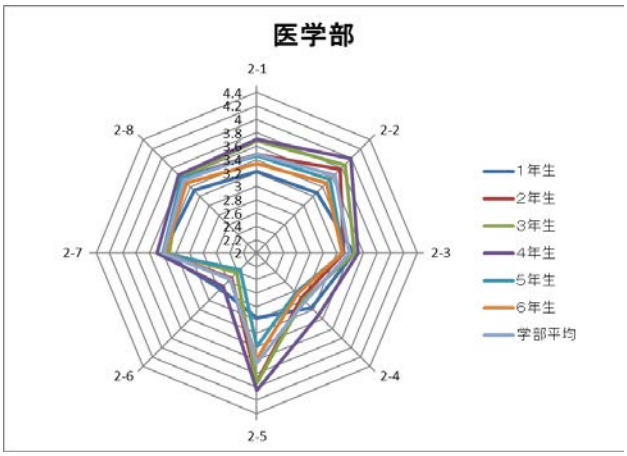


図３２　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（医学部）

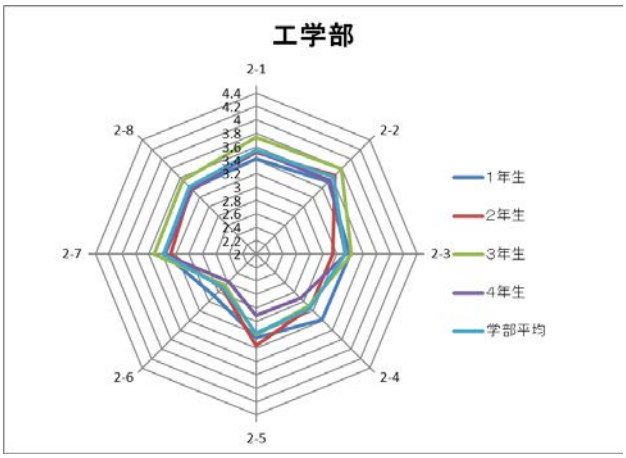


図３３　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（工学部）

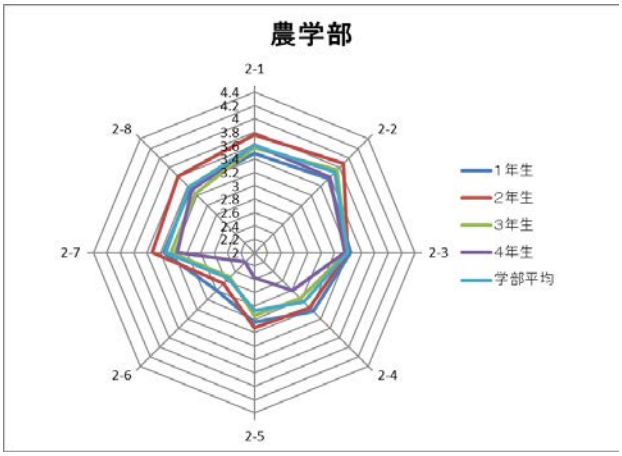


図３４　設問２に対する山形大学学部別レーダーチャート
（農学部）

【３】　授業を受けて、あなたは下記の知識や能力を身につけることができましたか。該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

＊以下の質問に次の５段階で答えてください。

５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない　２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

回答に対する評価（５点満点）を はい＝５点、まあそうである＝４点、どちらとも言えない＝３点、あまりそうとは言えない＝２点、いいえ＝１点 とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

3-1　幅広い教養　3-2　専門知識や技能　3-3　課題解決能力（課題を発見し、解決する力）
3-4　物事を批判的に捉え思考する力　3-5　情報機器を使いこなす能力　3-6　外国語を運用する能力
3-7　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力（議論・発表・協働する力）　3-8　リーダーシップをとる力

表２７　山形大学のアンケート３の結果を設問ごとに結果

学部	学科・課程	1年生								2年生							
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
人文社会科学部	人文社会科学科	3.67	3.33	3.45	3.39	3.64	3.41	3.67	3.02	3.95	3.80	3.65	3.69	3.44	3.18	3.59	3.11
	学部平均	3.67	3.33	3.45	3.39	3.64	3.41	3.67	3.02	3.95	3.80	3.65	3.69	3.44	3.18	3.59	3.11
地域教育文化学部	児童教育コース	3.64	3.65	3.42	3.43	3.42	3.25	3.65	2.97	3.78	4.02	3.54	3.78	3.39	3.09	3.69	3.05
地域教育文化学科	文化創生コース	3.74	3.83	3.64	3.51	3.53	3.57	3.78	3.24	3.65	4.01	3.45	3.39	3.30	2.96	3.28	2.96
	学部平均	3.69	3.74	3.53	3.47	3.47	3.41	3.71	3.11	3.72	4.02	3.50	3.58	3.34	3.02	3.49	3.00
理学部	理学科	3.65	3.54	3.42	3.41	3.38	3.11	3.48	2.86	3.65	3.92	3.54	3.47	3.54	2.89	3.17	2.72
	学部平均	3.65	3.54	3.42	3.41	3.38	3.11	3.48	2.86	3.65	3.92	3.54	3.47	3.54	2.89	3.17	2.72
医学部	医学科	3.39	3.48	3.23	3.25	3.52	3.17	2.97	4.15	2.76	3.62	2.90	2.85	2.68	2.34	2.71	2.47
	看護学科	3.72	4.00	3.49	3.25	3.77	3.46	3.91	3.04	3.65	4.51	3.84	3.65	3.23	3.07	3.91	3.25
	学部平均	3.56	3.74	3.36	3.25	3.65	3.31	3.44	3.59	3.20	4.06	3.37	3.25	2.95	2.71	3.31	2.86
工学部	高分子・有機材料工学科	3.68	3.79	3.48	3.45	3.42	3.14	3.63	3.10	3.64	3.99	3.51	3.42	3.30	3.05	3.38	2.96
	化学・バイオ工学科	3.57	3.70	3.50	3.34	3.37	3.03	3.50	3.11	3.45	3.78	3.34	3.40	3.27	2.96	3.01	2.76
	情報・エレクトロニクス学科	3.69	3.56	3.59	3.60	3.61	3.19	3.62	3.21	3.42	3.89	3.46	3.39	3.69	2.72	3.09	2.76
	建築・デザイン学科	3.63	3.67	3.30	3.50	3.53	3.47	3.70	3.20								
	機械システム工学科	3.66	3.72	3.52	3.47	3.58	3.23	3.65	3.14	3.62	4.01	3.50	3.43	3.69	2.64	3.22	2.72
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.78	3.67	3.64	3.60	3.43	2.98	3.53	3.05	3.35	3.75	3.33	3.35	3.29	2.83	3.00	2.88
	学部平均	3.67	3.68	3.51	3.49	3.49	3.17	3.60	3.14	3.50	3.89	3.43	3.40	3.45	2.84	3.14	2.82
農学部	食料生命環境学科	3.68	3.48	3.42	3.41	3.27	3.04	3.61	3.01	3.79	4.13	3.61	3.53	3.39	2.92	3.27	2.86
	学部平均	3.68	3.48	3.42	3.41	3.27	3.04	3.61	3.01	3.79	4.13	3.61	3.53	3.39	2.92	3.27	2.86
	山形大学平均	3.65	3.59	3.45	3.40	3.48	3.24	3.59	3.12	3.63	3.97	3.52	3.49	3.35	2.93	3.33	2.89

学部	学科・課程	3年生								4年生							
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
人文学部	人間文化学科	4.21	4.10	3.92	4.15	3.54	3.36	3.95	3.18	4.16	4.15	3.96	3.97	3.64	3.11	3.88	3.29
	法経政策学科	3.86	3.76	3.47	3.65	3.26	2.77	3.42	3.01	4.14	4.10	3.88	3.83	3.61	3.30	3.89	3.52
	学部平均	4.03	3.93	3.70	3.90	3.40	3.06	3.68	3.09	4.15	4.12	3.92	3.90	3.62	3.20	3.88	3.40
地域教育文化学部	児童教育コース	3.80	4.05	3.66	3.58	3.26	2.79	3.78	3.21	3.95	4.10	4.00	3.66	3.23	2.84	4.00	3.38
地域教育文化学科	異文化交流コース	3.88	3.88	3.88	3.88	3.44	3.75	3.94	3.33	4.23	4.18	3.86	3.91	3.27	3.27	4.00	3.41
	造形芸術コース	4.00	4.33	4.00	3.33	3.56	2.89	3.44	3.11	4.25	4.75	4.50	4.00	3.75	2.50	4.50	4.00
	音楽芸術コース	3.80	4.10	3.60	3.70	3.30	2.80	3.50	3.10	4.10	4.50	4.10	4.10	3.80	3.40	4.20	3.50
	スポーツ文化コース	3.78	3.94	3.61	3.39	3.17	2.67	3.61	3.22	3.50	3.63	3.38	3.25	3.25	3.00	3.38	3.13
	食環境デザインコース	3.76	4.07	3.62	3.66	3.38	2.76	3.41	3.17	3.90	4.10	3.75	3.60	3.50	2.85	3.80	3.30
	生活環境科学コース	3.58	3.75	3.67	3.17	3.25	2.83	3.50	3.00	3.90	4.10	3.75	3.60	3.50	2.85	3.80	3.30
	システム情報学コース	4.30	4.40	4.10	3.95	4.20	2.63	3.37	2.84	3.43	3.86	3.50	3.64	3.79	2.43	3.21	2.93
	養護教諭特別別科																
	学部平均	3.86	4.07	3.77	3.58	3.44	2.89	3.57	3.12	3.91	4.15	3.85	3.72	3.51	2.89	3.86	3.37
理学部	数理科学科	2.71	3.57	2.86	3.00	2.71	2.29	2.14	2.00	3.79	4.04	4.08	3.67	3.83	2.92	3.88	3.21
	物理学科	4.00	4.50	4.00	4.00	3.50	3.00	4.50	3.50	3.79	4.07	3.79	3.64	3.79	2.79	3.21	2.57
	物質生命化学科	3.88	4.23	3.75	3.68	3.80	3.15	3.48	3.28	3.91	4.18	3.95	3.82	3.84	3.05	3.66	3.36
	生物学科	3.77	3.62	3.31	2.92	3.31	3.77	2.69	4.46	4.00	4.29	4.00	3.57	3.57	2.86	3.79	3.21
	地球環境学科	4.07	4.50	4.00	3.90	4.07	3.60	3.87	3.23	3.93	4.53	4.00	3.87	4.13	3.53	4.20	3.00
	学部平均	3.69	4.08	3.58	3.50	3.48	3.16	3.34	3.29	3.88	4.22	3.96	3.71	3.83	3.03	3.75	3.07
医学部	医学科	3.20	3.99	3.27	3.16	2.84	2.64	3.14	2.82	3.34	4.15	3.45	3.37	3.16	2.71	3.34	3.10
	看護学科	3.58	4.44	4.00	3.55	3.22	2.70	4.04	3.45	3.94	4.63	4.27	4.02	3.41	2.75	4.08	3.63
	学部平均	3.39	4.21	3.64	3.35	3.03	2.67	3.59	3.14	3.64	4.39	3.86	3.69	3.29	2.73	3.71	3.36
工学部	機能高分子工学科	3.77	3.73	3.29	3.02	2.95	2.64	3.35	3.42	3.50	3.83	3.36	3.42	3.18	2.83	3.17	2.83
	物質化学工学科	3.73	3.98	3.53	3.57	3.29	2.82	3.14	2.90	3.56	3.57	3.44	2.70	2.76	2.37	3.44	3.33
	バイオ化学工学科	3.73	4.13	3.37	3.31	3.23	2.67	3.17	2.71	3.52	3.96	3.50	3.22	3.15	2.72	3.11	2.52
	応用生命システム工学科	3.61	3.71	3.47	3.37	3.49	3.00	3.10	2.76	3.55	3.45	3.26	3.24	3.45	2.86	3.02	2.64
	情報科学科	3.69	3.98	3.56	3.33	3.77	2.56	3.25	2.90	3.57	3.76	3.37	3.51	3.76	2.70	3.11	2.67
	電気電子工学科	3.78	4.17	3.58	3.59	3.54	2.85	2.95	2.81	3.55	3.79	3.50	3.34	3.32	2.71	3.18	2.74
	機械システム工学科	3.42	3.86	3.47	3.34	3.40	2.63	3.19	2.85	3.47	3.93	3.51	3.31	3.39	2.59	3.09	2.83
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.57	3.82	3.67	3.50	3.63	2.92	3.47	3.22	3.48	3.78	3.45	3.39	3.43	2.83	3.35	2.83
	学部平均	3.66	3.92	3.49	3.38	3.41	2.76	3.20	2.94	3.52	3.76	3.42	3.27	3.31	2.70	3.18	2.80
農学部	食料生命環境学科	3.64	3.97	3.38	3.45	3.34	2.57	3.28	2.72	3.39	3.83	3.22	3.20	3.04	2.48	2.96	2.41
	学部平均	3.64	3.97	3.38	3.45	3.34	2.57	3.28	2.72	3.39	3.83	3.22	3.20	3.04	2.48	2.96	2.41
	山形大学平均	3.71	4.03	3.59	3.53	3.35	2.85	3.44	3.05	3.75	4.08	3.71	3.58	3.43	2.84	3.56	3.07

学部	学科・課程	5年生								6年生							
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
医学部	医学科	2.93	4.02	3.23	3.10	3.03	2.49	3.23	2.88	3.07	3.87	3.31	3.26	2.96	2.76	3.13	2.95

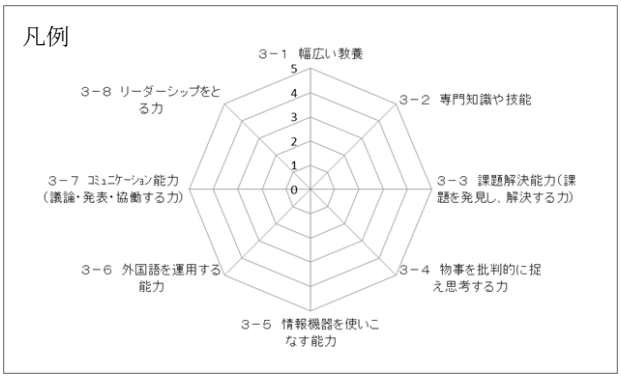


図３５　問３の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

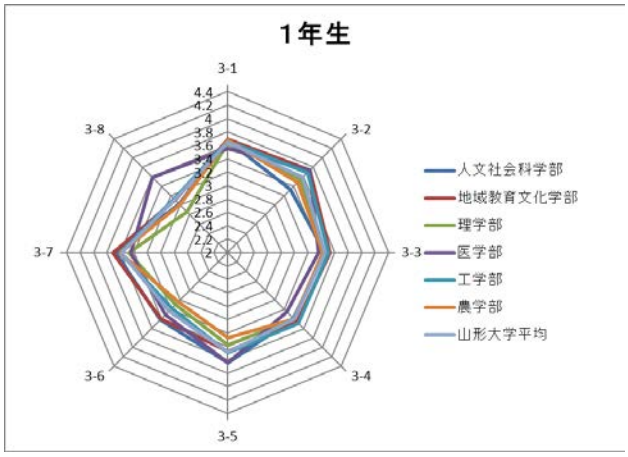


図３６　設問３に対する山形大学学年別レーダーチャート（1 年生）

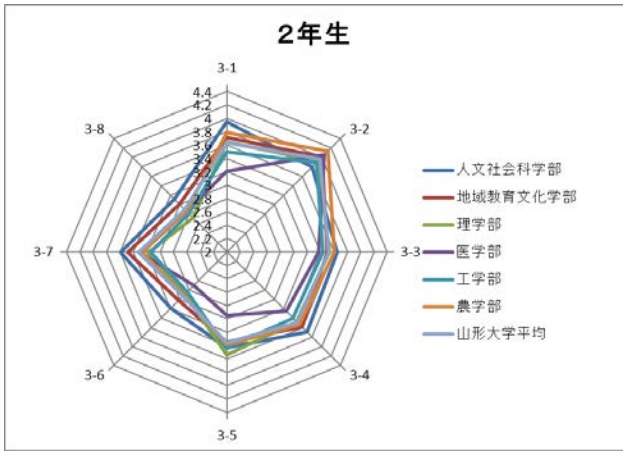


図３７　設問３に対する山形大学学年別レーダーチャート（２年生）

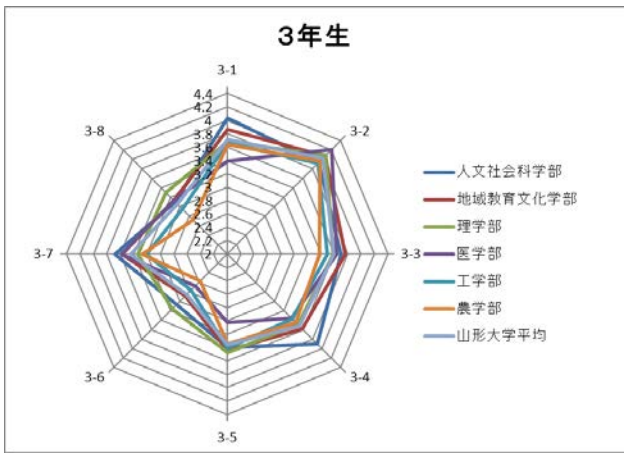


図３８　設問３に対する山形大学学年別レーダーチャート（３年生）

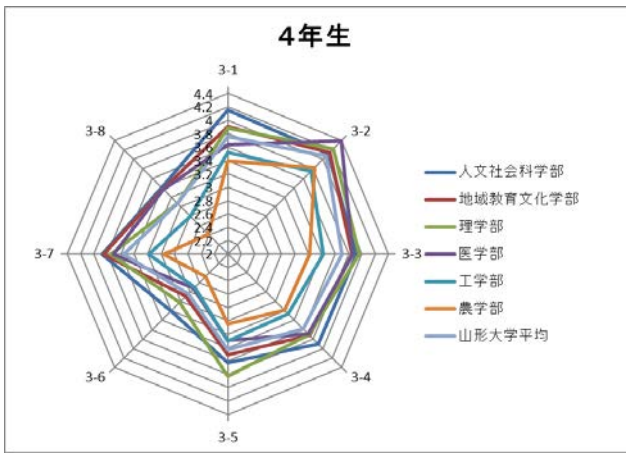


図３９　設問３に対する山形大学学年別レーダーチャート（４年生）

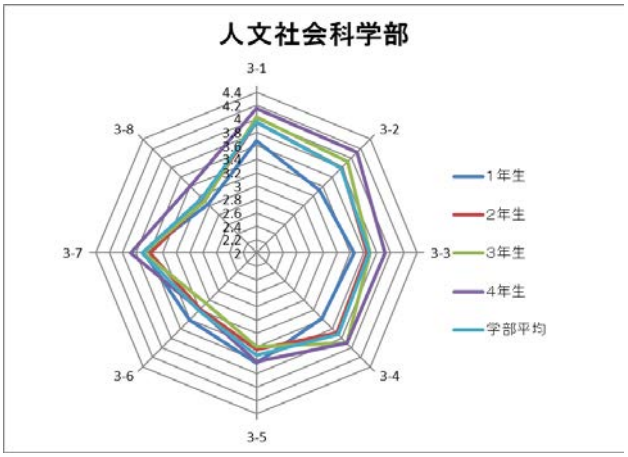


図４０　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（人文社会科学部）

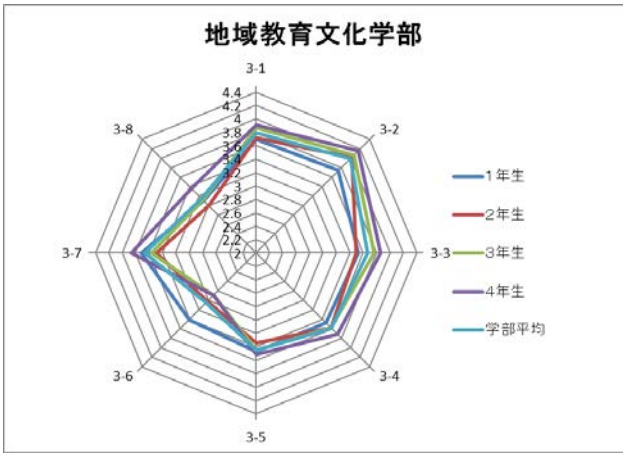


図４１　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（地域教育文化学部）

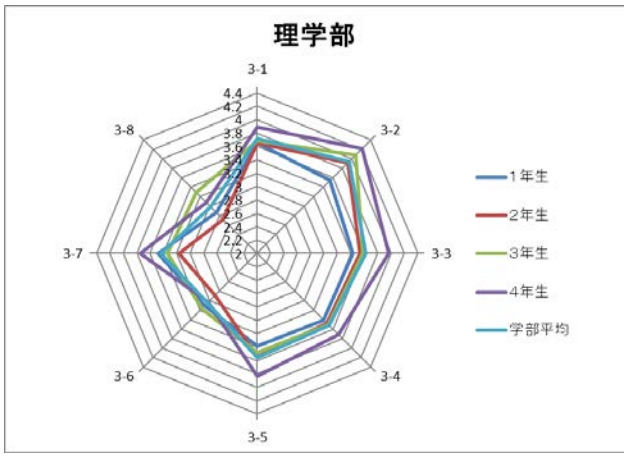


図４２　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（理学部）

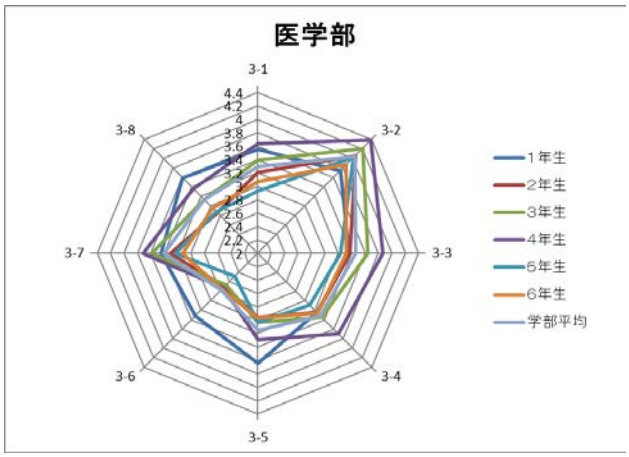


図４３　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（医学部）

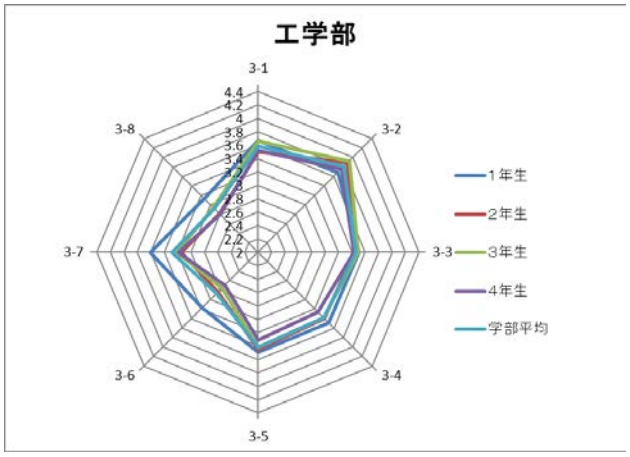


図４４　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（工学部）

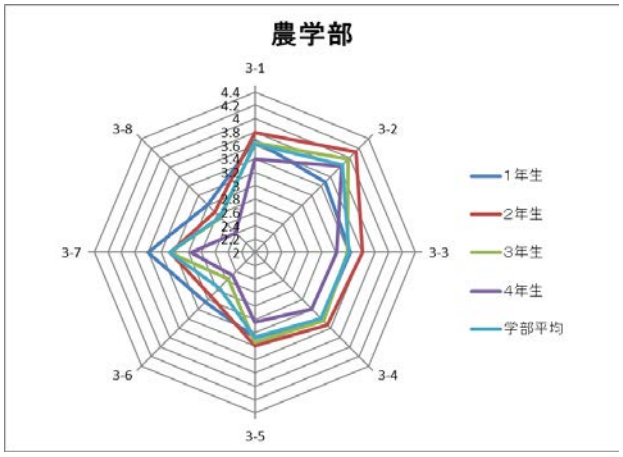


図４５　設問３に対する山形大学学部別レーダーチャート
（農学部）

【４】　本学の改善に向けて今後取り組むべき事項について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

＊以下の質問に次の５段階で答えてください。

５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない　２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

回答に対する評価（５点満点）を　はい＝５点、まあそうである＝４点、どちらとも言えない＝３点、あまりそうとは言えない＝２点、いいえ＝１点　とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

4-1　カリキュラムを改善する　4-2 教員の授業力を向上する

4-3 コミュニケーション能力の向上を重視した教育を充実する

4-4 学習相談等、学習を支援する体制を充実する　4-5 学生生活を支援する体制を充実する

4-6 就職に役立つ授業を充実する　4-7　地域社会との関わりを重視する　4-8　施設や設備を充実する

表２８　山形大学のアンケート４の結果を設問ごとに結果

学部	学科・課程	1年生								2年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
人文学部	人文社会科学科	3.49	3.51	3.41	3.30	3.56	3.80	3.36	3.99	3.59	3.47	3.50	3.40	3.52	3.79	3.40	3.90
	学部平均	3.49	3.51	3.41	3.30	3.56	3.80	3.36	3.99	3.59	3.47	3.50	3.40	3.52	3.79	3.40	3.90
地域教育文化学部	児童教育コース	3.31	3.42	3.43	3.25	3.25	3.70	3.39	3.96	3.93	3.76	3.45	3.64	3.83	3.95	3.57	4.39
地域教育文化学科	文化創生コース	3.67	3.63	3.58	3.57	3.66	3.83	3.46	4.23	3.88	3.48	3.36	3.60	3.67	3.87	3.34	4.09
	養護教諭特別別科																
	学部平均	3.49	3.52	3.51	3.41	3.45	3.77	3.42	4.10	3.91	3.62	3.40	3.62	3.75	3.91	3.46	4.24
理学部	理学科	3.57	3.63	3.40	3.19	3.39	3.51	2.98	3.85	3.74	3.56	3.30	3.41	3.51	3.54	3.10	3.80
	学部平均	3.57	3.63	3.40	3.19	3.39	3.51	2.98	3.85	3.74	3.56	3.30	3.41	3.51	3.54	3.10	3.80
医学部	医学科	4.19	3.65	3.26	3.22	3.52	3.17	2.97	4.15	4.09	4.08	3.28	3.45	3.77	3.30	3.07	4.25
	看護学科	3.40	3.14	3.23	3.23	3.46	3.53	3.18	3.72	3.42	3.28	3.19	3.46	3.59	3.21	3.11	4.09
	学部平均	3.80	3.40	3.25	3.22	3.49	3.35	3.07	3.93	3.75	3.68	3.23	3.45	3.68	3.26	3.09	4.17
工学部	高分子・有機材料工学科	3.78	3.58	3.46	3.37	3.42	3.67	3.28	3.91	3.59	3.49	3.35	3.24	3.48	3.58	3.20	3.55
	化学・バイオ工学科	3.48	3.54	3.51	3.48	3.44	3.62	3.09	3.74	3.55	3.55	3.28	3.39	3.51	3.77	3.15	3.62
	情報・エレクトロニクス学科	3.49	3.63	3.44	3.16	3.34	3.43	2.97	3.69	3.49	3.74	3.32	3.32	3.50	3.62	2.97	3.67
	建築・デザイン学科	3.63	3.67	3.33	3.33	3.43	3.90	3.37	4.07								
	機械システム工学科	3.44	3.45	3.40	3.21	3.39	3.57	3.16	3.94	3.44	3.77	3.31	3.43	3.45	3.64	2.94	3.89
	システム創成工学科（フレックスコース）	3.67	3.76	3.33	3.31	3.48	3.57	3.14	3.89	3.77	3.52	3.33	3.40	3.38	3.46	2.92	3.79
	学部平均	3.58	3.60	3.41	3.31	3.42	3.63	3.17	3.87	3.57	3.62	3.32	3.36	3.46	3.62	3.03	3.71
農学部	食料生命環境学科	3.55	3.61	3.34	3.24	3.39	3.62	3.31	3.89	3.51	3.47	3.44	3.42	3.62	3.88	3.42	4.26
	学部平均	3.55	3.61	3.34	3.24	3.39	3.62	3.31	3.89	3.51	3.47	3.44	3.42	3.62	3.88	3.42	4.26
	山形大学平均	3.58	3.54	3.39	3.28	3.45	3.61	3.22	3.94	3.68	3.57	3.37	3.44	3.59	3.66	3.25	4.01

学部	学科・課程	3年生								4年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
人文学部	人間文化学科	3.34	3.18	3.23	3.31	3.59	3.49	3.15	3.82	3.46	3.50	3.74	3.72	3.74	3.77	3.68	4.01
	法経政策学科	3.78	3.57	3.59	3.33	3.53	3.74	3.43	4.12	3.65	3.68	3.88	3.72	3.86	3.98	3.77	3.89
	学部平均	3.56	3.38	3.41	3.32	3.56	3.61	3.29	3.97	3.56	3.59	3.81	3.72	3.80	3.87	3.72	3.95
地域教育文化学部	児童教育コース	3.68	3.76	3.79	3.54	3.75	3.89	3.61	4.16	3.56	3.38	3.59	3.56	3.69	3.89	3.56	4.28
地域教育文化学科	異文化交流コース	3.31	3.47	3.63	3.44	3.44	3.50	3.44	4.13	3.50	3.73	3.77	3.59	3.55	3.48	3.55	4.36
	造形芸術コース	3.89	3.33	3.56	3.44	3.44	3.89	3.67	3.89	3.00	3.00	3.25	2.75	3.00	2.25	2.75	3.75
	音楽芸術コース	4.33	4.20	3.60	4.30	4.30	4.30	3.80	4.50	3.70	3.50	3.70	3.90	3.90	4.00	3.70	4.20
	スポーツ文化コース	3.56	3.17	3.28	3.00	3.35	3.94	3.33	4.56	3.88	4.00	4.38	3.71	4.14	4.00	3.38	4.50
	食環境デザインコース	3.69	3.76	3.72	3.72	3.83	4.07	3.86	4.34	3.70	3.95	4.05	3.70	3.80	4.20	3.95	4.30
	生活環境科学コース	3.42	3.58	3.50	3.25	3.08	3.17	3.00	3.42	3.22	4.00	3.33	3.22	3.33	3.33	3.00	4.11
	システム情報学コース	3.74	3.32	3.58	3.42	3.79	3.53	3.21	4.16	3.62	3.46	3.23	3.31	3.38	3.23	3.43	4.14
	養護教諭特別別科																
	学部平均	3.70	3.57	3.58	3.51	3.62	3.79	3.49	4.14	3.52	3.63	3.66	3.47	3.60	3.55	3.41	4.21
理学部	数理科学科	4.29	3.71	2.71	4.14	3.57	3.57	2.29	3.57	3.25	3.38	3.50	3.58	3.83	3.88	3.46	3.79
	物理学科	4.00	2.00	2.00	1.50	1.50	1.50	1.50	3.00	3.57	3.43	3.71	3.71	3.79	3.50	3.29	4.29
	物質生命化学科	3.45	3.55	3.80	3.53	3.58	3.75	3.58	3.95	3.66	3.61	3.57	3.57	3.57	3.66	3.25	4.00
	生物学科	3.77	3.62	3.31	2.92	3.31	3.77	2.69	4.46	3.36	3.86	3.57	3.36	4.00	3.50	3.00	4.14
	地球環境学科	3.63	3.47	3.73	3.53	3.60	3.93	3.40	3.97	3.33	3.07	3.47	2.93	3.40	2.93	2.87	4.33
	学部平均	3.83	3.27	3.11	3.12	3.11	3.30	2.69	3.79	3.43	3.47	3.56	3.43	3.72	3.49	3.17	4.11
医学部	医学科	3.91	3.67	3.32	3.20	3.52	3.10	3.02	4.10	4.25	3.76	3.39	3.40	3.60	3.47	3.24	4.09
	看護学科	3.67	3.33	3.24	3.47	3.78	3.85	3.25	4.33	3.96	3.43	3.35	3.84	4.00	3.92	3.25	4.49
	学部平均	3.79	3.50	3.28	3.33	3.65	3.48	3.14	4.22	4.10	3.60	3.37	3.62	3.80	3.69	3.25	4.29
工学部	機能高分子工学科	3.45	3.66	3.53	3.33	3.62	3.64	3.19	3.80	3.37	3.37	3.65	3.36	3.58	3.55	3.02	3.75
	物質化学工学科	3.53	3.51	3.41	3.22	3.35	3.47	3.20	3.73	3.54	3.71	3.50	3.13	3.54	3.56	2.98	4.06
	バイオ化学工学科	3.31	3.31	3.56	3.46	3.40	3.81	3.16	3.77	3.48	3.35	3.50	3.15	3.24	3.43	2.98	3.89
	応用生命システム工学科	3.56	3.41	3.19	3.36	3.46	3.61	2.88	3.78	3.71	3.69	3.60	3.40	3.55	3.64	3.21	3.76
	情報科学科	3.33	3.33	3.52	3.33	3.38	3.79	2.85	3.81	3.37	3.24	3.43	3.33	3.33	3.46	2.63	3.95
	電気電子工学科	3.53	3.63	3.50	3.57	3.68	3.87	3.26	3.96	3.42	3.50	3.34	3.26	3.39	3.55	2.84	3.87
	機械システム工学科	3.57	3.64	3.59	3.34	3.63	3.82	3.26	3.89	3.36	3.30	3.32	3.17	3.31	3.60	2.78	3.95
	システム創成工学科（フレックスコース）	3.67	3.63	3.59	3.20	3.41	3.55	3.00	3.62	3.48	3.26	3.35	3.43	3.22	3.39	2.52	3.96
	学部平均	3.49	3.51	3.49	3.35	3.49	3.70	3.10	3.80	3.47	3.43	3.46	3.28	3.40	3.52	2.87	3.90
農学部	食料生命環境学科	3.57	3.55	3.79	3.74	3.81	3.95	3.48	4.49	3.46	3.48	3.70	3.52	3.70	3.70	3.20	4.39
	学部平均	3.57	3.55	3.79	3.74	3.81	3.95	3.48	4.49	3.46	3.48	3.70	3.52	3.70	3.70	3.20	4.39
	山形大学平均	3.66	3.46	3.44	3.40	3.54	3.64	3.20	4.07	3.59	3.53	3.59	3.51	3.67	3.64	3.27	4.14

学部	学科・課程	5年生								6年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
医学部	医学科	4.23	3.83	3.55	3.39	3.82	3.55	3.18	4.17	3.89	3.69	3.22	3.50	3.65	3.43	2.97	3.94

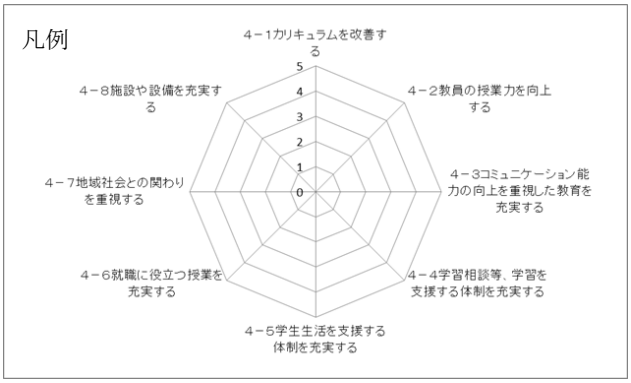


図４６　問４の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

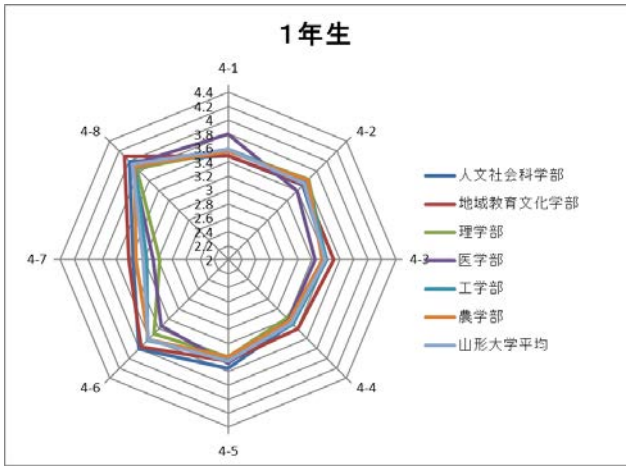


図４７　設問４に対する山形大学学年別レーダーチャート（１年生）

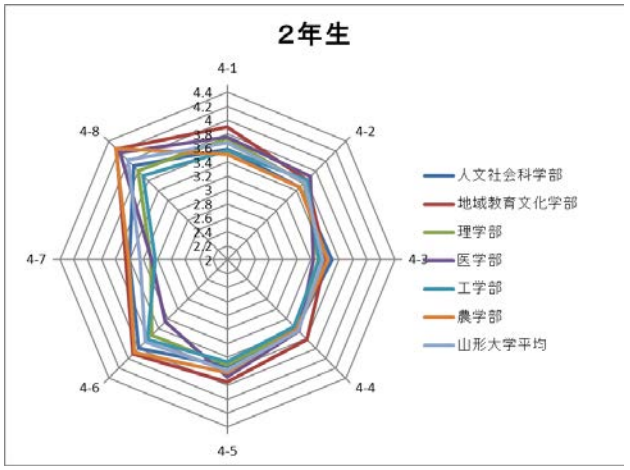


図４８　設問４に対する山形大学学年別レーダーチャート（２年生）

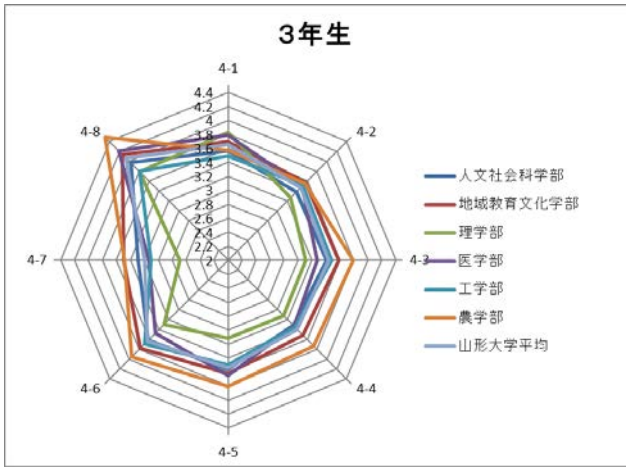


図４９　設問４に対する山形大学学年別レーダーチャート（３年生）

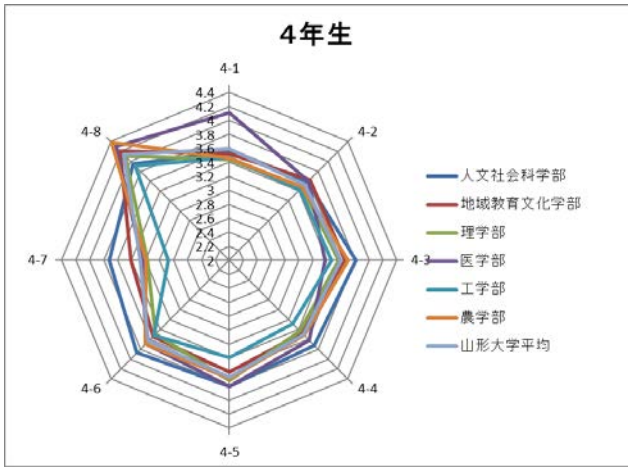


図５０　設問４に対する山形大学学年別レーダーチャート（４年生）

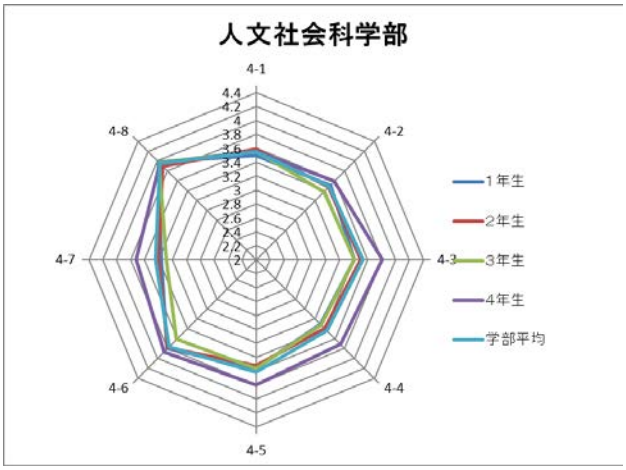


図５１　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（人文社会科学部）

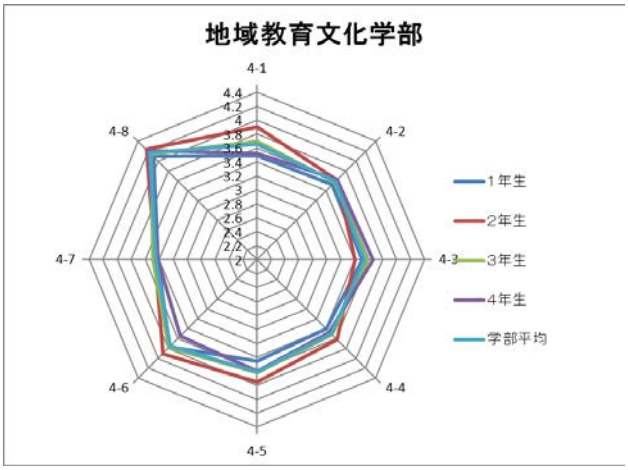


図５２　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（地域教育文化学部）

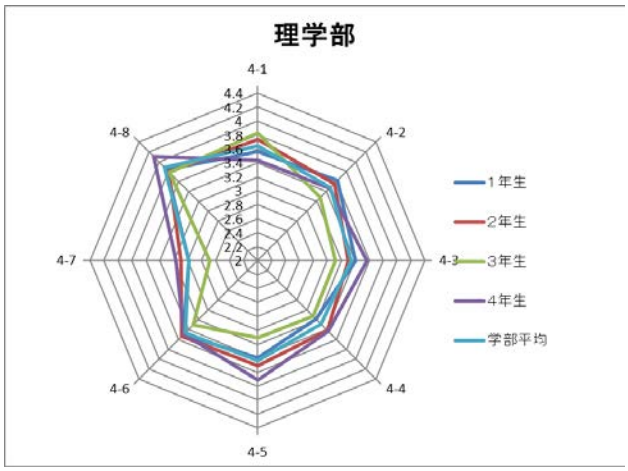


図５３　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（理学部）

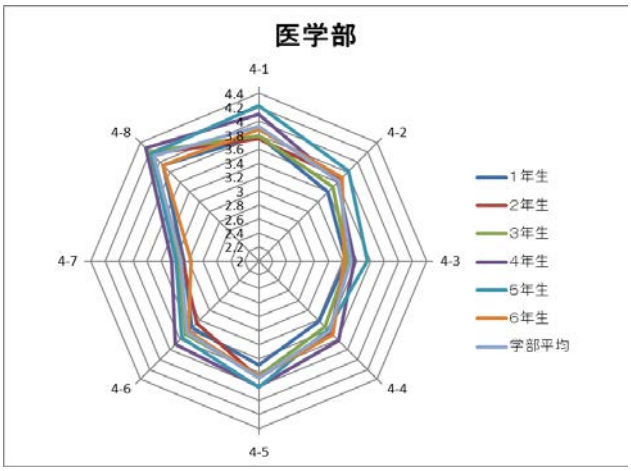


図５４　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（医学部）

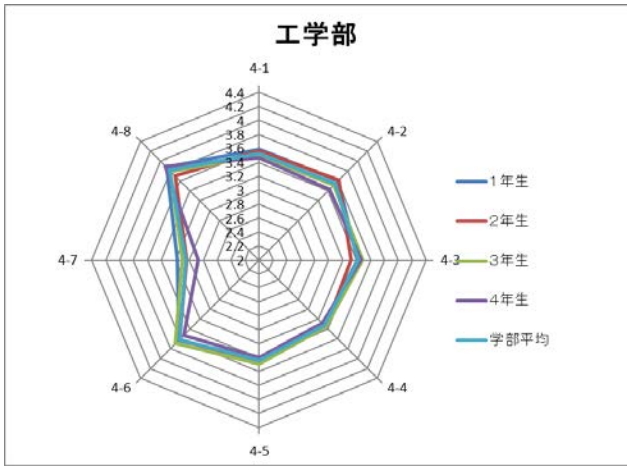


図５５　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（工学部）

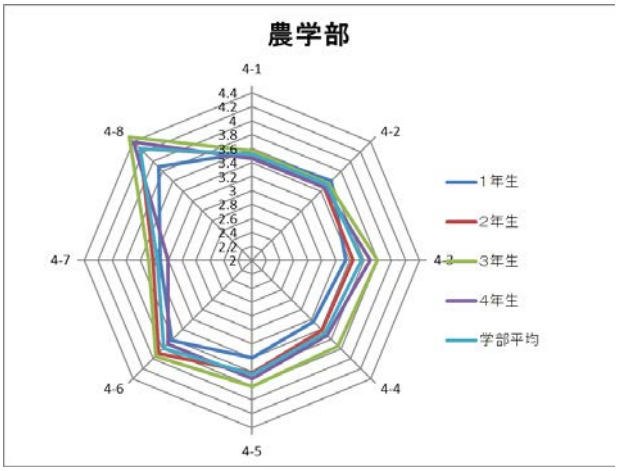


図５６　設問４に対する山形大学学部別レーダーチャート（農学部）

【５】　この一年間において、授業の予習・復習時間は１日につき平均何時間ですか。

５：３時間以上　４：２時間以上３時間未満　３：１時間以上２時間未満　２：３０分以上１時間未満　１：３０分未満

表２９　問５山形大学学部別の一日の学習時間（１年生）

学部	学科・課程	1年生						
		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	回答者計	平均点
人文社会科学部	人文社会科学科	4	17	89	98	75	283	2.21
人文学部計		4	17	89	98	75	283	2.21
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	0	2	19	35	21	77	2.03
	文化創生コース	2	2	18	36	32	90	1.96
	養護教諭特別別科							
地域教育文化学部計		2	4	37	71	53	167	1.99
理学部	理学科	7	15	76	57	43	198	2.42
理学部計		7	15	76	57	43	198	2.42
医学部	医学科	5	1	12	27	65	110	1.67
	看護学科	2	2	6	15	32	57	1.72
医学部計		7	3	18	42	97	167	1.70
工学部	高分子・有機材料工学科	1	11	46	31	43	132	2.21
	化学・バイオ工学科	1	6	58	44	26	135	2.35
	情報・エレクトロニクス学科	3	12	42	48	40	145	2.24
	建築・デザイン学科	2	1	9	9	9	30	2.27
	機械システム工学科	3	11	52	40	35	141	2.34
	システム創成工学科(フレックスコース)	2	5	21	19	10	57	2.47
工学部計		12	46	228	191	163	640	2.31
農学部	食料生命環境学科	2	9	42	54	50	157	2.10
農学部計		2	9	42	54	50	157	2.10
1年生全体		34	94	490	513	481	1612	2.12

表３０　問５山形大学学部別の一日の学習時間（２年生）

学部	学科・課程	2年生						
		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	回答者計	平均点
人文社会科学部	人文社会科学科	4	11	72	75	50	212	2.26
人文学部計		4	11	72	75	50	212	2.26
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	1	5	14	17	22	59	2.08
	文化創生コース	4	4	14	15	30	67	2.06
	養護教諭特別別科							
地域教育文化学部計		5	9	28	32	52	126	2.07
理学部	理学科	7	15	56	37	27	142	2.56
理学部計		7	15	56	37	27	142	2.56
医学部	医学科	8	7	23	25	52	115	2.08
	看護学科	3	11	22	11	9	56	2.79
医学部計		11	18	45	36	61	171	2.43
工学部	高分子・有機材料工学科	6	25	45	39	14	129	2.77
	化学・バイオ工学科	5	7	33	27	27	99	2.35
	情報・エレクトロニクス学科	7	20	51	37	29	144	2.58
	建築・デザイン学科							
	機械システム工学科	4	18	61	37	18	138	2.66
	システム創成工学科(フレックスコース)	3	7	21	5	12	48	2.67
工学部計		25	77	211	145	100	558	2.60
農学部	食料生命環境学科	1	10	25	19	22	77	2.34
農学部計		1	10	25	19	22	77	2.34
2年生全体		53	140	437	344	312	1286	2.38

表３１　問５山形大学学部別の一日の学習時間（３年生）

学部	学科・課程	3年生						
		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	回答者計	平均点
人文学部	人間文化学科	0	2	17	9	11	39	2.26
	法経政策学科	0	4	21	43	31	99	1.98
人文学部計		0	6	38	52	42	138	2.12
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	3	9	20	29	18	79	2.37
	異文化交流コース	2	4	8	1	1	16	3.31
	造形芸術コース	0	1	0	5	3	9	1.89
	音楽芸術コース	2	2	4	2	0	10	3.40
	スポーツ文化コース	0	0	4	6	8	18	1.78
	食環境デザインコース	1	4	13	7	3	28	2.75
	生活環境科学コース	1	4	4	1	2	12	3.08
	システム情報学コース	2	2	6	8	1	19	2.79
地域教育文化学部計		11	26	59	59	36	191	2.67
理学部	数理科学科	0	2	2	2	1	7	2.71
	物理学科	1	0	1	0	0	2	4.00
	物質生命化学科	2	4	13	14	7	40	2.50
	生物学科	0	1	4	3	5	13	2.08
	地球環境学科	1	4	11	8	6	30	2.53
理学部計		4	11	31	27	19	92	2.76
医学部	医学科	2	4	31	21	30	88	2.17
	看護学科	1	5	22	12	15	55	2.36
医学部計		3	9	53	33	45	143	2.27
工学部	機能高分子工学科	6	4	34	33	26	103	2.33
	物質化学工学科	2	7	18	11	11	49	2.55
	バイオ化学工学科	1	6	24	12	9	52	2.58
	応用生命システム工学科	3	8	23	16	9	59	2.66
	情報科学科	2	2	14	16	14	48	2.21
	電気電子工学科	4	6	36	24	7	77	2.69
	機械システム工学科	3	11	58	30	16	118	2.62
	システム創成工学科(フレックスコース)	2	7	15	18	9	51	2.51
工学部計		23	51	222	160	101	557	2.52
農学部	食料生命環境学科	5	9	13	12	19	58	2.47
農学部計		5	9	13	12	19	58	2.47
3年生全体		46	112	416	343	262	1179	2.47

表３２　問５山形大学学部別の一日の学習時間（４年生）

学部	学科・課程	4年生						
		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	回答者計	平均点
人文学部	人間文化学科	3	4	21	22	24	74	2.19
	法経政策学科	1	7	18	20	43	89	1.91
人文学部計		4	11	39	42	67	163	2.05
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	0	5	9	17	30	61	1.82
	異文化交流コース	1	3	6	7	5	22	2.45
	造形芸術コース	1	2	1	0	0	4	4.00
	音楽芸術コース	2	4	0	3	1	10	3.30
	スポーツ文化コース	0	2	1	2	2	7	2.43
	食環境デザインコース	1	1	7	7	4	20	2.40
	生活環境科学コース	0	0	2	1	6	9	1.56
	システム情報学コース	1	1	6	2	4	14	2.50
地域教育文化学部計		6	18	32	39	52	147	2.56
理学部	数理科学科	0	1	9	5	9	24	2.08
	物理学科	1	5	5	3	0	14	3.29
	物質生命化学科	5	7	11	10	11	44	2.66
	生物学科	1	1	5	1	6	14	2.29
	地球環境学科	1	0	7	3	3	14	2.50
理学部計		8	14	37	22	29	110	2.56
医学部	医学科	10	21	29	25	35	120	2.55
	看護学科	4	12	18	9	8	51	2.90
医学部計		14	33	47	34	43	171	2.73
工学部	機能高分子工学科	2	6	18	21	36	83	2.00
	物質化学工学科	1	3	13	12	23	52	1.98
	バイオ化学工学科	0	3	11	9	23	46	1.87
	応用生命システム工学科	3	2	10	13	14	42	2.21
	情報科学科	3	4	17	13	26	63	2.13
	電気電子工学科	2	1	16	11	8	38	2.42
	機械システム工学科	3	11	31	34	26	105	2.34
	システム創成工学科(フレックスコース)	2	2	4	5	10	23	2.17
工学部計		16	32	120	118	166	452	2.14
農学部	食料生命環境学科	3	4	10	5	23	45	2.09
農学部計		3	4	10	5	23	45	2.09
4年生全体		51	112	285	260	380	1088	2.35

表３３　問５山形大学学部別の一日の学習時間（５、６年生※医学部）

学部	学科・課程	3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	回答者計	平均点
医学部	医学科　5年生	3	16	35	18	20	92	2.61
	医学科　6年生	54	21	12	8	13	108	3.88

学年別一日の学習時間

図５７　問５山形大学学年別の一日の学習時間（１年生）

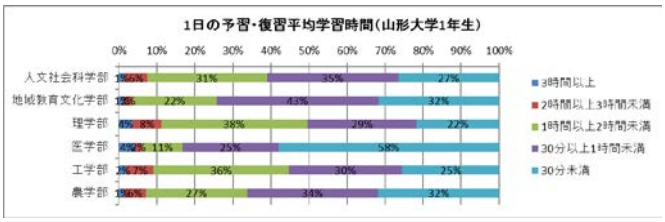


図５８　問５山形大学学年別の一日の学習時間（２年生）

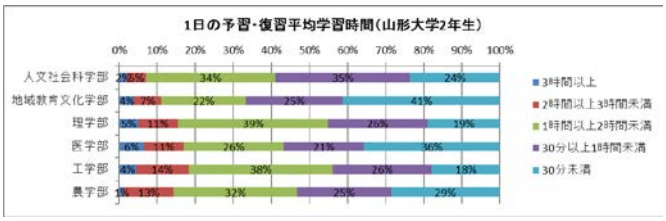


図５９　問５山形大学学年別の一日の学習時間（３年生）

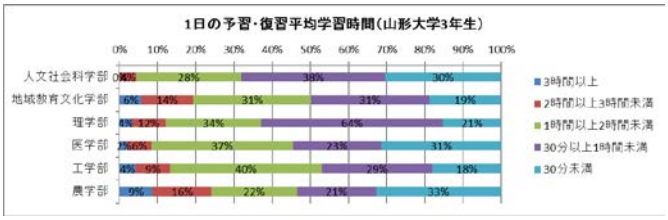


図６０　問５山形大学学年別の一日の学習時間（４年生）

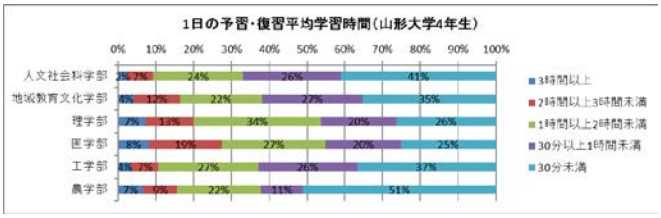
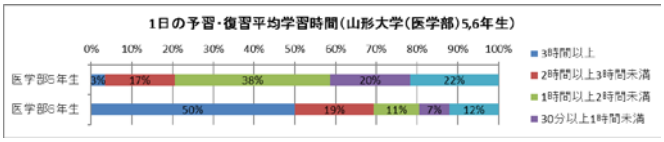


図６１　問５山形大学学年別の一日の学習時間（５、６年生※医学部）



学部別一日の学習時間

図６２　問５山形大学学部別の一日の学習時間
（人文社会科学部）

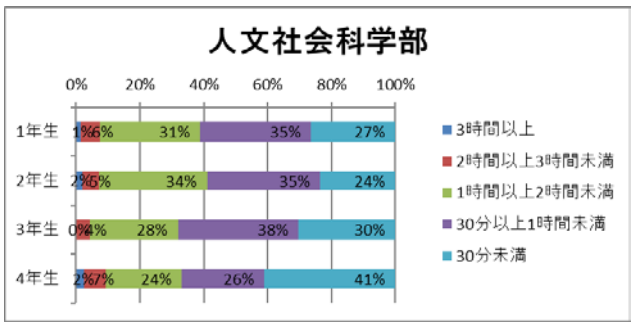


図６３　問５山形大学学部別の一日の学習時間
（地域教育文化学部）

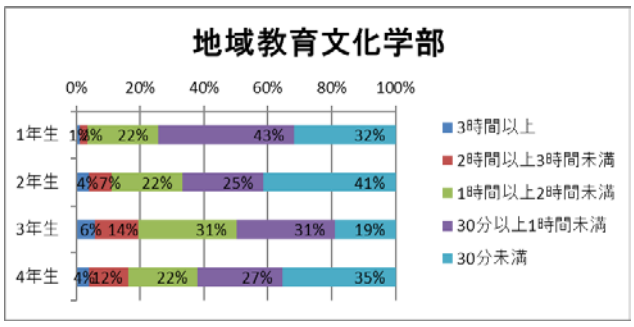


図６４　問５山形大学学部別の一日の学習時間（理学部）

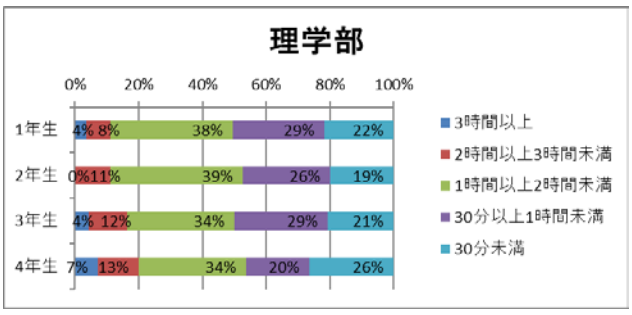


図６５　問５山形大学学部別の一日の学習時間（医学部）

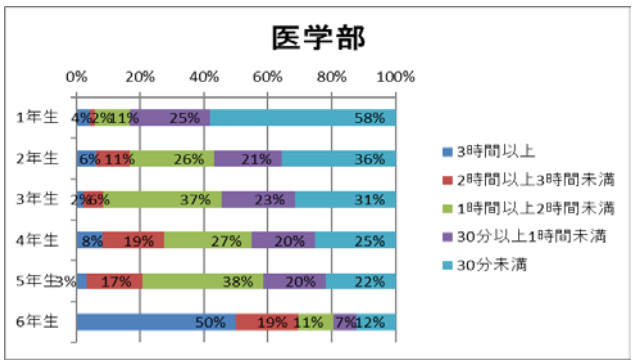


図６６　問５山形大学学部別の一日の学習時間（工学部）

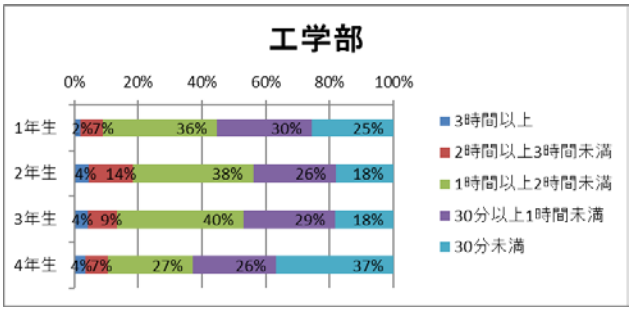
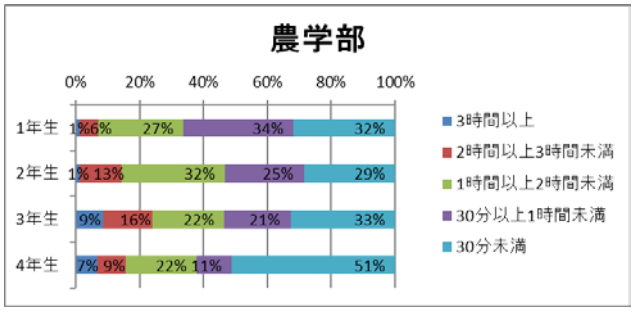


図６７　問５山形大学学部別の一日の学習時間（農学部）



【６】　あなたは、本学に入学して良かったと思いますか。該当する数字を一つ選んでマークしてください。
５ ： はい　４ ： まあそうである　３ ： どちらとも言えない２ ： あまりそうとは言えない　１ ： いいえ

表３４　問６山形大学学部別の入学満足度（１年生）

学部	学科・課程	1年生 はい	まあそうである	どちらとも言えない	あまりそうとは言えない	いいえ	回答者計	平均点	肯定的回答の割合
人文社会科学部	人文社会科学科	75	123	63	17	4	282	3.88	70%
	学部計	75	123	63	17	4	282	3.88	70%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	20	42	5	7	3	77	3.90	81%
	文化創生コース	32	39	13	3	3	90	4.04	79%
	養護教諭特別科								
	学部計	52	81	18	10	6	167	3.97	80%
理学部	理学科	41	87	43	14	13	198	3.65	65%
	学部計	41	87	43	14	13	198	3.65	65%
医学部	医学科	35	44	20	8	3	110	3.91	72%
	看護学科	17	24	14	1	1	57	3.96	72%
	学部計	52	68	34	9	4	167	3.94	72%
工学部	高分子・有機材料工学科	29	63	30	6	4	132	3.81	70%
	化学・バイオ工学科	20	61	37	12	5	135	3.59	60%
	情報・エレクトロニクス学科	30	65	39	8	3	145	3.77	66%
	建築・デザイン学科	4	15	9	1	1	30	3.67	63%
	機械システム工学科	23	67	35	14	1	140	3.69	64%
	システム創成工学科（フレックスコース）	19	24	9	4	1	57	3.98	75%
	学部計	125	295	159	45	15	639	3.75	66%
農学部	食料生命環境学科	37	76	32	4	8	157	3.83	72%
	学部計	37	76	32	4	8	157	3.83	72%
	1年生計	382	730	349	99	50	1610	3.84	69%

表３５　問６山形大学学部別の入学満足度（２年生）

学部	学科・課程	2年生 はい	まあそうである	どちらとも言えない	あまりそうとは言えない	いいえ	回答者計	平均点	肯定的回答の割合
人文社会科学部	人文社会科学科	51	106	43	8	4	212	3.91	74%
	学部計	51	106	43	8	4	212	3.91	74%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	15	22	14	5	3	59	3.69	63%
	文化創生コース	21	24	14	7	1	67	3.85	67%
	養護教諭特別科								
	学部計	36	46	28	12	4	126	3.77	65%
理学部	理学科	20	84	30	3	5	142	3.78	73%
	学部計	20	84	30	3	5	142	3.78	73%
医学部	医学科	16	32	35	23	8	114	3.22	42%
	看護学科	15	23	12	4	2	56	3.80	68%
	学部計	31	55	47	27	10	170	3.51	51%
工学部	高分子・有機材料工学科	31	51	32	9	6	129	3.71	64%
	化学・バイオ工学科	14	41	33	8	5	101	3.50	54%
	情報・エレクトロニクス学科	18	71	42	10	3	144	3.63	62%
	建築・デザイン学科								
	機械システム工学科	23	62	39	10	4	138	3.65	62%
	システム創成工学科（フレックスコース）	8	24	10	5	1	48	3.69	67%
	学部計	94	249	156	42	19	560	3.64	61%
農学部	食料生命環境学科	18	35	18	4	2	77	3.82	69%
	学部計	18	35	18	4	2	77	3.82	69%
	2年生計	250	575	322	96	44	1287	3.74	64%

表３６　問６山形大学学部別の入学満足度（３年生）

学部	学科・課程	3年生 はい	まあそうである	どちらとも言えない	あまりそうとは言えない	いいえ	回答者計	平均点	肯定的回答の割合
人文学部	人間文化学科	14	19	5	0	0	38	4.24	87%
	法経政策学科	20	57	17	3	2	99	3.91	78%
	学部計	34	76	22	3	2	137	4.07	80%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	18	52	9	0	0	79	4.11	89%
	異文化交流コース	6	7	3	0	0	16	4.19	81%
	造形芸術コース	0	7	1	1	0	9	3.67	78%
	音楽芸術コース	1	7	1	1	0	10	3.80	80%
	スポーツ文化コース	4	10	2	1	0	17	4.00	82%
	食環境デザインコース	4	10	10	3	2	29	3.38	48%
	生活環境科学コース	1	7	2	1	1	12	3.50	67%
	システム情報学コース	9	8	2	0	0	19	4.37	89%
	学部計	43	108	30	7	3	191	3.88	79%
理学部	数理科学科	0	5	0	0	2	7	3.14	71%
	物理学科	1	0	0	1	0	2	3.50	50%
	物質生命化学科	8	17	12	2	1	40	3.73	63%
	生物学科	2	10	1	0	0	13	4.08	92%
	地球環境学科	11	15	2	1	1	30	4.13	87%
	学部計	22	47	15	4	4	92	3.72	75%
医学部	医学科	19	37	26	5	1	88	3.77	64%
	看護学科	19	29	6	1	0	55	4.20	87%
	学部計	38	66	32	6	1	143	3.99	73%
工学部	機能高分子工学科	33	43	26	1	0	103	4.05	74%
	物質化学工学科	15	23	10	1	0	49	4.06	78%
	バイオ化学工学科	9	31	10	1	1	52	3.88	77%
	応用生命システム工学科	13	30	12	3	1	59	3.86	73%
	情報科学科	15	19	12	2	0	48	3.98	71%
	電気電子工学科	20	34	16	8	0	78	3.85	69%
	機械システム工学科	16	45	43	9	5	118	3.49	52%
	システム創成工学科（フレックスコース）	23	17	9	1	1	51	4.18	78%
	学部計	144	242	138	26	8	558	3.92	69%
農学部	食料生命環境学科	14	24	13	3	3	57	3.75	67%
	学部計	14	24	13	3	3	57	3.75	67%
	3年生計	295	563	250	49	21	1178	3.89	73%

表３７　問６山形大学学部別の入学満足度（４年生）

学部	学科・課程	4年生 はい	まあそうである	どちらとも言えない	あまりそうとは言えない	いいえ	回答者計	平均点	肯定的回答の割合
人文学部	人間文化学科	35	33	4	1	1	74	4.35	92%
	法経政策学科	37	32	15	1	4	89	4.09	78%
	学部計	72	65	19	2	5	163	4.22	84%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	34	22	2	3	0	61	4.43	92%
	異文化交流コース	10	10	1	1	0	22	4.32	91%
	造形芸術コース	1	3	0	0	0	4	4.25	100%
	音楽芸術コース	2	6	0	2	0	10	3.80	80%
	スポーツ文化コース	3	3	2	0	0	8	4.13	75%
	食環境デザインコース	3	14	2	0	1	20	3.90	85%
	生活環境科学コース	4	3	1	1	0	9	4.11	78%
	システム情報学コース	3	9	1	0	1	14	3.93	86%
	学部計	60	70	9	7	2	148	4.11	88%
理学部	数理科学科	10	9	4	1	0	24	4.17	79%
	物理学科	5	6	2	0	1	14	4.00	79%
	物質生命化学科	17	18	7	1	1	44	4.11	80%
	生物学科	5	5	3	1	0	14	4.00	71%
	地球環境学科	6	8	1	0	0	15	4.33	93%
	学部計	43	46	17	3	2	111	4.12	80%
医学部	医学科	16	62	33	6	4	121	3.66	64%
	看護学科	14	33	2	2	0	51	4.16	92%
	学部計	30	95	35	8	4	172	3.91	73%
工学部	機能高分子工学科	26	36	14	6	2	84	3.93	74%
	物質化学工学科	18	24	8	2	0	52	4.12	81%
	バイオ化学工学科	13	23	8	2	0	46	4.02	78%
	応用生命システム工学科	7	24	8	1	2	42	3.79	74%
	情報科学科	11	33	14	3	1	62	3.81	71%
	電気電子工学科	12	16	6	0	4	38	3.84	74%
	機械システム工学科	23	46	21	6	9	105	3.65	66%
	システム創成工学科（フレックスコース）	23	46	21	6	9	105	3.78	66%
	学部計	133	248	100	26	27	534	3.87	71%
農学部	食料生命環境学科	8	25	13	0	0	46	3.89	72%
	学部計	8	25	13	0	0	46	3.89	72%
	4年生計	346	549	193	46	40	1174	4.02	76%

表３８　問６山形大学学部別の入学満足度（５、６年生　※医学部）

学部	学科・課程	はい	まあそうである	どちらとも言えない	あまりそうとは言えない	いいえ	回答者計	平均点	肯定的回答の割合
医学部	医学科　5年生	13	43	28	6	2	92	3.64	61%
	医学科　6年生	28	45	20	9	6	108	3.74	68%

図６８　問６山形大学学年別グラフ（１年生）

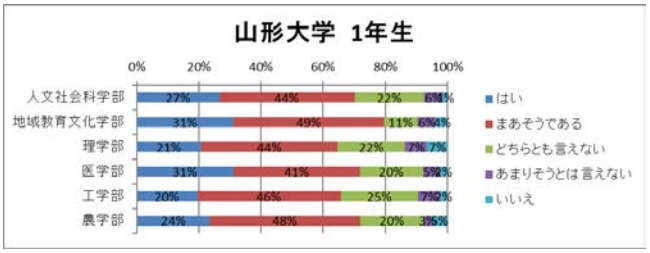


図６９　問６山形大学学年別グラフ（２年生）

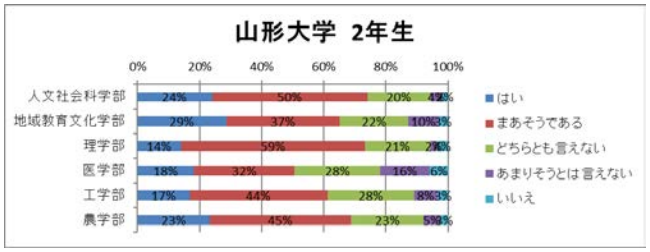


図７０　問６山形大学学年別グラフ（３年生）

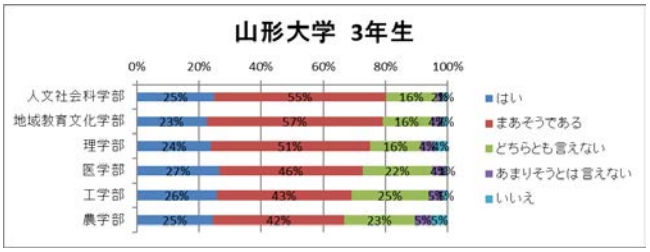


図７１　問６山形大学学年別グラフ（４年生）

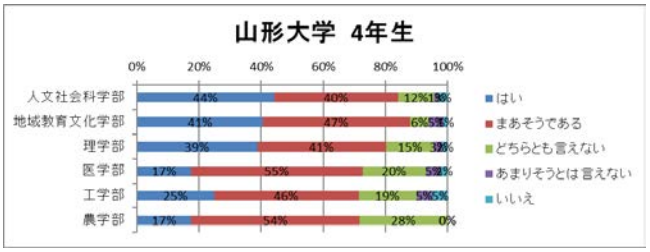
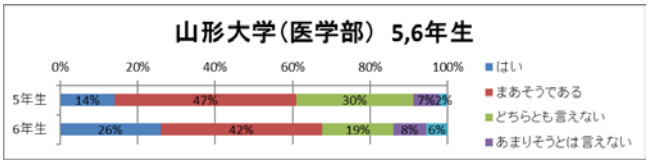


図７２　問６山形大学学年別グラフ（５、６年生※医学部）



学部別の満足度

図７３　問６山形大学学部別グラフ（人文社会科学部）

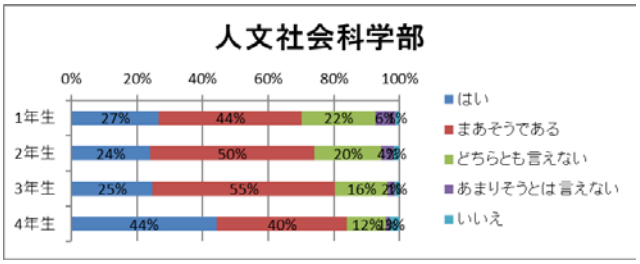


図７４　問６山形大学学部別グラフ（地域教育文化学部）

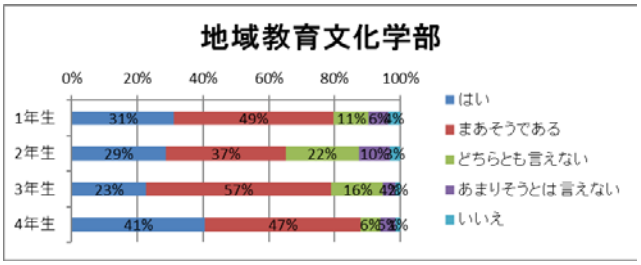


図７５　問６山形大学学部別グラフ（理学部）

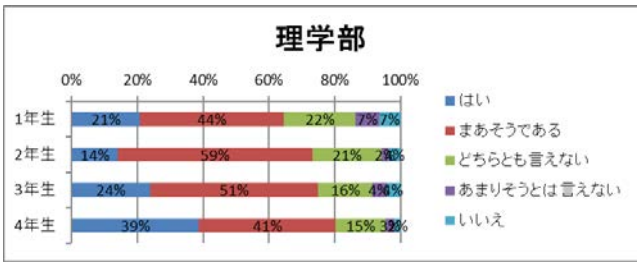


図７６　問６山形大学学部別グラフ（医学部）

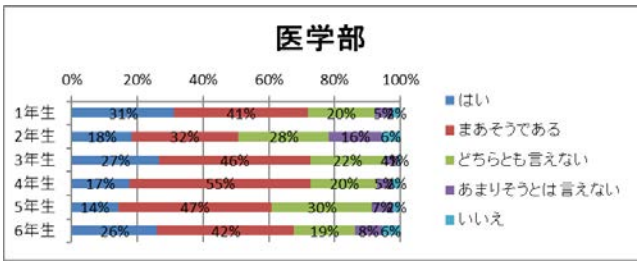


図７７　問６山形大学学部別グラフ（工学部）

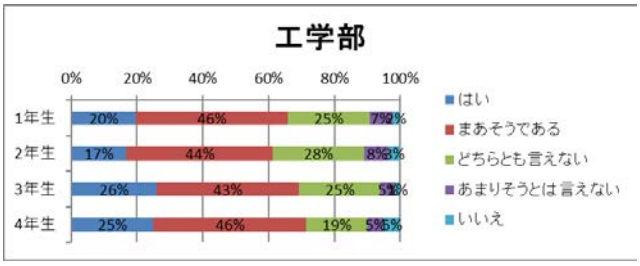
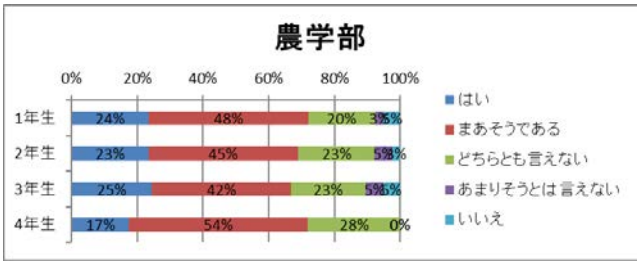


図７８　問６山形大学学部別グラフ（農学部）



第８章

大学間連携ＳＤ研修会

はじめに

平成 30 年 9 月 7 日（金）、FDネットワーク“つばさ”では、平成 30 年度大学間連携SD研修会を開催した。

今回は、「大学改革の時代を突破する職員になる」をテーマに行い、FDネットワーク“つばさ”加盟校をはじめ、全国の国公私立大学・短大の11機関から職員 15 名の参加があった。

この研修会は、主にグループワークからなる3部で構成される。所属機関の特性・職種・階層・年齢といった、異なる背景を持つ事務職員が 5 グループに分かれ、大学と地域が連携した活動についてグループワークを行い、まとめとして発表会を実施する形態である。

研修会は、FDネットワーク“つばさ”協議会議長である山形大学教育開発連携支援センターの小田隆治教授進行のもとオリエンテーションが行われ、今回の研修会の目的、形態等の説明が行なわれた。その後、各グループで自己紹介を行い、アイスブレーキングとして新聞タワーの作成で高さを競い合い、グループの親交を深めた。

プログラムⅠのミニレクチャーでは、小田教授から「大学教育改革の時代を突破する職員とは？」」と題する講義があった。その後のグループワークでは「自校の発展の前に大きく立ちはだかっている壁（課題）は何か？」が話題として挙げられ、各グループそれぞれ自分の大学の活動などを挙げた上で、現在の状況を把握し、午後からのプログラムの参考とした。

プログラムⅡ「バーチャル大学の改革実行計画を企画する」では、仮想大学における改革実行計画をグループ毎に考えた。計画の内容は、実施大学の規模、想定地域、内容や特長、予算、スケジュールなど、細部にわたり議論・考察し、グループ全員で作業を行った。

プログラムⅡで活発に意見を出し合い、話し合った成果を、プログラムⅢ「発表会」で報告し、各グループの成果の共有を図った。

（1）スケジュール

日時：平成 30 年 9 月 7 日（金） 9:30～
場所：山形大学基盤教育1号館2階（山形県山形市）
日程：
9:30 開会・オリエンテーション
9:50 アイスブレーキング・グループワーク（自己紹介）
10:30 プログラムⅠ
・ミニレクチャー
「大学教育改革の時代を突破する職員とは？」
・グループワーク
「自校の発展の前に大きく立ちはだかっている壁（課題）は何か？」
13:00 プログラムⅡ
・グループワーク
「バーチャル大学の改革実行計画」
16:20 プログラムⅢ 「発表会」
17:30 修了式

（2）参加校一覧（都道府県順）

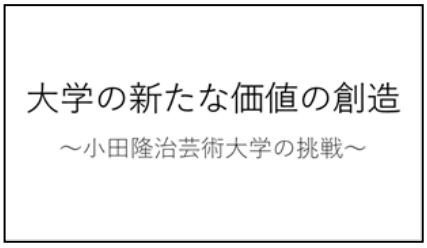
1. 弘前医療福祉大学
2. 仙台青葉学院短期大学
3. 東北芸術工科大学
4. 東北文教大学
5. 羽陽学園短期大学
6. 山形大学
7. 国際武道大学
8. 田園調布学園大学
9. 筑波技術大学
10. 國學院大學
11. 沖縄県立芸術大学

（3）各グループの全体発表会用資料

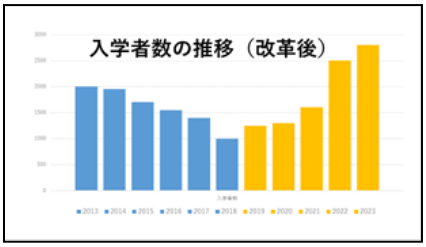
○ A 班

東北芸術工科大学　後藤　康宏
國學院大學　関　祥子
筑波技術大学　長屋　美穂子
沖縄県立芸術大学　高江洲　守
羽陽学園短期大学　吉田　慶太

【発表資料】







○ B 班

東北芸術工科大学　野田　晶子
国際武道大学　蜂巣　良太
弘前医療福祉大学　舘田　典仁
仙台青葉学院短期大学　髙橋　真央

東北文教大学　　土田　麻理

【発表資料】

B班

弘前メディカル大学

青森県H市 人口17万人
学生数　480名
入学定員　120名　近年入学者は80名程度
学部　医療学部看護学科
ライバル校：弘前大学（医学部）
東北女子大学（保健学部）
弘前学院大学（看護学部）
弘前医療福祉大学（看護学部）
東北女子短期大学

プロジェクト名：弘前留学

弘前メディカル大学　改革案

健全な大学運営を行うために…
①入学者数の増加
定員140名の確保（現在80名入学）
現状：専願50名→100名
併願30名→40名
②学科の設置
看護学科（既存学科：50名）、歯科衛生学科（30名）、
救急救命学科（30名）、診療放射線技師学科（30名）

弘前メディカル大学　改革案

入学者数を増やすには…
国内：関東周辺中心に学生募集を行う
Uターン
海外：外国人留学生を獲得する

弘前メディカル大学　改革案

しかし…広報活動に約●●●●万円かかる！？
→●●●●にて予算を支出
→入学者数が60名増えるので、のちに資金回収予定…？

弘前メディカル大学　改革案

改革までのスケジュール
2018年　計画、学長を中心としたプロジェクトチーム発足
2019年　国内学生募集開始
2020年　国内の学生が入学、海外留学生募集開始
オリンピックにて学生ボランティアスタッフを派遣し、
PRする
2021年　海外留学生入学

成果、波及効果

入学者数が増えれば…

国内・海外から学生がH市に集まり、経済効果が上がる！
学生数が増えることで、大学のネームバリューも上がる！
そして、学長から入試手当（賞与）も支給される！

○ C班

仙台青葉学院短期大学	髙野　斉
国際武道大学	上田　千尋
田園調布学園大学	藤原　隆紘
山形大学	堀内　佐奈恵
東北文教大学	本間　はるか

【発表資料】

秋田環境科学大学の改革実行計画
Cグループ

本学の概要
- 所在地　秋田市沿岸部
- 創立5年目の私立大学
- 地元からの要請を受けて設立された
- 学部は、環境学部のみ
- 学科は、環境エネルギー学科、地域共生学科　2学科×50名＝100名
- 総定員　400名

本学をとりまく課題
- 秋田県の人口減少
- 県内高校卒業者8000名
- 大学短大進学率46%
- 県内残留2割程度
- 定員割れ90名　地元出身者60%
- ライバル校　地元の国立大学に、同じ環境学科が設立された

改革プロジェクト
- 目標　定員100名の確保、地元率80%
<対策>
- 1年生からのインターンシップ（社長から理念を学ぶ）
- 1年生からの成長記録（可視化するためのポートフォリオ）⇒　保護者へPR
- 学費補助（奨学金）、就職先の開拓

改革プロジェクトメンバー
- 教務、経理、広報から2名ずつ計6名
- 業務効率のアップ

地元 i

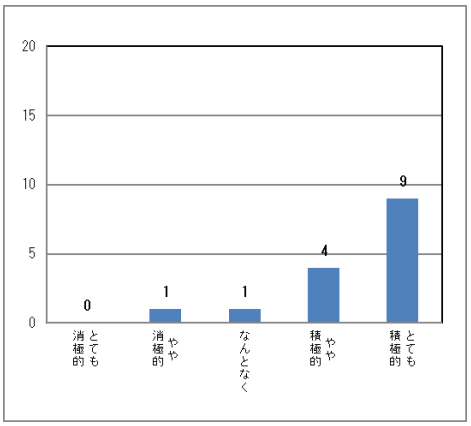
地元にカエルプロジェクト





（５）大学間連携ＳＤ研修会に関するアンケート調査

設問１　この研修会には積極的に参加しましたか。



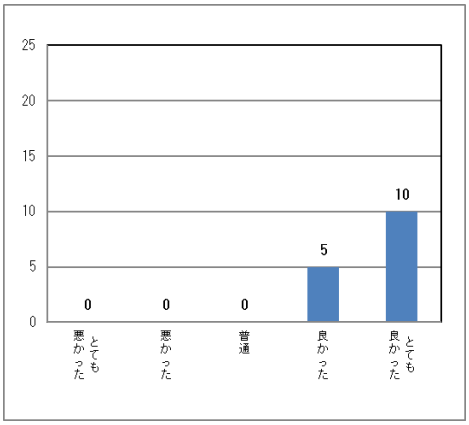
設問２　どのようにしてこの研修会を知りましたか。

・FD ネットワークつばさからの開催案内通知
・課長から研修会が開催されることを聞いた。
・学内の SD 委員会からの回覧
・学内のとりまとめ担当者からのメール
・職場の人事担当からのメール
・HP

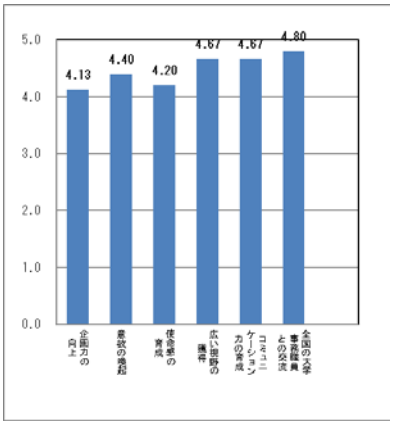
設問３　なぜこの研修会に参加しましたか。簡単に経緯等をご記入ください。

・本学は FD・SD について取り組んでいるところでありますが他学の状況を知りことで改善が図られるものと考え参加しました。
・関東以外の大学のかかえる問題点を知れる機会だと思ったため
・教授から案内があった。自分としても良い経験になると思い、参加を決めた。
・課長から話を聞き、過去の研修会の雰囲気をみて参加させていただきたいと思ったため。
・大学存続の危機感から桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科にて学修しており、テーマから非常に興味を持ったため。
・今年４月から勤務しているが、学内で研修会がなかったため。また、所属大学以外の方と交流し、意見交換をしてみたかったため。
・これからの時代を生きる大学職員としての能力や資質等を勉強したいと思ったから。
・職員数がとても少ないため、ちょうど良い年代の人ということで人選があった。
・自己の学びのためと、大学の FD・SD 委員としての活動の参考にするため。
・人材育成を担当する常務より声がけがあったから。
・例年、本学がお世話になっており、成果の高い研修会と聞いていたから。
・テーマに興味があり、他大学の事例も伺いたいと思ったので。
・他大学との情報交換、ならびに小田先生の講話を聞きたかったため
・事務局からの命令。また例年本学職員が出席しているので今回は自分が行くこととなった。
・大学職員として、学生のために支援できること、大学のさらなる発展のために何ができるか追求したく参加しました。

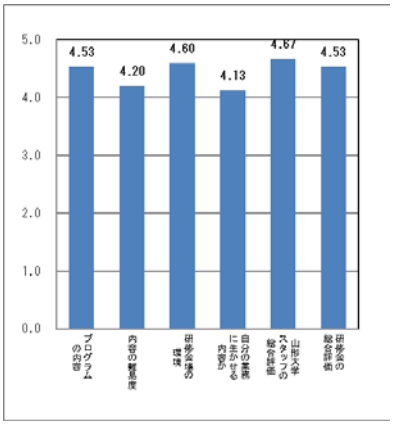
設問４　参加して良かったと思いますか。



設問５　個人的な収穫度を各項目別に５段階で評価してください。



設問６　この研修会を各項目別に５段階で評価してください。



設問７　この研修会において良かったと思う点。

・大学改善の現状を知ることや、他学との交流が良かったと思います。
・振興や企画内容。特に午後のグループワークは時間配分や企画の内容がざん新だった点がよかったと思います。
・限られた時間で、課題に対する取り組みを行う練習ができた。他大学（他地域）の現状を知り、情報交換ができたことが良かった。
・限られた時間の中で仕上げることは楽ではなかったが、初見同士のメンバーのアイデアや意見を建設的に形にしていくことは通常の業務に繋がると感じた。小田先生の情熱も大変共感した。
・限られた時間の中で協力して一つのこと遂行する大切さ（大変さ）を身をもって感じることができた。
・全国各地の方、同じ東北でも大学によって様々なあり方があることに改めて気づけた。
・気楽に話し合える雰囲気が、一貫してあり、とても積極的に話し合えたのでとても良かった。また小田先生の話がとてもわかりやすくて役立ちました。
・先生のお話で、他大学の先進的な取組を伺うことができたのがとても良かったです。自分でも色々と調べてみようと思いました。
・小田先生のお話は、いつもながら刺激を受ける内容で気が引き締まります。
グループワークは、「時間内」に協力して仕上げることの困難さを身にしみて感じました。課題も浮き彫りになりました。
・全国の職員の方々との交流
小田先生のお話の中に、参考になるお言葉が多々ありました。
・限られた時間の中で有意義な情報交換ができた
・他大学の方々と意見交換をしながら課題を共有したり、整理したりすることができる点
・グループワークが多く、グループ内でお互いのことしれて良かった。
・小田先生より他大学の情報が知れて良かった。
・他大学との職員との情報交換ができた
・なかなかお会いできない関東圏の職員の方ともお話しすることができ、大変貴重な機会でした。

設問８　この研修会で良くないと思う点（改善すべき点）。

・休憩時間があまりなかったと思います。
・さまざまな地域から参加者がいたら良かったなと思います。
・非常に刺激を受けました。特にありません。
・班の人以外と交流できるタイミングがない。(今回だけかもしれませんが）参加人数が少ない？４０～５０名を想定しており、多くの方と関わりたかったので少し残念だった。
・もっと他のグループともコミュニケーションがとれる時間があっても良いかと思いました。また、もっと長い研修もありではないかと思いました。
・演技をするというのはとても難しかったです。
・特にありません。
・演技の使いどころがイマイチつかめませんでした。
・プログラムⅡの課題が大きすぎて内容を絞るのが難しかった。
・終了時間を守ってほしい。遠方からなので電車にまにあわなくなる。

設問９　次回ＳＤ研修会を開催するとしたら、いつ・どのような内容で企画したらよろしいでしょうか。

・時期については８月・９月で良いと思います。大学の共通する課題について多角的な論点を挙げ実践的な方策をグループ討議するのも良いかと思いました。
・同時期が良いと思います。今回のようなテーマは今後も課題になり重要になると思うので毎年少しずつ変えながらやると良いと思います。
・グループワークを泊まりでやってみたい。
・例年どおりで良いと思います。
・仮想ではなく、ある大学の問題点についてみんなで話し合って解決に導くような企画があれば良いと思いました。
・仕事のモチベーションの維持、向上について。
・時期は今頃で良いと思います。〃
・教員と職員の両方に共通するような SD 研修を考えています。その参考になるような企画をお願いします。
・チームでバーチャルな内容を作り上げる体験〃
・同時期で、大学職員の意識改革などに関する内容があるとうれしい。
・８，９月
・全国の国立大学職員とも交流できる企画。

設問１０　ご自由に感想を書いてください。

・本学は昨年度からネットワークに加盟し、現在、授業評価アンケートのマークシートを通じて、事務効率の向上に繋がっております。来年開催があれば、他の職員が参加するなどで学内の意識に変化がもたらされると思います。本日はありがとうございました。
・これまで東京で開催される研修に数多く参加して、似た環境の大学の方と情報交換したり、課題を共有してきましたが、今回はおかれている状況が異なる方が多数いらっしゃり、”共有”、”共感”できる部分は多くはありませんでしたが、他大学の方がお持ちの問題点など今まで知識として持っていなかったことを多く吸収できとても有益でした。また、本学は北海道の滝川市の短大があり、定員の確保がきっきんの課題ですので、教之内容を短大運営で役立てられる方法がないか、考えていきたいと思います。
・今回が初の参加だったが、来て良かった。
・私は普段 2 人体制の部署で働いているためなかなか多人数で

話をするという機会がなくとても有意義な時間となりました。まだ勤務歴が浅くできることは限られていますが、大学の力に少しでもなれるよう努めていきたいと思います。
・時間があっと言う間に過ぎ、久々に頭をフル回転させ、非常に疲れましたが、事前に小田先生の本を読んでいたこと、大学院での学修がベースとなり、理解を更に深めることができました。保学の教職員にも紹介したいと思いますし、本学でも効果の高いSDができればと思います。
・有意義な時間を過ごせました。3月まで山大に勤務しており、元上司に小田先生のお話は大変面白いと伺ってたので、実際にお会いできて良かったです！
・本当にどんな研修になるのか不安でしたが、気軽にアットホームな雰囲気でとても自分を出すことができた。いろんな大学の方とふれあうことはなかなかないので、ぜひ、次回もこのような研修会に参加したいと思いました。本当にありがとうございました。
・本学でも改革に取り組んでいるところですので、自分は担当ではないですが、様々な事例、お話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
・スタッフの皆様も含め大変お世話になりありがとうございました。
・刺激的なお話と交流できる機会をいただきありがとうございました。
・大変お世話になりました。ありがとうございました。
・楽しみながら課題を考えることができとても楽しく有意義であった。
・運営してくださった方々、このような機会をいただきありがとうございました。

第９章

学生ＦＤ会議

FD ネットワーク“つばさ”学生 FD 会議 in 札幌学院大学

日時：平成 30 年 12 月 15 日(土) 10:30～15:00
場所：札幌学院大学 2 号館

1. 概要

「コミュ力って必要！？~社会に出るために必要な能力とは～」というテーマを基に、札幌学院大学学生 FD 組織「SGUsers」が主体となり、企画の考案を行った。卒業後社会へ進む際に必要な能力について話し合い、その能力を養うことが可能な講義の詳細を参加者と共に作成することを狙いとし、終了後に内容をシラバスとして発表することが到達点である。６つのグループを作成し、各グループに SGUsers のメンバー１名がファシリテーターとしてディスカッションの進行を担当した。ディスカッションは「午前・午後」の 2 部構成とし、全行程終了後は事前の募集で懇親会の参加を希望した参加者と懇親会を実施した。

また、本会議は平成 30 年９月 10 日(月)に開催を予定していたが、9 月 6 日(木)に発生した「北海道胆振東部地震」の影響を受け、開催を中止せざるを得ない状況となった。その後、当初参加予定であった方々から要請を受け、この度開催する運びとなった。

・ディスカッション（午前の部）

- 自己紹介やアイスブレイクを通し、参加者間の緊張の緩和を図る。
- 参加者自身が目指している夢（社会人、教職員の方々は現在の職業）を各グループに配布されている模造紙に記入し、実際に働くことを想定したうえで必要と思われる能力を考える。１枚の付箋に１つ能力を記入し、参加者間で話し合う。共通の能力が挙がった場合は組み合わせを行い、講義として学びたい能力を選択する。
- １枚のシラバス(模造紙)につき１つの能力を選択し、午後のディスカッションでは選択した能力を基に講義内容を考案していく。

・ディスカッション（午後の部）

- シラバスには５つの記入箇所(①必要な能力②能力が必要な理由③科目名④授業の到達目標⑤授業内容)があり、発表が可能な段階に向けてディスカッションを行う。②、④、⑤の３つに関しては、複数の記入も可能とした。
- 参加者間で発表の方法、及び担当者を決定する。

２．本会議を通し気づいた点

①SGUsers 内で挙がった意見

- 開会式や閉会式が予定時間よりも早く終了したため、時間配分の見直しが必要。

・進行を円滑に行うために、タイムキーパーを決めておくべきだった。
・アイスブレイクや昼食時間の交流を通し、活発な意見交換が行われた。
・本会議を通し、新しい活動に繋げたいと思った。
・聞いていて面白い意見も挙がった。
・全グループが発表段階まで進めることができた。
・懇親会の間に片付けを進めたことにより、使用教室の復元の簡易化に繋がった。
・懇親会時の交流も盛んに行われた。
・運営側の人数不足の改善。

②参加者から寄せられた意見、感想
・グループワークが盛り上がった。
・ディスカッション(午前の部)は付箋を利用するなど考えやすく話しやすい環境だった。
・授業よりも頭を使った。
・教員の方を交えて行うことにより、良い勉強になった。
・意見交換が弾み、時間が足りないくらいだった。
・他大学の学生がコミュニケーションといったことに対し持っている考えについて知る機会に繋がった。
・就職前に参加できたことは、大きな経験だと思った。
・グループの人数がちょうど良かった。
・人の発想力は素晴らしいものだと思い、自己の考えを発表できるようになりたい。
・普段考える機会が少ないコミュニケーションという漠然としたものを考える機会になって良かった。
・昼食時に、もっと他のグループも見てほしかった。
・話が進むにつれて内容が分からなくなり、あまり参加できなかった。
・会議自体が機械的に進んでいたため、他のグループの発表及び聞ける機会を増やしてほしかった。
・先進的事例の紹介か講演会のような形であっても良い。
・全体の人数が少なく残念だった。
・道の案内の増加を希望。

〈参加校〉

・札幌学院大学
・会津大学
・青森中央学院大学
・札幌大谷大学
・札幌大学
・新島学園短期大学
・北翔大学
・山形大学

〈参加人数〉学生：28 名、教員：10名



鶴丸学長の開会挨拶


仮想シラバス作り



グループ発表


小田先生総評



集合写真

第 10 章

合同ＦＤ／ＳＤ研修会

第21回　FDネットワーク“つばさ”FD協議会

はじめに

平成30年5月26日(土)に、第21回FDネットワーク“つばさ”FD協議会を山形大学小白川キャンパスにて開催し、24校37名の出席があった。

はじめに、小田隆治運営協議会議長から、FDネットワーク“つばさ”の平成30年度の事業計画などついて説明があった。

次いで、4つの分科会に分かれて、6～8人のグループで各テーマに沿ったグループ討論を行い、その成果を全体会で発表（全体発表会）

協議会終了後の情報交換会では、今後の“つばさ”の活動について、活発な話し合いが展開され、充実した会となった。

(1) スケジュール

日時：平成30年5月26日(土) 13:00～17:15

場所：山形大学小白川キャンパス　基盤教育1（全体会場：121教室）

日程：13:00　開会の挨拶

[第一部：協議会] 13:10～13:40

① FDネットワーク“つばさ”FD協議会議長の選出について

②「FDネットワーク“つばさ”」の平成30年度事業計画について

［第二部：ワークショップ］14:00～17:15

①趣旨説明

②分科会　［会場：124～128の各教室］

第一分科会：学生の主体的な学び（学生主体型授業、アクティブラーニング、授業外学習、ラーニング・コモンズなど）

第二分科会：大地連携（大学と地域の連携、フィールドラーニング、地域の活性化など）

第三分科会：入試から卒業までの学生支援（入学者確保，就学支援、キャリア教育、就職支援、卒業後の実態把握と支援など）

第四分科会：連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用（授業改善、カリキュラム改善、学習成果の可視化など）

③全体発表　［会場：121教室］

［第三部：外部評価委員会］(16:00～17:15)

17:15　　閉会

17:30～　情報交換会　（山形大学厚生会館）

配付資料

資料１　出席者名簿

資料２　FDネットワーク“つばさ”の平成30年度の活動について

資料３　平成30年度FDネットワーク“つばさ”事業計画

資料４　平成30年度授業改善アンケート実施校　調査票申込一覧

資料５　平成30年度「週刊・授業改善リレーエッセイ」執筆担当校（案）

資料６　ワークショップ　分科会別班編成名簿

参考資料１　FDネットワーク“つばさ”加盟校一覧

参考資料２　FDネットワーク“つばさ”協議会要項

協議会参加者ポストアンケート

(2) 協議会模様



事業説明と24校37名の出席者



分科会



全体発表会

(3) 出席機関一覧

FDネットワーク“つばさ”

【加盟校】

山形大学
札幌大学，札幌大学女子短期大学部
苫小牧駒澤大学
北翔大学，北翔大学短期大学部
八戸学院大学，八戸学院短期大学
青森中央学院大学
青森中央短期大学
富士大学
仙台大学
仙台白百合女子大学
仙台青葉学院短期大学
山形県立保健医療大学
東北芸術工科大学
羽陽学園短期大学
東北文教大学，東北文教大学短期大学部
鶴岡工業高等専門学校
会津大学
東日本国際大学
いわき短期大学
茨城県立医療大学
明海大学
国際武道大学
了徳寺大学
帝京平成大学

第一分科会／学生の主体的な学び（Aグループ）
報告：仙台青葉学院短期大学　遠藤　康裕

班員：松澤衛、遠藤康裕、吉田朗、安食透
河合規仁、市川毅、白川憲吾、橋爪孝夫
【討論内容】

・学生主体型授業、アクティブラーニング、授業外学習、ラーニングコモンズについて各校の取り組みを報告した。
・山形大学では、「山形を学ぶ」の授業内で地域でのフィールドワークを行っている。地域がキャンパスという考えのもと、学生の主体的な学びを目的としていると報告された。
・帝京平成大学では、球団とコラボして商品開発や球場ガイドを行っている。職員がバックアップして企業や役所との連携を図っていると報告された。
　授業外学習としては、オンラインでの課題提出を行っている。教員のチェック、コメントもオンライン上で行い課題のキャッチボールができる。Project base learningでは評価方法の妥当性に悩むことがあると報告された。
・仙台青葉学院短期大学では、実技科目で反転授業を行っている例もある。また、CBTを導入予定で授業外学習やオンライン上での課題提出も推進していく。ラーニングコモンズも運用開始予定で、学生ラウンジの利用とオフィスアワー有効活用を考えていると報告された。
・東北文教大学・東北文教大学短期大学部では、ラーニングコモンズについては図書館を中心に整備されている。効果的な運用方法については教員も分からない部分も多い。アクティブラーニングについてはグループ学習を積極的に取り入れているが、学生が主体的に課題をみつけてとまでは至っていないと報告された。
・東北芸術工科大学からは、学生のモチベーションは比較的高く、学生主体型授業を行うにあたっては、何を目的にしているかとはっきりさせたほうがよいと考えていると報告された。その点では、主体性、社会性、解決能力がポイントとなるだろうとのこと。
・北翔大学では、ポータルサイトを利用した教員と学生のやりとりと積極的に行っている。ラーイングコモンズについては、環境は大事だがそれだけでは不十分でそこに誰がいるかが機能を向上させるポイントになるだろうと意見があった。
・その後、ラーニングコモンズについて意見交換がされた。その中では、環境面の整備としてただ学習スペースを設けるのでは活発な利用はされない現状があがり、学生が勉強したときにできる環境が様々な場所にあることが重要ではないか、飲食禁止などの制約を設けすぎないことが必要といった意見があがった。ソフトの問題では、人員配置について現状は退職後の非常勤講師や大学院生、SA、常勤教員を利用しているが、大学院生、常勤教員の配置では効率的な利用には至っていない現状も挙げられた。モデルになる大学はあるが自校にあった運用方法を見つける必要があり、“学びあいのコミュニティ”、“コモンズ”といった考え方が重要ではないかとの意見も挙げられた。
・学生主体の活動として、オープンキャンパスの取り組みも意見交換された。
・能力形成、学生育成の観点からは、専門外の学びも重要で、そのために学科間のつながりも必要だろうと意見があがった。また、言語化できる能力を育てる必要でも話し合われた。

第二分科会／大地連携（Bグループ）
報告：仙台白百合女子大学　志水　田鶴子

参加者：苫小牧駒澤大学　植木哲也氏　山形大学　阿部宇洋氏
　　仙台大学　高橋　徹氏　いわき短期大学　首藤　晃氏
　　山形県立保健医療大学　横尾　美聡氏
　　茨城県立医療大学　長坂　雄介氏　北翔大学　千葉　道博氏
　　仙台白百合女子大学　志水　田鶴子

＜大学が行う地域貢献をテーマに話し合おう＞
話し合いの方向性
　今回の参加者は必ずしも地域連携を担当している人ばかりではないので、学祭を切り口に考えていこう

　山形保健医療大学は学祭に花火を打ち上げている。茨城県立医療大学は商工会と阿見町の役場と大学と合同で開催（１日目）　商工会は販売、催し物を開催、学祭に参加できる、１日目の学園祭には芸能人を呼んだり深夜番組が来たりしているときに整理券を配って地域住民が参加しやすいように工夫している。医療大学としての大学祭の盛り上がり今ひとつとも思う。県立の医療大学の学生として地域と仲良くすることに意義を見出しているわけではない。
　学生から教職員をどう巻き込んでいけばいいのかが悩み。
　山形大学では学祭担当はサークルになっている。また、山形大学工学部と米沢女子短期大学は合同で開催している。米沢キャンパスの場合大きなイベントは山形大学工学部で米沢女子短期大学では小さなブースを開催している。フィールドワークの受講者からは地元に伝わる子ども歌舞伎を呼んで紹介してはどうかという案が出た。刺し子のブースを作ったりしている。学生が大学のある地域に愛着を持てれば、住み続けたいと思うし、貢献したいと思う。大きなことはしなくても小さなことの積み重ねができる。
　地域のことを知らない、活躍している地元出身のスポーツ選手のこともなかなか知らない。地域のことを知り視野を広げることが大切。学生が地域に愛着を持てるように働きかけるという視点はこれまでのベクトルが違うのでいいのでは。
　地域を知ってもらうきっかけになり得る。地方から中央に出ても、戻って来ることができればいい。
　北翔大学・北翔大学短期大学部は、江別にある他の３大学と江別市が協働していること、大学間で協力してイベントやプログラムを企画している。商店街で店を開店している。
　産学連携（大学と中小企業と町）して医療系の新しい商品を生み出して欲しい、といった取り組みもある。中小企業の持つ技術力と大学の医療ニーズをマッチングして商品を生み出している。

＜話し合いから得られたキーワード＞
　小さなことからコツコツと。
　コストをかけずに知恵を出して地域に活性化する

第三分科会／入試から卒業までの学生支援（Cグループ）
報告：青森中央学院大学　葛西　崇文

C班では、自己紹介の後、主として(1)オープンキャンパスについて、(2)入学者確保を目的とした奨学金について、(3)留学生支援について、(4)卒業生の実態把握について、以上4つの話題について意見交換を行った。

(1)オープンキャンパスについて

直前の協議会において、オープンキャンパスと出願の有無には強い関係があるとの説明があったことから、まずはオープンキャンパスの実施方法や回数について、意見交換を行った。共通点としては、学生、教員、職員それぞれのブースを設けて、来場者に対応できるようにしている点や、バスを手配して無料で来場できるようにしている点があった。

特にオープンキャンパスに力を入れている大学では、オープンキャンパススタッフがおそろいのTシャツを作成したり、オープンキャンパス後にしっかり反省会を実施して次回以降に活かしたり、マニュアルを作成して対応を統一したりするなどの取り組みを行っていた。

実施回数については、3回程度実施している大学が多い一方で、毎月実施しているという大学もあった。ただし、毎月実施した場合には参加者が分散し、月によっては参加者が少なく閑散としてしまうため、その点はフォローが必要である。また、運営に参加している学生を無償ボランティアにしたことで学習意欲が向上したり、オープンキャンパスを申し込み制にすることで参加者が増える事例も紹介された。

他にも、オープンキャンパスや高校訪問など、対面でコミュニケーションを行う場面が多い活動においては、コミュニケーション能力が高い学生、教員、職員が適役であるという認識がどの大学でもあった。そのため、役割が偏りがちになってしまったり、特定の分野の説明はうまくできるが、それ以外の説明が不十分になる場合があったりするなど、共通の課題も話題に上った。

(2)入学者確保を目的とした奨学金について

入学者の確保を目的とした奨学金については、C班参加者が所属する大学の学部特性や、設置主体の違いにより、多様な現状があった。

体育系の大学においては、競技力の高さを基準とした奨学金がある。また、学力を基準とした入学時、入学後の奨学金を設けている大学もあれば、母子家庭・父子家庭を対象とした奨学金を設けている大学もあった。一方で、JASSOの奨学金のみを提供している大学や保育士養成校を対象に各県が用意している奨学金を提供している大学もあった。

ただ、どのような奨学金であれ、しっかりとした基準を設けることは重要である、例えば競技力の高さ、と一口に言っても、競技による差が大きいため、奨学金の非受給者が納得できるような基準の設定と説明が求められるだろう。

(3)留学生支援について

日本人の新入生に対する支援はどの大学でも実施しているところであるが、留学生に対しては、いっそうの支援が求められる場合がある。そこで、3つめの話題として、留学生に対する支援の状況について、意見交換を行った。

留学生の在籍数は、C班参加者が所属する大学により大きく差があった。ただし、チューター制度を導入し、教育面だけではなく、生活面も含めて全般的に支援している大学が多かった。他にも、新入生を安心させる方法として、同じ国の留学生が空港までの出迎えを行う、あるいは職員の出迎えに同行するという方法が紹介された。

どの大学でも、留学生はどうしても同じ国の出身学生同士でのみ交流する傾向があり、他の国から来た留学生や、日本人学生と交流が深まらないこともある。このような状況を解決するために、クラブ活動で一緒に活動させる、留学生と遊ぶためのサークルを活用する、各国のお祭りをキャンパス内で実施するなど、各大学で実施している、あるいはこれから実施を検討している案が紹介され、どのように日本人学生と関われる機会を確保し、提供していくのかについて意見交換を行った。

(4)卒業生の実態把握について

4つめの話題として、卒業生の実態把握について意見交換を行った。これは、いくつかの大学において、卒業生を対象としたアンケート調査を行ったところ、アンケートの回答率が非常に低く、そもそもアンケートの送付先住所も不明であった事例に基づくもので、その解決策が無いか、議論を行った。

大規模の大学では、クレジット会社と契約して、カードを発行し、その際に連絡先を確保しているという。ただし、大学がクレジット会社から連絡先を提供してもらえるとは思われないため、クレジット会社の郵送物にアンケートや寄付のお願いなどを同封しているようである。

小規模の大学では、このようなサービスは実施が難しいため、教員の写真を印刷したはがきでアンケートを実施した例や、在学中に愛校心をしっかり育成すること、寄付であればクラウドファンディングを利用するなどの案が出された。

同窓会の開催や寄付金の募集、卒業生の状況把握など、どの活動にも共通することであるが、大学側だけではなく、卒業生側にも、その活動に参加する・反応するメリットが明確でなければ、なかなかリアクションは得られないだろうという意見もあった。また、卒業生全員を把握するのは難しくても、特定のクラブに所属していた学生を見つけるとか、特定のゼミに所属していた学生を見つけるなど、ある程度小さいグループの卒業生から把握していき、それらの小グループを束ねることで、結果的に卒業生の大部分を把握する、と言う方法もあるのではないか、との意見も出された。

第四分科会／連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用（Dグループ）
報告：富士大学　熊谷　哲孝

司会：盆子原　秀三　（了徳寺大学・理学療法学科）
発表：関沢　和泉　（東日本国際大学・東洋思想研究所）
記録：熊谷　哲孝　（富士大学・IR委員）

本グループでは、「学生が評価する授業とは何か」をメインテーマとし、そのアセスメント方法の１つとして授業評価アンケートを取り上げ、各大学の取り組みの紹介と直面する問題・課題について議論した。議論を始めるにあたり、各校の現状について話し合ったところ、次のことが挙げられた。

・アンケートをFDネットワークつばさのフォーマットから、独自のフォーマットに変更して実施した。しかしアンケートを実施しない教員がいて、第三者評価で実施率の低さを指摘された。
・アンケートにコメントを付して学生にフィードバックすることを推奨しているが、大規模（大人数）の授業では難しい。
・自由記述に講義についての文句、悪口等が書かれることがあるが、たとえ少数意見であっても、それはそれできちんと取り上げるべきでは

ないかという指摘があった。
・アンケートをオンライン化して実施すると、回収率が30%程度になるという指摘があるが、それだけ回収できれば十分であるという意見もある。

続いて授業評価アンケートを実施するモチベーションについて、学生、教員、そして機関（法人）がどのような意識を持っているのかを仮定してみた。

・学生：アンケートは何のために、しかもこれだけたくさん（各授業で）に実施するのか。
・教員：授業を厳しくすると、評価も厳しく（低く）なる。
・機関（法人）：実施には様々なコストがかかるが、果たして費用対効果を期待できるのか。

この仮定を参加者間で共有し、具体的に次の（1）～（3）について議論した。

（1）アンケートの実施方法について
実施に際し、回答する学生の匿名性をどれだけ担保できるかについて議論した。ある大学ではアンケートを実施する際、アンケート用紙の配付と回収は学生に任せ、授業担当教員は教室から退出するルールとしているが、教員の中には自由記述欄に批判的な内容を記入した者を、その筆跡から特定し、意図的に成績評価を低くした事例があったとのことである。このための対策として、現在は明らかに理不尽な内容（いちゃもん？）が書かれたものは最初から除外し、且つ筆跡から本人が特定されないように事務職員が自由記述欄の内容を代筆した上で、担当教員に引き渡しているとのことである。このようなこともあり、アンケートを電子化してパソコン、スマートフォン上から実施することも検討しているとのことだった。電子化することの利点について、人的コストの大幅な抑制や成績との紐づけによる多様な分析の可能性が挙げられる一方で、欠点として、新規でシステムを組むことの難しさ（特に費用の面）が挙げられた。このことについて、グーグルが提供するアンケートフォームの利用可能性が出されたが、教育機関が果たしてそのようなサービスを利用してよいのかという疑問が同時に呈された。
この他に、アンケートの利活用について、学生の記述に対してコメントを付して返却すること、実施が授業期間の中間（途中）ならば、アンケート結果をその後の授業に反映させること等が挙げられた。なお、カリキュラムへの反映の有無という点も出されたが、事例としてはほとんどないのではないかという見解にまとめられた。

（2）アンケートの限界と代替えについて
アンケートの限界について、出席者より次の指摘があった。

・どれだけの学生が本当に授業の良さを評価しているか。
・クラスの規模（受講人数）、自ら選んで履修した授業か、によっても評価が変わるのではないか。
・自由記述に「(その授業が）楽しかった。」とする者の評価が高い傾向にある。

これらの限界を代替えするものとして、「質的調査」と「公開授業」が提案された。具体的には、この種のアンケート調査では、いい加減（適当）な回答が散見されるので、アンケートの質の面を保証する意味で、学業成績上位者の一部に依頼してよかった授業、その良かった点を挙げてもらうことや、真面目に授業に取り組んでいる学生の声をもとに、「良い授業とは何か」を明確化する等が挙げられた。また、教員同士がお互いの授業を参観する公開授業は、新任教員に対して実施していることや、公開ではなく、相互訪問という形式にしていることなどが紹介された。

（3）IRに関する今日的な課題
ディプロマポリシー（以下、DP）で示される能力の測定をいかに実質化していくかについて、各大学で行われる基礎力テスト、各授業での評価の積み重ね、そして外部業者テストの実施が議論された。この中で、外部業者テストの内容とDPのマッチング、企業とDPのマッチング、そもそも学生の成長をどのように測定するか、またそれらが果たして正確に測定可能なのかが挙げられた。またDPに関して成績評価との関連に着目し、授業で課す最終レポートをDPの観点から成績順に「高・中・低」の3種類に分類し、それぞれのサンプルを示して評価の理由を説明してもらう等が挙げられた。

第四分科会／連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用（Eグループ）
報告：八戸学院大学短期大学部　澤井　睦美

小田隆治（山形大学）、釜澤萌（明海大学）、清澤朋子（青森中央短期大学）、澤井睦美（八戸学院大学短期大学部）、本間浩二（鶴岡工業高等専門学校）、山口忍（茨城県立医療大学）

（1）問題提起
共通の問題として・・・

「FD/SD活動を通して得た（蓄積された）データはある」
これらをどのように分析し、活用していくのか？

・IRの全体像…各校（規模・資金・理念等）によって違ってくる。
・エビデンス作成のための人員・コスト（時間・労力等）に見合っているのか？
・特に小規模大学や短大では通常業務で手一杯なところに加わるので、コストパフォーマンスを考慮しつつ、戦略的に進めていく必要がある。
（疲弊していく…）
・IRについても「形（委員会などの組織）はある」、「データの蓄積もある」

⇒「さぁどうする？」目的が後付けになっている現状

⇩

「何を目指して大学を良くしていくのか？改革していくのか？」
焦点を絞り、目的に合った（実現可能な）最小限のデータを取る

⇧

アドミッション・ポリシー
カリキュラム・ポリシー
ディプロマ・ポリシー

（2）IRデータの活用方法
①授業アンケート
・教員の中にはアンケート実施に消極的な（抵抗する）人もいる
⇒実施率100%にこだわらず、少人数でも継続していく中で結果を開示していくことが必要
・レーダーチャートとして示し、授業の弱点を認識し改善に繋げ

ていく。

・各教員へのアンケート結果のフィードバックは勿論のこと、学部・学科長（や各部署・組織・集団）へのフィードバックにより、学部・学科等所属部署全体としての分析も必要。

・低評価の授業に関しては、学部・学科長が面談を行う大学もある。

②授業内における学生評価（学習成果の可視化）

＜実践例の紹介＞

・授業内での教科スキル（知識、技能・技術等）に加え、態度や意欲などを項目別に可視化する（ルーブリックの活用）

⇒学生にフィードバックすることにより毎時間の課題を認識できるようになる

⇒課題が明確化されることで、授業を追うごとに学生自身も自分の変化や成長を自覚できる

⇒教員自身も自分の授業の質の向上に繋げることができる。

・PROGテスト（基礎力の測定と育成／リアセック）の利用

⇒学士力・社会人基礎力を測定し、数値化する（入学時～卒業時）

・eポートフォリオの活用…学生自身の学習履歴（「学び」に関わるあらゆる記録）をデジタル化し、それまでの学習過程の中でテストや点数では測定できない能力や成長を評価する。

③その他

・GPAの活用について（各大学とも学内での活用はあるが、就職活動等学外で活用されているかについては疑問である／米国ではGPAはかなり重視されている）

・学習成果アンケートの活用について

・資格・免許取得と進級について（資格・免許取得が目標であるが、その副産物として自習時間が増えた。文系は特に具体的な目標があった方が良いかもしれない）

（3）IR活動を推進するための人員配置について

・インスティチュート・リサーチ専門教職員がいることが理想であるが・・・

・いない場合は、

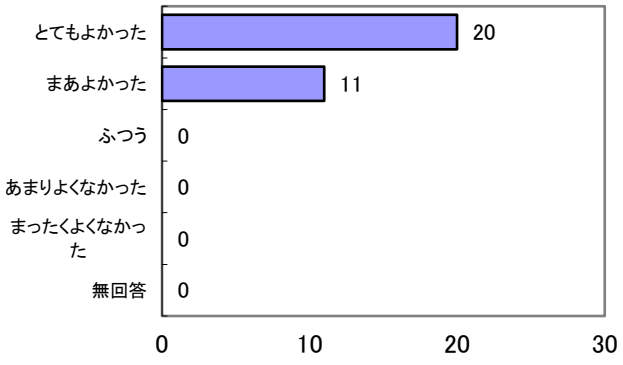
①大学・短大の「全体」をわかっている人「長」

② 事務の「全体」（経営・教学）をわかっている人・・・事務局（部）長（※特に、教員を巻き込み、舵取りができる事務職員の存在は不可欠）がメンバーとして入っていないと、うまく回っていかないケースが多いとのこと。

○第21回 ＦＤ協議会 アンケート集計

①　本日のワークショップはいかがでしたでしょうか？

（ｎ＝31）



②　ワークショップの良かった点を具体的にご記述ください。

・他大学でも同じような課題を抱えていることがわかりました。大変勉強になりました。参加して良かったです。
・他大学の具体的な取り組みと、その課題を聞くことができた。自校の抱える課題について意見をいただくことができた。
・色々な大学のラーニングコモンズの活用と注意するべき点を知ることが出来た。
・同じ悩みをかかえていたことがわかったこと、そしてその具体的な対応策がわかったことが大変良かった。ＩＲ、前向きにとりくみます。
・他大学の取り組みについて色々、じっくりと話を聞くことができた。本学での活動を異なる視点でとらえなおすことができた。
・各自が自分の大学の情報を持ち合い、議論ができたことは良かった。
・今、検討している課題の話題となり、いろいろな事例、見方、切り口を得ることができた。
・各大学との情報交換ができた。具体的な情報を得られた。
・分科会方式で小グループにしたことで情報交換が進みました。全体発表のシェアの際に小田先生がコメントしてくださることで内容が深まった感じがしました。
・各大学の取り組みが聞けた。
・熱心な議論ができたこと。
・各大学の具体的事例をお聞きすることができて大変参考になりました。特にオープンキャンパスの学生ボランティアの件は本学でも活用できるようにしたいと思います。
・日頃、自分の中で答えが見つからなかったことについて、大変助けとなるアドバイスをいただけたり、他校様も同じ悩みや課題を抱えており、その事について共有するだけでなく、次のステップへのヒントやアイディアもいただけた点。
・リラックスして自由にかなり深い話ができた。
・ラーニングコモンズについて色々と勉強させていただいた。
・他大学も同様の問題を抱えていることが理解できました。
・小さなグループで話しやすかった。
・率直な意見交換が出来た点。
・発表によって、他の意見交換・議論の様子が感じられ、ヒントが得られた点。
・自由に話が出来ました。
・学習成果の可視化等について、他校での取り組みについて伺うことが出来大変参考になった。
・具体的に話を深くすることができてとても良かったです。
・授業アンケート調査の結果、各大学で意味のあるデータとして把握することの重要性を感じた。
・学習成果、目標にした力が身についたかどうかは評価のあり方によって多様である。
・他大学の実例が参考になった。
・多くの大学の実情を知ることができた。
・問題点もあり、大学をとりまく現状を知ることができた。
・今後、各分科会の報告を読むことが楽しみである。
・他大学の方のお話を聞けるのは非常によい機会で、大いに刺激を受けました。
・「大地連携」は地域からの大学評価をどのようにして上げるのか、というイメージであったが、学生の地元愛を育むことで、学生から地元のためにできることについて発案されるようになり、それが大学と地域を結びつけるのではという考えを学ぶことができました。
・事務職で話題に入りやすい学園祭等のテーマで話し合っていただけたのはありがたかったです。
・各大学の取り組みを学ぶことができた。
・今回は職員が多いグループで気軽に話せた。また、先生方もとても優しくお話してくださり、とても良いディスカッションになった。
・他大学の取り組みを聞くことができました。行政や企業、大学等が協力し楽しいイベントを行っていたりと、工夫があり、そういうものであれば継続するだろうと思いました。
大学と地域だと、大学全体と地域全体ととらえがちなので、できること、学生が地域住民と顔の見える関係をつくり、地域に対する愛着心を育てていきたいと思いました。
・他大学の様々な取り組み事例を知ることができました。短時間ではありましたが、話題の深ぼりもできたと思います。今後の参考にしたいと思います。
・他大学の現状を聞くことが出来て良かった。
・ＦＤ業務に携わるようになって１年目ですが、まだ自分の知らないことが多くあり、まだまだ経験が足りないと感じました。しかし他大学のお話を伺い、自身の大学を話し、そこから学び、気づく点が多々あったので、とてもよい経験になりました。

③　ワークショップの改善点、あるいは今後のご希望等をご記述ください。

・分科会の討論内容の幅が広すぎるように思う。
・何を話し合うのか、その具体性がもう少し明確になっていた方が良いと感じた（大地連携参加）。
・事前に話し合う内容が分かっていればより準備ができる。
・前もって具体的なテーマを出してみてはどうでしょうか。4分野の中でも更に１ないし２つの事柄について情報交換する、と明確にすることも良いのでは。
・同じ分科会のため参加する分科会が決まってくる。毎回異なる大学で内容が異なるが、個人的には話すことが同じになってきた。新しい話題提供ができなく申し訳なく思う。
・なし

・リメディアル教育、学習支援のあり方等についてテーマとして取り上げてほしい。
・最初のテーマ設定がかなり広かったため、少し議論が散漫になったところがあった。参加者の興味がどこにあるのか、事前にアンケートをとることによって、防げるところもあるのではないか。
・今後も引き続きよろしくお願い致します。
・パソコンが用意されてあると、書記が記入したものを全員が見えるようにすると話の方向性がわかりやすいと思いました。
・初参加であったため、冒頭でワークショップの簡単な流れなどが示されるとよかった。
・特にございません。今後も、各大学が共通して抱えているトピックについて、他大学の意見を参考にしながらワークショップを行えたらよいと思います。
・特に「地方中小規模大学・短大を対象とした教育改革のためのチェックリスト」が良かった。大学の全教職員に回答させたいと思います。
・ワークショップがフリートークで楽しかったのですが（役割をとくに決めず）、フリートークでよいのであれば、あらかじめ伝えていただければ空気を読む時間（どうやって進行するのか）が短くなったと思いました。でも、とても刺激を受けました。山大の事務局の皆様ありがとうございました。
・テーマに沿って事前の資料提出があってもいいかと思います。レジュメでいいので。
・課題内容ごとの資料があれば良かった。
・

第22回 FDネットワーク“つばさ”FD協議会

はじめに

平成31年2月16日(土)に、第22回FDネットワーク“つばさ”FD協議会を山形大学小白川キャンパスにて開催し、２３校２９名の出席があった。

はじめに、小田隆治運営協議会議長から、FDネットワーク“つばさ”の平成30年度の事業報告，平成31年度の事業計画などついて説明があった。

次いで、第2部の事例報告では3校から各校での教育等での取組について報告があった。第3部では３つの分科会に分かれて、５～９人のグループで各テーマに沿ったグループ討論を行い、その成果を全体会で発表し合った。

協議会終了後の情報交換会では、今後の“つばさ”の活動について、活発な話し合いが展開され、充実した会となった。

(1) スケジュール

日時：平成31年2月16日(土) 13:00～17:15

場所：山形大学小白川キャンパス　基盤教育1（全体会場：121教室）

日程：13:00　開会の挨拶

【第１部】協議会（13:00～14:00）

①　「ＦＤネットワーク“つばさ”」平成30年度事業報告について

②　「ＦＤネットワーク“つばさ”」平成31年度事業計画について

③　授業改善アンケート実施方法の変更について

【第２部】　事例報告（14:00～14:45）　（各校１５分）

１．札幌大学　　FD担当副学長 スポーツ文化専攻教授 瀧元誠樹

「「日本武芸文化論」と「日本武芸文化演習」から

日本の伝統文化を学生とともに考える」

２．東北文教大学　人間科学部　子ども教育学科

教授、副学科長、教育開発センター長　河合　規仁

「OST（オープンスペーステクノロジー）によるFD 研修」

３．仙台青葉学院短期大学 事務局 長町キャンパス長 髙野 斉

「地域社会との連携活動について」

【第３部】　ワークショップ（15:00～17:15）

①　趣旨説明

②　分 科 会　［会場：124～127の各教室］

第１分科会：FD・SD研修会

（授業改善、カリキュラム改善、学習成果の可視化、教育企画など）

第２分科会：学生の主体的な学び

（学生主体型授業、アクティブラーニング、魅力ある授業など）

第３分科会：大地連携

（大学と地域の連携、フィールドラーニング、地域の活性化など）

③ 全体発表（16:20～17:15）

17:30～　情報交換会　（山形大学厚生会館）

配付資料

資料１　出席者名簿

資料２　FDネットワーク“つばさ”平成30年度の活動について

資料３　平成30年度実施事業

資料４　2019年度 ＦＤネットワーク“つばさ”事業計画

資料５　2019年度 授業改善アンケートの実施方法について

資料６　ワークショップ　分科会場とグループ編成

参考資料１　FDネットワーク“つばさ”加盟校一覧

参考資料２　FDネットワーク“つばさ”協議会要項

第２部事例報告資料

協議会参加者ポストアンケート

(2) 協議会模様



事業説明と２３校２９名の出席



事例報告



分科会

(3) 出席機関一覧

FDネットワーク“つばさ”

【加盟校】

山形大学
札幌大学，札幌大学女子短期大学部
北翔大学，北翔大学短期大学部
札幌学院大学
八戸学院大学，八戸学院短期大学
青森中央学院大学
青森中央短期大学
富士大学
仙台大学
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部
仙台青葉学院短期大学
山形県立保健医療大学
東北芸術工科大学
山形県立米沢女子短期大学
東北文教大学，東北文教大学短期大学部
会津大学
いわき短期大学
桜の聖母短期大学
明海大学
国際武道大学
了徳寺大学
北里大学
神奈川大学

第１分科会／ＦＤ・ＳＤ研修会　Ａグループ
報告者：国際武道大学　蜂巣　良太

班員：瀧元誠樹（札幌大学・札幌大学女子短期大学部）
石橋嘉一（青森中央学院大学）
益田裕司（東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部）
田口朋子（北里大学）
山本幾子（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）
後藤智（東北芸術工科大学）
蜂巣良太（国際武道大学）

本グループでは、ＦＤ・ＳＤ研修会（授業改善、カリキュラム改善、学習成果の可視化、教育企画）のテーマにもとづき活発な意見交換がされた。それらまとめたものを、瀧元誠樹が次のとおり発表した。

①ＦＤ・ＳＤ研修会について

研修会への参加率が１００％に近い大学は、教授会に合わせて実施をしているとのことであった。

ただし、マンネリ化しているところが課題として挙がっており、各大学の実施内容について意見交換がされた。具体例としては、学生のメンタルケアについて、接遇マナーについて、ハラスメントについて、感染症について、などが示された。

また、学生ＳＤについて、「学生ＦＤサミット」の事例を共有した。

②授業評価アンケートについて

ＦＤネットワークつばさ事業の授業改善アンケートや、自大学で実施している授業評価アンケートについて、実施方法や改善方法について意見交換がされた。

教員側が学生に何を聞きたいのかをアンケート設問にどう反映させるか苦労していることや、アンケート結果がどのように改善されたのかなど多くの課題を共有した。　中間アンケートを行い当該授業期間内に改善を促す取り組みをしている大学もあった。

その他、ワークショップで出た意見は次のとおり。

・アンケート結果を考察したものをＦＤ報告書として作成している。（学内のみ配付）
・試験終了後に、そのままＰＣ教室に連れていき授業評価アンケートを回答させるため、回答率はほぼ１００％である。
・Ｗｅｂで回答できるアンケート。掲示やメール、教員のアナウンスで自主的に回答させているため、３０％の回答率となっている。
・マークシートからＷｅｂ回答にしたことにより、面倒くさいからか適当にクリックする学生が増えた。
・設問数は５～６問程度にしている。設問数が多いと回答率が下がる傾向がある。
・マークシートをつけたことがないと思うくらい、マークをできない学生がいる。
・教職員で、マークシートを全てチェックし、不備があるところは修正していて手間がかかっている。
・Ｗｅｂで回答できるアンケートを構築しようと数社に見積もりをとったが、アンケート単独の会社はなく、全体の管理システムとパックになっている。
・アンケートを取るだけがＦＤだという意識が蔓延してしまい、形だけになってしまった。今後、抜本的に見直す予定である。
・アンケート結果の公表は、科目の平均点を大学ＨＰで公開している。
・アンケート結果の公表はしていない。教職員と学生のみ閲覧できる。
・学生の回答に対して、教員がきちんと答えると回答率があがる傾向がある。
・アンケート結果に対して若手教員は柔軟に対応するが、ベテラン教員はなかなか対応できない。
・講義系よりも実習系の授業の評価が高くなる傾向がある。
・アンケートの総合評価で優秀な結果の教員に、ＦＤとして発表をしてもらっている。
・大学スタッフとして知っておくべきこととしてＳＤ研修会を開催しており、大学の取り巻く環境や経営についての内容で、他大学の学長等に講演していただいている。

以上

文責：蜂巣良太（国際武道大学）

第１分科会／ＦＤ・ＳＤ研修会　Ｂグループ
報告：明海大学　鈴木　昌典

参加者　神奈川大学、札幌学院大学・札幌大学女子短期大学部、
会津大学、青森中央短期大学、山形大学、札幌学院大学、
明海大学

【討議内容】

・授業改善、カリキュラム改善、学習成果の可視化、教育企画等について各大学の状況が報告された。
・授業について、100分授業を実施している大学があった。検討したが、電車の関係で朝早く授業を開始するのが困難であったり、できない理由が多かったりなど、導入が進まない例も報告された。
・教育改革について、IR部門を設置しFactbookを作成している、新キャンパスの整備、ハローワークの制度を利用した長期人材育成コースの設置、等が報告された。
・FDについて、アクティブラーニングの導入で、教員の研修が増え負担が増している、改革総合支援事業等でFDの設問が増えているが、何から手を付けたらよいか分からない等の悩みや、授業評価アンケートについて、対象科目を減らすことで精度を上げる試みや、進級要件でTOEICのスコアを設ける等の取組みが報告された。
・小田先生から今後の動向についてお話しいただいた。
　・内部質保証が重要になる。
　・教育ディレクターの育成が重要になる。（教育ディレクターとは「学位授与の方針」，「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」を踏まえ，教育施策の実現に向けて必要な取組を実施し，学士課程及び大学院課程教育の質の保証の確保に資することを目的とする者。（山形大学教育ディレクターに関する規程より）
　・学生をどう育てたいのかという方針があり、教職員がその共通認識を持つことが重要である。

時間があまり多くは取れなかったが、有意義な情報交換ができたと思う。参加大学の皆様及び山形大学の関係者の皆様に感謝したい。

第２分科会／学生の主体的な学び　Ｃグループ
報告者：青森中央学院大学　葛西　崇文

C班では、自己紹介の後、主として(1)ラーニングコモンズについて、(2)学生FDについて、(3)アクティブラーニングについて、以上3つの話題について意見交換を行った。

まず、ラーニングコモンズについては、各大学の活用状況やC班参加者が知っている他大学の事例が紹介された。以下は箇条書きにて議論の内容を紹介する。

・ラーニングコモンズを設置し、利用者も多いが、組織的な活用に至っていない。
・利用者は多いが、どういう場合に、どれくらい使われているのかは把握されていない。
・ある大学では利用促進のために、さまざまな種類の座席を用意している。
・プロジェクタ等の設備を搬入すること無く使えることが重要ではないか。
・固定してあるパソコン教室ではうまくいかなかった授業が、可動式のパソコン教室ではうまくいった事例もある。
・同じ空間に2つ以上のグループがいると、互いに刺激になって学習が促進される。
・先生方に関心を持ってもらうために、あえてFacebookに掲載されるようなイベントをラーニングコモンズで行うことも必要である。
・ラーニングコモンズを宣伝する場合には、実際に学生が利用している様子を見てもらう方が良い。
・ラーニングコモンズではない場所（会議室など）を伝統的に使いたがるイベントもある。
・ある大学では、大学院生をラーニングコモンズで学生の指導役としていた。そのような仕掛けが、利用者を増やすのか。それとも、教員が課題などを課せば、自然にラーニングコモンズを利用するようになるのか。
・携帯電話で通話しても良い場所を設ける一方で、サイレントな場所もあるなど、空間設計をうまく行っている大学もある。
・図書館内にラーニングコモンズを設置している場合、飲食可能かどうかが大きなポイントになっている。学生の持つイメージとして、図書館では飲み食いできない、しゃべることができない、というものが強い。エリア分けして、実際にやれることを体験させて伝えて行くことが大切ではないか。
・大学の側が、学生に期待しすぎている。什器を置かないといけない、という発想が、使わなければいけない、という押しつけにつながる。
・廊下でもどこでもラーニングコモンズになりえるはずで、きれいな設備を持つ大学を真似ても、そもそも学び、考える習慣が学生になければ、結局は利用されない。
・教員の側でも、大学がどういう学生を育てたいのか、しっかり議論できているだろうか。そういう議論が無いにもかかわらず、ラーニングコモンズを作ってしまっているのではないか。
・ラーニングコモンズを設置する際に、そもそも学生の意見をきいていないのではないか。意見もきかずに設置して、さあ使え、なぜ活用されないのか、という姿勢はおかしい。
・学生の声を聴くことも必要であるし、何よりも大学にビジョンが必要だと思う。
・飲食を禁止する、しないという問題についても、学生に考えさせる機会があるべき。図書館内のラーニングコモンズで、もし飲食を禁止しなければ何が起きるのか、学生自身に考えてもらい、解決策を提案してもらえば良いのではないか。
・もしかすると、学生は要望してもいないものを、与えられているだけかもしれない。勝手に大学が与えたものであるならば、少し不具合や不自由があるだけでも、学生は使わなくなってしまう。
・ラーニングコモンズも「物」である以上、作って終わりではなく、育てていくことが必要。作って終わりではなく、古くても使ってもらうためには、どういう部分を改善すればよいのか、ということを、学生と一緒に考えていく仕組みを作る必要がある。

以上のような議論を経て、ラーニングコモンズについては、大学がどのような教育を行いたいのか、そのビジョンを明確にするとともに、ラーニングコモンズを設置する場合には、学生の声をしっかり聴くこと、学生にも考えさせることが必要であろうとの結論に達した。

この結論から、学生の声を聴くにしても、学生の中で核となる存在が必要であろうとの意見があり、ここからは学生FDに話題が移った。
学生FDについては、先進的な取り組みを実施しているC班参加大学からの報告が中心となり、

・現在15人程度の学生が、FD委員会の下部組織である学生FDとして、大学の改善に取り組んでいる。
・どの大学にも数%程度は大学を良くしたいと考える学生がいるので、そのような学生から忌憚の無い意見を聴く機会を設ける必要がある。
・意見を聴くだけでは無く、どう実現していくのかも考え、学生には「大学を変えられる」という実感を持ってもらう。
・”つばさ”の学生FD会議でも良いし、全国の学生FDサミットもあるので、そういったイベントへの参加をきっかけにできるのではないか。
・授業のグループワークの際に、ファシリテーターとして学生FDに参加してもらうことで、後輩のリクルートにもつながる。
・学生FDの活動を通じて他大学の学生と交流できれば、国立大でも私立大でも、同じ学生として大差ないことがわかり、自大学内の学習や活動に前向きに取り組むことができる。
・活動開始時は1人からだったが、数年かけて組織を大きくしていった。
・学生FD会議や全国のサミットに参加することで、学生FDメンバーのファシリテーターとしての能力を向上させていった。

といった経緯が紹介された。どの大学にも、大学を良くしたいと考える学生がいる一方で、予算の確保や、担当する教員・職員の連携と熱意も必要であり、時間をかけて徐々に学生を育てていく事が必要であるとの認識を共有した。

次に、ファシリテーション能力などを持つ学生を育成するための一つの手段として、アクティブラーニングが話題となり、意見交換を行った。

・様々な手法があり、それぞれについて具体的に聴いてみたい気持ちもある。一方で、学生は講義の中でも主体的に動くこともあるし、先生方もそれぞれ工夫して授業を行っている。
・アクティブラーニングと言っても、科目によってかなり差異があると思う。授業中に相談し合っても良いことにしているし、あらかじめ能力の高い学生には、チョコレートをあげるなどしている。
・チョコレートをもらった学生は、進度の遅い学生に教える立場になる

ため、そういう点では、アクティブラーニングになっている。
・ある大学では、成績がSの学生にアルバイト代を支払って、進度が遅い学生に教える立場として関わるような制度を設けている。
・国家資格の取得が必須である学部、学科の場合には、どうしても授業内容が受験中心になってしまい、アクティブラーニングに重点を置けない実情もある。
・職位の高くない若手の教員が、学生と他の教員との間に入り、学生の学びについてアドバイスできている面もある。
・一方的な講義から、どのように発展させていくかがカギだと思う。自分の授業では、スマホの利用を認めている。学生には授業後にレポートを課しているので、スマホでメモしたり、調べ物をしたりさせている。その結果、学生は授業中にスマホで遊べなくなる。
・今はインターネットで何でもすぐに調べられるため、国家試験の内容も、暗記中心ではなくなるのではないか。そうなれば、これまでの物差しで学力が低い、とされてきた学生でも、新たなチャンスが生まれるのではないか。
・ただし、それがどのようなチャンスなのか、その学生には何が良いのか、個別に見つけてあげることはなかなか難しい。
・インターネットで何でもわかる時代とはいえ、例えば統計の授業であれば、計算式などの基本的なスキルや教養はきちんと身につけることも大切であると思う。
・アクティブラーニングの定義が、未だに曖昧であることも問題であるように感じる。しかし、〇〇でなければアクティブラーニングではない、という考えでは無く、様々なものがあって良いのだ、ということに気がついた。
・学びとは、自転車の乗り方のようなもので、一度覚えれば、20年経過しても忘れないことを指しているように思う。そのような学びが成立するには、何を教えれば良いのか。学生は、何を覚えているのか。
・学生が自分で手を伸ばしてつかみ取ろうとしたものは、時間が経過しても忘れないものであると思う。
・情報処理の授業でも、何か例文をタイプしなければならないなら、他の授業で覚えなければいけないことを、タイピングの例文として使えば、学生は自然にその内容を覚えるのではないか。
・教員同士がコミュニケーションを取り、ある先生がAについてここまでやっているなら、自分はAについての応用部分から教えれば良い、といった連携はあっても良いだろう。他の先生がすでに教えていることを、無意味に繰り返す必要はない。
・カリキュラムツリーを作成している大学も多いと思うが、教員同士がもっと情報を共有し、連携することで、アクティブラーニングをより良いものにできるのではないか。
・科目の接続や、重複について考える中で、どのような学生を育てたいのか、ということを必然的に考えることになると思う。
・ある学科では、チームティーチングを行っており、担当している教員も入念に準備、打ち合わせする中で、授業の質が飛躍的に向上している。教員同士の情報共有は、非常に重要であると思う。

以上のように、アクティブラーニングについても、最後は大学としてどのような学生を育てたいのか、そのビジョンを明確にすることが最も重要であるとの結論に至った。

ラーニングコモンズ、学生FD、アクティブラーニングと、3つ異なる話題について議論や意見交換を行ったが、結果的にはいずれも、そもそもどのような学生を育てたいのか、どのような大学にしたいのか、というビジョンがなければ、どれも始まらないという共通の認識・結論に至った。

第３分科会／大地連携　Ｄグループ
報告者：山形県立保健医療大学　横尾　美聡

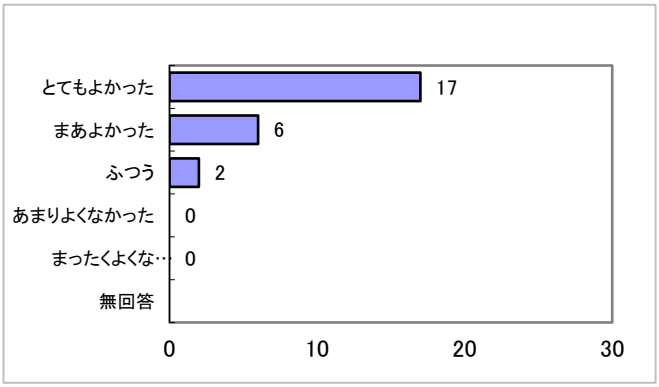
班員：千葉道博、岩井千華、髙野斉、風間良則、横尾美聡

討論内容
・大学と地域の連携、フィールドラーニング、地域の活性化などについて各大学の取組や現状を報告した。
・北翔大学では、地域連携センターを設置し、ボランティア募集の窓口等を担っている。江別市主催のコンペに市の依頼で参加した実績もあり、地域と密に連携している。学生FDも盛んで、大学がある江別市を活性化させる取組を学生たちが主体的に考えている。
・桜の聖母短期大学では、生涯学習センターを設置しており、講座を実施し地域の方へ開放している。授業として、フィールドワークを中心とした「福島学」という授業を実施している。
・山形県立保健医療大学では、「地元ナース養成プログラム」を実施しており、地域の小規模病院と連携して看護職の養成に取り組んでいる。学生の教育課程で実習が必要なこともあり、地域の病院と密接に係わりながら授業を行っている。
・国際武道大学は、地域における学生の比率が高く、地域の住人数のうち10%が学生となるほどである。そのため学生と市民がかなり身近に生活している。市民と学生と企業が協力し、廃校を利用した「僕らの文化祭」が開催されている。
・仙台青葉学院短期大学では、建学の精神に「地域社会に貢献し得る実学教育」を掲げ、各学科が様々な地域貢献活動に取り組んでいる。また、Seiyo-USRという学内資源と地域ニーズのマッチング活動で、研究成果の地域還元や、地域貢献・振興等に努めている。
・様々な取組や現状の中、大学と地域の連携における学生のボランティア活動が取り上げられた。市町村などからボランティアのオファーが来る場合、大学が窓口となるが、人がなかなか集まらず困っている、といった内容が主な課題として挙げられた。
・短期大学や学生の専攻によっては授業やアルバイトが忙しく、ボランティアのような社会活動に参加する時間がない場合もあるとの意見があった。
・ボランティアを必修の授業に組み込んでいる大学やボランティアサークルのある大学もあり、きっかけづくりとしては有効であるとの意見があった。
・前述の「僕らの文化祭」については、公的機関が介さない活動であるため、地域と学生の新しい結びつき方のよい事例であるとの意見があった。
・ボランティアについて、学生が主体的に取り組んだ方が学習としてもより良いものになるため、学生の主体性を促せるような募集方法や、自主的に取り組んでもらうためのきっかけづくりが必要などと話し合われた。

○第22回 ＦＤ協議会 アンケート集計

①　本日のワークショップはいかがでしたでしょうか？

（ｎ＝25）



②　ワークショップの良かった点を具体的にご記述ください。

・他大学の「今」を聞くことができた点。自分の大学行われていないことを知ることができた。→学生がＦＤに参加することは考えたことがなかったので。

・活発な意見交換ができた。抱えている課題へ相談することができた。（他大学の事例を参考に）

・他大学のテーマに対する取組や様子が情報交換をする中で把握でき、自分の大学の中にも情報提供できると思った。今回初めての参加だったがとても勉強になりました。

・何をするにしても結局はビジョンが大切だと改めて確認できたこと。

・オープンスペーステクノロジーの手法は勉強になりました。認識の共有のために取り入れてみたいと思います。

・他大学の先進的な事例を多く勉強することができました。もっと勉強して動いていかなければと刺激になりました。（事例報告も勉強になりました。ありがとうございました。）

・ラーニングコモンズ、アクティブラーニングについて話し合いそのあり方、現状を確認することができた。各大学の特色がわかったこと、多角的に物事を考える事が大変貴重な時間となっていた。

・他大学の新しい取組を聞くことができたことは収穫でした。

・（第一分科会）各大学のＦＤ／ＳＤの現状、具体的な事例を知ることができた。つばさの授業アンケート返却後、各大学でその結果をどのように活用すべきか議論できた。

・あまりがっちりテーマに縛られることなく、いろいろ聞きたいこと、話し合いたいことができた。

・同じ意識を持つ人たちと出会え、解決策をともに考えられた。
事例報告の内容に基づき分科会で議論し発展させることができました。

・他大学の実情を知ることができました。参考になる部分もありましたので、職場に戻り報告したいと思いました。提案できること（短期間・長期）の考える事ができ、個人的には短時間でありましたが、とても収穫がありました。ありがとうございました。

・改めて「どのような大学をつくり、どのような人材を育成するのか」を考えること、共有することの大切さを認識することができた。他大学も自学と同じ課題を抱えていることが理解できました。みなさんから元気をもらえた。

・時間は少なかったが短い時間でも集中して議論することができました。

・他大学との情報・悩み共有。

・他校の現状をうかがえたので、本学の課題対策に役立てたいです。

・他大学の状況がよく分かった点。（ＳＤ研修の課題など）

・短時間でしたが、だからこそ集中した情報交換ができた。学内の上司は、こうした時間を、どうせ情報交換ちょろっとだろうと評価を低く見ている印象もあり、行く必要があるのかとなりつつあります。

・学生に対する考え方の違いがわかって良かった。

・他大学の情報をたくさん知ることができて良かったです。初めて参加しましたがとても勉強になりました。ありがとうございました。

・他大学の方から様々な具体的な意見がうかがえてとても良かったです。

・多くの大学の事例を聞くことができた。話しやすい雰囲気で良かった。

・各大学の課題、問題点について、率直な意見交換ができた。学生ＦＤに関する情報もいただき大変参考になりました。本日はありがとうございました。

・実は初めて分科会で発表者をさせていただきました。（ＦＤ合宿セミナーでは1度ありましたが。）時間は4分30秒。2点欠陥した箇所も補足できました。

③　ワークショップの改善点、あるいは今後のご希望等をご記述ください。

・テーマが広かったので、話の流れが飛びがちになってしまった。（それはそれでおもしろかったが）一点をふかめるのであれば、テーマを絞った方が良いと思う。

・事例報告を元にグループでディスカスションしてもよいと思った。

・あらかじめ部屋を暖めておいてほしいです。手が動かず記録にさしつかえました。事例報告として、本学のＳＤ活動についてお話をさせていただく機会を楽しみに待っております。（第2部）

・各大学の事例報告は大変参考になります。今後も続けていただきたいと思いました。分科会では、普段聞けないお話がうかがえたと思います。もう少し時間があれば。

・時間が押してしまったため、時間が足りませんでいた。有意義な時間でいたのでもう少し話したかった。

・初めての参加でしたが、改善点が特に無いように思います。今後の希望は授業アンケート返却後、その数値、自由記述コメントをどのように各大学が組織的に活用し教育改善の具現化に取り組まれているのか知りたいです。各教員個々人に”返却されて終わり”になっていないかという反省点があります。小田先生の最後のセッションのまとめのお話に感動しました！また参加したいです。

・時間が短い。じっくりと話せれば。

・初めて参加させていただきました。ワークショップにはもっと多くの参加者があれば、より多くの意見を聞くことができると思いました。

・もう少し時間を長くしてほしい。第2部の事例報告もとても参考になりました。

・（ＦＤ関連）今後も事例報告を続けてほしいです。

・もう少し時間が合ってもよいかと思います。

・このままでよいと思います。ＦＤ参加者みんなでフィールドワークしたい。

・盛りだくさんの内容でしたが、まだまだ時間がほしいと思いました。研修会の機会がもっと増えるといいと思います。

・ワークショップでの分科会では、盛り上がり時間があっという間に感じた。もう少し時間が合ったらという気持ちにもなりました。

・第21回の協議会のワークショップに比べ短い時間でしたがしっかり話せて充実感があった。今後もこれくらいの時間でやっていただきたい。

・もう少し時間が長くても良いと思いました。

・敢えて言えばですが、はじめから発表者を決めていても良いではないでしょうか。

第 11 章

東北地域大学教育推進連絡会議

東北地域大学教育推進連絡会議
シンポジウム『東北地方にある大学・短大の
魅力的な教育の取組』

【開催日】平成 30 年 9 月 22 日(土)
【場　所】山形大学小白川キャンパス
【内　容】
事例報告
1. 桜の聖母短期大学
「小さな短大が地域に開くということ
～人生 100 年時代の生涯学習支援から～」
地域連携センター長・キャリア教養学科准教授
三瓶　千香子　氏
2. 尚絅学院大学
「時代を生き抜く『実力』を身につける大学へ
～尚絅学院大学の取り組み～」
副学長・教授　赤坂　和昭　氏
3. 東北芸術工科大学
「習うから学ぶへ変換『想像力基礎ゼミナール』」
基盤教育研究センター教授　柳川　郁生　氏
4. 青森中央学院大学
「キャリア教育におけるアクティブ・ラーニングの
実践－HOT-A プロジェクト－」
経営法学部准教授　森田　学　氏
5. 国際教養大学
「国際教養大学の全人教育：
英語・留学・共同生活で世界標準を実現」
参事兼学修支援室長　須田　幸子　氏
6. 岩手大学
「いわて高等教育コンソーシアム
『地域リーダー育成プログラム』」
人文社会科学部教授　後藤　尚人　氏

1. 桜の聖母短期大学
「小さな短大が地域に開くということ
～人生 100 年時代の生涯学習支援から～」
地域連携センター長・キャリア教養学科准教授
三瓶　千香子　氏

皆さんこんにちは。トップバッターで短期大学を選んでいただきましてありがとうございます。今日発表される皆さんの一覧を見ますと、授業の内容に関することが多いなと思いますが、私どもの方では、タイトルにありますように「地域に開く」という、いわゆる生涯学習の支援に関する事例を持って参りました。

桜の聖母短期大学という短期大学は福島市にございます。カトリックの修道会が母体になっているので「愛と奉仕の精神」というものが建学の精神のキーワードになっているんですが、ずっとシスターから聞いているキャッチコピーのようなものは「小さいけれど教育で輝く短期大学」と、もう一つが「生涯学習型短期大学」です。本学には、幼稚園、小学校、中学校、高校、短期大学まで、全てあります。ずっと桜の聖母しか知らないという学生はそんなにいなくて、大体外から入学する学生の方が多いんですが、理念は同じですので、そういう意味ではずっと学べるという短期大学でもあります。

学科一学年 100 人で、キャリア教養学科と生活科学科の二学科ですので、一学年 200 人でやっています。ですが、ご存じの通り、今はもう全国での短期大学の進学者自体が 12 万人ほどなので、私どものような私立の短期大学が定員を満杯にさせるというのは、ほぼほぼ夢のようでございます。ただ、この戦略を少し変えていこうというのが、今回の発表にも繋がります。

皆様のお手元の資料にもありますが、本学の本田由紀先生が、著作『多元化する「能力」と日本社会-ハイパー・メトクラシー化のなかで』で、こんな話をしていました。私もキャリア教育に関係しているんですけれど、基本的にずっと、18 歳が大学に入って、企業に入って、終身雇用という風に直線的だった、そういうふうに大人になれていた。ところが、だんだん延長・多様化ということで、親のすねをかじるというのではないですけれど、大人になるのに少しパラダイムといいますか、時間がかかるように変わってきました。現代はヨーヨー型というふうにも言われています。転職して、もしかしたら上手くいくかもしれないし、上手くいかないかもしれない、非常に複雑になりながら大人になっていくものであると言われています。

先ほど新幹線に乗る前に本屋さんに立ち寄ってきましたら、リンダ・グラットンの『ライフシフト－100 年次代の人生戦略』という本ですね、２年ほど前の発行ですが平積みにされていました。私、生涯学習が専門で、いわゆる精神教育のほうを主にしているんですけれど、この本の、どういうふうに年をとるか、どういうふうに人生を送るかというところのなかに、大事なところが三つありました。「無形の資産」というところです。

一つは「生産性資産」。学生にも話すんですけれど、知識というのはすごく大事です。あとは評判ですね、信頼です。アクティブ・ラーニングも研究しているので、プロジェクト型の授業をいっぱいやっているんですけれど、一緒にやっていくと、評判とか信頼という、ここが一番見えてくるというのがありますよね。形に出来ないもの、お金で買えないものというもののひとつです。一番、今のうちから土台にしないさいと言っているんですが。

二番は健康ですね。「活力資産」、ウェルネス。

三番は、生涯学習で成人の方々にお話するときにすごく重要だなと思っていて、かつ学生にも言うんですけれど「変身資産」。いわゆるヨーヨー型になっていくということで、どんな状況になっても変身できる、そこそこ食っていけるような、そういうスキルというか資産を持っている、そのためには何が必要だとリンダ・グラッタンが書いているかというと、新しい経験に対する開かれた姿勢です。

これは短期大学にも必要であろうというふうに学長にも言ってまわりました。硬直した短期大学の、18 歳の学生だけを相手にするというのは、もうそもそも経営的に難しいであろうということと、それから人生 100 年時代ということなので、大人の方々も大学で学び直したいというマーケットがあるであろうということで、本学はここに舵を切りました。

四年大学さんは、もしかしたら大人の方々、社会人入学生も多いのかもしれませんけど、短期大学ってわざわざ社会人に門戸を開いているかというと、そうでもないですね。全部調べた訳ではないですが、少なくても本学では社会人入学者というのは一学年に一人二人いるかどうかくらいですので、そういう意味ではもっと開いていきましょうということをやっております。

リンダ・グラットンのこの『ライフシフト』のなかに、大学はあらゆる層がいればいるほど、若者と中年と高齢者、お互いの世代間の価値観というものがいろいろ分かるので、お互いに深く知り、関係性を育み、ちょっと曖昧ですけれど、思いやりの精神が養えるのではないかというふうに指摘されていました。

もう一つ、同書では教育機関に期待することとして四つの課題が書いてあったんですが、短期大学にまずやれることはどれだろうと考えました。一番の「新しい学習テクノロジーと学習経験を取り入れること」は、経験学習、アクティブ・ラーニングを取り入れていけるだろう。本学で課題になっているのは二番の「年齢の壁を壊す」です。どうしても 18 歳の高校生に重心を置いているということがあります。それから三番「創造性、独創性、やさしさ、思いやりを教える方法について深く考えること」。年齢の差を壊してしまえば、教える方法やアクティブ・ラーニングとか、成人教育に対して、どういうふうに教えていくかというのも大事になってくるだろうと思います。四番「テクノロジーの進歩に対応するための実践的な専門教育を急速に拡大させること」は、本学は文系の短期大学なので、ちょっとテクノロジーに関することは難しいであろうと感じています。

まずやったことは、私のゼミなんですけれども、成人の方を生涯学習のゼミに入れまして、議論をしています。テーマは「地域の公民館にどうやって若者をこさせるか」ということです。社会教育とか生涯学習をキーワードにやっています。中身も大事なんですが、まず大人の人と学生をいろいろと議論させたいというのがありまして、大人の方々にもいっぱい短大に入ってもらいたい、一歩でも入ってもらいたいというのがあり、仕掛けをしております。

文科省の調べたデータ『平成 27 年度開かれた大学づくりに関する調査研究』よるんですが、地域社会に対する大学の貢献、取り組みみたいなものに何を期待しますか？というも問いのなかに、私どもが特にやっているものが三つありました。

一つは開放講座です。いわゆる公開講座をいっぱい実施して欲しいという希望があるんですけれど、私どもの生涯学習センターは一年間に 180 から 190 講座、大体 200 講座を目指してやっています。地域の方々の講師もいますし、本学の先生方にもやってもらっています。今年で 34 年目ですね。本学の歴史と同じになっているくらいです。文科省が「生涯学習」という言葉をあまり言わないうちからやっていました。

それから履修証明プログラム。今年これをスタートいたしました。年間 120 時間受講すれば履修証明出来るよと言うことですけれど、本学の授業とこちらの開放講座を組み合わせて、三つの講座を作って動いております。

それから拡張講座。地域のオファーを受けて、地域に講師を派遣してほしいというものは比較的あるんですけれども、「こういうことをやりたいんだけど、こういう講座ってどういうふうに作ったらいいんですか」という、いわゆる講座を作る、研修会を作るということについて、コンサルタントをしています。こちらのほうの三つを今、力を入れてやっています。

桜の聖母生涯学習センターの沿革・歴史としては、センターは今年で 26 年目なんですけれど、開放講座そのもの、「地域に開く」というのはシスターが本学に来てからすぐに始めているので、歴史がすごくあるんですね。

元々2003 年に GP(文科省「特色のある大学教育プログラム」)を生涯学習で採っているというのもありまして、ずっとこれまで地域に開くということはやっていたんですが、本学、本科の科目と結びつけるというのを今年本格的にやろうということになりました。開放講座についてはこちら(開放講座開始 33 年・講座開講数 192 講座・受講生延べ人数 1889 名)になっています。瀬沼先生という桜美林の先生から日本一だと言っていただいているんですが、大変恐縮しております。

中長期イメージとして、エンゲージメントカレッジというイメージがあります。地域にコミットメントしていこうということで、開放講座、受講生に来ていただくというの

は三十何年やっているんですが、いかに私たちが地域にコミットメントして、エンゲージメントしていくかということを、今ＨＰを含めて売り込んでいる、今動いております。

それから履修証明プログラムは県内初になります。三つ講座がありまして、一つ目は「サード(3rd)プレイスコース」ですね。サードプレイスというのは自分の居場所作りです。ワークショップを中心に、アクティブ・ラーニングを中心にしたコースです。それから「グローバルコース」。桜の聖母というのは英語学科がメインに出来ていた短期大学だったので、今も英語の授業は充実しています。ですので、学び直しでもっと語学を学びたいという方がいらしています。「リベラルアーツ探求コース」は比較的教養系です。日本国憲法ですとか、今は「池上さんのテレビ以上に知りたい」という方が来ていただいています。企画室長と学長が新聞社を回って、この履修証明プログラムを短期大学全学上げてやっていますと周知する動きをしています。

それから地域連携講座です。HP を後で見ていただければ分かるんですけれど、「講師派遣をしますよ」というのもそうなんですが、先ほども言いましたけれども、研修会とか自治体の出前講座の中身を相談して欲しいというのがありまして、コンサルタント的なものをやっています。去年は広島からもオファーがありまして、講師派遣とパックで動きました。

そして、今福島が抱えている課題のなかに「原発のあとの福島の被災地としての課題」というのがありますので、心に寄り添うというか『傾聴』というのをキーワードにしています。

秋田大学の先生に 3.11 の直後に来ていただいたときに「秋田は自殺率が非常に高い、第二の秋田に福島はなってしまわないように、医療的なものはもちろん県立医大があるけれども、心に寄り添って、心のケアというのをなんとか地域でやらないといけませんね」という言葉をいただきました。それで、とにかく傾聴というものをやっていこうということで、今県内にネットワークを張っています。

その中で「循環型生涯学習」として、学んだ人が講師になっていくということを今年からやっています。「傾聴ボランティア養成講座」を受講したこのおばちゃま方が、各自治体に行ってワークショップをやれるように、今年からなっています。これも講座を立ち上げて動いています。

こんな感じでいろんなものをやって、福島県内でいろんなネットワークを張って、傾聴ボランティア養成講座だけでもいろいろな講座を開いています。卒業生というか認定証を渡した方もこれくらいの人数(250 名)やっています。

地域に開くと言うことで、今の福島ばかりの問題ではないんですけれど、『孤立貧』という、基本的に孤立というものをどう払拭できるかというのを、福祉関係ではないけれども本学ならできるんじゃないかと考えています。短期大学というのは四年大とまたちょっと違って、より地域に根ざしているという特色がありますので、小さいながらそこを武器にやっていくというのを、今やっております。

地域の“知”の拠点を目指しまして、私が思うには「情報発信機能」が大切だと思っています。小田先生も仰っていましたけれど、とにかくやったことを発信する。HP に一日一件二件必ずアップするということも、うちの大学は今ミッションでやっています。それから「帰って来る場所」としてのホーム機能。「生きてたの？」というのもリアルな言い方なんですが、3.11 のときに「大丈夫だったの」という安否確認の場所に、生涯学習センターも含めてなっていました。そういう意味では帰る場所だなと思っていました。そして今力を入れているのがコーディネート機能です。いろんな所と結びつけていく、接続する場所としてやっています。小さく深くの原理を生かしまして、生涯学習、特に成人の皆さま方に門戸を開いて、大学を開く、プログラムを充実させていくということに力を入れています。

「サードプレイス」ですが、プラットフォーム型人材、X 型人材ですね。この人に聞いたらここと繋がるよね、みたいな人を沢山育成したい。学生も含めてなんですが、社会人に意図的にアクセスさせてやっていきたいなというふうに思っています。

最後なんですが、これから五年間はこういう方向性でやっていこうという地図です。中心が大きく四つあります。『中小企業型キャリアアップカリキュラムの開発』『履修証明プログラムの充実化』『3rd プレイスづくりの支援』『対話づくり・場づくりの人材養成』。

中小企業の中の人材育成みたいなものもプログラミングしていきますが、いかに、受講生の方々が受け身にならずに、アクティブに、講師になれるか、ワークショップが出来るようなファシリテーター、コーディネーターをどうやって作っていくかということを含めて、本学では学生と共にやっていくというのをミッションにしていきたいと思っています。

2. 尚絅学院大学

「時代を生き抜く『実力』を身につける大学へ
～尚絅学院大学の取り組み～」

副学長・教授　赤坂　和昭　氏

本日はこのような機会をお与えいただきまして、小田先生はじめ関係の方々へ深く感謝申し上げます。『時代を生き抜く「実力」を身に付ける大学へ』ということで、現在尚絅学院大学は 2019 年度の 4 月に向けて改組を計画しております。本日はその改組の考え方、ですから、まだ取り組み自体が完成を見たわけではございませんけれど、その考え方について、少しご紹介させていただきたいと思っています。

尚絅学院は今年で創立 126 周年を迎えております。仙台の南側にある、名取市というところの、丘の上にある大学でございまして、一学部で、社会科学系から自然科学系まで様々なバックグラウンドを持った学科六つから構成されている大学でございます。建学の精神は『キリスト教の

精神を土台として、自己を深め他者と共に生きる』。これを支える四本の柱として、「総合的人間力を養う」「身近な距離感」「現場を知る」「東北の力になる」があります。

「総合的に人間力を養う」は、一つのキャンパスに六学科があることで、多様な専攻の分野の学生が学び合うことによって、そのなかで協働する、共感を生みながら学び合うという環境を作っています。「身近な距離感」は、少人数教育をすることと共に、学生と教職員が一体となって、きめ細かな指導をして、さらに学生の主体的な学びを引きだそうということ。それから「現場を知る」。できるだけ外に出て行って、現場のなかで実践的な教育を行うことによって、リテラシーのようなものを生み出す。「東北の力になる」は、地域に根ざして、さらに世界を見据えながらも東北の力になるような学生を世に送り出したい、というようなことを考えて教育を行っております。

尚絅学院大学のサポート体制について環境面からご紹介します。先ほども申し上げました通り、丘の上にある大学ですので、なかなか居場所がないというか「ちょっと出て行く」ということができません。ですので「尚絅コモンズ」として、大学の中に学生の居場所をいっぱい作ろうとしております。ただし規模はそれほど大きくありませんので、大きな建物をドーンと作るという訳にもいきません。一つは図書館。それから学生が集える、グループワークができるようなラーニングステーション。それから自習が出来るよう小さく区切ったラーニングスポット。多目的に使え、飲食も出来るような場所コモンズカフェといったようなものを、キャンパスのなかのいろんなところに作り、どこに行っても集えるような空間作りをしています。

それから学習サポートセンターです。これは学びの躓きというものを防ぐというか、躓きがあるような学生に対するサポート、例えばレポート作成の仕方を教えてあげるとか、英語の授業にどうしてもついてこられないような学生もおりますので、そういった学生をサポートしていく。逆に、さらに一歩進んだ学びをしたいという学生もサポートできるように、個別指導であったり、グループ指導であったり、あるいは上級の学生がアドバイスしていくような形の学習サポートセンターも作って、学生の自主的な学びをサポートしています。

そして「実践的な教育を通して学ぶ」ということで、外に出て行って研究会に参加するとか、フィールドワークに参加するといった、外に出た学び。それから「地域と学ぶ」ということで、地域の様々な、例えば農業生産者の方々を学内に学び入れて学生がマルシェを開くといったような学生主体の学びというものをしながら、地域との結びつきを深めて、学びを、理解を深めていく。

名取市にございます大学ですけれど、津波被害とか震災でかなり大きな被害を受けた所であります。学生は震災直後にすぐに避難所に行ってボランティア活動をしています。そういったボランティア活動をさらにサポートするために、大学としてもボランティアチームを立ち上げまして、現在も被災者の支援を続けています。ただ、ステージがどんどん変わっていきますので、学生たちもそのステージに合わせた、どういったボランティアをしたらいいのかを考えながら、悩みながらも現在までボランティアの活動を継続している、これも一つの学びであろうとかというふうに考えております。このような実践的な学びをして、学生の育成を図っているというところであります。

またグローバルな視野を養おうということで、国際交流、海外留学などにも支援をしているところでございますが、先ほども小田先生の話にございましたように、例えば18歳の高校生が 30 歳になるまでにどういうことが問題になっているか、例えば貧困、饑餓、不平等、気候変動、少子高齢化、あるいはAIやIT技術の進歩、これによってどんどん働き方が変わってくるだろうこと。あるいは予想もつかないような問題がどんどん起きてくることが考えられます。持続可能な社会の形成には、一つの専門領域とか一人の専門家では解決出来ないような問題が山積しているということがございます。

これからの時代に求められるもの。一つは『キーワードは多様性』、それから『将来の人材需要は変わっていく』ということがキーワードになってくるのではないかということで、これからの高等教育には急速な社会変化のなかでも陳腐化しない、古くならない、普遍的なスキルでありリテラシーを学生に身に付けてもらう、それから強みとなる専門分野はもちろんですけれど、それをサポートする幅広い視野を兼ね備えた人材育成をしていく、こういったことが必要ではないかということで、改革を始めたところでございます。

尚絅学院大学の初代校長であるアニー・ブゼルの教育方針、これは110年ほど前に語った言葉ですけれど『単なる物知りではなく、働ける人。即ち自己の生存する時代の要求に応ずることのできる者を養う』つまり時代の要求に対して応える力を養うことが必要であると語っているわけです。これらというのは、今文科省が言っている学力の三要素にも繋がってくるのかなと考えております。

現在の、知識の体系的な修得から、時代の要求に応える力を一人一人の興味や関心に即して身に付ける、そういった教育を行うことによって、他者と共に生きる実力を育成していきたい。知識を課題解決に生かしていくためには柱となる専門領域の学びによって知識技能を身に付ける、そして思考力・判断力・表現力といったもので、理解あるいは知恵と呼ばれるものを磨いていって、それを実践の場で試してみる。主体性・多様性・協働性・人間性。こういったものを磨いていく。そうすると実践の場で様々な課題がまた出てくる。その課題をもう一度学びによって課題解決に結びつけていく。このサイクルを回していくことによって学生の自信が磨かれていく。そういった教育を目指していきたいということでございます。

また「教える」ティーチングから「学ぶ」ラーニングへの転換を計ることが必要であるということで、学科の再編

を考えております。本学では現在、総合人間科学部という一つの学部の中に、表現文化学科、環境構想学科、現代社会学科、人間心理学科、子ども学科、健康栄養学科と六つの学科がございます。これらの学科の中には学生と教員が共に所属しております。知識の体系的な修得ということを行っているわけですが、これを個々の興味に応じて「時代の要求に応える力」を身に付ける教育へ、ということで、個々の学生が学びを最適化することができる、オーダーメイドの履修が出来る体制に変えていく、そのために３学群５学類性に再編をするということを計画しております。

具体的には、表現文化学科、環境構想学科、現代社会学科、人間心理学科の人間学の分野、これを「社会について幅広く学ぶ５つの学びの領域」として『人類社会学群』に再編をします。そのなかの「現代社会領域」ここは地域社会の制度、あるいは政策といったものを中心的に学ぶような領域。それから地域の抱えている問題や経済、環境といったようなものを学ぶ「地域実践領域」。それから「都市生活領域」は、都市の中での都市デザイン、生活空間のデザインを学ぶ領域。それから「国際文化領域」、言語だけではなくて国際理解をするための文化を学べるような領域。それから、メディア言語や映像表現といったもので、情報をどうやって伝えていくかを学ぶ「メディア表現領域」。こういった五つの主な領域を持った一つの学部としてもってきました。

それから、人の幸せや健やかな成長を支えるため、心理学と教育学をひとつにまとめた『心理・教育学群』。このなかに心理学類、子ども学類、学校教育学類があります。心理学類は、これは公認心理士を養成するというようなことを念頭においております。それから子ども学類では、幼稚園・保育士の養成。学校教育学類では小学校中学校の教員の免許、国語と体育、特別養護教員の免許も見据えたような分野になりますが、こういった資格取得を主に目的としているような学部をここにひとつ。

それから管理栄養士の養成ということで、健康栄養学類。

この三つに分類をしています。『人文社会学群』は幅広い学問分野と現場体験を通して将来を最適化することを念頭に置き、『心理・教育学群』『健康栄養学群』この二つは資格取得に向け合格に寄り添うような教育を展開していくということであります。

けれどもそれだけではなくて、これらの学群間の垣根を下げることによって、学群を越えた学びも出来るような体制も敷いていくということでございます。学びを支える教員組織は、これまでの学群に教員が張り付く学科制ではなく、総合人間科学系という一つの組織の中から全ての学群の教育に関われるような体制を敷いていくことを計画しているわけでございます。

これによって、2000 名弱の規模でございますけれども、中規模大学の良さ、学群制の特長を生かした「教育を充実するための三つの工夫」と言うものを考えております。

まず、学びの多様性を実現するために「学びの自由度を広げる」。学類学群間の科目履修の垣根をできるだけ低くする。時間割の組み方の問題とか、なかなか難しいところではありますけれど、それによって選択肢を広げる、例えば人文社会学群には五つの領域がありますけれど、五つの領域の中の主に履修する領域の以外の、他の領域の科目も自由に取れるような形にしていくということ。それからコラボレーションの機会を広げていく。学生間の協働というものを促す仕組みを作っていく。それから教員のパワーを有効に生かせる臨機応変な対応ができる体制。先ほどのキーワードのなかで、これから時代が要請してくることがどんどん変わっていくというのがありました。それに対応して、場合によっては教育する内容もどんどん変えていかなくてはいけない。そのときに学系の最適な教員が、その新しい科目であったり新しい教育を担当することが出来るような仕組み。時代の要請に応じて科目のスクラップアンドビルドが出来るような体制を取ったということであります。

ただ、こういった履修科目の選択肢が広がるということに対しては、学生が何を学んだらいいのか分からなくなるということがございます。まだ学びたいことがはっきり決まっていない学生もいるということですので、アドバイザー制というものを導入することによって、学生一人一人に寄り添って教員と一緒に考える、「こういう夢があるんだったらどういう科目を履修していくと良いのか」という履修計画を教員と一緒に考えていくような仕組みも必要であろうと考えております。

それから、先ほどありましたように、現場での学びを充実させることによって、自分の持っている力というものを認識し、課題も認識する。それによって、さらに次の目的に向かって学びを深めていくということが出来るだろうということで、そういったカリキュラム、あるいはプログラムのサポートを充実させていかなくてはいけないと考えているところです。

これによって個々の学生が自分に合った学びを探り実践していく。専門領域の学びを深める学生もいるかもしれないし、あるいは自分の進むべき方向を探ったり、見つけたいと思っている学生、専門の領域に＋αの学びを加える、あるいは実践プログラムで応用力を身に付けるとか他の人たちと一緒になってシナジスティックな効果を生み出して、さらに自分を高めていきたいというようなことを考えるというようなこと。これらの様々な目的あるいは興味をもった学生のチャレンジを応援していくような体制を構築し、そしてそれを実践していくということを目指しているところでございます。

3. 東北芸術工科大学

「習うから学ぶへ変換『想像力基礎ゼミナール』」

基盤教育研究センター教授　柳川　郁生　氏

こんにちは。今回の報告データを出すときに「高校生に」

と言うワードがあったので、高校生向けのガイダンスのつもりで、うちの大学の現場で取り組んでいる小さな授業の一つについてご紹介させていただこうかなと思っています。タイトルは『習うから学ぶへ〜』ということで、ちょうど赤坂先生のほうからもそういったお話があったので、尚絅学院大学さんの方でも「学ぶ」ということを学生にさせたいんだなと感じています。うちの大学でも、この授業『想像力基礎ゼミナール』というんですけれども、これを始めました。

他にも初年次教育のひとつとして『芸術平和学』、うちの理念科目ですね。なぜ今ここでアートとデザインを学ぶのかということを学生たちにもう一度考えてもらう授業が必修であります。それから『コンピューター基礎演習』とか『日本語表現』のような、本当に基本となる授業科目も必修であります。それともう一つ、この『想像力基礎ゼミナール』というのが、一年生の、初年次の必修科目の一つとなっています。

これを作るにあたって考えたことというのは、やはり高校生で、入ってきたばっかりの子たちです。今は入ってくる学生も多様化してきましたので、いわゆる「大学生を迎えた」というスタートが切れないんですね。なので、まず大学生としての一歩を踏み出そうと。その子たちはまだ思考力も足りない、身体表現力も足りない、文章で表現する力もまだまだ足りない、そういった子たちにもっともっとスキルを与えてあげる。それから「自分」というものをまだ理解しきれていないところもありますので、そういったところで、もっともっと学生たちに自我形成が出来るようなことをスタートとしてやってあげたいな、というのがこの授業の最初のきっかけです。

まず「想像力」という言葉を使っているんですけれど、この想像力を培う授業プログラムです。まず３つのフェイズを経て「論理的思考能力」「文章力」「社会性」そういったスキルを身に付けるようにしていこうと、授業全体のデザインを考えています。

ここで使う「想像力」なんですけれども、うちは美術大学という括りなので、どうしても「絵を」「作品を」なんていうことで想像力を捉えられてしまうんですけれど、そういうことではなくて、自分の未来、これからを想像する力、それから周りの人のことや身近なことを想像する、行動する力に繋がるような「想像力」というものを作っていきましょうというのが、この『想像力基礎ゼミナール』という授業で使われている「想像力」という言葉です。

この想像力を、いきなり「想像しろ！」と押しつけるのではなくて、３つのフェイズでゆっくりゆっくり近づけていこうとしています。最初のフェイズ、ファーストフェイズは他者と出会い他者に気づく。はじめて大学に入ってきて、皆に出会うということですね、簡単に言えば。それからセカンドフェイズ。他者と関わることで自分が見えてきたり、他者に伝える、社会というものに少しずつ気づき始め、そこからサードフェイズ、社会に伝え社会にひらくというところに繋げていけるような、そんなイメージで授業を作っています。

この授業の中で身につけるスキルは、まず想像力の基礎。傾聴とか思考力とか、あとは既成概念みたいなものを取り払う意識、それから洞察力ですね、ものごとをしっかり意味を理解して考える力。そういうものが想像力の基礎になるんだと考えています。それから自己認知力というのは、自分の出来ること、出来ないことというものにしっかりと向き合えるようになって、その出来ないことに対しての一歩が、挑戦ができるような、そんな力を付けたい。それか表現力、思考力、文章力、また、他者の気持ちを汲み取る力。それから積極性、自主性、協調性。こういったものも授業の中で身につけていって、さいごに自己を肯定的に振り返る力、つまり自分の未来というものをこんなふうに切り拓いていければいいのかなというところを考えられる力へ結びつけていこうと考えています。

授業のプログラムなんですが、このように３つのフェイズがありまして、そこに身につけたいスキルが紐付いているという状況です。少しずつ少しずつ出会い、社会に近づきながら、自分のスキルを身に付けていく。そのための授業というのが 15 週に渡ってあります。

授業展開としては、今年度は一クラス 28 名程度で行いました。芸術学部、デザイン工学部、様々な学科があるんですが、全て混成で授業を行っています。それぞれのクラスに担当教員が付いて、２〜３クラスくらいが１つの固まり、チームになって同時に授業を行ったり、合同で行ったり、複合的にやりながら展開しています。

授業の 1〜4 週目は、二日間の中で、共通フレームのプログラムでアイスブレイクとかプレゼンテーションの基礎みたいなところを体験してもらっています。

授業の 5〜13 週目は専門と独自性を活かしたプログラムで、それぞれ担当する教員の独自性とか専門性を有効に利用しながら、例えば文芸畑の先生が担当であれば雑誌、自分の雑誌みたいなものを作っていく。あるいは CM 作成とか、限界展ということで自分の限界というものは何なのか考えてみて、その限界を限界で終わらせるのではなくそれを乗り越えていくということを作品にして展示してみるところまでやってみるとか、いろんなインタビューをして社会のひとたちの所へ出て行ったりとか、わらしべ長者的な取り組みをしてみて色んな人と関わりを持ってみるとか、様々なプログラムで授業は展開されています。

最後の 14、15 週目は、いろいろな展開をしたプログラムをまた集約するための共通フレームのプログラムをやっていまして、プリプロット作成とポーラースターによるプレゼンテーションをやっています。

実際の授業展開について紹介をさせてもらいます。

私（基盤教育体育）と、藤田寿人先生（プロダクトデザイン）と竹原万雄先生（歴史遺産）の三人の教員で授業をやりました。体育、プロダクトデザイン、歴史遺産という異種格闘技のような状態なんですけれども、これらの先生とチ

ームを作って授業をします。

最初はアイスブレイクに近いようなゲームで、少しずつ少しずつ、初めて出会った学生たちを近づけていきます。みんなで名前を覚えるインストールゲームとか、みんなで協力し合ってボールを流して繋いでいくパイプラインとか、人間 FAX とかいうゲームをやって、そこからみんなの距離が縮まってくるので、お互い顔を見て、目を見て話し合いが出来るような状況を作ってから、プレゼンチャレンジ。みんながもっともっと仲良くなるためにはどんな写真を撮ったらいいだろうと、「みんなが仲良くなる集合写真を撮ろう」というテーマを、我々のクラスではやりました。こうやって少しずつ距離を縮めていって、みんなの前で発表するようなことをやっていきます。

我々のチームの実際の流れなんですが『Let’s try! TRY&ERROR～学びの原動力となるために～』というのを授業のメインテーマにしました。「これをやってみよう」という意識が学びの原動力になるということで、最初に書いてあったとおり、教えてもらうことから学ぶことへ変換していこうということです。

授業にあたり、学生たちには安心感を与えるために資料を前もって配っています。私はバトミントンをさせるんですよ。次の先生は紙飛行機を飛ばすんです。次の先生はフィールドに出て、いろんな古いものを見て回れって言うんですよ。それで、学生たちが何をやらされているんだろうって不安になってしまわないように、まず授業で「こんなことをやるよ」というのを紹介します。

この授業の仕組みというのは「志向的な『身体の知』」。バトミントンを通して学びの原動力みたいなものを、「やってみようかな」という意識を作っていきます。次に『試行的な「工夫の知」』。これは紙飛行機を飛ばし、行動力に結びつけていく。試行的というのは、いろんな紙飛行機を試しながら飛ばしていくんですね。それから『思考的な「理解の知」』。歴史的なものをきちんと理解すること。それで考察力をどんどんどんどん深めていく。こんなふうにして自分というものを想像していって、自らを感じることが出来るようになったら、さらにこれを成長させていく、この授業の中で成長させていってほしい、それが他者と繋がっていくことによって世界が広がって、どんどん社会と繋がるきっかけになるんじゃないか、ということをまず学生に説明しています。

私はバトミントンを通してやっているんですけれども、私がラケットで羽根を拾うのを見せて、学生たちに同じ事を実際にやってもらう。そうして、答えは分かっていても答えの導き方が自分たちには分かってないんだなということを感じてもらったり、実際に私が打っているのを見せて、これを言葉でスケッチしてもらうんですね、絵じゃなくて。言葉でスケッチして、実際にやってもらって、それをさらに絵にしてもらいます。連続画にしてもらうんですけど、この連続画を実際に自分たちで表現してやってもらうと動けないんですよ。分かっているつもりでやっているんだけども見えてないな、というのを感じてもらって。そのあと、こんなふうなことをしています。

作品があります。私は専門家なので、私が見るとこの作品にある構図とか色合いとかモチーフ、そういったものは分かる。いるとかいらないとか、そんな浅い判断しかできないですよね。この作品に私が感じるのは、形しか見えないから「ふーん」というかんじになってしまう。これで「美術を学ぶ皆さんはどうですか」と学生に聞くと、構図、空間、スペース、流れ、勢い、線のタッチ、あたたかみ、柔らかさ、マチエール、リズム、テンポ、浮き沈み、いろんなものが出てくる。こんなのは普通の人じゃ感じられないし、実際絵の中に温度なんていうものはないし、動いてもいない。それなのにリズムが感じられたり、流れが見えたり、そんな見え方がするんじゃないですか。そうすると、この作品が何を伝えようとしているのか、狙い、テーマ、メッセージみたいなものを感じることが出来て、この作品を作った人の生き様とか思いとか魂みたいなものが伝わってくる。そういった捉え方というのは感性による捉え方であって、本質と意味の理解なんです。これは漠然として生理的に浮かんでくるものではなくて、後天的に身についてくるものなんじゃないんですか、と「これをみんなこれから学んで行くんだよね」と言います。そうすると「おおー」と感動をもってものを見ると言うところに繋がって行くんじゃないのという話を、学生たちにはしています。

そうすると、この観察力というものを通して、洞察力というものを通して「気づく」ことができる。そうするとものごとのプロセス、方法、課程も見えてくるから、次の作品が作れるよねというふうに話をしています。これをこれで終わらせないで、これが想像力の基礎なんですけど、私は「じゃあこの作品の位置にバトミントンおいてみましょう。自分たちで動きを作ろうとしたときに上手く作れなかったよね、それはどうして？」と言う。みんなは「よく見て打つ」くらいしか理解しないでものごとをやろうとしていた。でも運動にも美術の世界と同じように運動の質的な完成質みたいなものがちゃんとあるんだよ、こういったものを理解することによって、運動というものが見えてくる。これが物事の本質を理解し意味を分かるということなんだよ、というのを学生たちに伝えています。美術と運動って、すごく相反するもののように思っているんだけど、そうじゃないでしょ、デザインも一緒だよ、と言うことで固定観念を打ち破る力と結びつけたりしています。

こうやって『身体の知』を通して「身体的な学びは忘れない記憶になる。忘れないということは思い出せる。思い出せるということは思考の停止が起きない」という、学びの思考のスタートということが、ここにあります。

そのあとはペーパープレーンチャレンジ。一見するとただ紙飛行機を作って、工夫して、飛ばしているだけに見えてしまうんですが、それに終わらせないで、この紙飛行機を飛ばしながら事象をしっかり分析して、仮説を立てて、それを次の成果に繋げていく取り組みをやっています。ペ

ーパープレーンチャレンジでは、毎回レポート、初めての研究レポートみたいなものですね、こういったものを作成し、それを通してそういった取り組みが出来るようにしています。

このエアプレーンチャレンジというもので、『試行的な「工夫の知」』。失敗を恐れていては試すことはできない、試行的な学びは結果ではなくプロセスが記憶になるんだ、プロセスを身に付ければあらゆる課題に応用することができるんだよという、次のアクティブ・ラーニングに繋がる体験をしてもらっています。

その後はフィールドに出てもらって、山形の街を探っていろんな古いものを見つけて、五分間のプレゼンにしてもらいます。五分間のプレゼンを作ろうとすると、結構きちんと言葉を見つけないといけないし、感想だけでは終われないんですね。それから街に出ていろんな人の話を聞いて。背景的なところも理解していないと話が出来ないので。

こんなかたちで話をしてもらって、ポイントとしては『思考的な「理解の知」』。知識を得ることで、ものの見方・見え方が変わる。その物事を理解することによって、さらに新たな知的欲求が呼び起こされるんじゃないかと考えて授業を展開しています。

次にプリプロット作成をしてもらって、芸工大の四年間でやりたいことを百個書いてもらっています。すごくくだらないことをいっぱい書きます。髭を生やしたいとか、どこのお店に行って何かを食べたいとか。それで全然良くて、いろんなものを、とにかく自分がやってみたいことを出してもらいます。全体に出してもらったら、いろいろな色の紙片に書き出したこの「やりたいこと」を六角形に貼ってもらうんですね。カテゴリごとに貼る場所が分けられていたりとか、色分けをして貼ったりとか、学生たちはいろんな形で工夫をしながら貼っています。

なので、その学生なりの、自分なりのプリプロットというものが出来るのですが、その真ん中にシルバーの紙片でヘキサグラムの形に貼られているのが「ポーラースター」です。四年後の自分をイメージして、四年後の自分がどうであってほしいのか、どんなことを出来るようになっていたらいいのかをイメージしてポーラースターを作ってもらっています。今までの授業の体験を通して、もっと自分がこんな風な姿になっていたいなあというイメージが少しずつ出来ているんですね。なかにはオリジナルのポーラースターを作ってくる学生もいます。

授業ではポーラースターの部分を一人一人にプレゼンで発表してもらっているんですけれども、例えば図形譜にして説明してくれたり、絵を描くことで説明してみたり、パワーポイントで理論的に説明してみたり、色んな方法がありました。このポーラースターの部分には、自分が四年後こんな姿で芸工大を卒業していきたいなあというのを書いてもらいます。

あとはこの授業を支えるものとして、ジャーナルとかSA(スチューデントアシスタント)というものがあるんですけれど、毎回学生にはジャーナルを書いてもらって、必ず教員が赤で全員にコメントを返すようにしています。なので一クラス 28 人という人数は結構手いっぱいなんですけれども。項目がいくつかあって、大事にしているのは「アップデート」の部分ですね。今日の発見。『アップデート：今日の発見～誰から、何から、どんな学びを～』の部分。最初の頃、どうしてもうちの学生たちは感想ばっかり書くんですよ。感想じゃなくて学びはなんだったのというところを意識させるためにアップデートと言う言葉を使って「今日の授業でアップデート出来たところは何」というのを書いてもらっています。それが書けてなかったら、赤で「君が楽しかったのはよく分かったよ。それで、どんなことが解ったの？」というふうにして伝えてあげたりもしています。

あとSAのかたちで先輩に授業に入ってもらっています。ドロップアウトしそうな子とか、先生の言うことを上手く理解できない子のサポートに入ってもらったりとか、あと先輩たちの生き生きとした姿を見て、学生たちは大学に対する希望みたいなものが見えてきたりもするので、そんな役割の人に一クラスに一人ずつ入ってもらっています。

まとめとしてですが、この授業を通して育てようとしたのは「自身の未来や将来像を想像する力」「他者や社会の様々な事柄を想像し、素人自ら考え行動する力」ということで『想像力基礎ゼミナール』としています。育てる方法はトライ＆エラーで、志向的な学びのスタートから、試行的な学びはプロセスが記憶になる。知識を得ることでものの見方・見え方が変わる。そういった学びによる変化を感じてもらって、新たな知的欲求を呼び起こすことが出来ればいいかなと思っています。

「4 つの力のアンケート」というものを、授業の最初と終わりに取るんですが、項目を「想像力」「思考力」「実行力」「社会性」というふうにしています。そうすると、割とうちの学生たちは、最初から想像力は少し備わっているのかなと感じているみたいなんですね。ところが、これは今年の特徴なんですが「実行力」が本当に低かったんですよ。こんなに低い年はなかったんですが、数値にしてみると 3 点満点で 1.81 ですね。でも授業を通して期末には 39 ポイントアップしていたんで、なにかやっていけそうだなという自信を学生たちに与えられたのかなと思っています。

学ぶ姿勢、やってみようということについて、これは自慢なんですが、うちでやっている FD で、教員ばかりで FD をやるのではなく、学生たちの声を直接聞いてみようよということで、学生たちを呼んで「さんまるカフェ」という FD をやりました。

そのなかで学生たちが言ってくれたんですが、『新しく作ってほしい講義』のところにこの「想基礎」「想基礎が進化したもの」を挙げていたんですね。この『想像力基礎ゼミナール』によって、学生たちの間で横繋がりがすごく出来ていて、他の学科と繋がることも出来たので、それをもっとグレードアップしてほしいと言ってくれていました。

増やして欲しいというのは、もっと学びたいという意識の現れだと我々は捉えて、学生たちの学びたいと言う気持ちを大切にしていきたいなと思っています。

4. 青森中央学院大学

「キャリア教育におけるアクティブ・ラーニングの実践
－HOT-A プロジェクト－」

経営法学部准教授　森田　学　氏

よろしくお願いします。私どもは『キャリア教育におけるアクティブ・ラーニングの実践：HOT-A プロジェクト』と言う発表をさせていただくんですけれども、先ほどの柳川先生と同じく個別授業の紹介になるんですが、一点違うところがありまして、私はこの授業の担当ではないと。基本的に学生へのヒアリングと、担当している先生へのヒアリングに基づいて、このスライドを作らせていただいたので、細かいところについてはご容赦いただきたいと思っています。

うちの大学の中に経営法学部という学部があるんですが、経営法学部の中の一授業について紹介させていただきます。うちの大学の入学者ポリシーとして「豊かな人間性に立ち、よりよき人生を想像するとともに、社会的正義に立って社会の発展に貢献する進取性に富み良識ある職業人を養成する」というものがあります。職業人をとにかく養成していきましょうよということで、出来る限り青森県の産業界の要請には応えていきたいと考えています。

さらにディプロマポリシーのところにも書いてありますけれども、「個人と社会の発展の礎となる様々な組織が直面する諸問題に対して、規範的かつ創造的に解決する人材を養成する」ということで、できれば創造的に物事を考えるような人材を、自分の頭で考えることのできる人材を養成したいというミッションを掲げています。

そういったミッションに基づき、産業界に対して何らかのかたちで貢献したいということで、教養科目のなかに「自己の探究」という項目があるんですが、その「自己の探究」のなかにキャリア・プランニングという項目を設けています。

キャリア・プランニングは一年生から三年生まで、さらに前期・後期、全部で６つのプログラムを用意しておりまして、これに基づいて授業が行われます。キャリア・プランニング科目については、管轄している「キャリア委員会」という委員会がありまして、基本的にそこの委員会に所属している先生方が科目を受け持つというかたちになっております。

今回紹介させていただくのは、このうちの２年次の科目、その中でも後期のキャリア・プランニングⅣのなかの、昨年度のプロジェクト『HOT－A プロジェクト』これについてご紹介させていただこうと思っています。

そもそもキャリア・プランニングという科目は、なんでこんな科目を設けているのかというと、先ほど三瓶先生のお話にもありましたけれども、私学においてはとにかく、まずは定員を埋めるということが大事になっています。オープンキャンパスに来る学生に「何故うちの大学に来たの」と聞いてみると、「就職率がいい」とか「卒業生の就職先に自分の行きたいところが入っていた」ということで、この大学に入ったら自分の行きたい就職先に行ける可能性があるよね、ということを考えて入学している学生がそれなりにいることが分かります。そうすると、そこに対して何らかのかたちで応えていく必要があるのではないかというところで、学生自らが主体的に自身のキャリアプランをデザインし、希望の進路へ旅立つことができるよう、キャリア形成を意識し、生き方の発見や大学生活の目標設定につとめるとともに、就職活動に必要な様々な知識の習得と訓練を行うため、キャリア・プランニングという科目が設けられています。

授業のステップとしては、一年次から四年次まで、ホップステップジャンプといったかたちで考えているんですけども、基本的に一年次につきましては、とにかく他人との間での協働ができるようになる。コミュニケーションで視野を広げる。いろんな人と話せるようになるといったことを目標として上げています。二年次になるとチームで行動して、さらになんらかのかたちで問題解決をやってみましょうとしています。三年次になると就職活動に一歩踏み出すというかたちで、うちのゼミ生も少し前に行っていたんですが、インターンシップに行くことになっています。インターンシップに行って、そこで出された課題に応えて、最後にはプレゼンをするというかたちになっています。そして四年次の実際の就職活動に結びつけていくと。

先ほども申しましたけれど、科目の到達目標といたしましては、一年次についてはグループとしてワークできるようになればいいですよね。二年次についてはグループとして課題に挑戦できるようになるところを目指しています。『HOT－A プロジェクト』はキャリア・プランニングⅣとして位置づけられているんですけれども、実はキャリア・プランニングⅢとⅣを１つのプログラムとして考えていまして、これを「G コマース」の一環として実施しています。これは五年前までは「e コマース」というかたちでやっていて、少しプログラムが変わっているんですけれども。

e コマースというのは、自分たちで埋もれている県産品を見つけてきて電子商店で売ろうということをやっていたんですが、それに協力してくれていた企業さんの業績がちょっと悪くなりまして、本業をがんばらなくちゃということがありまして、五年前からは G コマースというかたちでさせていただいています。

G コマースプログラムの概要ですが、まずは知識がないと自分で考え行動することはできないでしょうということで、ステップ１として現状を知る。青森県にある大学なので、本州の最北端です。ということは東京と青森でいろんな流通事情が違うわけです。例えば、東京へものを運んでいくと、東京は消費地としてかなりの購買力があるんで

すが、そこに青森県から持って行こうとすると輸送費がすごくかかるわけです。逆に青森に持ってこようと思っても人口が少ないと。青森市の人口は 30 万人です。そんなところに持ってこようと思っても大変だよね、売れる数も知れてるよね、そもそも地方の流通と日本全体の流通、さらに東京の流通はちょっと違うよね、そこのところについてまずはちゃんと学びましょうよといったかたちで、基礎知識を身につける授業になっています。次にステップ２のところでは、考えましょうよ、学んだ知識を活かして、グループで、チームで課題を実践しますよと、課題解決法のプロジェクト学習をさせてもらっています。最終的には、「知って、考える」という、今までのステップを活かして、これを何らかの力に変えていきたいと考えて、この授業は行われています。

前期で知識を蓄えて、その知識を後期で活かして使ってみましょう、「知識を活かして使う」という経験を、とにかくやってみましょうよというのが、このＧコマースという授業です。気づきと発見。さらに自ら動けるという能動的な力を修得していこうという目的で、授業は組み立てられています。

前期については、まずは知識を蓄えましょうということです。基本的にこれは半期１単位７回の授業です。前期は知識を蓄えるということで「第１回：流通とは何か」から最後の「第７回：地方都市とマーケティング」まで、後期に向けての講義型の授業になっています。講義型の授業で身に付けた知識を後期に活かしていきましょうと。後期につきましては、フィールドワークを含む課題解決型プロジェクトということで、『HOT-A プロジェクト』というものを昨年度は行っているわけです。

『HOT-A プロジェクト』、後期の課題解決型プロジェクトは何をやっているかというと、基本的には青森県産品の地域ブランド化というものを目指しているんですけれども、ここでは「ホットアップルサイダー」というものを取り上げています。名前にサイダーとついているんですけれど、炭酸は入っていません。リンゴの果汁を温めて飲むアメリカンスタイルの飲料です。アメリカでは炭酸入り飲料のサイダーと無炭酸のものがあまり区別されていないため、同様のものがホットアップルサイダーと呼ばれていて、それをそのままもってきて、ホットアップルサイダーと呼んでいます。

過去に取り上げた県産品は、「青森伝統工芸の藍染め」。これは食べることができ、健康食品として注目されているということで、健康食品としてどういったものがあるのかなということを考えておりました。「洋菓子の開発」に関しては、青森県は一部の農産品に関して北海道より生産量が多かったりします。青森県の野菜を使った洋菓子を考えましょうということで、イタリアの洋菓子でバンビーチェというものがあるんですが、クッキーみたいなものが上下にあって、間にチョコレートみたいなものを挟むんですが、その生地のところに青森県産の野菜を入れてつくりましょうと。うちのゼミ生の女の子がやっていたんですけれど、「先生、野菜の色をそのまま再現するのは難しいですよ」というようなことを言いながら取り組んでいました。

基本的に、全て地元の業者さん、洋菓子の場合はパティシエさんですが、そういった方に協力を仰ぎながら、いろんなことをやっています。昨年度に関してはホットアップルサイダーということで、りんごというものに着目してプロジェクトを行いました。

この年の基本的な目標は、とにかく地域の産品をブランド化したい、知名度を上げたいよ、というのがありました。

長らく青森県の観光の課題になっているのが、冬場の観光をどうするのかということです。ホテルの稼働率で考えますと、夏場は 80％くらいいくんですけれど、冬場は 20％とか 30％くらいになって、ホテルの稼働率が一気に下がります。そこをなんとか上げたい。そのためには、来たいと思わせるような何かがないといけませんよね。それに対して、大学としてなにか提案はできないのか、頑張ってなにか良いものをみつけましょうということをやらせてもらっていました。そのときに大学の教員が考えるよりも、学生の若い感性を使いたいというところで、いろいろ挑戦していきましょうということで、この年はホットアップルサイダーを取りあげました。

このホットアップルサイダーのブランド化というものが基本テーマになっているんですが、教育効果として考えているのは、チームで考え、それをまとめる能力を身に付けてほしい。さらに最終的にはプレゼンテーションを行いますので、プレゼン力が備わることも期待しています。当然、県産品に対しての知識を獲得するというところと、うちの大学の学生は結構小売りとか流通関係にいく学生が多いので、販売促進の重要性についてちゃんと学ぶことも教育効果として考えています。一般的な話としては、チームで考えまとめる能力と、プレゼン力ですね。

チーム編成としては８人ごとの４チームで、基本的に全部チームで動いています。8 人のなかからリーダーとサブリーダー、書記を選出してやっていくというかたちです。実施内容としてはグループ討議をして、その結果を最終的にプレゼンするんですが、その間に実務関係者との交流も設けられています。

講義日程は第 1 回から第 7 回まであるんですけれども、第４回のところでいったん中間プレゼンがあります。このプレゼン、中には結構ひどいものもあるということで、でダメ出しが出てくる。ダメ出しをもらったものを直して、第６回で最終プレゼンと優秀チームの選考会が行われます。選考会が行われたあとの第７回、最終発表会には協力していただいた学外関係者も呼びまして、全員の前で発表するかたちで全７回が終わります。

ほとんど青森県内の学生が多いんですけれども、そんなに地元のことを知っているわけではないです。「十八年間、お前、青森で育ってきたんだろ」と言っても「うん。先生知りません」と言って流すんで、そもそも知識を身に付け

る必要があるので、外部講師を招いて授業をやってみたりしています。

中間発表の後に先生からアドバイスというかダメ出しが出てくるわけですが、例えば「流行らせる」という目標を書いているのだけども、そもそも「流行らせる」とか「流行っていない」という言葉の定義はどうしているのかとか、課題解決のために何を具体的にどうやっていくのかとか、びっしりと書かれてきまして、それを踏まえて最終プレゼンを作らなければならないので、学生はここで心を折られるとまではいきませんが、少しショックを受ける。最終的には「ホットアップルジュースの企画案」ということで、発表して終わることになっています。

最優秀になったレポートを実際に見てみると、事細かくアプローチの方向についても書かれています。中間発表ではここはなかったのですが、指摘を受けて直して、外部の人に対しても提案できる形になっています。こういったかたちで、自分たちで、グループで一生懸命考えて、まとめて、パワーポイントでの発表までもっていくと。

ちなみにここの最初の「チーム別のテーマ探索と課題解決策の検討」の授業でやっているんですが、現状を把握した後で課題が何かは自分たちで見つけなさいといっています。こちらから課題設定をしているわけではありません。自分たちで課題を見つけて、それをどう解決するかを考えさせています。

ひとつ我々が知りたいのは、こういったグループ型の授業というのはアクティブ・ラーニングで増えてきていると思うんですが、そもそもこういったことをやることで、何が伸びているのかというのを知りたいと思っています。そこで、このプロジェクトの前と後、授業の開始時と終わった後でアンケートを取っています。アンケートは、設問 1 では商品知識などについて、設問 2 では汎用的能力について質問しています。

設問 2 の汎用的能力では何を測っているのかというと、一つは文部科学省で言うところの学士力、経済産業省で言うところの社会人基礎力というものがどの程度変わっているのかというところを測ろうと、48 の質問を作り、アンケートをしまして、学生に答えてもらっています。

我々の授業としてはどういったところが伸びていってほしいのかというと、当然グループでやるというところで、「発信力」と「傾聴力」は伸びておいてほしいよね。さらにはグループでやるということで「働きかけ」、他人に働き書けて一つの方向にもっていく力も伸びて欲しい。さらには課題発見プロジェクトなので「課題発見力」も伸びていってほしいよね、アクティブ・ラーニングということなので「主体性」も伸びていてほしいよね、というかたちで見ています。

じゃあ実際の結果がどうなっているのかというと「主体性」についてはそれなりに伸びている。「働きかけ」力も、主体性ほどじゃないですけれど若干伸びていると。「課題発見力」につきましては、中間発表でダメ出しをされますので、自分では結構できると思っていたのが意外にできないんだということを実感させられて、授業開始時より終了時のポイントが少し下がっています。「発信力」とか「傾聴力」も伸びているんですけれど、一番伸びているのがどこかというと、「規律性」ということになります。

社会人基礎力の中で規律性というのは、社会の約束である「人との約束を守る力」。他人に迷惑をかけない、グループでプロジェクトをやっているので、誰かがやってこないと全体が進まないわけです。役割分担したところをきちんと進めないとダメだよね、それをやってこないと全部が進まなくなって、みんなに迷惑をかけるということがよく分かって、そういうところが伸びました、というのが学生の答えになっています。

ちなみに設問 1 では「青森県内での就職意識」とか「アップルサイダーの商品知識」とかそういったものについて聞いているんですけれども、これについても、県内の就職の実情を知っていくと、青森県って農業はすごく盛んなんですけれども、製造業とかはあまりないということで「自分がやりたい仕事が本当に県内にあるのかな、もしかしたら県内にはないかもしれない」ということがなんとなく分かってくると、残念ながら県内就職意欲は下がってしまうと。できればこれは上がって欲しいんですけれども、現状を知ると下がってしまうという結果です。当然、知らなかったものを知るということで、アップルサイダーに関する知識は上がっています。

アンケートでは自由回答のところでいろいろ書いて貰っているんですけれども、一番望ましいのはこれですね。「自分と真逆の意見の人の意見を取り入れることができるようになった。非常に面白いことだと感じた」

このように、正に狙った効果が得られた学生もいるんですが、当然ダメでしたというところもあって、8 人グループメンバーがいると 1 人さぼってもなんとか回ってしまうところがあるわけです。その結果として、グループとして動こうと設計していたんですが、なかなかそれがうまくいかなかったということで、授業としてはちょっと、今後考えなきゃいけないのかというところです。課題としては、授業外での活動とか役割分担のありかたについて、もう少し助言した方が良かったのかなと担当の先生は仰っていました。

この授業につきましては外部の人も巻き込んでやっていますので、最終的に報告書で「皆さんにご協力いただきまして、こういう結果になりました」と、まとめさせていただいております。この授業は結局プレゼンで終わっているわけですが、この授業のあとで実は青森市のほうから「街中フィールドスタディ」というかたちで、街中でフィールドワークをするのであればお金を出しますよという提案がありました。

それで、受講生全員ではないのですが、学生の一部が青森で試飲会を開きまして、その試飲会の結果をまとめています。授業の枠を越えて、次の段階で実践をしているわけ

です。紙コップにシールを貼って、青森駅にある文化観光施設の「ワ・ラッセ」でジュースを配って、試飲をしてもらって、どうしていけばホットアップルサイダーが流行っていくのかについての最終定期な提言をまとめています。

うまくいけば、場合によっては、授業の最終段階であるプレゼンのその次の実践的な段階まで繋がる授業をさせてもらっているかたちになっています。

5. 国際教養大学

「国際教養大学の全人教育：英語・留学・共同生活で世界標準を実現」

参事兼学修支援室長　須田　幸子　氏

国際教養大学は今年 15 周年で、私は最初の年に入職しまして、留学担当をしていたんですけれど、そのあと教務課に移りまして、教務課長を経て、今は学修支援室長ということで図書館ですとか能動的学修評価センターというところで、授業以外の周辺の学修支援を担当しております。

まず国際教養大学なんですが、ご承知の方もいらっしゃるかと思うんですけれど、初代学長だった中嶋嶺雄が、G7とかで日本の総理大臣だけが通訳付きで喋ったり記者会見をするのは大変不甲斐ないということで、やはり日本人でも英語できちっと自分たちの言いたいことを国際舞台で発信できるようにならなければいけないという、強い大きなビジョンというか、志を持ってこの大学の設立に取り組んだという経緯がございます。

ですので、本学のミッションは非常にシンプルでございまして『グローバル社会でリーダー的な役割を担える人材を育成する』となっています。本当に小さな、一学年 175 名の、教職員合わせても 1000 人に満たないコミュニティでございまして、そういう中でシンプルなミッションを掲げて、学部も国際教養学部一つしかない、小さな、一学科みたいな感覚で運営している組織だということが、まず最初にございます。

グローバル社会でリーダー的な役割を担える人材を育成するために「三つのメソッド」を非常にうまく使って実現している、世界標準の教育を実現している、あるいはしようとしているという切り口で、今日は説明させていただきたいと思っております。

その三つのメソッドというのは、まず「英語」英語で教える。次に「留学」一年間で全員必修。それから「共同生活」を展開させるというのがメソッドでございます。

グローバル社会と言った時に、じゃあ総理が出て行くような G7 ですとか国際学会ですとか、そういうことを考えて、いわゆるエリート教育をしようとしてリベラルアーツ教育をやっているのか？ と言われますと、そうではないというのが私どもの考え方でございます。グローバル社会というのは、今ここにある。私ども秋田県秋田市なんですけれど、この「秋田市でしょ」あるいは「山形市でしょ」あるいは「東北でしょ」というスタンスです。本当にグローバル化してしまった、さらに加速しているこの日本、あるいは東北、あるいは秋田、において、自分の周りを牽引していけるリーダーを育てましょうということでございます。そのために、本学は秋田県が設立した公立大学なんですけれど、授業を全部英語でやっているということで、特色がございます。学部は、さっき申し上げたように国際教養学部一つで、中に「グローバル・ビジネス課程」と「グローバル・スタディズ課程」というのが一応分かれているんですけれども、どちらの課程の科目もお互い取れるという、非常にフレキシブルなものでございまして、人文・社会科学を中心にしておりますが、基盤教育のほうでは数学や自然科学も必修というカリキュラムになっております。

グローバル・ビジネス課程は読んで字のごとく、経営とかビジネスについて学ぶ課程でして、今は結構経済学のものが多くございまして、経済学の先生ばかり沢山おりまして、ビジネスがすごく弱い現状でございまして、もう少しビジネスの先生を雇おうとしているところなんですけれど、科目としては、非常勤の先生方とか特任の先生方にもお願いしながら、いろいろなビジネスの科目も展開しております。

もう一つのグローバル・スタディズのほうは、昔は国際関係と言う言葉が流行っていましたが今はグローバルということで、社会、政治、歴史、法律ということを広く浅く学ぶ課程です。私は国際関係論を専攻したんですが、当時言われたのは「国際関係というのは結局何も専門的に学んでいない」と、全てを広く浅く勉強して結局何も得ないで卒業するのが国際関係専攻だというふうに言われていたんですけれども、本学のグローバル・スタディズの場合もすごく似ていまして、一応トラックとしては「東アジアトラック」と「北米トラック」と「トランスナショナル」というトラックがあって、最後にセミナーでトラック似合ったペーパーを書くという学びの仕方をするようになっております。

授業は全て英語で行われます。英語で学ぶというのが三つのメソッドのうちの一つだと申し上げましたが、ただ単に英語で勉強するということだけでなく、いろんなことの基礎になっているんですね。授業を全て英語でやっているので、いろんな国の留学生が来てくれるというのが、まずあります。日本語ゼロで来るわけですよね。日本語を勉強する気も全くないけれど、アニメが好きだから、トトロのファンだから、日本をもっと知りたいという動機で留学生が来てくれる。日本に憧れて、ティーンエイジャーの頃から日本が大好きで日本に来た方、でも日本語は難しすぎてとても分からないというような留学生がいろんな国から来てくれるんですね。本学の留学生の出身国を見ていただくと、本当に世界中、ロシアですとか、北欧、東欧、もちろんアジアも沢山います。ですので、留学生のぱっと見、カラーは本当にグローバル、インターナショナルという言葉にふさわしい多様性がございます。それはなぜかと戻っていくと、全部の授業を英語でやっていて、どれでも取れ

る、単位になるというのが、そういうことができた大きな理由だと思います。

本学は留学必修。49 カ国 190 大学と交換留学提携を結んでおり、一大学に一人か二人ずつ派遣しています。授業料ゼロで、交換留学で出している公立大学でございますので、留学生が来てくれないとそこが成立しないわけですね。なので、私どもも必死で留学生を獲得しようとしておりますけれども、留学生が来て、英語の環境で英語勉強して、満足して帰っていく、この流れを作っているのが「授業が全て英語」というここのところですね。

日本人学生は、全員嫌でも留学しないと卒業できないことになっています。実は私、自分の娘が今大学三年生で、高校の時はずっと留学したいと言っていて、留学できると思って東京の大学を選んで進学したのですけれども、入ってしまうと「仲良しのお友達と一緒に勉強し続けたい、学年が変わるのは嫌だ」みたいな気持ちがだんだん出てきて、サークルだのなんだと忙しくしているとあっという間に三年生になってしまって「あなた留学は一体いつ行くの」と二年生くらいの時から言っているんですが、いつの間にか彼女は「んー…」みたいなことになって、で、四年生が目前の今になって「やっぱり留学するか」と言い出しているんですけれど、そういう彼女を見ていて、つくづく私が思ったのは、うちの学生の場合はありえない。やっぱり留学したいという気持ちが強い学生を集めているということもあると思うんですけれど、一年生の時から、大学に合格した、入学した、次の目標は留学なんですね。留学するためには TOEFL がこれこれなきゃいけない、GPA がこれこれなきゃいけないので、それに到達して留学申請書を出すということが、彼女彼らの非常に大きなモチベーション、逆に言えばプレッシャーになっています。この留学必修という仕組みを作ったことで、否が応にも学生たちの学習意欲を真剣に高めているという状況があります。

また、さっき申し上げたように、碧い目の金髪の、あるいは黒い色の肌をした留学生たちが周りに 150 名、今学期は 170 名おりますけれど、本当に身近に留学生がいるわけですね。自分も留学するんだという気持ちがへこまない、流されない環境を作っていくことで、モチベーションの維持に繋がっている。留学というのは全人教育で、勉強だけじゃなくて、留学先で「スポーツのオーディションに合格してアメフトやってきました」というような学生もいて、成績を見ると惨憺たるもので「あなた卒業遅くなりますよ」みたい状況なんですけれども、やっぱりそこで得たものというのは、この子たちが就職して社会人になってからの非常に大きな力になっていくというのがございまして、そういう意味では全人教育の一つの一年間であるということになっていると思います。

三つ目のメソッドのもう一つは共同生活です。一年次は寮を用意しておりまして、全員強制的に入寮。秋田出身、秋田市出身の子も含めて、全員入寮して一年間寮生活をしなきゃいけないということです。ここのメリットは全員必修なので、通学する時間の無駄がゼロなんですね。授業が終わりました、寮に戻ります、それしかないので本当に時間を有効に使って勉強が出来る。サークルとか部活とかをやりたい子は十一時から集合してやるみたいな感じで、そういう生活を一年間、学生生活のスタートでやることで、それが四年間続いていくんですね。そして、そこで出来てくる濃密な人間関係。学生たちに、卒業のときに「何がこの大学で一番良かった？」と聞くと、やっぱり一緒に学べた仲間たちなんですね。全国から、あるいは世界からいろんな志を持って、強い意志で、秋田を選んで。東京じゃない大阪じゃない秋田。例えば九州の子たちとか沖縄の子たちとか、東京をすっとばして秋田まで来ている。この子たちの覚悟。そういう子たちと、秋田出身でなんとなく近くだから来たという子たちが、すごく影響されて、お互いのシナジーですごく良いものを生み出しているというところがあります。二年生になったらあとはどこのアパートに引っ越してもいいんですけれど、二年生以降になっても約九割がキャンパス内の学生宿舎で生活しています。これは大学が強制している訳ではなくて、むしろ今大学内の宿舎が足りなくて出て行ってもらいたいんですが、誰も出て行かないので、抽選して泣く泣く出て行かせて親御さんに謝るというのをやっております。周りに何もないというのもあるんですけれど、学生たちに「大学の中にいないと勉強できない」という気持ちがすごくあります。また途中で留学があるので、大学としても宿舎を用意せざるを得ない。学内に十分な宿舎を出来るだけ整備するという状況もあって、学生達は一年生で始まった英語強化合宿が、気がついたら四年間続いていたという学生生活を送っていくということですね。学内に留学生たちが大勢いるので、日常的に学内に異文化空間ができていて、また外国人の教員が半数以上おりますし、1 科目あたり学生 18 名の少人数教育なので逃げられないという授業風景でございます。教授もクラスメイトも、皆が顔見知りのアットホームなコミュニティでございます。

私が勤務している大学の図書館についてなんですが、非常にきれいな建物で、中身はどうかというと、八万冊くらいしか紙の本は無いんですね。残りは全部電子書籍です。電子書籍で 31 万タイトルを準備しております。こういったことができるのも、授業が全部英語なので電子書籍は全部英語でしか必要がない。それから電子学術ジャーナルも英語のものが多ございますけれど、英語のものを揃えて授業で活用しています。

例えば、私も英語科出身でございまして、私が大学に通っていた当時英文学の授業というと、先生が一つの教科書に沿って、小説なら小説を日本語で解釈してくださっていて、我々は授業の前に必死でそれを日本語に訳して、授業で発表して、先生がそれに日本語で解釈をお付けになるというような授業だったんですけれども、今うちの大学で英文学の授業というと、まず学生は自分で勉強する作者なり文学作品を決めて、J-STORE に行って、その作者あるいは

作品に対する批評を原文のまま読みます。いくつか論文を読んで、さらに自分の考えを英語で書いて出すという授業をやっております。原文に親しむというか、最初から原文に当たる、批評も論文も原文で読むという授業をやっているんですね。それを見ると、やっぱりこっちのほうがおもしろそうだなと思います。訳文というのは訳者の方が入るじゃないですか、そしていろんなものが落ちる。原文英語なら英語が持っている背景みたいなものが伝わらないみたいなものもあると思うんですけれど、そういう意味で、そういった授業においては、原文にあたるということが出来ていて羨ましいなという感じがします。

ただ、よく聞かれますのが、英語で授業をやっているというのは結局日本人の学生さんにとっては理解しきれない、議論しきれなくて浅いんじゃないですか、ということです。非常に自然な疑問、質問だと思います。私どもも十五年間やってくるなかで、そこを確認したいと思ってきました。浅い授業をやっていたのでは、いくら英語でやっています、外国人の先生呼んできています、碧い目の学生がいますと言ったところで、「私たちグローバルで世界標準です」とは言えないじゃないですか。授業の中身はどうなんだということを、ずっと気にしておりました。

これは毎年留学生にやってもらっている満足度調査のなかの一つなんですが、要するに「留学生から見て本学の授業の厳しさはどのくらいですか」ということを、毎年聞いております。今年の春の調査結果では、28%くらいの学生さんが自分の母校よりも厳しかったと言ってくれていて、48%くらいの学生さんがほぼほぼ同じだと言っています。77%くらいの留学生が、母校と同じか少し厳しいくらいだと言ってくれているので、私たちとしては大体世界標準だと言っていいのかなと思っています。でもこの 23%の「母校よりはるかにレベルが低い」みたいな声も入っていると思うんです。簡単すぎたみたいな声も、一人一人見ていくとあるので、ここをなんとかしないといけないと考えています。今後の目標としては、全ての留学生が、せめて母校と同等レベル、母校よりも厳しかった、ためになったと言ってくれる大学にならないといけないと考えております。

もう一つ、世界標準はどうかとのを見ているなかで、『Times Higher Education』の日本版において、教育充実度というもので国際教養大学が1位というふうに言っていただいていて、それは一つの考え方として表していただいたので、世界標準近いと言っていんじゃないかなと思います。教育充実度というのは高校の先生方へのアンケート調査を数値化しておりまして、アンケートの中には二つ項目があって、一つはグローバル化もうひとつは高校を卒業した生徒さんがどれくらい伸びたかという、大学における伸び率、伸び度を数値化したものを出しておられるということです。

6. 岩手大学

「いわて高等教育コンソーシアム

『地域リーダー育成プログラム』」

人文社会科学部教授　後藤　尚人

私は岩手大学の話をするのではなく、標題にありますように「いわて高等教育コンソーシアム」、そこで行われている教育プログラムについての紹介をさせていただきます。

この『地域リーダー育成プログラム』というものが、どういうプログラムかをお話するわけですけれど、まず岩手の高等教育コンソーシアムの連携校についてお話します。岩手県には従来から四年制の大学は五つだけでした。一昨年にもう一つ出来まして、今、六つあるんですけれど、その六つ目の大学はまだこのコンソには入っていません。いわゆる完成年度をまだ迎えていないので、そういうことになっています。当初は五つの大学で始まりましたけれども、そのあと短大とか一関高専さんとか放送大学が入って、今十校の連携校でやっているコンソーシアムです。

いわてコンソですけれど、最初にいわて 5 大学学長会議というのがありました。平成 12 年に作られて、設立の経緯というか、聞いたところによりますと、文科省から出向されて岩手県の教育委員会に来られた課長さんが、岩手の大学進学率の窮状はあまりにひどいと、下から数えて何番目という状態でしたので、頑張ってかさ上げしましょう、もっと頑張って岩手の高校生も大学に入ってもらいましょうということを念頭に各大学の学長を回って作られたと伺っています。

岩手県は高校の進学率は日本のトップクラスなんですね。上から一番目二番目なんですけれども、大学進学率になると下から数えて三つ目四つ目、そんなところに低迷しています。それで 5 大学学長会議というのは以前からあったんですけれども、高校生の進学率を上げるためにインターセッションが、あまり詳しくは言えませんが、高校生が大学に来ていろいろなことを学ぶ、そういったことをやっている訳です。それ以外にも、年に一回大学をアピールするためのシンポジウムやったりとか、単位互換やったりとか、図書館の相互利用をやったりとか、そういったことをしていました。

平成 20 年に文科省の『戦略的大学連携支援事業』、これに採択されたことを契機に、コンソーシアムにしましょうということになりました。学長会議という名前からすると委員会のようなものですから、もう少し組織的にやろうと言うことでコンソーシアムにしました。

そのときに作った目的は『地域の中核を担う人材育成』これはコンソーシアムの本体の大学の学生に対する教育のことですね。それから『大学進学率の向上』これは元々、先ほど言いましたように、5 大学課長会議の、非常に重要な懸案事項でしたので、入り口の問題として進学率を上げると。それから『地域社会への貢献』ですね。出口ではないんですが、大学が地域とどうやって関わっていくか、そういったこともやろうと。この三つを大きなポイントとし

て作られています。

平成 20 年から三年間は予算が付いていました。そのときのプログラム名が『いわて高等教育コンソーシアムにおける地域の中核を担う人材育成と知の拠点形成の推進』と、こういうものでした。これを三年間やって補助金が切れましたので、今後コンソーシアムをどうやって続けていくか議論をして、何か必要かどれくらい経費がかかるかを検討し、必要なものを取捨選択して、5 大学の中で学生の人数に応じて分担金を決めて「これで継続的に出来るよね」と話がまとまりました。そのあとで震災が起きたわけですね。

3 月 11 日でしたので、じゃあ今後どうするのかということでした。平成 23 年の 3 月で補助金が切れて、次に、この震災のおかげというと変なんですけれど『大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業』というものが作られまして、これは復興に関係する大学に優先的に補助金を付ける意図もあったんだと思いますけれど、それに採択されました。

そのときに「いわての教育及びコミュニティ形成復興支援事業」というのがあり、これは岩手県立大学が主務校となって申請したものです。岩手県立大学はボランティア事業をメインに中身を作っていて、それが半分。もう残り半分が岩手コンソだったんですね。一大学の県立大学が予算的には半分取って、残りの半分がコンソに回ってきたと。そのときのプログラム名が「地域を担う中核的人材育成事業」とこういうものになっています。

お気づきの方いると思うんですけれども、なにかこう「岩手県は中核派か？」みたいな感じですよね。ここにも「中核」って出てますし、ここにも出てますし。革マルか何かに文句を言われそうなんですけど、最近東大でも中核派が一人入ったとニュースになっていまして、まだやってんのかと思いましたが、今の学生は中核という言葉にあまり反応しないので、普通に辞書に載っているような“中心的な”という意味で使っていて問題ないのかなと思っております。

それで、「中核的人材育成」で、どういうことをやるかというと、岩手県ですから宮沢賢治は外せないので、『賢治の共生の思想を育み地域全体を思いやるリーダーとして多様な領域で地域の中核を担う人材の育成』と、こういうことを掲げています。この「地域の中核を担う人材」というのが地域リーダーかというと、文言的には少し違うんですけれど、我々の解釈としては大体そういうものとして考えています。

当初、平成 20 年にコンソが出来ましたけれど、その後、平成 21 年の 7 月に、大体この「地域リーダー育成プログラム」というものの骨子は作りました。

そのときは授業科目をいくつかカテゴリ別に分けて、それらのカテゴリから何科目取れば大体認定するという、副専攻みたいなプログラムとして考えていたんですね。それをコンソーシアムで議論していって、きちんとした教育プログラムに仕上げていこうという構想だったんですけれども、最初の懸案事項として「目指すべきリーダー像」は何か、この地域リーダーって一体何なのか、そのために必要な教育方法とその実施体制をどうするか、これらが課題として残っていまして、そこを解決しないとこのプログラムは動けないとなっていました。

それで、これはコンソーシアムじゃないんですけれど岩手県の産官学の連合体で作っています『いわて未来作り機構』というのがあるんですが、その中の教育作業部会というのがありまして、私そこの座長をしていましたので、そこでですね、大学以外の方も含めて、「地域リーダーに関する勉強会」というのをしました。

その勉強会は、その当時地域でいろんな活動をされている、リーダーと思われる方々をお招きして、こちらからリーダーになるためにどういうことが重要か、学生に対して何を望むか、いろんな質問事項を用意しました。最初に本人に目指すべきリーダーについて語ってもらって、そのあと参加者といろいろ議論しながら勉強会をやっていきました。

平成 22 年にざっとやったのですが、最初にお願いしたのが岩淵明、当時の岩手大学理事・副学長です。今、岩淵さんは岩手大学の学長になっています。それから二番目は中村哲雄さんで、この方は前葛巻町長、すでに組長さんだったわけですね。中村牧場の所長さんでもある。三番目は、現在も NPO いわての事務局長をされていますが、両川いずみさん。それから、当時岩手県の総務人事総括課長をされていた浅沼康揮さんという方がいらっしゃるんですが、この方は今は IGR 銀河鉄道の社長さんになっています。それから村井良隆さんは「あさ開」という岩手のお酒の酒造会社の社長さんですね。

こういったいろいろな方に来ていただいて、自身の活動とリーダー像を重ねて講演してもらって、参加者間と質疑応答して。こういったことを積み重ねていって、そこで出てきたいくつかの重要なポイントをまとめたのがこれです。『中核的人材育成　地域社会を牽引して行くリーダー像(H23.7)』。1 から 10 項目できれいにまとめたものです。

1. 地域社会に愛着を持ち、地域を牽引する情熱と活力を持ち合わせている人。
2. 地域社会をよく知り、地域の将来展望を描ける人。
3. 他の地域との関連において自らの地域をとらえる複眼的視野を持っている人。
4. 自らの職務を超えて地域社会に貢献できる人。←マルチタスク能力
5. 年齢や地位に関わらず、地域社会に溶け込み、地域社会を内側から牽引できる人。←コミュニケーション能力
6. 地域の課題を把握し、改善策を立案・計画し、それを成し遂げることができる人。
7. 地域が遭遇する想定外の事態にも迅速に対応し、素早い決断と行動ができる人。
8. 職務権限によらず、組織の大小にかかわらず、組織をマネジメントできる人。

9. リーダーシップはもとより、フォロワーシップも理解している人。
10. フォロワーがリーダーになるための次世代育成ができる人。

この十個に対応するものとして、こういうリーダー像に必要な能力資質というものを付けています。

愛着や情熱と活力、将来展望。それから複眼的思考はいろんなものを対角的に見ることが出来る人。それから、自らの職務を超えてというところと関係するんですが、いわゆるトップの人が自分の部下に命じて何かやれというのは簡単にできるわけですけれど、そうじゃなくて、仕事と切り離して、業務ではなく地域でいろんな活動が出来る人。そういう意味でマルチタスクと言っていますけど、同時にいろんなことができる人ということですね。そしてコミュニケーション能力。課題の把握、解決立案計画、実行力。地域が遭遇する想定外の事態という項目があるんですけれど、決断と行動と書いていますが、これは危機管理能力のことです。何が起こるか分からないので、そういったものがきちんとある人。それから組織をきちんとマネジメントできる人、マネジメント能力。そして、ここでようやく出てくるんですが、リーダーシップを持っていて、リーダーについてくるフォロワーのことも分かっている人。最後に、フォロワーがリーダーになるための次世代教育が出来る人。こういうイメージが地域のリーダー像なのかなと考えました。

今度はこれを教育プログラムにまとめていくわけですけれど、リーダー像が出来ましたので、それをどう実践していくかということなんですね。プログラムの仕組みは、いくつかの科目を取って、地域課題の解決プロジェクトを実践すればいいですよ、ということなんですけれども。

「コア科目」という、コンソーシアムで重要な科目として位置づけている科目が 5 つあります。当初からこれはありまして、平成 21 年から実践していますけれども、『いわて学』それから『地場産業企業論』は当時からやっていました。それから震災後に新しく付け加えたのが『ボランティアとリーダーシップ』『危機管理と復興』『グローカル基礎研修』。そういった科目をコア科目と呼んでいます。五つあって、各 2 単位で、授業ですから全部で 10 単位になるんですけれど、10 単位全部取れというのも結構ハードルが高いので、一応この中から 4 科目 8 単位としています。これの成績がきちんと出ればその時点で「コア科目履修証」を発行しています。「コア科目履修証」はそれだけなんですけれども、それに加えて『地域課題解決プロジェクト』があります。これは授業ではありません。授業外の活動として、なんらかの計画を立ててそれを実行して、なんらかの業績、実績が上がれば、それを本人に申請を出してもらうと同時に、この事業には担当教官をつけますので、担当教員の推薦書を審査して、審査に合格すれば『地域を担う中核的人材認定証』を授与します。

審査のポイントとして、コア科目の成績が妥当か、平均で「良」以上は欲しいとかですね、「ALL 可」みたいなのはちょっとどうか、みたいなことがありますね。それから実施プロジェクトにおける申請者の役割。申請書は本人に書いてもらうんですが、きちんと自分が何をやったかが明記されているか。実施プロジェクトの中で自分だけがやったんじゃなくて、グループとしてきちんと活動していたのかも見ています。それから本人が果たした役割が将来のリーダー像を予見できるかどうか。こういった活動をして中核的に人材認定をして、それで「アナタがリーダーです」ということではないんですね。将来リーダーになる可能性を持って居る人材であるということの認定になります。

今まで何人くらい認定者が出たかというと、まだあんまりいません。平成 27 年にこのプログラムをコンソーシアムで決めて、現在に至るんですけれど、現在に至るまでまだ二名しかいません。結構ハードルが高いんですね。まずコア科目を取らないといけない、それから地域課題を解決しないといけないという。

今まで認定された二人は、岩手大学教育学部の四年生と、岩手大学農学部の三年生です。ヨシノさんという人は大学一年のときから課題解決プロジェクトをやっていて、私がその担当でしたが、一年生が終わった時に彼女はすでに科目を取っていたので申請する権利はあったのですが、「まだダメ」というふうに、もうちょっと頑張ってちょうだいと、まだ活動が実を結んでいないのでもうちょっとやってくださいと、それから 2 年やってもらってから申請を出してもらいました。もう一人の学生は四年生だったんでその時点で申請を出すことを認めましたけれど。それから今年の九月ですね、理事会があってもう一人認定します。岩手大学農学部の四年生です。この学生もヨシノさんと一緒に一年の時からずっと活動していた学生なんですけれど、この方は他の科目を取るのが少し遅かったので、申請が今になったということです。

見て分かるように、全部岩手大の学生なんですね。これでいいのかという問題が当然出てきてですね、課題としては「大学の隔たり」これをどうするか考えていかないといけない。今度の 2 月頃、もう一人認定者が出る予定で、それも岩手大の学生なんですけれど、その次くらいから県立大学とか盛岡大学の学生が出てくるので、そこまで行けば割と公平なのかな思いますが、その辺はいろいろ打開策を考えないといけないところです。

それからプログラム上の課題として、現在 COC＋というのを各大学回しておりますので、そこで行われているプログラムの科目を、これは地域科目ですから、それをコア科目に今後追加していく必要があるということを、今検討しているところです。

巻末言

小田隆治

平成29年8月に本センターは教育拠点に認定されたが、平成31年3月末日をもってその任が終了した。

本センターは、この一年半の間に当初予定していた事業をやり遂げることができた。

9月に行った「FD合宿セミナー」、「大学間連携SD研修会」、「学生FD会議」などの研修会は、“つばさ”の例年の恒例行事でもあり、今年度も全国の大学や短大、高専からたくさんの参加があり、参加者にはとても好評であった。

この一年半の間に、“つばさ”には、沖縄県立芸術大学、富士大学、人間総合科学大学、高岡法科大学の新規加盟校があった。これらの大学は、教育拠点事業の訪問をきっかけに入会してくださった。“つばさ”は当初東日本を地盤として発足したが、 教育拠点事業をきっかけに“つばさ”が全国展開できることとなった。

先日、文科省の元審議官と会って話をする機会があったが、そこで「“つばさ”はとても良い活動ですね。これからも頑張ってください」と、向こうから話を切り出され、激励された。“つばさ”の認知度は高いし、期待も大きい。

大学間連携が文科省のGPなどのプロジェクトとして全国で活発になった時期があった。だが、そうした外部資金の提供がなくなると、一挙に尻すぼみになった。こうしたことはなにも大学間連携に限ったことではないが、地道な持続性がない限り、教育改善や改革は成就しない。すべての教育改革が政策誘導のための外部資金獲得であったならば、大学は良くなって行くことはない。

“つばさ”は、グランドデザイン答申におけるデータサイエンスの普及においても、加盟校の連携によって推進できる体制となっている。このように、時代の新しいニーズに対しても“つばさ”は柔軟かつ積極的に活用していける。こうした背景には、10年以上にわたって築いてきた“つばさ”関係者の信頼関係がある。こうしたことは目の前の利益のためだけに離合集散する人たちには理解できないことであろう。

ところで、本センターの拠点の名称は「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」であった。ここでは、入学者が集まらない地方中小規模大学・短大をどうにかしたい、という我々の熱い思いが込められていた。実際に、なんらかの具体的な成果はあったのであろうか。

ある大学を訪問し、学長や職員の幹部と数時間面談をしたが、その大学は定員割れをしていた。大学名に「国際」と銘打っているのに、海外からの留学生はほとんどいない。全国の「国際」と銘打っている大学の中に、同じような大学がかなりあることがわかった。中には、留学生を引き受けるシステムがないし、問題を起こされたら対処するのが大変なので、まったく留学生の受け入れに消極的だと言うのである。こうした大学には英語の授業が充実していたとしても、キャンパスはまったく「国際化」していない。日本人学生の短期留学もホームページ上では活発に行っているとなっているが、実際は学生が数十万円の研修費を払って海外の語学学校に行っているだけなのだ。「学生はお金が掛かりますね」と言うと、「学生の一部には補助金を出しています」と言う。

「山形大学は海外の大学と提携を結んで、年間に同じ数だけの学生が授業料を払わずに短期留学できるようにしています」と言うと、「提携を結んでくれるところがない」という答えが返ってきた。そこで私は当時国際センター長も兼務していた経験から、「インターンシップや体験型の授業などの、日本だけではなく世界中にないような教育プログラムを作れば、海外の大学と交渉できますよ」と言って「山形大学には「エリアキャンパスもがみ」において、地域の人たちと一体となって体験型授業を実施しています」と言ってパンフレットを見せると、「これをそのままパクっていいですか」と言われたので、「どうぞ」と返した。簡単にパクれるものではないので、職員さんが山形まできて「エリアキャンパスもがみ」のフィールドラーニングを見学された。この行動は早かった。

さらに、私は海外の提携校とその担当者まで紹介し、それによってこの大学は提携までこぎつけることができた。こうして、海外の提携校から留学生を受け入れると同時に、その大学に日本人学生を半年あるいは一年間留学させることができるようになった。こうしてこの大学のやる気に火がついて、国際化とともに、地域連携の授業や事業など様々な教育改革が進んで、今年は開学以来初めて定員を充足することができたとのことである。

こうした地方の大学の再生例もあるが、多くの大学・短大ではやる気に火がついた感触を覚えることが少なかった。首都圏の大学の学生定員の厳格化によって、地方の大学にもそれなりのメリットがあった。自分の大学の努力でもないのにすぐに安心したり、中には自分の力だと述べる人たちもいた。

地方の大学・短大は地域の理解や連携、支援抜きでは生き残っていくことができないだろう。それは多くの大学で理解されるようになってきているが、まだそれは表面上のことにすぎないようである。地域を教育現場としてどのように活用し、それが地域活性化とどう結びつくのか。それぞれの大学で歴史が違うので、一概に言えないであろうが、もはや頭の中でウロチョロするのではなく、具体的な行動を迅速に起こすことである。

我々の教育拠点の活動は終わったが、それかと言って地方中小規模大学・短大の支援をやめたわけではない。我々が培ってきた支援のノウハウは、みなさんが考えている以上に、あなたの大学の再生に役立つはずである。気軽に声をかけていただきたい。我々はすぐにあなたの大学に出向くでしょう。



山形大学教育開発連携支援センター

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

Tel:023-628-4480　Fax:023-628-4720

http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/rche-yu/index.html